

井上馨関係文書目録

2020年5月

国立国会図書館憲政資料室

目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています
国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料室の所蔵資料」
(<http://rnavi.ndl.go.jp/kensei/>)

【凡例】

- ・ 書翰の部と書類の部に二大別した。
- ・ 書翰の部は、筆者をアルファベット順としてそのなかを年代順に配列した。
- ・ 書類の部は、資料の形態、内容上から適宜の配列をした。
- ・ 書類の標題は、原文書にあるものはそれに従い、欠題のものは憲政資料室が内容により適宜これを付した。
- ・ 各書翰に閲読の便を考え憲政資料室において内容を摘記したが、細微を尽くしたものではない。
- ・ 各文書の成立年代は、記載のないものは憲政資料室の責任で考証した。

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
書翰の部											
1-1	足立孫吉書翰 井上馨宛	足立孫吉	井上馨	明治 年9月21日	1通	九鉄会社改革ノ骨子 仙石氏ヲ技師長ト為シ 別ニ社長ヲ入ルルノ一事 社長適任ハ山陽ノ牛場力 関西ノ田野二郎 専任困難ナレバ兼務ニテ斡旋願ウ					冊子複製版第1冊
2	赤羽四郎書翰 井上馨宛 [...]										
2-1	赤羽四郎書翰 井上馨宛	赤羽四郎	井上馨	明治26年3月15日	1通	条約改正ニ関シ独政府青木公使ヲ愆瀆ス 在独英大使及ビ埃・瑞・蘭ノ大公使モ青木子ヘ進言スル所アリ コノ際青木子ヘ全権ヲ以テ委任然ルベシ					冊子複製版第1冊
2-2	赤羽四郎書翰 井上馨宛	赤羽四郎	井上馨	明治28年11月10日	1通	征清軍ノ賞賜官報ニ見タリ 条約改正ニ与リタル文勲之ニ劣ルベカラズト思慮ス					冊子複製版第1冊
3	赤松連城書翰 井上馨宛 [...]										
3-1	赤松連城書翰 井上馨宛	赤松連城	井上馨	明治 年1月24日	1通	九条家・蜂須賀家ヨリ申入レハ内約アルノ理由ニテ断リ 三条家ニ対シ応請シテハ不都合ナルベシトノ法主意見ナリ モシ岩公オ口添エアレバ都合ヨカルベシ 蓮如上人墳墓前土地ノコト					冊子複製版第1冊
3-2	赤松連城書翰 井上馨宛	赤松連城	井上馨	明治 年7月12日	1通	内務卿ヘ言上右府公ヘモ順道同行ニテ請願 伺書取消ハ困難 忌日ノ儀モ東不同意ニツキ他ニ見込立テヨト内示 兩人相談ノ上右ノ両条不許可ナレバ再議ニ附サレルヨウ法主ヨリ議会ヘ申立ツル外ナカルベシ 姑息ノ処置ハ派内ノ納得得ラレマジト愚考					冊子複製版第1冊
4	赤司鷹一郎書翰 井上馨宛 [...]										
4-1	赤司鷹一郎書翰 井上馨宛	赤司鷹一郎	井上馨	大正3年12月1日	1通	明治天皇紀編修ノタメ臨時編集局設置方公布 右ニ付意見書奉呈	意見書 1綴				冊子複製版第1冊
4-2	赤司鷹一郎書翰 井上馨宛	赤司鷹一郎	井上馨	大正4(力)年6月3日	1通	中原委員ヘオ托シノ辞表・覚書 一木文相ヘ交付済					冊子複製版第1冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
5-1	安楽兼道書翰 高崎親章宛	安楽兼道	高崎親章	明治25年11月17日	1通	本県民党派遣ノ陳情委員知事ノ更迭ヲ企図 衆議院選挙ノ際知事ノ発セシ訓諭ヲ攻撃ノ材料 貴族院議員三浦安ヘ依頼	訓諭 松平正直 1綴				冊子複製版第1冊
6	青木休七郎書翰 井上馨宛 [...]										
6-1	青木休七郎書翰 井上馨宛	青木休七郎	井上馨	明治3(カ)年10月4日	1通	商会出納ニ関シ事故アリ出発延期 吉井君ヘヨロシクトリナシ願ウ 官路身ニ合ワズ退職ノツモリ					冊子複製版第1冊
6-2	青木休七郎書翰 井上馨宛	青木休七郎	井上馨	明治18年3月29日	1通	岩崎弥之助ヘ依頼ノ件 弥之助将来ノコト請負ウニツキ一旦除名希望ナレバヤムナク捺印 コノ後ノ処分渡辺萬蔵ヘ下示願ウ					冊子複製版第1冊
6-3	青木休七郎書翰 井上馨宛	青木休七郎	井上馨	明治26年5月31日	1通	能越両山紛紜一件 明日両山僧侶招集ノヨシ 両山事務取扱更迭ハ至当ノ処置 両山ノ宿弊深ク下僚迄更迭ノ要アリ 根元ハ基本財産ノ争イニアリ コレニ至ラザレバ真ノ和解ナシ					冊子複製版第1冊
7	青山胤通書翰 井上馨宛 [...]										
7-1	青山胤通書翰 井上馨宛	青山胤通	井上馨	大正4年4月15日	1通	興津園遊会参会通知					冊子複製版第2冊
7-2	青山胤通書翰 井上馨宛	青山胤通	井上馨	年 月 日	1通	水果糖使用ニツイテ八岡侍医頭ト相談					冊子複製版第2冊
8-1	有賀長雄書翰 井上馨宛	有賀長雄	井上馨	大正4年5月20日	1通	日比谷署警護ニテ無事帰宅 袁世凱秘書官ヨリノ書翰別紙翻訳送ル 文科大学辞職上田学長善処臨時議会后ニ発表 早川千吉郎山川総長ト交渉マデ辞表預リ	有賀長雄メモ1通・有賀長雄宛曾彝進書翰翻訳写 1綴・有賀長雄宛曾彝進電文 1綴		(注) 曾彝進書翰及ビ電報ハイズレモ我对支要求ニ関シ温和策ヲ求メタルモノ		冊子複製版第2冊
9	有松英義書翰 井上馨宛 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
9-1	有松英義書翰 井上馨宛	有松英義	井上馨	明治27年6月15日	1通	岐阜県震災費支出検査院ノ重視シタル笠松堤防仕越工事他二件ハ検事公訴抛棄ニヨリ無罪 検事正・警部長十分審査ノ上起訴シタルモノナレバ意外 小崎証言ハ諒知ノハズヲ新事実ト為シ方針ヲ翻シタルハ検事疑ワシ 曾我部攻撃ノ声高マラン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第2冊
9-2	有松英義書翰 井上馨宛	有松英義	井上馨	明治44年5月8日	1通	維新史料編纂会官制中副総裁設置ニ修正 徳川慶喜公・大隈伯顧問承諾ナラズ 板垣伯承諾 香川敬三委員辞退 有栖川宮熾仁親王			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第2冊
10-1	朝吹英二書翰 井上馨宛	朝吹英二	井上馨	明治43年4月6日	1通	茶席出席通知					冊子複製版第2冊
11-1	浅田徳則書翰 井上馨宛	浅田徳則	井上馨	明治 年4月20日	1通	信濃銀行頭取小坂善之助紹介 篠ノ井ヨリ松本經由辰野二到ル鉄道敷設計画ニツキヨロシク取計イ乞ウ					冊子複製版第2冊
12-1	朝比奈知泉書翰 井上馨宛	朝比奈知泉	井上馨	明治 年9月27日	1通	別後論究ノ結果 各大臣辞職・重要政務八行掛リヲ言上ノ二点行ワレバ大命奉受ノ要領トナランカ 今朝首相二面会 各大臣辞表ハ懸念ニ及バズ 政務行掛リハ表明シテヨロシキヨシ 参内前伝エクレトナリ					冊子複製版第2冊
13	渥美契縁書翰 井上馨宛 [...]										
13-1	渥美契縁書翰 井上馨宛	渥美契縁	井上馨	明治36年1月19日	1通	四二万円不明事件調査進行中 経費節約ノタメ録事一名帰休 文書課長譴責セシトコロ日本新聞ニ誇大記事出デタルハ内部ニ通報者アルベシ					冊子複製版第2冊
13-2	渥美契縁書翰 井上馨宛	渥美契縁	井上馨	明治36年6月5日	1通	山田益兵衛調印承諾 コノ上八神野モ承諾セン 三河ノ整理委員小田忠兵衛調印断リ補欠ヲ以テスベシ 濃参巡回イズレモ好成绩 三〇年侍従長内示ノ書取返上ノ件 西へ交渉セシトコロ法主帰山ノ上確答ノヨシ					冊子複製版第2冊
13-3	渥美契縁書翰 井上馨宛	渥美契縁	井上馨	明治36年10月8日	1通	法主ヨリノ回答中第三条ニ関シ法主名使用ハ教導文ニ限り ソノ他詳細ヲツクス場合ハ 「書立」ヲ製シ周知セシムル慣例 儉約一条モ法主名ニヨラズ書立ヲ用イタシ					冊子複製版第2冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
13-4	渥美契縁書 翰 井上馨宛	渥美契縁	井上馨	明治36(カ)年 11月14日	1通	谷伊三郎ナル者暴論ヲ主張商量員中二雷同者アリ 知事懇諭ノ際譴責アリテ講中奮起 商量員補充人事ノ件					冊子複製版 第2冊
14	粟谷品三書 翰 井上馨宛 [...]										
14-1	粟谷品三書 翰 井上馨宛	粟谷品三	井上馨	明治25年10 月 日	1通	第一議會ヨリ終始吏党タルコトヲ公言セリ 新内閣ノ議會ニ対スル方針ハ吏党ヲ如何ニ遇セントスルヤ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載		冊子複製版 第2冊
14-2	粟谷品三書 翰 井上馨宛	粟谷品三	井上馨	明治27年6月 28日	1通	地方官會議ニ於ケル総選挙ニ対スル訓令新聞ノ伝 ルゴトキ超然中立ヲ持スル時ハ硬派優勢トナルベ シ ヨロシク選挙民ニ訓令シ中正ノ士ヲ選出セシ ムベシ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載		冊子複製版 第2冊
14-3	粟谷品三書 翰 芳川顕正 宛	粟谷品三	芳川顕正	明治27年7月 17日	1通	臨時総選挙ニ対シ先ノ地方官會議ニ於ケル井上内 相訓示ニヨレバ政府ハ干渉セズトイウ 硬派熱流 行ノ風潮ナレバ自由党ノゴトキ人員減ハ必セリ 政府反対党ノミ優勢トナラン 政府党維持策アル ベシ					冊子複製版 第2冊
14-4	粟谷品三書 翰 井上馨宛	粟谷品三	井上馨	明治27年7月 18日	1通	臨時総選挙ニ対シ地方官會議ニ於ケル訓示ニヨレ ハ政府ハ干渉セズト 硬派熱流行ノ風潮下温和派 後退ハ明ラカ 政府ハ当然干渉ニ出ズベシ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載		冊子複製版 第2冊
14-5	粟谷品三書 翰 井上馨宛	粟谷品三	井上馨	明治27年8 月 日	1通	臨時総選挙切迫 破壊主義議員排斥ノタメ全国新 聞紙ニ別紙稟告ヲ掲載セシメントス 一覽乞ウ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載		冊子複製版 第2冊
15-1	団琢磨書翰 井上馨宛	団琢磨	井上馨	明治35年3月 7日	1通	技師大八木喬柴北清煤田調査報告書供覧					冊子複製版 第2冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製	
16-1	田健治郎書翰 井上馨宛	田健治郎	井上馨	明治36(カ)年12月21日	1通	京釜鉄道取締役尾崎三郎諭旨退役ノ件 竹内綱帰京 取締役中欠員アリ常務ノミ辞退サセタキヨシ 新重役トノ関係モアリ尾崎退職ハ必要 竹内指示願ウ					冊子複製版第2冊	
17	江木千之書翰 山県有朋宛 [...]											
17-1	江木千之書翰 山県有朋宛	江木千之	山県有朋	明治25年9月3日	1通	辞職理由ノ一ハ辻次官ノ説ヲ受ケ大木伯自分転任ヲ上奏後二内意ヲ告ゲラル事務官ヲ遇スルノ道ニ非ズ辞職ヲ申出 大木伯上奏書ヲ引下гентシテ裁可ノ後自分ヨリ転任辞令ハ返付 久保田氏ノ転任辞令ヲモ回収セントシテ氏ハ省中挨拶廻リヲ了セリ 大木伯ハヤムナク再度辞令ヲ交付シ来ル 客年辞職ノ事情ナリ					冊子複製版第2冊	
17-2	江木千之書翰 井上馨宛	江木千之	井上馨	明治25年9月4日	1通	別紙旅行中考案ニ成ルモノ一覽乞ウ	宗教事務整理要項1通				冊子複製版第2冊	
17-3	江木千之書翰 井上馨宛	江木千之	井上馨	明治26(カ)年12月20日	1通	特別市制廃止法案委員会附托明日開会力 衆議院予算案ニ取掛リ 保安条例ハ一省主管トセズ内閣建議然ルベシ 特別市制ハ細川潤次郎 廃止案廃止ニ尽力 廃止案否決サルベシ					冊子複製版第2冊	
17-4	江木千之書翰 井上馨宛	江木千之	井上馨	明治28年1月1日	1通	韓国国債至急決行ヲ要ス 然ラザレバ韓国改革失敗ニ帰セン 日清戦争収局ニ当ヲ得ザレバ国家危急ニ至ルベク閣下外ニ留マルヲ得ザルベシ 北海道市町村制度 沖縄地方制度 京制ソノ他法案 各府県会ノ模様						冊子複製版第2冊
17-5	江木千之書翰 井上馨宛	江木千之	井上馨	明治 年10月12日	1通	伊藤博文山口県下巡回 ソノ随行記					冊子複製版第2冊	
18	江木翼書翰 井上馨宛 [...]											
18-1	江木翼書翰 井上馨宛	江木翼	井上馨	大正4年1月13日	1通	満鉄・東拓等ノ役員衆議院議員兼職ノ件政府ハ不許可ノ方針 解散ニ際シ此方針ヲ維持 大臣ノ命ニヨリ報告			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第2冊	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
18-2	江木翼書翰 井上馨宛	江木翼	井上馨	大正4年8月7日	1通	大隈首相ノ命ニヨリ政局報告 大浦ニ疑惑集リ悲痛ノ結果遺憾 加藤外相・八代海相・若槻蔵相辞意固シ 海相後任最モ困難 昨年来ノ懸案アリ財政自然減海軍ノ主張八難題 八代後任ニ加藤友三郎次ニ瓜生大將 加藤ハ清浦内閣ニ応ゼザリシ後任ハ現任ノ責任トセザルヲ得ズ 外・蔵相ノ後任ハ海軍解決ノ後トスベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第2冊
19	江木表書翰 井上馨宛 [...]										
19-1	江木表書翰 井上馨宛	江木表	井上馨	明治44年1月13日	1通	大逆事件原因無政府主義ニヨルトノ論断ハ巧妙裁判ノ責任ノ問題重大 天皇ノ名ニ於ケル処断ハ万国稀有 法律制度ハ治国ノ要具 治者ノ責ヲ逃レシメ被治者ノ安心立命ヲ得セシム 憲法・自治制・陪審制度全テコノ一義ニアリ憲法制定当時治外法権アリタルタメ陪審制見送ル今般大逆罪発生部内ニ陪審制度ノ必要ヲ認ム 成行キニマカスレバ議會取引ノ具 天皇ノ責任ニ関スル重大立法ナレバ鄭重審議ヲ要ス 劣等人種ノ手ニ委ヌベカラズ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第2冊
19-2	江木表書翰 井上馨宛	江木表	井上馨	明治44年1月22日	1通	陪審制度大逆罪発生ニヨリ各方面ニ賛成者アリ 国ノ三大立法ノ一ナレバ閣下又ハ八山県コヲ中心ニ設立希望 権力維持ノ長計タラシムベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第2冊
19-3	江木表書翰 井上馨宛	江木表	井上馨	明治 年 月 23日	1通	意見書公表ヲ決意 印刷出来一兩日中ニ供覧 先輩ヨリ過激ノ注意ヲ受ケシモ之ニヨリ免職処刑モ本望					冊子複製版第2冊
20-1	萩原守一書翰 井上馨宛	萩原守一	井上馨	明治39年6月27日	1通	(奉天発) 北京方面迂回客月着任 在滿軍政ノ失敗ハ耳ニセシ処鉄嶺方面ノ旅行ニテ実見 戦前ノ方針去月ノ會議ニテ治定 山座・福島臨席領事々務当館へ引受ケ軍政署廃止 満州貨幣問題考慮乞ウ					冊子複製版第3冊
21-1	浜口雄幸書翰 井上馨宛	浜口雄幸	井上馨	明治43年4月5日	1通	四二年度専売事業純益概計別表報告	明治四二年度専売局純益概計 謄写 1枚				冊子複製版第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
22	花房直三郎書翰 井上馨宛 [...]										
22-1	花房直三郎書翰 井上馨宛	花房直三郎	井上馨	明治26(カ)年4月5日	1通	文部大臣ノ鎮守府条例修正案 官制修正案二指示何イ					冊子複製版第3冊
22-2	花房直三郎書翰 井上馨宛	花房直三郎	井上馨	明治26(カ)年4月5日	1通	官制案修正理由報告					冊子複製版第3冊
22-3	花房直三郎書翰 井上馨宛	花房直三郎	井上馨	明治26(カ)年7月31日	1通	別紙緊急勅令案写才届ケ 施行期限二ツキ枢密院書記官ヨリ問合セ 即日施行ノ内閣書記官長意見返答セリ					冊子複製版第3冊
23-1	原六郎書翰 井上馨宛	原六郎	井上馨	明治28年2月9日	1通	朝鮮国改革難事ナラン 同国財政整理最モ急要 神鞭知常帰朝 朝鮮国債三銀行引受ケ謝絶ノヨシ 帝国商業銀行引受ケヲ意図渡辺蔵相へ話ス 川田總裁広島ヨリ帰り日本銀行引受ケ決定ノヨシ 二ツキ一部引受ケトナラン 約定締結ニハ朝鮮政府ノ特命全権派出ヲ求メタシ					冊子複製版第3冊
24	原保太郎書翰 井上馨宛 [...]										
24-1	原保太郎書翰 井上馨宛	原保太郎	井上馨	明治19(カ)年3月13日	1通	本県土地丈量ノ件内務・大蔵両卿へ懇願近ク決定ノヨシ 閣下へ相談アルベク賛助乞ウ 土地丈量費一〇万円貸渡シニ民費加工成功見ルベシ 別紙供覧 就産所 馬関支庁	土地丈量及ヒ誤謬地取調着手ノ時機得失ノ事 明治18年6月13日 山口県令原保太郎1綴				冊子複製版第4冊
24-2	原保太郎書翰 井上馨宛	原保太郎	井上馨	明治22年10月10日	1通	土地丈量費年賦ノ件添書二ヨリ好結果 政海波瀾 山県大臣帰朝後熱度加工黒田大臣勇退力外務大臣コレヲ抑制 三田会議ニテ内閣引退マデハ議決トイウ 小田原伯二参調山県伯ニハ拝晤ヲ得ザルモ 最モ困難ノ立場 海江田議官大隈ニ退職勧告					冊子複製版第4冊
24-3	原保太郎書翰 井上馨宛	原保太郎	井上馨	明治22年12月21日	1通	士族授産処分配慮感謝 政府ノ容体愈危篤伊藤伯 辞職ニテ致命ノ打撃 外相遭難突発ニテ決定的品 川子モ憂慮 新聞者流ノ軽躁ヲ排撃 一昨日徳大寺侍從勅使ニテ伊藤伯ヲ召サル 全国有志大会 又々喧シカラン					冊子複製版第4冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
24-4	原保太郎書翰 井上馨宛	原保太郎	井上馨	明治24(カ)年1月10日	1通	麦作不作 田島へオ話ノ新聞ノコト拝承 県下水産ノコト 予算論騒キ新聞書キ立テ内閣離間策止ルトコロナシ 強硬ノ政略将来ノ為メナラン 林有造提出特別地価修正案二関シ本県ニ注視 弁護論ノタメ今村属派遣大蔵省反当リ収獲比較漏洩二因由 本県副議長外激昂					冊子複製版第4冊
24-5	原保太郎書翰 井上馨宛	原保太郎	井上馨	明治24年5月28日	1通	滋賀県知事・警保局長ヨリ津田三蔵公判結果電報 皇上ノ綸言反古トナリ露公使食言ヲ責メン 学者・新聞記者ノ声ヲ恐レ法官国家ノ大計ヲアヤマル					冊子複製版第4冊
24-6	原保太郎書翰 井上馨宛	原保太郎	井上馨	明治24年12月21日	1通	春畝伯無事滞関 佐波郡土地別図差出シ買収八毛利公名義ヨロシカラシ 国会停滞政府強硬手段心強シ					冊子複製版第4冊
24-7	原保太郎書翰 井上馨宛	原保太郎	井上馨	明治27年6月1日	1通	斎藤代議士本県石代米下戻請願書提出ハ意外 議長採議ハ無責任 県治局長・志賀参事官ヨリ問合せアルモ往時ノ記録不備 授産協同等ヘ分与ソノ恩決ヲ忘レ諸公攻撃党人輩卑劣ノ手段 県下人心平穩 六派提出内閣弾劾上奏案議院通過ノ電報接到 断然解散ヲ切望国民ノ悔悟ヲ得ザレバ解散連発アルベシ 超然内閣力干涉内閣力ニ途ノ外ナシ 憲法明治五〇年マデ中止アルベシ	知事宛直次郎署名書翰 総理大臣ヘ直諫 疏呈出松村ノ身許調査報告 1通				冊子複製版第4冊
25	原田二郎書翰 井上馨宛 (ほか)										
25-1	原田二郎書翰 井上馨宛	原田二郎	井上馨	明治36年6月16日	1通	本願寺ヨリ広橋賢光へ返金ノ件 広橋・渥美ヨリ金融依頼謝絶 藤波言忠来訪 広橋本願寺ノタメ高利金融ヲ受ケ返済ナキタメ窮境 広橋ヲ招キ事情聴取 渥美へ返済方勧告 渥美ヨリ広橋へ返済金ト謝儀 謝儀ハ与ラザル旨渥美ニ注意 熊本銀行 土倉貸金					冊子複製版第4冊
25-2	原田二郎書翰 井上馨宛	原田二郎	井上馨	大正4年2月17日	1通	一三日大隈・大浦ヨリ電話アリ翌日大浦二面会同氏感謝 隈伯尾崎ト協議書類調整中ニテ内見依頼 早稲田訪問伯夫婦厚情ニ感謝 注意ノ要件ハ大浦子同様ノ答 大浦子ヨリ差出シノ書類内見依頼ニツキ望月ヲ招キ熟覽ノツモリ 久原 田中平八					冊子複製版第4冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
25-3	原田二郎書翰 井上馨宛	原田二郎	井上馨	大正4年3月5日	1通	浦子二面会協議ノ上隈伯訪問 秘書末尾二前掲云々ヲ記載隈伯・浦子捺印 貴示ノ品ヲ隈伯二手交 閣下宛ノ受取り落手 秘書受取り状才届ケ日取り照会					冊子複製版第4冊
25-4	原田二郎書翰 井上馨宛	原田二郎	井上馨	大正4年5月3日	1通	芦田一行東京遊覧帰阪 鴻池房子・豊拳式手順報告 土居通夫					冊子複製版第4冊
26-1	長谷場純孝書翰 井上馨宛	長谷場純孝	井上馨	明治44年8月31日	1通	文部大臣就任挨拶					冊子複製版第4冊
27	長谷川為治書翰 井上馨宛 [...]										
27-1	長谷川為治書翰 井上馨宛	長谷川為治	井上馨	明治28年5月17日	1通	朝鮮典圖書局器械検査ノタメ技手益田熊太郎出張ヨロシク指揮乞ウ					冊子複製版第4冊
27-2	長谷川為治書翰 井上馨宛	長谷川為治	井上馨	明治40年9月23日	1通	昇爵祝詞					冊子複製版第4冊
28	波多野承五郎書翰 中上川彦次郎宛 [...]										
28-1	波多野承五郎書翰 中上川彦次郎宛	波多野承五郎	中上川彦次郎	明治22年3月22日	1通	自分渡辺トノ計画厚配感謝 伯ヘノ売込八兵糧ヲ売ルニアリ 伯ノ去就信ズベカラズ 我方ノ兵糧充実サセ独立ノ用意ナルベカラズ 美玉ヲ蔵シ良費ヲ待ツノ意味ナリ 大阪ノ新聞条件整ワザレバ引受ケズ事情調査ノ要アリ 渡辺上阪後藤入閣ニテ自分秘書官ノ話 渡辺・伯トノ談判マトマレバ自分後藤ノ方ヲ辞セン 報知新聞内情 矢野ヨリノ懸合形勢観望中 大阪行ノ諾否藤田ノ張込ミ少ケレバオ断リセン					冊子複製版第4冊
28-2	波多野承五郎書翰 井上馨宛	波多野承五郎	井上馨	明治 年9月4日	1通	青木子勸告ニヨリ房州旅行ノツモリ旅費二百円拝借乞ウ					冊子複製版第4冊
29	早川千吉郎書翰 井上馨宛 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
29-1	早川千吉郎書翰 井上馨宛	早川千吉郎	井上馨	明治35年12月31日	1通	銀行決算上朝吹伝言拝承 大阪・九州地方金融繁忙 福岡十七銀行臨時休業久留米六十一銀行不安去ル 教科書事件面倒銀行ヘノ影響ナシ					冊子複製版第4冊
29-2	早川千吉郎書翰 井上馨宛	早川千吉郎	井上馨	明治36年1月28日	1通	王子製紙総会株主紛議 渋沢幹旋ニテ原案可決 鈴木梅四郎 松尾還暦祝ノコト					冊子複製版第4冊
29-3	早川千吉郎書翰 井上馨宛	早川千吉郎	井上馨	明治 年2月24日	1通	法律案中朱書八改正案 銀行集会所二銀行委員会合改正案調査ヲ決定 桂首相ヘ注意乞ウ					冊子複製版第4冊
29-4	早川千吉郎書翰 井上馨宛	早川千吉郎	井上馨	明治 年4月22日	1通	麻生・貝島関係書類呈上 王子製紙現重役辞任ノ取扱イ 三井以外ノ株主ニハ渋沢ヨリ意見表明ニテ総会ノ必要アルマジ 新人物採用渋沢出資迄ハ不可能ニツキ臨時総会猶予					冊子複製版第4冊
30-1	林権助書翰 井上馨宛	林権助	井上馨	明治20年12月13日	1通	(在芝罘) 写真拝呈 尊影頂戴願ウ 公務傍ラ独語・仏語学習ノツモリ					冊子複製版第4冊
31-1	林忠正書翰 井上馨宛	林忠正	井上馨	明治32年12月25日	1通	才見送り拝謝 恩遇ヲ謝ス 西園寺公望 曾祢荒助					冊子複製版第4冊
32-1	日置益書翰 井上馨宛	日置益	井上馨	明治36年11月18日	1通	条約改正談判ノタメ上海出張 無事結了帰朝 外務省出仕以来庇護感謝 自分昇進ニツキ助力願ウ					冊子複製版第4冊
33-1	平沼騏一郎書翰 井上馨宛	平沼騏一郎	井上馨	大正4年4月17日	1通	礼状					冊子複製版第4冊
34	平沼専蔵書翰 井上馨宛 [...]										
34-1	平沼専蔵書翰 井上馨宛	平沼専蔵	井上馨	明治 年4月30日	1通	礼状					冊子複製版第4冊
34-2	平沼専蔵書翰 井上馨宛	平沼専蔵	井上馨	明治 年9月15日	1通	隣地買上ゲノ件折田本人ハ承知ナレド実父不服 換地物色中ナレバ猶予乞ウ					冊子複製版第4冊
35-1	平岡浩太郎書翰 井上馨宛	平岡浩太郎	井上馨	明治38年6月1日	1通	(在北京) 戦地視察撫順炭山意見書元老・内閣諸公ニ呈出 別紙乞高覧 北清事変ニヨリ破壊サレタル北清財界回復 石炭ノ需用急増撫順炭ヲ大連ヘ搬出帝国ノ大利益 山本海相・山口中佐派遣海軍一省ノ占有ハ不得策 撫順炭坑ハ有力ナル人物力組合ニユダヌベシ					冊子複製版第4冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
36	平岡熙書翰 井上馨宛 [...]										
36-1	平岡熙書翰 井上馨宛	平岡熙	井上馨	明治39年6月 9日	1通	川崎造船所資本金一千万円増加 清国二支場開設 船舶・汽関車・客貨車等製造ヲ株主会議決ノヨ シ 渋沢へ通シオケリ					冊子複製版 第4冊
36-2	平岡熙書翰 井上馨宛	平岡熙	井上馨	明治43年4月 2日	1通	先日才願イセシ会合渋沢ヨリ別紙返アリ 都合如 何					冊子複製版 第4冊
36-3	平岡熙書翰 井上馨宛	平岡熙	井上馨	年 月 日	1通	大磯八景（戯歌）					冊子複製版 第4冊
37-1	平山成信書 翰 河瀬真孝 宛	平山成信	河瀬真孝	明治17年5月 8日	1通	小笠原庸之助紹介 在英公使赴任ニアタリ随行願 ウ					冊子複製版 第4冊
38	広橋賢光書 翰 青木周蔵 宛 [...]										
38-1	広橋賢光書 翰 青木周蔵 宛	広橋賢光	青木周蔵	明治21(力)年 12月14日	1通	海軍予備炭田ヲ数人ニ委托採掘ハ政府ノ失態 地 方興業者ニ打撃ノ旨黒田大臣へ説明 海軍大臣・ 次官へ注告スベシトノコトニツキ奔走ノツモリ 助力乞ウ					冊子複製版 第4冊
38-2	広橋賢光書 翰 井上馨宛	広橋賢光	井上馨	明治35年7月 11日	1通	東本願寺財政整理ノ件高助ヲ願ウ 明朝新法主大 谷光演同道参上ノ儀 巢鴨大谷派中学卒業式併セ テ渥美契縁上京ニツキ明後一三日ニ拝謁願イタシ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載		冊子複製版 第4冊
38-3	広橋賢光書 翰 井上馨宛	広橋賢光	井上馨	明治35年8月 17日	1通	京都ノ情報 書宿局法主ノ退隱不可ヲ議決 新法 主管長就任ヲ辞退 嬖妾ノ件法主ニ迫リ解傭力 反対派画策 石川党・大学派ノ動キ 南条・清沢 財政整理ニ協力ノ誓紙 新法主東京居住ヲ希望			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載		冊子複製版 第4冊
38-4	広橋賢光書 翰 井上馨宛	広橋賢光	井上馨	明治35年9月 19日	1通	東本願寺事件逐妾問題解決ノトコロ 好僧妨害両 法主始メ悔悟十分ナラズ 財政困難ハ明ラカ悔悟 ノ期至ルベシ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載		冊子複製版 第4冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
38-5	広橋賢光書翰 井上馨宛	広橋賢光	井上馨	明治35(カ)年11月11日	1通	東本願寺事件配慮感謝 新法主参上二同行ノトコ口単独ニテ意見申述ベタキヨシ 新法主八渥美・石川ヲ排シ中間ノ上局組織ヲ意図 渥美排斥八檀徒不満ナラン 新法主権力収攬ノ意強シ法主交代セザル限り父子不和ノ因 新法主神鞭知常ニ相談ノモヨウ 資産名望ナキ政党员トノ交渉八望マシカラズ 石川舜台			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第4冊
38-6	広橋賢光書翰 井上馨宛	広橋賢光	井上馨	明治36年3月11日	1通	東本願寺事件二ツキ西下鳴謝 差支エアリ随行不能 四二万円事件前内局ト本山申立一致セズ前内局員ニ越権又ハ支途不明金アレバ宗派内ノ規則ニ照シ処分ノ要 規則改正調査会ノ審査ヲ経テ発表セザレバ物議ヲ起サン 上局員ノ更迭八関与サレザルガヨシ 会計評議員ヲ財政整理委員ニ任ズルコト 財団法人設定ノ件			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第4冊
38-7	広橋賢光書翰 伊東巳代治宛	広橋賢光	伊東巳代治	明治 年11月13日	1通	昨夜話ノ振合ニテ千家へ面談 研究会趣旨ニ基キ協力ノ約安心アレ 時機ヲ見テ同氏優遇ノ処置切望					冊子複製版第4冊
39	広岡逸人書翰 井上馨宛 [...]										
39-1	広岡逸人書翰 井上馨宛	広岡逸人	井上馨	明治23年2月12日	1通	本省前田次官就任以来一人ニテ掻キ廻シノ観 新大臣ハ脳病 古沢ハ参事官奥田ハ奏任二等特許局長ノヨシ 閣下信用サレシ者ハ浪人党ト称呼 自分記録課専務又他省へ売リツケノ内語					冊子複製版第4冊
39-2	広岡逸人書翰 井上馨宛	広岡逸人	井上馨	明治23(カ)年12月25日	1通	国会紛騒外客ノ批判扼腕 当地林政不整理 政党軋轢ノ地工工枯木ノ払下スラ面倒千万 部分林多ク伐植共厄介					冊子複製版第4冊
39-3	広岡逸人書翰 井上馨宛	広岡逸人	井上馨	明治24年3月30日	1通	今般非職 宮内省ヲ除キ官海断念 船舶事務ニ自信アリ 郵船会社理事ニ週旋乞ウ					冊子複製版第4冊
40	堀部直臣書翰 井上馨宛 [...]										
40-1	堀部直臣書翰 井上馨宛	堀部直臣	井上馨	明治34年2月8日	1通	当銀行善後処理ニ配慮感謝 継続方法ニ関スル臨時総会静穏ニ終了 未払株金払込可決 取締役引責辞職 次期総会マデ京地ノ吉左右待望					冊子複製版第4冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
40-2	堀部直臣書翰 井上馨宛	堀部直臣	井上馨	明治34年2月14日	1通	第九銀行善後策二ツキ配慮拝謝 復旧ノ目途電報二接シ感謝	歌 2首				冊子複製版第4冊
40-3	堀部直臣書翰 井上馨宛	堀部直臣	井上馨	明治34(力)年4月25日	1通	当地経済界破綻 福永銀行二続キ百五十一・九州商事両銀行休業 三銀行ノ善後策合同ノ時機ナルバシ 徳久知事上京報告アラン					冊子複製版第4冊
40-4	堀部直臣書翰 井上馨宛	堀部直臣	井上馨	明治34年5月1日	1通	第九銀行復旧本日開業 開業日景況報告					冊子複製版第4冊
41-1	福原恭輔書翰 井上馨宛	福原恭輔	井上馨	明治 年4月14日	1通	河上岩槌上京 製糸場処分ノ件相談セシカ 製糸場中止又ハ売払ハ不同意ノミナラズ行イガタキ事情歎願ノヨシ 運転資金山田家期待出来ズ起業資金据置キ希望 ソノ他					冊子複製版第4冊
42-1	福井菊三郎書翰 井上馨宛	福井菊三郎	井上馨	大正3年5月29日	1通	江木博士明日参上スベシ 業務刷新要綱有賀ヨリ供覧ノハズ 予審決定ノ日社長ヨリ全員二別紙訓示アリ 世人ノ疑惑ヲ招ク商売又ハ不馴レ商売ハ避ケ常業タル輸出入貿易ニ専心ノツモリ	訓示 社長 大正3年4月25日 1綴				冊子複製版第4冊
43	船越衛書翰 井上馨宛 [...]										
43-1	船越衛書翰 井上馨宛	船越衛	井上馨	明治21(力)年5月3日	1通	田畠交換区画改正ハ今日農業進歩ノ要件 畦畔廃除・牛馬耕地所交換奨励 地租条例ニヨリ手續煩雑等ノタメ実行者少シ ソノ対策当県ヲ例トシ畦畔廃除ニヨル推算					冊子複製版第5冊
43-2	船越衛書翰 渡辺千秋宛	船越衛	渡辺千秋	明治25(力)年10月22日	1通	自分重ネテ上京許可願ハ内願ノ件ノミナラズ面談イタシタキコトアリ 中国・四国辺風水害ノヨシ 本県ハ被害ナシ					冊子複製版第5冊
44-1	古市公威書翰 井上馨宛	古市公威	井上馨	明治27(力)年12月4日	1通	山中閑添書					冊子複製版第5冊
45-1	古谷久綱書翰 井上馨宛	古谷久綱	井上馨	大正4年7月27日	1通	木戸宛伊藤書翰国民新聞紙上ニ紹介 供覧					冊子複製版第5冊
46-1	藤井三郎書翰 井上馨宛	藤井三郎	井上馨	明治 年10月4日	1通	妻病氣中世話感謝 新聞ニヨレバ米国政府合併ニ意ナキ模様 人民投票ニヨリ政体ヲ定ムル外ハナシ 現政府ハコレニ反対ノヨシ 本邦人ニ万余ニ達ス					冊子複製版第5冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
47	藤波言忠書 翰 井上馨宛 [...]										
47-1	藤波言忠書 翰 井上馨宛	藤波言忠	井上馨	明治27年12月29日	1通	韓廷改進ノ計画ハ我維新ヲ想起 山県帰朝病氣モ快方ノヨシ心強シ 講和談判叙勲ノコト等陛下モ才喜ビナラン 朝鮮ノ有力者ヲ本邦視察ニ招カレテハ如何 渡韓支スル本邦人豪商人ニ非レバ商權ハ得ラレマジ					冊子複製版 第5冊
47-2	藤波言忠書 翰 井上馨宛	藤波言忠	井上馨	明治39年10月12日	1通	北海道新冠御料牧場樹木払下一件 三井物産引受ケノ話 ソノ代金ヲ以テ厩建築ニアテタク三井契約急ギタシ 菊池主馬助ヘ命ジ三井ヘ交渉周旋願ウ					冊子複製版 第5冊
47-3	藤波言忠書 翰 原田二郎宛	藤波言忠	原田二郎	明治 年1月23日	1通	井上伯伝・忠正公勤王事蹟拝謝 両陛下ヘ献上ノツモリ コレハ井上侯ノ活動ニ感動セシ自分ノ発意ナリ					冊子複製版 第5冊
47-4	藤波言忠書 翰 都筑馨六宛	藤波言忠	都筑馨六	明治34(カ)年8月16日	1通	桂・井上両公氣乗リウス失望 政事運動ヲスルニ非ズ 愚意ハ露清両国ニ対シ外交・商業上失策ナキヨウ国情調査必要 政府ハ技術者派遣モ必要ナレド国情外交ノコトヲ調査セシムルハ愚 井上伯ノ人選ニテ将来局ニ当ルベキ人派遣アリタシ					冊子複製版 第5冊
48	藤田伝三郎書 翰 井上馨宛 [...]										
48-1	藤田伝三郎書 翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治38年4月6日	1通	ハリストノ仮約恐縮 久原トノ衝突苦心 分離ハ不本意ナガラ決心 毛利家・井上伯ニ許可ヲ得ルヨウ房之助ヘ申聞ケタリ					冊子複製版 第5冊
48-2	松尾臣善書 翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治39年3月7日	1通	公債募集ニツキ心配感謝 申込額一億五千五百万余 正金銀行ノ件円満解決感謝					冊子複製版 第17冊
49	井上角五郎書 翰 井上馨宛 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
49-1	井上角五郎書翰 井上馨宛	井上角五郎	井上馨	明治17(カ)年4月6日	1通	再渡韓ノ予定 保護金少額ニテ入費ニ不足 外人筋ヨリ援助ヲ受クル見込ミアリ 日本ノ利害ニ関ワリナシ ソレニテヨロシキヤ 福沢宅へ仮寓中ナリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載		冊子複製版第6冊
49-2	井上角五郎書翰 井上馨宛	井上角五郎	井上馨	明治25年11月29日	1通	民党激派ノ当リ難キハ内閣干渉ノ過度ト国民協会中ノ温派ニヨル 第五議會ニ至ラバ霧消スベシ 予算不成立気懸リ 今回ゴ尽カニヨリ大任大イニ犬馬ノ勞ヲトル覚悟 炭坑株主ノ名義ヲ得議會活動ノ羽翼ヲ得ベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載		冊子複製版第6冊
49-3	井上角五郎書翰 井上馨宛	井上角五郎	井上馨	明治25(カ)年12月29日	1通	日々ト時事喧嘩 其極時事内閣ニ敵意 伊東・福沢ノ間ヲ奔走解決 時事現内閣ノ方針ヲ支持福沢ヨリノ伝言 炭坑一条売方失敗 田中・雨宮モ喜ビ小生モ相当ノ利益ヲ得 政界ノ景況			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載		冊子複製版第6冊
49-4	井上角五郎書翰 井上馨宛	井上角五郎	井上馨	明治26年1月9日	1通	査定議了今週中ナルベシ 自由改進黨マデ政府ノ同意ヲ求メルトイウ 選挙干渉上奏云々ハ両党ノ交渉未シ 軍艦製造費・地価修正否決トナルベシ 議会対策意見			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載		冊子複製版第6冊
49-5	井上角五郎書翰 井上馨宛	井上角五郎	井上馨	明治26(カ)年2月8日	1通	昨日議場ノ失敗申訳ナシ 上奏案可決ト信ジタレバ数ノ異同ハ問題ニセズ 休会動議ノ可決ハ残念 私共苦心ノ実情ハ察シアレ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載		冊子複製版第6冊
49-6	井上角五郎書翰 井上馨宛	井上角五郎	井上馨	明治26(カ)年3月12日	1通	別紙炭坑株主名簿送付 田中平八株大量ニ売り安心アレ 渋沢へハ役員改選時日アレバ貴命ナレド未ダ行カズ	株主名簿 1綴				冊子複製版第6冊
49-7	井上角五郎書翰 井上馨宛	井上角五郎	井上馨	明治26年5月11日	1通	田中平八参上ノ用件 炭坑会社總會ニテ役員選挙ニツキ事情説明ノタメ 役員候補者九名渋沢同意 コノ件北垣長官・土方宮相へヨロシク周旋乞ウ					冊子複製版第6冊
49-8	井上角五郎書翰 井上馨宛	井上角五郎	井上馨	明治27(カ)年10月13日	1通	新聞ニヨレバ朝鮮渡航ノヨシ 朝鮮ノ改良朝鮮ノ人物ノミニヨルベカラズ 日本政府然ルベキ人物ヲ朝鮮政府二人レ過激ノ改良ヲ加ウベシ 租制ノ改良第一 外務・内務・大蔵ヲ置キ他ハ廃止ソノ他			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載		冊子複製版第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
50	井上馨書翰 吉富簡一宛 (写) [...]										
50-1	井上馨書翰 吉富簡一宛 (写)	井上馨	吉富簡一	慶応元(力)年 9月7日	1通	暫時滞関予定 家ノコト依頼					冊子複製版 第6冊
50-2	井上馨書翰 春江宛(写)	井上馨	春江	慶応元(力)年 9月7日	1通	滞関時勢ヲ見合セン 薩ト真ノ合カナクテハ打開 叶ワズ 政局ノ根元固メルノ要					冊子複製版 第6冊
50-3	井上馨書翰 エンデ〔枢密 参事官教授兼 建築参事官〕 宛(写)	井上馨	井上馨	明治21年1月 11日	1通	悔ミ状					冊子複製版 第6冊
50-4	松方正義・井 上馨書翰 伊 東巳代治宛	松方正義・井 上馨連名	伊東巳代治	明治37年9月 29日	1通	添付ノ東京日々新聞切抜記事ハ兩人ヲ誣言スルモ ノ 従来ノ私交ヲ断タザルヲ得ズ			(注) 伊藤・ 山県幹旋ニヨ リ返却サレタ ル書翰カ		冊子複製版 第6冊
50-5	井上馨書翰 朝日奈知泉宛	井上馨	朝日奈知泉	明治 年11 月5日	1通	貴紙上ノ明治史譚中「井上伯と朝鮮政略」継続連 載見合セザウ					冊子複製版 第6冊
51-1	入江貫一書 翰 山県有朋 宛	入江貫一	山県有朋	大正4年4月 28日	1通	下命ニヨリ大浦内相二面会 内相説明ニヨレバ有 賀博士探査ノ事実ナシ 不審トスルトコロハ井上 侯宅ニテ支那ヨリ帰朝ノ博士ニ会イ 再会ヲ約シ タルニソノコトナク 压迫ノ事実ナシ					冊子複製版 第6冊
52	石黒忠恵書 翰 井上馨宛 [...]										
52-1	石黒忠恵書 翰 井上馨宛	石黒忠恵	井上馨	明治28年2月 15日	1通	病院へ足袋寄贈ガ基トナリ寄贈続キ支給ニ事欠カ ズ 山県伯快方 去年来東学党征討ニヨリ彼ノ負 傷者多カルベク 又人民施療ノ為メ医師・看護 手・薬剤ヲ送り救療院開設セバ本邦ノ仁事トナラ ン					冊子複製版 第6冊
52-2	乙酉会石黒忠 恵他六名連名 書翰 井上馨 宛	石黒忠恵	井上馨	大正3年12月 27日	1通	三〇年前長与専齋ヲ中心ニ乙酉会ヲ組成ノ際指示 ヲ乞イ 医事衛生事業ノ基礎確立ニ資セリ 小集 ヲ催スノ機会ニ連署シテ謝意ヲ表ス					冊子複製版 第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
53-1	板倉中書翰 井上馨宛	板倉中	井上馨	明治27年12月24日	1通	自己推薦状					冊子複製版第7冊
54-1	市原盛宏書翰 井上馨宛	市原盛宏	井上馨	明治 年2月26日	1通	横浜港改良計画小規模ニテ不満ノヨシ 出資ノ都合ニテ大規模ハ願ウトコロ 予算ヨリ五百万円廻シテイタダケレバ大規模浚渫ヲイタシタシ 将来ノ計画別紙図面一覽乞ウ					冊子複製版第7冊
55	一木喜徳郎書翰 江木千之宛 [...]										
55-1	一木喜徳郎書翰 江木千之宛	一木喜徳郎	江木千之	明治27年2月 日	1通	鹿児島着 前知事上申ノ分村ノ件最モ必要トスル村ハ民党抑圧ノタメ後廻シ 衆議院議員選挙取締ハ知事ノ諭示無視サルルノ景況 実ノ権力ハ書記官ニアリテ知事ニナク選挙取締絶望 県庁内情弊少キハ収税部監督ニ収税属ヲ出スヲ最モ良キ手段 知事書記官ノ転任希望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第7冊
55-2	一木喜徳郎書翰 井上馨宛	一木喜徳郎	井上馨	明治28年1月1日	1通	下命ノ沖縄制度改正案脱稿新大臣ニ提出 審議講究シ成案ヲ得ルヲ期待			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第7冊
56	伊東巳代治書翰 伊藤宮中顧問官宛 [...]										
56-1	伊東巳代治書翰 伊藤宮中顧問官宛	伊東巳代治	伊藤宮中顧問官	明治24(力)年5月14日	1通	電報翻訳送付 御申付ノ文案起草 浄書ノ上明朝供覧〔大津事件〕					冊子複製版第9冊
56-2	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治25年6月25日	1通	松方辞意 伊藤ノ意ハ政府ノ将来ヲ議スベキ時後任ノ詮議ノミナレバ与ラズト 弄花事件ニヨリ田中辞職 ソノ真意ハ法典問題カ 累ヲ大木・榎本ニ及ボサザルタメカ 榎本ハグズ条約改正覚束ナシ 田中後任ノ人事 伊藤ノ意ヲ受ケ黒幕会議 伊藤ノ入閣多難ナレバ進退明ニセザルヲ得ズ 閣僚ノ動向 西郷・品川ノ国民協会					冊子複製版第9冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
56-3	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治25年7月23日	1通	東京日日新聞八井伊ノ意見ヲ代表スルモノト世評喧シク 主幹ヲ定メザルヲ得ズ 朝比奈ニ囑託セリ 二宮熊二郎不適任 ソノ銀貨論凡庸解職セン 内閣不融合 高島・後藤・河野会合側聞スルニ白根在職中国民協会ニ入会勧誘ノ内訓 否定サレシモ内訓写ノ発見 松方ト高島トノ間面白カラズトイウ 松・後・河対高・樺等トノ間衝突カコノ天気春畝伯ニモ内話アリタシ					冊子複製版第9冊
56-4	伊東巳代治書翰 伊藤・井上宛	伊東巳代治	伊藤・井上	明治27年11月 日	1通	証札 東京日日新聞新機械購入費一三、〇〇〇円 寄附 愛護感謝					冊子複製版第9冊
56-5	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治28年1月11日	1通	伊藤・陸奥両大臣広島へ出発日々新聞連載記事其向キヨリ問合セアリ恐縮 二〇条目公表サレ韓廷ニ於ケル閣下ノ意図モ世人想察スルトコロ 井伯アリテ朝鮮憂イナシトス 志賀ノ筆端尖鋭トナル所以カ 以後朝比奈ニ注意 韓廷ノ腐敗時事モ報道シ桜痴「張嬪」ノ材八井上角五郎ニ出ルトイウ 彼ノ記事閣下ノ韓廷ニ於ケル苦心衆知ノ効果アラン					冊子複製版第9冊
57	伊藤弥次郎書翰 井上馨宛 [...]										
57-1	伊藤弥次郎書翰 井上馨宛	伊藤弥次郎	井上馨	明治28(カ)年2月8日	1通	備前小串製煉所設立資金不足ナレド前途有望 益田孝へ朝鮮鉱産云々ノ件鉱床検定ガ第一 ソレニハ老練ノ坑夫ト統御者一名ヲ充ツルニ如カズ 仙石亮					冊子複製版第9冊
57-2	伊藤弥次郎書翰 井上馨宛	伊藤弥次郎	井上馨	明治28(カ)年2月21日	1通	鉱山師派出一条 益田孝ヨリモ意見具申ノヨシオ指図ヲ待ツ 上野朔郎進学ノコト 瀬脇寿雄紹介					冊子複製版第9冊
57-3	伊藤弥次郎書翰 井上馨宛	伊藤弥次郎	井上馨	明治 年6月13日	1通	捲上機械英国へ発注柏村翁へ報告 尾去沢事件証人トシテ古沢滋等東京裁判所へ呼出シ 衆議院混雑ニテ延引 大森鉱山湧水右ノ対策 ハーゼー小阪黒鉱原料調査外務省パスポート下付セズ栗野慎一郎へ照会中					冊子複製版第9冊
58	岩倉具定書翰 井上馨宛 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
58-1	岩倉具定書 翰 井上馨宛	岩倉具定	井上馨	明治24(カ)年 12月23日	1通	樺山演舌二衆議院議員憤怒 改進黨員某信任投票ノ議ヲ自由党二持掛ケントシテ塩田奥造二面会板垣之ヲ拒否セリト警視總監ヨリノ密報 松方停会ノ勅令ヲ企図閣議一致セズ 後藤・陸奥ハ予算案決議マデ見送りノ意見 榎本・田中モ不同意 松方二六日二八停会強行 ソノタメニ大臣辞職ノ模様 品川・井上毅等苦心ノヨシ					冊子複製版 第10冊
58-2	岩倉具定書 翰 井上馨宛	岩倉具定	井上馨	明治35(カ)年 11月10日	1通	東本願寺一件二ツキ大谷光演二面談クダサルヨシ 親戚一人同席スベシトノ意向ニテ私ヘ伝言アリタルモ差支エアリ出席カナワズ					冊子複製版 第10冊
58-3	岩倉具定書 翰 井上馨宛	岩倉具定	井上馨	明治36(カ)年 6月17日	1通	大谷ノ書状渡シ渥美・石原等ヘ内談 電信ニテオシラセノ通り金子八郎京ノ際持帰ルツモリ 俊子洋行前西下ノコト 光勝・渥美等感謝					冊子複製版 第10冊
59	岩倉具経書 翰 井上馨宛 [...]										
59-1	岩倉具経書 翰 井上馨宛	岩倉具経	井上馨	明治18年3月 30日	1通	朝鮮事件尽力ニヨリ好結果 伊藤参議遣清奉公 欧洲ニテモ清仏事件・英独不和・スダン戦争等起リ諸公使勉勵ナラン 自分一月着任花房公使誘引ニテ多幸 花房公使帰国ノ節ハ自分代理トナルカ					冊子複製版 第10冊
59-2	岩倉具経書 翰 井上馨宛	岩倉具経	井上馨	明治19年6月 28日	1通	花房公使帰朝 二年余代理勤務ヲ予定シ大借ツクレリ 露国ハ専制国ナレバ時ノ権門トノ交際ガ肝要 樺太漁業一条中央・地方イズレニ権限アリヤ不明 実情把握ニ苦心多シ 仏語勉強ノコト					冊子複製版 第10冊
59-3	岩倉具経書 翰 井上馨宛	岩倉具経	井上馨	明治20年1月 10日	1通	花房後任西徳二郎拜命ノ趣外務省ヘ通知セリ 代理解任ニアタリ他ヘ代理力公使ヘ特撰ヲ賜リタシ					冊子複製版 第10冊
59-4	岩倉具経書 翰 井上馨宛	岩倉具経	井上馨	明治 年12 月7日	1通	爵位令集会明日差支エアリ 機密一件書取意見承知 左府公異論アリ急ニ八運ビガタシ					冊子複製版 第10冊
59-5	岩倉具経書 翰 井上馨宛	岩倉具経	井上馨	明治 年4月 21日	1通	北垣知事上京大谷派本願寺一条才聞キノコトナラン 使僧平野履信至急拜謁ヲ願イオリ 明朝参堂ヨロシク願ウ					冊子複製版 第10冊
60-1	岩下清周書 翰 井上馨宛	岩下清周	井上馨	明治45年6月 6日	1通	藤田男言行録脱稿 記載要目別紙一覽願ウ 百日祭二靈前二供シ博文館ヨリ出版 題字ヲ賜リタシ	網川藤田翁言行録 (要目) 1綴				冊子複製版 第10冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
61-1	井関美晴書翰 井上馨宛	井関美晴	井上馨	明治23年12月26日	1通	二四年度経費六万円ノ予算書柏村へ提出 ココ数年臨時費多ク年平均八万円 六万円ノ予算ナレバ役員減少減給ノ外ナシ					冊子複製版第10冊
62-1	海江田信義書翰 井上馨宛	海江田信義	井上馨	明治26年2月15日	1通	自著「日本政綱論」寄贈添書					冊子複製版第10冊
63-1	貝島太助書翰 井上馨宛	貝島太助	井上馨	明治39年1月13日	1通	若松築港炭積棧橋竣工 三千屯ノ船入港可能 改良スレバ六千屯ノ船モ可能 築港会社長白石上京引見願ウ					冊子複製版第10冊
64-1	金森通倫書翰 井上馨宛	金森通倫	井上馨	明治23年7月18日	1通	自分同志社ヲ退社東上 後任八小崎弘道					冊子複製版第10冊
65	金子堅太郎書翰 井上馨宛 [...]										
65-1	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治22年5月1日	1通	福岡へ出浮感謝 炭坑会社株金分配ノ件 発起人ヨリ申出アルモ配当見合せ乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-2	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治22年5月14日	1通	栗野ヨリ願済ミノ豊筑鉱業株金分配決定乞ウ 福岡ヨリノ報告ニヨレバ四ヶ村借区ニテ七分通り入手 会社設立出願ヲ急グ					冊子複製版第11冊
65-3	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治26(カ)年1月26日	1通	黒田大臣二面会 議会対策八井上内相ノ担任ナレバ井上及ビ伊藤・山県三大臣へ話シクレトアリ 三大臣上申済ミナレバ異存ナシトノコト 福岡県筑後川改修工事明治二〇年ヨリノ計画 方針変更ナキヨウ願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-4	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治26年6月3日	1通	井上文相へ相談 閣下へ上申スベシトアレバ書中開陳 郡司大尉ノ短艇ニハ沈没 他モ残ル行程ノ危険甚シ 遭難ハ海国日本ノ前途ニ有害 短艇行ヲ廃止セシメ千島迄送致サレタイ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-5	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治26年12月24日	1通	衆議院議員ノ情報ニヨレバ廿九日開会見合せ 休会ハ議長一任ニ各派交渉中 千島艦問題・条約履行問題発議不能 千島艦上奏案改進黨中紛議中ノヨシ					冊子複製版第11冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
65-6	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治27年1月25日	1通	議会解散後ノ対策計画アラン 選挙区色分ケ図ニテ対策然ルベシ 警保局ニテ作製済ノヨシ 六団体連合シテ政府ニ反対ノ形勢ハ警戒ヲ要ス 反対党分散セシムルノ必要欧州立憲政ノ常例ナリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-7	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治33年3月12日	1通	貴衆両院通過ノ興業銀行主宰ハ閣下ノ配下ニアル人藤田伝三郎ガ適當 伊藤侯ト相談決定アリタシ 英国ギベン著「英国工業歴史」郵送			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-8	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治33年3月16日	1通	伊藤侯指摘ノ藤田欠点承知 ソノ欠点アルニヨリ社会ハ敬重 興業銀行総裁トシテ他ニ適任ナシ将来閣下ノ経済政策羽翼タルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-9	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治33年3月18日	1通	愚見採用感謝 藤田呼寄せ相談ノヨシ 伊藤侯意見ニテハ藤田組ハ長男ヲ責任者トシ伝三郎興業銀行専任 閣下経綸遂行上コノ上ノ便宜ナカラシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-10	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治33(カ)年8月8日	1通	都築伝言伊藤侯ヘ開陳 発会式ニ貝島参列 当日貝島ヲ政友会評議員ニ任命方福岡ヨリ申出アリ 伊藤侯ハ閣下ニ相談セヨトノコトヨロシク願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-11	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治33年10月11日	1通	渡辺前非ヲ悔イイルヨシ 宮相一条閣下ニ告グズ本人ヘハ千秋男ヨリ厳戒アリ 渡辺閣下ニ面会希望ナレド出先不明ニテ伊藤侯ヲ訪問セリ 宮相ノ方事件ハ之無キ体ニ処置シタキヨシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-12	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治33年10月15日	1通	田島伝言ノ趣承知 渡辺態度大磯ノ折トハ一変強情不遜 帰京後煽動ヲ受ケ元老ニモナリタル心地力 新聞漏洩ノ件モ意ニ介セズ自責ノ念ナキニ似タリ 総務委員辞任セシメン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
65-13	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治33年10月16日	1通	今度ノコト狂人ノ振舞イ 伊藤侯ノ寛恕友人ノ忠告ニモ反省ナク不遜救イガタシ 本日総務委員会ノ結果ニヨリ自分決心アリ 下阪見合せセウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-14	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治33年10月18日	1通	伊藤侯二面会 渡辺一条伊藤侯ニ於イテ不日処分トノコト 絶交又ハ脱会力 配慮水泡遺憾ナレド内閣組織ハ進行 彼入閣セザル以上閣下ゼヒ伊藤侯加勢アリタシ 阪地実業家取纏メヨリ入閣助勢願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-15	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治33年10月29日	1通	内閣組織後首相病氣ニテ彼一件ソノママ 首相仮撰ハ西園寺國務ノ進行ニ支障ナシ 京地ノ形勢報知スベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-16	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治35年2月16日	1通	有賀三井家ニ採用ナリタルト通知シ来レリ 尽力感謝					冊子複製版第11冊
65-17	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	大正3年12月3日	1通	赤石局長ヨリ伝言拝承 史料編纂局ト明治天皇紀編纂局トノ関係トツキ波多野宮相ハ重複スマジトノ意見 維新史料編纂局沿革陛下ニ奉呈ノヨシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-18	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	大正3年12月21日	1通	維新史料編纂局ニツイテ八山県・松方・大山諸公ニモ意見アリ 土方伯トモ協議返事アリ次第報告スベシ 沖家負債関係銀行頭取ト相談 ソノ対策条件			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-19	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	大正4年1月19日	1通	土方伯ヘ交渉ノ総裁兼任不能 波多野宮相意見モ両編纂局合併及ビ土方総裁ハ不可トイウ 両局関係ハ宮内省ノ方史料蒐集セズ史料ハ維新史料ノ方ニ抛ルトノコト			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-20	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	大正4年2月17日	1通	赤司・中原ヨリノ伝言宮内大臣ヘ伝達 後日顧問会議開催決定ノヨシ 宮内省ヨリ依頼ノ史料借覧ノ件ハ来月ノ顧問会議マデ一応承諾			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
65-21	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	大正4年7月12日	1通	本会顧問委員ヲ召集 本会ト臨時編纂会トノ協定ヲ報告 花房委員代表シテ挨拶 出席者総意ニテ閣下ヘ伝致			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
65-22	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治 年6月25日	1通	国際公法会出席 瑞西へ出発挨拶					冊子複製版第11冊
65-23	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治 年 月 11日	1通	小倉近傍鉄山ニツキ鉱山局技師ニ尋ネシトコ口良好ナレド同地区鉱脈ハ片塊ニテ従来失敗ノ理由ナリト 十分測量シテ良否確認セン					冊子複製版第11冊
65-24	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	明治 年 月 26日	1通	別冊供覧					冊子複製版第11冊
65-25	金子堅太郎書翰 井上馨宛	金子堅太郎	井上馨	年9月25日	1通	礼状					冊子複製版第11冊
66	神野金之助書翰 井上馨宛 [...]										
66-1	神野金之助書翰 井上馨宛	神野金之助	井上馨	明治36年11月19日	1通	尾張割当四拾五万円中二拾五万円ノ寄附記帳済新門主巡錫人氣良シ 残額記帳好結果ヲ得ン					冊子複製版第11冊
66-2	神野金之助書翰 井上馨宛	神野金之助	井上馨	明治43年1月16日	1通	真宗大谷派名古屋別院維持財団別紙財産目録・貸借対照表貴覽ニ呈ス	財産目録 1綴・第4期貸借対照表 1枚				冊子複製版第11冊
67-1	笠井順八書翰 中沢岩太宛	笠井順八	中沢岩太	明治 年8月23日	1通	独乙教師雇入レニツキ通弁撰挙ノ件 社内人事ノコト 弊社給与					冊子複製版第11冊
68	柏村信書翰 井上馨宛 [...]										
68-1	柏村信書翰 井上馨宛	柏村信	井上馨	明治22年9月26日	1通	就産所ヨリ笠井工場へ貸下金 宗像へノ貸付金返済ノコト ソノ他					冊子複製版第11冊
68-2	柏村信書翰 井上馨宛	柏村信	井上馨	明治23年5月23日	1通	正二位公病氣ノコト ソノ他					冊子複製版第11冊
68-3	柏村信書翰 井上馨宛	柏村信	井上馨	明治23年8月24日	1通	共栄社一件商船共栄両社有志協議 社長解職ハ承服シガタシ 重役提出議案					冊子複製版第11冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
68-4	柏村信書翰 井上馨宛	柏村信	井上馨	明治23年12月28日	1通	協議人集会二四年常用金予算提出 毛利家家事向報告 藤田組ノ件 下河辺出京 築地地処ノコト 児玉湾	明治二四年度御当用金支出予算 1綴				冊子複製版第11冊
68-5	柏村信書翰 井上馨宛	柏村信	井上馨	明治 年1月24日	1通	門司築港会社ヨリ買取地所ノ件 児島湾一条					冊子複製版第11冊
69	柏村庸書翰 井上馨宛 [...]										
69-1	柏村庸書翰 井上馨宛	柏村庸	井上馨	明治23年6月25日	1通	来場見分万謝 愚父へ御話ノ硝子会社役員一同参集八廿七日二相触レ 西村へモ電報セリ					冊子複製版第11冊
69-2	柏村庸書翰 井上馨宛	柏村庸	井上馨	明治24年4月26日	1通	硝子会社金融始末自分一人二任セラレタル体ニテ困却 本月中ノ支払ナケレバ訴訟ニ及ブト キリン麦酒ニ減価売込手配セシモ貯蔵アリテ不成立 深川金庫ニ預ケ保管状ニテ三菱銀行ニ融資申込ミ 頭取病氣中ニテ纏ラス 益田・馬越へ金融ノ件尽力方口添工願ウ	品川硝子会社毛利家借入金返済嘆願書 1綴				冊子複製版第11冊
70	片岡直温書翰 井上馨宛 [...]										
70-1	片岡直温書翰 井上馨宛	片岡直温	井上馨	明治38年9月22日	1通	今朝来相談ノ件別紙 デビス呼寄せテモ間違ナキツモリ (別啓) 年限八当方注文通り ロンドンヨリ来月一〇日マデ条件継続ニツキ返電アルハズ 一度デビス呼寄せアリタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載		冊子複製版第11冊
70-2	片岡直温書翰 井上馨宛	片岡直温	井上馨	明治38年10月2日	1通	先刻話セシ書面接手 チャーダトバンクノ契約ヲ知り条件付加ノ点アリ 社債送付費・罰金ノ件等直接交渉ヲ要ス 明日デビストノ会見ノ際小生控エノ必要アリトノコトニテ出発見合せ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載		冊子複製版第11冊
70-3	片岡直温書翰 井上馨宛	片岡直温	井上馨	明治38年10月7日	1通	横浜ニテ弁護士立会イデビスへ面会 ロンドンヨリ同意ノ回答ヲ得タルヨシ 炭砒ト関西ノ年限ニツキナオ問合せノ他解決 コツミンションノ要求ハ拒絶 ロンドンヨリ返電ナク延引中右次第団氏へ通報イタシタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載		冊子複製版第11冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
70-4	片岡直温書翰 井上馨宛	片岡直温	井上馨	明治38年10月15日	1通	デビストノ交渉進行 当方修正ノ要点 社債授受地日本 ワラスチー費用折半 三週間内ニ認可ノ件逋信大臣ニ申入レ中 炭鑛ノ方井上角五郎現在ノ金主ト交渉カ デビストノ会談断ル 慎重ヲ要ス			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
70-5	片岡直温書翰 井上馨宛	片岡直温	井上馨	大正4年1月8日	1通	箕面電鉄岩下辞職後整理出来 重役組織ニ相談ヲ受ケ井上周推薦セリ 承諾セウ					冊子複製版第11冊
71	加藤正義書翰 伊藤宛 [...]										
71-1	加藤正義書翰 伊藤宛	加藤正義	伊藤	明治 年11月15日	1通	仏画ハイゼー軽快次第自分持参スベシ同人帰国ノ風評営業関係モアリ事実ナキコト伯へ伝達セウトナリ					冊子複製版第11冊
71-2	加藤正義書翰 井上馨宛	加藤正義	井上馨	明治 年11月29日	1通	示教敬承					冊子複製版第11冊
72-1	楢取素彦書翰 井上馨宛	楢取素彦	井上馨	明治26年1月12日	1通	特別地価修正法案ハ愚存モアリ否決賛成			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
73	勝間田稔書翰 井上馨宛 [...]										
73-1	勝間田稔書翰 井上馨宛	勝間田稔	井上馨	明治20年8月5日	1通	瀬戸陶器ノコト 条約上ニ一議論発生ノヨシ 隠遁ノ準備ハ感服出来ズ 内閣諸公維新再演ノ勇断アレ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊
73-2	勝間田稔書翰 井上馨宛	勝間田稔	井上馨	明治21年12月14日	1通	区長退職 後任人事服部直衛・野村賀真 西村捨三ノ話福井県知事石黒務自治研究会ニ加入希望 石黒ニヨリ駿遠・越前・江州ノ収攬可能 此儀才含ミ願ウトナリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第11冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
73-3	勝間田稔書翰 井上馨宛	勝間田稔	井上馨	明治22年5月18日	1通	別紙内覧乞ウ(別紙) 後藤伯入閣八大誤謬ニ非ルヤ 首相・枢密院議長共ニ地方官ニ対シ政府ハ政党外ニ立ツト言明アリ コノ矛盾ハ政府輕視ノ一因タラザルカ 異質ノ集合破裂ハ近カラシ 大同派旧ニ倍シ純良党派現政府ニ絶望セン 同志諸公ハ下野シ大同派ノ成績ヲ看視スベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載		冊子複製版第11冊
73-4	勝間田稔書翰 井上馨宛	勝間田稔	井上馨	明治24年2月15日	1通	国会開設以來ノ紛擾ハ国会トハコンナモノカ 政府ノ脅威タリ得ザルハ山県伯ノ幸イカ 豊橋新田御覽ノヨシ喜バシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載		冊子複製版第11冊
73-5	勝間田稔書翰 井上馨宛	勝間田稔	井上馨	明治28年1月26日	1通	連戦連勝未嘗有ノ慶事 朝鮮ノ收拾苦心拝察 当地押川某耶蘇教伝道ニテ名望アリ 韓地教育ヲ目指シ日本海外教育会ヲ発起韓地視察閣下へ紹介ヲ願工リ					冊子複製版第11冊
73-6	勝間田稔書翰 井上馨宛	勝間田稔	井上馨	年6月3日	1通	閣下深川大寧寺ニテ蜀紅錦御覽ノヨシ 寺僧売払モ可ナリトナリ					冊子複製版第11冊
74-1	川田小一郎書翰 井上馨宛	川田小一郎	井上馨	明治24(カ)年1月20日	1通	政府万事六十七条ノ結果如何ニアルベシ ソノ後形勢何ウツモリノトコロ卒倒気味ニテ加養中貴族院ニ緊急動議提出ノ懸念ニテ出席スベシトノオ手紙 明朝ノ模様ニテ出勤スベシ					冊子複製版第13冊
75	川崎正蔵書翰 井上馨宛 [...]										
75-1	川崎正蔵書翰 井上馨宛	川崎正蔵	井上馨	明治20年4月15日	1通	工場繁忙ニテ疎遠失礼 内海知事伝言拝承 昨年五月ヨリ一二月計算書別紙甲ノ通り農商務省へ上申 当年注文別紙乙ノ通り 工場拡張中ナリ	(甲号) 御貸下金実況取調書 明治一九年分 1綴 (乙号) 建造中船舶表 1枚				冊子複製版第13冊
75-2	川崎正蔵書翰 井上馨宛	川崎正蔵	井上馨	明治 年3月31日	1通	夫人病氣見舞					冊子複製版第13冊
76-1	梶山鼎介書翰 井上馨宛	梶山鼎介	井上馨	明治27年10月2日	1通	中山忠光一件 長府ヨリ宗家へノ報告並ビニ文書抜き書キ送呈	届書写抜書				冊子複製版第13冊
77	木村清四郎書翰 井上馨宛 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
77-1	木村清四郎書翰 井上馨宛	木村清四郎	井上馨	明治34年1月4日	1通	熊本第九銀行仕払停止後人心動揺 百五十一銀行救済 第九銀行存廃貸借勘定精査ノ上評決ノハズ					冊子複製版第14冊
77-2	木村清四郎書翰 井上馨宛	木村清四郎	井上馨	明治38(力)年8月21日	1通	別紙供覧	内外正貨概算・横浜正金銀行在外所有公債・正金銀行二対スル諸貸出調 1綴				冊子複製版第14冊
77-3	木村清四郎書翰 井上馨宛	木村清四郎	井上馨	明治39年2月11日	1通	減債基金一億一千万円支途 内債募集二億一度説ト一億二度説 佐々木・豊川意見					冊子複製版第14冊
77-4	木村清四郎書翰 井上馨宛	木村清四郎	井上馨	明治39年3月3日	1通	銀行協議会開催 渋沢男趣意陳述 応募銀行					冊子複製版第14冊
78	木村正幹書翰 井上馨宛 [...]										
78-1	木村正幹書翰 井上馨宛	木村正幹	井上馨	明治20年9月6日	1通	山口就産所持正金銀行新株 別紙相場所朱点ノ通り売払利益ナルベシ	東京株式取引所建相場 明治20年9月6日 活版 1枚				冊子複製版第14冊
78-2	木村正幹書翰 井上馨宛	木村正幹	井上馨	明治22年5月27日	1通	正金新株五〇五株中四一ニ株売付 残り九三株モ売り惣高五四円マデノ手取りナルベシ 古株五〇五株三〇株ダケ到着 ソノ余電信ニテ催促 セメント会社ノコト江村ニ依頼					冊子複製版第14冊
78-3	木村正幹書翰 井上馨宛	木村正幹	井上馨	明治22年7月30日	1通	旧株今村尽力 二〇〇株ダケ二六四円五〇銭ニテ引受承諾	各公債株券直取引相場附 (東京株式取引所相場附第九三二号 附録) 明治22年7月30日 活版 1枚				冊子複製版第14冊
78-4	木村正幹書翰 井上馨宛	木村正幹	井上馨	明治22年10月1日	1通	山県本日未着今晚帰朝力 才申聞承知 万事田島差函ニ随ワン 送金ノ件 商業上ノ諭旨孝ニモ申聞ケ厚情感謝 正金株下落ソノ売却ノコト					冊子複製版第14冊
78-5	木村正幹書翰 井上馨宛	木村正幹	井上馨	明治23年2月25日	1通	授産金分配紛糾ノタメ萩へ出張御苦勞 金融逼迫 商人困難正金旧株安値故ソノママ据置 諫早氏千早丸ノコト敬承 担当者トモ協議 別紙ニテヨロシケレバ引受ケン	正金旧株売値利子 1枚				冊子複製版第14冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
78-6	木村正幹書翰 井上馨宛	木村正幹	井上馨	明治 年1月13日	1通	麦作懸念支那米輸入力 流行性感冒小室モ香港ニテ罹病 福原帰朝モ遅延 議会ノ醜状如何落着セン 為替送金 セメント・硝子 三井相談会孝ヨリ報告ノハズ					冊子複製版第14冊
78-7	木村正幹書翰 井上馨宛	木村正幹	井上馨	明治 年9月21日	1通	正金株安値計画通りニナラズ 新株相場面一四四円ヲ見切売一四〇円トスレバ云々					冊子複製版第14冊
78-8	木村正幹書翰 井上馨宛	木村正幹	井上馨	明治 年12月31日	1通	大阪廻金送金済 正金株相場値動キニツイテ					冊子複製版第14冊
78-9	木村正幹書翰 井上馨宛	木村正幹	井上馨	明治 年 月 4日	1通	福原令嬢横浜行八日都合如何					冊子複製版第14冊
78-10	木村正幹書翰 井上馨宛	木村正幹	井上馨	明治 年 月 17日	1通	才預リ金中通帳発行一件ソノ他					冊子複製版第14冊
78-11	木村正幹書翰 井上馨宛	木村正幹	井上馨	明治 年 月 19日	1通	正金株片付別紙ノ通り割賦済ミ 野村上都合ニテ負債片付 品川・桂分共処理委細帰京報告スベシ	正金銀行新株売却差引 1枚				冊子複製版第14冊
79-1	北畠道竜書翰 井上馨宛	北畠道竜	井上馨	年 月 日	1通	献本添書					冊子複製版第14冊
80	北野元峰書翰 井上馨宛 [...]										
80-1	北野元峰書翰 井上馨宛	北野元峰	井上馨	明治26年6月6日	1通	総持寺ヨリ謝罪及ビ歎願ノ旨永平寿へ申込 麻時玄澄ノ使来訪 永平寺十分講究スベク猶予願ウ由					冊子複製版第15冊
80-2	北野元峰書翰 井上馨宛	北野元峰	井上馨	明治26(力)年5月27日	1通	服部元良宗門事務取扱辞退提出 同人ヲ召喚適意ノ者ニ下命アリタシ					冊子複製版第15冊
80-3	北野元峰書翰 井上馨宛	北野元峰	井上馨	明治26(力)年5月28日	1通	代理小松五宗ヲ服部元良へ差河ケ辞表撤回ヲ忠告 同人ソノ義ニ服シ事務取扱就任決意 同人辞表差戻シ願ウ					冊子複製版第15冊
80-4	北野元峰書翰 井上馨宛	北野元峰	井上馨	明治 年2月10日	1通	約束ノ原人論・六祖壇經才届ケ 初会講義八通知次第出頭スベシ 次会八第一会講了後決メラレテ八如何					冊子複製版第15冊
81	吉川経健書翰 井上馨宛 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
81-1	吉川経健書翰 井上馨宛	吉川経健	井上馨	明治26年4月28日	1通	懇親会開催					冊子複製版第15冊
81-2	吉川経健書翰 井上馨宛	吉川経健	井上馨	明治 年6月1日	1通	自分失策事件御面倒感謝 ソノ地家事面					冊子複製版第15冊
82	吉川重吉書翰 井上馨宛 [...]										
82-1	吉川重吉書翰 井上馨宛	吉川重吉	井上馨	明治22年2月1日	1通	青木次官自分退職二同意ノヨシ 進退八閣下ノ承諾ヲ要スルニツキ然ルベク応接乞ウ					冊子複製版第15冊
82-2	吉川重吉書翰 井上馨宛	吉川重吉	井上馨	明治25年1月21日	1通	田島身上二高輪関係一件八本人ノ名誉ナレド将来掛念					冊子複製版第15冊
82-3	吉川重吉書翰 井上馨宛	吉川重吉	井上馨	明治28年5月10日	1通	朝鮮ノコト改革途ニツキ冒出度シ 私都合ニヨリ渡鮮カナワズ					冊子複製版第15冊
83	児玉少介書翰 井上馨宛 (ほか)										
83-1	児玉少介書翰 井上馨宛	児玉少介	井上馨	明治22(カ)年11月16日	1通	士族分取論モ余疾全癒トイウワケニ参ラズ オ馬杉翁ノモノ不用ノ由周布公平ヨリ聞ク オ馬共借屋願フレマジクヤ					冊子複製版第15冊
83-2	児玉少介書翰 井上馨宛	児玉少介	井上馨	明治23(カ)年2月1日	1通	近火見舞謝 政界ノ成行洞察ナルベシ 森岡快方見舞状ニ小生謝意加筆乞ウ					冊子複製版第15冊
83-3	児玉少介書翰 井上馨宛	児玉少介	井上馨	明治24年8月10日	1通	草稿心付ノ通り 山田伯モ賛意修正					冊子複製版第15冊
83-4	児玉少介書翰 井上馨宛	児玉少介	井上馨	明治27年3月15日	1通	病気 庭作り連絡					冊子複製版第15冊
83-5	児玉少介書翰 井上馨宛	児玉少介	井上馨	明治28年5月15日	1通	新聞ニテ不例ト知り田島へ聞合セリウマチト承知ス 遼東返戻発詔 経済上ハ妙力種々物議アリ違算ナキ信ヲズ					冊子複製版第15冊
83-6	児玉少介書翰 井上馨宛	児玉少介	井上馨	明治33年9月19日	1通	過般内示ノ件 内務省総務長官ヨリ地方長官ヘノ通牒ノゴトク表裏矛盾スルハ遺憾 折角ノ奔走モ徒為ナルベシ 檜垣富山出發後沙汰ナシ 大阪・千葉・徳島他入党長官如何ナラン					冊子複製版第15冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
83-7	児玉少介書翰 井上馨宛	児玉少介	井上馨	明治34年8月23日	1通	山間ノ養生大患後適当ナラン 小野田一件恵憐ヲ得一同感激 自分職ニアル限り努力セン ソノ他漢詩					冊子複製版第15冊
83-8	児玉少介書翰 井上馨宛	児玉少介	井上馨	明治35(力)年11月15日	1通	内示ノ件益田ヨリ聴取アラン 桂伯へ願出 通輦決定臨御ハ障碍アリ 鷹司待從派遣 山県桂尊意ニ協フズ同情アリ					冊子複製版第15冊
83-9	児玉少介書翰 井上馨宛	児玉少介	井上馨	明治 年9月24日	1通	古銅運鉢九五円二引詰メ買取レリ					冊子複製版第15冊
83-10	児玉少介書翰 井上馨宛	児玉少介	井上馨	明治 年12月31日	1通	橋本ヨリ近況拝承 当地模様承知ナラン 漫遊ハ卓見感服					冊子複製版第15冊
84-1	国分象太郎書翰 井上馨宛	国分象太郎	井上馨	明治28年5月16日	1通	外務大臣ヨリ申入レノ通り来館ノ回答アリ 浅山顕蔵ヨリノ伝言 国王明日各大臣招集午後入闕アルベシト朴内務大臣返答					冊子複製版第15冊
85	小松原英太郎書翰 井上馨宛 [...]										
85-1	小松原英太郎書翰 井上馨宛	小松原英太郎	井上馨	明治17年9月11日	1通	伊ネーブルス港上陸成ラズ 仏マルセーユ港上陸伯林着 青木公使へ条約改正ノ件命ノ通り伝達 独政府態度変更ハ報告済ミノヨシ 蜂須賀公使へモ伝達 花房公使維納へ来遊中ニテ近く出会 自分携行メモランダム修正アリテ青木公使へノ電報 各国公使ノ回答好都合ナリト			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第15冊
85-2	小松原英太郎書翰 渡辺次官宛	小松原英太郎	渡辺次官	明治25年11月14日	1通	知事以下更迭ニヨリ属官等疑懼 変革ヲ手控中収税部二印紙紛失事件発覚 従来課長政治為二知事ニ達セザル弊 町村監督前内相ノ訓令苛細ニワタリ取消シノ建議アラン 県下巡視細察ノ評モ事務整理上ヤムヲ得ズ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第15冊
85-3	小松原英太郎書翰 井上馨宛	小松原英太郎	井上馨	明治27年7月21日	1通	先夜拝謁後司法大臣二面謁懇談 熟考不適任辞退仕リタシ 岡山県一件松岡次官ニ談示 警部長召喚見合ワセ 松山岩三郎へ書面遣シ見ルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第15冊
86-1	小宮三保松書翰 井上馨宛	小宮三保松	井上馨	明治 年11月12日	1通	先刻下命ノ件宮内省二大臣他退出後ニテ不明					冊子複製版第15冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
87	光妙寺三郎書翰 井上馨宛 [...]										
87-1	光妙寺三郎書翰 井上馨宛	光妙寺三郎	井上馨	明治13年3月1日-5月15日	1綴	金子借用証書並二返済金添書					冊子複製版第15冊
87-2	光妙寺三郎書翰 井上馨宛	光妙寺三郎	井上馨	明治24年12月20(カ)日	1通	春畝伯山口 閣下八磯辺へ才越シトノコト 別用ナケレド参上ヨロシキヤ					冊子複製版第15冊
88	近藤廉平書翰 井上馨宛 [...]										
88-1	近藤廉平書翰 井上馨宛	近藤廉平	井上馨	明治39年8月18日	1通	満韓清視察出発挨拶					冊子複製版第15冊
88-2	近藤廉平書翰 井上馨宛	近藤廉平	井上馨	年10月19日	1通	所感記載別紙貴覧二呈ス					冊子複製版第15冊
89-1	久保田讓書翰 井上馨宛	久保田讓	井上馨	明治33年1月22日	1通	山口高等学校経費不足 国庫支援ハ独立独行ノ特色ヲ失スル所以 政府支出金ヲ謝絶サルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第15冊
90	久原房之助書翰 井上馨宛 [...]										
90-1	久原房之助書翰 井上馨宛	久原房之助	井上馨	明治33年10月16日	1通	近況消息					冊子複製版第15冊
90-2	久原房之助書翰 井上馨宛	久原房之助	井上馨	明治36年2月1日	1通	身辺消息					冊子複製版第15冊
91	国重正文書翰 井上馨宛 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
91-1	国重正文書 翰 井上馨宛	国重正文	井上馨	明治20年6月 21日	1通	北陸地方鉄道布設二関シ目下鉄道布設各府県競 合 国家財政上許可ナリ難キトノ内旨 当地方熱 度高ク請願委員上京 引見聴取願ウ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載		冊子複製版 第15冊
91-2	国重正文書 翰 井上馨宛	国重正文	井上馨	明治27年4月 30日	1通	芝罘批准ノ模様如何 露仏異議申入レノウウサ気 懸リ 杉翁ヨリ下渡金落手 負債消却感謝					冊子複製版 第15冊
91-3	国重正文書 翰 井上馨宛	国重正文	井上馨	明治28年3月 5日	1通	内外政事鞅掌維新前後ヲ想起 私負債二ツキ千円 拝受 家計相立チ感謝					冊子複製版 第15冊
92-1	倉知鉄吉書 翰 井上馨宛	倉知鉄吉	井上馨	明治32年9月 8日	1通	白耳義人メー氏二ツキ本野公使二探知依頼 同人 八金満家 渡日ハ視察目的又日本滞在ノ見込ニテ 出発ノハズ 同人弟八在日公使館書記官トノ返書 アリ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載		冊子複製版 第15冊
93-1	栗野慎一郎書 翰 井上馨宛	栗野慎一郎	井上馨	明治27年9月 18日	1通	国書捧呈終了 条約改正交渉國務長官不在二ツキ 遅延 日清交戦ロンドン電我二不利戦報コトニ信 用失墜 当地世論同情的 平壤大勝利ノ電報各新 聞ニ配布セリ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載		冊子複製版 第15冊
94	日下義雄書 翰 井上馨宛 [...]										
94-1	日下義雄書 翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治9年3月6 日	1通	自分進退進捗セズ 朝鮮ノ結局不分明大蔵省歳出 控工ノタメカ 帰国二ツキ隈殿訪問面会ナラズ 面会ノ節八然ルベク相談願ウ					冊子複製版 第16冊
94-2	日下義雄書 翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治9年3月 16日	1通	Home Poli ics ノウチ貿易ノ部翻訳出来送付 一 覧ノ上出版ノ是非決定乞ウ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載		冊子複製版 第16冊
94-3	日下義雄書 翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治9年12月 21日	1通	大隈氏へ面会サレタルヤ 朝鮮事務モ整イ洋行モ 近カランカ 先日呈上ノ訳書高評乞ウ					冊子複製版 第16冊
94-4	日下義雄書 翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治13(カ)年 7月3日	1通	病中ナガラ旧主人家計二ツキ宮内卿へオ話前説明 申シアゲタイ					冊子複製版 第16冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
94-5	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治21年12月12日	1通	当地水道反対裏工功ヲ奏スベシ 欧州行素願今一度経済研究イタシタシ ソノタメ閑散ノ地ニツキタシ 本県議会無事 県内政党 柴四郎 赤羽四郎					冊子複製版第16冊
94-6	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治22年3月28日	1通	京都ニテ伊藤伯二面謁 井角入獄理由ニツキ井・伊両伯悪口 伊伯八証拠書類アレバ放置スト朝鮮ニ関スル演舌ハ為サヌヨウ取計イ必要ナキカ 長崎商工来臨ヲ切望 九州改進黨演説会開催			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第16冊
94-7	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治22年11月11日	1通	長崎水道工事継続執行 政府補助二万円ヲ仰グコト市会議決					冊子複製版第16冊
94-8	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治23年1月21日	1通	小生欧米再行ノ件 時機ヲ待テトノ高論ナリシモ今般非職 陸奥公使帰朝ノ趣品川君ニ相談セシトコト 外務大臣ヘ熟議八閣下ヲ勞スベシトノコト 陸奥公使後任ニ推ベンゴウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第16冊
94-9	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治24年2月2日	1通	予算案通過セズ 自由党硬派ノ説ニ改進黨同調力 政府ノ対策未決定 蔵相査定案不同意言明議會延期ニ至ラン 非特別地価修正東北六県動揺政党加入不可ノ高論無謀ノ進退イタサズ 山県伯伊藤伯ヘ政権譲渡ノ意カ 今後八責任内閣ハ必然 山県伯邸ニテ条約改正ニツキ青木子ト談話			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第16冊
94-10	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治24年6月3日	1通	大津事件ニ御尽力 改進黨・自由合併運動ニ内閣動揺 外務・内務辞表一件トナル 伊伯枢密院引受ケ 板垣・大隈申合ノ姿 彼等本城乗取リノ勢 本城明渡シノオツモリカ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第16冊
94-11	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治25年6月10日	1通	蒼海翁後任総理兼任 南海伯不平三条例通過ヲ策シ政府内諾シ過激運動為サザル内約 副島辞職ニテ画餅 早稻田伯財政困難党员施給ニ困難セリト 政府ノ買収策奏功 新井章吾・飯村丈三郎 政府・人民協和ヲ希望 現実ハ遠ク憂慮スベシ 内閣変動免レズ奮起ヲ願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第16冊
94-12	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治25年11月9日	1通	去月ヨリ岩城・会津地方巡廻 若松地方交友会ト親民会 一八鉄道奥羽本線トノ連絡 一八岩越線希望 調査ノ結果奥羽本線連絡断念 両派一致スベキヲ勧告 河沼自由党一致不能ノ形勢					冊子複製版第16冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
94-13	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治27年2月6日	1通	県下衆議院議員選挙平穩 国家ノ現情憂慮二堪工ズ 英・仏ノ東洋艦隊前日二倍ス 露モ同様我議會ハ地租輕減・地価修正ト民力休養二日ヲ尽シ大事去ルベシ 商業ノ發達海外貿易ノ保護二艦隊不可欠 P・O・会社ト郵便会社トノ競争傍觀ナルマジ 人口増加シ北海道開拓・海外移民引イテハ海軍拡張 元勲内閣ハ対外方針ヲ次国会ニ示スベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第16冊
94-14	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治27年4月20日	1通	本県臨時県会無事閉会 海外行志願外相ヘオ話クダサレタルヤ 当分無任所ナレバ心配シヨウト法相ヘ内話アリシト 是非実現方オ話願ウ					冊子複製版第16冊
94-15	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治27年8月15日	1通	公債募集一億以上ヲ希望 条約改正ロンドンニテ新案調印ノヨシ 新任公使発表 私英又ハ八國国迎派遣希望 総理・外相ヘ斡旋願ウ 第二区二関シ村上ト談話 原田二金員立換工 最後ノ手段輕卒二用イズ安慮アレ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第16冊
94-16	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治27年11月26日	1通	西軍前進旅順口陥落北京城下ノ盟モ近キニアラン ソノ衝ニハ大手腕家出デザルベカラズ 朝鮮ハ支那支那談判コソ本流 支那派遣大使トシテ奮起アランコトヲ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第16冊
94-17	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治 年 月 5日	1通	元老院本日開院 一日休課前書付差出シタク明朝参上					冊子複製版第16冊
94-18	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治 年7月4日	1通	経済社会ノ困難歎カワシ カネテ救済ノ御意アル分実施希望					冊子複製版第16冊
94-19	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治 年8月26日	1通	明後韓国ヘ赴任前高話拝聴 且ツ京釜總會ノ大略報告 渋沢男ヨリ依頼アリ参上イタシタシ					冊子複製版第16冊
94-20	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治 年11月12日	1通	赤羽四郎紹介					冊子複製版第16冊
95	前田正名書翰 井上馨宛 [...]										
95-1	前田正名書翰 井上馨宛	前田正名	井上馨	明治22(カ)年 月27日	1通	高話拝聴ニ山口マデ罷出デタキ希望 茶業集會アリ当地オ待ち出来レバ幸イ 都合伺イタシ					冊子複製版第16冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
95-2	前田正名書 翰 井上馨宛	前田正名	井上馨	明治 年 月 9日	1通	身代身上ノコトニツキ配慮感謝 下命ノ通り松方伯・品川子へ面会両氏ノ外面会致サザル覚悟 寸暇ノセツ報告イタシタシ					冊子複製版 第16冊
96	馬越恭平書 翰 井上馨宛 [...]										
96-1	馬越恭平書 翰 井上馨宛	馬越恭平	井上馨	明治35年2月 28日	1通	差支工ノヨシ都合ノ日招待イタシタシ					冊子複製版 第16冊
96-2	馬越恭平書 翰 井上馨宛	馬越恭平	井上馨	大正4年1月 19日	1通	隈伯ノ上野精養軒・早稲田ノ大会盛会 シカシ来ル選挙ニハ勝算覚東ナシ 同志会内情隈伯ノ多弁ト加藤外務ノ不愛想ガ病源 隈閣瓦解セバ前途如何					冊子複製版 第16冊
97	牧野伸頭書 翰 井上馨宛 [...]										
97-1	牧野伸頭書 翰 井上馨宛	牧野伸頭	井上馨	明治43年10 月8日	1通	田中伯ヨリ返電アリ失望 行掛リ上是非頼ミタク 帰京ヲ待チ懇談ノツモリ 総会マデニ基礎確定イタシタシ	彰明会主意書写		「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版 第16冊
97-2	牧野伸頭書 翰 井上馨宛	牧野伸頭	井上馨	明治43年11 月4日	1通	彰明会一条首相へ面会 廉書供覧セシトコロ首相同意文相ト相談スベシトノコトニテ明朝面会ノ予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版 第16冊
97-3	牧野伸頭書 翰 井上馨宛	牧野伸頭	井上馨	明治 年6月 5日	1通	岡山孤児院報告書供覧					冊子複製版 第16冊
98-1	松平正直書 翰 井上馨宛	松平正直	井上馨	明治28(力) 年 月23日	1通	熊本県会議長・常置委員知事ノ添書持参才邪魔ヲセシ件内務大臣へ通牒ノ次第都筑ヨリ承知不都合トノ判断ナレドモ九州実業ニ朝鮮ノ実情ハ不可欠ノ要件 留守中ナレド知事ノ責メ免ルルノ意ナシ					冊子複製版 第16冊
99	松岡康毅書 翰 井上馨宛 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
99-1	松岡康毅書翰 井上馨宛	松岡康毅	井上馨	明治27年3月5日	1通	総選挙一条栃木県下自由党暴行ノ他八平穩 水害諸県ノ中和歌山・愛媛両県支出ニツイテ 地方官会議間目 赤痢予防取調中					冊子複製版第18冊
99-2	松岡康毅書翰 井上馨宛	松岡康毅	井上馨	明治27年10月10日	1通	敵地占領ソノ他重要任務鞅掌ナラン 小野田・古市出張 神鞭知常ノ跡八稲葉ノ模様 鳥取県書記官・山梨県警部長人事ニツイテ 京都知事後任人選					冊子複製版第18冊
99-3	松岡康毅書翰 井上馨宛	松岡康毅	井上馨	明治27年10月11日	1通	安広秘書官帰京火急ノ渡韓ヲ聞ク 江木・都筑ノウチ一人同行サレタシ 韓地ノ事情実見シオレバ他日有効ナラン 彼政府顧問ニ各政党錚々者林有造・島田三郎・元田肇等ヲ周旋サレレバ内治ノ妨碍自滅シ一挙兩得 京都知事後任三浦知事ヨリ小沢武雄・尾崎三良推薦 大分・島根水害ソノ自治ニテ結極					冊子複製版第18冊
99-4	松岡康毅書翰 井上馨宛	松岡康毅	井上馨	明治27年10月 日	1通	現職ニテハ不都合公使トナリテ彼ノ内政ニ干渉スルハ如何 我維新後ノ進歩ヲ手本ニ顧問ヲ我ニ求めシム 財政・行政・兵政・司法・警察ニ必要ナラン ソノ人谷干城一白根専一・江木千之等 地方ニモ顧問ヲ配付スベシ 青年有為ノ材ヲ我ニ留学セシメ速成学校ノ教師ヲ派遣スベシ					冊子複製版第18冊
99-5	松岡康毅書翰 井上馨宛	松岡康毅	井上馨	明治28年4月18日	1通	調和ノ条約台湾徒手領有快絶 今後八文治善後ノ大計重要 北海道主管論北海道局新設建議沖縄諸制度調査ニ江木干之派遣					冊子複製版第18冊
100-1	目賀田種太郎書翰 井上馨宛	目賀田種太郎	井上馨	大正4年5月29日	1通	臨時議会提出国債整理資金中ヨリ鉄道資金支出ノ件意見 鉄道経営ノ本旨ニ違イ外債償却ニ齟齬					冊子複製版第18冊
101-1	水上浩躬書翰 井上馨宛	水上浩躬	井上馨	明治36年9月11日	1通	横浜港湾改良費ニ関シ私見別紙供覧 目賀田臨時税関工事部長ノ提案ト相違 曾祢蔵相ヘ八陳述セリ					冊子複製版第18冊
102-1	三野村利助書翰 井上馨宛	三野村利助	井上馨	明治24年1月18日	1通	厚情ニヨリ改正着手拝謝 渋沢・益田等ト相談 三井家々憲他着手私ヘ下命ノ財産負債取調二月中ニハ明細出来ノツモリ 貸出金大半ハ困難物 東本願寺ソノ他 政府ト日本銀行ノ保護次第 北海道水産会社ノ件多額ノ株ハ中村道太引請ケン					冊子複製版第18冊
103-1	三島通庸書翰 井上馨宛	三島通庸	井上馨	明治 年6月12日	1通	礼状					冊子複製版第18冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
104-1	三谷三九郎書翰 井上馨宛	三谷三九郎	井上馨	明治27年3月1日	1通	三井組へ抵当ノ土地返戻ノ陳情書	三谷家履歴概略・三谷三九郎瓦解ノ顛末及ビ再興ノ方法懇願ノ順序・抵当土地明細表 3綴				冊子複製版第18冊
105	三井高保書翰 井上馨宛 [...]										
105-1	三井高保書翰 井上馨宛	三井高保	井上馨	明治25年5月30日	1通	仮評議会開催 別紙ノ通り決議 鎌倉ニテオ話ノ二伯ノ義同族・中上川ヘモ申入レ 大阪長田ノ旧道具判決アリ次第売却スベシ					冊子複製版第18冊
105-2	三井高保書翰 井上馨宛	三井高保	井上馨	明治27年12月13日	1通	出発前広島・下関ニテノ教諭拝承 下命ニ從イ学事教育ノタメ学校新設草案高覧ニ入ル 当半期利益百七万五千円 支出差引八十万余万円ノ増貯カタジケナシ					冊子複製版第18冊
105-3	三井高保書翰 井上馨宛	三井高保	井上馨	明治 年3月7日	1通	橋本男来訪伝言拝承 鴻池家ニモ監督承諾クダサレアリガタシ 善右衛門・新十郎出京示諭示ラセタシ					冊子複製版第18冊
106	三浦安書翰 井上馨宛 [...]										
106-1	三浦安書翰 井上馨宛	三浦安	井上馨	明治26年10月29日	1通	一等官元老院議官ヨリ二等官勅任官中最下席トナリ秩序保持上遺憾 一等官復叙奏上乞ウ					冊子複製版第18冊
106-2	三浦安書翰 伊藤博文宛	三浦安	伊藤博文	明治26年10月29日	1通	無職ナレバ錦鶏間祇候ニテ十分ナレド奉職ノ今日考慮ヲ願ウ					冊子複製版第18冊
106-3	三浦安書翰 井上馨宛	三浦安	井上馨	明治27年2月24日	1通	府市兼務名譽職芳野正経他三名緑綬賜章ノ上甲松岡次官ヨリ才聞取り乞ウ					冊子複製版第18冊
107-1	宮本小一書翰 井上馨宛	宮本小一	井上馨	明治 年 月 22日	1通	朝鮮使節来朝一件東萊府書翰呈上 官船官費ニテマカナイ迎船二訳官・会計員ヲ乗船セシメ接待旅宿八小川町旧大隈・伊東氏邸					冊子複製版第18冊
108-1	宮島誠一郎書翰 井上馨宛	宮島誠一郎	井上馨	明治 年5月31日	1通	清公使ヨリ別紙ノ通り雅号照会アリ報知願ウ	劉慶則書翰 1枚				冊子複製版第18冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
109	三好退蔵書 翰 井上馨宛 [...]										
109-1	三好退蔵書 翰 井上馨宛	三好退蔵	井上馨	明治 年3月 19日	1通	西園寺侯ヲ貴族院議長ニ推選スル好機 至急帰朝 尽力乞ウ					冊子複製版 第18冊
109-2	三好退蔵書 翰 井上馨宛	三好退蔵	井上馨	明治 年 8 月15日	1通	別封供覧 スタイン宛書面送ラレシヤ 簡単ニ申 送ラレナバ詳細ハ自分ヨリ報知セン					冊子複製版 第18冊
110	毛利元昭書 翰 井上馨宛 [...]										
110-1	毛利元昭書 翰 井上馨宛	毛利元昭	井上馨	明治23(力)年 2月24日	1通	平信					冊子複製版 第18冊
110-2	毛利元昭書 翰 井上馨宛	毛利元昭	井上馨	明治24年5月 25日	1通	野田神社二十年祭ニ西下 帰着					冊子複製版 第18冊
110-3	毛利元昭書 翰 井上馨宛	毛利元昭	井上馨	明治27年12 月30日	1通	従軍者家族慰問ニ巡回 有光等カラ近況拝承					冊子複製版 第18冊
110-4	毛利元昭書 翰 井上馨宛	毛利元昭	井上馨	明治28年4月 15日	1通	李鴻章遭難遺憾 近況報知					冊子複製版 第18冊
110-5	毛利元昭書 翰 井上馨宛	毛利元昭	井上馨	明治41(力)年 1月20日	1通	平信					冊子複製版 第18冊
111	毛利五郎書 翰 井上馨宛 [...]										
111-1	毛利五郎書 翰 井上馨宛	毛利五郎	井上馨	明治22年3月 30日	1通	(在英国) 近況報告					冊子複製版 第18冊
111-2	毛利五郎書 翰 井上馨宛	毛利五郎	井上馨	明治 年2月 18日	1通	百十銀行ニツキ相談人会へ出席ヲ謝ス 病氣ノタ メ伊藤・山県訪問叶ワズ 石炭有望ノヨシ 銀行 支店設置 ソノ他					冊子複製版 第18冊
111-3	毛利五郎書 翰 井上馨宛	毛利五郎	井上馨	明治 年4月 1日	1通	株券買却差控工 公爵家予算・決算書及ビ防長教 育会書類作製遅延 高等学校政府へ譲渡ノ件菊池 文相へ内話セシトコロ不成立ノ見込ミ					冊子複製版 第18冊
111-4	毛利五郎書 翰 井上馨宛	毛利五郎	井上馨	明治 年8月 21日	1通	(在英国) 平信					冊子複製版 第18冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
112-1	毛利元功書翰 井上馨宛	毛利元功	井上馨	明治 年8月17日	1通	箱根正二位公ノ許へ罷越ス予定通知					冊子複製版第18冊
113	毛利元秀書翰 井上馨宛 [...]										
113-1	毛利元秀書翰 井上馨宛	毛利元秀	井上馨	明治35年3月7日	1通	故穴戸二（たまき）家二関スル件					冊子複製版第18冊
113-2	毛利元秀書翰 井上馨宛	毛利元秀	井上馨	明治45年3月15日	1通	毛利家時習舎閉鎖					冊子複製版第18冊
114-1	毛利元忠書翰 井上馨宛	毛利元忠	井上馨	明治 年4月22日	1通	先代元純従三位追贈感謝					冊子複製版第18冊
115	森岡昌純書翰 西郷参議・井上参議・松方参議宛 [...]										
115-1	森岡昌純書翰 西郷参議・井上参議・松方参議宛	森岡昌純	西郷参議・井上参議・松方参議	明治18年9月2日	1通	三菱・共同両会社財産処分ツキ当社政府委任ハ政府信用ニ出ツ 三菱ハ私社当社八五千余ノ株主アリ慎重評議ヲ乞ウ 彼我政府ノ保護ニ於イテ同ジカラズ 評議決論ハ予メオ示シ願イ株主ヘ申聞カスベシ					冊子複製版第18冊
115-2	森岡昌純書翰 井上馨宛	森岡昌純	井上馨	明治20年12月16日	1通	総会開会満場一致原案可決 社業ノ基礎確立一同満足万謝					冊子複製版第18冊
116-1	望月右内書翰 井上馨宛	望月右内	井上馨	明治28年2月5日	1通	議會平穩予算モ短時間ニ議了 軍資支出進ンデ協賛ノ決議 朝鮮ニ対シ經綸要望 名出安太郎					冊子複製版第20冊
117	元田肇書翰 井上家宛 [...]										
117-1	元田肇書翰 井上家宛	元田肇	井上家	大正5年10月20日	1通	故侯爵祭事病氣ニテ参拜叶ワズ					冊子複製版第20冊
117-2	元田肇書翰 井上馨宛	元田肇	井上馨	年10月10日	1通	対外電信問題結了 別紙報告書写供覧					冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
118	本山彦一書 翰 井上馨宛 [...]										
118-1	本山彦一書 翰 井上馨宛	本山彦一	井上馨	明治24年1月 17日	1通	訴訟一件添書持参司法大臣へ面会尽力約束 古沢 へ談合裁判一任ガ得策ノ見込ミ 高論二民事裁判 トシテ政府ヨリ弁償ノ手順 内閣裁定司法裁判ト シテ審理スベク大阪控訴院へ指令済 小松民事局 長・藤田へ内話ノ償金額掛念 農商務省・知事へ 内相談取消方願ウ 伊藤伯請願ヲ勸奨サレシモ見 合セ	明治七年司法省達 「人民ヨリ官府ニ対 スル訴訟仮規則」ニ ツイテ 1通				冊子複製版 第20冊
118-2	本山彦一書 翰 社長宛	本山彦一	社長	明治31(力)年 11月22日	1通	県会不信任問題モミ消シ好都合 杉山・永瀬尽力 ノ結果 児島湾事件選出委員大体賛成派ニテ安 心 委員会駆引杉山へ依頼					冊子複製版 第20冊
118-3	本山彦一書 翰 田島宛	本山彦一	田島	明治 年4月 14日	1通	伝三郎へ問合ワセノ大井川山林一件同人八承知セ ズ 鹿太郎不在ニテ返事延引 大森ノ景況空気が ンブ落成採掘向上					冊子複製版 第20冊
119-1	村田保書翰 井上馨宛	村田保	井上馨	明治27年1月 23日	1通	祝朝鮮公使拝命 自分水産業奨励ニ奔走 大分県 ニテ朝鮮海出漁者協議会開催朝鮮通漁規則ニ不便 アリ 改定並ニ視察ニ安井作次郎渡韓便宜ヲ乞ウ					冊子複製版 第20冊
120	室田義文書 翰 井上馨宛 [...]										
120-1	室田義文書 翰 井上馨宛	室田義文	井上馨	明治34(力)年 10月9日	1通	内示ノ件益田冷淡相談ニ成ラズ 資金融通達セ ズ 山本・高橋・渋沢・園田当方ヲ援助 三井モ 期待セシニ反ッテ園田等ヲ牽制 田島へ内議ノ次 第					冊子複製版 第20冊
120-2	室田義文書 翰 井上馨宛	室田義文	井上馨	明治36年7月 2日	1通	仙石来関協議 旭炭坑ノ件ボーリング穿道併用ノ 理由 増坑区ノコト 内示一七万円ノ件懸念配慮 願ウ					冊子複製版 第20冊
121	陸奥宗光書 翰 大石公使 宛 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
121-1	陸奥宗光書 翰 大石公使宛	陸奥宗光	大石公使	明治26年4月6日	1通	(半公信) 防毅事件朝鮮政府遷延二対シ貴官ノ方策第三策八天津条約抵触ノオソレ 顛末袁世凱二話シ彼二居中ノ勞ヲトラシムルガ上策力 訓令ヲ待タレタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載		冊子複製版第20冊
121-2	陸奥宗光書 翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治28年3月23日	1通	(電文写) 朝鮮公債条件我紙幣ヲ法貨トシ朝鮮紙幣発行セザルノ二件不調和ノ旨承知 貸金八三百万ニ止メザルヲ得ズ 各開港場ヲ抵当元金八三五年据置キ利足八本年ヨリ支払ニテハ如何			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載		冊子複製版第20冊
121-3	陸奥宗光書 翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治28年月 日	1通	岡本へ御托シノ公私書落手 公信ノ件計画少々修正願ウヤモ知レズ 私書ニツキ伊藤自分兩人ニテ苦慮 英露二対シ苦心 露ニハ西公使ト秘計朝鮮ノ独立以外容喙セシメズ 独立ヲ傷ケズ改革実行ノ万法講究乞ウ 朝鮮貸与金ノコト思ウニ任セズ(後文欠)			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載		冊子複製版第20冊
122-1	陸奥広吉書 翰 井上馨宛	陸奥広吉	井上馨	明治40年10月2日	1通	古河虎之助身上ノ件					冊子複製版第20冊
123	長与専斎書 翰 井上馨宛 [...]										
123-1	長与専斎書 翰 井上馨宛	長与専斎	井上馨	明治12(力)年5月13日	1通	大阪二専門学校設立 医学主任ニ吉田希望 数名ノ英医ヲ斡旋真成ノ学科規程ヲ定メ得ル者他ニナシ 就任方了解乞ウ					冊子複製版第21冊
123-2	長与専斎書 翰 次官宛	長与専斎	次官	明治25年8月21日	1通	伝流病研究所予算決議サレタルヤ 大臣気乗り薄ノ模様 官制上内務省ガ伝流病予防ニ当ルハ本分 文部省ニ斟酌不要 伝染病研究ノタメ北里派遣 北里業ヲ終工テ帰国 内閣更新ニ際シ内政整理ノタメ見合セカ 北里処遇不定気ノ毒					冊子複製版第21冊
123-3	長与専斎書 翰 井上馨宛	長与専斎	井上馨	明治25年9月1日	1通	伝染病研究文部省ヨリ予算案提出ノ趣 官制上本省ノ所管タルハ文部大臣承知ノハズ 本省ハ病理研究ニ北里ヲ留学派遣業成リテ帰国 小規模ニテモ試験的ニ着手希望					冊子複製版第21冊
124	中田敬義書 翰 井上馨宛 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
124-1	中田敬義書翰 井上馨宛	中田敬義	井上馨	明治23年1月18日	1通	電信ニヨレバ農商務大臣新任トアリ閣下御辞職カ 小生進退山県伯来英ノ節滞留ヲ願イシモ斎藤帰国ヲ慫慂 年内帰国ニ翻意欧州静謐ブルガリヤ問題立消工英葡南阿ニテ抗争葡讓歩セン					冊子複製版第21冊
124-2	中田敬義書翰 井上馨宛	中田敬義	井上馨	明治23年12月24日	1通	議院開会ノ景況 議題討議ヨリ議事規則ニ関スル争論多シ 貴族院八士人議長モ伊藤伯ニテ雑沓ナシ 予算調査各党委員意見合ワズ大波瀾衆議院ニテ青木外相演説八見事東洋政略ニ私見アリ 欧州各国莫大ノ兵備ヲ持チナガラ独澳伊蘭同盟英コレニ加担 露仏之二対抗 人心ハ戦争ヲ嫌悪 外州ニ出デテ勢ヲ振ワントスル其鋒アジアヲ指向					冊子複製版第21冊
124-3	中田敬義書翰 井上馨宛	中田敬義	井上馨	明治 年11月7日	1通	オ申越シノ件デニソンヘ伝達 同人承知セリ					冊子複製版第21冊
124-4	中田敬義書翰 井上馨宛	中田敬義	井上馨	明治 年2月29日	1通	オ話ノ件榎本子ヘ伝達 勸告ノ通り本日集談見合セ 伊藤伯ト相談今週中ニ会合アラン					冊子複製版第21冊
124-5	中田敬義書翰 井上馨宛	中田敬義	井上馨	明治 年7月30日	1通	中山寛六郎住所及ビ山県伯ノ所在 中山八首相官邸附属官舎 同人不在ニテ行先山県伯邸ノヨシ 山県伯モ帰邸ト推察 日本新聞取消及通信社通信正誤御覽済ナラン					冊子複製版第21冊
125-1	中原邦平書翰 井上馨宛	中原邦平	井上馨	明治36年7月1日	1通	毛利家編輯「官武間周旋始末」二七冊宮内省ヘ進達					冊子複製版第21冊
126-1	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治26(力)年 月12日	1通	鉄道問題 京鶴・摂丹合併鉄道会議ニ実現工作市会ヨリ要望ニ困惑 就任早々ニ付一阪書記官東上ノ機ニ周旋セシメント内話 小室ヘ懇諭アレバ強迫建議モアルマジク 自分上京ノ許否判断ノ上指示乞ウ					冊子複製版第21冊
127	中上川彦次郎書翰 井上夫人宛 [...]										
127-1	中上川彦次郎書翰 井上夫人宛	中上川彦次郎	井上夫人	明治17年9月8日	1通	贈品添書					冊子複製版第21冊
127-2	中上川彦次郎書翰 井上馨宛	中上川彦次郎	井上馨	明治18年3月6日	1通	井上角五郎来信 朝鮮政府支那へ密使金允植派遣 日清事アル際ノ処置ヲ議スル為メトイウ					冊子複製版第21冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
127-3	中上川彦次郎 書翰 井上馨 宛	中上川彦次郎	井上馨	明治20年3月 10日	1通	山陽鉄道入社ノ件進マズ 内海知事兵庫県書記官 村野山人へ通報 村野ノ山陽入社ハ好マシカラザ ルノ大臣意向 藤田組本山彦一ヨリ来電 村野辞 表提出セリト 内海知事如何ニ処置スルヤ					冊子複製版 第21冊
127-4	中上川彦次郎 書翰 井上夫 人宛	中上川彦次郎	井上夫人	明治20年3月 13日	1通	礼状 消息					冊子複製版 第21冊
127-5	中上川彦次郎 書翰 井上馨 宛	中上川彦次郎	井上馨	明治20年3月 14日	1通	荘田ヨリ内海知事談話伝聞 牧野書記官村野鉄道 入社ヲ斡旋セシハ東京事情不明ノタメ断念勧告 篠崎新潟県知事へ村野依頼アリ都合照会アリタレ ハ鉄道ニ不向キノ次第通報 万事外務大臣帰京ノ 上決定					冊子複製版 第21冊
127-6	中上川彦次郎 書翰 井上馨 宛	中上川彦次郎	井上馨	明治22年2月 21日	1通	失火見舞 憲法発布慶祝 山陽鉄道姫路以西尾ノ 道マデ延長決定只今準備中					冊子複製版 第21冊
127-7	中上川彦次郎 書翰 井上馨 宛	中上川彦次郎	井上馨	明治24年8月 26日	1通	自分三井入社二当り給料二五〇円トノコト 高 保・西村・中井増額内話閣下ニモ相談セリトノコ トナレド食詰メ書生視ノ給料ハ誤見ナラン					冊子複製版 第21冊
127-8	中上川彦次郎 書翰 井上馨 宛	中上川彦次郎	井上馨	明治24年11 月14日	1通	濃尾震災二ツキ東本願寺賑恤金トシテ別紙予算金 三井銀行二借用申入レ執事渥美契縁、会計小早川 鉄仙上京 従来ノ貸金ノ上塗り好マザルモ今回ノ 趣旨特別ナレバ認メントノ意向如何	両県下震災二付臨時 費見込概算 1枚				冊子複製版 第21冊
127-9	中上川彦次郎 書翰 井上馨 宛	中上川彦次郎	井上馨	明治25年9月 18日	1通	三井物産二四年損益決算勘定並ニ店卸シ勘定重役 会議ニ提出 三井物産勘定等二ツキ渋沢へ諭示ノ 次第拝承					冊子複製版 第21冊
127-10	中上川彦次郎 書翰 井上馨 宛	中上川彦次郎	井上馨	明治25年10 月10日	1通	福沢先生指定日時参上ノ由 此段復命					冊子複製版 第21冊
127-11	中上川彦次郎 書翰 井上馨 宛	中上川彦次郎	井上馨	明治25年11 月27日	1通	下ノ閣百十国立銀行整理二楯取推薦トカ 木村 正辞最適任ナラン 三井物産重役再度変更ノ時機 アルベシ 木村後退ノ地位確保ヲ要ス					冊子複製版 第21冊
127-12	中上川彦次郎 書翰 井上馨 宛	中上川彦次郎	井上馨	明治26年6月 5日	1通	三井家諸件二関シ報告 三井高保同道参候スベ シ 日時都合伺イ					冊子複製版 第21冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
127-13	中上川彦次郎 書翰 田島信夫宛	中上川彦次郎	田島信夫	明治27年2月3日	1通	三井高保官邸へオ招キノ沙汰 高保不在ニテ叶ワズ					冊子複製版第21冊
127-14	中上川彦次郎 書翰 井上馨宛	中上川彦次郎	井上馨	明治27年3月7日	1通	大阪毎日新聞社治安妨害ニテ発行停止 来ル大婚祝典ニ折角ノ用意水泡ニ帰セント心痛セリトイウ 同様新聞多カルベシ考慮ヲ乞ウ					冊子複製版第21冊
127-15	中上川彦次郎 書翰 井上馨宛	中上川彦次郎	井上馨	明治27年9月6日	1通	軍艦購入ノ件益田孝意見ニ自分モ同感 早急実行願イタシ					冊子複製版第21冊
127-16	中上川彦次郎 書翰 井上馨宛	中上川彦次郎	井上馨	明治27年11月17日	1通	朝鮮海運ノ重要ナルヲ認メ日本郵船久保扶桑ヲ仁川支店ニ派遣 着任ノ上ハ指揮ヲ乞ウ					冊子複製版第21冊
127-17	中上川彦次郎 書翰 井上馨宛	中上川彦次郎	井上馨	明治27年12月13日	1通	京城ニテ飲食物ニ不便ノヨシ 日本郵船引受ケ必需品才届ケスル手筈ナリ 所要ノ品目才申越シ願ウ 日本郵船大連航路ノ企アリ 大本営不許可ナルモ実現セバ軍事上ノ利益莫大ナラン 三井諸商店繁昌下季益金六七十万円ナラン					冊子複製版第21冊
127-18	中上川彦次郎 書翰 井上馨宛	中上川彦次郎	井上馨	明治32年9月27日	1通	九州鉄道調査員 益田孝辞退 オ請ケスルヨウ説得スベシトノ貴命拝承					冊子複製版第21冊
127-19	中上川彦次郎 書翰 井上馨宛	中上川彦次郎	井上馨	明治33年12月16日	1通	快気祝招待拝謝 病中不参					冊子複製版第21冊
127-20	中上川彦次郎 書翰 井上馨宛	中上川彦次郎	井上馨	明治34年1月20日	1通	熊本第九銀行ハ絶命セリ 之ヲ蘇生セシムルハ無望 資本八〇万円ノ銀行損失高百万 銀行ヘ無抵当貸付者ノ損失ニ帰スベシ 七〇万ノ預金アリ開店スレバ取付覚悟セザルベカラズ 三井貸金ハ抵当品アリ 日本・第十五・正金・安田ハ無抵当損失ナキ三井ガ損失者ト同調ノ必要ナシ 第九銀行破産ノ他ノ熊本銀行ニ波及セザラシムルガ肝要					冊子複製版第21冊
127-21	中上川彦次郎 書翰 井上馨宛	中上川彦次郎	井上馨	明治34年3月14日	1通	熊本第九銀行ノ件 安田善次郎調査ノ上帰京 同氏意中不明ニツキ下田耕造等上京 安田拒否ノ場合ハ三井銀行ヘ救済依頼ノ風評トイウ 運動委員等三井ヘ乗り替工願出アレバ拒絶願ウ					冊子複製版第21冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
128-1	中西虎彦書 翰 井上馨宛	中西虎彦	井上馨	明治42年5月30日	1通	礼状 季夏栄子息留学ノ件					冊子複製版 第21冊
129-1	仲小路廉書 翰 井上馨宛	仲小路廉	井上馨	明治36(力)年9月28日	1通	京釜鉄道二関スル高談要旨別紙供覧 同鉄道下命二ヨリ渋沢ト相談命令書案起草済					冊子複製版 第21冊
130	中島万吉書 翰 井上馨宛 [...]										
130-1	中島万吉書 翰 井上馨宛	中島万吉	井上馨	明治40年10月12日	1通	(伯林発) 古河虎之助帰朝ノ件					冊子複製版 第21冊
130-2	中島万吉書 翰 井上馨宛	中島万吉	井上馨	明治43(力)年8月24日	1通	紹介二ヨリ十五銀行園田ニ面談 日英水電事業ノ電線供給問題ニ関シ相談 古河家金融予算計算結果別紙二ヨリ足尾鉄道出資額 資金運用ニツイテ					冊子複製版 第21冊
131-1	奈良原繁書 翰 井上馨宛	奈良原繁	井上馨	明治25年10月10日	1通	無事着任 沖縄県治民情報告					冊子複製版 第21冊
132	西源四郎書 翰 井上馨宛 [...]										
132-1	西源四郎書 翰 井上馨宛	西源四郎	井上馨	明治25年8月30日	1通	内務大臣就任英仏新聞モ期待 自分政治・社会・外交ノ学卒業明年帰朝御用ニ立チ得レバ欣快					冊子複製版 第21冊
132-2	西源四郎書 翰 井上馨宛	西源四郎	井上馨	明治 年1月8日	1通	平信					冊子複製版 第21冊
133-1	西徳二郎書 翰 井上馨宛	西徳二郎	井上馨	明治25年5月6日	1通	面会願イタシ 都合ノ日時指定乞ウ 別紙意見書供覧					冊子複製版 第21冊
134	西村捨三書 翰 井上馨宛 [...]										
134-1	西村捨三書 翰 井上馨宛	西村捨三	井上馨	明治16(力)年12月19日	1通	本日出立 留守中ニテ拝顔ヲ得ズ遺憾 汽船補助並ニ炭坑一条高慮ヲ煩フシ感謝					冊子複製版 第21冊
134-2	西村捨三書 翰 井上馨宛	西村捨三	井上馨	明治26年10月19日	1通	湯本・佐々木等水害地視察 国民協会治水問題党議是認 西南水害ヲ機ニ大イニ治水事業ヲ唱工シ 第五議會ノ厄介物力 旨趣二ヨリ事穩便ニ説得ノトコロ出立後ニテ心配					冊子複製版 第21冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
134-3	西村捨三書翰 井上馨宛	西村捨三	井上馨	明治26年11月29日	1通	幌内貸下囚徒引上げ以後廃止ノ通達 開坑以来ノ慣行中止ニテ年一万七八千円ノ欠損 来年度八室蘭棧橋軌道延長ソノ他ノ事業費ヲ要シ千名余ノ砦夫新募等理事困却 二七年度モ引続キ囚徒貸下乞ウ					冊子複製版第21冊
134-4	西村捨三書翰 井上馨宛	西村捨三	井上馨	明治 年5月28日	1通	記念館寄附一条宮内省下賜金決定乞ウ 募金事情					冊子複製版第21冊
134-5	西村捨三書翰 井上馨宛	西村捨三	井上馨	明治 年6月13日	1通	勸進文並二引幕高覧乞ウ					冊子複製版第21冊
135	西沢公雄書翰 井上馨宛 [...]										
135-1	西沢公雄書翰 井上馨宛	西沢公雄	井上馨	明治36年11月16日	1通	大冶鉄山仮契約調印 コレニテ欧米人ノ進出当分抑止 漢陽製鉄高等本邦人経営スベキモノ多シ援助ヲ乞ウ					冊子複製版第21冊
135-2	西沢公雄書翰 井上馨宛	西沢公雄	井上馨	大正3年12月6日	1通	先般指教ノ件帰京後当局ト協議中 北京政界支那鉄砦国有論アリ 親米派米国借款ヲ以テ利権回収ヲ企図 漢冶萍公司半官半民ニテ経営決意					冊子複製版第21冊
135-3	西沢公雄書翰 井上馨宛	西沢公雄	井上馨	大正4(力)年4月14日	1通	漢冶萍問題日支合弁策此機会ニ実現ヲ熱望 盛宣懷・李維格ト相談大冶鑄鉄炉用地買収					冊子複製版第21冊
136-1	二条基弘書翰 井上馨宛	二条基弘	井上馨	大正元(力)年12月13日	1通	時務意見交換ノ機ヲ得タシ					冊子複製版第21冊
137-1	野村益三書翰 井上馨宛	野村益三	井上馨	大正4年8月5日	1通	大日本葡萄酒会社製品供覧					冊子複製版第21冊
138	小田切万寿之助書翰 井上馨宛 [...]										
138-1	小田切万寿之助書翰 井上馨宛	小田切万寿之助	井上馨	明治40年8月9日	1通	仏国銀行副支配人来遊ニ関シ下命高橋頭取ヘ伝達 大連ヘ所用渡航 同銀行ハロスチャイルドノ競争者 副支配人優遇ハロスチャイルドノ嫉妬招キ清国事業開談アルマジ					冊子複製版第22冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
138-2	小田切万寿之助書翰 井上馨宛	小田切万寿之助	井上馨	明治42年7月14日	1通	下命ノ韓国産金清国流入ノ件 調査ノ結果別紙報告 当地支店検査終リ北京行 起業シンジケートニ自分北京行ハ関係ナキニ近ケレド外務大臣依頼ニヨル	朝鮮ヨリ清国へ金輸出入 1綴				冊子複製版第22冊
138-3	小田切万寿之助書翰 益田孝宛	小田切万寿之助	益田孝	大正4年5月3日	1通	我政府要求一ヨリ四マデ当初案 五八各国ノ物議ヲ起シタル後通知セルモノ 行詰リノ理由ハ東蒙古ヲ南満州ト同一状態ニ置クコト及ビ第五号討議拒絶ノタメ 我ガ対策ニアリーハ干戈ヲ辞セズトスルカニ我ガ譲歩ナリ 前者ノ代償少キヨリ後者ニヨル収拾策ガ妥当日置公使最後案提出ニ失望 支那ハ譲歩案 局面ハ新案ノ内容得失ニアラズ我威信維持ニアリ之ガ打開ハ最後通牒ノ期ヲ限り決答不満足ナレバ国交断絶ノ外ナシ 特派大使派遣對支政策一変提携主義ニ立タザレバ無意義 支那政府強硬ナル理由					冊子複製版第22冊
139-1	大橋新太郎書翰 室田義文宛	大橋新太郎	室田義文	明治43年11月2日	1通	日本醤油会社事件井上侯爵ニ報告中貴下ニ累ヲ及ボセシトノ指摘意外 原田氏ノ処置ヲ論難シタルマデ 本件ハ苦心落着 ソノ経過ヲ報告シタル次第					冊子複製版第22冊
140-1	大石正巳書翰 井上馨宛	大石正巳	井上馨	明治26年2月3日	1通	無事着任 国王謁見防穀事件談判公報ヲ以テ報告済					冊子複製版第22冊
141	岡田良一郎書翰 井上馨宛 [...]										
141-1	岡田良一郎書翰 井上馨宛	岡田良一郎	井上馨	明治25年11月30日	1通	県下自由改進黨ノ巢 四新聞中三新聞ハ彼等ノ機関 残ル一新聞ハ無気力ニツキ静岡実利民報ヲ創刊 世論ニ逆流経営困難 新聞報道ニヨレバ貴族院議員撰択アル由 幸イソノ撰ニ与レバ我党ノ組織ニ尽力セン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第22冊
141-2	岡田良一郎書翰 井上馨宛	岡田良一郎	井上馨	明治26(力)年1月20日	1通	今日ノ形勢解散ヲ促スモノカ 閉会后政府攻撃ハ必定 静岡自由改進黨ノ巢トナリ 新聞ソノ具トナレリ 反対ノ地ニ立ツハ自分ノ実利民報ノミ 世論ニ逆スル故維持困難 此際一千円ノ補助ヲ乞フ 錦輝館改進黨演説反対演説者ナキハ残念			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第22冊
142	岡崎邦輔書翰 井上馨宛 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
142-1	岡崎邦輔書翰 井上馨宛	岡崎邦輔	井上馨	明治 年9月19日	1通	申聞ノ人名調査別紙供覧 小室等二会合ソノ意見聞キ鄙見申上ゲタシ 今夕大阪へ出発帰京ノ上言上スベシ 鄙見陸奥子二話シオケリ					冊子複製版第22冊
142-2	岡崎邦輔書翰 井上馨宛	岡崎邦輔	井上馨	明治 年 月28日	1通	旅行中ノ報告二今明日参上致シタシ 小西依頼ノ件厚配感謝					冊子複製版第22冊
142-3	岡崎邦輔書翰 井上馨宛	岡崎邦輔	井上馨	明治 年7月7日	1通	俗事依頼恐縮 旅行発足三井対長田一件二ツキ御用アレバ小西利作へオ示シ願ウ					冊子複製版第22冊
142-4	岡崎邦輔書翰 井上馨宛	岡崎邦輔	井上馨	明治 年7月29日	1通	小西利作懇命ヲ蒙リ感謝 願書調整願意徹底方尊配乞ウ					冊子複製版第22冊
143	沖守固書翰 井上馨宛 [...]										
143-1	沖守固書翰 井上馨宛	沖守固	井上馨	明治18年2月26日	1通	清国派遣ノ仏軍艦乗員用二本港山手居留地共同病院ヲ借用ノ意仏政府ニアリトノ情報 同院事務委員中二異議アリ実現サレマジ ナオ探索中			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第22冊
143-2	沖守固書翰 井上馨宛	沖守固	井上馨	明治18(力)年 月20日	1通	ワットソン帰港 困難ヲ起ス懸念アリ 外交上特別ノ恩免ノ処分ヲ願ウ					冊子複製版第22冊
143-3	沖守固書翰 井上馨宛	沖守固	井上馨	明治22(力)年3月26日	1通	当地ニテ爆裂弾発見 コレハ閣下ノ帰路神戸ニテ暴発ノ目的 主謀者探偵中			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第22冊
143-4	沖守固書翰 井上馨宛	沖守固	井上馨	明治33年1月20日	1通	小生進退二ツキ懇諭感謝 老母同伴海路赴任困難 伊藤・山県両伯周旋ニテ元老院入り 長崎県八知事更迭頻繁 永住ノ覚悟ヲ要スルナレド前事情ニヨリ再転任スルコトトセリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第22冊
144-1	奥田義人書翰 井上馨宛	奥田義人	井上馨	明治23年1月21日	1通	当省在任中眷顧感謝 次官就任国会開設切迫空論ノ徒横行 人心ヲ殖産ニ向ケタシ 閣下後藤・坂垣伯ト面談ノ報道			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第22冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
145	大隈重信書翰 井上馨宛 [...]										
145-1	大隈重信書翰 井上馨宛	大隈重信	井上馨	大正3年10月8日	1通	国防計画実施ノ件 前後六回ノ防務会議ニテ審議別案ノ通り決定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第22冊
145-2	大隈重信書翰 井上馨宛	大隈重信	井上馨	大正3年12月24日	1通	望月小太郎ヨリ伝言拝承			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第22冊
146-1	大森鐘一書翰 井上馨宛	大森鐘一	井上馨	明治26(力)年11月5日	1通	去年一四日暴風雨聖聴ニ達シ救恤金下賜 管下二告示恩旨ニ感激					冊子複製版第22冊
147	小野田元熙書翰 井上馨宛 [...]										
147-1	小野田元熙書翰 井上馨宛	小野田 元 熙	井上馨	明治27年3月24日	1通	金玉均コト岩田三平ト変名 神戸出帆西京丸ニテ上海渡航 同行者北原新次・呉静軒 大阪府警部長ノ探聞ニヨレバ李経芳ノ招キトイウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第22冊
147-2	小野田元熙書翰 井上馨宛	小野田 元 熙	井上馨	明治27年4月6日	1通	朝鮮公使帰国一条外務大臣依頼ニヨリ大阪へ問合セ 甲号返信・乙号報告アリ 岡本ヨリ外務大臣へ上海行願イ 首相へ相談許可 ソノ旅費渡シ方 斎藤修一郎名目八金玉均遺体引取り実八政府交渉取調ベトイウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第22冊
147-3	小野田元熙書翰 井上馨宛	小野田 元 熙	井上馨	明治27年4月13日	1通	佐々友房舎弟朝鮮ヨリ帰国 大阪ノ売薬商ト謀リ売薬売子ヲ渡鮮セシメ ソノ利益ヲ国民協会ニ廻シ 又一騒動起ス浮説モアリ 大阪府警部長二問合セ別紙回答アリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第22冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
147-4	小野田元熙書翰 井上馨宛	小野田 元 熙	井上馨	明治27年10月16日	1通	内閣スルニ柴四郎朝鮮ヨリ帰国 朝鮮内政ニツキ 議会ニ質問書提出ノ目的 閣下ノ拜命ヲ聞キ驚ケリト 政堂中軍人ト交リ内閣攻撃スル者アリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第22冊
147-5	小野田元熙書翰 井上馨宛	小野田 元 熙	井上馨	明治27年12月24日	1通	議会平穩ニ終局ノ見込ミ 配慮ノ中立議員紀州・山口議員表面別レソノ実気脈ヲ通ズ 人名別紙呈上			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第22冊
148-1	大岡育造書翰 井上馨宛	大岡育造	井上馨	明治15(力)年4月5日	1通	只今ノ書面内務省入手済警戒中ナリト 白根伊藤伯ノ出入口注意方井上毅へ通達 白根入手ノ分八芝巴町ノ印アリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第22冊
149	大谷光瑩書翰 井上馨宛 [...]										
149-1	大谷光瑩書翰 井上馨宛	大谷光瑩	井上馨	明治36年1月1日	1通	旧臘八来京懇篤ノ教諭ヲ賜リ光演モ改悟 父子協力シテ改正ノ実ヲ奏スベシ 今月末再度西下財政基礎確立ニ厚配願ウ					冊子複製版第22冊
149-2	大谷光瑩書翰 井上馨宛	大谷光瑩	井上馨	明治36年2月4日	1通	万朝報社員某面会ノ有無 右ハ突然来訪財務管理ニツキ意見ヲ問フレシモ謝絶 光演ニ面会断ルヨウ注意 渥美ニモ注意 光演閣下ニ御願イ後ハ迷イナク直接才答エスベシ					冊子複製版第22冊
149-3	大谷光瑩書翰 井上馨宛	大谷光瑩	井上馨	明治36年3月9日	1通	今朝帰西 藤田氏手許ノ運ビ照会 七分ノ取調出来破裂ノオソリアルマジ 予定ノ進捗ムズカシ 残り三分八西下ノ上処置願イタシ					冊子複製版第22冊
149-4	大谷光瑩書翰 井上馨宛	大谷光瑩	井上馨	明治36年10月8日	1通	(代筆) 覚書ニ対スル確答書送付添状					冊子複製版第22冊
149-5	大谷光瑩書翰 井上馨宛	大谷光瑩	井上馨	明治36年10月27日	1通	提出ノ確答書ニ対シ質疑詳細安楽顧問ニ陳述 寄贈ノ閻魔寓意アルベシ 答礼ニ布袋像進呈					冊子複製版第22冊
149-6	大谷光瑩書翰 井上馨宛	大谷光瑩	井上馨	明治37年1月3日	1通	昨年ノ懇配感謝 整理募集意ノゴトクナラザルモ 収納高ハ厚配ノ結果 安楽顧問ヨリ詳細聴取ウ					冊子複製版第22冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
150	大谷光演書 翰 井上馨宛 [...]										
150-1	大谷光演書 翰 井上馨宛	大谷光演	井上馨	明治36年2月4日	1通	万朝報記者中島某来訪 面会謝絶出掛ノ際遭遇暫時会話 財団法人ノ内容財務整理後ノ本山維持方法等ニ付質問ヲ受ク 閣下罵倒ノ記事驚愕 神鞭二ハソノ後依頼ノ事実ナシ					冊子複製版 第23冊
150-2	大谷光演書 翰 井上馨宛	大谷光演	井上馨	明治36(力)年4月9日	1通	評議員中前当路ニ不和ノ者アリ 明後日ノ会ハ評議員ノミ別席ニイタシタシ					冊子複製版 第23冊
150-3	大谷光演書 翰 井上馨宛	大谷光演	井上馨	明治36年4月30日	1通	本山財務ニ尽力感謝 石川連帯負債ノ件当方ニ控ナク即答イタシカヌ 石川出京命令乞ウ 六条生命一件判事へ差出シノ書面一覽願ウ 一段落ノ上ハ石川・渥美諸国ヲ巡回セシメ当路ニ輿望アル徳者ヲ充ツベシ					冊子複製版 第23冊
150-4	大谷光演書 翰 井上馨宛	大谷光演	井上馨	明治36(力)年8月28日	1通	本山財務整理ニツキ教示渥美・梅原ヨリ承リ感謝 自分病氣軋地ハ望マザルモ医士ノ主張ニヨリ山陽地方ニ出発ノツモリ					冊子複製版 第23冊
150-5	大谷光演書 翰 井上馨宛	大谷光演	井上馨	明治 年5月9日	1通	田中ニ面会事情説明水解 他評議員へ然ルベク申入ル					冊子複製版 第23冊
151	大山綱介書 翰 井上馨宛 [...]										
151-1	大山綱介書 翰 井上馨宛	大山綱介	井上馨	明治20年2月27日	1通	長崎事件落着欣賀 父母病状報告					冊子複製版 第23冊
151-2	大山綱介書 翰 井上馨宛	大山綱介	井上馨	明治20年8月8日	1通	仏国代理公使へ伝言伝達 同公使巴里博覧会へ出品方願花房農商務次官へ願出トイウ 高橋鉄道会社長面謁希望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版 第23冊
151-3	大山綱介書 翰 井上馨宛	大山綱介	井上馨	明治20年8月16日	1通	伊公使館修繕ヲ持掛ケ困却 陸奥公使ト相談 青木次官帰京ノ上開談スルコトトセリ 朝鮮公使横浜着港ソノ手筈報告			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版 第23冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
151-4	大山綱介書翰 井上馨宛	大山綱介	井上馨	明治20年8月18日	1通	朝鮮公使ノ件近藤氏へ伝達 西園寺公使へ伝達ノ件不在ニツキ鮫島ヨリ伝述			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第23冊
151-5	大山綱介書翰 井上馨宛	大山綱介	井上馨	明治20年8月21日	1通	下命ノ伊公使へノ伝言ハ仏訳ノ上相渡シ 西園寺公使へノ伝述ナラズ鮫島書翰ヲ以テ伝達セリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第23冊
151-6	大山綱介書翰 井上馨宛	大山綱介	井上馨	明治21年8月7日	1通	土倉一条高配感佩 伯夫人二ハ心痛恐縮 小生過般ノ熱毛減消					冊子複製版第23冊
151-7	大山綱介書翰 井上馨宛	大山綱介	井上馨	明治23年10月31日	1通	総選挙無事ナルヨシ改正問題雑居ヲ好マザル間ハ徒勞ニ終ランカ 都筑帰朝ニ托シ御願ノ件有望ナル旨拝謝					冊子複製版第23冊
151-8	大山綱介書翰 井上馨宛	大山綱介	井上馨	明治24年3月21日	1通	新聞紙上ニ見ルトコソ政府国会ニ対シ軟弱ニ過ギザルカ 藤田来欧待ツ 昨年当地ノ艶事御耳ニ達セシヤ					冊子複製版第23冊
151-9	大山綱介書翰 井上馨宛	大山綱介	井上馨	明治25年1月15日	1通	国会ノ景況気懸リ 野村公使ニ随行西班牙・葡萄牙へ国書捧呈					冊子複製版第23冊
151-10	大山綱介書翰 井上馨宛	大山綱介	井上馨	明治26年9月11日	1通	北海道巡回ノヨシ次回議會制御アルベシ澳国皇族本邦旅行好都合ナリシト 自家消息					冊子複製版第23冊
152-1	小崎弘道書翰 井上馨宛	小崎弘道	井上馨	明治24年10月 日	1通	平素ノ支援感謝 今回学内ニ二政法学校開設一層ノ援助ヲ願ウ					冊子複製版第23冊
153-1	尾崎行雄書翰 井上馨宛	尾崎行雄	井上馨	大正4年2月12日	1通	望月ヨリ拜承配慮感謝			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第23冊
154	尾崎英子書翰 井上馨宛 [...]										
154-1	尾崎英子書翰 井上馨宛	尾崎英子	井上馨	大正3年9月7日	1通	(英文) 平信					冊子複製版第23冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
154-2	尾崎英子書翰 井上馨宛	尾崎英子	井上馨	大正3年10月18日	1通	(英文) 日本女性論三篇送付					冊子複製版第23冊
155-1	相良頼紹書翰 井上馨宛	相良頼紹	井上馨	明治32(力)年3月26日	1通	西園寺家へ出向八郎君初対面ノ義申入レ 同家ハ急ガズ毛利家都合ニテヨロシトナリ					冊子複製版第23冊
156	斎藤修一郎書翰 井上馨宛 [...]										
156-1	斎藤修一郎書翰 井上馨宛	斎藤修一郎	井上馨	明治18(力)年8月4日	1通	仏公使シーボルトノ改正条約案調査承諾 独公使立腹昨日帰京ハ外務卿トノ約束 卿ノ違約離京ヲ難ズ 明後箱根二行クトノコトナレバ御地ニテ適當談合アルベシ 伊公使暑中接待休止同意			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載		冊子複製版第23冊
156-2	斎藤修一郎書翰 井上馨宛	斎藤修一郎	井上馨	明治22年9月13日	1通	プリンタリー未ダ帰京セズ 伊東巳代治ト面談身分法枢密院議決 米・独・露新条約批准前二枢密院議トスルノ件 露条約皇帝批准ニツイテ 改進黨懇親会矢野招集 波多野伝三郎 集会条例ト矢野 吉川重吉			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載		冊子複製版第23冊
156-3	斎藤修一郎書翰 井上馨宛	斎藤修一郎	井上馨	明治22年9月30日	1通	山県大臣帰朝近ツキ大勢切迫 松方伯二奮発要請好結果ヲ見ン 諮問会勉強渋沢・益田モ参会条約草按修正改善シ得タリ ソノ他人事ニツイテ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載		冊子複製版第23冊
156-4	斎藤修一郎書翰 井上馨宛	斎藤修一郎	井上馨	明治22年10月9日	1通	条約改正ノ件 プリンタリー・アルウィン両名ヨリ得タル米・英・仏・伊・漢・独・露各国ノ情報具申			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載		冊子複製版第23冊
156-5	斎藤修一郎書翰 井上馨宛	斎藤修一郎	井上馨	明治22年10月9日	1通	麻布教会堂建築資金援助願イ 中田敬義帰朝ニツキ願イ					冊子複製版第23冊
156-6	斎藤修一郎書翰 井上馨宛	斎藤修一郎	井上馨	明治22年10月22日	1通	プリンタリー二面晤 善後策〔大隈遭難〕ニツキ英ハ自ラ改正事業ヲ破ルコトナシ 英ハ大隈支持他二求ムレバ伊藤伯ナラン 大隈退任ハ外国へ衝撃多シ 反対ハ経済論力憲法論力 外国人裁判官任用ニ修正案数種アルト聞ク 英ハ全廃ノ意ナリト			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載		冊子複製版第23冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
156-7	斎藤修一郎書翰 井上馨宛	斎藤修一郎	井上馨	明治22年11月19日	1通	外国公使・外国人ノ条約改正問題観測 アルウィント面談 改正談判急グ必要ナシ 方針決定前デニソント自分トノ意見ヲ徴セヨトイウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第23冊
156-8	斎藤修一郎書翰 井上馨宛	斎藤修一郎	井上馨	明治23年1月1日	1通	岩村大臣ヨリ地方官遊ヲ命ゼラレ出発予定 独公使青木後任ニ好感 プリンクリーハ改正事業持続ヲ意図スルヤ 又井伯ノ真意ヲ聞キタシトナリ デニソン真ニ自分ノ助カヲ求ムルナラバ微カヲ尽サントイウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第23冊
156-9	斎藤修一郎書翰 井上馨宛	斎藤修一郎	井上馨	明治27年8月22日	1通	日清一件清国ハ持久戦略力 平壤戦後ハ朝鮮北方ニテ冬籠リナルベシ 軍事債五千万円ハ不足年金保険新設シテハ如何					冊子複製版第23冊
157	阪谷芳郎書翰 井上馨宛 [...]										
157-1	阪谷芳郎書翰 井上馨宛	阪谷芳郎	井上馨	明治34年4月9日	1通	各省外国品購入調査別紙呈覽 経済界不況首相財政整理ヲ宣言 小生政費大節減ヲ主張 蔵相モ同意 閣議上提公債事業繰延ノ目的ヲ達ス 来年度ハ物価賃銀ノ下落 金融ノ逼迫緩和ヲ計ルツモリ					冊子複製版第24冊
157-2	阪谷芳郎書翰 井上馨宛	阪谷芳郎	井上馨	明治34年6月7日	1通	田尻後任ニ任命平素ノ引立感謝 財政ハ心配セズ 民間経済ノ救済ヲ重視 各省経費削減ト兌換券収縮 三一年ノ閣下ノ節減ト今年ノ断行ト符合 トモニ物価下落・金利低廉輸出入平均ノ好結果			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第24冊
157-3	阪谷芳郎書翰 井上馨宛	阪谷芳郎	井上馨	明治39年2月14日	1通	昨夜ノ臨席感謝 高橋ヲ訪問松尾来会今夕ノ都合談合 今夕銀行者会合重大尽カヲ乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第24冊
157-4	阪谷芳郎書翰 井上馨宛	阪谷芳郎	井上馨	明治39年3月2日	1通	正金銀行改革二局配感謝 無事総会終了高橋頭取兼任 軍票始末ニツキ高橋ハ注意 正金取締役一〇人トスル件高橋了承			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第24冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
157-5	阪谷芳郎書翰 井上馨宛	阪谷芳郎	井上馨	大正4年8月20日	1通	内閣薄弱国民不安甚シ 財政不振海外ノ為替大變動ニテ在外正貨ノ危険大 財政当局二人材乏シク憂慮ニ堪エズ					冊子複製版第24冊
158	三宮義胤書翰 井上馨宛 [...]										
158-1	三宮義胤書翰 井上馨宛	三宮義胤	井上馨	明治16年12月10日	1通	鹿鳴館規則英訳デニソンへ廻ス 鹿鳴館スーブソノ他コンダー修正着手			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第24冊
158-2	三宮義胤書翰 井上馨宛	三宮義胤	井上馨	明治18年7月27日	1通	伏見宮貞愛親王洋行 資格・巡廻先ニツキ陸軍省担当通知アラン					冊子複製版第24冊
158-3	三宮義胤書翰 井上馨宛	三宮義胤	井上馨	明治27年10月12日	1通	韓地へ就任苦勞千万 韓地閑院宮宛小包物公使館へ送付ヨロシク取計イエウ ソノ費用三〇〇円前公使大鳥宛送付					冊子複製版第24冊
158-4	三宮義胤書翰 井上馨宛	三宮義胤	井上馨	明治 年11月12日	1通	京都織物商河島甚兵衛紹介					冊子複製版第24冊
159-1	佐藤与三書翰 井上夫人宛	佐藤与三	井上夫人	明治12年5月16日	1通	留守報告 西下中ノ井上日程					冊子複製版第24冊
160	関直彦書翰 井上馨宛 [...]										
160-1	関直彦書翰 井上馨宛	関 直彦	井上馨	明治21年10月4日	1通	郵便条例一件野村氏へ言上 再度諸新聞ト相談野村氏訪問ノ予定 自治研究会発会			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第24冊
160-2	関直彦書翰 井上馨宛	関 直彦	井上馨	明治23年 月22日	1通	第一区楠本ト競争 大倉喜八郎楠本支援ノヨシ 大倉氏自分投票へ説諭エウ					冊子複製版第24冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
160-3	関直彦書翰 伊東巳代治宛	関直彦	伊東巳代治	明治24年10月29日	1通	岐阜・名古屋震災 特派員出張手筈			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第24冊
161	仙石貢書翰 井上馨宛 [...]										
161-1	仙石貢書翰 井上馨宛	仙石貢	井上馨	明治28年2月13日	1通	広島二テ首・外・蔵・陸相等二仁川京城間測量成績復命 臨時費ヲ以テ仁川漢江間着手ニ決定朝鮮政府トノ通商条約案鉄道所有権ニツキ検討中 長谷川芳之助			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第24冊
161-2	仙石貢書翰 井上馨宛	仙石貢	井上馨	明治28年4月11日	1通	朝鮮鉄道一条条約未結困却 長谷川芳之助渡韓同氏多忙ニテ延引 助手同伴旅行費ノコト			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第24冊
162-1	専崎浦五平書翰 井上馨宛	専崎浦五平	井上馨	明治 年 5月26日	1通	米相場会所開設挨拶					冊子複製版第24冊
163	柴田家門書翰 井上馨宛 [...]										
163-1	柴田家門書翰 井上馨宛	柴田家門	井上馨	明治26年4月20日	1通	官途ヲ去リ代言事務発意援助依頼					冊子複製版第24冊
163-2	柴田家門書翰 井上馨宛	柴田家門	井上馨	大正元年12月29日	1通	就任挨拶					冊子複製版第24冊
163-3	柴田家門書翰 井上馨宛	柴田家門	井上馨	大正2年12月5日	1通	木戸公史伝ニツキ桂公意志 編輯経費ト出版ニ対スル意見					冊子複製版第24冊
163-4	柴田家門書翰 井上馨宛	柴田家門	井上馨	大正3(力)年12月15日	1通	木戸公史伝記自分希望渡辺世祐・中村芳治ヲ以テ代述 採択ヲ得ズ事業中止					冊子複製版第24冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
164-1	島田三郎書翰 井上馨宛	島田三郎	井上馨	明治33年3月7日	1通	商業教育功勞者矢野賞賜ノ趣旨			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第25冊
165	島村久書翰 井上馨宛 [...]										
165-1	島村久書翰 井上馨宛	島村久	井上馨	明治23年1月11日	1通	仏行政法以下五大法典終了 万国私法研究二着手 カタガタ英国法・地方制度・経済書他学ノツモリ 都筑馨六 欧州各国ノ近況報告					冊子複製版第25冊
165-2	島村久書翰 井上馨宛	島村久	井上馨	明治 年8月1日	1通	自分列席ニテ原田教諭ノコト猶予願ウ					冊子複製版第25冊
166	下田歌子書翰 井上馨宛 [...]										
166-1	下田歌子書翰 井上馨宛	下田歌子	井上馨	明治20年3月8日	1通	病氣見舞					冊子複製版第25冊
166-2	下田歌子書翰 井上馨宛	下田歌子	井上馨	明治27年5月10日	1通	京極家へ写真所望セシトコ口縁談決定 上杉千鶴子					冊子複製版第25冊
166-3	下田歌子書翰 井上馨宛	下田歌子	井上馨	明治27年5月22日	1通	先日申セシウチ壬生・保科ヲ除キ一七才 ソノ他ハ一六才以下ナラデハ心当リナシ					冊子複製版第25冊
166-4	下田歌子書翰 井上馨宛	下田歌子	井上馨	明治 年5月26日	1通	不在ニテ失礼 急用ナレバ今晚明朝ノウチ参上スベシ					冊子複製版第25冊
167	下河辺貴四郎書翰 本店取締役宛 [...]										
167-1	下河辺貴四郎書翰 本店取締役宛	下河辺 貴四郎	本店取締役	明治22(力)年 月19日	1通	岡山知事明晩帰県 東京ノ模様ニツキ知事談 命令書伺付箋ヲ付シ諸課へ廻付内容不明 大体ハ漸進主義 児島湾開墾掛新設 掛長野崎 養貝処分 自分意見ニ同意ノヨシ					冊子複製版第25冊
167-2	下河辺貴四郎書翰 井上馨宛	下河辺 貴四郎	井上馨	明治23年2月25日	1通	測量出来別紙縮図供覧 地取り説明	図面 1枚				冊子複製版第25冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
167-3	下河辺貴四郎 書翰 井上馨宛	下河辺 貴四郎	井上馨	明治23年6月 14日	1通	児島湾一条平穩 妹屋村漁民承服シテ形勢好転 実測着手ノ手筈 測量二四月ヲ要セン					冊子複製版 第25冊
167-4	下河辺貴四郎 書翰 井上馨宛	下河辺 貴四郎	井上馨	明治23(力) 年 月24日	1通	児島湾一条行政裁判所ニテ受理 被告知事ヲ勝タ シムルタメ岡山出張 法律家ニ研究依頼					冊子複製版 第25冊
167-5	下河辺貴四郎 書翰 井上馨宛	下河辺 貴四郎	井上馨	明治24(力)年 8月1日	1通	花氏一条藤田ヨリモ懇願 藤田改革主意藤田兄弟 へ伝達 誤聞ノ件ニ三事実報告					冊子複製版 第25冊
167-6	下河辺貴四郎 書翰 井上馨宛	下河辺 貴四郎	井上馨	明治24(力) 年 月18日	1通	申聞ノ件々藤田兄弟外二伝工一同敬服 児島湾一 条品川・柏村・野村三氏へ事情陳述ノタメ久原上 京					冊子複製版 第25冊
167-7	下河辺貴四郎 書翰 井上馨宛	下河辺 貴四郎	井上馨	明治 年6月 17日	1通	藤田所有茶室残月亭二ツキ問合せ					冊子複製版 第25冊
168-1	白石頼貞書 翰 井上馨宛	白石頼貞	井上馨	明治36年5月 5日	1通	都筑・大谷ヨリ伝言・尊書伝達 干家知事訪問休 職承諾得タリ 後任者大谷ヨリ照会承諾ヲ得引継 完了ノ上十三日二八出発セン					冊子複製版 第26冊
169	添田寿一書 翰 井上馨宛 [...]										
169-1	添田寿一書 翰 井上馨宛	添田寿一	井上馨	明治36年9月 18日	1通	小野田一条好都合ナラン コエツトゲン・セイル 兩人申出ノ日英共同事業会社社長渋谷男へ相談金子 男へ内定 同氏八閣下ニ相談ノ上トノコトナレバ 周旋乞ウ 川崎寛美 弊行条例改正案成立助力願 ウ					冊子複製版 第26冊
169-2	添田寿一書 翰 井上馨宛	添田寿一	井上馨	明治 年 月 24日	1通	本日モールズ氏ト会见 別甲号ニヨリ米国へ打 電 汽車車輛ノ件別乙号ノゴトク米国へ打電両件 トモ返事アリ次第内報ノハズ 公債調ハリス氏ヨ リ中立ノ件来電共ニ供覧	J. R. Morse書翰 1 通				冊子複製版 第26冊
169-3	添田寿一書 翰 井上馨宛	添田寿一	井上馨	明治 年9月 9日	1通	小坂鉦山ヨリ甲号申来リ上申ト変リナクハリス氏 ト連名乙号断リノ電報発 モールズ氏米国ヨリ返 事アリタリトイウ	Harris書翰 Soyeda & Harris電文				冊子複製版 第26冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
170	周布公平書 翰 井上馨宛 [...]										
170-1	周布公平書 翰 井上馨宛	周布公平	井上馨	明治23(力)年 1月3日	1通	曾根帰省ノ件山県並ビニ本人へ通知 萩土族共有 金ノ件在京連ニ相談奔走中ナレバ帰省ハ遅ラセタ イト					冊子複製版 第26冊
170-2	周布公平書 翰 井上馨宛	周布公平	井上馨	明治23(力)年 3月16日	1通	地所一条吉富ト相談アリヤ 実印押捺用紙送付セ リ 曾根荒助公務繁多日ツ原知事ト申合セ帰県延 期 同人競争多ケレバ議員タル望ミハナシ					冊子複製版 第26冊
170-3	周布公平書 翰 井上馨宛	周布公平	井上馨	明治25年11 月15日	1通	山田伯薨去次第 桐花大授章下賜慶賀					冊子複製版 第26冊
170-4	周布公平書 翰 井上馨宛	周布公平	井上馨	明治27年8月 29日	1通	総選挙切迫候補者二三出現 実業者立タズ当選ハ 別紙三名ナルベシ 日英条約改定慶賀 日清事件 勝報至リ慶賀 筑波艦					冊子複製版 第26冊
171	杉山茂丸書 翰 井上馨宛 [...]										
171-1	杉山茂丸書 翰 井上馨宛	杉山茂丸	井上馨	大正4年3月3 日	1通	病氣見舞					冊子複製版 第27冊
171-2	杉山茂丸書 翰 井上馨宛	杉山茂丸	井上馨	大正4年7月 25日	1通	スロ一飴奉呈					冊子複製版 第27冊
172-1	鈴木大亮書 翰 井上馨宛	鈴木大亮	井上馨	明治27年5月 1日	1通	鉄道会議臨時議員ノ件陸軍大臣了承済ミノ由 逋 信大臣異議ナキ上ハ奏請ノ手續トルベシ					冊子複製版 第27冊
173-1	鈴木藤三郎書 翰 井上馨宛	鈴木藤三郎	井上馨	明治 年3月 11日	1通	配慮ニヨリ議会通過 藤田四郎尽力共ニ感謝 益 田ヲ通シ弊社長藤田へ面談 閣下へ相談アルベク ヨロシク願ウ					冊子複製版 第27冊
174-1	高木陸郎書 翰 井上馨宛	高木陸郎	井上馨	明治43年9月 5日	1通	盛宣懷へ面会貴翰伝達 根本的解決ヲ議スルハ同 感 日魯協約・韓国併合後恐日感情強ク時機ヲ得 ズ 盛ノ事業漢陽鉄廠・萍鄉炭砒・大冶鉄砒拡張 資金ヲ日本ニ期待 若松製鉄所拡張案議会議会通過セ ハ砒石増購ノ議起ラン 漢冶萍拡張ノ口実ヲ得セ シメバ目的ヲ達セン 米資本進出ヲ窺ウノ形勢配 慮アリタシ					冊子複製版 第27冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
175	高橋是清書 翰 井上馨宛 [...]										
175-1	高橋是清書 翰 井上馨宛	高橋是清	井上馨	明治22年9月 14日	1通	特許局長ノ審判長兼務ヲ止ムハ審判事務ヲ本省ニ 移スノ意ナリヤ 条例設定ノ本来ノ精神ニテアリ タシ					冊子複製版 第27冊
175-2	高橋是清書 翰 井上馨宛	高橋是清	井上馨	大正3年8月 17日	1通	米国シッフ氏ヨリ時局ニ関シ電報アリ供覧	Schiff 電文和訳共		「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載		冊子複製版 第27冊
176-1	高橋義雄書 翰 井上馨宛	高橋義雄	井上馨	明治24年1月 14日	1通	三井組織改制ニ関シ渋沢ヘ尋問 家憲八穂積陳重 編制中 定款八岡山兼吉ニ依嘱 銀行定款細則自 己流ノ試案調査中 渡辺朝野新聞引受ケノコト 衆議院歳計予算二ツキ硬・軟両派軋蹶 保安条例 ニテ五六名江戸払					冊子複製版 第27冊
177	高平小五郎書 翰 井上馨宛 [...]										
177-1	高平小五郎書 翰 井上馨宛	高平小五郎	井上馨	明治20(力)年 4月12日	1通	当国事情機密信ニテ報告 形勢昨年トハ反対ニテ 平穩 袁世凱自肅各人人間ニ好感 デニー氏袁ニ 降伏ノ形 朝鮮ニ関シ魯清密約ソノ実否探偵中					冊子複製版 第27冊
177-2	高平小五郎書 翰 井上馨宛	高平小五郎	井上馨	明治25年10 月19日	1通	和蘭公使ヘ陞任平素ノ高誼感謝 初メテノ欧地言 語ト事情研究ノ愚存					冊子複製版 第27冊
177-3	高平小五郎書 翰 井上馨宛			明治26年10 月10日	1通	オランダ・デンマーク施策近情報					冊子複製版 第27冊
177-4	高平小五郎書 翰 井上馨宛	高平小五郎	井上馨	明治28年2月 11日	1通	条約改正調印マデニ進捗 露領在留朝鮮人ニ関ス ル新聞記事供覧					冊子複製版 第27冊
177-5	高平小五郎書 翰 井上馨宛	高平小五郎	井上馨	明治35年11 月27日	1通	スチーウンス面会ノヨシ 井上公使夫妻帰朝途次 立寄ラレ大統領・國務卿ヘ面会 大統領ノ人物著 作供覧					冊子複製版 第27冊
178-1	高嶺秀夫書 翰 井上馨宛	高嶺秀夫	井上馨	明治18年2月 25日	1通	踏舞会案内感謝					冊子複製版 第27冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
179	高崎親章書翰 井上馨宛 [...]										
179-1	高崎親章書翰 井上馨宛	高崎親章	井上馨	明治26(力)年5月28日	1通	日本鉄道会社二水戸鉄道分岐土浦川口線ノ計画水戸起点運動陳情委員出京力 為替一条及選挙干渉二ツキ警察費支出問題鎮静 実業家中民党接近ノ動キ事重大			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第27冊
179-2	高崎親章書翰 井上馨宛	高崎親章	井上馨	明治27年4月12日	1通	閣下不在ノ為メカ会議不勉強 会同ノ同僚ヨリヨリ内閣ノウワサノミ 前内閣八黒幕連山県伯二出入 早晚内閣更迭ヲ見込ム 閣下推戴ノ同僚会合 伊藤内閣ヘノ不満伊東翰長ニアリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第27冊
180-1	田村恰与造書翰 井上馨宛	田村恰与造	井上馨	明治28年12月6日	1通	安着敬賀 去ル二十八日小騒動 関係者多ク米人ノ加担証跡顯著 コノ事ノ失敗第二大隊長李二鎬ノ内応ヲ掴ミタルノ結果					冊子複製版第28冊
181	建野郷三書翰（キク連署） 井上両所宛 [...]										
181-1	建野郷三書翰（キク連署） 井上両所宛	建野郷三・キク	井上両所	明治24年1月14日	1通	着任挨拶					冊子複製版第28冊
181-2	建野郷三書翰 井上馨宛	建野郷三	井上馨	明治25年11月29日	1通	尼加拉瓦新条約中湖水云々ハ物議ヲ起サザルヤ墨国条約ノ秘密条款ハ皇国ノ弱点ヲ露呈廃棄スベシ 訓令アレバ示談イタスベシ 秘露条約不都合					冊子複製版第28冊
181-3	建野郷三書翰 井上馨宛	建野郷三	井上馨	明治25(力)年 月 日	1通	（断簡 署名ヲ欠ク）シカゴ博覧会副総裁兩人トハ異様 九鬼ノ相棒ノ口気ナレド公使ガ事務官ノ下席ニツクハ公使ノ權威ヲ損ズ 事務委員出張ナレバ出先公使一人ニテ可ナラン 補助ニスチヴンス氏挙用都合良カラシ（後文欠）					冊子複製版第28冊
181-4	建野郷三書翰 井上馨宛	建野郷三	井上馨	明治26年4月25日	1通	刻下第二ノ御一新力雄断ヲ祈ル 立憲ノ成果ヲ期待 布哇ノコト					冊子複製版第28冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
181-5	建野郷三書 翰 井上馨宛	建野郷三	井上馨	明治27年3月12日	1通	高田本省へ引上げ感謝 好機アレバ小県ニテモ候補ニ推輓乞ウ 総選挙開進主義多数進出メデタシ 例ノ一件行違イ当路大臣訓令到着思案中 今回ノ草案八対等条約ニヒトシ最後ノ決戦ナランソノ他公館経費ニ関スル件			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第28冊
182-1	田尻稻次郎書 翰 井上馨宛	田尻稻次郎	井上馨	年7月9日	1通	紹介状					冊子複製版第28冊
183	田島信夫書 翰 井上馨宛 [...]										
183-1	田島信夫書 翰 井上馨宛	田島信夫	井上馨	明治22年11月22日	1通	就産金関係ヲ絶タレ残念 今後ノ愛顧ヲ願ウ					冊子複製版第28冊
183-2	田島信夫書 翰 井上馨宛	田島信夫	井上馨	明治27年11月26日	1通	建築工事報告 第二回公債応募島津トノ申合イ松方伯ト交渉					冊子複製版第28冊
183-3	田島信夫書 翰 井上馨宛	田島信夫	井上馨	明治27年12月25日	1通	建築工事報告 炭砒株勘定書送付 電灯会社長候補木村推薦					冊子複製版第28冊
183-4	田島信夫書 翰 井上馨宛	田島信夫	井上馨	明治 年4月30日	1通	家事向連絡 毛利五郎					冊子複製版第28冊
183-5	田島信夫書 翰 井上馨宛	田島信夫	井上馨	大正 年12月22日	1通	安藤てる家計・株精算報告					冊子複製版第28冊
184-1	徳大寺実則書 翰 井上馨宛	徳大寺実則	井上馨	年7月22日	1通	両国花屋敷常盤屋へ臨席ヲ乞ウ 同席吉田・榎本					冊子複製版第28冊
185-1	徳川篤敬書 翰 井上馨宛	徳川篤敬	井上馨	明治21年11月1日	1通	公使館参事官周布公平へ臨時下賜金下付ノ周旋乞ウ					冊子複製版第28冊
186	徳久恒範書 翰 井上馨宛 [...]										
186-1	徳久恒範書 翰 井上馨宛	徳久恒範	井上馨	明治34年2月26日	1通	宣誓書連署人名紹介 肥後農工銀行頭取藤村紫朗他					冊子複製版第28冊
186-2	徳久恒範書 翰 井上馨宛	徳久恒範	井上馨	明治34年2月27日	1通	一同帰熊 各銀行重役連ヲ招待 藤村・高橋ヨリ現下ノ苦境・営業方針ノ誤リ等ヲ演舌 指示ノ件宣誓書草案ヲ作り懇情ヲ説明一同承服 将来ノ実行方法相談 両行復活ノ希望					冊子複製版第28冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
187-1	富井政章書翰 井上馨宛	富井政章	井上馨	明治 年2月7日	1通	仏国公使館二テオ話ノ件 法科大学教授梅謙次郎・前橋地方裁判所長河村讓三郎ノイズレカ適任 ソノ処遇ノコト 学オアル試補入用ナレバ水野鍊太郎有望ナリ					冊子複製版第28冊
188	富永冬樹書翰 井上馨宛 [...]										
188-1	富永冬樹書翰 井上馨宛	富永冬樹	井上馨	明治 年11月6日	1通	援助ヲ乞イ省議一変 白冠ヲ戴ク栄ヲ得感謝					冊子複製版第28冊
188-2	富永冬樹書翰 井上馨宛	富永冬樹	井上馨	明治 年12月2日	1通	更衣帰京感謝 生前白冠ノ栄感銘万謝					冊子複製版第28冊
189-1	富岡敬明書翰 井上馨宛	富岡敬明	井上馨	明治24年4月16日	1通	非職 貴族院議員勅選拜命挨拶			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第28冊
190	富田鉄之助書翰 井上馨宛 [...]										
190-1	富田鉄之助書翰 井上馨宛	富田鉄之助	井上馨	明治26年4月16日	1通	内示ノ件説得セシモ前説固守直話乞ウ 多摩地方村長選挙ノコト					冊子複製版第28冊
190-2	富田鉄之助書翰 井上馨宛	富田鉄之助	井上馨	明治26年10月26日	1通	免官挨拶					冊子複製版第28冊
191-1	頓野馬彦書翰 井上馨宛	頓野馬彦	井上馨	明治25年10月2日	1通	故国司大夫建碑撰文・篆額・筆者ノコト					冊子複製版第28冊
192	豊永長吉書翰 井上馨宛 [...]										
192-1	豊永長吉書翰 井上馨宛	豊永長吉	井上馨	明治22年2月16日	1通	憲法発布メデタシ 森大臣ノ凶報山口県人ノ面目ナシ 内願ノ炭坑ノ件遷延 蓮華寺炭坑借区願競争我方有利 田川郡香春・中津原出願ノコト ソノ他					冊子複製版第28冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
192-2	豊永長吉書翰 井上馨宛	豊永長吉	井上馨	明治 年3月25日	1通	舎密会社長ヲ引受ケ繁忙 金田炭坑株主会ニ出席 内命ノコト申出好都合買取リヨロシカラシ瓜生商会ヘ石炭定約ノコト					冊子複製版第28冊
192-3	豊永長吉書翰 井上馨宛	豊永長吉	井上馨	明治 年10月18日	1通	金田炭坑才蔭ニテ好結果 山県技師雇約 資本借用アリガタシ 馬関新聞ノコト 土地心配ナキヨウ尽力中					冊子複製版第28冊
193-1	鶴原定吉書翰 井上馨宛	鶴原定吉	井上馨	明治39年1月12日	1通	統監府赴任挨拶			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載		冊子複製版第28冊
194-1	内田定朴書翰 井上馨宛	内田定朴	井上馨	明治28(力)年2月4日	1通	法務衙門参議張博ノ進退ノ件 大院君・東学党煽動事件ニテ李秉輝等審問ノ際面識 他ノ官吏八大院君ヲ憚リ出デズ一人張参議出席 タメニ収賄ノ罪ヲ負ワサレ辞表ヲ求メラル 朴泳孝モ張ヲ除カントスル模様					冊子複製版第29冊
195	若槻礼次郎書翰 井上馨宛 [...]										
195-1	若槻礼次郎書翰 井上馨宛	若槻礼次郎	井上馨	大正4年4月2日	1通	大正四年度予算別冊供覧					冊子複製版第29冊
195-2	若槻礼次郎書翰 井上馨宛	若槻礼次郎	井上馨	大正4年8月11日	1通	辞任挨拶					冊子複製版第29冊
196-1	渡辺治書翰 井上馨宛	渡辺治	井上馨	明治23年1月26日	1通	東京都新聞ノ負債完済 藤田負担株ノ外新聞社ハ関係ナシ 東京トノ関係ヲ絶チ大阪ノ基礎確立感謝 東京ノ新聞徒損ニ非ズ将来恢復ノ途アリ 大阪ノ株ノ配分万端好都合ノ見込ミ 実業家団結ノ話広瀬宰平広ゼズ東京方面新聞創刊力 井上・後藤同盟ノ風評時事新報ニテ否定 大阪ニテ改進黨新聞計画大隈遭難ニテ流レ 東雲新聞穩ヤカ神戸ニテ会談ノ効力					冊子複製版第29冊
197	渡辺専次郎書翰 井上馨宛 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
197-1	渡辺専次郎書翰 井上馨宛	渡辺専次郎	井上馨	明治37年5月5日	1通	魯国国債募集 巴里ニテ募集米國資本家モ応ズル報不可解照会中					冊子複製版第29冊
197-2	渡辺専次郎書翰 井上馨宛	渡辺専次郎	井上馨	明治37年5月5日	1通	ロンドン発電報 本邦公債六九倍二昇騰					冊子複製版第29冊
197-3	渡辺専次郎書翰 井上馨宛	渡辺専次郎	井上馨	明治37年5月6日	1通	細育照会ノ結果 魯国債米人応募ノ報ハ転電ノ誤リ 日本債一五〇〇万弗引受ケノタメ米人シンチケート組織ノウワサ	英文電報写 1枚				冊子複製版第29冊
197-4	渡辺専次郎書翰 井上馨宛	渡辺専次郎	井上馨	明治37年5月6日	1通	ロンドン電報日本債半勝下落					冊子複製版第29冊
198-1	渡辺渡書翰 井上馨宛	渡辺渡	井上馨	明治28年3月5日	1通	工務衙門鉱山局奉職ノ具然寿・朴昂奎・朴致雲三名ハ当鉱山ニテ技術修得 現在不遇実務ニツキ得ザル由 配慮乞ウ					冊子複製版第29冊
199-1	山県良蔵書翰 井上馨宛	山県良蔵	井上馨	明治 年7月16日	1通	政海波瀾ノ兆山口県人ハ如何アルベキカ高説承リタシ					冊子複製版第31冊
200-1	山本達雄書翰 井上馨宛	山本達雄	井上馨	明治34年3月28日	1通	熊本第九銀行ノ件安田・高橋尊翰持参来行 抵当品自由入替依頼アリ 困難ノ注文ナレド銀行存廃ニ関スルコトナレバ存続ノ決定ヲ確メ承諾スルコトトセリ 然ルニ協議不調ニテ存続断念ト申越ス 食言不快ナレド行員国庫引受ノタメ熊本出張 閣下・松方伯ノ採決ニ任セ再度継続ノコトトナル					冊子複製版第31冊
201-1	安場保和書翰 井上馨宛	安場保和	井上馨	明治27年12月23日	1通	特別市制廃止案衆議院可決 貴族院へ廻付 自分調査安貞トナリ慎重事ニアタルノツモリ 愚見貴聴ヲ煩ラワシタシ					冊子複製版第31冊
202-1	安田善次郎書翰 井上馨宛	安田善次郎	井上馨	明治37年8月18日	1通	支店巡回中 調査終了次第参上報告スベシ					冊子複製版第31冊
203-1	安広伴一郎書翰 井上馨宛	安広伴一郎	井上馨	明治 年 月 11日	1通	北海道長官予算上凶徒引上必要ト主張 解散ニヨリ予算不成立 前年度予算執行ニツキ凶徒引上必要ナシノヨシ					冊子複製版第31冊
204-1	安川敬一郎書翰 井上馨宛	安川敬一郎	井上馨	明治40年8月20日	1通	島田技師設計予算団病氣ノタメ遷延 団退院遅レナバ島田案携行三井家へ懇談ノツモリ 何日平岡同道ニテ参上スベキヤ					冊子複製版第31冊
205-1	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17年8月21日	1通	(前文欠) 開戦宣告ニ至ルベシ 明日内閣ニ出デ清仏関係ニツキ陳述イタス方ヨロシカラシ					冊子複製版第31冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
206-1	吉田庫三書 翰 井上馨宛	吉田庫三	井上馨	明治22年5月1日	1通	県下相纏メ尽力謝ス 自分身上ニツキ内務属判任九等 終身高等官ノ途ナク教師ニ転進希望 所管ノ農林・商業学校ニ就職先ナキヤ					冊子複製版第31冊
207	吉富簡一書 翰 井上馨宛 [...]										
207-1	吉富簡一書 翰 井上馨宛	吉富簡一	井上馨	明治5年8月 日	1通	銀子受払明細覚書					冊子複製版第32冊
207-2	吉富簡一書 翰 井上馨宛	吉富簡一	井上馨	明治7(力)年11月17日	1通	陸軍省納入同慶 米相場動キニツイテ 阪社ノ事務略完了 ソノ他					冊子複製版第32冊
207-3	吉富簡一書 翰 井上馨宛	吉富簡一	井上馨	明治8年7月31日	1通	藤田遣イ方云々オ断リ 彼ハ社主差図ヲ受クル立場ニ非ズ 一〇月マデハ引受クルモ以後放免願ウ 米売買多忙ノ折花見トハ言語同断 事ヲ共ニスルノ相手ニ非ズ ソノ他米相場動キ					冊子複製版第32冊
207-4	吉富簡一書 翰 井上馨宛	吉富簡一	井上馨	明治16年3月14日	1通	新聞開設ニ関シ県外人ヘハ内密ニ願ウ 種々県庁ヘ申立テノ町野周吉沼間守一二依頼 種作付之米代ニ異議申立 コノ人物県会議員トナリ歎ズベシ 中野武宮来県ハ改進黨手先協同社追及ノ策力 協同社ノ現状将来	(イ) 協同社事務ノ大略 社長吉富簡一 明治5年2月 活版1綴 (ロ) 山口表新聞誌局設立予算表 明治16年2月11日 1綴				冊子複製版第32冊
207-5	吉富簡一書 翰 井上馨宛	吉富簡一	井上馨	明治22年9月26日	1通	新聞掲載記事報告 帰郷動向土族授産金ノコト					冊子複製版第32冊
207-6	吉富簡一書 翰 井上・柏村宛	吉富簡一	井上・柏村	明治22年12月14日	1通	県会閉会 山口学校寄宿建築地 萩ソノ他学校土地建物備品私立教育会ヘ永世貸渡議決 土族共有金処理各地状況 県庁・議事堂建築ノコト					冊子複製版第32冊
207-7	吉富簡一書 翰 井上馨宛	吉富簡一	井上馨	明治39年3月9日	1通	平和妥結ハ幸イ更ニ一年続ケバ日露両国共大事ニ至ラン 戦後経済困難 地方ノ諸税人民負担ノ実情 下等者ハ物価高二応ジ賃高価タルベク中等以上収支償ワズ破産セン 地方自治体疲弊急務ハ金融難打開 不動産ニ対スル金融ノ法 戦後経営所見					冊子複製版第32冊
208-1	凶師民嘉書 翰 井上馨宛	凶師民嘉	井上馨	明治 年12月4日	1通	山本・丸田関係丸田ヨリ不満ノ実情聴取 スグ様報告ハ控工渡台真相究明ノ上内申セン					冊子複製版第32冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
209	筆者不明書 翰 井上馨宛 [...]										
209-1	筆者不明書 翰 井上馨宛	筆者不明	井上馨	明治22(力)年 12月 日	1通	青木大臣・品川子へ伝言伝達 意見書・参照書浄 写出来三条内府へ届ケ天覧依頼意見書中日露条約 第三条青木大臣ト相談削除 農商務省次官未定 岩村八西村力渡辺洪基提出ノ情報ノヨシ(後文 欠)					冊子複製版 第32冊
209-2	筆者不明書 翰 井上馨宛	筆者不明	井上馨	明治26年 9(力)月 日	1通	(内海忠勝書翰力)北海道巡視御苦勞 布引二撰 養中 当地水道事業補助金下賜二ツキ鳴滝市長他 引見願ウ(後文欠)					冊子複製版 第32冊
209-3	筆者不明書 翰 井上馨宛	筆者不明	井上馨	明治27年11 月20日	1通	今春来拝願一条才蔭ヲ以テ好結果ヲ得感謝 伊藤 伯へ拝陳承諾ヲ得 別紙命ノ如ク提出 左右二操 筆ノ者京城派出員新井由三郎ヲ使用セラレタシ					冊子複製版 第32冊
209-4	筆者不明書 翰 井上馨宛	筆者不明	井上馨	明治31年3月 13日	1通	緊急勅令ハ公共ノ災厄ヲ避ケルタメ発シ得ルモ ノ 一円銀貨引換四月末マデ待チ難キ事情アレバ 差支エナシ 尤モ次議會ノ承諾必要二ツキ内閣ノ 責任考慮ヲ要ス					冊子複製版 第32冊
209-5	筆者不明書 翰 井上馨宛	筆者不明	井上馨	明治 年2月 26日	1通	狩猟法案出席者懸念 伊東書記官長ト相談 五大 臣ヨリ書通ノ議員宅へ秘書官差向ケ方花房秘書官 ヲ以テ手配 出院手配安心アレ					冊子複製版 第32冊
209-6	筆者不明書翰 (嵐香署 名) 山県宛	筆者不明	嵐香署名 山 県	明治 年3月 20日	1通	遠田甚助馬関出役 申合セニヨリ尽力予定ノトコ 口 馬関弊習一掃ナラズ辞職 小林武兵衛ヨリ委 細才聞取り願ウ					冊子複製版 第32冊
209-7	筆者不明書 翰 井上馨宛	筆者不明	井上馨	明治 年10 月19日	1通	三井・福田・白石元株主ト協議買受人ニ談判買受 人不在決定ニ至ラズ 三井等ヨリ高配ニ対シ努力 中ナルコト伝達依頼					冊子複製版 第32冊
209-8	筆者不明書 翰 井上馨宛	筆者不明	井上馨	明治 年11 月23日	1通	故山田伯公葬ハ井上伯取計イノ壬辰組集會聞込ミ					冊子複製版 第32冊
209-9	筆者不明書 翰 井上馨宛	筆者不明	井上馨	明治 年11 月28日	1通	(前文欠署名四郎) 転任拜命 難治ノ府ト聞キ遂 巡 権知事懇憑ニヨリ一応下坂 聞キシニ優ル乱 雑 今更拜辞ハナラズヤル処マデヤルツモリ 流 言アランモ援助願ウ					冊子複製版 第32冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
209-10	筆者不明書翰 井上馨宛	筆者不明	井上馨	明治 年 月 26日	1通	伊藤伯二熟談 同論ニテ穏和解決ノ見込ミ安心大隈・板垣ニ火ヲツケ過ギ跡始末ニ困却 参上相談ノツモリ					冊子複製版第32冊
209-11	筆者不明書翰 井上馨宛	筆者不明	井上馨	明治 年 月 日	1通	尊台へ提出ノ内翰持参 渋沢へ陳述アイマイノ事件意味不徹底検査頭ノ詰問アリ本省ニモ疑惑ノ向キ 内翰ハ尊台へ徹底セバヨロシク面晤ヲ得タシ(後文欠)					冊子複製版第32冊
210	李夏栄書翰 井上馨宛 [...]										
210-1	李夏栄書翰 井上馨宛	李夏栄	井上馨	隆熙3年3月12日	1通	山林協会設立挨拶 理事中西虎彦東京へ差遣 息子東京留学希望御指揮願ウ					冊子複製版第33冊
210-2	李夏栄書翰 井上馨宛	李夏栄	井上馨	隆熙3年5月16日	1通	礼状					冊子複製版第33冊
210-3	李夏栄書翰 井上馨宛	李夏栄	井上馨	隆熙3年9月3日	1通	愚息留学ノ件ニツキ御配慮感謝 貴命ニヨリ中学課程当地ニテ修得セシメン					冊子複製版第33冊
211	Walter Dening書翰 井上馨宛 [...]										
211-1	Walter Dening書翰 井上馨宛	Walter Dening	井上馨	1889年2月8日	1通	田中平三郎破産ニ関シ 貸金返済斡旋依頼					冊子複製版第33冊
212	青木子尺牘 卷一				1巻	青木周蔵書翰 4通				詳細は212-1~4参照	
212-1	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治20年9(力)月28日		伊公使新改正案提出ヲ聞込ミ独公使一見ヲ希望ソノ借用斡旋ノ依頼アリシモ閣下宮中顧問官へ転任書類不明ノ旨返答セリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「212 青木子尺牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第1冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
212-2	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治20年8月10日		英・伊両公使面談ノ仔細 並ニシーボルトオ托シノ訓令書敬承 従前担任ノ重責脱却心中拝察重修会議中止責メノ一半八生等計画未熟ニアリ 当地布哇公使モ中止ヲ慨嘆 中止不可ハ法律編纂 法制局面目一新ノ要 司法部ノミナラズ行政各般改良ノ機 田舎ノ情況ハ悲惨			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「212 青木子尺牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
212-3	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治20年9月8日		伊公使・独総領事嫌味半分時間空費迷惑セリ 伊公使提出ノ書類返却希望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「212 青木子尺牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
212-4	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治20年12月28日		伊伯二招カレ談話 老閣ノ身上ニ及ブモ自分取持チセズ 所懐一首 人心頹廃タダ吾人ノ協和ノミニ骨折ルハ笑止 自分・野村ノ挙動掛念無用			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「212 青木子尺牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
213	青木子尺牘 卷二				1巻	青木周蔵書翰 7通				詳細は213-1～7参照	
213-1	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治21年1月1日		年賀 帰府予定伺イ 独公使帰国			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「213 青木子尺牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
213-2	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治 年7月4日		明日参館ノ旨敬承 野村ヘモ通知セリ 大隈本日帰府ノ由				「213 青木子尺牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
213-3	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治 年7月15日		先日古沢ヲ通ジオ話セシ日々新聞ノ件 渋沢ヘ然ルベク説諭乞ウ				「213 青木子尺牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
213-4	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治21(カ)年12月5日		来旨敬承今一度尊意伺イノ上陸奥ヘ電信スベシ 西郷伯ヘノ返答高論ノゴトクイタスベシ				「213 青木子尺牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第1冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
213-5	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治22年2月25日		官制改革案出来大隈伯へ提出 旅行前一閱乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「213 青木子尺牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
213-6	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治22年6月18日		人各々立場アリ老台ノ決定ヲ非トスルニアラズ一人苦境ヲ免ルルノ語ハ賛成シガタシ 再考願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「213 青木子尺牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
213-7	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治22年12月13日		協議ノ通り条公露・独両公使ト面会ノ上電信文写手交 露公使何カイタル模様ナルモ不都合ナシ 米公使不在ニツキ条公明日尋問ノ予定				「213 青木子尺牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
214	青木子尺牘 卷三				1巻	青木周蔵書翰 4通				詳細は214-1～4参照	
214-1	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治22年6月26日		手帳深更入手ノタメ大隈伯へ伝信ニイタラザルモ要ハ他ノ伯ノ参向謝絶ニアラン イツモノ短気ニテ最後ノツメヲ残シ放棄ハ取ラズ 伊・大両伯ト至急協議願ウ三伯協定成リテ日本船ハ安泰 大隈伯トノ談合結果懸念			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「214 青木子尺牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
214-2	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治22年7月5日		オ申越ノ件大隈伯へ申入レ 同伯了承七時ヨリ参上スベシト 自分貴意ニヨリ参会セズ 情実主義ニ墮セザルヨウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「214 青木子尺牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
214-3	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治 年 月 6日		鉱山一件益田・杉村・伊藤・種田・自分会合第一純益金ヲ九名ニ分配 第二鉱山ヲ三井へ譲渡 第一回配金後解会ニツキ相談 第一ノタメ売却ハ二〇万円ヲ要スル次第老台へ依頼 モツセ・ラートケンノコト明朝申アグベシ				「214 青木子尺牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
214-4	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治22(カ)年12(カ)月12日		電信及ビ三公使ヘノ行文案デニソノ別紙ノ通り修正 和文モ修正ノ上山県伯へ回覧スベシ				「214 青木子尺牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第1冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
215	青木子尺牘 巻四				1巻	青木周蔵書翰 3通				詳細は215-1~3参照	
215-1	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治22年8月11日		帰化人法官ニツキ独公使西園寺・ビスマルク間ノ商議ニ委ネタシト 又延期ハ不同意ナリ 個別商議ヲトル以上締結齊一ナラザルハ自明 露・英・伊トモ商議進行中延期申出ハ信頼感ヲ傷ケン コノ辺ハ大隈ヘ一任ガ妥当 法官採用ニ関シ中止説ハ露・仏・独公使等硬化 大隈苦境懸念アリ 伊藤出京大隈ト密談 状勢至難山県伯近ク帰国 議院両政党ノ戦場トナルカ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「215 青木子尺牘 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
215-2	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治22年9月25日		後藤中止ハ自論ナリト大同派二言明ノヨシ 英公使ヨリノ提出ナシ 外国判事控訴院マデハ考エルザルモ事実審理マデ立入ルコトヲ主張ノヨシ 辞表ハ出サレタルヤ山印帰国前可ナルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「215 青木子尺牘 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
215-3	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治 年 月 26日		昨日ハ弘中大骨折リ 伊・独公使来リ商議再開ヲ要求 英公使商議中止トナレバ逆提議ニ及ブノ意向ナリトイウ				「215 青木子尺牘 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
216	青木子尺牘 巻五				1巻	青木周蔵書翰 4通				詳細は216-1~4参照	
216-1	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治23年2月18日		修正四カ条覚書作製 昨日今日枢密院ニテ説明同意ヲ得 各国公使ヘ提出ノツモリ 不動産問題明示セズ 各国法律ニ抛ルノ旨趣ナリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「216 青木子尺牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
216-2	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治23年2月14日		改正ニ関スル忠告敬承 登閣前ヨリ功名心ハナシ 安易ノ妥協モ考エズ掛念無用 タダシ内部干渉ハ閉口 改正一条覚書ニ対シ小田原反対提議 伊東意見等ニテ枢密院ニ付議 陸奥不満ソノ処遇策			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「216 青木子尺牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
216-3	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治23年4月4日		都筑ニ関シ総理ト話セシコトナシ 公債一件ニツキ都筑英国派遣ハ好都合総理ト都筑談話ノ際貴名ニ触レ行違イ生ゼシヤ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「216 青木子尺牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第1冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
216-4	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治23年6月 11日		桂中将ヲ以テ品川へ申入レタレドモ品川十分二理解ナキ模様 直接品川へ説明乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「216 青木子尺牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版 第1冊
217	青木子尺牘 巻六				1巻	青木周蔵書翰 5通				詳細は217-1～5参照	
217-1	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治19年7月 19日		金玉均抑留未解決 仏公使沖県令処分ヲ非難仏船二乗船スベキ旨申入レ 高平公使ヨリ来電金刺客張・池二関スル情報 内務大臣ト協議張挙動報告方内海県令へ指令			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「217 青木子尺牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版 第1冊
217-2	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治23年9月 2日		本年二月三日各国公使へ交付ノ覚書及英公使宛ノ分覚書ノ説明一閱乞ウ 藤田四郎			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「217 青木子尺牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版 第1冊
217-3	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治23年11 月25日		英公使へ面談 国会開会前二商議再開不都合数週間ノ延期申入レ 英公使難色提出案返却ヲ主張セシモ延期方納得			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「217 青木子尺牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版 第1冊
217-4	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治20(カ)年 12月2日		寺島外務卿時代タリフ・ルートノミー一件書類外二冊送付 一八年頃外国政府ヨリ提出ノ書類見当ラズ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「217 青木子尺牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版 第1冊
217-5	青木周蔵書 翰 山県大臣 宛	青木周蔵	山県大臣	明治22年12 月10日		米・独・露二対シ延期申入レセズテ八不都合 英文電信案及ビ公使へノ行文案自分起案セリ呈覽 乙号行文案中電報文トアルハ西園寺・西・陸奥へノ電訓書込箇所ナリ 井上・榎本両大臣へモ回覽乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「217 青木子尺牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版 第1冊
218	青木子尺牘 巻七				1巻	青木周蔵書翰 5通				詳細は218-1～5参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
218-1	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治 年 月 11日		碓山技師ノ件某欧人ニ示談セシトコロ 月俸三五〇ヨリ四〇〇円ノ間ニテ相当ノ人招聘可ナリト				「218 青木子尺牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版 第1冊
218-2	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治 年 月 20日		小樽開港主張無用ニ願ウ 加藤高明ニヨレバ大隈伯ト露公使ノ間ニ約束ナシト 東京公論ニ私ニ関シ虚構記事モアレバ注意乞ウ				「218 青木子尺牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版 第1冊
218-3	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治24年8月 2日		後藤伯へ辞職勧告ノ際同夫人ヨリ故障セラレタト力 後藤・西郷ト相結ビ策謀セシト力 皆ナ事実無根ナリ 自分辞職ノ際ノ心事 現下ノ時務決起ヲ促ス			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「218 青木子尺牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版 第1冊
218-4	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治24年11 月13日		自分独逸行ハ好都合 河瀬ト交代ロンドン在勤セン 当地出発ノ来春マデ枢密院ニ籍ヲ置キタシ 斡旋乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「218 青木子尺牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版 第1冊
218-5	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治24年12 月21日		自分枢密院入りハ聖慮アリ不可能 親任官ヲ以テ 伯林公使タルベシト榎本子ヨリ内聞 如何スベキヤ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「218 青木子尺牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版 第1冊
219	青木子尺牘 巻八				1巻	青木周蔵書翰 8通				詳細は219-1～8参照	
219-1	青木周蔵書 翰 春畝・椿山・世外宛	青木周蔵	春畝・椿山・ 世外	明治25年8月 30日		着任挨拶 新内閣組織慶賀 露新公使ニツキ外相へ通報聴取乞ウ 同国公使任国ノ官吏売収ノ事 実 条約改正一件独意向面白カラズ 殖民政略ニツキ決議アレバオ知ラセ願ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「219 青木子尺牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版 第1冊
219-2	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治26年2月 5日		対議會苦勞ナルベシ 独帝日本政情ニツキ懇話アリ 井上ノ手ニテ政府強化策ナキヤトアリタリ ワイマル大公我皇太子教育ニ関心ノコト伊藤伯へ申送レリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「219 青木子尺牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版 第1冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
219-3	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治26年4月8日		山田・杉安着 澳公使後任拒否ニツキ澳政府並ニ本人ヨリ苦情申出アリ 前任者再任シ交渉アラシ 陸奥ニ助言アリタシ メキシコ・南米殖民ハ将来ノ大害 神祇官設置抑止アルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「219 青木子尺牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
219-4	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治26年4月27日		バルカン視察旅行ノ予定 後任者四五名派遣依頼ノ後当国大臣・グナリスト等へ面会 彼等我政府軟弱ヲ批判 独皇我衆議院ノ二月事件ヲ共和政治ト諷ス			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「219 青木子尺牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
219-5	青木周蔵書翰 渋沢栄一宛	青木周蔵	渋沢栄一	明治26年4月28日		商業又ハ経済学修ノタメ令息留学ノコト再应考虑アリタシ				「219 青木子尺牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
219-6	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治33年9月12日		白耳義シンヂケート提議 及ビ清国財務ニツキ某西洋大銀行ヨリ掛合イアリ 帰京予定承リタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「219 青木子尺牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
219-7	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治33年9月13日		本野公使電信ノ件及ビ緊要ノ一件 一昨夜伊藤侯ノ合意取付ケ 緊要一件ニツキ相談イタシタシ 帰京ナケレバ参訪スベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「219 青木子尺牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
219-8	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治33年9月14日		昨日呈書中ノ緊要一件トハ同封電信ノコト 伊藤侯同意ナレド相馬正金銀行代表ハ不足 日英協商ニヨリ決行セバ東洋各国ノ財政ニ影響大 人選ニツキ相談イタシタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「219 青木子尺牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
220	熾仁親王・威仁親王妃書翰 巻一				1巻	有栖川宮熾仁王書翰 1通 同 慰子書翰 3通				詳細は220-1～4参照	
220-1	有栖川宮熾仁親王書翰 井上馨宛	有栖川宮熾仁親王	井上馨	明治 年6月14日		不参挨拶状				「220 熾仁親王・威仁親王妃書翰 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第2冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
220-2	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上馨	明治28年5月11日		病気見舞				「220 熾仁親王・威仁親王妃書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
220-3	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	明治38年9月13日		帰朝平信				「220 熾仁親王・威仁親王妃書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
220-4	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	明治 年6月30日		平信 カイザー銀婚式贈品代価ノコト カールアントン殿下 梨本宮妃 黒田伯家ノコト ソノ他				「220 熾仁親王・威仁親王妃書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
221	威仁親王妃書翰 巻二				1巻	有栖川宮慰子書翰 3通				詳細は221-1~3参照	
221-1	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	明治39年3月10日		生母死去 コノート親王ガーター勲章捧呈二来朝 歓迎ノ模様 西園寺八郎				「221 威仁親王妃書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
221-2	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	明治39年4月18日		独艦横浜入港 司令長官皇帝伝言伝達 滝川大佐 帰朝 伊国皇族来遊				「221 威仁親王妃書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
221-3	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	明治39年12月7日		西園寺八郎 高木兼寛 陸軍凱旋 伊藤朝鮮ニテ被害				「221 威仁親王妃書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
222	威仁親王妃書翰 巻三				1巻	有栖川宮慰子書翰 3通				詳細は222-1~3参照	
222-1	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	明治38年11月11日		日英同盟成立 英国大使任命独国モ大使昇格トノコト 駐独大使八井上勝之助ナリト				「222 威仁親王妃書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第2冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
222-2	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	明治31年7月31日		伯林安着慶賀 内閣更迭新顔多シ 露国シリアル親王来朝 伊藤博文訪清 徳川篤敬 土方久明				「222 威仁親王妃書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
222-3	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	明治37年12月27日		出征軍人へノ寄送品作業 露国ヨリノ避難民独英ノ日本語塾 前田朗子				「222 威仁親王妃書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
223	威仁親王妃書翰 卷四				1巻	有栖川宮慰子書翰 2通				詳細は223-1~2参照	
223-1	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	明治37年6月13日		戦勝メデタシ 提灯行列ヲ見物 軍人援護会 赤十字繻帯巻 栗野公使夫妻帰朝				「223 威仁親王妃書翰 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
223-2	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	明治40年1月20日		先帝四〇年祭二名代代行 宮内大臣朝鮮皇太子婚儀二差遣 伊藤勇吉 コノート殿下結婚二伏見宮差遣				「223 威仁親王妃書翰 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
224	威仁親王妃書翰 卷五				1巻	有栖川宮慰子書翰 3通				詳細は224-1~3参照	
224-1	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	年9月22日		近況消息				「224 威仁親王妃書翰 卷五」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
224-2	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	大正3年6月29日		小松宮妃薨去 帝室ノ凶事続キ陰気 山座公使・水野参事官氣ノ毒 松平幸子				「224 威仁親王妃書翰 卷五」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
224-3	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	大正4年9月4日		新聞ニテ井上侯爵大患承知 見舞状				「224 威仁親王妃書翰 卷五」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
225	威仁親王妃書翰 卷六				1巻	有栖川宮慰子書翰 4通				詳細は225-1~4参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
225-1	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	大正8年2月13日		横文書翰下書感謝 悪性流感流行 皇子傳育官長三好死去 徳川実枝子来訪 ロンドンノ慶久勝之助世話二ナリ感謝				「225 威仁親王妃書翰 卷六」(1巻)の内	冊子複製版 第2冊
225-2	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	大正2年2月2日		侯爵病氣軽快メデタシ 勝之助英大使任命 祝賀				「225 威仁親王妃書翰 卷六」(1巻)の内	冊子複製版 第2冊
225-3	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	大正2年12月22日		故宮様亮去後無沙汰失礼 徳川慶喜ソノ他近況				「225 威仁親王妃書翰 卷六」(1巻)の内	冊子複製版 第2冊
225-4	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	年12月20日		平山別当ヨリ委細拝承 礼状				「225 威仁親王妃書翰 卷六」(1巻)の内	冊子複製版 第2冊
226	威仁親王妃書翰 卷七				1巻	有栖川宮慰子書翰 3通				詳細は226-1~3参照	
226-1	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	大正元(力)年11月23日		両陛下葉山行幸啓ノコト心配感謝 雲喜ノ勘定ノコトソノ他				「226 威仁親王妃書翰 卷七」(1巻)の内	冊子複製版 第2冊
226-2	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	大正元(力)年11月27日		鎌倉ノコト配慮感謝 博邦 雲喜ノ勘定 朗子				「226 威仁親王妃書翰 卷七」(1巻)の内	冊子複製版 第2冊
226-3	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	大正元(力)年12月15日		送品御礼 末松生子 博邦病氣 小田徳五郎				「226 威仁親王妃書翰 卷七」(1巻)の内	冊子複製版 第2冊
227	威仁親王妃書翰 卷八				1巻	有栖川宮慰子書翰 3通				詳細は227-1~3参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
227-1	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	大正元(力)年12月11日		博邦病氣見舞 鎌倉会ノコト急ガズ ソノ他				「227 威仁親王妃書翰 卷八」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
227-2	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	大正元年12月19日		三年町ニテ別当二面会クダサレシヨシ 電気ノコト感謝 二五日過來訪ヲ待ツ早川・別当ヨリ聞キタル上相談イタシタシ 末松生子 桂内閣				「227 威仁親王妃書翰 卷八」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
227-3	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	大正2年1月30日		都筑発熱見舞 毛蒲団ノコト 侯爵病氣見舞				「227 威仁親王妃書翰 卷八」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
228	威仁親王妃書翰 卷九				1巻	有栖川宮慰子書翰 4通				詳細は228-1~4参照	
228-1	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	大正 年11月23日		両陛下葉山避寒ニツキ心配感謝 洋服ノコト				「228 威仁親王妃書翰 卷九」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
228-2	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	年11月30日		三年町へ足労洋服才取調べ賜り感謝 早川へ御面会クダサルヨシ早川承諾スルヤ懸念 都筑男				「228 威仁親王妃書翰 卷九」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
228-3	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	年1月12日		寒中見舞				「228 威仁親王妃書翰 卷九」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
228-4	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	年1月14日		送品礼状				「228 威仁親王妃書翰 卷九」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
229	威仁親王妃書翰 卷十				1巻	有栖川宮慰子書翰 4通				詳細は229-1~4参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
229-1	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	年12月7日		送品礼状				「229 威仁親王妃書翰 卷十」(1巻)の内	冊子複製版 第2冊
229-2	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	年11月20日		先日才話ノ小説入手 送品感謝				「229 威仁親王妃書翰 卷十」(1巻)の内	冊子複製版 第2冊
229-3	有栖川宮威仁親王妃慰子書翰 井上末子宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上末子	年12月28日		柿礼状 大食馬鹿話ウラヤマシ 雲上生活ツマラヌ				「229 威仁親王妃書翰 卷十」(1巻)の内	冊子複製版 第2冊
229-4	典侍清子・寿子書翰 井上す衛宛	有栖川宮威仁親王妃慰子	井上す衛	明治16(カ)年 月 日		婚礼祝賀 紅白縮緬贈呈添書				「229 威仁親王妃書翰 卷十」(1巻)の内	冊子複製版 第2冊
230	榎本子尺牘 卷一				1巻	榎本武揚書翰 7通				詳細は230-1~7参照	
230-1	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治12(カ)年10月19日		本日退省後ニテ面会出来ズ 明日登省スベシ 自分名儀省務取扱ニテヨロシ				「230 榎本子尺牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第3冊
230-2	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治12(カ)年11月6日		オ招キニヨリ九日参上スベシ 過日来配慮感謝				「230 榎本子尺牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第3冊
230-3	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治13(カ)年2月28日		独公使帰京 独皇孫殿下瀬戸内通過ノ折願出二件 銃獵ハ問題ナカランモ随意試業測量ハ不都合ナルベシ 長崎適當ナルベク独公使了承打電ノハズ ケネデー氏夫婦内謁ノコト			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「230 榎本子尺牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第3冊
230-4	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治12(カ)年12月7日		申越ノ件大給ト談了懸念不要 大給ヨリ太政大臣へ進言ズミ				「230 榎本子尺牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
230-5	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治13(カ)年12月21日		魯将スタケルベルグ来訪ノ答礼ニ横浜碇泊ノ軍艦訪問ノ予定 同行サレルヤ				「230 榎本子尺牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
230-6	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治13(カ)年1月3日		大倉副社長ノ立場不都合ニツキ理事ニスルツモリ 益田克徳同役ニテハ大倉ニ不適 大倉帰京マデニ別二人選願ウベシ				「230 榎本子尺牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
230-7	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治15(カ)年5月27日		皇居造営局総裁ニ条公 副総裁ニ野生拜命 御配慮感謝 局中人事 平岡・長谷川専任ニ助力願ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「230 榎本子尺牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
231	榎本子尺牘 巻二				1巻	榎本武揚書翰 5通				詳細は231-1～5参照	
231-1	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治13(カ)年6月24日		帰京ノ新聞記事虚説カト思イタルトコロ実説只今承知 明朝来駕ヲ待ツ				「231 榎本子尺牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
231-2	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治14(カ)年5月14日		安着祝送品添書				「231 榎本子尺牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
231-3	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治15年8月31日		磅弗相場差違指示恐縮 不足金松田未亡人へ送ルベシ 林紀凶報痛哭ニ堪エズ				「231 榎本子尺牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
231-4	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治18年8月22日		(北京) 前月下津李鴻章ト内商ノ訓令 黒田顧問滞津中 商議未結ニテ訓令内容顧問ニ示サズ顧問大不平ニテ帰朝太政大臣難詰ノ見込ト聞ク 新任総署大臣三人共凡骨 ハート氏未ダ英公使ノ職ニ就カズ				「231 榎本子尺牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
231-5	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治15年10月18日		(天津)天津着明後北京へ発程 上海ヨリ天津へ渡航中船将ヲルクソンノ話 李鴻章朝鮮銀山採掘並ニ閩東半島一港ニ海軍提督府設置計画 金宏集 日本賠償金借款交渉模様 支那政府韓国内政へ干渉ノ決心判然 李鴻章ト面会状況 大院君李氏ト対談ノ始末			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「231 榎本子尺牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
232	榎本子尺牘 卷三				1巻	榎本武揚書翰 8通				詳細は232-1～8参照	
232-1	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治17(カ)年12月10日		清廷ノ盲蛇ニフエリー内閣モ仰天カ 講和サシ当リ絶脈 米公使平和手段ニ拙官ヘ相談アレド断レリ 琉案割島ノ旧題立消工ノトコロ中立謝礼ニ該案取マトメ方ヨング氏ニ要望 西太后・清帝ノ日常			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「232 榎本子尺牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
232-2	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治16年5月8日		日清間破裂ノ風評探偵ノ来旨ヲ承 今日シカル動キナシ 李氏意中探索並ニ琉案イズレ談判ノ機アルベシ 妥議申出ハ穴戸公使呼戻シト平仄合ワズ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「232 榎本子尺牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
232-3	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治18年7月31日		天津談話筆記二編以降妻兒病氣ニテ遅延 朝鮮不干涉主義及ビ英公使内話概略ヲ承 清ノ朝鮮政略英ト協合露ヲ牽制 日本トノ合力ノミデハ英・露防ギ難シノ見解 有事ノ際ノ朝鮮対策意見李ハート氏ヘ密話内通ノ事実アルマジ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「232 榎本子尺牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
232-4	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治21(カ)年11月22日		北代転任ノ件承知				「232 榎本子尺牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
232-5	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治 年9月7日		黒田伯二会イ改正概略談話 井上伯訪問アルベク話セシトコロ自分同行ヲ希望 イツ訪問サレルヤ				「232 榎本子尺牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
232-6	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治23年8月11日		氏家直国紹介				「232 榎本子尺牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
232-7	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治 年2月9日		訪問都合問合せ				「232 榎本子尺牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
232-8	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治 年4月15日		送品添書				「232 榎本子尺牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
233	遠藤謹助書牘				1巻	遠藤謹助書翰 4通				詳細は233-1~4参照	
233-1	遠藤謹助書翰 井上馨宛	遠藤謹助	井上馨	明治 年12月11日		病氣見舞感謝 賢甥上海同行経費下問ナレド些少ナレバ懸念無用 東上前参上スベシ				「233 遠藤謹助書牘」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
233-2	遠藤謹助書翰 伊藤少輔・井上権大丞宛	遠藤謹助	伊藤少輔・井上権大丞	明治2(カ)年8月3日		鉱山器械二千三百箇本日陸揚ゲ ボイレル等ノ重量物八困難 テーボル船ニテ返却スルナレバ舁ヨリ直接積入レタシ 同船八明夕帰帆カ 灯明台掛へ至急通牒乞ウ				「233 遠藤謹助書牘」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
233-3	遠藤謹助書翰 大蔵少輔宛	遠藤謹助	大蔵少輔	明治3(カ)年12月28日		銀地金試験焼解開始 プビュリヤラーベン予定何時頃ナリヤ キンドル取扱イ厄介 ブラガハ我味方 一五〇ドルニテハ氣ノ毒増額考慮乞ウ				「233 遠藤謹助書牘」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
233-4	遠藤謹助書翰 井上馨宛	遠藤謹助	井上馨	明治26年8月31日		退官挨拶 市議員山本繁蔵紹介 水道布設国庫金補助請願ノ件				「233 遠藤謹助書牘」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
234	後藤伯書翰 巻一				1巻	後藤象二郎書翰 5通				詳細は234-1~5参照	
234-1	後藤象二郎書翰 小室宛	後藤象二郎	小室	明治7(カ)年8月1日		病氣中ニテ失礼 昨日井上前大蔵大輔来訪 明後横浜ノ樓ニテ先生同席会談シタキ由 ヨロシケレハ蓬一社ニテ待合ワセン				「234 後藤伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
234-2	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治7(カ)年9月14日		病氣如何 オ引合イノ株式取引所ノ件小野イツ差出サレルヤ 都合ノ日指定乞ウ				「234 後藤伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
234-3	後藤象二郎書翰 小室宛	後藤象二郎	小室	明治9(力)年2月27日		今夕参上ノトコロ差支エアリ 明朝光臨クダサルトノコト 用件八過日来ノ御礼並ニ見込伺イノタメ 当方ヨリ参上セン				「234 後藤伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
234-4	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治15年月 日		小島竜太郎来リ曰ク今村和郎内務省書記官ヨリ聞クニ長崎人ノ策ニテ板垣・後藤洋行 目的ハ自由説ノ挫折 話ノ出所某警部トイウ 小島ヨリ追究サレシモ知ラズト答エタリ 彼ノ一条漏泄ノ気味 井福辺へ着手風説防遏乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「234 後藤伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
234-5	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治22年11月20日		岩村次官ヨリ聞取リノ件ニツキ参上イタシタシ都合ノ日時オ示シテウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「234 後藤伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
235	後藤伯書翰 巻二				1巻	後藤象二郎書翰 6通				詳細は235-1～6参照	
235-1	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治 年12月15日		新着町別邸密談ニフサワズ 高輪マデ来駕乞ウ				「235 後藤伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
235-2	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治 年12月18日		来論ニ從イー〇時頃マデニ参殿仕ルベシ				「235 後藤伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
235-3	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治23(力)年7月17日		不在中光臨失敬 商船会社一条書面拝見 ソレニ付明朝オ出デクダサルヨシオ待チイタスベシ				「235 後藤伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
235-4	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治 年10月7日		差支エニテ御出デナキ旨承知 明夕先約アリ 明後日出省ノ上連絡イタスベシ				「235 後藤伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
235-5	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治 年10月14日		急用件アリ明朝オ伺イイタシタシ 都合如何				「235 後藤伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
235-6	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治22(カ)年12月14日		不在中来宅失礼 来ルー六日再度才出デクダサル由才待チイタスベシ				「235 後藤伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
236	後藤伯書翰 巻三				1巻	後藤象二郎書翰 7通				詳細は236-1~7参照	
236-1	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治22(カ)年12月18日		今朝八失礼 別後内務大臣訪問 愚意陳述 今朝山田・西郷両伯三田訪問ノヨシ 結果両伯貴家へ参殿セシニ非ルカ 如何ノ話トナリシカ伺イタシ				「236 後藤伯書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
236-2	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治 年3月26日		林有造病氣快方 下命ノ通り明日参上スベシトナリ				「236 後藤伯書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
236-3	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治 年11月1日		三重県会開会ノ旨通報感謝				「236 後藤伯書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
236-4	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治24(カ)年11月4日		外務大臣二面会 斎藤転官ノ件相談 同省ニテ八転官ナシ難シヨシ 予定ノ通り運ビ難ク首相ニモ相談 コレマデノ内決ハ取消シトセリ 従テ三重県令呼立テモ取消シトナレリ				「236 後藤伯書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
236-5	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治25(カ)年1月27日		今夕伊皿子ヘ行キ意見申述ブル件明日再議ニアタリ他閣僚ヘノ聞工面白カラズ 今夕ハ差控工明日十分論議スベシ				「236 後藤伯書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
236-6	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治26年1月9日		衆議院ニ撰挙干渉上奏案緊急動議提出ノ模様			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「236 後藤伯書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
236-7	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治26(カ)年1月14日		蟹甲二面会今夜又ハ明朝二着手 仰越シノ演舌趣旨厳秘安心アレ 明朝大蔵大臣宅ヘ会集承知ソノ前貴官舎ヘ参上ノ儀承知 今夜着手ノ夷人明朝参ルハズナレバソノ方談済ミノ上参ルベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「236 後藤伯書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
237	後藤伯書翰 巻四				1巻	後藤象二郎書翰 6通				詳細は237-1~6参照	
237-1	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治26(カ)年 1月20日		議会ノ形勢ニツキ献言参上ノ予定 伊東書記官長ヲ大磯へ差遣ストノ旨外相ヨリ聞ケリ ソノ前ニ参上談シ置キタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「237 後藤伯書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版 第3冊
237-2	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治 年1月 30日		明夕五時マデニ御出デテウ 思召ニヨリ誰ニテモ誘引アリタシ				「237 後藤伯書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版 第3冊
237-3	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治26(カ)年 2月4日		蟹甲二面談賢台ニ直接ニ陳述イタシタキヨシ 小生八貴論ニ従ウベシ 湖月楼集会好況 同意書ニ二七人ハ確實 森本藤吉ヨリ修正案提出ノハズ 東洋自由党多分同意 東北団体三四人モ同意スレバ上奏否決ト会集者ハイウ				「237 後藤伯書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版 第3冊
237-4	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治26年2月 4日		上奏案否決後政府ト協議云々ニツキオ示シノ儀了承 陸奥大臣来訪 将来困難ノ事情派生スベク井角二面談予定			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「237 後藤伯書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版 第3冊
237-5	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治26年2月 8日		先刻ノオ示シニ従イ首相二面会对議会策開陳ノツモリノトコロ 首相ヨリ発言 首相ノ決意非解散ニアレバ自分呈論不用 河野異論一驚 蟹甲来訪 御厚意ニ大満足			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「237 後藤伯書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版 第3冊
237-6	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治26年2月 11日		来ルー五日ノ儀蟹甲へ通報 渡辺・佐々木同席ヲ求メシトコロ 返書ニヨレバ同席ハ不妙 伊東書記官長ノミヨロシカラシ 本日蟹甲等集会 別紙動議案提出ノ模様			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「237 後藤伯書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版 第3冊
238	後藤伯書翰 巻五				1巻	後藤象二郎書翰 5通				詳細は238-1~5参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
238-1	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治26年3月2日		離宮ニテオ話一条八衆目アリ今朝面談ノツモリノトコロ ソノ前参上セリト蟹甲ヨリ承知 愚見八同人ヨリオ聞取リナラン 渡又へハ自分ヨリ話置カン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「238 後藤伯書翰 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
238-2	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治26(カ)年3月25日		林有造参上ニツキ御示シノ旨承知 明朝何分ノ返事仕ルベシ				「238 後藤伯書翰 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
238-3	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治26(カ)年8月25日		本日貴省又ハ他場所ニテ面会才願イセシガ所用参上不能 大略ハ藤田ニ話済ミ 才聞取リアリタシ				「238 後藤伯書翰 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
238-4	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治26(カ)年9月11日		今夕春畝・六石〔陸奥〕両兄芝浦拙宅ニ来訪予定 来駕ヲ待ツ				「238 後藤伯書翰 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
238-5	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治26(カ)年11月29日		只今板垣へ出セシ使イ归来 板垣同意不動ノ決意安心アレトナリ 使イハ自由党事務所ニテ面会幹事モ会集決議シオレバ安心ナラン 議院形行ニツキ板垣見込明朝面会ノ折オ話スベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「238 後藤伯書翰 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
239	後藤伯書翰 巻六				1巻	後藤象二郎書翰 3通				詳細は239-1～3参照	
239-1	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治26年12月4日		昨日献策セシ件首相へ内談クダサレタルナラン 諸党内情絶望 予算査定方針案ヲ見テモ大勢決ス 政府・議員間対立激化セザルウチ大策アリタシ 星議長辞任一件			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「239 後藤伯書翰 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
239-2	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治25(カ)年12月10日		藤田ヨリ報告アリ 取引所法今夕結了予定 法制局ハ明後朝内閣ニ報告ノトコロ先刻話ノ事情ヨリ明日手続ヲ終工明後日議院提出ノ必要アリ 明朝法制局ヨリ終局案取寄セ持廻リ閣議ノ手配下命乞ウ				「239 後藤伯書翰 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
239-3	後藤象二郎書翰 井上馨宛	後藤象二郎	井上馨	明治25(カ)年12月22日		仰セノ通り農務局長来訪委細了承 コノ件県令ヨリモ細情承リ係リ呼寄セ一応ノ処分済 農務局長ヨリ報告アルベシ 副島書翰ノ件八同伯ヨリ懇談アリ取調中				「239 後藤伯書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
240	後藤子書牘				1巻	後藤新平書翰 3通				詳細は240-1~3参照	
240-1	後藤新平書翰 井上馨宛	後藤新平	井上馨	明治39(カ)年5月15日		一昨日帰府 意見書・統計拝見 プロエス富講一冊・マニラ富講大要一冊一覽乞ウ 台湾富籤実施方援助願ウ 韓国経営経済論大要呈上				「240 後藤子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
240-2	後藤新平書翰 井上馨宛	後藤新平	井上馨	明治40(カ)年6月12日		先月二三日北京行九日大連帰着 満鉄会社ノ性質並ニ北京内閣異動アリ此際ノ北上見合せノツモリ 林公使ヨリ催促ニヨル北京行成功トハイイ難クモ北京朝廷ノ厚遇 対満鉄感情好転力 小野田セメント葛西技師へ添書拝承 浅野惣一郎				「240 後藤子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
240-3	後藤新平書翰 井上馨宛	後藤新平	井上馨	明治39(カ)年5月9日		今夕二三時間面談許サレマジキヤ 戦後経営殖民的経済問題才耳ニ達シタシ				「240 後藤子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
241	原敬書牘 巻一				1巻	原敬書翰 7通				詳細は241-1~7参照	
241-1	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治18年12月18日		蜂須賀公使スペインヨリ帰任 伝言陳述 マルシャルトノ関係公使熟考回答アラン 公使一両年帰朝アルマジノ件 帰朝ノ予告ナリヤ欧州列国ノ関係注意セヨノ意ナリヤ反問アリ 松方書記生内意ノ通りブルッセルへ赴任承知 自分当分ハ勉学ニ専念			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「241 原敬書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
241-2	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治23年2月11日		当年ハ多事 外交始末ノツトヲ出スニ閣議決定本省事務前田ノ例ノ調査ニテ岩村大臣以下繁忙官有財産法修正略御意見通り結着見込ミ 山林特別会計不成功 度量衡条例見合せ 鉱業条例ニ異議アリ 官制改正案中止ノ姿 当分在職ノツモリ例ノカタマリ連甚シ向後考案中			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「241 原敬書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
241-3	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治23(カ)年11月8日		山口県外二県土族へノ下賜金 白根次官二訊ネタルトコ内務省ニ様ニ調査 ソノ一ヲ閣議提出ノ運ビ 大臣欠勤ニテ結果不明			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「241 原敬書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
241-4	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治22年9月19日		埃及混合裁判草稿訂正 治外法権ノ起源 混合裁判ノ弊害 財政ノコト追加 草稿ノママ供覧出版ノ是非指揮ヲ待ツ 官制案浄書 官有財産山林二関スル分八脱稿ニ至ラズ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「241 原敬書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
241-5	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治27年10月6日		中井病氣ニベルツ来診下命感謝			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「241 原敬書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
241-6	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治32年3月30日		電報ニテ来示ノ日時上京不能 用向書ニテオ示シ願エレバ幸イ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「241 原敬書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
241-7	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治33年2月28日		近ク上京懇願ノツモリナレド貴族院欠員アリト聞ク 自分採用方首相へ斡旋乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「241 原敬書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
242	原敬書牘 卷二				1巻	原敬書翰 7通				詳細は242-1～7参照	
242-1	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治35(カ)年7月14日		九州商業銀行ヨリ電報アリ 破産申請切迫井上伯ヲ煩ラフシ破産申請取止メ手配乞ウト 同銀行整理断行破産猶予セバ好案アラン				「242 原敬書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
242-2	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治33(カ)年8月30日		昨夕オ招キ深更帰宅シ欠礼 今夕出発帰京八五六日ノ予定				「242 原敬書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
242-3	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治33(カ)年9月17日		大阪ヨリ帰社催促今夕出発 本月中東上ノ予定				「242 原敬書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
242-4	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治33年9月26日		大阪ノ情況入会並ニ倶楽部トモ決シカネルコノ機会ニ下阪至当 藤田世話ニテ有力者集會ノ予定政友会支部ソレマデ延期得策貴族院山県首相ハ政府部内ニ限ル意向 困難ト思ワレルモ幹旋願ワレマジキヤ 新聞社ヲ辞シ政友会ニ尽カノツモリソノタメ貴族院入り希望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「242 原敬書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
242-5	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治33年10月21日		本田氏ヨリ貴地マデ参上スベシトノ来電 所用堆積四五日猶予ヲ乞フ 新内閣成立閣下入閣セザリシ事情イカガ 当地情況変ラズ下阪希望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「242 原敬書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
242-6	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治33年11月14日		身上ニツキ配慮感謝 松本重太郎ト会见 政党ヲ断リ新聞社専従カ 新聞社退社政党入リスルカイズレカ決定セヨトイウ 此際退社ヲ決意 藤田上京同人ヨリ報告アルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「242 原敬書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
242-7	原敬書翰 藤田伝三郎宛	原敬	藤田伝三郎	明治33年11月20日		昨夜松本・田中・本山ト相談 辞任理由書内閱セシム 二日社員ニ発表 二日紙上発表 後任ハ小松原ニ交渉中 本月中ハ滞阪			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「242 原敬書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
243	原敬書牘 卷三				1巻	原敬書翰 7通				詳細は243-1～7参照	
243-1	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治33年12月29日		大命拝受参上ノ予定ノトコロ帰東後多忙 本日参上セシトコロ御出発後ニテ失礼			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「243 原敬書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
243-2	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治34年5月3日		園遊会ヘオ招キ深謝 昨日辞表提出ノコトユ工遠慮イタシタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「243 原敬書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
243-3	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治34年5月31日		伊藤侯二面会心事陳述 井上伯ヨリ話ナキヤト問 ワレ話アリタルトダケ申セリ 同侯明朝政友会議員 総会ニ出席			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「243 原敬書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
243-4	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治34年7月11日		藤田伝三郎訪問委細聴取 十分調査信用恢復ニ尽 カスベシ 昨日ノ総会ニテ当選御安心アレ 当地 知人多シ勘考行務ニ従事セン 有楽会			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「243 原敬書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
243-5	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治34年7月21日		一六日岡山ヨリ帰阪 今後ノ行務都合上当地銀行 員ソノ他ヲ招キ大小宴会開催 岩下同行出京予 定 渡辺千代三郎処遇馬関第百十ノ方ヘ配慮乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「243 原敬書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
243-6	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治34年8月16日		大阪行雑用ニテ延期 途中訪問ノ予定不能 岩下 参上情況聴取アリタルナラン 本願寺約ノ如ク返 却安心			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「243 原敬書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
243-7	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治34年12月26日		政府ヨリ再交渉申入レ松田・尾崎首相官邸ニ会 合 第三案衆議院査定ノ項ニ修正等政友会原案ニ 妥協 政府ハ予算案政友会ハ償金特別法案ヲ撤 回 一月中整理局官制発布ノ都合 本会ノ目的貫 徹セズ遺憾 浜ノ屋組ノ一派党内秩序紊乱 井上 角五郎・田健治郎・重野謙次郎ヲ除名			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「243 原敬書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
244	原敬書牘 卷四				1巻	原敬書翰 5通				詳細は244-1～5参照	
244-1	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治35年2月23日		伊藤侯神戸着出迎 道筋等電報ニテ通知スベシ 伊藤侯如何ノ考案ナルヤ 政府表裏相反スルノ情 況 政党刷新必要 政府計略注意ヲ要ス 地方官 更迭ハ政友会減勢ノ策 日英同盟暗ニ反対党支 持 政友会立党精神貫徹イタシタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「244 原敬書牘 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
244-2	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治35年7月9日		南部家婚儀本人固辞 家令東条少将トモ相談 一応才断リ後東条上京説得取纏メタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「244 原敬書牘 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
244-3	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治35年8月26日		一九日盛岡ヨリ帰京 大阪出発前参上ノツモリノトコロ 下阪催促九州商業ノ申出 瓦斯会社紛議等アリ 今回八失礼				「244 原敬書牘 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
244-4	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治35(カ)年10月1日		藤田平太郎ヘノ伝言 平太郎出発上京中ノヨシニツキ相達シ得ズ				「244 原敬書牘 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
244-5	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治36年1月13日		過日相談ノ件藤田・磯野ヘ内談 小生並ニ銀行ノタメ頭取ヲ辞シ取締役トナリ 後任若下互選内決セリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「244 原敬書牘 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
245	原敬書牘 巻五				1巻	原敬書翰 6通				詳細は245-1～6参照	
245-1	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治32年8月4日		病氣出発延期ノヨシ 自分上京中御来阪ナレバ東京ニテオ目ニカカリタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「245 原敬書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
245-2	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治40年9月16日		陸奥伯来書返却受取 鉄道ノ件誤解ナキヨウ説明シオカン				「245 原敬書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
245-3	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治38(カ)年10月24日		御帰京次第参上ノトコロ用事出来下阪 拝借ノ経済上意見書拝読返却				「245 原敬書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
245-4	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治32(カ)年11月18日		拝借ノ雑誌返納大意掲載 雑誌注文セシモ到着マデ有益記事アレバ拝借願ウ 過日ノ演舌ニヨリ市会ハ委員ヲ設置 委員ハ有力者ノ意見ヲ聞き調査ノハズ 条約改正談話都合ニテ支局員派遣スベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「245 原敬書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
245-5	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治37年7月13日		百三十銀行尽力ニテ救済出来慶賀 コレニツキ物議ハ遺憾 来阪延引然ルベク藤田モ同意見 同封朝日新聞切抜ニテ状況推察乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「245 原敬書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
245-6	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治39年1月8日		新内閣二内務大臣拜命 古河家・古河鉱業諸事片付ケ安心乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「245 原敬書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
246	原敬書牘 巻六				1巻	原敬書翰 5通				詳細は246-1～5参照	
246-1	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治40年7月31日		才話ノ件首相二内談 首相モ賛成御帰京ノ上依頼イタスベクモ 野田〔卯太郎〕帰郷途次参上同人ヨリオ聞取り乞ウ 自分北海道出向八月末二帰京				「246 原敬書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
246-2	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治40年9月15日		陸奥電信別紙訳読 不分明箇所アリ電信取調べ返上スベシ 虎之助了解好都合			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「246 原敬書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
246-3	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治40年9月15日		電報右二訳読 自分同一意見諸事打合せ済ムマデ帰朝セシメズ 電文次第安達ソノ他重役等へ伝言セシム			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「246 原敬書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
246-4	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	大正3年6月18日		西園寺侯政友会総裁辞任 ソノ後任自分二内談アリシトコロ本日党議ニテ決定 伊藤公創立ノ遺志ヲ継ギタシ援助ヲ乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「246 原敬書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第3冊
246-5	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	明治42年8月23日		帰省来月ノ政友会十年記念会ニ八上京 郷里滞在中古河家々憲起草ノツモリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「246 原敬書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
247	蜂須賀茂韶侯書牘				1巻	蜂須賀茂韶書翰 9通				詳細は247-1~9参照	
247-1	蜂須賀茂韶書翰 井上馨宛	蜂須賀茂韶	井上馨	明治16年9月19日		森公使滞在 改正事件二意見合せズ自分協カヲ拒否ト同公使電信ハ冤罪 誤解トケ解決			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「247 蜂須賀茂韶侯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
247-2	蜂須賀茂韶書翰 井上馨宛	蜂須賀茂韶	井上馨	明治17年1月28日		新田誠丸帰朝香水製造調査ノタメ延期				「247 蜂須賀茂韶侯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
247-3	蜂須賀茂韶書翰 井上馨宛	蜂須賀茂韶	井上馨	明治21年8月20日		磯部同行違約才詫ビ				「247 蜂須賀茂韶侯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
247-4	蜂須賀茂韶書翰 井上馨宛	蜂須賀茂韶	井上馨	明治32(カ)年10月15日		藤村徳司 九鉄会社役員更迭アレバ推挙乞ウ				「247 蜂須賀茂韶侯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
247-5	蜂須賀茂韶書翰 井上馨宛	蜂須賀茂韶	井上馨	明治 年10月16日		横山貞秀採用ノ件如何ナル模様ナリヤ 松方モ配慮中ノヨシ 答示乞ウ				「247 蜂須賀茂韶侯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
247-6	蜂須賀茂韶書翰 井上馨宛	蜂須賀茂韶	井上馨	明治 年4月5日		娯楽会案内				「247 蜂須賀茂韶侯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
247-7	蜂須賀茂韶書翰 井上馨宛	蜂須賀茂韶	井上馨	明治25年8月9日		内務大臣拜命祝賀 千家尊福府県知事又ハ勅任官採用乞ウ				「247 蜂須賀茂韶侯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
247-8	蜂須賀茂韶書翰 井上馨宛	蜂須賀茂韶	井上馨	明治27年12月14日		韓政府改革尽力御苦勞 太田美清国ヨリ帰途御地立寄り面謁希望				「247 蜂須賀茂韶侯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
247-9	蜂須賀茂韶書翰 井上馨宛	蜂須賀茂韶	井上馨	明治 年3月11日		夫人病氣見舞 藤村徳司辞表呈出才聞キ届ケ願ウ				「247 蜂須賀茂韶侯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
248	林良輔書牘				1巻	林良輔書翰 1通				詳細は248-1参照	
248-1	林良輔書翰 井上馨宛	林良輔	井上馨	明治3(カ)年5月25日		久保断三ヘノ書状古金引替ノ好機ナリト 柳村役所用金ニツキ公庫収納ノ為メ今後ノ困イ戻シ不能 保金十両ニツキ四一両相場 金札四六両両替デキレバ余分ノ間受徳用ユ工周旋願ウ	御用金取調べ覚書			「248 林良輔書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
249	林良輔・久保断三・笠原半九郎・柏村数馬書牘 二				1巻	林良輔書翰 1通 久保断三書翰 2通 笠原半九郎書翰 1通 柏村数馬書翰 1通				詳細は249-1~5参照	
249-1	林良輔書翰 井上馨宛	林良輔	井上馨	明治2(カ)年9月16日		母堂病氣見舞 送品添書ソノ他				「249 林良輔・久保断三・笠原半九郎・柏村数馬書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
249-2	久保断三書翰 井上馨宛	久保断三	井上馨	明治4(カ)年6月2日		浪花ニテオ話シノ趣佐々木卓之助報告 仰セノ通り全部引替ニ決定 百姓馳走有免ノコト各郡大属感謝 改革向説明色々議論アリ 有免休石ニツキ意見 親兵確立陸軍ノコト				「249 林良輔・久保断三・笠原半九郎・柏村数馬書牘」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
249-3	久保断三書翰 井上馨宛	久保断三	井上馨	明治3(カ)年12月24日		長谷川会計局不可欠ノ人物ナレド登庸ナレバ仕方ナシ 自分少参事ニテ会計・郡用専務ナレド将来ノ見通シ立タズ困却 民部・大蔵両省ノ指示ヲ受ケタク上京希望 木戸氏帰山 岩倉卿来山ノ由ソノ他				「249 林良輔・久保断三・笠原半九郎・柏村数馬書牘」(1巻)の内	冊子複製版第15冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
249-4	笠原半九郎書翰 井上馨宛	笠原半九郎	井上馨	明治 年3月17日		三日入県諸事不案内困却 別紙二三男隠居給禄一応管内二達再応大蔵省へ申立ルベシト布告ノツモリ 管下ノ情実才酌取り願イタク内々申上 趣意伺工バソノ筋ニテ徹底イタスベシ				「249 林良輔・久保断三・笠原半九郎・柏村数馬書牘」(1巻)の内	冊子複製版第11冊
249-5	柏村数馬書翰 井上馨宛	柏村数馬	井上馨	明治4(カ)年6月12日		藩政向配慮感謝 古金差登ノ件ニツキ久保ヨリ伝承ヨロシク依頼				「249 林良輔・久保断三・笠原半九郎・柏村数馬書牘」(1巻)の内	冊子複製版第11冊
250	土方伯書翰 巻一				1巻	土方久元書翰 7通				詳細は250-1~7参照	
250-1	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	明治4(カ)年12月27日		毛利恭助 大阪府ニテ必要又八本人ノ希望アレバ大阪府登用差支エナシ				「250 土方伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
250-2	土方久元書翰 大蔵大少輔御中宛	土方久元	大蔵大少輔御中	明治5(カ)年2月13日		大鳥圭助ニツキ開拓使ヨリ別紙申立アリ 評議ノ上至急返答乞ウ				「250 土方伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
250-3	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	明治25(カ)年1月18日		オ申越ノ件ホボ決定済 但シ向屋敷日本家屋八不用 来月五日久邇宮百日祭終了後清岡別当上京発表ノ手筈				「250 土方伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
250-4	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	明治24(カ)年10月28日		内閣中憲法論ヨリ紛議起リ 老台ノ御周旋ニテ治マリタル由松方ヨリ報告 満足ノ旨小官ヨリ伝達ノ沙汰アリタリ				「250 土方伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
250-5	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	明治22(カ)年11月19日		聖上ヨリ内沙汰アリ 参上面会イタシタシ 都合一報アリタシ				「250 土方伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第4冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
250-6	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	明治24年5月1日		総理大臣後任松方へ内決 内勅伝達セシトコロ同伯勘考ノ上拝答スベシトイウ 伊藤・黒田ヨリモ勸告 西郷・山田モ内談セシハズ 聖上貴官ノ尽カラ求メラル			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「250 土方伯書翰 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
250-7	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	明治26(カ)年1月24日		三井高朗等叙位ノ件 内閣書記官ニテ取調べ差出シ中ノ趣 至急 決議乞ウ				「250 土方伯書翰 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
251	土方伯書翰 巻二				1巻	土方久元書翰 8通				詳細は251-1～8参照	
251-1	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	明治40(カ)年11月2日		清岡公張今朝帰京 田中ト兩人ニテ内談 清岡固辞 明日マデ考慮ト落着 賢台ヨリモ説得ヲ乞ウ				「251 土方伯書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
251-2	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	明治32年1月13日		田中ト結納取交シノ約束ノトコロ 多喜子内親王薨去 日取り変更協議乞ウ				「251 土方伯書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
251-3	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	明治40年11月23日		仁尾維茂辞職 当局創立以来ノ功劳少カラズ 田中伯ヨリ相談アルハズナレドヨロシク勘考ヲ乞ウ				「251 土方伯書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
251-4	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	明治41年12月24日		全快祝頂戴御礼				「251 土方伯書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
251-5	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	明治44(カ)年2月7日		大庭景陽ヲ彰明会書記ニ採用願 古沢・中原ヨリ依頼ノ件決定乞ウ				「251 土方伯書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
251-6	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	明治43年2月24日		来月二日参上 貴実歴頂戴イタシタシ 自分流離日記持参スベシ				「251 土方伯書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第4冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
251-7	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	年5月9日		供応礼状				「251 土方伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
251-8	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	大正3年10月30日		田中伯身上ニツキ相談ノタメ参上イタシタシ				「251 土方伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
252	穂積男・松岡男書牘				1巻	穂積陳重書翰 2通 松岡康毅書翰 2通				詳細は252-1~4参照	
252-1	穂積陳重書翰 井上馨宛	穂積陳重	井上馨	明治38年1月20日		米国家庭教育ヲ視察 帝国教育会ニテ「経済教育ト教育経済」ト題シ演説 収録誌教育公報高覧乞ウ				「252 穂積男・松岡男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
252-2	穂積陳重書翰 井上馨宛	穂積陳重	井上馨	明治 年10月27日		別冊八三井家憲起草ノ報酬ヲ以テ出版セシモノ尊覧ニ供ス				「252 穂積男・松岡男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
252-3	松岡康毅書翰 井上馨宛	松岡康毅	井上馨	明治28年1月12日		僧爵条例省議決定 江木表ノ計画三浦子ヲ加工畔上梅仙ト森田悟由ノ和融ヲ周旋 客臘畔上・森田・服部等執事及ビ三浦・江木ヲ内務省ニ集メ一挙解決 ナオ分離派ノ再発懸念 各宗住職管長ノ任免・宗制宗規ノ改正政府権力閣議決定 紛議断然処置ノ予定 帝国議會予算案通過 横浜築港工事案無事通過 議會勢力ノモヨウ 朝鮮国王妃トノ対話新聞発表ニ慎重ヲ乞ウ 講和商議ニ首外相広島へ発途				「252 穂積男・松岡男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
252-4	松岡康毅書翰 井上馨宛	松岡康毅	井上馨	明治39年1月9日		農商務大臣就任挨拶				「252 穂積男・松岡男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
253	福羽子・高崎男・丹羽賢書牘				1巻	福羽美静書翰 4通 高崎正風書翰 1通 丹羽賢書翰 1通				詳細は253-1~6参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
253-1	福羽美静書翰 井上馨宛	福羽美静	井上馨	明治19年1月3日		別紙夫人・令嬢へ呈上 添書				「253 福羽子・高崎男・丹羽 賢書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
253-2	福羽美静書翰 井上馨宛	福羽美静	井上馨	明治27(力)年8月28日		土木会発会 右委員二貴族院男爵議員金子有郷ヲ推薦			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「253 福羽子・高崎男・丹羽 賢書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
253-3	福羽美静書翰 井上馨宛	福羽美静	井上馨	明治26年10月6日		憲法発布国会実行マデハ上出来ナレド国会ノ模様ソノ年限リノ整頓ノミ 将来遠大ノ策ナキハ遺憾 貴兄維新ノ初メヨリ会計ニ尽力 今日ノ姿ニテハ将来ノ発展覚束ナシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「253 福羽子・高崎男・丹羽 賢書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
253-4	福羽美静書翰 井上馨宛	福羽美静	井上馨	明治26(力)年1(力)月27日		衆議院ノ一件国家ノ大患切齒ノ至リ 貴族院へ廻付ノ道アリヤ 年々古キ予算ニ依ル如キハ進歩ノ大害慨嘆二堪エズ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「253 福羽子・高崎男・丹羽 賢書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
253-5	高崎正風書翰 井上馨宛	高崎正風	井上馨	明治 年1月9日		過日才約束ノ写真呈出 尽力乞ウ				「253 福羽子・高崎男・丹羽 賢書牘」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
253-6	丹羽賢書翰 井上馨宛	丹羽賢	井上馨	明治5年5月18日		渋沢・小野金券一条打合セ帰県 調査済三次第指令仰グベシ 城郭八全テ陸軍省ノ管轄 一県六城無用処分ニツキ教示乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「253 福羽子・高崎男・丹羽 賢書牘」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
254	福岡子・林伯書牘				1巻	福岡孝弟書翰 6通 林友幸書翰 3通				詳細は254-1～9参照	
254-1	福岡孝弟書翰 井上馨宛	福岡孝弟	井上馨	明治 年5月16日		東京横浜日々(ママ)新聞掲載ノ文部卿指令ニ対スル誹議ノ并駁論出来 井上毅ヨリ福地へ新聞掲載ニツキ交渉 ナオ貴堂ヨリ福地へ才話シ願イタシ				「254 福岡子・林伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第5冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
254-2	福岡孝弟書翰 井上馨宛	福岡孝弟	井上馨	明治15年4月10日		外国行ノ一件後藤引受ケ 昨日二至リ岩崎ノ手前 逡巡 岡本健三郎加ワリ手詰メノ予定 今朝岩村 来談			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「254 福岡子・林伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
254-3	福岡孝弟書翰 井上馨宛	福岡孝弟	井上馨	明治15年4月13日		岐阜ノ模様判明ナラン 同類モ分リ党中動揺測リ 難シ且ツ板垣疵懸念後藤明日発足 今夕拙宅来訪ノ予定 岩崎金一条岡本岩村へ示談ノ筈 駿河台 辺ヨリ妨碍アリシ模様			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「254 福岡子・林伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
254-4	福岡孝弟書翰 井上馨宛	福岡孝弟	井上馨	明治15年6月20日		板・後洋行ノ手段 機微ノ間二運ビオリ別紙ノ如キ疑事生ジ困惑 密事露顕セバ其ノ害大 土方大輔ヨリ内談ノ申出アリコノ事ナルベシ 別紙八岡本健三郎宛書状岡本添書共供覧			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「254 福岡子・林伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
254-5	福岡孝弟書翰 井上馨宛	福岡孝弟	井上馨	明治15年5月26日		行政厳粛ナラザルベカラザルモソノ人ヲ得ザレバ 法律整備モ無益 条公ヨリ密話アリ 板垣帰着拜謁然ルベキカノ相談 影響等二ハ構イナク拜謁然ルベシト回答セリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「254 福岡子・林伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
254-6	福岡孝弟書翰 井上馨宛	福岡孝弟	井上馨	明治 年7月10日		別紙陳情供覧 沿海貿易ノ件苦心アラン 内閣自腐ノ基トナラザルヨウ願イタシ 今夕条公へ後藤 参上ノ趣				「254 福岡子・林伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
254-7	林友幸書翰（慎村正直連署） 井上馨宛	林友幸	井上馨	明治20年4月25日		行幸行啓祝トシテビールニダース贈呈				「254 福岡子・林伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
254-8	林友幸書翰 井上馨宛	林友幸	井上馨	明治 年6月22日		福原事情 財産八第一銀行株ソノ他生活ダケハ恩賜議員歳費ニテ事足ル 先方ノ世話注文ハナシ				「254 福岡子・林伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
254-9	林友幸書翰 井上馨宛	林友幸	井上馨	明治 年8月4日		依頼ノ牛乳朝夕四合位ハ差上グベシ				「254 福岡子・林伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
255	福地源一郎書牘				1巻	福地源一郎書翰 5通				詳細は255-1~5参照	
255-1	福地源一郎書翰（渋沢栄一と連署）井上馨宛	福地源一郎	井上馨	明治12年7月14日		米国外前大統領グラント歓迎ノタメ新富座演劇開催				「255 福地源一郎書牘」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
255-2	福地源一郎書翰 井上馨宛	福岡孝弟	井上馨	明治15年2月26日		随行内願ノ件ハ弊社員三名ノ外知ル者ナシ 世上流布ノ説ハ他社ノ臆測 問合せニハ事実無根ト否定セリ 立腹寛有ヲ願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「255 福地源一郎書牘」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
255-3	福地源一郎書翰 井上馨宛	福岡孝弟	井上馨	明治15年2月26日		伊藤公ニ随行ハ閣下ノ高顧ニヨルモノ 機密漏洩シ諸新聞マタ随行ヲ願出テ閣下ノ怒ヲ被リシハ申訳ナシ 切ニ寛有ヲ願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「255 福地源一郎書牘」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
255-4	福地源一郎書翰 井上馨宛	福岡孝弟	井上馨	明治 年1月5日		昨日御覽ニ入レシ一幅才届ケ 買入レ元価ハ別紙ノ通り				「255 福地源一郎書牘」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
255-5	福地源一郎書翰 井上馨宛	福岡孝弟	井上馨	明治 年6月8日		数年来ノ失敗退転ノ外ナキ状態 渋沢・益田世話ニテ頼母子講設置 講加入懇望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「255 福地源一郎書牘」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
256	福沢諭吉・竹添進一郎書牘				1巻	福沢諭吉書翰 4通 竹添進一郎書翰 4通				詳細は256-1~8参照	
256-1	福沢諭吉書翰 井上馨宛	福沢諭吉	井上馨	明治25年8月24日		岡本貞然紹介			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「256 福沢諭吉・竹添進一郎書牘」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
256-2	福沢諭吉書翰 井上馨宛	福沢諭吉	井上馨	明治 年10月14日		彦次郎ヨリ伝言ノ明目面会ノコト承知セリ 文通多謝				「256 福沢諭吉・竹添進一郎書牘」（1巻）の内	冊子複製版第5冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
256-3	福沢諭吉書翰 井上馨宛	福沢諭吉	井上馨	明治26年11月15日		金森吉次郎来訪 所郁太郎ノコト談話 所八緒方塾同門柏原学而二間合せ ソノ回答手塚猛昌二托シオ届ケイタスベシ 右二所二条ニテ暗殺トアリ 金森八山口ニテ病死トイヘリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「256 福沢諭吉・竹添進一郎書牘」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
256-4	福沢諭吉書翰 井上馨宛	福沢諭吉	井上馨	明治28年4月13日		去年来ノ心労拝察 伊藤欽亮 高見亀 明治一五六年朝鮮留学生来朝監督八金玉均 学資他貸与一七年変乱ニヨリ返済ノ途絶エ断念ノトコロ 証書発見高見二托シ供覧 何分ノ周旋ヲ願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「256 福沢諭吉・竹添進一郎書牘」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
256-5	竹添進一郎書翰 大隈参議・伊藤参議・井上参議宛	竹添進一郎	大隈参議・伊藤参議・井上参議	明治13(力)年 月 日		意見書 穴戸公使ト総理衙門ノ談判ハ対立セン 彼三分ノ説ヲグランド氏弁法トシテ強圧ニ出シ 公使ヨリピンガム書翰ヲ呈示セバ破碎スルヲ得ベシ 談判行詰リノ機ヲ見テ自分再渡航打開ノ端緒アランカ 我レ持説堅持ヲ要ス グランド氏ノ証言ナクバ承服セシムルニ難カラン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「256 福沢諭吉・竹添進一郎書牘」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
256-6	竹添進一郎書翰 井上馨宛	竹添進一郎	井上馨	年1月12日		トロ口汁用麦借用申込				「256 福沢諭吉・竹添進一郎書牘」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
256-7	竹添進一郎書翰 井上馨宛	竹添進一郎	井上馨	明治16年9月9日		リゼンドル来航 朝鮮国債談判不調 リゼンドル違約金請求ノ底意 津田仙ノ内話ニヨレバ米国銀行引受ケニテ二百万弗起債ノヨシニテリゼンドル満足セリト リゼンドルト津田仙間意志疎通 アルイハ誤聞ナランカ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「256 福沢諭吉・竹添進一郎書牘」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
256-8	竹添進一郎書翰 井上馨宛	竹添進一郎	井上馨	大正4年9月2日		井上馨薨去弔慰				「256 福沢諭吉・竹添進一郎書牘」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
257	古沢滋書牘 卷一				1巻	古沢滋書翰 4通				詳細は257-1～4参照	
257-1	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治21年4月14日		島根県下視察報告 小学校維持費 道路改修費 民力休養ノ必要			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「257 古沢滋書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第5冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
257-2	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治22年9月 27日		時機切迫熱度昂揚 御沙汰ノ趣松方ナド承知ニテ 中間ニ抑留ハ不可能 後藤参内ハ熊伯ニ衝撃虚説 ト否定 陛下軫念元田ヲ伊藤ヘ遣サレ閣議開催ノ 内命 觀旨中間ニ抑留ノ聞エアレバ大事至ラン山 田態度一変ト井上毅談 谷等一派日々集会奔走 改進黨モ画策シキリ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「257 古沢 滋書牘 卷 一」（1巻） の内	冊子複製版 第5冊
257-3	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治22年9月 26日		得庵和尚ノ話 騒ギ過ギハ不可 伊藤・井上・松 方ナド働キ出来ルヨウニ 谷トハ相談 品川話ニ テハ芋ノ兵児連蛸熊政略ニ反対 後藤参内ハ実説 破綻ニ至レバ好都合			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「257 古沢 滋書牘 卷 一」（1巻） の内	冊子複製版 第5冊
257-4	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治28年8月 3日		品川子負債処理ニツキ感謝 尊攘堂関係自分ヘ委 任 佐々友房他肥後連閣下支持ニ帰セリト品川 子・和田彦次郎イエリ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「257 古沢 滋書牘 卷 一」（1巻） の内	冊子複製版 第5冊
258	古沢滋書牘 巻二				1巻	古沢滋書翰 2通				詳細は258- 1～2参照	
258-1	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治22年10 月4日		山県大臣帰朝 品川子ヨリ経過報告 野村子・伊 藤伯ノ意見ヲ山県伯ヘ伝達 野村・品川・桂談 話 桂子ニヨレバ大山・西郷ヲ動かセシハ川上操 六 薩人蛸伯ヲ見限ル 山県ハ問題ノ紛糾ヲ意外 トセリ 急ギ帰京ハ不要 品川明日中島信行ト会 合 九鬼俄カニ非改正論 福岡県炭田処分安心ア レ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「258 古沢 滋書牘 卷 二」（1巻） の内	冊子複製版 第5冊
258-2	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治23年5月 13日		山県総理陸奥・芳川入閣ヲ決意 岩村辞表 品川 陸奥・芳川支持ニ廻リタルハ農商務省前田ノ専横 即チ松方反発ナリ 品川ハ山県ノ参謀 前田党一 掃ノ機 岩村辞職ノ経緯 後藤・品川面談山県支 持 前島・高崎東京都知事 三井銀行被害ノ風 評 農不作 板垣愛国公党			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「258 古沢 滋書牘 卷 二」（1巻） の内	冊子複製版 第5冊
259	古沢滋書牘 巻三				1巻	古沢滋書翰 2通				詳細は259- 1～2参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
259-1	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治23年2月1日		岩村脳病前田八得意 江木衷サスガ八山口県人岩村ヲ見限り 外務省へ去リ今後才引立アレ 条約改正意見書・参照書山県大臣・三条公へ呈上 斎藤へノ申越シ感激 写シ土方へ廻付 品川君ノ真情陸奥処遇ノ件 原六郎改進黨ニサルルノ事情			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「259 古沢滋書牘 巻三」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
259-2	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治23年2月9日		正金銀行松方園田ヲ擬ス 三井銀行ヨリ三十三銀行へノ貸金ノカラクリ 更ニ一〇万円借出ノ策 品川聞込ミ西村虎四郎ニ戒告 細倉銀山ヲメグリ 品川・芋熊トノ角逐ソノ入手ニ助カヲ求ムルノ品川伝言 ソノ他			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「259 古沢滋書牘 巻三」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
260	古沢滋書牘 巻四				1巻	古沢滋書翰 3通				詳細は260-1～3参照	
260-1	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治23年8月27日		共栄社商船会社合併ノ件田中・河原ヨリ後藤へ陳述手筈完了 山県相公へ大江卓紹介 大井憲太郎輩操従策考慮 河野広中等ト面会ノ旨大江へ談話 河島醇 立憲自由党マタ分裂力 自分元老院議員官任命ノ件			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「260 古沢滋書牘 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
260-2	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治23年2月15日		岩村脳病ノ原因 山県ノ戯言ニ発ス 農商務省ハ益々前田ノ独壇場 茶業組合会合ノ模様 後藤大同団結手切レノイキサツ 訴訟一件			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「260 古沢滋書牘 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
260-3	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治22年9月17日		高梨等鳥尾推戴望ミナシ 高梨嫌疑事件無事落着セン 団十郎負債ノコト 愛媛県アンチモニー鉦山 原敬身分ニツキ枢密院ヨリ照会 伊藤野児			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「260 古沢滋書牘 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
261	古沢滋書牘 巻五				1巻	古沢滋書翰 2通				詳細は261-1～2参照	
261-1	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治23年5月22日		陸奥・芳川入閣 榎本退任模様 両氏入閣ニ谷派「日本」毒ヅク 仏国革命史ヨリ内閣強固タルノ要諦翻訳品川へ呈 山県モ一覽ノ由 品川陸奥入閣支持ノ証別封陸奥省内大掃除ノ意向財政破綻差引不足額ヲ鉄道建設費トシテ起債ノヨシ 西村虎四郎			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「261 古沢滋書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第5冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
261-2	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治25年6月4日		干渉決議案民党ノ罵詈雑言二内閣諸公括然 ソノ極政府民党二密通 薩長先輩ノ引退政府後藤・河野ノ手中二陥ル 今回ノ周旋八竹内・大江・林等 内務打壊・白根征伐力目的 副島辞職 後藤ノ表裏 鳥尾意見等政界消息			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「261 古沢滋書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
262	古沢滋書牘 巻六				1巻	古沢滋書翰 3通				詳細は262-1～3参照	
262-1	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治24年1月3日		仲裁書英訳亜氏へ手交同氏承服請書・契約書差出スベシ 予算削減改進黨ノ底意 伊藤・大隈・黒田連合ノ流説 黒田政府へ働キカケノ真意不明 野心宰相過激派ヲ利用センカ デモクラシーノ猛炎ヲ見ルベシ 伊藤ノ自重希望 ソノ他			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「262 古沢滋書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
262-2	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治35(カ)年12月30日		内海ヲ訪問 旧自由派ガ板垣ヲ擁シ分離ヲ期待スルノ様子 政府ト両党ノ衝突トノ辺デ折合ウカ高見如何			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「262 古沢滋書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
262-3	古沢滋書翰 井上馨宛	古沢滋	井上馨	明治43年5月30日		維新史編纂進行大賀 現行維新史類虚偽 維新史撰修八六国史ニ倣ウベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「262 古沢滋書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
263	藤田男書牘 巻一				1巻	藤田伝三郎書翰 5通				詳細は263-1～5参照	
263-1	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治8(カ)年3月9日		当社〔先収会社〕都合ヨロシ 米下落ノ見込ミ 県米安値入手珍重				「263 藤田男書牘 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
263-2	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治16年8月1日		右府公薨去 伊藤近ク帰国 改正ノコトアルベク 配慮アラン				「263 藤田男書牘 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第5冊
263-3	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治17年8月30日		歎願ノ一件特別ノゴ詮議ヲ蒙リ感謝 伊予鉾山損毛ヲ見ザルヨウ注意 清仏開戦ニゴ煩勞ナラン				「263 藤田男書牘 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第5冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
263-4	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治21年3月17日		明治一七年鉱業社〔面谷村鉱山〕社長交替二関スル約束証写 鉱山岩崎弥之助へ譲渡二当リ元社長杉村次郎保有ノ權益処理箇条写				「263 藤田男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
263-5	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治24年1月15日		貴四郎へ懇示ノ家事改革箇条並二本店組織共呈上 子供両名山口へ遣ス件 柏村へノ書通感謝児島湾一件指示謹承 献地ノ件八行政裁判済ミマデ延期イタシタシ				「263 藤田男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
264	藤田男書牘 巻二				1巻	藤田伝三郎書翰 3通				詳細は264-1~3参照	
264-1	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治20年3月8日		少借ノ件児玉因却シオレド解決セン 土木建築会社軍隊用達会社トモ草案トオリ結約大倉帰京姫路鉄道主任才聞キノ成行トナリ苦心 村野身上片ツクマデ出京見合せ				「264 藤田男書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
264-2	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治22年7月12日		高島子来訪 閣下勇退ノ意思 閣内事情念頭ニ懸ケズオ止リヲ願ウトノ高島意見 白根本山彦一ヲ呼び寄せセヒ片ツケタシ タダシ利分ケ八困難児島湾反対下火				「264 藤田男書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
264-3	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治23(カ)年 月 日		厚情感謝取調ヘ済次第報告イタスベシ 柏村へノ書状・書類並ニ自分ヨリモ書状送付 オ示シノ件一同遵守ノ決心 児島湾ノ件品川君へ申入レ 帝室相応ノ事業ト賛成 伊藤伯ノ同意ガ必要 同伯へハ松伯又ハ吉伯ヨリ申入レヨロシカラントナリ				「264 藤田男書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
265	藤田男書牘 巻三				1巻	藤田伝三郎書翰 1通				詳細は265-1参照	
265-1	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治22(カ)年9月20日		開墾ノ件松方・芳川へオ話クダサレタル由 権利獲得ノ為裏金ヲ使用今後ハナサズ 地券二関スル何書指令ニ懸念松方・芳川へ注意アリタシ 現地漁民大方ハ賛成 県会ノ動向 現地ノ地勢 伊予鉱業坑況好転セシモ苦情百出 開墾ノ大望アレバ 鉱山ハ知事ノ希望二任セン 資金ヤリクリ心淋シ				「265 藤田男書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
266	藤田男書牘 巻四				1巻	藤田伝三郎書翰 3通				詳細は266-1~3参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
266-1	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治22年6月8日		児島湾ノ件県会ニテモ紛議ゴ心配ノ旨田中太七郎ヨリ聞ケリ 方針変更ヲオススメナレド暫時猶予セバ鎮静セン 工事着手ノ際八命令書不備修正スベシ				「266 藤田男書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
266-2	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治24(カ)年7月3日		柏村へ願ノ件高配感謝 営業報告ニ太七郎上京垂示乞ウ 網島建築ノコト 商船会社願出ノ件採用トナレバ共栄社ト合併ノ見込 共栄社トノ関係商船重役二伏セラレタシ				「266 藤田男書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
266-3	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治24(カ)年11月28日		高示ニヨリ事業貫徹ヲ目標ニ家事節儉 鉱山見込アルモ将来ニ属シ今ハ節儉ヲ元トスルニ家族同意 開墾地採上論ニ対シ対策並ニ野村へ書状感謝 取調書類出来下河辺ヲ以テ報告スベシ				「266 藤田男書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
267	藤田男書牘 巻五				1巻	藤田伝三郎書翰 3通				詳細は267-1~3参照	
267-1	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治 年 月 日		五郎様証印抜キ希望ノ次第 毛利家ヨリノ恩借ニヨリ家業立ち感銘立願 近頃老耄恩義ノ証印抜キヲ得テ立願成就ヲ念願 心事憐察ヲ乞ウ				「267 藤田男書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
267-2	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治28年2月5日		清朝役公債中上川・渋沢ハ不同意 庄田ハ同意ノヨシ 松方伯来阪 川田同行広島二行キ総理へ直談淡談ヲ從憑 川田総理ノ總裁宛書付ヲ貰イ満足募集ノ意気込ミ 金高三〇〇万抵当八関税 院君・王妃等ノコト苦心ナラン				「267 藤田男書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
267-3	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治27(カ)年11月11日		内語ノ件希望ニ反シ遺憾 彼地人心不穩注意アリタシ 外債ノ件松方伯意見ヲ聞ク 此ノ際ハ大事ヲトリ経済変動ヲ起サヌ策ヲ勧告シオケリ 一日ノ軍費三〇万ト風評 此ノ機会ニ正貨ノ不安ナカラシメタシ				「267 藤田男書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
268	藤田男書牘 巻六				1巻	藤田伝三郎書翰 3通				詳細は268-1~3参照	
268-1	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治32年9月10日		ナオ全快ニ至ラズトノ由此ノ際ハ加養ヲ願ウ 契約書ノコト配慮感謝 主幹・杉子モ異存ナキ由仕合せ 法文検討都筑君引受ケ都合ヨロシ 銅契約ニツキ房之助へ下命感謝 九州鉄道株主会発起名義ニツキ本山ヨリ上申セシナラン				「268 藤田男書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第5冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
268-2	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治27年7月8日		清国事変ニツキワガ対策相談ヲ受ケラルル由 軍事・軍費ニツキ当局ニ予定アルベキモ経済界波乱ヲ懸念 平太郎嫁ノ件配慮辱ケナシ 平岡浩太郎へ本願寺ノコト高示アリタルベシ 北浜銀行トノ破約ヤムヲ得ズ 法主・石川へ説諭ヒトマズ調談 平岡望ムコトハ本願寺旧慣是正セザレバ出来ズ 石川ヨリ書付ヲ取ラザレバ引当テナラズ				「268 藤田男書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版 第5冊
268-3	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治 年3月18日		ゴ懇望ノ茶器ニツイテ				「268 藤田男書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版 第5冊
269	藤田男書牘 巻七				1巻	藤田伝三郎書翰 4通				詳細は269-1~4参照	
269-1	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治33年10月16日		都野・本山へゴ伝言敬承 実業団体ノコト原敬ヨリオ聞キトリアラン 来坂マデ動揺ヲ押エオリ 新内閣組織ニハ苦慮アルベシ外部ヨリ援助然ルベシ				「269 藤田男書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版 第5冊
269-2	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治34年6月22日		港川附替会社他困難会社整理中 原撰抜北浜銀行ニ好都合 同氏ヨリ来坂都合問合セ 急ガザル旨返事 社長タルモノ業務責任ヲ要求スルツモリ 岩下ニ懇書ヲ見セ戒告 原赴任ニツキ御地財界へ紹介感謝 原・岩下両者間自分注意スベシ 星亨				「269 藤田男書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版 第5冊
269-3	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治 年 月 日		兆殿司双幅ソノ他ノコト				「269 藤田男書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版 第5冊
269-4	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治 年12月3日		花月亭縁語ノ額ナシ代リニ江月ノ額ヲ差出スベシ				「269 藤田男書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版 第5冊
270	藤田男書牘 巻八				1巻	藤田伝三郎書翰 3通				詳細は270-1~3参照	
270-1	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治33年9月5日		原後任ノ件帰阪マデマテト電信セシニ本山ヨリ決定変更不能ノ返信アリ 伊侯二願イ矢野押ユ 原・本山衝突意外ノ結果心痛 本山へ厳命ナラズ 困却				「270 藤田男書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版 第5冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
270-2	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治35年12月5日		平太郎へ伝言ノ本願寺一件 整理見込立タズ財務顧問辞任以来受付ケズ 浜岡光哲来訪 同寺窮状門主父子不和ニツキ仲介依頼 門主・渥美契縁来訪同様依頼 表向き取次謝絶 浜岡上申ノタメ出京一応聴取願ウ				「270 藤田男書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
270-3	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治36年1月17日		本願寺不明金一件房之助ヨリオ聴取アラン 石川・平野へ数字ヲ明ラカニスルヨウ要求 両法主へモ心得違イ説諭 帳簿突合せ開始済ミ次第本山財産貸借計算書才届ケスベシ				「270 藤田男書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
271	藤田男書牘 巻九				1巻	藤田伝三郎書翰 4通				詳細は271-1~3参照	
271-1	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治36年2月18日		本願寺取調べ数字突合せ出来 適用不明少カラズ法主・評議員へ説明不能 二〇日マデ説明書ヲ要求 日ナラズ解決見シ 法主来訪小松宮重症ニツキ上京了解ヲ得タシト 瓦斯問題解決セズ手ヲ引ケリ				「271 藤田男書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
271-2	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治36年2月24日		本願寺数字前任者説明書拒否 説諭ノ結果一昨夕持参 現任者八明細書要求 両法主承知ノ分八自分聴取セン				「271 藤田男書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
271-3	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治39年2月17日		当方三家分離ノ件明晰ヲ以テ解決感謝 适当ノ献品ナク別紙目録呈上 内閣モ無事公債募集モ好都合メデタシ 里山払下ゲ世評ヲ憚リ立木払下ゲニ変更聴許アリガタシ				「271 藤田男書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
272	藤田男書牘 巻十				1巻	藤田伝三郎書翰 3通				詳細は272-1~3参照	
272-1	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎		明治38年9月23日		分割決算ノ件高配恐縮 物件価格不同意ノ者ニハソノ物件ヲ渡スノオ話ナリシヤ 小坂ノ場合房之助へ渡サズ 平太郎モ久原ト同業ヲ拒否 開墾地自分名儀コレガ変更ハ紛議ヲ招カン 台湾金山口約アリ名儀替出来ズ 新事業ニ弊組職員ヲ移スコトハ双方ノ故障タラン 分離洩レ人氣落付カズ懸念				「272 藤田男書牘 巻十」(1巻)の内	冊子複製版第5冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
272-2	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治43(力)年3月10日		阿里山事業今議会ニテ官営ニ決定 本件ニツキ永ラク配慮感謝				「272 藤田男書牘 巻十」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
272-3	藤田伝三郎書翰 井上馨宛	藤田伝三郎	井上馨	明治44年8月25日		授爵才礼				「272 藤田男書牘 巻十」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
273	井上毅子書牘 巻一				1巻	井上毅書翰 5通				詳細は273-1~5参照	
273-1	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治18年1月21日		下命ノ件試草取捨ノ上再編ニ及ブベシ 北海結氷三月上旬ナラデハ通船不能 朝鮮經由支那船ニテ旅順又ハ山海関ニ上陸陸路北京ニ至ル方法ヲトルベキカ コノ方法ナレバ徐公使ヘ依頼アルベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「273 井上毅子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
273-2	井上毅書翰 宮内卿宛	井上毅	宮内卿	明治18年1月30日		別紙試草供覧 撤兵説ハ和平ノ協同ヲ得難カラシ				「273 井上毅子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
273-3	井上毅書翰 外務卿・外務大輔宛	井上毅	外務卿・外務大輔	明治18年3月10日		大使一行芝罘安着 天津開河ノ模様待チノタメ兩三日滞港 吳大澂動静			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「273 井上毅子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
273-4	井上毅書翰 外務卿・外務大輔宛	井上毅	外務卿・外務大輔	明治18年2月1日		新聞検閲事務煩雑 発行前草稿検査ハ露国ノ外ナシ 李国ハ発行同時ノヨシ 清国談判ニツイテハ左ノ簡潔ナル布達案ニテヨロシカラシ 布達案 清国政府談判ノ件 新聞紙ヘ官報抄録ノ外記載スベカラズ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「273 井上毅子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
273-5	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治25年3月21日		私葉山ヘ転地療養 小田原ノコト官吏社会ノ批評頓着ノ要ナシ 民間ノ扇動者掛念 自由党新井章吾等分裂ノ密報 鉄道期成同盟会員大隈伯ヘ面会 隈伯ハ民有主義者 板垣伯ハ国有論者			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「273 井上毅子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
274	井上毅子書牘 巻二				1巻	井上毅書翰 9通				詳細は274-1~9参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
274-1	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治20(カ)年 6月6日		会議取消シ人ヲ変エテモ不可 会議筆記調印後ソ ノ解釈ヲ彼ノ不満足ニスルハ不可 今日ニオイテ ノ対策ハ調印前ニ改正申入レ彼レニ失望セシムル ニシカズ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「274 井上 毅子書牘 卷 二」（1巻） の内	冊子複製版 第6冊
274-2	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治22年 月 日		新提出ノ会議筆記ニ不都合ノ一条アリ 外国陪審 官ヲ置クノ一条陪審ハ公権外国人ニ日本国民ノ公 権ヲ与ウルコトナリ 違警犯人ヲ高等裁判ニ付ス ルコトモ不都合ナリ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「274 井上 毅子書牘 卷 二」（1巻） の内	冊子複製版 第6冊
274-3	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治22年6月 8日		水野書記官愛知県ニ帰省 同県状況ノ見聞書謄本 供覧				「274 井上 毅子書牘 卷 二」（1巻） の内	冊子複製版 第6冊
274-4	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治22年6月 10日		鉄道払下問題ニ関スル法制局員中根重一意見書参 考マデ供覧			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「274 井上 毅子書牘 卷 二」（1巻） の内	冊子複製版 第6冊
274-5	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治 年3月 11日		十三日差支エアリ 十五日ニ繰合セ願ウ				「274 井上 毅子書牘 卷 二」（1巻） の内	冊子複製版 第6冊
274-6	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治25年7月 31日		昨夜首相ハ内閣員ニ再度ノ辞意表明 山田・西郷 ハ山県ヲ陸軍大山ヲ海軍ニ尽力中 高島ハ監軍本 部ニ榊山ハ大学校長ニ転ズノ内評 首相辞職理由 説明ナシ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「274 井上 毅子書牘 卷 二」（1巻） の内	冊子複製版 第6冊
274-7	井上毅書翰 伊東巳代治宛	井上毅	伊東巳代治	明治26(カ)年 1月19日		今朝山下ヘ行キ口出シセシコト後悔 午後大磯ヘ 病氣見舞 東海辺ニテ療養ノツモリ 貴兄苦心 ナラン 大勢一度傾ケバ挽回不能ナルベシ				「274 井上 毅子書牘 卷 二」（1巻） の内	冊子複製版 第6冊
274-8	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治 年3月 11日		今朝松方邸ヲ後藤伯訪問セシナラン 昨日貴命ノ 件ハ不要ナルベシ 昨夜井上角五郎ニ面話 今朝 同人手紙別紙ノ通り来リ安心				「274 井上 毅子書牘 卷 二」（1巻） の内	冊子複製版 第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
274-9	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治15(カ)年 8月7日		当地事情竹添ヨリ報告アルベシ 支那人奮発李鴻章モ一踏張り必要ノ形勢 我ガ進退モ重大 半開化ノ我国ナレバ拙速ノ方ヨロシク猛武ノ方適當ナルベシ 福岡ヘノ伝言葉書ノトオリ返事アリ 特別訓条ノ件大臣ノ命ニヨリ起草 写竹添ヨリオ届ケスベシ 福沢等民間ノ主戦論喧シケレド支那関係ハ漏洩セズ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「274 井上毅子書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版 第6冊
275	井上毅子書牘 卷三				1巻	井上毅書翰 7通				詳細(は275-1～7参照	
275-1	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治26年4月 1日		西郷伯ヘ思召伝達 首相意向ノゴトク委員会ノ外懇話会開催必要アリ御主唱アリタシ 山県伯ヘ面話アレバ好都合 明日オ約束ノ時間ニ林来訪スベシ 十分懇談アルベシ 改革ノ必要ヲ知ル者林ノ外ナシ 別冊ハ首相上奏ノ大旨 此ノ位ノ改革ハ必要ナラン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「275 井上毅子書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版 第6冊
275-2	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治25年4月 5日		来旨尤モナリ 白根ヨリ別紙来書 内務ヘ同氏ヲ訪ネ着手方話合イ 刷物ハ勅任以上ニ配布ト見工政党事務所又ハ通信社ノ作表ナラン 内務ハ改進黨ト推測 出所ハ宮内省ヘノ探偵ニヨルカ シバラクホテル泊見合セアレト白根イエリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「275 井上毅子書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版 第6冊
275-3	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治26年6月 15日		大石帰着非常ノ混雑ナレド伝言ハ伝エオケリ 今朝参邸ノオ約束ナレド来客アリ参上致シガタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「275 井上毅子書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版 第6冊
275-4	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治27(カ)年 8月20日		貴教拝謝 出京オ伺イノツモリナレド暑中疲労ニテ失礼 明日命ニヨリ別荘ヘ参上スベシ				「275 井上毅子書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版 第6冊
275-5	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治25年11 月13日		内話ノ木下広次ハ自分親類ニテ内情ヲ聞ケリ 高等中学校離シ難シトナリ 地方官適任者同県人中ヨリ推挙セバ陸軍理事志水小一郎・議員古荘嘉門・新潟県書記官村上義雄				「275 井上毅子書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版 第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
275-6	井上毅書翰 首相宛	井上毅	首相	明治26(カ)年 12月16日		水野ノ行先ヲ追蹤 先時ノ件ハ押工オケリ 品川ヨリノ伝言面会セシモ他言憚ル当局ガ官紀問題処置ニ誤解アルハ齒痒シトノコト			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「275 井上毅子書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版 第6冊
275-7	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治27年1月 1日		佐々八平生洋行希望 大石正巳ヨリモ勸告セシ由 今回ノ解散国民協会ノ窮境ヲ見捨テ洋行ハ不本意 総選挙後又ハ第六議會終了後ニイタシタキ希望ノ由 今一度内話ノ上報告スベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「275 井上毅子書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版 第6冊
276	井上勝子書牘				1巻	井上勝書翰 7通				詳細は276-1～7参照	
276-1	井上勝書翰 井上馨宛	井上勝	井上馨	明治5年2月 13日		サンフランシスコヨリ取寄セノ伊藤注文ノ馬車代価教示乞ウ				「276 井上勝子書牘」(1巻)の内	冊子複製版 第6冊
276-2	井上勝書翰 井上馨宛	井上勝	井上馨	明治 年1月 3日		年頭一句				「276 井上勝子書牘」(1巻)の内	冊子複製版 第6冊
276-3	井上勝書翰 井上馨宛	井上勝	井上馨	明治 年 月 9日		本日出港条公ヨリ急用トノコトニテ延引 説諭アランカ 辞表へ述ベシコトナレバ無用ノコトナリ				「276 井上勝子書牘」(1巻)の内	冊子複製版 第6冊
276-4	井上勝書翰 井上馨宛	井上勝	井上馨	明治 年 月 27日		井関八原ノ調印ヲ済マセ帰阪松本ヲ訪問 松本増資反対ニテ調印拒絶 重役田辺ト協議松本二面語 増資ニハ不同意 持分資金ト増資分トヲ他二譲渡ヲ条件ニ調印 阪地調印終了ニツキ契約書大原へ返送 三十日マデ登記完了セザレバ總會決議新商法ニヨリ無効 開業式尽力セシ				「276 井上勝子書牘」(1巻)の内	冊子複製版 第6冊
276-5	井上勝書翰 井上馨宛	井上勝	井上馨	明治 年1月 4日		新築ノ家ニストーヴヲ要ス 西洋ヨリオ持帰リノ不用品暫時拝借イタシタシ				「276 井上勝子書牘」(1巻)の内	冊子複製版 第6冊
276-6	井上勝書翰 井上馨宛	井上勝	井上馨	明治 年5月 16日		先日下命ノ件平岡二面会説明材料承知セリ 平岡内心合同中止 自分ダケ大阪ノ事業ニ従事 直話スベク参邸ノ意図ナリ 今朝ノ話大略オ耳ニ入レタク参上イタシタシ				「276 井上勝子書牘」(1巻)の内	冊子複製版 第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
276-7	井上勝書翰 井上馨宛	井上勝	井上馨	明治24年12月1日		払下ゲ家屋ノ件局向キ都合イタシカヌ 他二心当リアリ紹介ノツモリ 鉄道問題会議提出ノ運ビ当事者トシテ実際論ヨリ起草シタクモ将来ノ見込ミ又軍用等ノ大論ヨリ大型トナラザルヲ得ズ				「276 井上勝子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
277	板垣退助・岩倉具定・前田正名書牘				1巻	板垣退助書翰 1通 岩倉具定書翰 3通 前田正名書翰 1通				詳細は277-1~5参照	
277-1	板垣退助書翰 井上馨宛	板垣退助	井上馨	明治 年2月10日		書面ノ趣承知 書損ジナルベシ大臣ヨリノ命令ニツキ当方調ベシ				「277 板垣退助・岩倉具定・前田正名書牘」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
277-2	岩倉具定書翰 井上馨宛	岩倉具定	井上馨	明治 年1月21日		伊藤伯請求ノ一件松方・土方等ヨリ内談アルトモ承知ノコトハ内密ニサレタシ 土方ノ情報ハ自分承知ノ域ヲ出デザルハズ 行違イナキヨウオ含ミ乞ウ				「277 板垣退助・岩倉具定・前田正名書牘」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
277-3	岩倉具定書翰 井上馨宛	岩倉具定	井上馨	明治24年11月18日		吉川家分家華族御裁可 沖ノコト不首尾露公使謁見二間二合ワズ 総理ハ宮中顧問官ヲ望ミ土方反対 今一ケ条御沙汰ナシ 出立前華族救助法ニツキ相談イタシタシ				「277 板垣退助・岩倉具定・前田正名書牘」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
277-4	岩倉具定書翰 井上馨宛	岩倉具定	井上馨	明治 年9月26日		本日ノ御用筋ハ御内沙汰ノ件ニツキ返答ナランカ 参内拜謁ニツキ嫌疑アレバ奉答ノ大略オ認メ願ウ 前内閣更迭ノ際苦心セシコトアリ前条願ウ				「277 板垣退助・岩倉具定・前田正名書牘」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
277-5	前田正名書翰 井上馨宛	前田正名	井上馨	明治22年8月24日		松平正直子息忠太郎工務ノ技術官ニ採用ノ件 同氏ヲ知ル者ハ大学教授ノ方適任ナラント 工務ニハ化学専攻ノ者多シ				「277 板垣退助・岩倉具定・前田正名書牘」(1巻)の内	冊子複製版第16冊
278	伊藤公書翰 巻一				1巻	伊藤博文書翰 8通				詳細は278-1~8参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
278-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年 月 24日		当地寄留東京府ヨリ鑑札下付ノタメ家族名書出スヨウ大蔵省ヨリ示達アリ 家ノコト井上新一へ申付タリ				「278 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
278-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年6月 16日		横浜へ山尾同道ノ約束アリ 今日同行ナシガタシ				「278 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
278-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治3年4月5日		三月二三日上阪ノヨシ 今回ノ苦心成功ヲ納メ感佩木戸先生ヨリ来信 前途艱難人知未開ノ故ナラン 老兄ノ辞職一条山尾ヨリモ聞ケリ 自分不同意 北堂ハ痛心オ忍ビテウ 虚説信用ト推察氷解アリタシ				「278 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第7冊
278-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年5月 11日		今夕浜行承知 アルピン中島ト約アリ彼地ニテ待ツ				「278 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
278-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治3(カ)年 5(カ)月28日		造幣事務撰取遥察 大隈勉勵来月ロベルトソン同行出阪予定 老公・木戸翁来港ノハズ 撰播ノ形勢報知願ウ 神田出納権大佑拜命 山本重介				「278 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第7冊
278-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年2月 14日		塩田帰阪書状ヲ托セリ書中ノ考案大隈・渋沢へ回覧願ウ 自分ヨリノ案タルヲ秘シニ三同志トオ謀リ願ウ				「278 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
278-7	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治15(カ)年 6月9日		内室謁見 大臣ヨリ宮内卿ヲ以テ聖上ニ伺イ洋服ニテ謁見トノコトナリ 皇后御不例明朝ノ模様ニテ宮内ヨリ通達アルハズ				「278 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第7冊
278-8	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年 月 29日		黒田面談ノ始末 駆違イ拜晤ヲ得ズ遺憾 黒田北行ノ予定ヲ差留メ 本人ゼヒ出張ノツモリ面談ニテ尽シ得レバ好都合ナレドイタシカタナシ				「278 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
279	伊藤公書翰 巻二				1巻	伊藤博文書翰 6通				詳細は279-1~6参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
279-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治4年7月14日		追々制度変革山田ヨリ近況ヲ聞キ日夜善制良法ノ発令仰望 肥後安場大隈排斥ヲ策謀蔵公ヲ動カシ又越ノ経済家ヲ再ビ挙用セント 在朝人ヲ視ル活眼ナク施行シタル事務ノ損失ヲ知ラズ会計ノ確立八大隈ノカニヨル 三岡ヲシテ在ラシメバ全国民小片紙ヲ抱イテ臥死スルニ至ラン今日ノ興隆大隈ノ卓見ニヨル 大隈大蔵ニ留マラバ安キニ就ク意ナシ 左ナクバ造幣ヘ転官ヲ希望ス				「279 伊藤公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
279-2	伊藤博文書翰 井上・渋沢・上野宛	伊藤博文	井上・渋沢・上野	明治5年6月9日		昨八日桑港着 明日ワシントンヘ発足 大使一行当国滞在ナレド条約改正等事情詳ニセズ カルホルニアバンクヘニ歩金分析ノコト伝達 吉田ロンドンヘヨリエントタル会社周旋二千万金七分利子ニテ成就ノ見込ミ				「279 伊藤公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
279-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治6年1月29日		仏国二四〇日余滞在 一四五日内ニ白・蘭・李・魯廻国予定 各国応接ノ都合好結果ナシ 大概法教寛恕ト内地往来ノ二条件 信仰ニ関シ寛恕ノ説ヲ我ニ要求 内地往来ハ各国共要求 我国物産及ビ運輸事情ヲ承知セル現在開港増加ヲ求ムル意ナシ 貿易現況二千万両ノ金ヲ払ウノ形況 国家ノ財力衰耗ノ危険 吉田国債都合良シ				「279 伊藤公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
279-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治16(力)年4月28日		光明寺書記官・マルシヤルヨリ通信 東京一条ニツキ仏政府支那ニ対シ我ト協同ノ内議 彼ノ意向十分ニ知ル必要アリ 一両日中パリヘ行キ調査電報スベシ 別紙八大山書記生呈出ノ書ナリ				「279 伊藤公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
279-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治6年6月2日		伊太利回歴終リ 今夕奥国へ出発 瑞西・ポルトガルヲ経テ来月初旬帰朝予定 木戸翁ハ直ニ帰国ノ予定 使節一行火急ノ変革希望セズ 木戸翁勉強各国ノ形勢熟通帰国 東西隔テ疎情アラン十分ノ熟議乞ウ				「279 伊藤公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
279-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治6年8月27日		本日香港着 上海・長崎經由ニテ来月一二日横浜着予定 本邦事情新聞・公書ノミニテ不明煩慮 政府事情 島津上京模様 木戸・大久保帰国後ノ折合イ等一書認メ兵庫長門屋マデ仕出シオキ願イタシ				「279 伊藤公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
280	伊藤公書翰 巻三				1巻	伊藤博文書翰 8通				詳細は280-1~8参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
280-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年3月23日		今朝才願イセシ渋沢八如何 同人差支エアリトモ老台ハゼヒオ出デテウ 木翁来臨ノハズ				「280 伊藤公書翰卷三」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
280-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年3月23日		芳川顕正不参 老台ゼヒ来臨願ウ 木翁招待 渋沢同道願イタシ				「280 伊藤公書翰卷三」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
280-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年5月25日		大隈コリ今日ノ試験延引ノ連絡アリ出港セズ				「280 伊藤公書翰卷三」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
280-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治8(カ)年6月9日		木翁へ面会 小室見込話セシトコロコソ今夕尊寓訪問シタキ由在宅願ウ 陸来訪ニテハ不都合ナラン用意アリタシ				「280 伊藤公書翰卷三」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
280-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治8年6月16日		今夕地方官会議議案作製ニ呼び寄せノ者モアリ同行イタシガタシ				「280 伊藤公書翰卷三」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
280-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治6(カ)年10(カ)月1日		岩・条・保・木ヲ訪問 容易ナラヌ形勢歎息 木翁病氣談議ノタメ手重 医者ハ来客ヲ辞スベシトイウ				「280 伊藤公書翰卷三」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
280-7	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治9年1月6日		無事着阪末松一報アリ安心 木戸快方二月頃ニハ全快カ 木翁進退一条余リ奮発サセヌヨウ願イタシ 小出播磨娘快諾得タリ				「280 伊藤公書翰卷三」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
280-8	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治9年1月19日		無事釜山着慶賀 木戸モ追々快方 万一破談ノ節ハ出張ノ儀未決定ナレバ条公・大久保内々予定宿意ヲ遂ゲサセン 山県モ馬関出張万ノ一手筈ニ備ウ 関口隆吉 岩村通俊 浮浪ノ徒就縛イズレモ暗殺部類			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「280 伊藤公書翰卷三」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
281	伊藤公書翰 卷四				1巻	伊藤博文書翰 6通				詳細は281-1～6参照	
281-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年3月15日		条公邸ニテ大久保へ面会 伝言アリ足勞願ウ				「281 伊藤公書翰 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
281-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年3月18日		木翁ハオ尋ネノ儀 事急ヲ要スルニツキ自分ハ申出デザルコトトセン				「281 伊藤公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
281-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年3月27日		折角ノ保養中ナレバ今晚ハ失礼 明日参堂スベシ				「281 伊藤公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
281-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治9年3月27日		赤坂ニテ朝鮮行大臣方待チ 一時間半後不参届着不興ナリ 少々面談イタシタシオ出デヅウ				「281 伊藤公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
281-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治9年11月7日		着英後勉強ナラン 熊本敬神党暴発 又秋月徒党暴動 続イテ萩表前原ヨリ県令へ西郷銃器三千他送着届 関口県令鎮庄 大阪ヨリ鎮兵派遣賊徒敗走 巨魁八前原兄弟 横山俊彦 奥平謙輔東京ニテ会津人長岡敬二郎等一挙ヲ企図 全テ八前原ノ煽動二起因 三浦梧楼陸軍再勤 鳥尾木翁復官ヲ画策 自分復官ノ条件ヲ引受クル訳ニユカズ困却 朝鮮一条ニテ賞典下賜預カリオカン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「281 伊藤公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
281-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治10年10月6日		西南騒乱鎮静 虎烈刺病流行 本邦事情前田再行ニツキ聴取アレ 乱後ノ処分難シ 征討費巨額ニテ当惑前途不安 地租改正状況 魯土戦争ノ成リ行キ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「281 伊藤公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
282	伊藤公書翰 巻五				1巻	伊藤博文書翰 5通				詳細は282-1~5参照	
282-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治11年2月18日		帰朝ノ意向沖丹蔵ヨリモ拝承 政府ニテモ了承 大久保・大隈モ承諾 オ見込ミ漏洩セザルヨウ注意アレ 在欧人士知レバ国内ニ伝播ソノ害多カラ 日本ノ形勢未松口頭ニユズル				「282 伊藤公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
282-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治11年5月5日		芳川頭正ヲ電信会議へ派遣 延会ト知り呼び帰ス 尾崎三郎滞英中ノ不始末助勢願ウ 三条世子事情知ラン扶助アリタシ 地方官会議終了 府県会・民費関係ナリシ				「282 伊藤公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第7冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
282-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治11年4月6日		魯土戦後欧州形勢所感 本邦昨年ノ乱後平静 土州連中繋囚中 条約改正論ニツキ鮫島ヨリ聴取アラン 老台帰朝ノ件末松托書ニテ了承ナラン 自分地方官会議ニテ忙シ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「282 伊藤公書翰 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
282-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治14年8月6日		井上書記官へ托書拝読 黒田ヨリノー書落手アラン ソノ写一覽セリ 球案未解決ニテハ内事ニ着手宜シカラズ 建白云々洩シナシト信ズ 前途ノコト貴察ノゴトクナラバ自分皇室ノ城壁トナラン 独公使ヘノ返書井上草案ニツイテ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「282 伊藤公書翰 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
282-5	伊藤博文書翰 右大臣・大蔵卿・工部卿宛	伊藤博文	右大臣・大蔵卿・工部卿	明治11年9月4日		聖上巡幸前島少輔帰報 三〇日夜半風声鶴唳ノ気味 下総牧羊場雇シヨンス居館強盗 四国・中国路県治視察北垣書記官報告写呈上 禄券保護ソノ他論達九日頃発表予定 脚気病院不足額ゼヒ支出願ウ 山県過日ノ騒動ニヨリ片眼朦朧			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「282 伊藤公書翰 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
283	伊藤公書翰 巻六				1巻	伊藤博文書翰 5通				詳細は283-1～5参照	
283-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治11年10月12日		聖上北地巡幸西京二着輦同慶 桂陸軍卿ノ命ヲ含ミ下阪鳥尾二帰東ヲ催促 鳥尾不満ノ推測 辞表山県保留 陸軍参謀局皇張ノ議 西郷参議ニテ鳥尾呼び戻シ 自分ヨリモ口添工依頼 条公ヨリモ内書アル筈 京都駐輦中鳥尾へ説得願ウ 大蔵卿参謀局皇張ニ酒類税改定ノ上三〇万円支出承諾ズミ マズ二五万円支出方大蔵卿へ聞合セテウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「283 伊藤公書翰 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
283-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治12年7月12日		別冊翻訳鎮台へオ見セテウ 文中「證據」間違ナシ 「議論」ハ考慮 グラントへ見セル前鎮台意見聞キタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「283 伊藤公書翰 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
283-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治13年7月19日		条約一件遣欧使論八寺島ト協議意見書ヲ両公使へ提示ノ予定 独ハ不承知 英モ派遣ニ及バズトノコトニテ派遣取止め ロケットハ致シ方ナシトノ意見 北京独公使ホンプラント球案処弁ニツキ勧告 回答文相談ノタメ井上書記官派遣 処弁ハ不承諾独公使容喙不得策 返辞ニヨリ左右サルベク井上ト相談願ウ 支那昨今兵勢伸張我レ万一ヲ予図アルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「283 伊藤公書翰 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第7冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
283-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年10月26日		奥国維也納二名誉領事ヲ置クコト謝絶アルベシ				「283 伊藤公書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
283-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年11月13日		平井書記官へ巡查派遣ノ儀聞キシトコロ立案中ノヨシ				「283 伊藤公書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
284	伊藤公書翰 巻七				1巻	伊藤博文書翰 9通				詳細は284-1~9参照	
284-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治13年12月1日		今晚榎本海軍卿オ招キナク夫人ノミオ招キ八間違イニテハナキヤ				「284 伊藤公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
284-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治14(カ)年12月12日		福沢へ内話ノコト未ダ発語ナシト思ウ 大隈ヨリ漏洩セザルヨウ話アルコトナレバ同人へ相談ノ上ニテ運ビタシ				「284 伊藤公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
284-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年 月 30日		過日来ノ顛末条公ヨリ奏聞 大意説明今朝九時参朝アレ				「284 伊藤公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
284-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年9月11日		オ申越シノ儀承知 追付参上スベシ				「284 伊藤公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
284-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年5月16日		帰路参上オ待合セザウ				「284 伊藤公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
284-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年11月17日		今夕巖公来訪 緊要ノ用向キアルヨシ				「284 伊藤公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
284-7	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治17(カ)年9月27日		秘書官ヨリ送付ノ局外中立二関スル書類 細閱セシトコ口疑義多シ 両三日中井上・伊東等ト参上 逐条意見申上ゲタシ				「284 伊藤公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版 第7冊
284-8	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治16年1月8日		条約改正ノ件各国公使ノ報告ニテ承知アラン 英仏困難独ハ助勢ノ色アリ 青木ヲ鞭達中 近日ビス二面会予定 先方ハ政談ヲ避クルノ気配 ホーレーベン稍頼リニナルカ 今一度独ヲ首導ニ試ミル外ナカルベシ 法権我ガ意ニ反スベシ 道理ヨリ宗教ノタメナルベシ 山県伊三郎			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「284 伊藤公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版 第7冊
284-9	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治16年12月23日		諸卿ノ地位轉換ハ成功 吉田ヲ司法大輔河瀬ヲ駐英公使トノ希望ナレド実現困難 西郷・山田モ吉田司法不同意 旧議ニヨリ取計ウ外ナシ 森公使送付ノ条約改正英廷意見ハ難題 プランケット到着ヲ待チ不同意ノ事理明ニスルガ良カラン 清仏開戦ノ際ノ日清条約一五条二関スル局外中立問題			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「284 伊藤公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版 第7冊
285	伊藤公書翰 巻八				1巻	伊藤博文書翰 5通				詳細は285-1~4参照	
285-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治16年12月27日		電報ニテ通知セシゴトク条約改正英案中不同意ノ箇条森・青木ヘ電訓 大少輔協議ノ上電報写ノ通り成案ヲ得タリ 吉田大輔転官ノ件西郷ヨリ内談 本人覚悟ノ程吐露 自分モ面談転官本人承服シオレド緩徐取計イ然ルベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「285 伊藤公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版 第7冊
285-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年4月29日		事務取調ノ都合ニテ三四日差支エアリ其後ハ何時ニテモヨシ 入用ナレバー報アレ				「285 伊藤公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
285-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治17(カ)年 月19日		青木ヨリノ電報ノ通りナレバ好都合 兩人本月発足ノヨシ安心 巳代治翻訳今晚才届ケセン				「285 伊藤公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版 第7冊
285-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治17年3月19日		身上関係ニツキ内談ヲ欲セシモ雑客多ク辞去 宮内卿一条一両日中ニアラザレバ漏洩異説起ラン 省中変革ヲ予期スル者アリ 参議兼之ノ四字ヲ見ハ衆目小生ニ集ラン 万一新聞紙上ニ不同意ノ論出デナバ詔命モ辞セザルヲ得ズ 迅速才取計イヲ乞フ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「285 伊藤公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版 第7冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
285-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治18年5月4日		明日浜離宮ノ観桜会ニ聖上風邪ニテ臨幸ナシ 各公使へ通知乞ウ				「285 伊藤公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
286	伊藤公書翰 巻九				1巻	伊藤博文書翰 7通				詳細は286-1~7参照	
286-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年5月21日		伊藤欽亮紹介				「286 伊藤公書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
286-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年10月1日		黒翁面会ノ大略引籠論ニテハナキカ オ示シ乞ウ				「286 伊藤公書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
286-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治18年2月25日		昨夜英公使二面会ノヨシ伝聞 自分支那行ノコト話題ニ上リシト推察同人ヨリパークスヘノ一書今回ノ支那ヘノ要求日本ノ国情ヨリヤムヲ得ザル旨 支那政府ヘノ工作頼ミタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「286 伊藤公書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
286-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治17年2月26日		塩田転官ノ件 参事院議官三等官ノママナレバ少輔ヨリ七百元ノ減額 井上毅・田中光顕トノ権衡			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「286 伊藤公書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
286-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治17(力)年3月9日		竹添来訪 支那公使トノ面談ニ徴スルニ条約云々ナオ考慮ノ余地アリ 明早朝相談イタシタク竹添ヘモ伝エオケリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「286 伊藤公書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
286-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治18年8月18日		明朝条公面会ノ際ニ三年マデ廟堂ノ基礎確立スルヨウ政略決定ヲ勧告願ウ 山県兼官ノコト			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「286 伊藤公書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第7冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
286-7	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治18年8月21日		参謀本部長後任次長代行八山県意見 大山へ次長代理力三浦兼動力意見ヲ聞キシトコロ山県ト相談シタシトノコト 大山・山県談合ノ結果川上代理二申合セ条公へ報告 吉田ノコト貴意ノゴトク応答セン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「286 伊藤公書翰 巻九」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
287	伊藤公書翰 巻一〇				1巻	伊藤博文書翰 7通				詳細は287-1～7参照	
287-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治18年10月3日		独公使来訪 天津談判筆記内覧申出 差支エアルマジキナレド意見如何			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「287 伊藤公書翰 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
287-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治18年10月16日		熱海到着以来ノ近況 依頼セシ要件各人意見才聞キクダサレタルヤ 西郷佐賀競進会出発前二申合セナクテ八本年間二合ワザルベシ 内閣組織論ハサテオキ海陸軍政ノ改良・各省冗費節約・官員定限等猶予ナラズ 陸軍改良山県・大山へ委曲説明論窮セザルベカラズ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「287 伊藤公書翰 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
287-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年10月29日		旧知事公山口行ノ件山田ヨリオ聞キアラン 昨朝宮中へ来訪アリ山口行病氣ノタメ元昭代理ト致シタシトノ依頼 山県・山田モ異存ナシ 杉ノ話ニテハ御末家モ同行変更八困却トナレバ百事担任ノ賢台代理ニテ認容願ウ				「287 伊藤公書翰 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
287-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治14(カ)年12月17日		諸公使ト会谈ノ模様明朝オ話シクダサルヨシ 内閣会議ハ明後日予定ノ旨承知 コノ際機ヲ失セザルベシ				「287 伊藤公書翰 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
287-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治17(カ)年 月 日		朝鮮京城事変ノ際ワガ護衛兵ト清兵トノ闘争事件商議ノタメ全権大使派遣ニツキ注意（草稿）				「287 伊藤公書翰 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
287-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治19年1月2日		独逸帝へ電報取止メ方ヨロシカラシ 英皇執政五〇年紀ニモ御名ニテノ電報ハ出サズ 青木独逸帰リノホヤホヤニテ眼届カズ取捨アリタシ 欧州各国特別大使派遣云々直接関係アルマジ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「287 伊藤公書翰 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第7冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
287-7	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年7月30日		林董文書局へ転官急ガザレバ佐藤転官二不都合アリ				「287 伊藤公書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
288	伊藤公書翰 巻一一				1巻	伊藤博文書翰 7通				詳細は288-1~7参照	
288-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治19年3月10日		独仏公使謁見ノ件 再度ノ変更ハ甚ダ困却 仏統領親書捧呈マデ公式トスルハ鄭重ニ過ギザルヤ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「288 伊藤公書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
288-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治19(カ)年4月20日		奥国鉄冠勲章領受セザルヲ得ズ 受取書同国公使へ送付 抗論ノツモリナレバ不領受ナレド青木意見然ラズ 佩用願出ノツモリ				「288 伊藤公書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
288-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治19(カ)年5月23日		小宮三保松代言事務ニ従事 三井組顧問ニ採用願イタシ				「288 伊藤公書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
288-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治20年7月18日		各国公使へ修正案提出異議ナキヨシ一安心ナレド将来ノ大問題 埃及ノコト参考マデ申上ゲオキタシ 一〇年前デビソン派遣シ調査書類アリ 司法ノ長谷川報告モアリ 明朝参上スベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「288 伊藤公書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
288-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治19(カ)年10月26日		青木周蔵従三位ニ叙任ノコト				「288 伊藤公書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
288-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治19年1月11日		大臣年俸並ニ外交費大蔵大臣ト相談別紙ノ通り取極メ 三条内大臣へ優詔案並ニ年金ノ件 内大臣・宮中顧問俸給			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「288 伊藤公書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第7冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
288-7	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治19年1月25日		大臣年俸奏請書回覧手許ニアレバ明日携帯願ウ増俸見合セ据置キ交際費ニテ疏通ノ見込ミ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「288 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
289	伊藤公書翰 巻一二				1巻	伊藤博文書翰 8通				詳細は289-1～8参照	
289-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治19年3月11日		横須賀臨幸アラセラレザル旨侍従長ヨリ沙汰アリ 海軍大臣海軍皇張上希望ナレバ自ラ申出ツベシ 各大臣一月二度ノ謁ヲ請ウモノ稀ナルハ輔翼ノ実ナシ				「289 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
289-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治19(力)年3月16日		官等俸給令ニ対シ奏任官任官本属大臣ニ宣行ノ意見ナレド奏薦書一括保存不能 武官・法官地方官ノ類属部ノ官員ト同視シ難キ点アリ 総理大臣ノ宣行トシタリ ナオ面議シタシ				「289 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
289-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年4月14日		黒田ヨリ来書落手 明日高輪へ尊来ヲ待ツ				「289 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
289-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治20年4月23日		吉田次官ヲ呼び高橋新吉九州鉄道社長へ転任伝達 後任商務局長二岩崎小二郎ヲ希望ニツキ承諾セリ 松方へ念ノタメ示談乞ウ				「289 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
289-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治20年4月24日		岩崎一件松方異議ナキヨシ敬承 当分高橋代任ハ申付ケズ 副局長ニテ支障ナキ趣 高橋へハ何時ニテモ申渡シアリタシ				「289 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
289-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治19年6月17日		建築師ブックマン帰国内謁見ノ儀奏聞 明日同伴来照承知				「289 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
289-7	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治20年7月27日		伊東巳代治帰舎 才取調ベノ大意了承 昨夜ノ取調ベニ変更ノ向キナレド内決ノ通りニアリタシ ベロソナルスタチユスノ問題ハモツトモ大事ナリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「289 伊藤公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第7冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
289-8	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治20年7月23日		本日命ニヨリ伺候 条約改正ノ議外務省ハ漏洩ヲ恐レ 一方谷干城ノ論ハ伝聞ヲ憚ラザルトコロヨリ ソノ説多数ヲ占ムルニ至ルハ自然ノ形勢 機密ノ外ハナルベク聞カシムル要アリノ叢旨ナリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「289 伊藤公書翰 卷一二」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
290	伊藤公書翰 卷一三				1巻	伊藤博文書翰 10通				詳細は290-1～10参照	
290-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治20(カ)年8月1日		明朝来臨ノ用向キ八宮内ニテ拝晤ノ都合ニ願イタシ 独公使箱根行 英公使来訪政略変更ヤ否ヤ問合せアリ				「290 伊藤公書翰 卷一三」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
290-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治20年8月3日		伊公使館集會ノ模様報知感謝 魯公使主論ノゴトク諸法律実施開国ノ用備整イタル上開談イタシタキモノ 之ヲ前途予期シガタクモ目的達成ニ他ニ良策アルマジ 西源四郎			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「290 伊藤公書翰 卷一三」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
290-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年7月30日		山県来訪 同席ニテ鳥尾ト面談ノ場所指定乞ウトナリ鳥尾山県ト面談ノ大意ハ藤田ヨリオ聞キ済ミナラン				「290 伊藤公書翰 卷一三」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
290-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年7月28日		昨夜珍事出来 今朝大隈来訪 事情説明ノタメ参集願ウ				「290 伊藤公書翰 卷一三」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
290-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年8月26日		別紙返上受取りクダサレタシ コレヨリ山県同道高縄へ行ク 大坂来賓不都合ナキヨウ致スベシ				「290 伊藤公書翰 卷一三」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
290-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年9月15日		山県同道楼川茶寮ニ待ツ				「290 伊藤公書翰 卷一三」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
290-7	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年12月5日		昨日依頼セシ大樹先生談合如何 条公内決大山ハモ内達アル筈 前一条未決ニテ八困却				「290 伊藤公書翰 卷一三」（1巻）の内	冊子複製版第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
290-8	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年12月9日		尽力近く治定ヲ見ン 極密ニ情報アリ 独公使或者ヲ以テノ伝言 ソノ趣意ハ述ベ難クモ好望ナラン 青木ニモ話サザルトノコト本人ニ直接会イ見ルツモリ				「290 伊藤公書翰 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
290-9	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治29(力)年 月 日		張之洞清魯条約ニ関スル建白貸借申込				「290 伊藤公書翰 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
290-10	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年12月29日		使送ノ千七百円益田ヘオ渡シテウ				「290 伊藤公書翰 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
291	伊藤公書翰 卷一四				1巻	伊藤博文書翰 4通				詳細は291-1~4参照	
291-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治22年6月12日		ソノ後大隈・松方両大臣ニ会ワレタリヤ 進退ノ件ニツキ両氏意見聞キタルヤ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「291 伊藤公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
291-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治22年7月21日		末松ヨリ伝言拜承 条約改正問題閣議結果次ノトオリ 外務大臣公文ニイウ外人法官雇入レハ憲法ニ抵触 故ニ帰化法ヲ設クルノ主眼ナレド公文外人ヲ判事トナスノ主旨動カス能ワズ 決定ヲ見ズ散会 米独トハ調印済ミ 他諸国トハ未了 コノ状勢一大困難ニ遭遇セン 勇吉肺患帰国西園寺ヨリ通知			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「291 伊藤公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
291-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治22年8月18日		勇吉着航 当地形勢困難 英国談判中絶ノ形 本国訓令ニヨリ英公使強硬 外務大臣ワガ請求ヲ容レザレバ条約廃棄ヲ奏聞 吉井次官ヨリ枢密ニ伝聞 コノ事英国ヘノ漏洩憂慮ニ堪エズ 黒田ト面談 松方モ大心配 英国不承諾ノ際ノ廟模一定ニ尽力中			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「291 伊藤公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
291-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治20年9月15日		昨夜三島来訪 黒田ノ伝言ニテ外務人選相違セバ御受ケセズトイウ 当分榎本ヲ据工青木ヲ次官ノママニ説諭願ウ 前途望ミナシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「291 伊藤公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第7冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
292	伊藤公書翰 巻一五				1巻	伊藤博文書翰 9通				詳細は292-1~9参照	
292-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治22(カ)年 6月26日		枢密院会議月水金ノ三日ニテ明日差シ支工 三曜日以外ノ日才出デゴウ				「292 伊藤公書翰 巻一五」(1巻)の内	冊子複製版 第7冊
292-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治24(カ)年 7月19日		山県ヨリ来書 近日会合時日ハ松方取極メノ苦御来会願ウ 品川面会ノヨシ先日才話ノ件オ示シ置キ願フズバ齟齬生ゼン				「292 伊藤公書翰 巻一五」(1巻)の内	冊子複製版 第7冊
292-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治24(カ)年 7月20日		品川へ談合クダサレタルヨシ好都合 集会時ハ松伯ヨリ通知アルベシ 初会ハ黒伯二申入レズ後ニテ都合仕ル様然ルベシ				「292 伊藤公書翰 巻一五」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
292-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年7月 31日		貴意敬承 山県へ申送り明日鳥尾同道来会セシムベシ 林董ノコト催促シテイタダキタルヨシ				「292 伊藤公書翰 巻一五」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
292-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年7月 23日		山県来訪明日ノ横浜行新聞ヲ憚リホテル裏横山方へ会合然ルベシトナリ 同所へ来会ゴウ				「292 伊藤公書翰 巻一五」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
292-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年8月 15日		別封一関ノ上西源四郎へ送付ゴウ				「292 伊藤公書翰 巻一五」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
292-7	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年8月 29日		明日帰京途次才立寄りノコト 今夕小田原へ来車ゴウ				「292 伊藤公書翰 巻一五」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
292-8	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治23年8月 29日		明日西遊出発 例ノ議長論才断リ 議会ノ横流ハ議長ノ抑止不能 議会ト政府ノ双方ノ出方ニ因ルベシ 政党合同改進黨ダケハ纏ラズ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「292 伊藤公書翰 巻一五」(1巻)の内	冊子複製版 第7冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
292-9	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治21(カ)年10月14日		腸病治セズ困却 枢密院会議一回開催ノミデ思ウ二任セズ 南貞介農商務省登庸好都合			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「292 伊藤公書翰 卷一五」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
293	伊藤公書翰 卷一六				1巻	伊藤博文書翰 7通				詳細は293-1～7参照	
293-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年11月24日		探聞書受取 三浦安承諾スマジクナオ勘考トノコトナリ 議会ノ前途衝突免ガレマジ				「293 伊藤公書翰 卷一六」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
293-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治23(カ)年1月12日		神戸滞留 豚児病気少々快気 東京模様ソノ後承ラス地方官交代人撰失敗				「293 伊藤公書翰 卷一六」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
293-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治24年5月7日		山田辞職取次謝絶 西郷来訪同様ノ話ニテ引受けズ 土方マデ事情開申 山県二一言断リオク必要ヲ感ジ面談 山県尽カノ意向 談合整イタルト見工松方御受け落着 山田松方へ辞職申出後任ハ川瀬カ田中ヲ希望セリトイウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「293 伊藤公書翰 卷一六」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
293-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年6月14日		幾太郎本省鉱山局へ転任ヲ依頼				「293 伊藤公書翰 卷一六」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
293-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年8月2日		過日来例ノ一条ヨウヤク破談ノトコロ 老台煽動ニテ再燃ノ勢イ 平生同盟ノ約ヲオ守リナクバ鳴鼓シテ本営ヲ衝カザルヲ得ズ				「293 伊藤公書翰 卷一六」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
293-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年 月8日		注意敬承 今朝松方面会予定 黒田在宅ナレバ面会ノツモリ 明朝拝謁ノ際山口行ノコト言上アレ 午後二聖慮ノ大略オ示シテウ				「293 伊藤公書翰 卷一六」(1巻)の内	冊子複製版第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
293-7	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治21(カ)年2月1日		高案ニツイテオ相談イタシタシ昨日岩倉ヲ以テ病氣慰問且ツ下問アリ 拝謁ヲ願イオキシトコロ来ル三日参朝スベキ旨徳大寺書翰アリ 右ニツキ明日八黒田・山県同伴来会アリタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「293 伊藤公書翰 卷一六」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
294	伊藤公書翰 卷一七				1巻	伊藤博文書翰 6通				詳細は294-1～6参照	
294-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26(カ)年3月14日		警視総監転任説漏洩 部内留任運動ノ形勢 陸軍大臣ノ納得ノ上ト承知セシトコロ形勢面白カラズ 園田モ辞職ノ意ナリト 高崎親章警保登庸ニハ不服者アリ 讒言ノ風評等人事操縦ニ考慮アリタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「294 伊藤公書翰 卷一七」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
294-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治25(カ)年7月20日		山口県知事暗号電報ニテ銀行一件報告 伊東巳代治松方ヘ相談利子配当差押 木梨出京ストモ閉業ニ陥ラン 得庵ニ司法ノコトオ尋ネエウ				「294 伊藤公書翰 卷一七」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
294-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治25年7月31日		山伯品子ト会合意見合致ノヨシ大慶 自分腹痛ニテ帰京遅ル 山品松諸老ト会合廟略ノ方針帰ースルヲ得ハ好都合 近来統治ノ大綱遅緩 両三年ノ間ニ政権地ニ墜チン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「294 伊藤公書翰 卷一七」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
294-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治25年8月8日		本日九時参朝松方ト申合セ 一同拝命八正午頃ノ予定 山田云々黒田ヨリ談合アレド上奏ズミノ上ハ変更困難			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「294 伊藤公書翰 卷一七」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
294-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治25年3月1日		品川ニ談合無効ニ帰シタルハ遺憾 松方来訪自分退避ノ上ハ投出サザルヲ得ズト承リ 夏期議会マデヤリ抜クウ勸告 三大臣辞職ノ理由			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「294 伊藤公書翰 卷一七」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
294-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治25年10月26日		河野来訪 谷ノコト大賛成 土佐勅任官ノ会合アリ谷ニ県令懇憑 谷承諾セリトイウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「294 伊藤公書翰 卷一七」（1巻）の内	冊子複製版第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
295	伊藤公書翰 巻一八				1巻	伊藤博文書翰 3通				詳細は295-1~3参照	
295-1	伊藤博文書翰 (山田顕義連署) 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治22年 月 日		内務省令ニヨリ公共財産処分法発布 共同会社財産モ管理決定ノ要 省令適用ハ他日苦情ノオソレ 内部ヨリ処分ノ方法決定然ルベシ 吉富簡一同意見 財産ノ所属管理ハ県ヨリモ各町村へ割当然ルベシ 倶楽部組織等ツキ不穩当ノ流言ヲナシ 又時代錯誤ノ勤王主義等厳戒メラレタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「295 伊藤公書翰 巻一八」(1巻)の内	冊子複製版 第7冊
295-2	伊藤博文書翰 山県・黒田・井上宛	伊藤博文	山県・黒田・井上	明治26年1月 8日		議会予算不成立ニ終ラン 議会ハ増税二案ヲ廃シ 所得税案・巡洋艦ヲ容レ地価修正ヲ決行カコレ政府ノ同意シガタキトコロ 貴族院同調セバ地価修正案撤回ヤムナシ 六七条ノ費目衆議院査定案断乎排除 ソノ他裁判構成法・新聞条例ニツイテ 明治八年ノ大阪会議回顧			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「295 伊藤公書翰 巻一八」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
295-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26年1月 18日		議会ト今日ノ衝突ハ必然 反対党ノ主眼ハ政府顛覆ニアリ譲歩意味ナシ 政府ハ自信スル所ヲ維持スル外手段ナシ 再開ノ上奏又ハ信任投票ニ出ルベクモ 上奏案ニ対シテハ宸断ヲ御示シアルベシ 閉会中政府ハ放置シ自然ノ結果ニスルガ上策			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「295 伊藤公書翰 巻一八」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
296	伊藤公書翰 巻一九				1巻	伊藤博文書翰 7通				詳細は296-1~7参照	
296-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26年2月 14日		今晚品川尋問ノヨシ 今日ノ決議内閣外ニ洩レザルヨウ注意乞ウ 明朝議場ニテ一演説試ミルツモリ ゼヒ山県出院ノヨウ尽カヲ願ウ 内閣分裂暴露ハ退ケタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「296 伊藤公書翰 巻一九」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
296-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26年2月 17日		陸奥・渡辺談判ヲ了シ政府態度ヲ表明 彼等ハソノ趣ヲ予算委員会ニ報ズベシトテ引取レリトイウ 成否トモニ彼等ノ責任ナリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「296 伊藤公書翰 巻一九」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊
296-3	伊藤博文書翰 内務大臣・内務次官宛	伊藤博文	内務大臣・内務次官	明治26年4月 4日		石川県令ニ憲兵大佐三間正弘 香川県令ニ小畑美稻任命ノ件 本人ト内議ノ上ナルヤ 三間後任ハ如何				「296 伊藤公書翰 巻一九」(1巻)の内	冊子複製版 第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
296-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年2月27日		山口ヨリノ来電ニテ安心 安部井落城サセタク方略施セリ 横浜少々手緩シ 味方四五票損失注意乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「296 伊藤公書翰 巻一九」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
296-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26(カ)年4月9日		一五日西郷・品川集会ノ件承知 必ズ参班スベシ				「296 伊藤公書翰 巻一九」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
296-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27(カ)年4月21日		柏村信来訪 山口ヨリ通報二賞典禄請願ノ六合会ニテ井上・伊藤ト山県・品川意見対立ノ風評六合会八品川ヲ総裁二首唱 山県困却セント柏村心配			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「296 伊藤公書翰 巻一九」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
296-7	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26年5月20日		福岡知事ノコト江木ヲ以テ陳述後 金子堅太郎話ニテ八両派軋轢帰県セバ一騒動アラント 本人ノ立場窮迫セン前二他ト交換考慮アリタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「296 伊藤公書翰 巻一九」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
297	伊藤公書翰 巻二〇				1巻	伊藤博文書翰 9通				詳細は297-1～9参照	
297-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26(カ)年6月3日		昨夜八深更二及ビ今曉帰邸八時ヨリ委員会 毛利家婚媾内定ノヨシ同慶				「297 伊藤公書翰 巻二〇」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
297-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26(カ)年7月14日		来示敬承 今夕出向示談二及ブベシ				「297 伊藤公書翰 巻二〇」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
297-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26(カ)年8月2日		黒田伯来会 オ出デ乞ウ				「297 伊藤公書翰 巻二〇」（1巻）の内	冊子複製版第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
297-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26年10月14日		(前文欠) 三浦断然才請ケセント云エリ 漏洩注意 陸奥異存ナシ				「297 伊藤公書翰 巻二〇」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
297-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26年10月19日		富田鉄之助来り東京府知事ヲ近衛公爵ニ譲リタシト 近衛官途ノ意ナシ 三浦承諾ノ意ヲ話ス富田辞表呈出ヲ避ケ免職ヲ希望 非職ノ取計ニテ了承 中井来着 カネテノ件オ話エウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「297 伊藤公書翰 巻二〇」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
297-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治25年10月24日		高知県改革紛議ノ模様ニテ谷干城面会申越シ 改革ノ大路通知エウ 法律新報記載江木論文狩猟規則ハ法律抵触勅令無効トナス 行政官トシテ紀律上不都合オ調べ願ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「297 伊藤公書翰 巻二〇」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
297-7	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治25(カ)年10月28日		谷ノコト今朝土方へ談合敬承 大略奏聞ノツモリ 陸ノコトハ尽力スベシ				「297 伊藤公書翰 巻二〇」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
297-8	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26年10月30日		三浦安書翰供覧 拜命当日二等ハ不愉快ナリト昇等ノ時期ヲ待ツヨウ申シ置ケリ				「297 伊藤公書翰 巻二〇」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
297-9	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26年10月31日		昨夜後藤二面会 金子ノコト異存ナキヨシ 金子二面談 今日ノ局長政略家ノミニテ次官勤メ難シトイウ 中村ニスベキカ 三浦ノ要求陛下へ奏上モイカガ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「297 伊藤公書翰 巻二〇」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
298	伊藤公書翰 巻二一				1巻	伊藤博文書翰 7通				詳細は298-1~7参照	
298-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治25年12月11日		後藤伯へ談話事情敬承 条例案一読意見申シアグベシ 後藤切迫不思議 曾ツテ条例改正案出来次第内閣へ提出セント云エリ 議院提出前全国取引所頭取へ相談スベシトハ間カズ 巳代治異論主張セザルヨウ伝エオクベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「298 伊藤公書翰 巻二一」(1巻)の内	冊子複製版第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
298-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治25(カ)年12月16日		改革意見詳細伺イタシ 明日ノ内閣集會ノ前概略取極メオカズバ遷延セン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「298 伊藤公書翰 卷二一」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
298-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26年12月16日		文部大臣ヨリ別紙落手 品川・井上同大臣ヘノ伝言ノ箇所一読アレ 後藤ヲ動カスベカラズトノ言ト符合スルヤ否ヤ 小生等モ同様ノ詐謀ヲ用ウルト考エテノコトカ 松陰祖述危イカナ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「298 伊藤公書翰 卷二一」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
298-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年1月12日		後藤来訪 辞職ノ話アリ 此ノ際然ルベシト賛成セリ 今日大磯行山県ト将来ノ大体談合ノツモリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「298 伊藤公書翰 卷二一」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
298-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年1月19日		芳川ノ話アレド榎本ニ取極メタシ 山伯ニ異議アレド賛成セウ 奥田義人不適当ト伊東ノ意見折田進退異議アリ 同人及ビ伊東オ伺イスベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「298 伊藤公書翰 卷二一」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
298-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27(カ)年1月20日		愚見閣議ト符合幸イ 議會ノ形勢妥協ノ目途ナキ以上樹勝ノ策ナカルベカラズ 井上毅建策アレド大勢ヲ動カスニ足ラズ 三浦安・鳥尾来訪滞在 老台出馬ハ浮説ヲ生マンカ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「298 伊藤公書翰 卷二一」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
298-7	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年1月22日		白根採用同意ナレド本人承諾スルヤ疑ワシ 農商務次官榎本ヘ再考ヲ促セリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「298 伊藤公書翰 卷二一」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
299	伊藤公書翰 卷二二				1巻	伊藤博文書翰 6通				詳細は299-1～6参照	
299-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年1月23日		知事集會ニ開陳スベキ愚見注文アレバ聞キオキタシ 白根コノ際押付ケラレタシ 榎本ヘ再考申入レ 同人モ切迫シテ決メタルニ非ズトイウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「299 伊藤公書翰 卷二二」(1巻)の内	冊子複製版第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
299-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治25年1月27日		宿論二三諸老へ吐露ノコト懸念ノヨシ 前途普通手段ニテハ打開スベカラズ所見断行ノ決意ナリ 三〇日高輪集会ニ出席ノツモリ 二九日出京出来レバ参邸セン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「299 伊藤公書翰 卷二二」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
299-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26年2月17日		陸奥・渡辺両大臣尾崎・楠本・石田ト談判中 今晚八別状アルマジク出院無用			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「299 伊藤公書翰 卷二二」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
299-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年3月11日		新田老君危篤ノヨシ 地方官招集 公務上ノコト次官其他ヘオ示シアランモ必要ニテ承リオカン 改選後ノ無所属議員ニツキ伊東・末松ノウチ差出スベシ 毛利賞典没収山県ニ議論アリ再集会ノ予定 原知事ヨリ伝聞モアリ教唆アリタルカ 多数意見既ニ判然集会ノ結果ハオ耳ニ入ラン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「299 伊藤公書翰 卷二二」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
299-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27(力)年4月24日		原知事書翰返却 吉富・森上京セバ意向通り話シオカン 浅田徳則来訪 望月鉄道運動ノコト鉄道案ハ議会提出ノ予定ト答エオケリ 鉄道議案ノ件 逡信次官・松本局長ニ命ジ五月鉄道会議開催ノ予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「299 伊藤公書翰 卷二二」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
299-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治26年5月1日		朝鮮事件袁世凱モ尽力 結局六万円以上承知セズ不調 ナオ訓令電請アリ明朝閣議出席願ウ 野村帰朝同人身上ニツキ相談イタシタシ 栗野報告ニテモ不都合少カラズ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「299 伊藤公書翰 卷二二」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
300	伊藤公書翰 卷二三				1巻	伊藤博文書翰 5通				詳細は300-1～5参照	
300-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治19年6月17日		英独公使陳述ニ関スル演説写一読痛快奥公使面会会議概略承知 ザルスキー内話ニヘラルド新聞懐柔ノ必要急務 改正ノ妨碍トナラント			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「300 伊藤公書翰 卷二三」（1巻）の内	冊子複製版 第7冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
300-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年8月24日		岡山県知事辞職願 貴族院議員任命方願ウ 三好退蔵手紙供覧 将来上院ニテ有用ノ人物ナリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「300 伊藤公書翰 卷二三」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
300-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年9月24日		議会広島二取極メ法律論アレバ自分責任ノツモリ 陸奥・渡辺モ来営 内務大臣進退松伯辞退辛抱願ウ 文部大臣後任西園寺八如何 西徳二郎教育上ニ尽力致サセタクモ目下条約改正担任ソノ人物属望 朝鮮ヨリ末松帰来改革困難ナレド威信上必要 大鳥後任ソノ人ヲ得タシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「300 伊藤公書翰 卷二三」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
300-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年10月8日		軍令部長宛新納少佐電報 訓練隊大關突入 事態容易ナラス観察如何			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「300 伊藤公書翰 卷二三」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
300-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年10月12日		野村今晚東京発 老台拜命ノコト書類受取り次第上奏 後藤来訪朝鮮対策ニツキ問訊アリ使節来朝ノ際ニ後藤雇入レノ斡旋ヲ希望 老台派遣ノコト包蔵セリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「300 伊藤公書翰 卷二三」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
301	伊藤公書翰 卷二四				1巻	伊藤博文書翰 4通				詳細は301-1～4参照	
301-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治25年10月13日		天津条約ノコト福沢へ談話無用 時事新報ノ同条約廃棄説ヲ日日攻撃 論旨至当ナレド福沢ヲ罵ルハ宜シカラズ 伊東へ注意セリ 井上角五郎			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「301 伊藤公書翰 卷二四」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
301-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年10月18日		別紙大院君宛書翰異見ナケレバ伝達乞ウ 大鳥帰途 東学堂猖獗 大鳥出兵要請 魯英挙動異状ナシ 李鴻章自殺ハ虚報 議会開院 水野等ノ注意ニテ貴族院ニテ演説 園田ノコト他言無用			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「301 伊藤公書翰 卷二四」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
301-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年11月1日		国王・大院君へ謁見模様外務大臣ヨリ聞ケリ 鴨緑江戦勝大山揚陸モ順調 不日金州戦争ノ報知アルベシ 山海関・天津附近二敵数一〇万 旅順陥落後天津ヲ衝クノ策軍当局へ申入レ 歐洲各国英政府二応ゼズ干渉当分心配ナシ 朝鮮鉄道測量ダケ済マセタク仙石出張 朝鮮政府へ申入レシウ 韓政府ヨリ取付ケノ特権談合進メラレタシ 朝鮮政府顧問雇入レノ件			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「301 伊藤公書翰 卷二四」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
301-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年7月15日		留守中來訪拝謝 才都合ノ日時場所へ参ズベシ				「301 伊藤公書翰 卷二四」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
302	伊藤公書翰 卷二五				1巻	伊藤博文書翰 3通				詳細は302-1～3参照	
302-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年11月9日		交渉事件執掌遥察 第二軍戦況不明心配 清国二和議ノ気運 米大統領仲裁ノ申入レ 愈吉濬立寄り 金宏集ヘノ返書ヲ求ム 万事老閣ヘ商議スルヨウ回答書遣ヌ 外務大臣ト談判開始二備工商議中			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「302 伊藤公書翰 卷二五」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
302-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年12月16日		山県今朝帰營ニツキ待受ケ 仁川ニテ万端談合アリタラン 山県ノ到着マデ帰京見合セオリオ申越シノ官吏ノ件石塚英蔵ヲ派遣 安広へ申含メノ件 陸奥・渡辺ト相談 金ノコトハ議会ニ関係アリ 東京ニテ更ニ談合ノ予定 朝鮮改革東学党騒乱シ苦心ナラン 目下ノ状況亡国ノ形勢力 清国政府 恭親王ト李鴻章提携ト伝聞相応ニ困却ノ模様 全権派遣ヲ申越ス 旅順虐殺一事弁護ニ苦心中			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「302 伊藤公書翰 卷二五」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
302-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治28年4月15日		講和解決セン 金額八二億テール 讓地ハ金州半島・台湾・濁湖島 及ビ欧州諸国ノ条約ニ準ジ通商条約訂結 難点ハ支那政府会計ノ困難ト戦争未及ノ台湾割讓ノ二点 露仏ト協力澎湖島占領妨碍ノ企テ 露内心大陸分割不同意 英ハ傍觀 露朝鮮ニツキ申入レ疑イナシ 陸奥病氣昨今軽快			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「302 伊藤公書翰 卷二五」（1巻）の内	冊子複製版 第8冊
303	伊藤公書翰 卷二六				1巻	伊藤博文書翰 4通				詳細は303-1～4参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
303-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治22年8月4日		伊東へ托書敬読 青木帰京ホーレーベンニ内談探知好都合 同人報知ニヨリ成否ヲ計ラン 此俟立憲政治ハ期待出来ズ 人民ノ養成幾多ノ年月ヲ要セン 今時ノ諸先生ニソノ理解ナシ 洋行願書案未ダ脱稿セズ 辞表云々ソノ時機ヲ待ツベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「303 伊藤公書翰 卷二六」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
303-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治28(力)年10月19日		品川来訪ノ際ハ貴論ノ如ク寛話ノツモリ 尽カヲ無二ハセズ 井上毅来ル 同人ノ過激論ヲ緩和シオケリ 小生ノ大体論ニ同意セリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「303 伊藤公書翰 卷二六」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
303-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治24年11月14日		今朝西行ノツモリ 本年中ニ大破裂ハ必定 陸奥来訪気鋒今ニクジケズ解論願ウ 山県・黒田ト会合アレ 過日ノ例ノゴトク回復ニ手数ヲ要スルコトアリ 井上毅・伊東已代治ヲ破壊セザルヨウ松方へ伝言エウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「303 伊藤公書翰 卷二六」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
303-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治23年12月28日		官報ソノ他ニテ議会議開承知ナラン 貴族院ハ纏リ衆議院ハ乱暴 憲法・議院法ヲ度外セシ挙動 予算案ノ始末懸念前途多難 山県ニハ助力 但シ外部カラノ助力ハ限度アリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「303 伊藤公書翰 卷二六」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
304	伊藤公書翰 卷二七				1巻	伊藤博文書翰 6通				詳細は304-1～6参照	
304-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治29年2月18日		朝鮮事変ノ大概承知ナランモ疑惑説百出 目下ソノ職ニナクトモ一応帰京願イ打合セスルガ世上ノ耳目ニ好影響アラン 山県モ心配尽力中			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「304 伊藤公書翰 卷二七」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
304-2	伊藤博文書翰 山県大将宛	伊藤博文	山県大将	明治29年2月29日		一昨日朝比奈知泉来リテイウ 閣下ノ今回ノ使命ハ自分避難ノ結果不本意ニテ引請ク 本意ハ内政担任ニアリシモ自分不発議ニヨリ至難ノ大命ヲ負イタリト 遺露ノ使命ハ自分代リテ拝スベシ モシ行ワレザレバ桂冠シ国家将来ノコトハ閣下及ビ諸元勳ニ委任セン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「304 伊藤公書翰 卷二七」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
304-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治25年7月11日		木梨信一来書 百十銀行ノ検査困難 木梨自殺ノオソレアル程ナリ コノ件相談ノタメ参上セン				「304 伊藤公書翰 卷二七」（1巻）の内	冊子複製版第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
304-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年10月26日		緊要事件ニツキ相談シタイ 明日都合如何				「304 伊藤公書翰 卷二七」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
304-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治30(カ)年2月20日		松柏へ一書呈シオケリ 大隈外相ト談話如何				「304 伊藤公書翰 卷二七」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
304-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治27年4月27日		山県訪問面談 同人ヨリ貴台面晤ノコト切出シ情義上謝絶シ難キモ哀訴ノ外無ク芳川ニ依頼セリト コノ件ニツキ自分意見ヲ求ムルニヨリ同意ノミナラズ從憑ノタメ推参シタリト申シオケリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「304 伊藤公書翰 卷二七」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
305	伊藤公書翰 卷二八				1巻	伊藤博文書翰 6通				詳細は305-1~6参照	
305-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治30(カ)年12月18日		今晚山県来訪 自分決意十分ニ固ラズ 今日ノ形勢兩人ノミニテ解決能ワズ 明朝山県面会ノ折前途談合願ウ				「305 伊藤公書翰 卷二八」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
305-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治30(カ)年12月25日		中井方ニテ山県ト出会イ談話 ゼヒ老台へ面会心事吐露サレタイト勸告セリ				「305 伊藤公書翰 卷二八」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
305-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治31年2月24日		益田書翰信ヲオケズ 支那政府全ク許諾セズ一周間内ニ決定ヲ見ン 英公使ニ面会横浜在留香港上海バンクノ代理人ニ内密ニ聞合せ依頼			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「305 伊藤公書翰 卷二八」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
305-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治31年3月25日		加藤公使来電 ロンドンニテ支那公債二百万封度我政府引請ケノ予定市場不良香港上海銀行頭取右金額以上日本政府希望ナレバ百ニツキ八八ニテ買イ渡サントノコトナリ 伯林ノ方好況売高金額ヲ発表セズ公債引請ケノ程不明 ロンドン・伯林併セ三百万封度引受ケ返電セリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「305 伊藤公書翰 卷二八」(1巻)の内	冊子複製版第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
305-5	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治29年3月18日		大蔵大臣来訪 勸業銀行ノ件物議アリ 首相井上伯ヲシテ謀略等ノ浮説起ラバ面倒 注意アリタシトノ談話ナリ 貴族院増税案通過第一 勸業銀行ニカヲ用イルノ時機ニ非ズトノ蔵相意見			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「305 伊藤公書翰 卷二八」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
305-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治31年4月5日		電話通知ノ英公使面会 如何ナル用件ナリヤオ示シ乞ウ				「305 伊藤公書翰 卷二八」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
306	伊藤公書翰 卷二九				1巻	伊藤博文書翰 4通				詳細は306-1～4参照	
306-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治29年4月4日		議事無事結了 政府案通過ハ板垣一派ノ尽力 党中入閣論主張起ラン 陸奥へハ大略説明 黒田モ異存ナシ ソノ他へハ秘匿 幾三郎ノコト			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「306 伊藤公書翰 卷二九」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
306-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治31年5月24日		増税法案開院勅語中ニモアルコトナレバ早々提出アリタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「306 伊藤公書翰 卷二九」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
306-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治31年6月25日		昨日ノ御前会議ニテ大隈・板垣兩人採用力 元老ノウチ大任ヲ委ネルカ ソノ一ニ決セラルルヨウ 極言セシモ決セズ 未決ノママ辞表捧呈 自由党ノミ用ルコト下問 合同ノ今日ソノ不可能ヲ奉答 ナオ元老へ下問ノ御沙汰 事態遷延ヲ許サズ 自分ヨリ兩人へ面会ノ予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「306 伊藤公書翰 卷二九」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
306-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治31年6月25日		今日ノ情勢他ニ方策ナク心事十分上奏セシツモリ 今日下問ニツキ参朝ノ命アリ 彼党合同ノ上 八兩人ニ対シ公言スルノ外ナク参朝ノ際昨日申セシ大意奏聞アリタク 元勲へモ話願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「306 伊藤公書翰 卷二九」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
307	伊藤公書翰 卷三〇				1巻	伊藤博文書翰 5通				詳細は307-1～5参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
307-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治31年6月14日		本日地価修正委員代表木村警太郎・和田彦次郎来訪 次期議会二地価修正案提出スルヤ大蔵大臣列席ニテ確答得タシノ申入レアリ 明日右ノ回答ニ及ビタシ都合如何			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「307 伊藤公書翰 卷三〇」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
307-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治33年5月29日		田中宮相書翰封入貴書落手 桂来訪現状解決案ナキ旨自分傍観ヤムナント答置ケリ 芝離宮ニテ山県・松方・田中二面会・松方ハ不承知 山県ハ結着ツケルノ心底ナレバ協力ノツモリナリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「307 伊藤公書翰 卷三〇」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
307-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治34(カ)年6月26日		山口銀行ノ件杉ヨリ報知ノ通り 両度ノ集会ハ不必要 ナルベク席上自分又ハ山県ヨリ発言ニテ足ルベシ 右杉ヘ答工オケリ				「307 伊藤公書翰 卷三〇」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
307-4	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治41年9月14日		侍医頭滞留願草稿				「307 伊藤公書翰 卷三〇」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
307-5	伊藤博文書翰 徳大寺侍従長宛	伊藤博文	徳大寺侍従長	明治41年9月14日		侍医頭滞留願清書				「307 伊藤公書翰 卷三〇」（1巻）の内	冊子複製版第8冊
308	伊藤公書翰 卷三一				1巻	伊藤博文書翰 3通				詳細は308-1～3参照	
308-1	伊藤博文書翰 大隈参議・井上大蔵大輔・渋沢大蔵権大丞宛	伊藤博文	大隈参議・井上大蔵大輔・渋沢大蔵権大丞	明治4年8月2日		官報報道大蔵省変革心外 上阪前自分立案シ諸君賛同 今回ノ変革之ヲ無視ス 監督司庶統計司設ハ不当 計算正・記録司ノ必要 朝令暮改慨嘆				「308 伊藤公書翰 卷三一」（1巻）の内	冊子複製版第7冊
308-2	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治15年3月22日		昨日香港着 今晚広東へ出航ノ筈 張樹声面会面倒ニテ取止メトナラン 随行一同健全			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「308 伊藤公書翰 卷三一」（1巻）の内	冊子複製版第7冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
309	伊藤博文・山 県有朋書翰 松方・井上宛	伊藤博文	松方・井上宛 伊藤博文・山 県有朋書翰	明治37(カ)年 10月14日		別紙処分ニツキ内談患表採納万謝 別紙返納受取 ラレタシ				「309 伊藤 公書翰 卷三 二」(1巻) の内	冊子複製版 第8冊
309	伊藤公書翰 卷三二				1巻	伊藤博文書翰 7通				詳細は309- 1~7参照	
309- 1	伊藤博文書 翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治18(カ)年 7月14日		一昨宮中ニテ外交政略ニ関スルー書受取り 写ヲ 各参議ヘ配布ノオ話ナレド 自分意見申述ベルマ デ配布才見合セ願ウ				「309 伊藤 公書翰 卷三 二」(1巻) の内	冊子複製版 第7冊
309- 2	伊藤博文書 翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治17年10 月1日		喫人ヒューテロット内謁ニ関シ 同人妻皇后ヘ内 謁見必要ナキヤ				「309 伊藤 公書翰 卷三 二」(1巻) の内	冊子複製版 第7冊
309- 3	伊藤博文書 翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治18年8月 20日		富岡行変更依頼 参謀本部長ノ件条公ヨリ奏聞 跡役次長ニテ済マセルコト大山異存ナキヤノ御沙 汰アリ 三浦兼務力次長ノニ途大山ニ相談ノツモ リ				「309 伊藤 公書翰 卷三 二」(1巻) の内	冊子複製版 第7冊
309- 4	伊藤博文書 翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治24年6月 6日		帰京ナラザルノ事情致方ナシ 品川内務拜命御料 局長官兼任セザルタメ辞表呈出 山県説得落着ト イウ 一省ノミニテモ大任ナルニ不可解 魯太子 遭難以来人心殺伐 自由・改進黨打倒ノ意気込 ミ ソノ焦点ハ小生ニアルゴトシ			「井上馨関係 文書(憲政史 編纂会収集文 書657~ 673)」収載	「309 伊藤 公書翰 卷三 二」(1巻) の内	冊子複製版 第7冊
309- 5	伊藤博文書 翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治11(カ)年 4月8日		(前文欠)尾崎困窮帰朝マデニ好都合ニ落着致サ セ連レ帰り願イタシ 幾太郎				「309 伊藤 公書翰 卷三 二」(1巻) の内	冊子複製版 第7冊
309- 6	伊藤博文書 翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治 年8月 3日		今晚帝国ホテルニ移ル 横山方ヘ御出デ乞ウ				「309 伊藤 公書翰 卷三 二」(1巻) の内	冊子複製版 第8冊
310	伊東伯書牘 巻一				1巻	伊東巳代治書翰 3通				詳細は310- 1~3参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
310-1	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治19(カ)年7月27日		条約草案修補ノ要点総理大臣へ報告 個人ノ地位ニ関スルー項未定ナルハ不同意トノコトナリ明朝閣議各大臣へ通告セリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「310 伊東伯書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第9冊
310-2	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治25年2月28日		貴意松方伯へ伝達 同伯黒田伯ト昨夜会談 又陸奥・後藤兩人ノ件ニツキ相談希望ノ由 黒田伯伊藤伯へ辞表撤回ヲ要望サレシヨシ 小田原ヨリ来書アリ 異常ノ隆恩ニ対シ一時辞表ヲ控エラルルノヨシ 松方伯相談ノタメ今朝小田原へ出向ノヨシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「310 伊東伯書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第9冊
310-3	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治24年1月14日		衆議院近状予算案ニ対シ乱暴ナルハ改進黨 査定書ニオイテ予算権ヲ以テ法律ト官制ヲ動カス査定書破棄ニ大成会。国民自由党・旧大同派等連繫セシモ敗北 自由党過激派旧大同派ヲ恐迫ノ結果ナリ 保安条例モ壮士ヲ滅シ得ズ 改進黨ノヤケクソ手段ト自由党ノ壮士政治立憲政体ノニ害			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「310 伊東伯書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第9冊
311	伊東伯書牘 卷二				1巻	伊東巳代治書翰 2通				詳細は311-1～2参照	
311-1	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治25年3月3日		春畝伯辞表一条 松方伯再訪結果ヲ上奏 辞職ハ聴許ナク 天機奉伺ノ府県知事聴許ナキヨウ徳大寺侍従長へ申出ノヨシ 枢府中河野・佐野両顧問官辞職反対ヲ首相へ申出 春畝伯ヨリノ来書勸諭ニ従ウトアレバ首相へハ理由立タザレバ思イ止リ難シトナリ 後藤・陸奥一条松方伯陸奥慰諭 後藤ト相談ノ上ナラデハ自分考工通り返答致シガタシトイウ 後藤留任力 ソノ他新聞記事ノ処置ニツイテ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「311 伊東伯書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第9冊
311-2	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治25年2月27日		貴意松方伯へ伝達 聖上伊藤伯辞職ヲ許サレザル旨松方・黒田両伯相談 伊藤伯再度辞表呈出松方伯へ御裁可尽力依頼 黒田伯小田原訪問ノ結果ヲ待ツトノコト			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「311 伊東伯書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第9冊
312	伊東伯書牘 卷三				1巻	伊東巳代治書翰 2通				詳細は312-1～2参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
312-1	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治25年3月6日		帰後松方邸へ参り伝達 黒田伯へオ話ノ始終ハ伝エタリ 北海道一件断乎改革ノ決意ニテ考案中ナリト 総理自身北海道長官ヲ伴イ黒田伯訪問ノ予定 伊藤伯今夜西園寺邸へ一泊明朝来宅ノ連絡アリ ソノ節逐一内申ノツモリ 松方伯陸奥へ品川子辞職ヲ告ゲ慰留 井上毅			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「312 伊東伯書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
312-2	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治24年7月10日		総理大臣へ提出ノ新聞紙一件要点別紙一覽乞ウ 大綱ノミニテ不審ノ点ハ高問ヲ待ツ 野党攻撃ノ目標ハ閣下ト伊藤伯ニアルベシ 施政上ノ障碍タルヲ予防ノ策 機関新聞ヲ統一ハ別紙ノ方途ナルベシ 囑命アレバ付托ニ負カザルノ覚悟 日日新聞ソノ他新聞対策 ロエスレル			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「312 伊東伯書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
313	伊東伯書牘 卷四				1巻	伊東巳代治書翰 1通				詳細は313-1参照	
313-1	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治25年7月30日		内閣不穩ノ動静閣下井上伊藤伯宛急報行違イ 日日新聞報道先トナリ了願ウ 内閣紛擾止マズ権略横行ノ状紙面ニテ承知ナラン 河野新内務二小生ノ名ヲ騙リ暴行未遂事件ハ不可解 松方伯辞表撤回セシモ陸海軍大臣ヲ得ラズ再ビ辞職ノ決意 大山・仁礼・川上松方伯ヲ訪イ辞職勧告 品川子等ノ計画ハ黒幕入閣ニアリ 前途ノ形勢予断ヲ許サズ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「313 伊東伯書牘 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
314	伊東伯書牘 卷五				1巻	伊東巳代治書翰 3通				詳細は314-1～3参照	
314-1	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治25年3月13日		貴諭伝達総理モ賛同 陸奥氏ヲ訪問 ソノ結果ハ貴邸へ立寄り報告スベシトナリ 井上毅ヲ法制局長官ニ小生ヲ内閣書記官長ニ希望アリ 自分辞退退官ノ希望申出タルトコロ万差留メニヨリ留任イタスベシ 井上法制局長官ハ賛成 但シ兼任ハ枢府ノ威厳ニ係ラン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「314 伊東伯書牘 卷五」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
314-2	伊東巳代治書翰 井上馨宛			明治25年12月20日		保安条例明日上提内諭ノ通り着手 清浦来訪 商法会議ニ手間ドリ保安条例議事遷延セザルヨウ 緊急動議トシテ廃止案否決ノ秘略ヲ授ケオリ 行政裁判法変更スルヨウ内談 清浦モ同意セリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「314 伊東伯書牘 卷五」（1巻）の内	冊子複製版第9冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
314-3	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治26年1月19日		下命ノ上奏案ノ件自由党員二面会 依然弾劾の上奏案ヲ提出可決ヲ求ムル手段ナリトイウ 草稿者八野口代議士・栗原亮一他一名 同盟倶楽部・改進黨モ同調ノヨシ 民党三連合セバ可決力			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「314 伊東伯書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
315	伊東伯書牘 巻六				1巻	伊東巳代治書翰 3通				詳細は315-1～3参照	
315-1	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治26年2月1日		井上角ノ手紙伊藤伯ヨリ接受 佐々木善右工門ヨリモ別紙ノ通リ来信一覽ヲ乞フ 井上毅ヘ安部井一条相迫リタル条急ギ陸奥大臣ヘ紀州組説得厳談クダサレタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「315 伊東伯書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
315-2	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治26年2月3日		安部井馨根一条井上毅ヘ依頼セシモ 同人ノカニ余リシト見工報告ナシ 伊藤伯富田鉄之助ナレバ成功ヲ見ントノ見込ミ 富田ヘ閣下ヨリ談合上奏八君上ヲ逼迫シ憲法ヲ無視スルモノト説得アリタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「315 伊東伯書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
315-3	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治27年8月10日		井角ヨリ内願ノ郡長更任ノ件当人ヨリ催促 モシ内務省ニテ反対ナレバ速ニオ断リ然ルベシ 日下義雄ノコト首相ヘ内談セシモ外相ノ排斥致シ方ナク放置シオケトノコトニテ復命セズ 原礼三一条前議會ニテ勧誘ノ条件モアリ 食言ノ形ハ不可決行願ウ 朝日新聞首・外相熟議ノ上自分監督執行 局外干渉アリテ処分見合セクレトノ由 一旦政府ニテ決定セシモノヲ裏面運動ニヨリ緩漫ニスルハ面目上出来難シ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「315 伊東伯書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
316	伊東伯書牘 巻七				1巻	伊東巳代治書翰 2通				詳細は316-1～2参照	
316-1	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治27年6月10日		ソノ節ハ迷惑カト思イタレド高義判明 膺札ノ虚説ナルコト 藤田氏ニ対スル浮説崩レ好結果ヲ見シ コノ件ニツキ首相演説案ヲ用意 一方別冊ノ通リ新聞二顛末掲載 保養ノタメ辞意表明			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「316 伊東伯書牘 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第9冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
316-2	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治28年1月22日		有栖川大將宮発表 総長後任含雪伯タルベクモ川上内実不満 ソノ背後二樺山アリ 閣下ヨリ伊藤伯へ寄書アレバ断乎推薦アラン 講和使人選判明セズ来使ノ遅延ハ我ニ利アラン 志賀通信外務省ニ物議アレド一般二井伯ノ苦心報道 文章字句ニハ注意シオケリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「316 伊東伯書牘 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
317	伊東伯書牘 巻八				1巻	伊東巳代治書翰 1通				詳細は317-1参照	
317-1	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治27年11月20日		タイムス記者カウエン・紐育ヘラルド記者ガービルト欧米向報道ニツキ提携 第八議會広島召集ノ意見アレド東京召集ニ決定 各派モ歓迎協賛ノ意向 東京開催ハ当地軍人秋波ヲ政党ニ寄セズ好都合 米国トノ条約改正好望 日清調停英政府頓挫シ再ビノリ出シノ兆シ 独. 伊・露・米ノ動キ各国共好情 英国重慶号事件奇貨トシテ清政府不当要求油断ナラズ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「317 伊東伯書牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
318	伊東伯書牘 巻九				1巻	伊東巳代治書翰 1通				詳細は318-1参照	
318-1	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治27年12月14日		安広秘書官帰着 陸奥外務トモ機密報知書熟閲ニ〇ケ条建策ハ韓廷ノ病根ヲ衝クモノ改革ノ成功ヲ希望 今議會予算削減論持出スカ 對議會工作ノタメ上京ノ予定 山県伯馬関へ帰着見込ミ 伯ノ召還病氣ノタメナレド本意ナラン モシ野津・桂等ノ策謀ナレバ伊藤伯トノ関係ニオイテ憂慮 旅順虐殺外国ヘノ衝動弁明ナラズ遺憾 大本營ノ措置期待 奥田義人ノ件御承知アラン 石塚英蔵ヲ派遣 皆川四郎日報社通信員トシテ志賀祐五郎特派 同人金銭ニ注意ヲ要スル外有用ノ人物ナリ				「318 伊東伯書牘 巻九」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
319	伊東伯書牘 巻一〇				1巻	伊東巳代治書翰 1通				詳細は319-1参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
319-1	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治28年1月9日		旅順殺戮百方手ヲ尽シ紐育ウオールドノミ孤立 回護ニ苦心賢察乞フ 山県伯帰国後川上等ト卜滑ナラズ 伊藤伯年頭ノ議會演説 平穩ノ見込ニ 朝鮮公債ノコト 志賀通信ニヨリ全国ニ報道 韓廷改革朝野拳ゲテ閣下ニ期待 貸付金公債募集ヨリ手段ナシ 伊藤伯三井、岩崎、渋沢等ハ五百万円 応募要請 岩崎難色 藤伯川田説得金策力実現ノ決意 志賀祐五郎通信上出来 金銭上呉々モ注意願ウ 条約改正着々成功中 清国請和使北京出發 フォスター 使節資格ノ点不明			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「319 伊東伯書牘 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
320	伊東伯書牘 巻一一				1巻	伊東巳代治書翰 3通				詳細は320-1～3参照	
320-1	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治28年1月12日		朝鮮公債前便ノ通り三菱派不同意 山本達雄京都派遣 川田総裁説得 ツイニ川田同意公債ノ使途ト税関吏ニ日本人採用ヲ条件 岩崎モ応諾発起人ハ謝絶 政府部内ノ風潮余リニ秘密主義ハ遺憾 朝比奈トモ内議書ナキ限り閣下経営ノ事実ヲ報道ノツモリ 伊藤・陸奥・渡辺三大臣西下			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「320 伊東伯書牘 巻一一」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
320-2	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治28年1月25日		山県伯前便ノゴトク折り合イ思ワシカラズ 後任ハ小松官 前便ニテ山県伯ヘ一書才願ノ儀取消シ 昨夜山県伯ヲ訪問陸軍大臣就任ヲ交渉セシモ諾否不明			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「320 伊東伯書牘 巻一一」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
320-3	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治 年10月9日		譲渡証書拝受 委任状ハ在米建野ヘ送致アリタシ 閣下ト小笠原伯トノ証左 名義人建野ヨリ受取りオク必要アラン				「320 伊東伯書牘 巻一一」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
321	伊東伯書牘 巻一二				1巻	伊東巳代治書翰 1通				詳細は321-1参照	
321-1	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治28年2月6日		朝鮮公債首相川田ヘ内談 川田拝謁 聖恩ニ感泣 首相ヨリ川田ヘ内達書 川田大阪ニテ資産家ト協議 コノ消息ハ東京日日商海欄ニテ報道 講和使米公使ノ保証ニモ背キ委任状不備ニツキ談判拒絶 外国ヘソノ理由ヲ明示 旅順口ノ悪評工作功ヲ奏シ今ハ紐育ウオールドノミ孤立 威海衛砲台我手ニ落ツ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「321 伊東伯書牘 巻一二」（1巻）の内	冊子複製版第9冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
322	伊東伯書牘 巻一三				1巻	伊東巳代治書翰 2通				詳細は322-1~2参照	
322-1	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治28年3月1日		末松氏渡韓 本部近況同氏ヨリ直聞乞ウ 朝鮮公債川田ヨリ条件提出 議員中ヨリ政府貸付ノ議起リ 提案通過 改革ニ所要ノ金力安慮アレ 山県伯快々タル状忍ビズ陸軍大臣ニ推薦 伯八軍司令官ヲ希望ナレド第三軍ヲ組織ノ要ナシ 陸相就任川上派トノ和解ヲ希望 志賀報道好評一層ノ指導ヲ願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「322 伊東伯書牘 巻一三」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
322-2	伊東巳代治書翰 井上馨宛			明治25年7月18日		別冊浄書出来 不穩文字ハ訂正 目下河野内務二高島等不満 伊藤伯ヲ經由スルトモ提出見合セ然ルベシ ソノ辺事情申シアゲ差図ヲ待ツツモリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「322 伊東伯書牘 巻一三」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
323	伊東伯書牘 巻一四				1巻	伊東巳代治書翰 2通				詳細は323-1~2参照	
323-1	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治31(カ)年5月5日		過日談合申セシ件伊藤侯へ具陳 宮内省一条同意ニテ含雪侯へ熟議着手取計イ希望 桂子へ昨日来ノ顛末通ジオクベシ 自由党別状ナク伊藤侯へモ説明 近日林有造同伴参上 板垣伯一条含雪侯ト談合スミノ上返答予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「323 伊東伯書牘 巻一四」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
323-2	伊東巳代治書翰 井上馨宛	伊東巳代治	井上馨	明治33年7月1日		起草書類山県首相へ送付 五千万円一条春畝侯自身ノタメ不得策ト進言 春畝侯ノ口ヨリ反対サレルハ如何カ 勅令閣僚諸公ヨリ聞カズ桂子ヨリ聞キ申出ツベシ 此件ニツキ閣下ノ憂慮伝エタレドモ納得ハ得ラレザリシ 尾崎一条注意 帰途桂子ヲ訪ネ勅令始未聞糺セリ 五千万円ノ金額八不当ナレドソノ賛否ハ熟考ヲ要ス 伊藤侯ハ予備費補充トシ議会召集ノ意見ナレド疑問 公然ノ反対説ハ不得策			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「323 伊東伯書牘 巻一四」（1巻）の内	冊子複製版第9冊
324	岩倉公書翰 巻一				1巻	岩倉具視書翰 9通				詳細は324-1~9参照	
324-1	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治12(カ)年7月27日		皇居建築条公心付及ビ貴案結構ナレドナオ相談イタシタシ 戸田氏共へ配慮感謝				「324 岩倉公書翰 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第10冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
324-2	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治 年12月30日		金融出格ノ配慮感謝				「324 岩倉公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
324-3	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治14年4月4日		甲府安着欣賀 海軍省他人事発表前二異論起リヤリ直シ宸断ヲ仰ギ明後日発表 クワシクハ伊藤ヨリ通知アルハズ 過日井上鉄道頭へ依頼ノ件同人補助ヲ主張スル向キアリ 同伴帰京アリタシ				「324 岩倉公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
324-4	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治14年5月26日		伊勢華宮内省登用承知 井上勝 森建言供覧				「324 岩倉公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
324-5	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15(カ)年5月24日		西本願寺内願吹上茶屋拝領ノ件相談イタシタシ 東ヨリ上京執綱勝縁モ招待願イタシ				「324 岩倉公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
324-6	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治 年9月6日		種々才話拝聴安心 山県云々貴卿ヨリノ話ニテハ本人不本意ナラン 昨日限リノ話ニ願ウ				「324 岩倉公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
324-7	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15(カ)年12月10日		河瀬・川田・渡辺・安場来談 八〇万円云々ノコト				「324 岩倉公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
324-8	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治12年3月3日		過日内談セシ改正ノ件条公へ示談 中村・井上両書記官極密取調べ別紙出来 本日ジブスケ入来 明日内談イタスベクソレマデー覧乞ウ				「324 岩倉公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
324-9	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治12年3月25日		独公使青木同席懇話 今明日皇孫横浜着 御沙汰旨趣要用書上ゲオ廻シ乞ウ 蜂須賀ノコト面談イタシタシ				「324 岩倉公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
325	岩倉公書翰 巻二				1巻	岩倉具視書翰 10通				詳細は325-1~10参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
325-1	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15(カ)年5月5日		両本願寺及び時勢二ツキ相談イタシタシ 繁務中ナレド十分ノ結果ヲ得ルマデ配慮乞ウ				「325 岩倉公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
325-2	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15年6月3日		三条・山県・副島参集板垣・後藤ノ談 山県ヨリ才聞キアランモ大事ニツキ貴卿へ相談然ルベシトイイ置ケリ 黒田不承知ナラン 西郷・松方通牒アルベシ 東西両本願寺へ尽力感謝 新聞出金両府知事困却				「325 岩倉公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
325-3	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治13年9月11日		供奉官員旅費増給 左府公自分ハトモ角今度八然ルベシノ意見 山県へ内話乞ウ 財政意見書落手拜見				「325 岩倉公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
325-4	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治 年11月24日		明日午後一時ノ御沙汰アリ 請否返答アレ				「325 岩倉公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
325-5	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15(カ)年12月9日		内見二入レシ意見書返却乞ウ 此分誰モ知ラズ山県へ廻ス予定 土族云々大赦如何カ 別紙伊藤書面中陸奥・大江ノコトアリー覧乞ウ 来年放免樺山・川村八然ルベシノ意見 山県・山田八反対カ				「325 岩倉公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
325-6	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治 年12月27日		約定ノ一紙廻付				「325 岩倉公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
325-7	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治 年4月4日		松方へ申聞ケ明日申入ルベシ 参議中ヨリ内話ナクテハ不審ヲ生ゼン 後藤ノ策実行如何				「325 岩倉公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
325-8	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治12年7月12日		ヘンネシー明日発途イタシ方アルマジ 出来レバ琉球一件支那へノ返書反訳文ヲ見セ意見ヲ聞カレタシ 別紙探索書内見二入ル 西本願寺				「325 岩倉公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
325-9	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治13年7月21日		意見書落手 病氣見舞 方今二問題云々同感				「325 岩倉公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
325-10	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治14(カ)年8月23日		今朝各位秘話ノ件肝要ニツキ伊藤・大木・山県・西郷ヘオ話シテウ 二七日承ル人々多人数ニテ届キカネルベク内閣目途ノタメ配慮願ウ 大隈・副島				「325 岩倉公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
326	岩倉公書翰 巻三				1巻	岩倉具視書翰 8通				詳細は326-1~8参照	
326-1	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治14(カ)年9月9日		三浦招キ鳥尾文部云々内談 山県へ山田云々申入レ 添士ノコト伊藤ヨリオ聞キアレ 黒田へ八三条ヨリ申入レ自分モ面会ノツモリ 過日来内談ノコト明日発表				「326 岩倉公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
326-2	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治14(カ)年12月6日		軍艦才成リノ件 伊国皇族ノ節ノ振合イ又東伏見・有栖川両宮英国留学アリ オ断リ然ルベカラズ				「326 岩倉公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
326-3	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治14年10月27日		別紙内見アレ 今日八華族製糸所両后宮行啓ニツキ不参 条公ハ出席ノハズ相談アリタシ 黒田申立昨日三大臣相談貴卿返答待チ				「326 岩倉公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
326-4	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15年5月23日		条約改正苦心推察 左府公来月中旬発途 谷干城云々山県考慮ノ上ト其後聞カズオ示シテウ 美術館行幸自分関係ナシ 佐野宮内省へ談ジノ結果 時節柄懸念				「326 岩倉公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
326-5	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治16(カ)年4月12日		一昨日横浜行好都合ノ場所ナリ暫時保養ノ見込明日来駕ノ趣医者診察日ニツキ拝辞 別紙三島県令ヨリ来信 申入レ通り落着懸念成行キ心痛 穴戸書面落手				「326 岩倉公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
326-6	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治 年 月 9日		(伊藤博文代筆) 今晚来臨ノ趣明朝ニサレタシ				「326 岩倉公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第10冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
326-7	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治 年6月7日		明朝面会都合ニヨリ明後朝二願イタシ				「326 岩倉公書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
326-8	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治 年 月 日		(代筆)和歌四首				「326 岩倉公書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
327	岩倉公書翰 代筆 卷一				1巻	岩倉具視書翰 9通				詳細は327-1~9参照	
327-1	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15年3月21日		(代筆)伊藤参議乗船七日ニテ着地ノハズ 電信アリ次第報知乞ウ				「327 岩倉公書翰 代筆 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
327-2	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治4年11月8日		(代筆)西京邸宅ノコト承引顧念ナク発航 山科調査才申付安心 才渡シ地三千石ト西京山科ヨリ百姓二三男移住ツツキ宿借用両条配慮ヲ乞ウ				「327 岩倉公書翰 代筆 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
327-3	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治 年10月26日		(代筆)三一日困暮会開催 村瀬秀甫・中川亀三郎手合セ来臨乞ウ				「327 岩倉公書翰 代筆 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
327-4	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治 年 月 日		(代筆)案内状				「327 岩倉公書翰 代筆 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
327-5	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治12(カ)年7月24日		(代筆)別紙皇居造営ニ付用意云々文体不都合ナラン 別紙条公意見道理アリ取調書法考慮アリタシ				「327 岩倉公書翰 代筆 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
327-6	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治12年12月13日		(代筆)三公使謁見日取り 兵庫県願旧小野組屋敷・馬車備付ノ件取計イ乞ウ 別紙通貨売買云々ノ建白一覽意見承リタシ 京都ニテ独乙皇孫接待ニ二府三県評議着手ノ要アリ 費用計算書検討アリタシ				「327 岩倉公書翰 代筆 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
327-7	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治 年8月30日		(代筆) 別紙船中ニテ熟覽ノ上返却乞ウ				「327 岩倉公書翰 代筆 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
327-8	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治16年2月27日		(代筆) 熱海療治ヨリ帰京挨拶				「327 岩倉公書翰 代筆 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
327-9	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治12年3月8日		(代筆) 昨日評議ノ御沙汰書字句ニツイテ 内閣書記官設置 人選中村弘毅・井上毅・金井之恭意見伺イタシ 宍戸支那公使任命				「327 岩倉公書翰 代筆 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
328	岩倉公書翰 代筆 巻二				1巻	岩倉具視書翰 12通				詳細は328-1~12参照	
328-1	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治13(カ)年6月13日		(代筆) グランド書面・吉田来翰供覧 ヨング招請日取り				「328 岩倉公書翰 代筆 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
328-2	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治12年7月5日		(代筆) 明日グランド招宴案内拝承				「328 岩倉公書翰 代筆 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
328-3	岩倉具視書翰 (三条実美と連名) 大隈参議宛	岩倉具視・三条実美	大隈参議	明治12年7月8日		(代筆) 琉球問題書記官井上毅ヨリ建言アリ 供覧				「328 岩倉公書翰 代筆 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
328-4	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15年12月11日		(代筆) 大赦ノ件山県・山田へ申置ケリ 宮内省二内規調所ヲ設ケ福羽等取調へ従事 右ニツキ小生意見書供覧				「328 岩倉公書翰 代筆 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
328-5	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治 年2月27日		(代筆) 明朝来車ノヨシナレド 三条邸へ左府共同席会合ノ用アリ 帰途貴邸へ立寄ルベシ				「328 岩倉公書翰 代筆 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
328-6	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治14年3月19日		(代筆) 鉄道創業ノ件会計部参議意見マトマリ華族へ相談中 口頭ノミデハ行届カズ別紙覚書作製供覧 願書他書類出来次第内閣へ提示ノ予定				「328 岩倉公書翰 代筆 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
328-7	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治14年3月29日		(代筆) 鉄道事件井上勝云々同志ノ者モ賛成 肥田モ望ムトコロ出京助力乞ウ 同志意見ニテハアメリカ流費用少クテヨロシカラント米人教師依頼ノ見込ミ 肥田ハ洋行来ノ行キ懸リオ含ミアリタシ 貴官帰京ノ上然ルベク指揮願ウ (二伸・自筆) 海軍・農商内談通り運ブベシ 文部空評議ノミニテ困却				「328 岩倉公書翰 代筆 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
328-8	岩倉具視書翰 井上外務卿・上野外務大輔宛	岩倉具視	井上外務卿・上野外務大輔	明治 年4月7日		(代筆) 公使派遣二ツキ晩餐会別紙ノ通り予定ヨロシキヤ				「328 岩倉公書翰 代筆 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
328-9	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治16(カ)年5月1日		(代筆) 明二日西京行打合せイタシタシ都合如何				「328 岩倉公書翰 代筆 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
328-10	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治13(カ)年11月16日		(代筆) 明日来駕ヲ待ツ 伊藤ヨリ示談ノ新聞紙ノコト相談セン				「328 岩倉公書翰 代筆 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
328-11	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15年12月20日		(代筆) 北垣内願ノ件貴卿・山田・松方二二日来会願ウ				「328 岩倉公書翰 代筆 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
328-12	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治12年3月26日		(代筆) 次男具義死去通知				「328 岩倉公書翰 代筆 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
329	岩倉公書翰 代筆 巻三				1巻	岩倉具視書翰 4通				詳細は329-1~4参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
329-1	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治16年4月1日		(代筆) 明朝才出で待ツ 編纂局委員長福羽美静・西周来会ノハズ 大原重朝不始末				「329 岩倉公書翰 代筆 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
329-2	岩倉具視書翰 井上夫妻宛	岩倉具視	井上夫妻	明治13年12月1日		(代筆) 宮内卿へ照会 勅任官以上八取調べ通り 妻女衣裳二ツイテ				「329 岩倉公書翰 代筆 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
329-3	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15年9月22日		(代筆) 山県面会 両本願寺調停結構ナレド帝政党西京会議悪説流布ヲ懸念 朝鮮事件ニ大阪相場五代・藤田ト結託ノ悪説アリ 花房復命ニ外務卿帰京ナキコト等面倒アリ 中井弘西下ニ托シ大阪・京都へ立入ラズ 本願寺云々八神戸へ引寄せラルベシノ山県意見 自分モ賛成				「329 岩倉公書翰 代筆 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
329-4	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15年12月7日		(代筆) 農商務省引受八〇万円遺憾 帝室直轄事業八止メ農商務引受ケ一途ニスベシ 一六年ヨリ八帝室費五〇万円人心収攬用ニシタシ 増税中三〇万円ヲ加工五〇万円ヲ地方官手ゴコロ用ハ妙案力 河瀬等四議員建議敬重 第一号朝鮮事件建議 第二号土族就産 第三号機密一覽乞ウ				「329 岩倉公書翰 代筆 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
330	岩倉公書翰 代筆 巻四				1巻	岩倉具視書翰 7通				詳細は330-1~7参照	
330-1	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15年6月14日		(代筆) 吉田公使来信ノ通り貴邸晚餐会延滞館云々決定セシヤ ヨング箱根行吉田ニ返答スベキヤ ヨング来訪 横浜旅館へ返礼訪問スベキヤ				「330 岩倉公書翰 代筆 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
330-3	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15(カ)年3月7日		(代筆) 渥美・鈴木来訪 大洲二面談セシモ寺号マトマラスズ西京ニテ談判続行セント主張 大破裂懸念アレバ当地ニテ斡旋ヲ願ウトナリ 大洲滞京方一声ヲ乞ウ				「330 岩倉公書翰 代筆 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
330-4	岩倉具視書翰 山県参議・井上参議宛	岩倉具視	山県参議・井上参議	明治15年3月23日		(代筆) 警視探偵書ニテ承知アラン 鍋島一同清水等ノコト相談イタシタシ 副島御前何候意見陳述ノ上辞表提出 辞表ハ自分預リ 山岡履歴 黒田渋谷持屋敷ノコト 寺島出帆延期 竹添機密報告書返却				「330 岩倉公書翰 代筆 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第10冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
330-5	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治16年6月17日		(代筆) 東大谷ノ件配慮感謝 出発予定通知				「330 岩倉公書翰 代筆 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
330-6	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15(力)年 月 日		(代筆) 外国裁判官雇用・死刑交付二定期ヲ設クルコト 右ニテ外務卿提案ニテヨロシ 居留地外国人二区内事務参予ハ不可				「330 岩倉公書翰 代筆 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
330-7	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治16(力)年5月8日		(代筆) (前文欠) 十五銀行役員來意承知 先日出浜ノ際切迫示談 大蔵卿イイ分一理アリ外務卿尽力 銀行解散ハ大損耗ト説得セリ 一層ノ配慮ヲ願フ				「330 岩倉公書翰 代筆 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
331	岩村子書翰 巻一				1巻	岩村通俊書翰 4通				詳細は331-1~4参照	
331-1	岩村通俊書翰 井上馨宛	岩村通俊	井上馨	明治22年4月20日		今朝伊藤議長二面会速ニ帰京願エトノコト			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「331 岩村子書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
331-2	岩村通俊書翰 井上馨宛	岩村通俊	井上馨	明治22年6月22日		黒田閣下引留メノタメ保養地マデ出向クトノヨシ 官有財産事件書付奥田持参同人ヨリオ聞取りアレ 松方内話ニ官制ヲ内閣ヨリ始メ難シ 通則ヲ各省ニ示シ各官制制定トイフ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「331 岩村子書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
331-3	岩村通俊書翰 井上馨宛	岩村通俊	井上馨	明治22年6月15日		昨日内閣提出ノ意見書感服 今朝松方面会 意見書ノコト知ラズ 閣下洋行大隈氏ヘモ陳述現職ノママ洋行ヲ切望ス			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「331 岩村子書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
331-4	岩村通俊書翰 井上馨宛	岩村通俊	井上馨	明治22年10月28日		閣下・伊藤伯勇退トナラバ朝野失望少カラザルベシ 田川炭田速ニ決了ノツモリ 和田局長ニ鉱区選定ノ考エアリ 委員決定近ク報告アルベシ 愛媛県鉱山藤田一件命約拒否ノ訴状提出 同県知事ヨリ上申アラン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「331 岩村子書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
332	岩村子書翰 巻二				1巻	岩村通俊書翰 4通				詳細は332-1~4参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
332-1	岩村通俊書翰 井上馨宛	岩村通俊	井上馨	明治22年10月1日		田川分割未詳地ヲ除キ分割決定 高橋局長南米行後任人事 前田・首藤・斎藤会議所諮問会 山県伯近ク帰朝			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「332 岩村子書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第10冊
332-2	岩村通俊書翰 井上馨宛	岩村通俊	井上馨	明治23年2月19日		次官人選困却 本省事務第一着八整理 国会攻撃ヲ回避 第二農会・商工会ノ組織 山野ノ調査ヲ予定 過剰金中調査費充当 二四年度ヨリ国会提出ノツモリ 鉱業条例借区年限操作検討 中国会前世論刺戟八不得策 アンチモニーノ件来旨了承 償金額不都合ナク弁解二及ブベシ 斎藤・古沢・原			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「332 岩村子書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第10冊
332-3	岩村通俊書翰 井上馨宛	岩村通俊	井上馨	明治26年10月3日		官邸失火ノ見舞			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「332 岩村子書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第10冊
332-4	岩村通俊書翰 井上馨宛	岩村通俊	井上馨	明治22年12月24日		農商務大臣就任挨拶				「332 岩村子書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第10冊
333	岩崎弥之助男書翰				1巻	岩崎弥之助書翰 6通				詳細は333-1～6参照	
333-1	岩崎弥之助書翰 井上馨宛	岩崎弥之助	井上馨	明治25(力)年7月12日		病氣中無音ヲ謝ス 若松築港一件集会ニ欠席ノコト 愚姪久弥参席				「333 岩崎弥之助男書翰」（1巻）の内	冊子複製版第10冊
333-2	岩崎弥之助書翰 井上馨宛	岩崎弥之助	井上馨	明治32(力)年1月28日		若松港改良費内務省ヨリ議会ヘ請求ノ行懸リ 大蔵大臣ヘ内談ズミ				「333 岩崎弥之助男書翰」（1巻）の内	冊子複製版第10冊
333-3	岩崎弥之助書翰 井上馨宛	岩崎弥之助	井上馨	明治32年9月27日		昨夜ノ光駕ヲ謝ス 仙石真意了解 同人ノ心底モ閣下ヘ貫徹 今後好都合ニ進行ノ事安心				「333 岩崎弥之助男書翰」（1巻）の内	冊子複製版第10冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
333-4	岩崎弥之助書翰 井上馨宛	岩崎弥之助	井上馨	明治35年3月7日		見送り礼状				「333 岩崎弥之助男書翰」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
333-5	岩崎弥之助書翰 井上馨宛	岩崎弥之助	井上馨	明治24年9月1日		日下一条示諭ヲ得シヨシ 相談ノ結果謝絶他二工夫ヲ要スベシ				「333 岩崎弥之助男書翰」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
333-6	岩崎弥之助書翰 井上馨宛	岩崎弥之助	井上馨	明治 年11月24日		医師勧告ニヨリ転地療養帰京ノ上高話伺イタシ				「333 岩崎弥之助男書翰」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
334	桂公書翰 卷一				1巻	桂太郎書翰 6通				詳細は334-1~6参照	
334-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治21(カ)年12月4日		下命ノ旨青木ヘ伝達同氏ヨリ書通ノトオリ安心アリタシ				「334 桂公書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第12冊
334-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治24(カ)年4月13日		川上ト面談略事情了承 今夕七時本人同道参邸同氏ノ考尋問アリタシ				「334 桂公書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第12冊
334-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治25(カ)年5月2日		児玉源太郎ヨリ伝言敬承 木村正幹マデ報告聴取アラン 青山邸売却 借財ヲ精算出来タルハ閣下補助ノ賜 節儉ヲ旨トシ再起精心ノツモリ 地方在勤ヤムヲ得ザルノコトアレバ断乎節儉ノ方針				「334 桂公書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第12冊
334-4	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治25(カ)年4月8日		転地療養見舞 東京宅売却 木村正幹ヘ相談				「334 桂公書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第12冊
334-5	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治27年8月8日		韓日事件配慮恐察 師団動員下令日夜準備 出発後ノ儀木村正幹ヘ依頼 同氏ヨリ言上ノ節ハ配慮願ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「334 桂公書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第12冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
334-6	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治27年10月31日		特別全権公使トシテ赴任苦勞恐察 二十五日ヨリ鴨緑江渡河・九連城・鳳凰城・大孤山占領 清軍敗走ノ原因八軍制ノ不備 朝鮮国兵備ノ方案余暇ヲ以テ愚見呈上 朝鮮内部ノ改良ニ苦心アラン 着手ノ第一八金ト兵カト推察			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「334 桂公書翰 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
335	桂公書翰 巻二				1巻	桂太郎書翰 3通				詳細は335-1～3参照	
335-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治28年1月2日		一二月月上旬海城攻撃拜命 一三日占領 宋慶軍蓋平二目ツ析木城・遼陽ト三方二敵ヲ受ケ 宋軍ヲ撃破先制ノ利ヲ得 氣懸リ八營口ノ英米守備兵 宣教師モ数多ク書通アレド營口占領必要アル時英米守備兵ニ対シ処置如何アルベキヤ 山県大将帰朝 仁川ニテ面語アラン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「335 桂公書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
335-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治28年3月19日		前面ノ敵増加 吳大澂牛莊ニ侵入 海城回復ニ清軍大半ヲアツ 所詮烏合部隊 第三師団前面ヲ突貫シ牛莊包圍大勝 營口ヘ進撃 宋軍戦ワズシテ敗走 一〇日間ノ大戦ニテ敵兵力カヲ兩断盛京省平原ノ戦ハ終局 進軍前二營口英・仏宣教師ニ通牒 現在彼等ノ氣受ケヨシ 遼河開通後ハ有力外交家ノ派遣必要 朝鮮事情拝承 戦後始末配慮アルベキモ戦局ノ大勢決定善後策着手急グベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「335 桂公書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
335-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治23(カ)年7月29日		陸軍中尉荒尾精紹介			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「335 桂公書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
336	桂公書翰 巻三				1巻	桂太郎書翰 4通				詳細は336-1～4参照	
336-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治29年1月21日		休職療養挨拶				「336 桂公書翰 巻三」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
336-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治27年3月14日		宮中大典ノ節上京留守中ニテ失礼 家事整理オカゲニテ略片ヅキ感謝 児玉少将毛利家ヨリノ恩借金 約条ニヨリ支弁ノトコロ陸軍次官就任失費多ク困窮 高配ヲ乞フ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「336 桂公書翰 巻三」（1巻）の内	冊子複製版第12冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
336-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治39年9月29日		寺内陸相来訪会談 各省間意思疎通ナク競争の二過大予算提出 主張十分ナルモノノミ提出ノ外ナシ 戦後財政ハ戦争結果ヲ収ムルノ第一問題 内閣首相ガ全般統治上断然ノ決心ニヨル処置ヲ要ス			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「336 桂公書翰 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
336-4	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治 年12月24日		不参断リ状				「336 桂公書翰 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
337	桂公書翰 卷四				1巻	桂太郎書翰 5通				詳細は337-1～5参照	
337-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治29(カ)年12月20日		川上同道参邸ノ事 同日川上都合ツカズニ一日ニイタシタシ				「337 桂公書翰 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
337-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治32(カ)年3月16日		後藤新平面会将来ノコト示談 帰台ノ上兎玉ト相談希望ニ添ウベシ 台湾銀行株式後藤ノ話ニテハ山県同席承知アレバ伊藤へ申述ベ心配中 多分宮内省ノ方相運バン 外交ノコト山侯ヨリモ青木へ注意アリ 伊侯不在中ハ老台へ相談ノ手筈			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「337 桂公書翰 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
337-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治30(カ)年6月6日		(前文欠) 今回ハ他ニ方法ヲ求メ伊藤へ相談 結局ハ閣下へ相談幸イ許容ヲ得 本人ニ兎玉・寺内・自分御礼言上仕リタシ				「337 桂公書翰 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
337-4	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治32年3月11日		後藤新平招宴 後藤・渋沢・大倉・今村参集平岡ハ回答未シ 翌日尊邸へ後藤招待 同人御請ケ承知ナルベシ 招待ハ前五名ノ外ニアラバオ示シテウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「337 桂公書翰 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
337-5	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治32(カ)年2月7日		首相官邸ニテ曾祢農相ト会谈炭山買収・築港補助行違イノコト 曾祢ヨリ言上ノ予定				「337 桂公書翰 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
338	桂公書翰 卷五				1巻	桂太郎書翰 5通				詳細は338-1～5参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
338-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治32(カ)年 2月28日		高橋是清来り日本銀行一条意見伝承 行内ノ雲霧一掃肝要 ストライキヲ起セシ人物免職 将来ノ方針確立ニ首相モ同意見 閣議モ一決シ蔵相心配中			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「338 桂公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第12冊
338-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治32年3月 21日		中国・四国・畿内巡視二出發 過日来配慮ノ件後藤新平ト相談 大坂ニ立寄り実地ヲ見テ帰台児玉ト示談セントナリ				「338 桂公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第12冊
338-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治32年5月 20日		防長教育会ニテ依頼ノ高等学校資金来年度ヨリ国庫補助ノ件 樺山文相賛成 文部省来年度予算ニ組入ルル事決定 コレニツキ文部省ヨリノ注文教員選定ニ係ル位ナラン 内閣予算会議ニ提出通過スレバ正式決定				「338 桂公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第12冊
338-4	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治34(カ)年 5月27日		大磯ニ春畝侯訪問 昨夜二続ケ今朝モ対話好都合ニ結局 随分勉強ニナリ老閣年来ノ苦心了察是ヨリ椿山荘ヘ参り報告 明日元老諸公参集願ウ予定			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「338 桂公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第12冊
338-5	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治32(カ)年 7月2日		懇示ノ件春畝侯ヘ開陳予定ノトコロ 含雪侯ト面会予定ト聞キ差控工 本日首相官邸ニ春畝侯同席内・蔵・外・陸・海各大臣召集意見交換意志疎通シ幸イセリ				「338 桂公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第12冊
339	桂公書翰 巻六				1巻	桂太郎書翰 3通				詳細は339-1～3参照	
339-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治33年8月 5日		寺内中将天津ニテ列国将官ト会谈始末 英海軍中将シーモールニ面会 露海軍中将アレキシフト北京進軍ヲ協議 連合軍五万ヲ要スル見込 主カ八日露両軍他国軍八兵站守備トノ見解 アレキシフ急ギ旅順ニ帰ル 英少将八万事日本軍ト進退セント福島少将ヘ申出 印度ヨリ一萬ノ派遣ヲ呼号シソノ実六千八香港ニ駐留 状勢好都合増兵ノ必要アルマジ 此上八外交上善後策ガ第一			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「339 桂公書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第12冊
339-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治34(カ)年 1月24日		尊書ニ別冊意見書拝受 意見書八明後日迄二返却				「339 桂公書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第12冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
339-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治34年6月3日		大任拜命恐催 藤田四郎身上 田尻ヲ会計検査院長ニ ソノ後ニ貴族院ニ勅選ノ予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「339 桂公書翰 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
340	桂公書翰 巻七				1巻	桂太郎書翰 6通				詳細は340-1～6参照	
340-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治34(力)年7月25日		別袖後大磯ニ春畝侯訪問 伝言伝達 英文紙三葉 井ニ別冊返上				「340 桂公書翰 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
340-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治34年8月1日		曾祢大臣ヨリ差出中ノ廉書拜受 高平公使ヘノ草案供覧 意見アレバ承リタシ 明日閣議決定後松方伯・伊侯ヘ陳述ノツモリ 外資輸入世上ニ洩レ山師ニ乗ゼラレザルヨウ急ヲ要ス			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「340 桂公書翰 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
340-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治34年8月17日		売債ノ件ニツキ在米公使ヨリ来電「情況好望ナレドモ時ヲ要ス」 速カニ決定セヌハ閉口 北京列国会議議定大略結了 此後ノ調印ヲ残スノミ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「340 桂公書翰 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
340-4	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治34年8月23日		売債問題才氣ツキノ件杉山ヨリ伝承 伊侯モ同意見ノヨシ 大人・伊侯・小子三人ニテ協議イタシタシ 金沢マデ来駕乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「340 桂公書翰 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
340-5	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治34年12月9日		幸ニ諸元老ノ一致ヲ得感謝 該事件奏上模様並ニ在独伊侯ヨリノ電信アリ 明日松方邸ヘ参集乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「340 桂公書翰 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
340-6	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治34年9月21日		アルピン氏ヘノ謝儀五千円渡シ 後來モ依頼 北海道出張何日ニナリシヤ ソノ前拜光ヲ得タシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「340 桂公書翰 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第12冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
341	桂公書翰 卷八				1巻	桂太郎書翰 5通				詳細は341-1~5参照	
341-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治35(カ)年 1月29日		在京中拝眉ヲ得ズ遺憾 田島氏ヲ通ジ申聞ケノ件 蔵相・其他ノ掛官ト協議ニ及ブベシ 外交ノ事着々進展不日結了 外相ヨリ報告アルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「341 桂公書翰 卷八」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
341-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治35年11 月29日		若夫婦無事帰朝大慶 小子熊本ニテ盲腸炎ニ罹リ療養 昨日帰京 昨日ノ園遊会ハ欠礼 馬関ノ柿進呈			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「341 桂公書翰 卷八」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
341-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治34年12 月18日		内外多事意志通ゼザルハ痛嘆ニツキ政友会院内幹事ヲ招キ政府希望通達明日先方ヨリ挨拶アルベシ 交渉開始トナラバ曾祢・山本担当予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「341 桂公書翰 卷八」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
341-4	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治 年1月 10日		無沙汰御記ビ				「341 桂公書翰 卷八」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
341-5	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治 年 月 日		（迫啓）御示ノ興業銀行云々添田二面会 毛利家保証断リ単純ニ取計方相談 同人乗気良好ノ結果ヲ見ン				「341 桂公書翰 卷八」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
342	桂公書翰 卷九				1巻	桂太郎書翰 3通				詳細は342-1~3参照	
342-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治36年5月 24日		臨時議会ニ於ケル政友会ト政府トノ妥協問題 伊藤ト小生トノ協議調イ政友会惣会ニテ協議済案ニテ妥協 此上八大問題無事通過ノ見込 財政上ハ暫時退歩 大勢上止ムヲエズ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「342 桂公書翰 卷九」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
342-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治34年9月 10日		山県帰京過日来相談ノ主意ニテ面談 明日山県会談ヲ希望 伊藤ノ帰京来会確カナルヨウ配慮乞ウ				「342 桂公書翰 卷九」（1巻）の内	冊子複製版第12冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
342-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治38年2月 27日		議会本日終了 国庫債券二関スル銀行家其ノ他会 合終了 円満示談整イ同慶 地方官へ配慮ノ次第 蔵相ヨリ訓示 年来ノ宿題財政諸法案議會ノ協 賛 国家財政上ノ進歩			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「342 桂公 書翰 卷九」 (1巻)の内	冊子複製版 第12冊
343	桂公書翰 卷 一〇				1巻	桂太郎書翰 5通				詳細は343- 1～5参照	
343-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治38(カ)年 3月22日		在ロンドン高橋是清ヨリ来電阪谷次官差出直接才 聞キ取り乞ウ 目下ノ形勢ムシロ先取ヲ得策ト愚 考決行イタシタシ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「343 桂公 書翰 卷一 〇」(1巻) の内	冊子複製版 第12冊
343-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治42(カ)年 5月7日		郵船会社監査役後任近藤社長ヨリ事情聴取 小幡 後任会社重役会ニテハ推挙セズ 二人ノ監査役ニ テ報告書調整済ノ由 今更決定変更面白カラズ 新監査役設置ノ際考慮ヲ要望セリ				「343 桂公 書翰 卷一 〇」(1巻) の内	冊子複製版 第12冊
343-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治38年9月 3日		講和問題新聞煽動誤解社会下層へ広マリ迷惑 時 事新報談判中八連絡ヲトリ穏健 一両日攻撃ニ転 ジ内閣辞職ヲ要求 断然反対ノ体度ナレバ貴族院 云々実行見合せ 朝吹等へオ申聞ケ願ウ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「343 桂公 書翰 卷一 〇」(1巻) の内	冊子複製版 第12冊
343-4	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治38年 月 日		(断簡) 講和問題新聞誤謬				「343 桂公 書翰 卷一 〇」(1巻) の内	冊子複製版 第12冊
343-5	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治38(カ)年 9月11日		垂示ノ趣拜承 山県へ申遣又オ含迄				「343 桂公 書翰 卷一 〇」(1巻) の内	冊子複製版 第12冊
344	桂公書翰 卷 一一				1巻	桂太郎書翰 3通				詳細は344- 1～3参照	
344-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治35年11 月5日		九州特別大演習行幸供奉二出発 来年以後ノ財政 計画書曾祢ヨリ差出セシナラン 不審ノ点八蔵 相・阪谷・松尾ノ内ニオ尋ネ乞ウ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「344 桂公 書翰 卷一 一」(1巻) の内	冊子複製版 第12冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
344-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治38(力)年 12月15日		南部伯長男ト毛利公令嬢縁談 東条少将上京 南部氏説得ニ応ゼザルヨシナリ				「344 桂公書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第12冊
344-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治38年12 月29日		小村外相帰朝シ日清協約ノ結果報告マデハ御役御免ナシ 内閣組織西園寺着手 阪谷承諾スルヨウ 自分カラモ説得 加藤・牧野モ決定 貴族院ヨリ 二人入閣見込 内話ノ都築氏ハ困難 米国公使モ 青木ニ内定 伊太利トノコトニテ本人熟考中ナリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「344 桂公書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第12冊
345	桂公書翰 卷 一 二				1巻	桂太郎書翰 4通				詳細は345-1~4参照	
345-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治39年1月 4日		年末以来西園寺ノ新内閣組織ノ手伝人同然 新閣僚決定 本日内奏 七日就任式ノ予定 内閣担当以来ノ厚庇感謝 財政阪谷担任ニテ計画継続一安心			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「345 桂公書翰 卷一 二」(1巻)の内	冊子複製版 第12冊
345-2	桂太郎書翰 井上〔勝之助〕夫婦宛	桂太郎	井上〔勝之助〕夫婦	明治39年2月 21日		大使昇任御祝 森安達吉紹介 与一新田男二女ト婚約			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「345 桂公書翰 卷一 二」(1巻)の内	冊子複製版 第12冊
345-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治39年9月 4日		重患ノ際配慮感謝 近況報告			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「345 桂公書翰 卷一 二」(1巻)の内	冊子複製版 第12冊
345-4	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治39年9月 22日		近況報告 面会時刻都合問合せ 滝昇リ云々了承乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「345 桂公書翰 卷一 二」(1巻)の内	冊子複製版 第12冊
346	桂公書翰 卷 一 三				1巻	桂太郎書翰 2通				詳細は346-1~2参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
346-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治40年4月15日		都築ノ件首相差支エアリ寺内陸相ト示談 寺内同意見ニツキ首相ヘ伝達ヲ依頼 東洋協会ノ件鴻ノ池並ニ九州員島・安川ヘモ協賛説得願ウ 後藤新平既ニ両氏ヘ頼ミズミ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「346 桂公書翰 卷一三」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
346-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治41年6月2日		宮中ニテ内示ノ後野田ヨリ内報セシヤ自分野田ニ面会ノ際ハ触レズ撰拳実況ヲ聞キシノミ 首・内相ニ面会済ナレバ内情ヲ知り内報アリシト想像 政府ハ持久ノ策 新聞ニ財政策ヲ掲載セシメ閣下諮問ニ回答セシヤ 寺内ノ話ニテ閣下意見ハ不可能ト首相モ言エリトカ 一方ニハ適当ニ答エ一方ニハ持久策ニテハ要領ヲ得ズ 予算調成ノ期切迫政府態度決定ヲ迫ル要アリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「346 桂公書翰 卷一三」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
347	桂公書翰 卷一四				1巻	桂太郎書翰 3通				詳細は347-1～3参照	
347-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治42年1月30日		都筑書翰一読 同男ノ意思判明安心 此上ハソノ手順ニテ取運ブベシ 本日西侯ト面談 同侯決意ハ松田等ヘ示セシ由 彼等参集シ相談ノ上小生ト松田トノ交渉トナルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「347 桂公書翰 卷一四」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
347-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治42年2月8日		都筑枢府採用山県承諾 入府ノ上ハ貴族院辞退確認アリタシト山県注意 議会万事敵対ノ挙政アルヲ知り国家ナキ状遺憾 航路問題党内事情ニテ否決ノ構工終ニ西園寺ヘ電話セリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「347 桂公書翰 卷一四」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
347-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治42年2月2日		現下ノ情勢ニ対スル考工容認拝謝 春畝公面会后内示願エレバ幸イ 鉄道財政意見調査書類長島隆ニヨリ聴取アリタシ 一般会計ヨリ引離サズテ八目的立テ難シ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「347 桂公書翰 卷一四」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
348	桂公書翰 卷一五				1巻	桂太郎書翰 3通				詳細は348-1～3参照	
348-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治42年10月21日		二男三郎希望ニ応ズベキ旨決答 其内参郵答申スベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「348 桂公書翰 卷一五」（1巻）の内	冊子複製版第12冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
348-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治42(カ)年 11月10日		垂示ノ件昨日申出ノ通り変更八面白カラズ				「348 桂公書翰 卷一五」(1巻)の内	冊子複製版 第12冊
348-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治41年1月 7日		財政計画配慮ニヨリ六年計画立チ首相邸ニテ各自調印 其後ノ変更ナキ筈ニ内務省ノ繰延ベ額ニ異動生ジ 自分ノ異議ニテ原案ニ戻リ 又々通信省鉄道費ニ一ニケ年継続予算ナル公債支弁ノ計画大蔵省異議申立テ次第寺内陸相内報 自分徳義上ノ連帯責任撤去ヲ申入レ 此問題政府協議中ノ由 自分関係内々承知アリタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「348 桂公書翰 卷一五」(1巻)の内	冊子複製版 第12冊
349	桂公書翰 卷一六				1巻	桂太郎書翰 5通				詳細は349-1~5参照	
349-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治43(カ)年 2月3日		垂示条々拝承 銀行条例大蔵大臣慎重調査ノ上議會提出予定 實際ハ改正ノ主意ヲ以テ所理 貴族院通過ダケヲ見込ミ提出ノ運ビ 今期兩院通過ヲ見込マズ 派英大使云々ソノ必要アルマジトノ結論 貴族院ニテ復活問題生ジ面倒ナリシモ事済ミノ見込ミ 例ノ一件外務ヨリ一人派遣ノ予定			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「349 桂公書翰 卷一六」(1巻)の内	冊子複製版 第12冊
349-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治 年4月 21日		不参断リ状				「349 桂公書翰 卷一六」(1巻)の内	冊子複製版 第12冊
349-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治 年5月 10日		案内状				「349 桂公書翰 卷一六」(1巻)の内	冊子複製版 第12冊
349-4	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治40(カ)年 6月22日		有栖川邸ニテ懇話ノ件 留守宅ニモ書類着 之ニ八訓令中韓国問題除外見エズ 内蒙古ニハ同意セズノ主意アリ 心配ノ点ハ今後ノ問題ナラン 外相ニ韓国除外ハ将来ノ用意ナルベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「349 桂公書翰 卷一六」(1巻)の内	冊子複製版 第12冊
349-5	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治43(カ)年 6月27日		公債償還計画暫時拝借イタシタシ				「349 桂公書翰 卷一六」(1巻)の内	冊子複製版 第12冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
350	桂公書翰 卷一七				1巻	桂太郎書翰 4通				詳細は350-1~4参照	
350-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治42年8月13日		病氣見舞 満州始末安奉鉄道改良二着手 清国内部不統一二ヨリ讓歩 法新鉄道中止 此ノ機ヲ逸セズ間島問題ヲ解決セン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「350 桂公書翰 卷一七」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
350-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治43年9月20日		故井上子爵祭案料宮内大臣へ示談 別紙ノ通り詮議上奏予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「350 桂公書翰 卷一七」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
350-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治43(カ)年9月22日		安田善次郎来訪示談 追ッテ回答ノハズ 日本銀行へ差入レ底当ニ内話ノ出金位ニテ利子引下ゲ辞退セシメザリシコト 片岡へモ才伝工願ウ				「350 桂公書翰 卷一七」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
350-4	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治44年2月27日		議政友会ト妥協好都合ノトコロ 国民派ヨリ政府不信任決議案提出 政友会ト中央派ニテ否決教科書中皇統正閏論問題起リ 大義名分上断然タル所置ヲ要ス			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「350 桂公書翰 卷一七」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
351	桂公書翰 卷一八				1巻	桂太郎書翰 3通				詳細は351-1~3参照	
351-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治 年3月1日		銀行法改正撤回・中止トモ困難 善後策トシテ疎通法考案中野田卯太郎来訪 御話伝承 コノ際ハ議会通过止ムナシ 意見ニ背キ勸弁願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「351 桂公書翰 卷一八」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
351-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治44年1月25日		彰明会主意小松原文相トモ相談 史談会ト混同セヌヨウ弁解セリ 文相ヲ参上セシムルニツキ垂示乞ウ 平田内相へモ社会政策ニツキ相談ニアガラシムベシ 西園寺出京相談予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「351 桂公書翰 卷一八」（1巻）の内	冊子複製版第12冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
351-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	大正2年6月2日		医師ノ意見ニテ一先ツ葉山へ転地 ソノ上ニテ湯治場撰定ノツモリ 過日杉翁へ意見開陳才聞取りアラン ソノ後平井院長二面会 同院長モ才出掛ケ中止ヲ希望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「351 桂公書翰 卷一八」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
352	桂公書翰 卷一九				1巻	桂太郎書翰 6通				詳細は352-1～6参照	
352-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治 年2月2日		オ示シノ時刻参上スベシ				「352 桂公書翰 卷一九」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
352-2	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治44年3月25日		恩賜金二対シ一般ヨリ抛金才手数恐縮 大倉喜八郎ヨリ一百万円ノ寄附申出 富豪連出金ノ参考トナリ感服			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「352 桂公書翰 卷一九」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
352-3	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治 年11月12日		下命碑文届ケ				「352 桂公書翰 卷一九」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
352-4	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治33年12月23日		病氣全快退院慶賀 本日依願免官ノオ沙汰ヲ蒙リ静養ノ予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「352 桂公書翰 卷一九」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
352-5	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治44年1月27日		政友会トノ関係西園寺出京 同侯邸二原・松田ト会见 広軌鉄道改築ヲ否定セズ一年間調査ソノ他八政府案賛成 西園寺初メ政友会代議士ヲ午餐会ニ招待 衆議院大勢一定安心アレ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「352 桂公書翰 卷一九」（1巻）の内	冊子複製版第12冊
352-6	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	大正2年8月22日		見舞礼状			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「352 桂公書翰 卷一九」（1巻）の内	冊子複製版第12冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
353	金井之恭書牘				1巻	金井之恭書翰 8通				詳細は353-1~8参照	
353-1	金井之恭書翰 井上馨宛	金井之恭	井上馨	明治 年7月30日		検疫停船規則正誤下命通り処置 義貞遺品持主市川熊夫へ面談 一覽ノ都合申入レオケリ				「353 金井之恭書牘」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
353-2	金井之恭書翰 井上馨宛	金井之恭	井上馨	明治17年9月20日		太政大臣出発三島栃木県令ノ申出ニヨリ変更通知			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「353 金井之恭書牘」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
353-3	金井之恭書翰 井上馨宛	金井之恭	井上馨	明治 年10月20日		新田家古系図世良田村長楽寺文書中二秘蔵ノトコ口他二貸与今二返戻ナシ 群馬県令出京二ツキ県令手許へ引取ルヨウ依頼アリタシ				「353 金井之恭書牘」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
353-4	金井之恭書翰 井上馨宛	金井之恭	井上馨	明治 年9月30日		英国汽船長へ叙勲ノ件賞勲局中ニアリ 速ニ上申スベキ旨申入レタリ				「353 金井之恭書牘」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
353-5	金井之恭書翰 井上馨宛	金井之恭	井上馨	明治 年8月21日		伊香保実地検分勸メ				「353 金井之恭書牘」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
353-6	金井之恭書翰 井上馨宛	金井之恭	井上馨	明治 年10月31日		不参帰京挨拶				「353 金井之恭書牘」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
353-7	金井之恭書翰 井上馨宛	金井之恭	井上馨	明治19(力)年12月22日		法制局云々書類誤写アリ 別紙正誤ノ分トオ引替工乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「353 金井之恭書牘」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
353-8	金井之恭書翰 井上馨宛	金井之恭	井上馨	明治 年3月22日		印章届ケ添書				「353 金井之恭書牘」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
354	加藤伯書牘				1巻	加藤高明書翰 8通				詳細は354-1~8参照	
354-1	加藤高明書翰 井上馨宛	加藤高明	井上馨	明治 年2月15日		英リバープール名誉領事ボース著書贈呈添書				「354 加藤伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第11冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
354-2	加藤高明書翰 陸奥大臣宛	加藤高明	陸奥大臣	明治25年8月16日		外務大臣就任慶賀 永井久一郎地方長官志願 前内閣ニテ候補者タリ 井上伯へ周旋願ウ				「354 加藤伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第11冊
354-3	加藤高明書翰 井上馨宛	加藤高明	井上馨	明治 年7月14日		鯨島へ伝言拝承 本日風邪ニテ不参				「354 加藤伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第11冊
354-4	加藤高明書翰 井上馨宛	加藤高明	井上馨	明治23年9月29日		大蔵省参事官就任挨拶				「354 加藤伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第11冊
354-5	加藤高明書翰 井上馨宛	加藤高明	井上馨	大正3年8月27日		澳国大使本国政府訓令ニヨリ旅券ヲ請求ニツキ交付 在澳帝国大使へ同国引揚ゲヲ電訓セリ				「354 加藤伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第11冊
354-6	加藤高明書翰 井上馨宛	加藤高明	井上馨	明治 年5月25日		アーネスト・サトーノタメノ晩餐会招待拝受				「354 加藤伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第11冊
354-7	加藤高明書翰 井上馨宛	加藤高明	井上馨	明治32(カ)年6月2日		英国ヨリ持帰りノ粗品呈上				「354 加藤伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第11冊
354-8	加藤高明書翰 井上馨宛	加藤高明	井上馨	明治 年12月6日		書類返却礼状				「354 加藤伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第11冊
355	河瀬子・塩田三郎・郷男・松田男書牘				1巻	河瀬真孝書翰 3通 塩田三郎書翰 1通 郷純造書翰 3通 松田正久書翰 1通				詳細は355-1~8参照	
355-1	河瀬真孝書翰 三条殿下宛	河瀬真孝	三条殿下	明治 年2月21日		病臥中熟考転任才断リイタシタシ 出来得レバ廻在希望 明春退官希望 コノ度ノ一件再考願ウ				「355 河瀬子・塩田三郎・郷男・松田男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
355-2	河瀬真孝書翰 井上馨宛	河瀬真孝	井上馨	明治22(カ)年7月15日		小生帰任延引 英政府ヨリフレザー氏へ訓令来月着ノ予定 ソノ後ノ模様判明ノ上ニテ発程				「355 河瀬子・塩田三郎・郷男・松田男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第13冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
355-3	河瀬真孝書翰 井上馨宛	河瀬真孝	井上馨	明治32(カ)年11月8日		才約束ノ別紙送付供覧 コノ内満洲横架鉄道記ハ小生見解ニ重要関係アレバ追加 政略意見中行政整理説一読願ウ 対露考ハ一昨年ノ旅順口事件ニ起因シ昨秋陳述セシ鄙見ノ記述ナリ				「355 河瀬子・塩田三郎・郷男・松田男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
355-4	塩田三郎書翰 井上馨宛	塩田三郎	井上馨	明治 年12月22日		吉田大輔熱海湯治行 年末繁忙中支障アラン延期然ルベシ				「355 河瀬子・塩田三郎・郷男・松田男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
355-5	郷純造書翰 井上馨宛	郷純造	井上馨	明治 年2月9日		条卿書改メ横物ニテヨキヤ				「355 河瀬子・塩田三郎・郷男・松田男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
355-6	郷純造書翰 井上馨宛	郷純造	井上馨	明治 年6月27日		砂糖一件加藤へ申含メリ 伊藤先生帰京面談申入レ了承ノ返電アリ 相統一条松方へ申し遣スベシ				「355 河瀬子・塩田三郎・郷男・松田男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
355-7	郷純造書翰 井上馨宛	郷純造	井上馨	明治42年12月10日		倅誠之助懇命ヲ蒙リ感謝 平信				「355 河瀬子・塩田三郎・郷男・松田男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
355-8	松田正久書翰 井上馨宛	松田正久	井上馨	明治 年2月1日		礼状				「355 河瀬子・塩田三郎・郷男・松田男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第16冊
356	能久親王・九条公・徳大寺公書翰				1巻	白川宮能久親王書翰 1通 九条道孝書翰 1通 徳大寺実則書翰 6通 山岡鉄太郎書翰 2通				詳細は356-1~10参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
356-1	北白川宮能久親王書翰 井上馨宛	北白梅宮能久親王	井上馨	明治16年9月8日		独アルベルヒト殿下日光行予定通り 拙官会葬後日光へ行き案内イタスベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「356 能久親王・九条公・徳大寺公書翰」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
356-2	九条道孝書翰 杉孫七郎宛	九条道孝	杉孫七郎	明治 年6月11日		内示ノ御筆物送付				「356 能久親王・九条公・徳大寺公書翰」（1巻）の内	冊子複製版第16冊
356-3	徳大寺実則書翰 井上馨宛	徳大寺実則	井上馨	明治12年10月10日		独逸皇孫御招キ十五日二治定 時刻・通知・陪食・会場ニツキ意見伺イタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「356 能久親王・九条公・徳大寺公書翰」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
356-4	徳大寺実則書翰 井上馨宛	徳大寺実則	井上馨	明治14年2月21日		八王子付近行幸ノ際御獵ノ猪肉呈上				「356 能久親王・九条公・徳大寺公書翰」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
356-5	徳大寺実則書翰 杉宛	徳大寺実則	杉	明治 年4月23日		井上伯二替リテ三浦梧楼子陪食通知				「356 能久親王・九条公・徳大寺公書翰」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
356-6	徳大寺実則書翰 井上馨宛	徳大寺実則	井上馨	明治26年1月16日		奏上ノ予算案減額一件 演説日取り通知アリタシ				「356 能久親王・九条公・徳大寺公書翰」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
356-7	徳大寺実則書翰 井上馨宛	徳大寺実則	井上馨	明治 年10月10日		神功皇后三韓征討二使用ノ弓矢御覽二供セリ				「356 能久親王・九条公・徳大寺公書翰」（1巻）の内	冊子複製版第28冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
356-8	徳大寺実則書翰 井上馨宛	徳大寺実則	井上馨	明治 年10月5日		参内拝謁日取り通知				「356 能久親王・九条公・徳大寺公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
356-9	山岡鉄太郎書翰 井上馨宛	山岡鉄太郎	井上馨	明治 年7月28日		石坂周造親民社設立賛同願イオリ 許容調印願ウ				「356 能久親王・九条公・徳大寺公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
356-10	山岡鉄太郎書翰 井上馨宛	山岡鉄太郎	井上馨	明治 年5月5日		送金添状				「356 能久親王・九条公・徳大寺公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
357	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治5年9月14日		維新回天ノ業ヲ回顧 一新後ノ推移事志ト相違 国書再請ノ議ニ見ル一跌復スベカラズ 欧米ノ今日アルト吾レノ今日トノ相違 森山弁務使ノ証言 慨嘆ノ至リ 兵部省文武兼任元帥設置ノ伝説 山県ヘモ愚意陳述			『木戸孝允文書』収載	「357 木戸公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
357	木戸公書翰 巻一				1巻	木戸孝允書翰 1通				詳細は357-1参照	
358	木戸公書翰 巻二				1巻	木戸孝允書翰 6通				詳細は358-1~6参照	
358-1	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治4年10月15日		前途ヲ推考スルニ彼レ我ガ理ニ随ウトキハソノ道理ヲ聞カザルヲ得ズ 老兄ノ説ヲ矯メントスルニハ非ズ 老兄ノミ官地ヲ去ルハ不可能 自分ニ於テモ黙視出来ズ ナオ勘考ヲ乞ウ			『木戸孝允文書』収載	「358 木戸公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
358-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治4年10月18日		福地ノ主意ヲ聞クニ頼モシ 老兄股肱ニ適任 大隈ヘ入説セントコ口同意ナレド既ニ達シアリテヤムナシ 自分同行中ニアレバ心強ケレド大蔵省ニモコノ位ノ人材必要ナラン			『木戸孝允文書』収載	「358 木戸公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
358-3	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治4年10月19日		福地論精々尽力 伊藤ノ論モ一理アレド残留ノ都合ニ努カセン 伊藤ヨリ大久保ヘ論ジ老兄ヘ示談アラン 都合通リトナラバ薩生上野派遣ハ如何 仏語出来ル者心当リナキヤ			『木戸孝允文書』収載	「358 木戸公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第13冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
358-4	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治6(力)年11月8日		征韓論蔓延薩論モ沸騰 学者説ハ現実ヲ理解セズ 諸新聞ノ不平論征韓論ヲ利ス 一大乱ハ必至 自分モ討死覚悟 一昨夜青山火薬庫ニ侵入者アリ			『木戸孝允文書』記載	「358 木戸公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
358-5	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治7年11月10日		支那問題平和二治定ノヨシ芳梅ヨリ聞ケリ 支那償金ニテノ決局ナレバ一応面目立ツモ以後外征ハ止メタシ 国内ノ進歩ヲ勉強肝要 驕慢先生等僥倖ヲアテニ再度ノ企テナキヨウアリタシ償金額・会計上ノ損益衆知セシメタシ 後來ノ防禦トナラン			『木戸孝允文書』記載	「358 木戸公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
358-6	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年3月2日		板垣未着ナリヤ 電報模様ニテハ来着アルハズナリ			『木戸孝允文書』記載	「358 木戸公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
359	木戸公書翰 巻三				1巻	木戸孝允書翰 7通				詳細は359-1~7参照	
359-1	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年6月18日		板垣一条他ヨリ手段ヲ構ゼリ 昨日後藤へ面会 今日ノ情勢示談制度上異論ナカラン イツモ日陰ノ周旋ノミニテ困却			『木戸孝允文書』記載	「359 木戸公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
359-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年6月24日		阿州邸ニ傍聴人連中集メ民権論ヲ主張ノ流説 小室主謀ノウワサ 内実才知ラセズウ 小室へハ内密			『木戸孝允文書』記載	「359 木戸公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
359-3	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年6月25日		(前文欠) 傍聴人集メ小室主謀ト見ラレ面白カラズ 東京府知事へ同人論異存ナケレバ政府内ニ風評アリテハ宜シカラズ 小室主謀自分ハ信ゼズ			『木戸孝允文書』記載	「359 木戸公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
359-4	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年6月25日		間違判明益々残念 議院ニテモソノ評判 明日モ第二会開催ウワサ 県令共云イ合エリ			『木戸孝允文書』記載	「359 木戸公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第13冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
359-5	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年7月4日		小室一条聞合せ乞ウ 傍聴人ヲ阿州邸二集メ民権論議 有司ノ主意不通 県令・傍聴人ナド不適実ノ主張ナドアリテハ罪禍大ナリ 長府ノ三吉・鳥山民権論荷担ノヨシ 梶山カラナリ論破アルヨウ指令願ウ			『木戸孝允文書』記載	「359 木戸公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
359-6	木戸孝允書翰 陸奥宗光宛	木戸孝允	陸奥宗光	明治8(力)年7月19日		今夕光来ノヨシ 四時ヨリ約アリ井上邸ニテオ待ちセン			『木戸孝允文書』記載	「359 木戸公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
359-7	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年7月30日		頑翁一条親論ノ必要アレド漏洩シテハ不都合 条先生ノ処分ニカカリ尤モ秘事 小室ヨリ古沢へ頑翁防ギ能ワズトカノ一書アリ 板垣・陸奥へ問合せ 陸奥来訪ニツキ知ラヌト答エタリ コノ辺オ含ミ乞ウ			『木戸孝允文書』記載	「359 木戸公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
360	木戸公書翰 巻四				1巻	木戸孝允書翰 9通				詳細は360-1~9参照	
360-1	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8(力)年 月 日		全テ八世ノタメ人ノタメ大久保・伊藤モ少々ノ相違ハ我慢ガ肝要 序イデニ諷諭アリタシ 身上一条オ引受ケ然ルベシ 山田司法大輔へ相談イタスヨウイイ置ケリ(日付以下欠)			『木戸孝允文書』記載	「360 木戸公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
360-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年5月24日		大島課長ノコト山田ヨリモ相談アリ 工夫ナケレバ氣遣アルマジト伊藤トモ相談 立木トテ大島・池田ノ上ニ立ツコトムツカシ 池田ヲ大島ノ上トナスモ同断 司法中兎角自分ラガ兄ヲ保護スル受合イアリ腹立タシ 大島一条ヤムヲ得ザルカ			『木戸孝允文書』記載	「360 木戸公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
360-3	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年5月25日		杉ヨリ高輪邸ノ一冊廻付 柏村ナドノ評議ソノ中ニハ無根説モアリ 清覚院ノ金云々 高輪評議埒ナキニツキー冊杉へ返却			『木戸孝允文書』記載	「360 木戸公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
360-4	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年5月27日		大木二逢イタラバ内談ノツモリ コノ一事早急ニ運ビタシ 公明ノコトモ思ウニマカセズイマイマシ			『木戸孝允文書』記載	「360 木戸公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第13冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
360-5	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年6月5日		元老院章程大権制限ノ箇所アリ 漸次立憲政体制立ノ主旨ナルニ一度ノ会議モナク元老院ノ権ヲ要求スルハ不都合 張本ハ陸奥実現セザレバ辞職ニ至ルベク 陸奥ナド自重望マシ			『木戸孝允文書』収載	「360 木戸公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
360-6	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年6月7日		(前文欠) 顧問ト八思イ寄ラザルベシ 切迫事情不明 形勢才知ラセゴウ			『木戸孝允文書』収載	「360 木戸公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
360-7	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年6月7日		元老院章程一条破裂力 板垣ナドト離レザルヲ得ザルカ コノ辺条理明白ニセズバ信義立タズソノ筋一同ニ陳述セン			『木戸孝允文書』収載	「360 木戸公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
360-8	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治 年 月 10日		来示敬承 文部御尤モナレド或イハ少違アランカ			『木戸孝允文書』収載	「360 木戸公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
360-9	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8(力)年6月16日		明日ノ処承知 会議ノ都合差繰リ参上スベシ			『木戸孝允文書』収載	「360 木戸公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
361	木戸公書翰 巻五				1巻	木戸孝允書翰 9通				詳細は361-1~9参照	
361-1	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8(力)年2(力)月28日		先日来ノ奔走本日ハ如何ト待チオレド板垣未着ナレバ別段ノコトアルマジ 明日大久保へ参リ先夜話ノ通りノ都合ニイタスベシ				「361 木戸公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
361-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年3月29日		政体書取調済三条公へ提出 阿州邸会合小室・陸奥ヨリ通知アレド脳痛ニテ行ケズ 約束書陸奥へ返却 後害懸念アレバ添削ノ分陸奥へ申入レ 老兄身上司法事面倒暫ク見合せ願ウ			『木戸孝允文書』収載	「361 木戸公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
361-3	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年3月30日		頭痛難儀 制度変革取調済三条公(後文欠)				「361 木戸公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第13冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
361-4	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年4月10日		板垣条公へ面会 後藤・副島御召シノ使差立テ要求 条公困却 板垣不遜驚クベシ 小室へ論ジ込ミ願ウ 大久保知りタラバアキレルベシ			『木戸孝允文書』収載	「361 木戸公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
361-5	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年4月18日		カノ一条思ウニ任セズ氣ノ毒 近ク帰坂トカ 覚悟云々ハ思イ過ギニ非ズヤ 奉職後ノ民会並ニコノ一条安心ナラズ ヨリテ苦心周旋中ナリ			『木戸孝允文書』収載	「361 木戸公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
361-6	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年4月24日		後藤ノ論板垣へ話シ議長ハ議員選挙トセリ 諫早同志出京ヲ主張セシモ自分反対 併シ都下ノ形勢ヲ知ラシムルニ利アリ コレ又金ノ都合アリ県庁ノ見込ミニ従ワザルベカラズ(後文欠)			『木戸孝允文書』収載	「361 木戸公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
361-7	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年4月 日		参院後板垣ト論争 先々真ノ立法官トナルベキ端緒ヲ開キシモノ 板垣ノ天皇ト同等ノ権ヲ付与スルトナスハ不可(後文欠)			『木戸孝允文書』収載	「361 木戸公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
361-8	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8(力)年4月29日		今日八御高配ヨロシク依頼 高輪へ参上 柏村・山県・宍戸・遠藤			『木戸孝允文書』収載	「361 木戸公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
361-9	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8(力)年 月 日		伊藤へ才伝言伝エタリ 板垣ト申合セ三条へ申入催促セリ コレ以上ノ見合せ出来ズ別紙ノ如クニテハ如何 陸奥へ相談ノ余裕ナクヨロシク才計イ乞ウ			『木戸孝允文書』収載	「361 木戸公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
362	木戸公書翰 巻六				1巻	木戸孝允書翰 5通				詳細は362-1~5参照	
362-1	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治3年10月29日		佐倉県大参事呈出 両総地情供覧			『木戸孝允文書』収載	「362 木戸公書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
362-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治3年12月15日		前聞アルモ意外ノ世説 大隈一人出過ギニテ転覆ノ危険 人ニ知ラレヌ苦心多シ 貴兄才出ニツイテ注目アリ 当分ハ爪ヲカクサルル用心アルベシ			『木戸孝允文書』収載	「362 木戸公書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第13冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
362-3	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治4年6月25日		大隈カラモ内論アリ 卿輔トモ回議 尽カアルコトユエ暫時御請ケスルコトトナレリ 此余ノ運ビ肝要ナレバ大隈ヘモオ談シ願ウ 諸氏ノ考工書集メ一冊トスル主意ニツキ伊藤ヨリ出デシコト厳秘ノコト			『木戸孝允文書』記載	「362 木戸公書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
362-4	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治4年7月3日		竹田額拝借願 時山繁平			『木戸孝允文書』記載	「362 木戸公書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
362-5	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治4年9月17日		(前文欠) 工部大輔拜命ノトコロ大蔵卿反対ノヨシ 従ツテ後藤・河瀬動キガタシトカ 卿ヘハ老兄ヨリ説得イカガ コノママニテハ河瀬侍従長仰付ケラレ 野村靖等申入レ種々ノ邪案出来ノオソレ 紛乱ノモトトモナルベシ			『木戸孝允文書』記載	「362 木戸公書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
363	木戸公書翰 巻七				1巻	木戸孝允書翰 5通				詳細は363-1~5参照	
363-1	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年10月30日		青江来訪長談 五百金入用ニテ老兄ヘ周旋依頼 迷惑千万ナレド参上ノ際ハ指揮乞ウ			『木戸孝允文書』記載	「363 木戸公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
363-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年10月31日		別紙彼ノ考工ノママ認メタルモノ 今朝供覧ノ分トモ老兄一存ニテ取捨サレタシ			『木戸孝允文書』記載	「363 木戸公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
363-3	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年11月8日		情実ニ負ケ出京奉職ヲ後悔 事志相違辞職ヲ決意 左大臣云々ニツキ出勤オ勸メアレド前途期待ナシ 左大臣ヲ防グノ難題ノ上朝鮮一条薩ト陸軍中ニ一大混雑醸成 大山弥介 良策ナクシテ今日ノ苦界心事推察乞ウ 福沢ヘ自分心事オ洩シ乞ウ			『木戸孝允文書』記載	「363 木戸公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
363-4	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8(カ)年 月 日		岡本二面会林有造云々話シタシ 朝鮮一条一旦同意此ノ上ハ諫死ナリ苦死ナリ約束通リイタスベシ 自分心事ヲ尽クスコト能ワズ遺憾千万(後文欠)			『木戸孝允文書』記載	「363 木戸公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第14冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
363-5	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治9年1月18日		電報ニテ野靖出先へ差越ス由只今来訪 平生弟等希望ノ無火談判ハ困難ノ模様 不幸鉄火ニ及ババ共ニ奔走イタスベシ 神戸ヨリノ手紙到着 関口出京協同会社相談 中野一代ニテ瓦解ハ残念 防長人民ノタメ尽カイタスベシ			『木戸孝允文書』収載	「363 木戸公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
364	木戸公書翰 巻八				1巻	木戸孝允書翰 5通				詳細は364-1~5参照	
364-1	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治9年4月5日		熟考心願通り貫徹ヲ決意 グズグズイウヤカラトハ絶交モ辞セザルノツモリ			『木戸孝允文書』収載	「364 木戸公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
364-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治9年6月15日		洋行一条高配感謝 岩倉へ交渉条公ヨリ連絡ナシトテ確答ナク困却 渡航ノ際ハ英語ヲ解スル人物ヲ求メタシ 金不足ナレバ自分一人足レバ妻同行セン 妻支度ノコト 高木へ電報ノ予定ソノ他			『木戸孝允文書』収載	「364 木戸公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
364-3	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治9年9月3日		(前文欠) 近況報告			『木戸孝允文書』収載	「364 木戸公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
364-4	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治4年8月21日		自分歎願一条此上モ尽力乞ウ 全体ノ調和ヲ念願スレド何事モ意外ノミ 芳梅一条氣ノ毒今日ノ損益ニカカワルコト 大隈ヨリ聞キオクベシ			『木戸孝允文書』収載	「364 木戸公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
364-5	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允		明治6年1月7日		母堂病氣見舞				「364 木戸公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
365	木戸公書翰 巻九				1巻	木戸孝允書翰 7通				詳細は365-1~7参照	
365-1	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年3月3日		来示了承 明日参上セン コノ返事披見運動才休ミカ			『木戸孝允文書』収載	「365 木戸公書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第13冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
365-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年3月7日		集会連相揃イ板垣相談済ミノコト申出 初発ヨリ全備ヲ求ムルノ工合 板垣ト別席ニテ論ジ大体ノ決末ヲ得タリ 浪華ニテ相談ノ通り目的達成ニハ人ノ説ヲ聞ク要アリ 小室・岡本・古沢ト相談アレ 板垣ノイウ英ノ政体独ノ大政事家ナドモ真似ハ出来ズトイエリ 小室・古沢カラノ聞キカジリトノ嘲笑ハ不可 板垣参内ソノ前ニ参内ノツモリ			『木戸孝允文書』収載	「365 木戸公書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
365-3	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年3月9日		(前文欠) 自分奉命ニツキ板垣へ通知スベキヲ失念 兄ヨリ通報シテイタダキ感謝			『木戸孝允文書』収載	「365 木戸公書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
365-4	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年3月13日		陸奥来訪 肝要ノ目的順序ヲ話セシ処異論ナシ 彼ノ論ヲ聞クトコロハ脇ニ落チズ 板垣ニ面会陸奥へ話セシ条理ヲ論ジタルトコロ異論ナク了解ノ模様 今日八大久保・板垣・伊藤来集			『木戸孝允文書』収載	「365 木戸公書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
365-5	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年3月15日		先夜ノ内密談奏聞ソノカカリ拳命ノヨシ 種々ノ人物参加ハ不可 伊藤関係ノミニテ取調べ然ルベシ 板垣等人数ヲ入レタガリ コノコト説得アリタシ			『木戸孝允文書』収載	「365 木戸公書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
365-6	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年3月16日		雨天順延ノ相談			『木戸孝允文書』収載	「365 木戸公書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
365-7	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年3月25日		来示了承 道理ヲ通スコト困難 発表ノ上ハウマクユクヨウ希望 人ノ都合ニヨル制度故一面ハ弱シ 制度ノ妙ハ平均ニアレド運用困難 制度ノ改変人常トナス 此度ノコト痛心			『木戸孝允文書』収載	「365 木戸公書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
366	木戸公書翰 巻一〇				1巻	木戸孝允書翰 5通				詳細は366-1~5参照	
366-1	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治9年3月4日		帰朝大賀 分離論朝鮮一条ニテ延引 大臣参議辞職一時ノ艱難 参議廃止省卿ノミニテ右院会議同様大臣ヲ助クレバ支障ナカラン 自分ノ宿志実現 尽力懇望			『木戸孝允文書』収載	「366 木戸公書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第14冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
366-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治9年3月10日		品川ノ話ノ次第承知 自分病弱遺憾昨年来ノ大意説明セリ イカヨウノコト耳二人ルトモ素志貫徹方依頼			『木戸孝允文書』収載	「366 木戸公書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
366-3	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治9年3月15日		顧問ノ名重シ 宮内出仕ナレバ幾分力用ニ立ツベシ 顧問トイエバ至尊左右ニアル無用ノ長物ナラン 洋行云々大久保ナドニ病氣ヲ理由ニ勝手ヲイウトトラレテハ心外 福地			『木戸孝允文書』収載	「366 木戸公書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
366-4	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治9年3月19日		万一モ参議ノ名目被リテハ大変 軽狭ノ名目ヲ希望 洋行自分等前途ナキ者ノ視察旅行ハ遠慮スベキカ			『木戸孝允文書』収載	「366 木戸公書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
366-5	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治9年4月2日		自分身上配慮多謝 一新以来大綱大果断ナクテハ成リ立タズトモ着実漸進ヲ主張 薩論ニ対シテモ中間ニテ痛心 洋行前後トモ不満使節奉命ヲ後悔 自説入レラレズ薩説一ツノバアーチイヲ成セリ 自分ヲ立タシムルハ外面ノミ 故ニ一昨年辞職昨春意ヲマゲ出京後モ蹉跎ノミ 今日ノ顧問一先ツ受ケ西京ニ幽栖ノツモリ			『木戸孝允文書』収載	「366 木戸公書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
367	木戸公書翰 巻一一				1巻	木戸孝允書翰 9通				詳細は367-1~9参照	
367-1	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8(力)年7(力)月 日		先月二六・二七日板垣宅へ県令招待 小室同席民権論煽動ノヨシ不審千万 (後文欠)			『木戸孝允文書』収載	「367 木戸公書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
367-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8(力)年7(力)月 日		(前文欠) 近年不愉快ノコトノミ 倒底見込ミナケレバ先鞭ヨロシカラント大久保・板垣へ意見吐露 島津云々ニテ又論ジ込マレ心外 (後文欠)			『木戸孝允文書』収載	「367 木戸公書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
367-3	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年10月2日		福ソノ外集會日取り田中文部ヨリ通知 必ず出席アリタシ			『木戸孝允文書』収載	「367 木戸公書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第14冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
367-4	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年10月6日		立腹モットモ 大久保へオ話し自分モ論ジ大齟齬ヲ来シテハ自分洋行思イ寄ラズ 安場ナドノ妄動予期シガタキガ常 大久保へ談ジ込ミ至当			『木戸孝允文書』収載	「367 木戸公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
367-5	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年10月13日		(前文欠) 前途気ガカリ多く打合セイタシオキタシ 林有造二十分論談アリタシ			『木戸孝允文書』収載	「367 木戸公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
367-6	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年10月20日		大隈一条承知ノ目的将来ノ為メナレバ面会ノ必要ナシ 今日ノ形勢斃ルルマデヤリ抜クベシ			『木戸孝允文書』収載	「367 木戸公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
367-7	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年10月23日		本日二時前オ訪ネスベシ			『木戸孝允文書』収載	「367 木戸公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
367-8	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年10月26日		配慮感謝 条理尽シタキ心事達スレバ安心 小室へ致声乞ウ			『木戸孝允文書』収載	「367 木戸公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
367-9	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年10月29日		青江申来ラバ貸渡シ乞ウ 林有造 在野オ役ニ立ツベシトイエドモ強イテ出京 結果ハ不愉快ノミ 廟堂同意ノ者ナク一身ダケノ了簡ニテアリ			『木戸孝允文書』収載	「367 木戸公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
368	木戸公書翰 巻一二				1巻	木戸孝允書翰 4通				詳細は368-1~4参照	
368-1	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治2年5月9日		久保東上ノ件 新金ソノ外此ノ際ノ得失アリ 締結ノ気脈如何ト懸念 当秋久保上京然ルベシ			『木戸孝允文書』収載	「368 木戸公書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
368-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治3年10月25日		自分意見申上ゲソノ後齟齬ナク結構 山県モ異論ナキモヨウ 三浦採用トナルベク鳥尾八次ノ機会トナルベシ 西隅ノ一条歎ズベシ 大久保モ藩ニハ容レラレザルベク自分モ同様 横山上書ニ拠レルノミ			『木戸孝允文書』収載	「368 木戸公書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第13冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
368-3	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治4年6月16日		別冊江藤持参 写シヲ取り老兄・春畝へ廻覧ノ依頼ナレド原本ノママ供覧江藤他見無用トノ依頼ナリ			『木戸孝允文書』収載	「368 木戸公書翰 卷一二」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
368-4	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治 年3月15日		書翰受取り状				「368 木戸公書翰 卷一二」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
369	木戸公書翰 卷一三				1巻	木戸孝允書翰 4通 (内1通 杉孫七郎書翰)				詳細は369-1~4参照	
369-1	木戸孝允書翰 世外・素狂・梧楼宛	木戸孝允	世外・素狂・梧楼	明治4年3月26日		井上兄帰藩不明ノママ着手会計分ラズ困却 九州辺不明取締立タズ 布令モ反古同様 山口藩二委任予定ノトコロ薩ヨリ九州出兵申立テ日田ヨリ報知アリ 西郷帰藩後今ナオ事情不明 薩藩踏入リ三藩ノ形齟齬ヲ来セシハ遺憾 筑前一条如何ナル評決ナリシヤ 藩内俗論ツマリハ禄ヲ万世二伝工ンノ一念			『木戸孝允文書』収載	「369 木戸公書翰 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
369-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治4年10月13日		昨今ノ様子如何 岡山県大参事八木忠澄 新庄厚信 後藤洋行然ルベシ 小幡彦七 谷某秋田県ヨリ懇望 三浦安洋行費				「369 木戸公書翰 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
369-3	杉孫七郎書翰 井上家橋本宛	杉 孫七郎	井上家橋本	年6月30日		木戸書簡買戻シノ件				「369 木戸公書翰 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
369-4	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治4(力)年 月 日		(前文欠) 御堀長崎マデ帰来 胸痛難儀ノヨシ 河野亀太郎出崎 (後文欠)				「369 木戸公書翰 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
370	木戸公書翰 卷一四				1巻	木戸孝允書翰 8通				詳細は370-1~8参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
370-1	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治6(カ)年 月 日		(前文欠) 昨年ヨリ輸入超過 金貨流出 朝鮮二事アリ金持子金銀貨ヲ蔵庫 東洋銀行ナド兵器買入レヲ見込ミ金貨買占メ コノニツハ朝鮮平和ヲ以テ解消 古金貨大蔵省買上ゲ繁雜ナレバ西洋人ノ許へ持手込ム 紙幣下落挽回策アリヤ 大蔵卿意見ニテハ貿易形況変エザレバ挽回不能				「370 木戸公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
370-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8(カ)年4月2日		彼ノ一条云々ナルベク八円満解決ヲ希望 ソノ見込立タザル以上八破裂ヲ覚悟板垣へ内談 コノ経過不満アルベケレドモ容赦ヲ乞フ				「370 木戸公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
370-3	木戸孝允書翰 小室宛	木戸孝允	小室	明治7年1月20日		建白書八新事誌上ニテ拝見板垣一条同県人ノコトニテ傍観セシモ再思別紙建白ス為ニ警保察沸騰ス 供覧一読乞フ				「370 木戸公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
370-4	木戸孝允書翰 小室宛	木戸孝允	小室	明治7年4月19日		ソノ節才願イセシ通り漏洩ノ注意アリタシ				「370 木戸公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
370-5	木戸孝允書翰 小室宛	木戸孝允	小室	明治8年6月12日		来示了承 本日井上二面会予定 同人ヨリモ承ルベシ				「370 木戸公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
370-6	木戸孝允書翰 小室宛	木戸孝允	小室	明治8(カ)年10月25日		井上尊宅へ参上ノハズ 委細井上ヨリオ聞き取り板垣氏へ伝達乞フ 今朝申上ゲシコトト齟齬ヲ恐ル				「370 木戸公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
370-7	木戸孝允書翰 小室宛	木戸孝允	小室	明治7年1月18日		昨日板垣へ面会 老兄ヨリ噂アリシヨシ感謝 帰国前面会イタシタシ				「370 木戸公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
370-8	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治9年9月26日		近況 三条・伊藤・山県・寺島・黒田・陸奥等北海道行 宮本朝鮮派遣条約取結ビ帰国 朝鮮ヲ中二魯・英角逐 本邦貿易景況 萩城下養蚕ノコト ソノ他			『木戸孝允文書』収載	「370 木戸公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
371	木戸公書翰 卷一五				1巻	木戸孝允書翰 7通				詳細は371-1~7参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
371-1	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治 年 月 日		礼状（後文欠）				「371 木戸公書翰 巻一五」（1巻）の内	冊子複製版第14冊
371-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年8月30日		証文			『木戸孝允文書』収載	「371 木戸公書翰 巻一五」（1巻）の内	冊子複製版第14冊
371-3	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年5月6日		翡翠ノ水指ノ件			『木戸孝允文書』収載	「371 木戸公書翰 巻一五」（1巻）の内	冊子複製版第13冊
371-4	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年5月6日		平岡来蔵 司法云々都合ヨク運バント好望ノトコ口 差略ノミニテ心配 大木へ催促 裁判官 繰替工大審院相立チ近ク着手 山田へモ依頼 河野二面会 同人底意ハナシ			『木戸孝允文書』収載	「371 木戸公書翰 巻一五」（1巻）の内	冊子複製版第13冊
371-5	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8年7月25日		参堂通知			『木戸孝允文書』収載	「371 木戸公書翰 巻一五」（1巻）の内	冊子複製版第14冊
371-6	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治9年5月11日		自分一条博文へハ口外セズ 品川ノ厚意ニ任ス成就セズバ天運トアキラメ今冬マデ我慢 志ヲ遂ゲザル時ハ出立前一押し願ウ				「371 木戸公書翰 巻一五」（1巻）の内	冊子複製版第14冊
371-7	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治9年12月6日		横山区長一件 熊本・秋月・前原一党暴発始末 薩摩ノ状勢 土族禄処置等ニ対シテ心事吐露			『木戸孝允文書』収載	「371 木戸公書翰 巻一五」（1巻）の内	冊子複製版第14冊
372	北垣男書牘				1巻	北垣国道書翰 4通				詳細は372-1~4参照	
372-1	北垣国道書翰 井上馨宛	北垣国道	井上馨	明治18年12月8日		東本願寺財務両法主へ忠告 新法主御礼ノ為メ東上ノ予定ノトコ口病氣 父子書面ニテ決心披瀝 委細渥美契縁ヨリオ聞キノ上配慮願ウ 将来宗教 拡張ハ東西本願寺ニ期待 法主以下鞭達アリタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「372 北垣男書牘」（1巻）の内	冊子複製版第15冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
372-2	北垣国道書翰 井上馨宛	北垣国道	井上馨	明治26年5月31日		近衛公爵二愚見開陳 地方行政担当ヲ從添 函館区民閣下ノ来道ヲ待望 土地貸下一条山師連悪口 大井上典獄地質技師ヲ帯同工トロフ渡航 自由党・改進黨共ニ視察来道 改進黨伯八函館ニ注目 郡司大尉探險危険			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「372 北垣男書牘」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
372-3	北垣国道書翰 井上馨宛	北垣国道	井上馨	明治26(カ)年8月28日		予算調成ノ書類携帯財務部長差出シタリ 禁伐林調査ノタメ他事業減額委細財務部長ヨリ才聞キ取り乞ウ ソノ他			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「372 北垣男書牘」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
372-4	北垣国道書翰 井上馨宛	北垣国道	井上馨	明治26(カ)年10月9日		屯田兵村組織陸軍大臣・参謀本部次長ヘ示談イタダキ改正方針確立 二七年度中ニ立案立タン 室蘭港炭鉱鉄道会社請願書ト御料林一条評議願ウ御料林ノ件宮内大臣ニ直接談ジテヨロシクレバイタスベシ 坂本則美			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「372 北垣男書牘」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
373	清浦子・平田伯書牘				1巻	清浦奎吾書翰 4通 平田東助書翰 6通				詳細は373-1～10参照	
373-1	清浦奎吾書翰 井上馨宛	清浦奎吾	井上馨	明治 年3月2日		案内請状				「373 清浦子・平田伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
373-2	清浦奎吾書翰 浅田公信局長宛	清浦奎吾	浅田公信局長	明治18年11月28日		大坂・長崎ニテ逮捕ノ旧自由党员朝鮮ニ関スル一件書類別紙写供覧			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「373 清浦子・平田伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
373-3	清浦奎吾書翰 井上馨宛	清浦奎吾	井上馨	明治31(カ)年5月8日		山口県参事官小橋一太紹介				「373 清浦子・平田伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
373-4	清浦奎吾書翰 井上馨宛	清浦奎吾	井上馨	明治25(カ)年12月24日		貴族院ニオイテ保安条例 特別市制廃止案廃案工作 細田・堀両子爵勧誘ノコト了承 堀子八浅草区会議員タリシ関係ヨリ同案反対困難ノモヨウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「373 清浦子・平田伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第15冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
373-5	平田東助書翰 井上馨宛	平田東助	井上馨	明治 年10月31日		下命ノ仏国革命論謄写出来奉呈				「373 清浦子・平田伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
373-6	平田東助書翰 井上馨宛	平田東助	井上馨	明治 年11月1日		別紙密報写呈上 東京日日新聞掲載分供覧				「373 清浦子・平田伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
373-7	平田東助書翰 井上馨宛	平田東助	井上馨	明治17年11月4日		別紙密報写呈上				「373 清浦子・平田伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
373-8	平田東助書翰 井上馨宛	平田東助	井上馨	明治 年9月27日		富山県会議員並二地主ヨリ差出シノ減租請願書写供覧				「373 清浦子・平田伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
373-9	平田東助書翰 井上馨宛	平田東助	井上馨	明治17(カ)年10月30日		郡区役所戸長役場二官報購買セシムルノ件 内務卿ノ意見ハ義務ヨリ愆憑トスルガ穩当ナルベシトナリ 各県令帰県ノ期切迫ノタメ右様訂正印刷セリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「373 清浦子・平田伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
373-10	平田東助書翰 井上馨宛	平田東助	井上馨	明治 年3月25日		差出書類中勅語写洩レ恐縮左右二呈上				「373 清浦子・平田伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
374	児玉愛二郎・高山篤太郎書牘				1巻	児玉愛二郎書翰 2通 高山篤太郎書翰 2通				詳細は374-1～4参照	
374-1	児玉愛二郎書翰 井上馨宛	児玉愛二郎	井上馨	明治 年12月3日		園遊会御礼 別稿供覧	文稿			「374 児玉愛二郎・高山篤太郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
374-2	児玉愛二郎書翰 井上馨宛	児玉愛二郎	井上馨	明治 年11月14日		花田義方推薦				「374 児玉愛二郎・高山篤太郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第15冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
374-3	高山篤太郎書翰 具島栄三郎宛	高山篤太郎	具島栄三郎	明治44年5月25日		井上侯爵別府潜居当時ノ旅宿取調べ報告				「374 児玉愛二郎・高山篤太郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
374-4	高山篤太郎書翰 具島栄三郎宛	高山篤太郎	具島栄三郎	明治44年5月26日		井上侯爵投宿予定問イ合セ				「374 児玉愛二郎・高山篤太郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
375	河野子・白根男・田中子・楠本男・大鳥男書牘				1巻	河野敏謙書翰 1通 白根多助・梶原治人連名書翰 1通 田中不二磨書翰 1通 楠本正隆書翰 1通 大鳥圭介書翰 1通				詳細は375-1~5参照	
375-1	河野敏謙書翰 井上馨宛	河野敏謙	井上馨	明治 年1月6日		ザボン贈呈添書				「375 河野子・白根男・田中子・楠本男・大鳥男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
375-2	白根多助書翰(梶原治人と連名) 井上馨宛	白根多助	井上馨	明治4年6月23日		山口ヨリ送付ノ古金大阪返送明朝運送不能ノ際使送人ニ托スベキヤ ナルベクハ三井へ渡スノ都合ニイタシタシ				「375 河野子・白根男・田中子・楠本男・大鳥男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
375-3	田中不二磨書翰 井上馨宛	田中不二磨	井上馨	明治26(カ)年6月4日		先日内話ノ件 古市君来談高意了承 コノ際ハ辞退イタシタシ				「375 河野子・白根男・田中子・楠本男・大鳥男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
375-4	楠本正隆書翰 井上馨宛	楠本正隆	井上馨	明治26(カ)年3月20日		知事更迭モ書記官ソノママデハ徒尔 警部長・書記官転任ニヨル憂慮ハ小山健三長崎執務ノ経験 適当ノ候補タルベシ				「375 河野子・白根男・田中子・楠本男・大鳥男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第16冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
375-5	大鳥圭介書翰 井上馨宛	大鳥圭介	井上馨	明治15年10月18日		花房公使転出 後任朝鮮公使へ自薦				「375 河野子・白根男・田中子・楠本男・大鳥男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
376	近衛篤磨公書翰				1巻	近衛篤磨書翰 6通				詳細は376-1~6参照	
376-1	近衛篤磨書翰 井上馨宛	近衛篤磨	井上馨	明治 年3月21日		青森県知事更迭 後任古荘嘉門ノウワサ 県下国民・自由軋轢 一方二臭味アル人物ハ不適當考慮アリタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「376 近衛篤磨公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
376-2	近衛篤磨書翰 井上馨宛	近衛篤磨	井上馨	明治26年5月24日		北海道協会評議会二出席感謝 記念祭ノ件京都人別紙ノ通り好都合 東京八徳川公・紀州侯好都合ナルベシ 担任分結果判明ノモノ一報願ウ 西村捨三聞込ミニヨレバ宮内省中内蔵頭二意見アルモヨウ 配慮乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「376 近衛篤磨公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
376-3	近衛篤磨書翰 井上馨宛	近衛篤磨	井上馨	明治26年5月28日		協賛会下賜金 総理大臣へ経済会議開催要請セシモ如何 有栖川宮諾否ナシ明日催促 小沢武雄二面会 小笠原伯二加入並二寄附申入レヨ依頼 井上伯ノ一封ガ望マシト			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「376 近衛篤磨公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
376-4	近衛篤磨書翰 井上馨宛	近衛篤磨	井上馨	明治26年6月3日		協賛会下賜金伊藤伯二テ承リ安心 経済会議確定ナクテハ公表出来カネ他寄付ノ影響急ギタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「376 近衛篤磨公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
376-5	近衛篤磨書翰 井上馨宛	近衛篤磨	井上馨	明治26年6月19日		川田氏尽力ニヨリ紳商連好結果 華族ハ蜂須賀ト手分ケ自分受持前田・津軽・大村賛成 総裁宮招待人員モ決定 明夕帝国ホテル打合せ会ニ出席乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「376 近衛篤磨公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第15冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
376-6	近衛篤磨書翰 井上馨宛	近衛篤磨	井上馨	明治26年6月29日		協賛会尽力感謝 北海道協会ニツキ御願イノ件アリ 面会日時一報願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「376 近衛篤磨公書翰」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
377	小室信夫書牘				1巻	小室信夫書翰 6通（内1通 柏村信書翰）				詳細は377-1～6参照	
377-1	小室信夫書翰 井上馨宛	小室信夫	井上馨	明治 年9月15日		一昨日才話ノ一条決定次第才知ラセ願ウ 衛生局へ出仕製菓所へ出スヨウ願イタシ 長与局長へヨロシク取計イ乞ウ 岩野新平				「377 小室信夫書牘」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
377-2	小室信夫書翰 井上馨宛	小室信夫	井上馨	明治23年12月1日		平信				「377 小室信夫書牘」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
377-3	柏村信書翰 井上馨宛	柏村信	井上馨	明治21(力)年9月18日		藤田差廻シノ約定草案自分異見アレバ付箋ヲ付シ返却 資本金繰出シノ予定別紙 湊川一条加入見送ルツモリ				「377 小室信夫書牘」（1巻）の内	冊子複製版第11冊
377-4	小室信夫書翰 井上馨宛	小室信夫	井上馨	明治27年1月4日		京都鉄道株式会社創立ノ件 閣下ノ高配ヲ仰ギタク創立委員ヨリ依托 別紙陳情書ヲ以テ懇願			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「377 小室信夫書牘」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
377-5	小室信夫書翰 井上馨宛	小室信夫	井上馨	明治27年9月13日		佐藤里治着 小坂善之助ニモ面会予定 佐藤同伴 参上イタシタシ 日時一報乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「377 小室信夫書牘」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
377-6	小室信夫書翰 井上馨宛	小室信夫	井上馨	明治27年10月 日		京都鉄道設立資本一万株不足 帝室引受ケ懇願			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「377 小室信夫書牘」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
378	久原庄三郎・柏村 信・下田歌子書牘				1巻	久原庄三郎書翰 4通 柏村信書翰 1通 下田歌子書翰 2通				詳細は378-1～7参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
378-1	久原庄三郎書翰 井上夫妻宛	久原庄三郎	井上夫妻	明治13年7月6日		房之助結婚二関シ礼状				「378 久原庄三郎・柏村信・下田歌子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
378-2	久原庄三郎書翰 井上馨宛	久原庄三郎	井上馨	明治33年9月15日		房之助婚儀取極メ御礼				「378 久原庄三郎・柏村信・下田歌子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
378-3	久原庄三郎書翰 井上馨宛	久原庄三郎	井上馨	明治33年10月5日		房之助夫婦安着 世話御礼				「378 久原庄三郎・柏村信・下田歌子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
378-4	柏村信書翰 井上馨宛	柏村信	井上馨	明治22(力)年7月24日		厚狭二舎密会社創設ノ件将来ノ見込アリ 山県良蔵児島湾問題落着セズ 予約金用意ノ必要アリヤ 村田庄太郎石炭採掘借区願催促アリ				「378 久原庄三郎・柏村信・下田歌子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第11冊
378-5	柏村信書翰 井上馨宛	柏村信	井上馨	明治28年3月14日		県下・毛利家消息 毛利家政相談				「378 久原庄三郎・柏村信・下田歌子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第11冊
378-6	下田歌子書翰 井上夫人宛	下田歌子	井上夫人	明治18年8月21日		学校開業衣服通知				「378 久原庄三郎・柏村信・下田歌子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
378-7	下田歌子書翰 井上馨宛	下田歌子	井上馨	明治 年6月2日		彼件ソノ後如何 松平家へ着手ノ予定ナレバ浅野家へ嫁セシ姉ノ失敗アリ 余リ大家ヲ希望セズトイウ				「378 久原庄三郎・柏村信・下田歌子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
379	九鬼男書牘				1巻	九鬼隆一書翰 3通				詳細は379-1~3参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
379-1	九鬼隆一書翰 井上馨宛	九鬼隆一	井上馨	明治18(カ)年6月15日		書記生一人同行許サレマジキヤ 右ノ候補者三崎亀之助 三崎八法学士明治日報社説担当 社長丸山八名義ノミニテ三崎へ委任 法学会雑誌編集ニモ従事 海外派遣ノ上外務省有用ノ材トナランカ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「379 九鬼男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
379-2	九鬼隆一書翰 井上馨宛	九鬼隆一	井上馨	明治21(カ)年12月21日		正木退蔵ノ件 本人ヨリ催促早急処置乞ウ 博覧会切迫 出品鑑別申出多ク審査官ノ任命多クヲ要ス 水産部長二鈴木局長力柳少将ヲ推薦 鈴木ニ決定ノヨシ 田中芳男八柳ヲ委員ニ推薦			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「379 九鬼男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
379-3	九鬼隆一書翰 井上馨宛	九鬼隆一	井上馨	明治 年1月24日		秘蔵ノ宝物ノ写真許諾願イタシ 模写ニテ拝見ノ墨徴ノ観音 本邦現存画中第一ノモノ 高野山ニ五菩薩ニ匹敵				「379 九鬼男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
380	黒田伯書牘 卷一				1巻	黒田清隆書翰 11通				詳細は380-1～11参照	
380-1	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治 年6月11日		別冊返上 西郷参議ト自分ヲ妊婦云々 毒薬変ジテ良薬トナルニ近シ				「380 黒田伯書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
380-2	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治 年7月29日		別紙探偵書返上				「380 黒田伯書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
380-3	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治 年8月5日		別紙返上				「380 黒田伯書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
380-4	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治17(カ)年4月30日		昨夕御召シノ旨宮内卿達 所勞ニツキオ断リ 松方来訪病氣ヲ押シ参向スベシト懇懇 既ニオ断リ 濟ミ病氣参向ハ畏レ多シ 松方離宮へ参向都合伺ノ上一報ヲ約ス				「380 黒田伯書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
380-5	黒田清隆書翰 松方宛	黒田清隆	松方	明治18(カ)年12月1日		下命一条伊藤ト示談 同卿ナオ相談セントノコトナリ 同氏承諾期待				「380 黒田伯書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第15冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
380-6	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治24年11月18日		礼状				「380 黒田伯書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
380-7	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年1月28日		別紙熟覧貴慮二同感 重大事件ニテ伊藤伯返事ヲ待望ノ次第			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「380 黒田伯書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
380-8	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年2月9日		松方首相邸ニテノ結果如何 伊藤伯出京ト聞ク模様分リ次第才示シテウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「380 黒田伯書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
380-9	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年3月4日		至急面談ヲ希望 都合ノ時刻垂示乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「380 黒田伯書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
380-10	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年7月13日		礼状				「380 黒田伯書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
380-11	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年2月26日		頃来ノ高配ソノ効ヲ見ズ遺憾 別紙首相ヨリ到達供覧			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「380 黒田伯書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
381	黒田伯書牘 巻二				1巻	黒田清隆書翰 5通				詳細は381-1～5参照	
381-1	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年8月10日		一二日尊来日取り一三日二間違工ザルヤ念ノ為機密金残ニツイテ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「381 黒田伯書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第15冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
381-2	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年8月3日		昨夜両伯ト内議好結果ヲ期待 伊伯ノ意思無理カラズ 賢台ニ非レバ同伯ヲ起タシムル能ワザルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「381 黒田伯書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
381-3	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年8月9日		調所広丈転任前首相松方・前内相品川へ懇請 鳥取県へ転ジ今回安場後へ愛知県希望 ヨロシク取計イゴウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「381 黒田伯書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
381-4	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年8月20日		園田総監教導願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「381 黒田伯書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
381-5	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年8月28日		ハロレスーレ君意見書拝見 外交問題不案内 葡国政府トノ交渉一問題トナラン 賢台・首相外尽力願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「381 黒田伯書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
382	黒田伯書牘 卷三				1巻	黒田清隆書翰 6通				詳細は382-1～6参照	
382-1	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年9月18日		鉄道会議員関係経常費配慮感謝 大審院検事総長 宛山敷宗一上申書拝見 政社法二拘ワラズ困リモノ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「382 黒田伯書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
382-2	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年10月24日		別冊返上 四回国会八厄介 熊本県会議員云々懸念ソノ後如何			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「382 黒田伯書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
382-3	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年11月3日		古沢書状披見供覧 九州日日新聞国権党破壊派色分ケ図進呈			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「382 黒田伯書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第15冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
382-4	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年11月7日		大迫知事来訪 同知事意見拝聴 同意感激二堪工ズ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「382 黒田伯書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
382-5	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年11月8日		国民協会ト宮地・岡本云々ハ難題 賢慮英断ヲ希望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「382 黒田伯書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
382-6	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年12月1日		本日出院セズ失礼 川津次官ヨリ模様承リ伊東書記官長問合せ恐縮			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「382 黒田伯書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
383	黒田伯書牘 卷四				1巻	黒田清隆書翰 6通				詳細は383-1～6参照	
383-1	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年12月4日		品川子来訪懇談 九州地方有志ソノ他疑惑 自身疑心アリトマデ慷慨セリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「383 黒田伯書牘 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
383-2	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治26年3月7日		才手紙並二山県伯書翰拝見 同感遺憾二堪工ズ				「383 黒田伯書牘 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
383-3	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治26年3月11日		井上子表情承知 同氏訪問辞表撤回ヲ懇請 再考老台ニ相談返答トノコト 説諭アリタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「383 黒田伯書牘 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第15冊
383-4	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治26年9月22日		病気見舞御礼 西郷伯別紙持参 困却ノ事態予想スレド成熟ヲ待タン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「383 黒田伯書牘 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第15冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
383-5	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年9月21日		(代筆) 河津次官ヲ以テ願イノ日ノ岬灯台一条同意願ウ 文部大臣ヨリ札幌農学校復活ノ必要同校発起ノ縁故アリ認可切望			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「383 黒田伯書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
383-6	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治25年11月11日		(代筆) 山田伯ノ詳報痛悼 伊藤・山県・大山伯二故人ノ軍功詮議ヲ要望 閣下ノ高配ヲ願ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「383 黒田伯書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
384	日下義雄・原保太郎・周布男・栗野子書牘				1巻	日下義雄書翰 1通 原保太郎書翰 1通 周布公平書翰 1通 栗野慎一郎書翰 1通				詳細は384-1～4参照	
384-1	日下義雄書翰 木戸・井上宛	日下義雄	木戸・井上	明治4(力)年9月30日		駿府動静 人見集学所運営情况 岡崎・桑名動向 桂四郎宛西郷書翰木戸・西郷両名参議トナルノ経緯写 大洲情報				「384 日下義雄・原保太郎・周布男・栗野子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第16冊
384-2	原保太郎書翰 井上馨宛	原保太郎	井上馨	明治25(力)年6月3日		刺客云々警保局長ヘ内報 総理ノ耳ニ達シ閣下警衛下命アリ 中ノ閑移寓 同地ハ取締上ヨロシカラズ シバラク馬関ニ滞在願ウ				「384 日下義雄・原保太郎・周布男・栗野子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
384-3	周布公平書翰 井上馨宛	周布公平	井上馨	明治 年8月11日		病氣見舞 亡父碑文ニツキ再考ノ儀生シ彫刻見合セタシ				「384 日下義雄・原保太郎・周布男・栗野子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第26冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
384-4	栗野慎一郎書翰 井上馨宛	栗野慎一郎	井上馨	明治22年4月5日		来福感謝 演説地人二感銘ヲ与ユ				「384 日下義雄・原保太郎・周布男・栗野子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
385	榎村正直・松田道之書牘				1巻	榎村正直書翰 2通 松田道之書翰 1通				詳細は385-1~3参照	
385-1	榎村正直書翰 井上馨宛	榎村正直	井上馨	明治11(カ)年12月25日		本願寺納金受取書送付 伊勢翁へ御托シノ金落手				「385 榎村正直・松田道之書牘」(1巻)の内	冊子複製版第16冊
385-2	榎村正直書翰 井上馨宛	榎村正直	井上馨	明治12年9月16日		転任敬賀 新田公太刀ノ銘ニツイテ 木屋町買取り邸名義ノ件	最上氏鬼切丸考証 武田信允		「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「385 榎村正直・松田道之書牘」(1巻)の内	冊子複製版第16冊
385-3	松田道之書翰 井上馨宛	松田道之	井上馨	明治6(カ)年3月22日		(前文欠) 東歸ノ期不都合御免 答八東京ニテ申シアグベシ				「385 榎村正直・松田道之書牘」(1巻)の内	冊子複製版第16冊
386	益田男書牘 巻一				1巻	益田孝書翰 5通				詳細は386-1~5参照	
386-1	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治6(カ)年 月 日		今朝御歸東永々失敬仁恕アリタシ 別紙等級ヲ拒ミノ外国人姓名並ニキンドルヘノ書面写 同人書面トモ呈上 東洋銀行異議ナキヨウロベルトソノヨリ談論然ルベシ 定位銀貨支那へ輸出ノコト 東洋銀行へ引合マデ待ツベキヤ				「386 益田男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第16冊
386-2	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治5(カ)年6月24日		新札二〇万円ニテ地金買入レ 損益勘定ハ出納寮ニ任セル件了承 地金人民ヨリ請取り中止後外国人ヨリ請取りノ風説事実無根 ソノ他地金買入レニツイテ				「386 益田男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第16冊
386-3	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治6年5月3日		ツーカー満期帰国 貨幣品位精納ハ彼ノ功少カラズ キンドルトノ不和 ソノ報告				「386 益田男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第16冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
386-4	益田孝書翰 伊藤(カ)宛	益田孝	伊藤	明治12(カ)年 3月30日		地券然ルベク処分願ウ コレヨリ取立期待セズ外 債ノ特典許可アリタシ 地理会渋沢ニ相談金員取 極メタシ				「386 益田 男書牘 巻 一」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊
386-5	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治20年3月 4日		病気見舞 ソノ他平信				「386 益田 男書牘 巻 一」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊
387	益田男書牘 巻二				1巻	益田孝書翰 3通				詳細は387- 1~3参照	
387-1	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治22年10 月23日		辞表呈出ノヨシ 当方ノ景状騒然 末松ヘノ電信 ニテ主意了解 廟議如何ヲ問フズ勇退ノ決意ナル ベシ 佐野常民ト申合セ臨時美術協会開催 建築 費下賜金アリ 出品依頼				「387 益田 男書牘 巻 二」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊
387-2	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治23(カ)年 12月30日		三井家ヘ配慮深謝 高橋ヘ依托ニ決定 銀行ノ取 調べ万事相托シ銀行ニオケル位置モ確定ノツモ リ 穂積博士ノ組織考案モ略出来 三十三銀行人 事 田中工場 水産会社訴訟 紡績会社鉦山 石 田次官養子独留学費三井ヨリ支出帰国後採用ノ 案 ソノ他				「387 益田 男書牘 巻 二」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊
387-3	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治24(カ)年 2月3日		九州ヘ所用途中伺候ノツモリ 昨年後半季決算預 金六百万利益金総額四〇万円以上アリ コノ上ノ 幸福ナル銀行ハナシ 三十三銀行 鐘淵紡績会 社 水産会社 セメント願書等営業報告				「387 益田 男書牘 巻 二」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊
388	益田男書牘 巻三				1巻	益田孝書翰 5通				詳細は388- 1~5参照	
388-1	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治23年2月 24日		三井家ヘ懇情感銘 品川・山県両氏ヨリ示諭ア リ 昨日同苗・重役評定 三十三銀行一条西村独 裁的運用ノ為メノ災難 万事重役ノ衆議ニ抛ルベ シト山県伯勸告 川村・種田財産抵当ニテ五千五 万円支出 合議制ニスルモ根拠ヲ堅メル者望マシ				「388 益田 男書牘 巻 三」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊
388-2	益田孝書翰 古沢滋宛	益田孝	古沢滋	明治24(カ)年 7月13日		日報社ノコト渋沢トモ相談 渋沢八関ノ処置ニ困 却 青木ヨリ鳥居坂ヘ 日報社解散高輪資金取戻 シヲ渋沢ヘ申入レルヨウ取計イヅウ				「388 益田 男書牘 巻 三」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
388-3	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治24(力)年 7月25日		日報社総会 株主二八条野伝平・西田伝助等モアリ 集会八儀式二止メ重立チタル株主ニテ相談会ヲ開キタシ 蜂須賀・小笠原・柏村・渋沢・原・西村・福地ノ内指名乞ウ				「388 益田男書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版 第16冊
388-4	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治25(力)年 6月18日		三池紡績会社取締役野田卯太郎ノ人物紹介面会幹旋 大蔵省ヨリ無理往生二借区券書換工命ゼラル				「388 益田男書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版 第16冊
388-5	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治34年10 月11日		中上川死去残念 申付ノ一条同族賛成 朝吹・波多野・高橋モ満足 山本・渋沢モ喜悦ノ様子 漁業部事業平田初熊ヘ教示乞ウ				「388 益田男書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版 第16冊
389	益田男書牘 巻四				1巻	益田孝書翰 4通				詳細は389-1~4参照	
389-1	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治28年1月 4日		朝鮮公債引受蔵・外相ヨリ三菱・三井・第一銀行ヘ提示 三井・第一ハ引受承諾 三菱辞退 理由ハ独立ノ実ナキ国ヘ貸付好マズトイウ 三井繁昌銀行四二万円物産三八万円鉱山五〇万円ノ半季ノ利ナリ 貝島太助モ意外ノ利益 高輪負債モ皆済ニ至ラン ソノ他				「389 益田男書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版 第16冊
389-2	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治33年9月 7日		三井集会所会合案内人名 案内文要領 両岩崎外政事ニ恐怖ヲイダク連中ト進歩党関係者ハ除ケリ ソノ他美術収集ノコト				「389 益田男書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版 第16冊
389-3	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治33年10 月8日		伊侯御請ケハ閣下ノ精忠ニ抛ルトコロ 次ノ問題ハ閣下ノ身上ニテ断然財務担当ヲ希望				「389 益田男書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版 第16冊
389-4	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治36年1月 3日		孔雀明王ノ件高橋ヘ連絡 一兩日中拜見致サセタシ				「389 益田男書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版 第16冊
390	益田男書牘 巻五				1巻	益田孝書翰 4通				詳細は390-1~4参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
390-1	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治36年3月 6日		松本常馨来訪 貝島経費予算一覽 経費百万円ノ 借金アル人二一万円費消ハ法外 嚴重注意セリ 鐘淵紡績社債ノ件				「390 益田 男書牘 卷 五」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊
390-2	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治36年5月 31日		戦闘艦注文ウイッカルス会社へ児玉翁奔走 首相 モ海相へ助言ノハズナレドアームストロング社ト ノ因縁アリ 三井ノ英国ニ対スル信用上ゼヒウイ ッカルスへ注文アルヨウ尽力願ウ				「390 益田 男書牘 卷 五」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊
390-3	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治39年8月 14日		満鉄外債募集ノ原案高橋是清反对 販売業ハ廃 案 政府株へ六朱配当ナキ間ハ普通株主ヘソレ以 上ノ配当ナシハ魅力ナシ ソノ修正閣議上提ノ予 定 一億円株募集ノ主張アレド二千万円ヲ特別委 員会決定				「390 益田 男書牘 卷 五」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊
390-4	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治40年1月 9日		営業好調 物産利益下半季三百万円 福井菊三郎 信世ノコト				「390 益田 男書牘 卷 五」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊
391	益田男書牘 巻六				1巻	益田孝書翰 5通				詳細は391- 1~5参照	
391-1	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治40年3月 12日		有賀ヨリ台湾樟脳才聞キアラン 物産会社取扱イ 岩井長官明言ノヨシ コノ辺ニテセルロイド着手 許可乞ウ 品川織物王子製絨へ譲渡 宮部久 重 ナル株主ハ川崎 承認乞ウ				「391 益田 男書牘 卷 六」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊
391-2	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治41年8月 21日		吉富貸金皆済出金分高輪様へ預ケ 香港鉄山主チ エーター氏売却申入レ 価二一万弗位力 ウラチ オ近郊ノ分モ関係付ケレバ清国分へノ働キカケ容 易ナルベシ 原敬在欧中野・田渡欧許可アリタシ				「391 益田 男書牘 卷 六」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊
391-3	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治 年11 月30日		帝国商業銀行営業不如意且ツ重役紛争 馬越辞 職 日銀支工兼ネ三井銀行へ加勢早川へ申入レ商 業銀行三井ガ救済ヲ揚言 朝吹ト相談謝絶ヲ忠 告 日銀ヨリ是非トノ話ナレバ渋沢・豊川トノ分 担然ルベキカ明断乞ウ				「391 益田 男書牘 卷 六」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
391-4	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治45(力)年 1月23日		山県公モ満足 取得可能ノ利権取押工希望 政府 悪感情ヲ持タザルヨウ西園寺首相ヘオ話シ願ウト ノコト 招商局香上銀行ヨリ借金 郵船会社コレ ヲ買収ノ動キ 数百万円貸付香上借金返却サセテ ハ如何 森恪ヨリ銅官山問題電信アルハズ 東亜 興業ノ用意配慮願ウ				「391 益田 男書牘 卷 六」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊
391-5	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治 年2月 8日		桂公手元ニテ伊集院公使報告拜見 袁八孫黄二金 力付クヲ警戒 別紙電信桂公ニ相談 出電然ルベ シトノコトニテ発信ス 蔵相ト金員ニツキ相談 銅官山ノコト確答シテヨロシキヤ				「391 益田 男書牘 卷 六」(1巻) の内	冊子複製版 第16冊
392	股野琢・下条 正雄・森魂 南・島田蕃 根・矢野文 雄・田口卯吉 書牘				1巻	股野琢書翰 1通 島田蕃根書翰 1通 下条正 雄書翰 2通 矢野文雄書翰 1通 森魂南書 翰 1通 田口卯吉書翰 1通				詳細は392- 1~7参照	
392-1	股野琢書翰 井上馨宛	股野琢	井上馨			漢詩三首				「392 下股 野琢・下条正 雄・森魂南・ 島田蕃根・矢 野文雄・田口 卯吉書牘」 (1巻)の内	冊子複製版 第16冊
392-2	下条正雄書 翰 井上馨宛	下条正雄	井上馨	明治35年6月 18日		結納済ミ 平岡父子西郷家へ出頭同行願イ				「392 下股 野琢・下条正 雄・森魂南・ 島田蕃根・矢 野文雄・田口 卯吉書牘」 (1巻)の内	冊子複製版 第25冊
392-3	下条正雄書 翰 井上馨宛	下条正雄	井上馨	年12月22 日		福祿寿祝画贈呈添書				「392 下股 野琢・下条正 雄・森魂南・ 島田蕃根・矢 野文雄・田口 卯吉書牘」 (1巻)の内	冊子複製版 第25冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
392-4	森泰二郎書翰 井上馨宛	森泰二郎	井上馨	明治 年4月10日		別紙下命ノ追悼詩供覧				「392 下股野琢・下条正雄・森魂南・島田蕃根・矢野文雄・田口卯吉書牘」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
392-5	島田蕃根書翰 井上馨宛	島田蕃根	井上馨	明治33年12月5日		供覧ノ古経珍物ニハ非ルベキモ鎌倉板行ヲ知ラズ奮発之ウ				「392 下股野琢・下条正雄・森魂南・島田蕃根・矢野文雄・田口卯吉書牘」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
392-6	矢野文雄書翰 井上馨宛	矢野文雄	井上馨	明治 年6月19日		面会申込ミ				「392 下股野琢・下条正雄・森魂南・島田蕃根・矢野文雄・田口卯吉書牘」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
392-7	田口卯吉書翰 井上馨宛	田口卯吉	井上馨	明治26年11月11日		輸出税全廃ノ件 廃止ハ綿糸 生糸英伊ヲ庄スベシ 自由党ノミ不同意ナレド政府案出ツレバ産地議員反対シ得ズ 提案ナキハ自由党ヲ憚ルモノカ 切二断行ヲ願ウ				「392 下股野琢・下条正雄・森魂南・島田蕃根・矢野文雄・田口卯吉書牘」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
393	松方公書牘 巻一				1巻	松方正義書翰 7通				詳細は393-1~7参照	
393-1	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治16(力)年9月11日		清国安南ヘ一万五千ノ兵ヲ派遣ノ風評 弗相場急騰 清国ノ処置確ナルヤ 榎本ヨリ報知アリヤ				「393 松方公書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
393-2	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年11月19日		明朝九時参上致スベシ				「393 松方公書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
393-3	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治12(力)年1月24日		伊藤不在 御宅ニ一泊ノ由才話シアリタラント思ウニ才手紙ニナシ 山県来状ニ急激見合セ言上ノ主意 伊藤ト相談ノ未ナラン 伊藤訪問ノ上参上セン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「393 松方公書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
393-4	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治12(力)年3月28日		物価下落身代限り者多カランカ 今晚渋沢・益田来訪 明日昇堂拜承 懇告感謝今宵八大酔後日罷出ヅベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「393 松方公書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
393-5	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治12(力)年1月5日		才約束ノ入湯熱海ニ幸便アリ本日着 伊藤へ面会 都合ニテ当地へ遊行アレ 条公・山県モ滞留中			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「393 松方公書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
393-6	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治13(力)年8月8日		山県へ相談条公へモ呈上ノヨシ安心 条公宅催シ帰京ノ後山県ト相談決定了承			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「393 松方公書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
393-7	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治13(力)年9月16日		播洲葡萄園産才届ケ カクノ如ク熟成一品ノ国産トナルベシ				「393 松方公書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
394	松方公書牘 巻二				1巻	松方正義書翰 8通				詳細は394-1～8参照	
394-1	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年2月25日		明日参上ノツモリ 都合如何				「394 松方公書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
394-2	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年4月12日		午餐案内				「394 松方公書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
394-3	松方正義書翰 山県・井上宛	松方正義	山県・井上	明治15(力)年7月14日		造幣局試験済ミ 取締向改良見込三付ク 中央銀行設立発令 京阪地関係都合良シ 株金募集意外ノ好結果 野村忍介 羽田恭輔 大橋一蔵				「394 松方公書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
394-4	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年5月9日		来示拝承 本日参上スベシ				「394 松方公書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
394-5	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年12月27日		独公使来訪 独商サアケル輸出米関係ニテ救護策願出 一件詳細説明 ナオ考案伺イタク成川尚義差向ク				「394 松方公書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
394-6	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治16(力)年4月3日		才約束ノ巖公へ同行明日ノ由承知 銀行条例改正案参事院へ廻付 明日ヨリ委員会議開始 助力乞ウ				「394 松方公書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
394-7	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治17(力)年11月9日		前田方へ来臨ノ趣 自分モ同席同人へ談判並ニ命令書等協議イクシタシ				「394 松方公書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
394-8	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年12月16日		花房申入レノ正金銀行へ貸下金ノ件 伺書条公マデ提出セリ				「394 松方公書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
395	松方公書牘 巻三				1巻	松方正義書翰 7通				詳細は395-1~7参照	
395-1	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治16(力)年8月11日		オ示シニヨリ伊藤へ過日来ノ形行説明セン 一四日参上ノツモリ 内務卿ヨリ切迫ノ話アリテ困却				「395 松方公書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
395-2	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治16(カ)年8月12日		伊藤へアラマシ説明 頭ヨリ反対ナキヨウ依頼 山県モ貴兄ノ委員才受ケ伊藤へ依頼スベシトノコト				「395 松方公書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
395-3	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治16(カ)年8月30日		尽力願ツタ機密一条ソノ後如何 条公ノ話ニテハ好都合ノヨシナレド時機失スベカラズ 伊藤・山県ノ地位安定切望			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「395 松方公書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
395-4	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治16(カ)年9月16日		写真二葉ヘンネッシーヨリ贈呈				「395 松方公書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
395-5	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治16(カ)年11月6日		興業銀行条例参事院修正ノママ上申 意見伺イタク説明ソノ他ノ書類通覧乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「395 松方公書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
395-6	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治16(カ)年11月6日		伊藤へ内話大慶 伊藤ノ引受ナクテハ納マラザル場合ナレド負担心痛 黒田決答ヲ得ベク西郷ト談合予定			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「395 松方公書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
395-7	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年11月11日		横浜生糸二万個滞貨 銀行荷主トモ心痛 当月一日仏・伊・瑞貨幣会議決議以来生糸意外ノ好況 今朝電報別紙ノ通りニテ安心			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「395 松方公書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
396	松方公書牘 巻四				1巻	松方正義書翰 7通				詳細は396-1～7参照	
396-1	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治18年11月24日		終日苦勞到底伊藤ノ責任トナリ安心 黒田ハ伊藤ノ考工ニテハ如何アラン 伊藤右大臣黒田参議又ハ黒田モ大臣ナレバ伊藤左大臣 黒田・伊藤同列ニテハ責任不分明事務渋滞ナキヤ 条公ニ相談早目ニ決着ヲ付ケタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「396 松方公書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
396-2	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年11月26日		昨夕西郷へ面会アリシヤ ナケレバ是ヨリ高輪へ出向カン				「396 松方公書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
396-3	松方正義書翰 黒田宛〔誤記カ〕	松方正義	黒田宛〔誤記カ〕	明治18(カ)年12月8日		昨日帰りカケ訪問他出中ニツキ書置 今朝返事アリ本日ハ内居ノヨシ 伊藤承知トノコト黒田へ出向キ談シ置クベシ				「396 松方公書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
396-4	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治18(カ)年 月2日		来示敬承 御沙汰回示スベシ 黒田一条面晤ノ末今朝伊藤ト面議ノ都合結末如何アルベキカ				「396 松方公書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
396-5	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治17(カ)年6月27日		イタリー代理公使ノ金引受銀行へ相談イタスベシ 法外ノコトニテ命令イタシカネ了承乞ウ				「396 松方公書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
396-6	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治17(カ)年8月24日		機密一条西郷・大山へ相談ノ上山県君へ話セシトコロ 佐々木・福岡へモ談示ノ上両大臣へ具申スベシトノ意見二付実行 トモ角伊藤至急呼バレル必要申上ゲタリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「396 松方公書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
396-7	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治17(カ)年10月27日		西郷へオ話シノ一条直接申シアゲタキコトアリ参上 才留守ニツキ書キ置ク 急要経費内国債ニテ用弁ノコト 定価費ハ節減セズバ予算ノ目途立タズノ趣意了解 国債ノ方面倒トナリテハ困難ヲ来サン 国債ノ辞柄ハ控工事業計画整イタル上勘考願イタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「396 松方公書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
397	松方公書牘 巻五				1巻	松方正義書翰 7通				詳細は397-1～7参照	
397-1	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治18(カ)年4月20日		金策云々岩村へ談示 佐印ノ方不都合ニテ金談ナシ難ク福岡へモ説明 岩村ヲ呼寄セ事情才聞キ取リ乞ウ				「397 松方公書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
397-2	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年2月26日		相談ノ件アリ今夜都合如何				「397 松方公書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
397-3	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治18年6月3日		(代筆) 海軍・陸軍・内務ヨリ予算請求書類 ノ他関係書類供覧				「397 松方公書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
397-4	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治20年6月13日		夏島へ出向キ意見陳述 彼ノ先生決心ノ模様 近ク西郷モ帰朝ノヨシ 板垣ゼヒ御受ケサセズテハ不可ノ議論			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「397 松方公書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
397-5	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治18(力)年6月21日		富岡ヨリ金沢へ廻ル予定 昨日黒田訪問 同人静ナル議論ニテ意外 板垣・大隈ノ意見モ承リタリ 開拓使ノコト片言ナク気分快然ノ容子 金沢へハ不動ノ決意ヲ論ジクルツモリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「397 松方公書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
397-6	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治18(力)年9月21日		明日ハオ待チスベシ 一日ニテ不足ナレバ何日ニテモ拝聴セン				「397 松方公書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
397-7	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治18(力)年8月31日		明日オ示シノ時限ニ参上セン 西郷・伊藤両参議 明日官宅へ参集ノ約束				「397 松方公書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
398	松方公書牘 巻六				1巻	松方正義書翰 8通				詳細は398-1～8参照	
398-1	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治18(力)年10月30日		予算取調書類本日出来 二三日中都合ノ日時オシラセウ 伊藤モ出席ノ予定			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「398 松方公書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
398-2	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年11月24日		来示敬承 明朝才待チイタスベシ				「398 松方公書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
398-3	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治19(力)年6月4日		大山官舎へ森大臣モ来六日集会ノコト相談 内閣人数ノミニテ他兩名ヲ除キ内議アルベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「398 松方公書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
398-4	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治21(力)年8月31日		日本銀行業務相談ノ義アリ 別紙四通御覧乞ウ				「398 松方公書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
398-5	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治21(力)年12月23日		黒田総理へ申入レ 何時ナリト差支エナシトノ返答ナリ				「398 松方公書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
398-6	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治22(力)年1月22日		伊藤伯帰京 会談云々拝承 未ダ寸功ナケレド伊藤伯ノ都合ニテ明日ニモ来車乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「398 松方公書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
398-7	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年 月 28日		本日昇堂ノトコロ風邪ニテ休臥 快気次第拝承仕ルベシ				「398 松方公書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
398-8	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治23(力)年5月4日		山県伯ヨリ条約一条青木へ談示アリ 閣下へ相談イタスベキコトナレリ 談合申シタク日時オ示シ乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「398 松方公書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
399	松方公書牘 巻七				1巻	松方正義書翰 7通				詳細は399-1~7参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
399-1	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治22(カ)年5月31日		不例如何 渡辺ヨリ来書例ノ大阪気風二同人閉口ノ様子 自分早目二下阪ノツモリ ソノウチ参上打合せイタスベシ				「399 松方公書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
399-2	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年7月28日		本日八何時ニテモヨシ 明朝モ差支エナク三田私邸ニ光臨ヲ待ツ				「399 松方公書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
399-3	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年8月8日		一昨夜深更マデ御苦勞千万 奔走ニヨリ一昨夜ノ結果ニ至リ深謝				「399 松方公書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
399-4	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治24(カ)年8月25日		別冊三通一読返上 ロイスレル案周到感服 廟堂並ニ枢密ノ位地ニアル人ノ得心ナクテハ不可 大体ノ論旨ハ結構 榎本ヘ相談願ウ				「399 松方公書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
399-5	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治24(カ)年10月20日		山県伯明日帰京ノヨシ 相談ノ上明後日ノ集会ノ運ビトナレバ幸イ 昨夜八品川子伊藤伯ヲ訪問好都合ノ趣 黒田伯モ来訪ノヨシ 尽力多謝			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「399 松方公書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
399-6	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年10月3日		相談イタシタキ義アリ 都合オ示シテウ				「399 松方公書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
399-7	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治22(カ)年12月5日		野村氏帰京ノヨシ 精々尽カイタスベシ 病臥中山県伯来訪失敬ヨロシク伝言エウ 明後日ノ条公宅会合押シテ参会スベシ モハヤ発表ノ時機ナルベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「399 松方公書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
400	松方公書牘 巻八				1巻	松方正義書翰 7通				詳細は400-1~7参照	
400-1	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治23(カ)年1月2日		伊藤伯引受ケズ遺憾 西郷・山田モ同様自分ノオ受ケシ難キハ承知ノ通り 万事相談申シタク本日参上イタシタシ				「400 松方公書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
400-2	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年5月9日		明朝差支エナシ三田方へ来車多幸				「400 松方公書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
400-3	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治23(カ)年7月12日		前田一条面倒千万 オ示シノ趣勘考ノ上返答イタスベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「400 松方公書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
400-4	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年8月6日		総理官舎集会承知セシモ三伯ハオ帰リアリシヤ				「400 松方公書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
400-5	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年7月22日		明日午後二時永田町官舎へ山県伯来会 同時刻才出デヲ待ツ				「400 松方公書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
400-6	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治22(カ)年7月27日		昨日会合ノヨシ 帰りニ伊藤兄立寄り拜承 程ヨキ結局一安心 正金銀行種々苦情アリ 株主ノ企テニテ原頭取更迭ノ望ミ 原ノ不人望ニハ困却			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「400 松方公書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
400-7	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年4月28日		三田私邸へ来車ハ多幸ナレド明朝九時参上イタスベシ				「400 松方公書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
401	松方公書牘 巻九				1巻	松方正義書翰 9通				詳細は401-1~9参照	
401-1	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治24(カ)年8月2日		陸奥大臣ヨリ別紙中新聞切抜送付 他ノ自由新聞ナレバ知ラズ中ノ拳動解セズ 大岡不平アリヤ 教諭アリタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「401 松方公書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
401-2	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治24(力)年8月13日		過日来配慮ノ一条好都合一安心 今夜力明朝参上ナリ来臨願イタシ				「401 松方公書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
401-3	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治24(力)年8月14日		青木赴任先榎本大臣心配 二十一日頃帰京ノ際相談申シアゲタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「401 松方公書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
401-4	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年8月22日		巳代治伝言敬承 本日午後参上条約改正見込三承リタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「401 松方公書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
401-5	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年10月26日		ゼヒ面昭ヲ得タシ 時刻オシラセエウ				「401 松方公書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
401-6	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治24年10月19日		品川大臣訪問ノ模様オシラセエウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「401 松方公書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
401-7	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治24年10月20日		終日奔走万謝 オ示シニヨリ今朝黒田伯へ参リタルニ伊藤伯へ出掛ケタル後ニテ承知アリタシ別紙返上 品川大臣伊藤伯ヲ訪問セシナラン 山県伯帰京周旋エウ 集会ハオ指示ヲ待ツ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「401 松方公書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
401-8	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治24(力)年11月13日		行政整理ノ要点 財政整理ノ件 上場法案以上三冊返上			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「401 松方公書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
401-9	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年11月20日		今夕光臨願イタルニ島津家ノコトニテ外出ノ急用起キ ソノ帰り訪問セン				「401 松方公書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
402	松方公書牘 巻一〇				1巻	松方正義書翰 11通				詳細は402-1~11参照	
402-1	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25年2月6日		参朝言上セントコロ伊藤伯へ決答スルヨウ御沙汰ナリ ナオ徳大寺カラ注意モアリ明日小田原へ出掛クベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「402 松方公書牘 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第17冊
402-2	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25年2月8日		小田原訪問オ伝エセントコロ 彼ノ方ヨリ一両日中上京トノ返事ツツキ見合せ 一昨タヨリ高島大臣小田原へ出掛ケ今日帰京ノ予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「402 松方公書牘 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第17冊
402-3	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年2月9日		オ見込ミ通りアヤシキ形行ナリ 午後一時参上セン				「402 松方公書牘 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第17冊
402-4	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年2月3日		午後山県伯来会ノヨシ 閣下午後オ差支エナレバ午前参上ノ時間オ示シテウ				「402 松方公書牘 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第17冊
402-5	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年2月20日		昨夜伊藤伯帰京拙宅ニテ寛談 同人ノ決意固シ 閣下ハ不同意ト伝エオケリ 本日中西郷・大山・山田ノ帰京ヲ促シ会議開催ノツモリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「402 松方公書牘 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第17冊
402-6	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25年3月8日		品川大臣ノ方イカガ結着セシヤ 今朝伊藤伯へ参リ困却ノ程陳述セリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「402 松方公書牘 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第17冊
402-7	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年3月8日		本日ハ御苦勞 如何ヨウノ模様ナリヤ コレヨリ昇堂伺イタシ				「402 松方公書牘 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
402-8	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年3月21日		別紙案内来り出席返事セリ 夕景ナレバ礼服用ウベキカ オ示シテウ				「402 松方公書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
402-9	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年4月1日		明朝光来ヲ待ツ 相談ノコトアリ				「402 松方公書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
402-10	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年4月2日		例ノ一条渡辺長官来訪 湯地不都合ナレバ高島断然命ゼラレタシ 遅レバ会社・政府トモ不得策 実行難シケレバ重役互選ニ評決シテハ如何ト内話セリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「402 松方公書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
402-11	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年4月15日		本日品川へ参集ノ予定ノトコロ閣議遅レ残念 黒田伯入来本日地方官云々ノコトハナク安心セウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「402 松方公書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
403	松方公書牘 巻一一				1巻	松方正義書翰 8通				詳細は403-1～8参照	
403-1	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年5月3日		前田一条本人へ話セシトコロ 決意コレマデドオリ尽カスベシトナリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「403 松方公書牘 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
403-2	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年6月6日		梅沢ノコト委細拝承 何トカ心配イタスベキモ静岡県八書記官ソノママノツモリ 他へ心配イタスベシ				「403 松方公書牘 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
403-3	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25年7月15日		内閣欠員 内務ハ河野 議論百出 内閣ニテ断然方針ヲ確立 河野ニ決定 拝借ノ一冊返却ニ条・五条ハ議論面倒ナリシ 伊東巳代治ヨリオ聞キアラン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「403 松方公書牘 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
403-4	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年7月20日		明朝光来待ツ				「403 松方公書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
403-5	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年7月2日		一昨夕帰京ノヨシ 東西奔走御苦勞 明朝才出デノヨシオ待チセン				「403 松方公書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
403-6	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年7月7日		第一・三井両銀行マデ攻撃ノ形勢 両銀行ヘハ注意ズミ 前田一条島津家・原トモ断リ困却何トカ工夫アレバ尽カイタシタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「403 松方公書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
403-7	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年7月23日		官制改正ニテ取込ミ 本日ノ来会延期願ウ				「403 松方公書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
403-8	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治24(力)年8月3日		伊藤・山県両伯へ熟談感謝 六日官舎へ高島・品川・陸奥三氏集会約シオクベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「403 松方公書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
404	松方公書牘 巻一二				1巻	松方正義書翰 9通				詳細は404-1~9参照	
404-1	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25年8月8日		内閣辞職挨拶			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「404 松方公書牘 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
404-2	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年8月24日		只今帰宅参上又ハ光来オ示シテウ				「404 松方公書牘 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
404-3	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年8月24日		明朝七時才待ち申スベシ				「404 松方公書牘 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
404-4	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年8月26日		伊藤伯三田へ来車 同時刻光来願イタシ				「404 松方公書牘 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
404-5	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年10月17日		本日八私ヨリ参上イタスベシ 高論ノ通り黒田伯疑点加リテ八面倒工エー昨日懇談 同伯考案八閣下尽カヲ依頼 今般ノ出来事ハ上策ナランノ見込ミ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「404 松方公書牘 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
404-6	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年11月21日		明後日ヲ明日ト返答失礼 明後日ハ光来ヲ才待ちスベシ				「404 松方公書牘 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
404-7	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年10月19日		依頼ノコト伊藤伯ヘオ話シタダサレシヤ 面晤クダサルトナレバ当方差支エナシ				「404 松方公書牘 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
404-8	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治26(力)年3月25日		内願セシ有島武地方官へ採用 石川県知事発令ニ至ラズ渡辺大臣モ相談ノ趣 コノ際都合ヲ付ケイタダケレバ幸イ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「404 松方公書牘 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
404-9	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年1月8日		今朝参上予定ノトコロ風邪ニテ失礼				「404 松方公書牘 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
405	松方公書牘 巻一三				1巻	松方正義書翰 9通				詳細は405-1～9参照	
405-1	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年11月9日		今夜三田へ足労願イタシ				「405 松方公書牘 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
405-2	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治31年12月31日		近県旅行 帰宅後面談イタシタシ				「405 松方公書牘 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
405-3	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年11月5日		渋沢来会ノ節八出席ヲ約セシモ 七日ノ会先約アリ失礼				「405 松方公書牘 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
405-4	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治44年1月19日		(代筆) 彰明会例会欠席挨拶			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「405 松方公書牘 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
405-5	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	大正2(力)年5月3日		孫逸ノ電報披見 支那ノ混雑ニ対シ賢慮同意 今日余計ノ政策ハ有害 双方ヘ公平ニ対シオクガ上策			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「405 松方公書牘 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
405-6	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年5月24日		相談ノ儀アリ参上イタシタシ				「405 松方公書牘 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
405-7	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治24年10月22日		今日ノ集会黒田伯不参 伊藤・山県伯ノミ 閣下 来車願エマジキヤ 今日マトマリカネル時ハ遺憾 陸奥ムズカシキ意見ノ模様			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「405 松方公書牘 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
405-8	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年11月6日		相談ノ儀アリ都合オシラセウ				「405 松方公書牘 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
405-9	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年11月8日		昨朝足労厚意感謝 伊藤伯帰京オシラセ感謝 黒田伯ヘオ話セシ通り懇談 伊藤伯帰京ヲ通報スベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「405 松方公書牘 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
406	松尾男書牘 巻一				1巻	松尾臣善書翰 4通				詳細は406-1~4参照	
406-1	松尾臣善書翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治37年5月2日		今朝才話ノ件外務大臣へ陳述 九連城ノ役各国公使領事へ発電 露公債談井上独公使ヨリ林公使へ転電ノ趣 ソノ要領ダケ高橋へ電報				「406 松尾男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
406-2	松尾臣善書翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治40(力)年2月3日		高橋副総裁ヨリ受信 栗野大使ヨリ情報ヲ得ズ 巴里ロスチャイルド二最後ノ談判中 英蘭銀行利下ゲ 三月二八好時機至ルベシ 仏国発行不能トナレバ英米独二談判ノ予定 ソノ際五歩利付公債発行ニ政府決定乞ウ ナオ高橋請求ニヨリ我公債売物欧米市場ニアル時八買入価格維持執行中仏国政府露ノ圧カニヨリ募債ニ明答ヲ与エズ				「406 松尾男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
406-3	松尾臣善書翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治40年2月19日		公債ノ件御心配 別紙公・私信発 ナオ蔵相ト相談別紙発信				「406 松尾男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
406-4	松尾臣善書翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治40年3月2日		尊命ノゴトク正貨維持即貨幣制度懸念 正貨収支・新事業統計等取調へ製表中出来次第供覧 高橋ヨリ来電 六歩利付公債償還ノタメ英貨公債発行委任状送付アリタシ				「406 松尾男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
407	松尾男書牘 巻二				1巻	松尾臣善書翰 5通				詳細は407-1~5参照	
407-1	松尾臣善書翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治38年3月14日		病氣見舞 三崎来訪伝言拝承 国庫債券売買ニツキ高橋ヨリ別紙来信ニツキ別紙ノ通り通信 ロンドン正金銀行支配人山川ト別紙ノ通り往復信 外国人ヨリ内地へ応募未定 利子仏国支払行違イヲ生ズルヤモ知レズ ソノ他				「407 松尾男書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
407-2	松尾臣善書翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治39(力)年8月7日		高橋意見書第一項五年間云々及ビ勅語云々ノ条件不適當 ソノタメ高橋辞退ニ至ラザルヤ心痛賢慮煩ワシタシ				「407 松尾男書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
407-3	松尾臣善書翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治39年8月15日		高橋へ訓示ノ件 昨夜大蔵大臣官舎二次官・主計・理財・両局長会合 今日首相へ内議ノ上閣下へオ伺イノ手筈 塩川三四郎				「407 松尾男書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
407-4	松尾臣善書翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治39年8月15日		昨夜発御書拝読 書中ノコトハ蔵相へ伝エタリ 正貨維持取調主任八片山貞次郎 御用ノ節ハ差出スベシ				「407 松尾男書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
407-5	松尾臣善書翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治39年2月13日		正金銀行頭取高橋云々ノ件他二撰任願ワレマジキヤ 日本銀行二同氏ヲ煩ワシタキ件山ヲナシ熟考願ウ				「407 松尾男書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
408	松尾男書牘 巻三				1巻	松尾臣善書翰 6通				詳細は408-1~6参照	
408-1	松尾臣善書翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治40年3月3日		昨夜高橋ヨリ別紙来報 英仏ニテ五歩利公債発行 右ノ勅令九日頃発布 五歩利公債ハ遺憾ナレド欧米経済界現状ヤムナシ 時事新聞ソノ高歩ヲ難詰 軍事公債募集残リノ処理方相談イタシタシ				「408 松尾男書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
408-3	松尾臣善書翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治40年3月12日		高橋副総裁ヨリ来電 二七日ロンドン出発帰国申出 募債事務終了ユエ差支エアルマジク政府へ申出前内示ヲ得タシ				「408 松尾男書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
408-4	松尾臣善書翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治39(力)年3月17日		公債応募昨夜マデ別表ノ通り一億三千三百余万円 予約分五千二百万円 府県知事報告ニヨレバ大蔵省割当て高ヨリ少々余分ノ見込ミ				「408 松尾男書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
408-5	松尾臣善書翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治40年3月17日		高橋へ打電 添田四月三日出発ヲシツフニ通報シツフヨリ来着ヲ待ツノ返電アリ 大蔵大臣八貴君ト添田紐育外ニテ会合ヲ希望ス 高橋ヨリ満鉄社債米独市上ニテ発行見込ナシトノ注意アレバナリ				「408 松尾男書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
408-6	松尾臣善書翰 井上馨宛	松尾臣善	井上馨	明治40年5月5日		高橋氏帰着予定 添田氏米国滞在無用トナリロンドンへ渡航 若槻出発予定一四日送別会開催経済社会鎮静 昨秋来事業中止又ハ解散四分ノ一又ハ三分ノ一モアランカ				「408 松尾男書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
409	三井高保男・中上川彦次郎・早川千吉郎書牘				1巻	三井高保書翰 1通 中上川彦次郎書翰 3通 早川千吉郎書翰 1通				詳細は409-1~5参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
409-1	三井高保書翰 井上馨宛	三井高保	井上馨	明治24年12月12日		協議会規則配布 渋沢二少々意見アルヨシ 物産・碓山会社及び協議会規則ノタメ集会召集ノトコロ 渋沢中上川帰京マデ延期申出				「409 三井高保男・中上川彦次郎・早川千吉郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
409-2	中上川彦次郎書翰 井上馨宛	中上川彦次郎	井上馨	明治13年8月4日		森公使内書 グランド氏来翰写云々トアレド同写ナシ 西代理公使魯京出立ノ電文 吉田米公使ヨリノ来翰伊藤参議へ廻覧アリタシ				「409 三井高保男・中上川彦次郎・早川千吉郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
409-3	中上川彦次郎書翰 井上馨宛	中上川彦次郎	井上馨	明治25年2月9日		三井家関係者呼寄セ評議ノヨシ 西村進退伺中井・今井辞職勤務常ノゴトシ三井高保ヨリ内示銀行旧態 意見ヲ問フレクレバ銀行実務ニ関係ナキ中井・今井ヲ退ケ西村ヲ依然首席自分ニ実権ヲトリ尽力セヨトハ不承知ト返事				「409 三井高保男・中上川彦次郎・早川千吉郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
409-4	中上川彦次郎書翰 井上馨宛	中上川彦次郎		明治25年11月8日		三井主人他一同高話拝聴 深川三井別荘ニテ開催 来臨乞ウ 益田孝				「409 三井高保男・中上川彦次郎・早川千吉郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
409-5	早川千吉郎書翰 井上馨宛	早川千吉郎	井上馨	明治 年12月26日		三井銀行純益五十万 建築資金等差引一五万 残二万積立 前期繰越シハ後期繰越シヘ 王子製紙問題一段落 臨時総会ニテ渋沢栄一説明				「409 三井高保男・中上川彦次郎・早川千吉郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
410	三浦子書翰				1巻	三浦梧楼書翰 10通				詳細は410-1~10参照	
410-1	三浦梧楼書翰 井上馨宛	三浦梧楼	井上馨	明治 年9月13日		吉富昨夜ヨリ帰ラズ 今晚貴邸へ参上スルヨシ ソノ節ハ長谷川ヘオ連レクダサレクシ				「410 三浦子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第18冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
410-2	三浦梧楼書翰 井上馨宛	三浦梧楼	井上馨	明治 年 月 13日		廿日会熟考ノ上役員トモ相談当月限り解散				「410 三浦子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
410-3	三浦梧楼書翰 井上馨宛	三浦梧楼	井上馨	明治 年 月 11日		雲照和上御請ケ約ノ通りニテヨロシキヤ 児玉・陪席許可アリタシ				「410 三浦子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
410-4	三浦梧楼書翰 井上馨宛	三浦梧楼	井上馨	明治 年 月 16日		雪舟下夕絵盆才届ケ思召シ次第留置カレタシ				「410 三浦子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
410-5	三浦梧楼書翰 井上馨宛	三浦梧楼	井上馨	明治25(力)年 8月29日		地方官処分近来ノ快事 人物ノ選択最モ大事 楯取素彦推薦 官報局長高橋健三学問事務共ニ卓絶 幕中ニ使用アルベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「410 三浦子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
410-6	三浦梧楼書翰 井上馨宛	三浦梧楼	井上馨	明治28年1月 3日		卒然ノ大任成功ヲ祈ル 日支交戦連勝トハイ工適當ノ收拾ヲ念願 戦勝チテ亡国ナシトハイウベカラズ 曹洞宗一件ヤット和合ノ見込ミ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「410 三浦子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
410-7	三浦梧楼書翰 井上馨宛	三浦梧楼	井上馨	明治28年7月 23日		着京敬賀 事変後ノ京城苦心遙察 御出発後身上通電恐縮 渡韓来月十日頃ニイタスベシ 着京マデニオ片付願ウ 顧問官ノ豪傑連ハ無用 帰朝ノ折頭分ノ豪のダケデモ引卒乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「410 三浦子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
410-8	三浦梧楼書翰 井上馨宛	三浦梧楼	井上馨	明治 年2月 7日		出席通知				「410 三浦子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
410-9	三浦梧楼書翰 井上馨宛	三浦梧楼	井上馨	明治 年2月 日		遺教経二部両界曼荼羅才届ケ				「410 三浦子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
410-10	三浦梧楼書翰 井上馨宛	三浦梧楼	井上馨	明治 年4月 9日		明朝参上 在宿乞ウ				「410 三浦子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
411	毛利元徳公書翰 卷一				1巻	毛利元徳書翰 8通				詳細は411-1～8参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
411-1	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治 年3月28日		親族・旧臣懇会定日通知				「411 毛利元徳公書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
411-2	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治9(力)年6月18日		欠席通知			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「411 毛利元徳公書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
411-3	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治9(力)年6月15日		案内答状			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「411 毛利元徳公書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
411-4	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治11年8月7日		当家家事心付ノ件忠告依頼穴戸二(たまき)・杉孫七郎・山田顕義へ同様依頼			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「411 毛利元徳公書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
411-5	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治 年7月4日		案内状				「411 毛利元徳公書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
411-6	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治17(力)年10月26日		下県一条了承 病ヲツトメテ同行スベシ 出発日取り通知乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「411 毛利元徳公書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
411-7	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治17(力)年10月27日		下県出発日勝間田稔ヨリ通報 自分陸行ノ都合上少々延期願ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「411 毛利元徳公書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第18冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
411-8	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治22年1月12日		柏村・杉ヨリノ伝聞ニヨレバ東条頼介梨本宮洋行ニアタリ免職 身上ニツキ吉井ヨリ示談 柏村考案 銀行世話役ノ兼職ヲ解キソノ後任八如何			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「411 毛利元徳公書翰 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第18冊
412	毛利元徳公書翰 卷二				1巻	毛利元徳書翰 7通				詳細は412-1～7参照	
412-1	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治18(力)年5月8日		無事帰京放念アリタシ 県下厚遇 帰後心鬱 来車乞ウ				「412 毛利元徳公書翰 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第18冊
412-2	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治 年10月7日		元昭・富子展墓帰郷 柏村信随行 到着ノ上八万事指揮乞ウ				「412 毛利元徳公書翰 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第18冊
412-3	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治28年3月31日		狂歌供覧	狂歌		「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「412 毛利元徳公書翰 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第18冊
412-4	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治27年5月23日		狂歌供覧			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「412 毛利元徳公書翰 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第18冊
412-5	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治 年 月 日		狂歌				「412 毛利元徳公書翰 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第18冊
412-6	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治 年 6月30日		柏村心事承リ安心 ソノ他雑件				「412 毛利元徳公書翰 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第18冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
412-7	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治13(力)年2月18日		小早川家再興御礼呈上			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「412 毛利元徳公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版 第18冊
413	望月小太郎書牘 卷一				1巻	望月小太郎書翰 3通				詳細は413-1～3参照	
413-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年2月2日		非政友各派海軍拡張費ヲテコニ財政反対ヲ計画中 シーメンス事件発生 国民疑惑海軍ト薩閥ニ集中 山本伯攻撃中央諸新聞 政府等閑疑惑ヲ深メ 国民感情不穩 即位式ニ山本伯主任八大不敬ノ論 内閣進退更迭熟慮願フ				「413 望月小太郎書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第18冊
413-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年3月27日		清浦子訪問政友会ニ頼ル気ナキニ非ズ 大隈伯訪問決起ノ意志 宮相訪問貴意ノ大要聖聴ニ入ルベシト 加藤男訪問大命隈伯ニ降下ノ際山県公ニ過去ノ不平出サザルヨウ要請 松方侯訪問海軍腐敗ノ刷新賛同 昨日来徳川説・清浦説・大隈説				「413 望月小太郎書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第18冊
413-3	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年3月31日		徳川公辞退清浦子ニ降下 同子政党ニ頼ラズ 外務八珍田大蔵八阪谷ヲ希望 貴院八研究会・土曜会トモ入閣拒絶 海・陸軍八松方・山県ニ元老推挙ノ約束ナリト				「413 望月小太郎書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第18冊
414	望月小太郎書牘 卷二				1巻	望月小太郎書翰 3通				詳細は414-1～3参照	
414-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年4月5日		海陸両相臨時議会議会召集セザレバ入閣セズト 清浦子臨時議会議会召集セバ超然主義不成功 政友会・貴院及ビ他三派間ニテ内閣流産ニ及ブベシ 大隈内閣必然力 元老會議清浦推薦事情				「414 望月小太郎書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版 第18冊
414-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年5月26日		平岡長官事件心添工ニ從イ大隈伯調査打止メ 營業税全廃ノ要求中正会・国民党・同志会・全国新聞連合会一致 現内閣容易ナラザル形勢				「414 望月小太郎書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版 第18冊
414-3	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年6月10日		峠氏ニ面会 鉄道院撫順開平炭購入 筑豊炭価低落 採掘量一割減ハ鉄道院ヘノ支払運賃二響キ七八十万円収入減 明朝麻生・峠・自分首相及ビ農相ヘ面晤ノ手筈				「414 望月小太郎書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版 第18冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
415	望月小太郎書牘 卷三				1巻	望月小太郎書翰 4通				詳細は415-1~4参照	
415-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年6月24日		同志会内情廃税ヲメグリ動揺 自分分裂防止ノタメ奔走 尾崎ヨリ免囚保護関係書類受取り供覧之ガ実行ハ三井事件判決後然ルベシ				「415 望月小太郎書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版 第18冊
415-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年7月4日		申請書〔免囚保護会〕寄附金支払 事務所・役員・寄附行為書ニツキ報告				「415 望月小太郎書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版 第18冊
415-3	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年7月10日		使命書類トモ尾崎法相ヘ伝達 犬塚氏ノ件尾崎モ了承 大石正巳ニ面会 犬塚留任方法ニツキ仙石ヘ懇談シクレルヨシ 後藤男ヲ訪問支那問題調査書類完成中ノヨシ				「415 望月小太郎書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版 第18冊
415-4	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年7月18日		明日渋沢参伺スベシ 加藤外交方針渋男不満 隈伯ト会談 列国対支利権獲得 日本ニ対支経綸ナキ実況貴意ニ同感 対支借款財政窮状十分ノ活躍不能等財政ニツキ相談イタシタシト				「415 望月小太郎書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版 第18冊
416	望月小太郎書牘 卷四				1巻	望月小太郎書翰 3通				詳細は416-1~3参照	
416-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年7月19日		三井事件判決ニ関シ江木衷ト談話 ヴィカース注文ハ海軍省議決定ノモノ 松尾聞込ミ岩原ニ贈賄行為ヲ勸メシニヨル 一審世評ヲ恐ル 三井免囚保護事業ニ寄付 一・二審判決トノカネ合イ一審判決後タルベキ理由				「416 望月小太郎書牘 卷四」(1巻)の内	冊子複製版 第18冊
416-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年8月1日		山県元帥訪 問帰京大隈伯・若槻蔵相ヘ伝言伝達				「416 望月小太郎書牘 卷四」(1巻)の内	冊子複製版 第18冊
416-3	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年12月16日		東京朝日新聞紙上ノ意見感銘 政友会政府ト衝突ノ勢イ 一部策士現内閣山県公反対ニテ崩壊ノ飛語				「416 望月小太郎書牘 卷四」(1巻)の内	冊子複製版 第19冊
417	望月小太郎書牘 卷五				1巻	望月小太郎書翰 3通				詳細は417-1~3参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
417-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年8月10日		大隈伯へ箇条書呈示 英支派遣人撰二ツキ都筑遣英二八加藤外相躊躇セン 後藤遣支八好案ナルモ加藤トノ感情不融和実行困難 山県公へ箇条書呈示一一賛同 都筑・後藤人撰適任ナルモ実現困難ナルベシ 欧州動乱ノ基因ニ鑑ミ加藤外交心モトナシ 近日山県・大隈ノ根本的政策二対スル熟談アル予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「417 望月小太郎書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版 第18冊
417-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年8月12日		昨日申セシ外交機微厳秘ニサレタシ 加藤ヲ辞職ニ追込ムハ出兵完了マデハ不可 大隈伯二面談英国回答不利ナル場合ノ決意促セリ 明朝山県公ヲ訪問ノ上参伺スベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「417 望月小太郎書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版 第19冊
417-3	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年8月13日		英国区域ノ条件ヲ付シ出兵同意 宣戦詔勅奏請ニ閣議決定 山県元帥二面談			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「417 望月小太郎書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版 第19冊
418	望月小太郎書牘 巻六				1巻	望月小太郎書翰 2通				詳細は418-1～2参照	
418-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年8月11日		首相ト面談 大浦子訪問英国回答待チノヨシ 英日本出兵ヲ好マザルカ ソノ疑点誤解予防ノため長文電報発ノヨシ 要点ハ動乱発生ノ際又米国トノ関係ニオケル打合せ 独巡洋艦攻撃ヲ英日本ニ依頼 加藤外相行動範囲拡大ヲ要求ノ模様 英ハジョルダン公使意見ヲ問合セ中ノヨシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「418 望月小太郎書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版 第19冊
418-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年8月21日		尾崎法相山公ニ仏露ト同盟ヲ強調 武富通相ヨリ貴院ノ反加藤ノ内情問合セ 米ノシッブ氏ヨリ貸付返却要求ノ実情 首相同盟実行ノ腹 仏・露大使我意向打診 我レモ在欧大使ヲ以テ真意内偵中 山公ヨリ取扱イ厳秘ニツイテ示諭				「418 望月小太郎書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版 第19冊
419	望月小太郎書牘 巻七				1巻	望月小太郎書翰 1通				詳細は419-1参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
419-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年8月19日		大隈首相訪談 膠州湾支那へ返還要求ト満州租借関係事情異レバ心配ナシ 露・仏ヨリ同盟申入レアリクル模様 山県元帥加藤外交慨嘆 仏露共同出兵申込ニ加藤逡巡 加藤ノ事後相談言語同断 大石正巳加藤誠首主張 首相へ四国同盟ヲ説得 首相躊躇ノ様子			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「419 望月小太郎書牘 卷七」（1巻）	冊子複製版 第19冊
420	望月小太郎書牘 卷八				1巻	望月小太郎書翰 2通				詳細は420-1～2参照	
420-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年8月25日		首相・山県公・松方侯へ井上侯意見伝達 独米連絡ノ懸念 独勝利ノ場合及ビ独敗戦ノ場合ノ我国へノ影響 同盟ヲ早クスルノ利 四国同盟ヲ予定スベシ 日仏銀行 袁懐柔ノ好機 後藤派遣ノコト				「420 望月小太郎書牘 卷八」（1巻）の内	冊子複製版 第19冊
420-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年8月23日		松侯同意 加藤外相ヲ同盟ニ承諾セシムル方法 首相ノ決意ト多数閣僚ノ賛成ニアリト 尾崎・大石・自分奔走中				「420 望月小太郎書牘 卷八」（1巻）の内	冊子複製版 第19冊
421	望月小太郎書牘 卷九				1巻	望月小太郎書翰 1通				詳細は421-1参照	
421-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年8月28日		日露同盟問題ヲメグリ山県元帥トノ面談内容 同問題ニツキ大浦子ヲ説得 同盟ノ得失法相・都男ト検討 仏敗北ノ際ノ要点 首相ニ面談 日露交渉ノ内情 戦局ノ帰趨ト外交問題 北浜銀行処理方法				「421 望月小太郎書牘 卷九」（1巻）	冊子複製版 第19冊
422	望月小太郎書牘 卷一〇				1巻	望月小太郎書翰 3通				詳細は422-1～3参照	
422-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年9月4日		尾崎法相話ニテ八日露交渉進捗ヲ見ズ 外相意進マザル模様 臨時議会中排加藤ノ空気 犬養ノ加藤評				「422 望月小太郎書牘 卷一〇」（1巻）の内	冊子複製版 第19冊
422-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年10月26日		山県元帥訪問 首相署名問題同意 大浦子ニ委任スベキ指示ニヨリ明朝同子訪問子定 久原対日本銀行ノ件意向ヲ受ケ総裁・副総裁ニ面会ノツモリ				「422 望月小太郎書牘 卷一〇」（1巻）の内	冊子複製版 第19冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
422-3	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年11月4日		日立鉱山事件日銀へ談判中 時局ニヨリ輸出貿易業者救済ノ声日銀ニ集注 軍費ノ将来容易ナラズ 輸出入トモ打撃受ケン 山県元帥京都へ発署名問題大浦子ニ托セシママ進展ヲ見ズ				「422 望月小太郎書牘 卷一〇」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
423	望月小太郎書牘 卷一一				1巻	望月小太郎書翰 1通				詳細は423-1参照	
423-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年10月15日		首相署名問題 国産奨励会 江木翰長二起稿首相署名ノ上廻付督促 署名問題首相感触 二箇師団尾崎調印ノ心情 久原木村ト面談				「423 望月小太郎書牘 卷一一」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
424	望月小太郎書牘 卷一二				1巻	望月小太郎書翰 1通				詳細は424-1参照	
424-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年10月20日		洪沢男訪談 国産奨励官民連絡法実行難 対支出資金潤渇実状 浜口次官訪問 官営ヲ民営ニ移ス件原案作製中 時局ニヨリ財政計画齟齬 払下ゲ不能ノ実状 若松製鉄所他				「424 望月小太郎書牘 卷一二」(1巻)	冊子複製版第19冊
425	望月小太郎書牘 卷一三				1巻	望月小太郎書翰 1通				詳細は425-1参照	
425-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年10月28日		首相署名問題 大浦子ニ依頼 三島・水町正副総裁二面談 日立前貸金ノ件 工業資金トシテ難色 輸入棉花課税水町意見			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「425 望月小太郎書牘 卷一三」(1巻)	冊子複製版第19冊
426	望月小太郎書牘 卷一四				1巻	望月小太郎書翰 3通				詳細は426-1~3参照	
426-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年11月6日		山県元帥訪問 加藤外相へ御沙汰書元帥モ不分明 日銀日立へ一二五万円無利子貸付ト内議久原不満ノ模様 地金蒐集ヲ急務トナス意見ニ日銀総裁遅疑			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「426 望月小太郎書牘 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
426-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年12月24日		首相二意向伝達 増師問題ニ大山元帥強硬意見 松方侯大隈伯ノ決心了承 委員会首相ノ削除費目復活ヲ拒否				「426 望月小太郎書牘 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第19冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
426-3	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年12月29日		小生一身ノコト厳訓遵奉 大隈伯山県公ノ意向モ受ケ江木翰長中止ノ交渉 大隈伯東京新停車場開業式演説ノ真意 黒岩・松下等二出兵論中止ヲ勧告				「426 望月小太郎書牘 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
427	望月小太郎書牘 卷一五				1巻	望月小太郎書翰 3通				詳細は427-1~3参照	
427-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正3年12月29日		解散後政友会不人気 加藤・大石二同志会和合ヲ強調 閣臣連歐州出兵論ニ反対 出兵論ノ松下軍治ヲ山県公叱責 首外相トモ高教同意				「427 望月小太郎書牘 卷一五」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
427-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年2月8日		大浦子箇条書ニ対スル実行法意見伺イニ参趨ノヨシ 渋沢男訪問 内閣ノ商工立国策ニ協力要請 峠延吉 貝島野田卯太郎援助謝絶				「427 望月小太郎書牘 卷一五」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
427-3	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年2月12日		帰途国府津ニ大隈伯訪問 渋沢・尾崎法相訪問 首相・大浦・尾崎三相ニテ軍備按配法密談ノヨシ				「427 望月小太郎書牘 卷一五」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
428	望月小太郎書牘 卷一六				1巻	望月小太郎書翰 2通				詳細は428-1~2参照	
428-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年1月9日		大隈首相ニ同志会・政友会ノ前轍ヲ踏マザルヨウ進言 加藤大石対立豊川良平・仙石貢・岩崎久弥仲介 首相斡旋モ大石翻意ナラズ 島田三郎 軍費ノ件早川・団及比原田・久原呼ビ寄セ貝島ニモ打電				「428 望月小太郎書牘 卷一六」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
428-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年2月18日		大浦内相原田ト相談書類訂正 外交ト商工立国策貴意ノ綱要具備 尾崎法相・首相記名ノ上小生持参スルコトナラン				「428 望月小太郎書牘 卷一六」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
429	望月小太郎書牘 卷一七				1巻	望月小太郎書翰 3通				詳細は429-1~3参照	
429-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年2月17日		内示ノ書類不備ノ点大浦子ヘ指摘 大浦子原田ト相談訂正ノハズ				「429 望月小太郎書牘 卷一七」(1巻)の内	冊子複製版第19冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
429-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年2月26日		大浦・尾崎共選挙戦二忙殺 首相談話 支那談判 逐条討議中 ソノ要項膠州湾還付独利権八継承 他 日露同盟問題裏二欧州出兵要請ノ意図アリ元老会議開催予定ナリト 本日支那政府日本要求ヲ米国二密告ノヨシ				「429 望月小太郎書牘 卷一七」（1巻）の内	冊子複製版 第19冊
429-3	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年4月22日		対支外交急転 目下元老へ報告中松井次官御地出張予定				「429 望月小太郎書牘 卷一七」（1巻）の内	冊子複製版 第19冊
430	望月小太郎書牘 卷一八				1巻	望月小太郎書翰 2通				詳細は430-1~2参照	
430-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年5月5日		山県談話 閣僚会議二井上意見ヲ提示 英米露ト意志疎隔ナキヨウ注意 首相邸深夜会議 対支最後通牒力				「430 望月小太郎書牘 卷一八」（1巻）の内	冊子複製版 第19冊
430-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年7月23日		首相洗職問題ト内相関係ヲ憂慮 平沼検事総長内相辞職ヲ主張			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「430 望月小太郎書牘 卷一八」（1巻）の内	冊子複製版 第19冊
431	望月小太郎書牘 卷一九				1巻	望月小太郎書翰 2通				詳細は431-1~2参照	
431-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年7月30日		山県公大浦辞職後内閣改造ノ意見 大浦辞表聴許 他八山県公上京後トナルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「431 望月小太郎書牘 卷一九」（1巻）の内	冊子複製版 第19冊
431-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年5月7日		御前会議ノ模様 松方侯膠州湾還付撤回提議 外相反問山県公八信義上撤回不可ヲ主張 第五号中削除ノ上廟議一決 第五号譲歩ノ経緯 袁説得二有賀逆用ノコト 亀井陸良				「431 望月小太郎書牘 卷一九」（1巻）の内	冊子複製版 第19冊
432	望月小太郎書牘 卷二〇				1巻	望月小太郎書翰 2通				詳細は432-1~2参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
432-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年7月31日		山県公参内 同志会方面ニ優詔ニヨリ居据リ反対気運 山県公大浦問題未解決ニ総辞職反対意向			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「432 望月小太郎書牘 卷二〇」（1巻）の内	冊子複製版第19冊
432-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年8月1日		同志会中不平分子妄動 大隈伯ニ注意進言 尾崎同意見ニテ進言セリトイウ 同志会議員会合幹部改造ノ不平 山県公大隈留任ヲ勧告			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「432 望月小太郎書牘 卷二〇」（1巻）の内	冊子複製版第19冊
433	望月小太郎書牘 卷二一				1巻	望月小太郎書翰 1通				詳細は433-1参照	
433-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年8月2日		同志会出身閣僚大詔降下前ニ辞任ヲ要望 八代海相・武富通相意見 大隈伯ニ決意ヲ促シ海相・外相人事ニ言及				「433 望月小太郎書牘 卷二一」（1巻）	冊子複製版第19冊
434	望月小太郎書牘 卷二二				1巻	望月小太郎書翰 2通				詳細は434-1～2参照	
434-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年8月3日		大隈伯熟慮中 八代・加藤辞任ノ意固ク伯八逡巡 伯夫人・高田早苗トモ改造引受ヲ進言 若槻蔵相モ辞意 山県・大隈会談 大隈決意六分力海相瓜生外相本野力候補 明日ノ閣議ニテ決着ヲ見ン 加藤辞意ノ真意			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「434 望月小太郎書牘 卷二二」（1巻）の内	冊子複製版第19冊
434-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年5月19日		有賀博士ニ会見 大学ノ面目ト紀律ノタメ辞表提出 発表八臨時議会后ニ上田学長尽力 コノ件双方ノ面目ヲ立テ解決				「434 望月小太郎書牘 卷二二」（1巻）の内	冊子複製版第19冊
435	望月小太郎書牘 卷二三				1巻	望月小太郎書翰 2通				詳細は435-1～2参照	
435-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年8月6日		大隈山県会見 伯八海相候補獲得ヲ条件ニ引受ノ内意表明 外相後任ニ八触レズ 加藤八珍田石井ヲ推薦 海相後任難ニテ流産警戒ヲ要ス			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「435 望月小太郎書牘 卷二三」（1巻）の内	冊子複製版第19冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
435-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年5月3日		首相談話 膠州湾還付通告 英・米・露同意 治外法権・警察制ソノ他二関シ支那回答 本日閣議開催最終決定ノハズ				「435 望月小太郎書牘 卷二三」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
436	望月小太郎書牘 卷二四				1巻	望月小太郎書翰 2通				詳細は436-1~2参照	
436-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年8月7日		山県公海相後任問題ニ注意 海相後任加藤ヲ召喚 加藤辞退ノ際ハ瓜生ヲ説得ノ手筈 外相候補本野露ニコミソト仕過ギヲ大隈懸念 ソノ他改造閣僚候補 欧州駐在ニ都築男ヲ推薦 加藤男辞任天下ノ同情ハ伯ニ赴クベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「436 望月小太郎書牘 卷二四」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
436-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年5月16日		首相ノ意ヲ受ケ上田学長・山川総長訪問ノ予定有賀辞職勧告決議済ナレバ撤回成否疑問				「436 望月小太郎書牘 卷二四」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
437	望月小太郎書牘 卷二五				1巻	望月小太郎書翰 3通				詳細は437-1~3参照	
437-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年8月9日		加藤再起用ナレバ政界絶縁ノ御意志首相ヘ伝達 山公訪問 本野ノ件言葉添工承諾サル 原田二郎配慮ニヨル外務方面ヘ私任用ノ件声援ヲ依頼			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「437 望月小太郎書牘 卷二五」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
437-2	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年8月11日		珍田ヨリ辞退ノ返電首相帰朝後交渉ノ予定ニテ本野ヘハ未交渉 益田孝帰京 有賀電報御覽済ミノヨシ				「437 望月小太郎書牘 卷二五」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
437-3	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年8月15日		首相老侯トノ行違イ恐縮 明朝益田孝訪問陳謝				「437 望月小太郎書牘 卷二五」(1巻)の内	冊子複製版第19冊
438	望月小太郎書牘 卷二六				1巻	望月小太郎書翰 1通				詳細は438-1参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
438-1	望月小太郎書翰 井上馨宛	望月小太郎	井上馨	大正4年8月10日		松侯訪問 加藤・大浦出閣八大隈改造内閣ニブラ スナラントノ卑見ニ同意 大山公訪問 加藤外 交・人物評 政党者流ノ弊害ヨリ君国ノ教育ニ及 ビ愚見具申			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「438 望月 小太郎書牘 卷二六」（1 巻）	冊子複製版 第19冊
439	陸奥伯書牘 卷一				1巻	陸奥宗光書翰 9通				詳細は439- 1～9参照	
439-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治5年2月12日		妻死亡通知				「439 陸奥 伯書牘 卷 一」（1巻） の内	冊子複製版 第20冊
439-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治4年7月15日		無音才詫ビ 近況平信	岩橋万造紹介			「439 陸奥 伯書牘 卷 一」（1巻） の内	冊子複製版 第20冊
439-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治5(力)年3月8日		高木権参事差出シ 同人担当事務書翰照会ニテハ 不徹底ニツキ面会才聞取り乞ウ				「439 陸奥 伯書牘 卷 一」（1巻） の内	冊子複製版 第20冊
439-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年5月28日		別封八大隈参議ヘモ話済ミ 才手許ヘ差出シテヨ ロシキヨシ 任命書差出シタレバ周旋乞ウ				「439 陸奥 伯書牘 卷 一」（1巻） の内	冊子複製版 第20冊
439-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年 月31日		明日参上予定 山県・鳥尾ト集会参上致シカナル 時八明後日参上イタスベシ				「439 陸奥 伯書牘 卷 一」（1巻） の内	冊子複製版 第20冊
439-6	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治6(力)年5月4日		相談ノ用向アリ 芳川紙幣頭ニ才会イニナレバ委 細判明ノハズ 明朝参堂予定				「439 陸奥 伯書牘 卷 一」（1巻） の内	冊子複製版 第20冊
439-7	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年6月17日		発船ヲ祝シ餞別添書				「439 陸奥 伯書牘 卷 一」（1巻） の内	冊子複製版 第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
439-8	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年2月9日		先日ノ確答四五日延引イタシタシ				「439 陸奥伯書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
439-9	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治4(力)年10月9日		長ク滞府出来カネ明日オヒマナケレバ帰県 改メテ参府スベシ				「439 陸奥伯書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
440	陸奥伯書牘 巻二				1巻	陸奥宗光書翰 8通				詳細は440-1~8参照	
440-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年2月11日		別封添書				「440 陸奥伯書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
440-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治5(力)年2月25日		岩橋万造今回八奮発鞭達乞ウ 支那御用掛リ尽力願ウ 内願セシ兄ノ一件仕用願ウ 一県ノ知事グライハ勤マルベシ				「440 陸奥伯書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
440-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治20年8月16日		デマルチノ氏へ返書尊名ヲ仮ルハ危険 秘書官宛ニ伊公使ヘノ感謝表明ノ発令アリシ形ニシ鮫島ヨリ一書送呈 朝鮮公使着京 近藤ニ命シテ旅宿世話 シーボルト渡シ電信暗号自分考案通りニ命ゼラレタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「440 陸奥伯書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
440-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治20年8月13日		条約改正掛リ賞与中古沢滋ヲ加入 閲泳翊魯艦ニ乗り逃走 滞英小松宮殿下ニ対シ礼遇上失序欠典ノ詳報河瀬公使ヨリ着 駐米九鬼公使ヨリ例ノ馬場ノコト報告			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「440 陸奥伯書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
440-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治20年8月9日		回答書拝承 内藤ノ件記録局ハ誰ニテモ下命然ルベシトナレド 内藤適当ノ人物 記録局次長ニ仰付ラレタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「440 陸奥伯書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
440-6	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治20(力)年8月14日		伊公使親書開封謝罪 親書八蘭公使宣言取消シノ報告			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「440 陸奥伯書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
440-7	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治20年8月8日		ザツバイト行違イ明日横浜二赴キ直話ノ予定 近藤代理公使拝命記録局次長二内藤類二郎ヲ充テテヨロシキヤ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「440 陸奥伯書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
440-8	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治5(力)年4月6日		下命ノ府県等級設立ノ件調書作製供覧 別表八草高二抛ラス広狭二抛レリ				「440 陸奥伯書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
441	陸奥伯書牘 卷三				1巻	陸奥宗光書翰 7通				詳細は441-1～7参照	
441-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治20年8月9日		井角ノ件高諭ノ通り刑法二問ウ要アラン 刑法治罪法取調べ 一ケ年重禁錮相当カ 井角二八福沢口諭セシナルベシ 井角罪ヲ得レバ福沢ノ不名誉同等ナルベシ				「441 陸奥伯書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
441-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年 2月14日		留守中原善三郎へ連絡乞ウ 紀州産鯨肉才届ケ				「441 陸奥伯書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
441-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年1月29日		案内礼状				「441 陸奥伯書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
441-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年 月29日		新聞紙発行ノ件司法省ヨリ照会アル筈 回答草案都合ニテ自分手記スベキカ				「441 陸奥伯書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
441-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治20年8月27日		華米銀行一条波多野ヨリ別紙写報告アリ 市川文吉一条 戸田公使発程催促伝達			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「441 陸奥伯書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
441-6	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治20年8(力)月30日		当地政党運動格別異状二非ザレド不穩ノ動キ谷・板垣・勝等ノ意見書・憲法草案等散布 板垣八建白ヲナシー三四年国会願望者ノ如ク世論作出ノ計画 別紙八板垣神戸ニテ密話セシモノ内相ヘモ内申セリ				「441 陸奥伯書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
441-7	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治20年9月4日		伊藤大臣ヨリノ別封才届ケ 小松宮ヨリ伊藤大臣ヘ「サイアム」皇子来朝取扱イ方来書 応接宮内省引受ケ異存ナキヤ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「441 陸奥伯書牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
442	陸奥伯書牘 卷四				1巻	陸奥宗光書翰 8通				詳細は442-1～8参照	
442-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治20年9月6日		ヲズーブ僧正新潟旅行ノタメ西園寺公使発程前面会余裕少シ 従ツテローマ法皇ヘ派遣予報覚束ナケレバ出発延期シテハ如何 西園寺公使ローマ滞在外面ヲ張ルノ要アリ 費用支出ニツキ特例考慮乞ウ				「442 陸奥伯書牘 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
442-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治20年9月6日		西園寺帰京伊藤伯訪問 同伯決意明朝判明セン「スティブン」ヘノ訓令尊慮ヲ仰グベシ 同人身分如何ニスベキヤ 在外書生学費金ヲ公使館預リハ会計局長議論アリ 内閣提議見合セ中ナレバ西園寺公使出発前決定不能 ヘルリン公使館増員法律取調会議開会閣下進退決定後ナラデハ責任負イガタシ 「カーカード」 刑法案少々意見アリ別紙供覧			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「442 陸奥伯書牘 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
442-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年2月6日		磯部へ出発前拝晤ヲ得タシ				「442 陸奥伯書牘 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
442-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年3月17日		本日中拝晤ヲ得タシ 午後参上ヨロシキヤ				「442 陸奥伯書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
442-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治21年5月16日		二十日横浜出帆米国へ赴任 大阪代言人菊地侃二上京 滞阪中才話セシ中等以上ノ人ヲ団結閣下推尊ノ運ビ 出阪ノ際八富豪・代言人・新聞社員ト連絡ツケラレタシ 此書持参村山竜平紹介			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「442 陸奥伯書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
442-6	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治21年5月16日		時事新報社員森下岩楠紹介				「442 陸奥伯書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
442-7	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治21(力)年8月4日		春畝伯二面接苦心ノ近況拝聴 御用向アレバ下命アリタシ				「442 陸奥伯書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
442-8	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治21(力)年8月11日		津田道太郎指出シ 津田家政改革ノタメ三井へ添書ナリ一声ヲ乞フ				「442 陸奥伯書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
443	陸奥伯書牘 巻五				1巻	陸奥宗光書翰 5通				詳細は443-1～5参照	
443-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治21年6月30日		着任 大統領謁見終了 今秋ノ改選ハデモクラット派勝利カ 支那公使上流社会ニトリイリ反支感情緩和 新島襄教会方面ニ信任アリ 新島周旋ニテ教会方面ニ顔ヲツナギタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「443 陸奥伯書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
443-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治22年2月20日		内田交際官帰省 自分名代トシテ参伺セシムベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「443 陸奥伯書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
443-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治22年2月24日		電信ニテ請求アリタル委任状理由不明 自分二代リヨロシク裁決願ウ	英文電報写		「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「443 陸奥伯書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
443-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治22年4月15日		新任米国公使オールブル・ジョン・エフ・スウィフト紹介			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「443 陸奥伯書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
443-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治22年5月3日		近着新聞上国内政界推測困難 閣下政党ノ外二立ツノ意味如何 国会開会后ソノ収攬策アリヤ自治党組織ニツイテ 国会議員選挙ニ干渉助力ハ当然 自治党タルベキ地方首長極力周旋セシメラルベシ 資金不足ノ時ハ寡ハ衆ニ敵セズ自由党ニ及バザルベシ 来年選挙二十万円ハ用意サルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「443 陸奥伯書牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
444	陸奥伯書牘 巻六				1巻	陸奥宗光書翰 5通				詳細は444-1～5参照	
444-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治22年6月13日		政党外二立ツノ趣旨ハ趣旨トシテ議会操縦ガ緊要 ソノ為メ学識才幹アル人物ノ養成ガ必要 ジョンス・ホプキンス大学在学ノ家永本姓辻ヲ推薦 辻ノ学費支弁クダサレマジキヤ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「444 陸奥伯書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
444-2	陸奥宗光書翰 古沢宛	陸奥宗光	古沢	明治22年11月20日		細書ニテ疑団氷積 ヘル氏紹介 同人グラホホン及ビ電車ノ商用ニテ渡航 添書持参スルニツキヨロシク取扱イ依頼				「444 陸奥伯書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
444-3	陸奥宗光書翰 晨亭宛	陸奥宗光	晨亭	明治23(力)年 月 日		関ノ件決定急ガレタシ 関力長阪力和歌山へ派遣予定 貴方ノ都合ニテ関派遣セバ日就社退身好都合			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「444 陸奥伯書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
444-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治22年3月2日		下院議長ノ件再考願イタシ 第一番ノ国会ハソノ為メノ地位造リニ専念セシ輩二任セ 国会紛議シテ妥協スルコト知ラザルベシ 国会ノ外ニアラザレバ国会ヲ支配シガタシ	(極内陳) 児玉仲児へ委任状了解シタレド土地・預金ノコト 代人児玉仲児ヲシテ土地購入不得策		「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「444 陸奥伯書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
444-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治22年3月12日		新憲法一見 拙考二間違イアリ所得税ノコトナリ 高案二從イ児玉ヘノ委任状同封購入地所ノ条件 秘密二取扱イ願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「444 陸奥伯書牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
445	陸奥伯書牘 巻七				1巻	陸奥宗光書翰 7通				詳細は445-1～7参照	
445-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治24(力)年10月26日		斎藤伝命ニテオ待チセシモ御出ナシ 博覧会ノコトニテ地方評議員召集ニツキ出勤 今夕参上スベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「445 陸奥伯書牘 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
445-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治23(力)年10月2日		箱根ニテ伊藤伯ヨリ重要ノ伝言托セラレタリ 今夕参上イタシタシ				「445 陸奥伯書牘 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
445-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治23年12月11日		国会イヨイヨ開会 土族復禄一件白根ヲ説得内閣へ提出 伊藤議長評判ヨロシ 斎藤時事通信社ノコトニテ山県ノ機嫌ヲ損ズ 自分仲介シ事治リタリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「445 陸奥伯書牘 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
445-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年2月26日		参上希望 都合間イ合セ				「445 陸奥伯書牘 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
445-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛			明治24年9月15日		政務部思ウニ任セズ 昨日解任申出 松方首相ヨリ説諭アレド決意陳述			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「445 陸奥伯書牘 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
445-6	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年1月8日		内話セシ日葡件ニ関スル「ガラバ」手紙当分極秘ニ願イタシ 大石才招キノ際八林同席露公使トノ間好都合ナラン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「445 陸奥伯書牘 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
445-7	陸奥宗光書翰 春畝首相宛	陸奥宗光	春畝首相	明治27年1月9日		上奏案三通閲読 解散ノ度理由発表ノ要アルマジク今回八世論モ支持スルトコロ 上奏公示八見合セ然ルベシ モシ公布トナレバ条約励行云々ノ条ニ異見アリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「445 陸奥伯書牘 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
446	陸奥伯書牘 巻八				1巻	陸奥宗光書翰 10通				詳細は446-1～10参照	
446-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年1月15日		林次官ノ伝言了承 二三日加養ノ上帰京スベシ 議会ノコト既定方針断行ノ外アルマジ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「446 陸奥伯書牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
446-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年1月16日		来諭承知明日帰京スベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「446 陸奥伯書牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
446-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年1月17日		帰京通知			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「446 陸奥伯書牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
446-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年1月19日		今朝参上ノ予定ノトコロ山東直砥負傷 明朝参上イタシタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「446 陸奥伯書牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
446-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年2月2日		(代筆) 石油取締規則案本日閣議上提願ウ				「446 陸奥伯書牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
446-6	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年2月4日		別紙閲覽返上				「446 陸奥伯書牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
446-7	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治25年2月6日		伊東巳代治不在ナレバ出張不能ニツキ大略小田原へ書送 自分留守中伊東来訪未ダ面会ナキヤ又八松印出宛延期セシヤ 小田原へ更ニ通報ノ要アリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「446 陸奥伯書牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
446-8	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年2月12日		在ハワイ藤井事務官・在桑港珍田領事ヨリ別紙電報アリ				「446 陸奥伯書牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
446-9	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年3月25日		別紙返上 八田へ二七日夕参上スルヨウ伝達セリ				「446 陸奥伯書牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
446-10	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26年3月27日		日葡事件ニツキ青木公使ノ意見別紙ノ通り 政府方針ト同意見ノゴトシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「446 陸奥伯書牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
447	陸奥伯書牘 巻九				1巻	陸奥宗光書翰 8通				詳細は447-1～8参照	
447-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26年4月6日		（代筆）朝鮮防穀事件ニ関シ大石ヨリノ来電写供覧 流感臥床中 自分意見ハ伊藤伯ニ申述ベタリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「447 陸奥伯書牘 巻九」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
447-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年4月12日		例ノタンクノ件 中野神奈川県知事ニ定見ナク責任回避ノ様子 英政府ト葛藤ヲ生ズルオソレアリ 厳格ナル訓令発セラレタシ				「447 陸奥伯書牘 巻九」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
447-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年4月13日		タンク一件中野ヨリ可否落着ナオー五日ヲ要スル返答アリ カカル寛漫ニテハ外国へ通達シガタシ 議案撤回英断ヲ願ウ				「447 陸奥伯書牘 巻九」（1巻）の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
447-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光		明治28(力)年4月24日		慢性肺炎ノ診断ニテナオ一周日ノ賜暇養生 不参才詫ビ				「447 陸奥伯書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
447-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年7月9日		新聞ニ和歌山県参事官日比重明転任トアリ コノ件暫時才見合せ叶イマジキヤ				「447 陸奥伯書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
447-6	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年7月13日		井上・芳川意見書相届キ残ルハ貴意見書ノミナリ 青木へ訓令発シタク急ギ提出乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「447 陸奥伯書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
447-7	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年7月14日		今日中ニ八廻付願イタシ 午後意見伺イニ参上				「447 陸奥伯書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
447-8	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年9月30日		古沢へノ伝言芳川ト相談 意向通り実行ノ手筈			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「447 陸奥伯書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
448	陸奥伯書牘 巻一〇				1巻	陸奥宗光書翰 7通				詳細は448-1~7参照	
448-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治24年8月10日		松方明日十時二品川面会ノ約 同刻御参会アリタシ 機密金難色アリ説得アリタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「448 陸奥伯書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
448-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年8月17日		配慮ノ一件本日下付 近ク実施ノツモリ ソレ以前ゼヒ面会願イタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「448 陸奥伯書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
448-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年8月24日		松方帰京通知				「448 陸奥伯書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
448-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26年9月8日		葡国事件葡公使トノ談判要旨閣議案一冊御覽済ミナラン 今朝葡公使ヨリ覚書提出 コノタメ閣議請求ノツモリ 他国ヨリ干渉ハナケレド条約改正提議セバ容喙免レズ 明日大鳥公使別宴ヲ品川川崎屋二設クル予定 対客ハ伊藤伯ト林次官 同席願エレバ二三要件オ話シイタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「448 陸奥伯書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
448-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年10月22日		市来生一件 林次官ト相談出来ズ確答叶ワザルモ 来春欧大陸派遣ハ困難ナラン				「448 陸奥伯書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
448-6	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年10月23日		岡本へ渡セシ一件本月未返却願イタシ 和歌山市長長屋喜弥太和歌山鉄道ノ件ニテ上京 同人拜謁願出ルモ自分説明マデハ面会無用ニ願イタシ				「448 陸奥伯書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
448-7	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年10月30日		下命ノ件後藤へ伝エシトコロ 明朝自身ニテ返答スル旨申シ来レリ				「448 陸奥伯書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
449	陸奥伯書牘 巻一				1巻	陸奥宗光書翰 7通				詳細は449-1~7参照	
449-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年10月30日		新官制発布ニヨリ外交官任用ハ特別任用令トナル 市来ノ件至急始末ツケタク自分願イノ検事ノ件モ取運ビゴウ				「449 陸奥伯書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
449-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年12月13日		今夕露公使館ニテ独公使二面会ノ際才願一件助力願イタシ 榎本モ同席ナルベク同人支那行程ヨク耳打ちサレタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「449 陸奥伯書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
449-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年12月20日		別紙警視總監探索 伊公使へ対スル件端緒ヲ得タルゴトシ至急処置乞フ 条約改正問題朝野新聞利用ノ見込ナレバ追究 世上ノ半攘夷家ハ嚴重ニ処置願フ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「449 陸奥伯書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
449-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26年12月24日		伊藤伯高案ニ同意将来ノ基礎確立アリタシ 弥縫主義ヲトルナレバ自分井上伯ト行動ヲ共ニスト言明 二十九日ノコト首相同意 彼等無為延期ニ出ル場合詔諭アリタル以上大砲打ツベキヤ考案中			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「449 陸奥伯書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
449-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26年5月19日		大石来電十一万円払内訳大石責任ニテ承諾 首相ト相談認可 明日中ニ到着スベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「449 陸奥伯書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
449-6	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年12月28日		励行案討論秘密会トナルベシト新聞報道 秘密会ニテハ自分演説無益 何カ才聞込ミアルヤ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「449 陸奥伯書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
449-7	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年 月 日		日報社刊条約励行論流布イタシタシ 各府県庁ハ三十部才送リクダサレマジキヤ 伊東へ下命乞フ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「449 陸奥伯書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
450	陸奥伯書牘 卷一二				1巻	陸奥宗光書翰 6通				詳細は450-1～6参照	
450-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27年1月2日		青木ヘノ内信次ノゴトク願フ 陸奥ハ一任ヲ主張セシモ伊藤ト余ハ独政府ノ意向打診ヲ必要ト認メ 陸奥ニ勸告 法典保証ト居留地制度ノコト憲政下陸奥ヨリ申進メザルヲ得ス 今回ノ条約改正内ヨリ破裂セザルノ方針第一云々ト 僧正シヨウ氏ノコト英代理公使ヨリソノ政府ヘ電信セシメタリ 宮中ニテ各公使ト面会 小生ノ演説好評 議会・日本協会解散賞讃			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「450 陸奥伯書牘 卷一二」(1巻)の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
450-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光		明治 年1月10日		別封一読返上				「450 陸奥伯書牘 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
450-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年 月24日		松方伯今朝出発帰京トノ連絡タリシニ既ニ帰京セリ				「450 陸奥伯書牘 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
450-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27年1月11日		アルピン来訪 ハワイ政府ノ訓令ニヨリ日布条約中裁判権ニ関スル条項廃棄申入レ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「450 陸奥伯書牘 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
450-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27年2月17日		中島来訪 木村利右工門候補者受諾ノヨシ 同人辞退勧告ノ件才見合セアリタシ				「450 陸奥伯書牘 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
450-6	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27年4月3日		朝鮮事件代理公使ノ怠慢ヨリ強制決意セシモ彼ヨリ平和ノ申出 東京日日新聞号外同封 朝鮮王勅諭大鳥ヨリ照会中 青木ヨリ来電 ロンドンニテ予備会議開催 次議会ニテ励行案通ラザレバ青木分ノ改正成功力 建野ヨリモ米国進捗全権委任ヲ申出			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「450 陸奥伯書牘 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
451	陸奥伯書牘 巻一三				1巻	陸奥宗光書翰 5通				詳細は451-1~5参照	
451-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27年4月11日		海外移民保護規則枢密院ソノ他手続終了 勅令発布ニハ貴大臣・拙官副署ヲ要 貴大臣帰京前ニ発布イタシタク副署ハ帰京後ニ願ウコトトセリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「451 陸奥伯書牘 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
451-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27年6月13日		朝鮮事件顛末 中田指出シ同人ヨリ才聞取り乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「451 陸奥伯書牘 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
451-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27年6月17日		斎藤ヨリ株式会社ノ件百株自由ニセズバ着手困難 金策工夫クダサルルヤノ問合せ 開戦ニ至ラバ兵糧確保ノ要 斎藤へ着手致サセ金策ヨロシキヤ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「451 陸奥伯書牘 巻一三」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
451-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27年6月22日		朝鮮ノコト紛糾衝突免レズ 毎夜電信ノタメ不眠不休ノ苦心 帰京待望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「451 陸奥伯書牘 巻一三」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
451-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治20年8月15日		シイボルトへ渡シノ電信暗号佐藤・都筑ノ不注意ヨリ新コードヲ手交 外人ニ新コード預託ハ危険ニツキ桑港ニテ旧コードト取替エタシ 同意ナレバ藤井領事へ電訓イタシクシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「451 陸奥伯書牘 巻一三」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
452	陸奥伯書牘 巻一四				1巻	陸奥宗光書翰 4通				詳細は452-1～4参照	
452-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27(力)年8月17日		開港場及ビ地方官ヘノ訓令 警部長呼出シナレバ書面訓令不用力 呼出シニ拘ラズ書面必要ナレバソノ用意			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「452 陸奥伯書牘 巻一四」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
452-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年9月11日		明後日ノ閣議案供覧				「452 陸奥伯書牘 巻一四」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
452-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27年10月11日		直子ニ出発ノヨシ 機密金ノ件ハ裁量ニオ任セスルモ形式上公文勝之助君出張ニ托 本野広島へ指出シ オ都合ニテ同行サレレバ同人ハ懸案知悉セリ 岡本柳之助			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「452 陸奥伯書牘 巻一四」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
452-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27年10月18日		閣下奮発ノ一事各国公使称賛 朝鮮問題既ニ欧州各国ノ注目ヲ浴ビ アジア在留外交官ノ言動問ウニ足ラズ 本国政府ノ情報知スベシ 朝鮮政府顧問常識アル人物ガ適当 杉村適任力			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「452 陸奥伯書牘 巻一四」（1巻）の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
453	陸奥伯書牘 卷一五				1巻	陸奥宗光書翰 7通				詳細は453-1~7参照	
453-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治28(力)年4月 日		朝鮮政府貸与金十ヶ年延期ノ件 首相ハ一旦五年ト公表シタル以上変更不都合 三年後支払い不能ナレバ詮議スルコトトサレタシ 首相・自分共焦眉ノ大事ヲ抱工余裕ナシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「453 陸奥伯書牘 卷一五」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
453-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27年10月14日		岡本柳之助内訓ヲ仰ギタク参上希望 小生手許ヨリ今月分百五十円手渡シオキタリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「453 陸奥伯書牘 卷一五」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
453-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27年10月26日		無事京城着任ナラン 鴨緑江及ヒ黄海辺へ出軍ノ第一報アリ 英政府平和提案 総理ト討論ノ後一応謝絶 別封伊藤ヘノ私信供覧 山県伯ヘ大意才伝工乞ウ 平壤大勝後韓廷変化ノ兆 大鳥処遇枢密顧問ニテ一安心 室田帰朝セシメ後任加藤増雄決定			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「453 陸奥伯書牘 卷一五」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
453-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年11月8日		青木ノ私書内見許サレマジキヤ 彼ヲシテ進退両難ニ陥ラシメザルヨウイタシタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「453 陸奥伯書牘 卷一五」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
453-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27年11月8日		朝鮮大使一行中愈吉濬顧問官招聘ソノ他申出 朝鮮ノコトハ閣下ノ上申ヲ経テ処分 帰国相談スベキヨウ申シオケリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「453 陸奥伯書牘 卷一五」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
453-6	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年11月21日		参上回答				「453 陸奥伯書牘 卷一五」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
453-7	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年12月6日		海陸軍将校ヘノ漏洩恐ル 山・黒両伯ト相談取極メマデ内話一件極秘タルベシ 仁礼ヘ一書送ラレテハ如何			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「453 陸奥伯書牘 卷一五」(1巻)の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
454	陸奥伯書牘 巻一六				1巻	陸奥宗光書翰 7通				詳細は454-1~7参照	
454-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治28年1月28日		電信・公信ニテ往復セシ朝鮮公債一件未決定ニテ延引中 首・蔵相・川田等会合漸ウヤク将来ノ見込決定 委細ハ別封伊藤伯書簡ニテ承知アリタシ 清使来広 伊藤・自分全権委員タルベク談判不調ニ終ラン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「454 陸奥伯書牘 巻一六」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
454-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治28年3月3日		渡韓自由党員田中賢道紹介				「454 陸奥伯書牘 巻一六」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
454-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治28(力)年3月8日		春畝伯二面会内話 百事決定前参上日時指定乞ウ				「454 陸奥伯書牘 巻一六」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
454-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治26(力)年3月31日		原嘉道呼出シ説諭セシモ決心動カシ難シ 江木辞表ノコト取計イ乞ウ 阿部浩			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「454 陸奥伯書牘 巻一六」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
454-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治28年5月10日		清国ノ批准交換終リ露国関係モ片ヅキ批難ハ覚悟帰朝希望了承スレドナオ朝鮮問題安心ナラズ 十一月頃迄辛抱願イタシ 星ノコト名案ナケレド公使館機密金ノウチ機密金トシテ五千元送金			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「454 陸奥伯書牘 巻一六」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
454-6	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27年7月17日		青木公使昨日調印終了 批准交換マデ秘密ヲ要ス			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「454 陸奥伯書牘 巻一六」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
454-7	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治27(力)年7月18日		本日ノ国民新聞日露関係ニ有害カツ妄説ヲ流布停止下命アリタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「454 陸奥伯書牘 巻一六」（1巻）の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
455	陸奥伯書牘 巻一七				1巻	陸奥宗光書翰 6通				詳細は455-1~6参照	
455-1	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治24年8月11日		配慮ノ一件閣議ニテ修正ナク可決 閣下ノ尽力ニヨリ慶賀ニ堪エザルモ自分ハ貧乏クシ 規約草案急用アリ返却乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「455 陸奥伯書牘 巻一七」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
455-2	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治25年9月27日		逃亡支那人一件 香港知事電信写ニ徴スルニ英清公使ノ隠謀ニ非ルベシ 清公使ヨリ干渉量ラズ神戸警察ヘ内訓願イタシ 兵庫石炭油一件閣議ニテ助力乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「455 陸奥伯書牘 巻一七」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
455-3	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年1月17日		添状平信				「455 陸奥伯書牘 巻一七」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
455-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治25年2月10日		小田原ノ回答伊東ヨリ聞クニ宿題タルベシ 閣下ノ処理ヲ期待コノママ遷延ハ不体裁 山尾夫人葬儀			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「455 陸奥伯書牘 巻一七」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
455-5	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治23年2月16日		突然ノ帰国面晤ノ機ヲ得タイガ家族同伴旅行ニテ不如意 今後ノ進退未決定ナレド多分米国へ放逐セラルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「455 陸奥伯書牘 巻一七」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
455-6	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治25年3月10日		伊東巳代治ヨリ懇命敬承 辞表提出明日マデ延引シ愚衷陳述ノツモリノトコロ春畝伯来訪 同伯懇諭ヲ押シテ決行言明ノ事情了察乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「455 陸奥伯書牘 巻一七」（1巻）の内	冊子複製版第20冊
456	中井弘書牘 巻一				1巻	中井弘書翰 7通				詳細は456-1~7参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
456-1	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治5(力) 年 月 日		柴谷静二吉田少輔随行留学希望紹介				「456 中井弘書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
456-2	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治13年8月 2日		妻御地出遊宿屋周旋依頼 西郷・山形・佐野帰京セズ 伊藤・松方八休暇 五代着京未ダ会ワズ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「456 中井弘書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
456-3	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治14年 月30日		レゾフスキー来朝 海軍卿個人的接待外務省ヨリ八家具ソノ他貸与トナルカ 榎本ヨリ確答アルハズ				「456 中井弘書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
456-4	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治 年 月 13日		製絨ノ件ニツキ厚配発起人感謝 本日帰京阪来遊ノ際オ礼申スベシ				「456 中井弘書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
456-5	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治 年 月 30日		明日神戸着船ノヨシ 京都常盤屋マデ来臨アリタシ				「456 中井弘書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
456-6	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治21(力) 年 月3日		製絨所調査書発起人会議検討 為替差甚シク器械購求不適當 千住製絨所払下ゲヲ期待 ヨツテ富士谷ヲ千住ニ従事セシムベク農商務出仕ヲ花房ニ依頼 当人ヨリ情願オ聞取りテウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「456 中井弘書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
456-7	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治22年12 月16日		貸金五十年利引消却ノ願書提出ノ運ビ 来春ノ選挙ニ政党党勢拡張ニ努ム 五畿内実業家未ダ党派ニヨラズ 実業家連合会ヲ育成ノ熱望ナレド資金ナシ 過日依頼ノ金ノ下付ヲ得バ新聞・雑誌・倶楽部へ保助シタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「456 中井弘書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
457	中井弘書牘 巻二				1巻	中井弘書翰 7通				詳細は457-1～7参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
457-1	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治22年4月16日		原夫婦巴里ヨリ帰朝 久シク外勤ニテ国内事情不案内 御省へ使役願エレバイズレオ役ニ立ツベシ配慮願ウ ソノ他			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「457 中井弘書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
457-2	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治22年10月27日		大阪ニテ前田・末松ニ会イ東京近況承知 改正案延期シ内閣組織一変シテ堅固ノ政府ヲツクルノ必要 原敬伊藤伯ノ処ニ秘書官採用			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「457 中井弘書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
457-3	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治27年3(力)月8日		郡長・警察署長ヲ会集撰挙法ヲ訓示 埼玉・栃木ノ暴挙一報下命アリタシ 三井高朗死去位階昇級願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「457 中井弘書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
457-4	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治27年3月25日		今回ノ地方官会議用件多シ 淀川改修古市等ト相談 豊公以来ノ大事業ヲ閣下創設 近県国会議員ヲ召集シ水利委員会ヲ強力ニ運営ノ意気込ミ 明日帰府大極殿ト博覧会多忙			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「457 中井弘書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
457-5	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治27(力)年6(力)月2日		別紙外務・宮内両大臣へ内話ヲ乞ウ 京都来往ノ内外貴顕府庁ノ応接ヲ廃止 一手ニ宮内庁支庁ニ才願イシタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「457 中井弘書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
457-6	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治27(力)年(力)1月12日		上京下旬マデ猶予乞ウ 総選挙ノコト警保局長マデ報告ズミ 候補者従前ト大同小異			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「457 中井弘書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
457-7	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治27年9月10日		選挙下付金不足二百余円増額願ウ 阪本ノ件因却 朝鮮事件モ大本営移転大挙掃蕩ヲ期待 軍事公債内訓通リニテ愛國的応募多シ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「457 中井弘書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
458	新田男・吉川男書牘				1巻	新田俊純書翰 2通 吉川重吉書翰 2通				詳細は458-1～4参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
458-1	新田俊純書翰 井上馨宛	新田俊純	井上馨	明治17年8月13日		男爵拝受御礼				「458 新田男・吉川男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
458-2	新田俊純書翰 井上馨宛	新田俊純	井上馨	明治 年8月19日		勝之助病気見舞				「458 新田男・吉川男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
458-3	吉川重吉書翰 井上馨宛	吉川重吉	井上馨	明治21年12月1日		留学地ヨリ平信				「458 新田男・吉川男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
458-4	吉川重吉書翰 井上馨宛	吉川重吉	井上馨	明治22年9月10日		平信				「458 新田男・吉川男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
459	新島襄書翰 巻一				1巻	新島襄書翰 6通				詳細は459-1~6参照	
459-1	新島襄書翰 井上馨宛	新島襄	井上馨	明治21年5月3日		名古屋地方出張ノヨシ 同地ハ生産発達将来有望ノ地 専門校募集ノタメ出張ノツモリ ソノ地有志家ニ智徳併行ノ教育ヲ宣伝賜リタシ 前島密ヲ介シ桑名諸戸ヘ四五千円ノ寄付誘導願イタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「459 新島襄書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
459-2	新島襄書翰 井上馨宛	新島襄	井上馨	明治21年6月29日		弊社通則草案供覧 徳富洋行雑誌関係ニテ困難			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「459 新島襄書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
459-3	新島襄書翰 井上馨宛	新島襄	井上馨	明治21(力)年10月6日		明朝金森通倫同道参上希望			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「459 新島襄書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第21冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
459-4	新島襄書翰 井上馨宛	新島襄	井上馨	明治21年10月16日		広告並ニ募集云々諸大新聞承知 日々新聞へ照会未済ナレバ金森通倫へ添書頂キタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「459 新島襄書翰 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
459-5	新島襄書翰（金森通倫と連名）井上馨宛	新島襄	井上馨	明治22年1月1日		年賀			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「459 新島襄書翰 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
459-6	新島襄書翰 井上馨宛	新島襄	井上馨	明治22年2月16日		出火見舞 大学用地七千坪買得			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「459 新島襄書翰 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
460	新島襄書翰 巻二				1巻	新島襄書翰 3通				詳細は460-1～3参照	
460-1	新島襄書翰 井上馨宛	新島襄	井上馨	明治22年4月15日		神戸集会内海知事・野村上人氏名拒否サレ困惑 大阪集会計画進行中ナレド卒先者ノ奮発期待薄 藤田伝三郎他十名ノ富豪連逡巡 コノ困難ヲ開クノ端緒懇願			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「460 新島襄書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
460-2	新島襄書翰 井上馨宛	新島襄	井上馨	明治22年4月21日		弊社大学賛成ノ勧告 才願イセシ大阪ノ豪商十人 不都合ナレバ藤田・鴻池他二三ニハ勧告願イタシ 滞阪中当地ノ端緒開キ方助力乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「460 新島襄書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
460-3	新島襄書翰 井上馨宛	新島襄	井上馨	明治22年4月27日		渋沢ノ原六郎へ納金催促ニ関シ 原小生へ不快ノ向キ 北垣知事東上ニ伝言托スルツモリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「460 新島襄書翰 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
461	新島襄書翰 巻三				1巻	新島襄書翰 6通				詳細は461-1～6参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
461-1	新島襄書翰 井上馨宛	新島襄	井上馨	明治22年6月4日		寄付二関シ原六郎ト渋沢間二行違イアリ 原小生二誤解ノ向キ 出京北垣知事二解明ヲ依頼 米国ハルリス氏ヨリ理化学教室建築二一万七千弗維持費五万弗ノ寄付 国内寄付金利ヲ以テ教授要員ノ書生二名独乙留学セシムル予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「461 新島襄書翰 巻三」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
461-2	新島襄書翰 井上馨宛	新島襄	井上馨	明治22年7月20日		尽力ニヨリ三万余円ノ寄付金ヲ得タリ 謝辞			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「461 新島襄書翰 巻三」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
461-3	新島襄書翰 井上馨宛	新島襄	井上馨	明治22年11月20日		近況消息			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「461 新島襄書翰 巻三」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
461-4	新島襄書翰 井上馨宛	新島襄	井上馨	明治22年12月16日		群馬佐藤知事へ添書ニヨリ県下募集ノ端緒ヲ得 腹胃カタルノタメ中止帰京 来春再挙ノツモリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「461 新島襄書翰 巻三」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
461-5	新島襄書翰 井上馨宛	新島襄	井上馨	明治23年1月21日		遺書			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「461 新島襄書翰 巻三」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
461-6	新島八重子書翰（徳富猪一郎・小崎弘道と連名）井上馨宛	新島襄	井上馨	明治23年4月1日		遺書送達添書			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「461 新島襄書翰 巻三」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
462	野田卯太郎書牘 巻一				1巻	野田卯太郎書翰 6通				詳細は462-1～6参照	
462-1	野田卯太郎書翰 益田宛	野田卯太郎	益田	明治27(力)年7月7日		増鍾ノ件貴命通り停止 朝鮮問題地方人氣沸騰 義勇軍団位結成可能 井伯好評藤田案提出前ヨリ内閣輿望アリ				「462 野田卯太郎書牘 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第21冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
462-2	野田卯太郎書翰 井上馨宛	野田卯太郎	井上馨	明治28年4月21日		離鮮礼状				「462 野田卯太郎書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第21冊
462-3	野田卯太郎書翰 益田孝宛	野田卯太郎	益田孝	明治 年8月23日		弊社未定株一七七ノ内一二〇余八公売 五〇ヲ中上川購入希望 貴兄ヨリ勧誘乞ウ				「462 野田卯太郎書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第21冊
462-4	野田卯太郎書翰 井上馨宛	野田卯太郎	井上馨	明治36年4月29日		伊藤侯ト内閣妥協未ダシ 財政・行政ニツキ議會ニテ議ヲ尽ストノコト 小生等財政ニツキ取調中			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「462 野田卯太郎書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第21冊
462-5	野田卯太郎書翰 井上馨宛	野田卯太郎	井上馨	明治37年7月13日		百三十銀行救済問題 進歩党委員ヲ派シ日本銀行總裁ニ救済金出所質問ノヨシ 松田・長谷場へ相談 説明材料作成 桂総理・曾禰蔵相へ連絡 原敬へハオ話願イタシ 議會前解決ヨロシカラシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「462 野田卯太郎書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第21冊
462-6	野田卯太郎書翰 井上馨宛	野田卯太郎	井上馨	明治36年3月3日		当選通知				「462 野田卯太郎書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第21冊
463	野田卯太郎書牘 卷二				1巻	野田卯太郎書翰 7通				詳細は463-1~7参照	
463-1	野田卯太郎書翰 井上馨宛	野田卯太郎	井上馨	明治38(力)年10月21日		本年ノ県下稲作例年ノ八分 農商務省調査ヨリ一割乃至一割五歩ノ減収				「463 野田卯太郎書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版 第21冊
463-2	野田卯太郎書翰 井上馨宛	野田卯太郎	井上馨	明治40年11月3日		朝鮮旅行報告				「463 野田卯太郎書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版 第21冊
463-3	野田卯太郎書翰 井上馨宛	野田卯太郎	井上馨	年5月8日		礼状				「463 野田卯太郎書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版 第21冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
463-4	野田卯太郎書翰 井上馨宛	野田卯太郎	井上馨	明治 年8月23日		麻生へ下命伝達 同氏五百株申込メリトノヨシ 一千株期待ナリヤ				「463 野田卯太郎書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版 第21冊
463-5	野田卯太郎書翰 井上馨宛	野田卯太郎	井上馨	年12月22日		達磨贈呈ニツイテ				「463 野田卯太郎書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版 第21冊
463-6	野田卯太郎書翰 井上馨宛	野田卯太郎	井上馨	大正4(力)年7月17日		東拓会社満州へ拡張出来ルヨウ高配願ウ				「463 野田卯太郎書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版 第21冊
463-7	野田卯太郎書翰 井上馨宛	野田卯太郎	井上馨	大正4年8月14日		満蒙視察ニ得タル材料編纂中 ソノ概略供覧				「463 野田卯太郎書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版 第21冊
464	野村子書牘 卷一				1巻	野村靖書翰 5通				詳細は464-1~5参照	
464-1	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治22(力)年3月31日		馬車馬ノ件ニ匹引ニ用イル優駿八頭アリ 御用ナレバ貴意ニ応ズベシ				「464 野村子書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第22冊
464-2	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治21(力)年9月16日		郵便法断行ノ件 新聞紙上論議アリ元老院モ否決ノ部分ハ新聞紙専有ノ一条 行政・経済上自分ノ主張ニテモツセヘ相談脱稿ノモノ 国家的モ省務上モ必要ニツキ邪説排除希望 大隈伯異論アルハ食言ノ所業 元老院再議論外 日日新聞専有ノ非ヲ説ク閑論説概嘆 明日閣議逋信省原案通り決議希望				「464 野村子書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第22冊
464-3	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治21(力)年10月11日		別紙ハ当年度議案賛成乞ウ 小林ノコト松方ニ相談 三池従事困難取止メ上策トイウ コノコト老台へ申入レクレト本人ハ益田へ申入レノヨシ 新聞税ノコト榎本難色				「464 野村子書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版 第22冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
464-4	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治23年3月1日		条約改正覚書各公使へ手交ノ段取り 山県難色二ツキ品川ト共ニ説得 元昭公学友トシテ官立学校生招待ノ企画				「464 野村子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
464-5	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治22年8月12日		参会ノ模様伊藤伯ヨリ伝承 匙ヲ投ゲラレタルベシ コノ際静観ノ外ナカラン 辞表提出ノ時機ハ此ノ間カ 改正談判ノウチ判事ノ件取消片付キ好機会 山県伯帰朝前上奏アレバ多少ノ紛紜生ジ山県帰朝後一働キノ手段タラン 伊藤伯一身上ノ上奏モ山県帰朝前ヲ然リトス 伊伯隈伯二面晤司法又ハ内務ニ従事トノ青木談ハ誤伝ナラン				「464 野村子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
465	野村子書牘 巻二				1巻	野村靖書翰 2通				詳細は465-1~2参照	
465-1	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治22年10月3日		山県帰朝 内外情勢二ツキ山県ト意見交換 西郷・松方山県二内閣担当ヲ愆憑 川上操六ニコレバ一新避ケ難シ 山県疑点伊伯・老台傍観然タルノ一事 改正中止ヲ期待ノ現状ヲ説明 山県伯総理担当ノ際ハ老台ノ覚悟如何				「465 野村子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
465-2	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治23年1月7日		裁判所構成法紛議カ 商法延期ニテ三十万円収入減 司法予算差額ヲ生ゼンモ山田伯決心ノ体山県却ツテ余裕 国会解散力予算不成立カ 久原・下河辺来京 児島湾一条献納ノ筋不可能				「465 野村子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
466	野村子書牘 巻三				1巻	野村靖書翰 2通				詳細は466-1~2参照	
466-1	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治24年2月2日		明日ヨリ予算本会議 支出節減官制波及又地租五厘減閣議ハ拒否 山田逵巡伊藤ト自分ニテ説得山県 西郷ニ開陳ノハズ 児島湾ノコト再考ヲ要ス 自分欧行希望 伯林希望青木説得乞ウ				「466 野村子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
466-2	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治24年2月12日		伊藤山県歩ク寄り困難 議会減額決議 山県ニハ硬軟ノ二途アリ 解散ニ解散ヲ重ネルカ 昨年度予算ヲ以テスルカ 大隈ノ思ウツボトナルベシ 改進黨解散希望 伊藤ハ見放シ山県ハ自棄ノ口吻				「466 野村子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
467	野村子書牘 巻四				1巻	野村靖書翰 3通				詳細は467-1~3参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
467-1	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治24年6月2日		昨日大臣更迭ニテ一段落 大津裁判出張判事内地ノ沸騰ヲ顧慮 外患ノ深奥ヲ覚ラズ緊急命令不発 露公使ヨリ判決ニ対シ返答ナケレド大不平ノヨシ 内閣組織成リ行キ不明憂慮ニ堪エズ 木村正幹				「467 野村子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
467-2	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治24年6月17日		品川・山県ト面談 魯公使榎本外相ニ公文 前外相ヨリ津田三造死刑ヲ請求スルヨウヲレシモ極刑ナク露政府不満 外相公文受取ヲ拒絶 閣議青木詰問ヲ検討 伊藤中止方ヲ松方ヘ申入レ 青木山県ヲ訪問 魯公使ヘノ申入レ伊藤・井上ノ指図 榎本ノ奔走ニテ一応落着 伊藤青木ノ真意糺明ヲ希望 帰京ヲ待ツ				「467 野村子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
467-3	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治25(力)年2月22日		当国〔仏〕内閣辞職 フレシネー辞職事情 結社条令ニヨル紛糾				「467 野村子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
468	野村子書牘 巻五				1巻	野村靖書翰 3通				詳細は468-1~3参照	
468-1	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治25年12月15日		陸奥大臣公信葡政府新条約ノ意トアルハ翻訳ニヨル誤解 勅令執行中止領事館再設ハ損益ナシ此僞据置キ仏介入セン 仏各国ト仲裁法提出ニ至ラバ日本不利 葡勅令執行中止申入レハ彼レノ発意カ シュベッチ氏助言カ不明 或ハ在葡英公使カ 栗野来欧イカナル訓令ナラン				「468 野村子書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
468-2	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治27年6月7日		総理ニ面会オトシノ辞表呈出 伊藤伯之ヲ拒否又小生ノ行動ヲモ攻撃アリ 宮相ヲ通ジ上奏アルノミ 但シ聴許ハ疑問熟考ヲ要ス 朝鮮事件結着内地政略一決マデ静観ヨロシカラシ				「468 野村子書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
468-3	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治27(力)年10月6日		児玉少介身上依頼				「468 野村子書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
469	野村子書牘 巻六				1巻	野村靖書翰 3通				詳細は469-1~3参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
469-1	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治27年9月 23日		貴意ノ通り品川ノ意ハ朝野一致ニアレド行懸リ上 脱党不能 改進黨トノ提携絶対ニナシ 懇諭ノ次 第伝達シ置クベシ 陸海軍勝報大慶 大本営ヲ韓 地京城力開平壤へ進メラルルコト希望				「469 野村 子書牘 卷 六」(1巻) の内	冊子複製版 第22冊
469-2	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治27年10 月6日		奏議草稿一覽クダサレタルベシ 聖上遠征内外二 大権ノ実ヲ宣示シ 将来ノ戰略ニ決行ヲ希望ソノ 機ハ議會閉場好機 日清ノコト徹底セズバ後悔ア ルベシ				「469 野村 子書牘 卷 六」(1巻) の内	冊子複製版 第22冊
469-3	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治27年10 月18日		北垣未着ニツキ結着ヲ見ズ 芳川・小室等ト相談 主意二抛リ尽力中 コノ件小野田・伊東巳代治間 ニ支障アルマジ ソノ他				「469 野村 子書牘 卷 六」(1巻) の内	冊子複製版 第22冊
470	野村子書牘 卷七				1巻	野村靖書翰 4通				詳細は470- 1~4参照	
470-1	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治27年10 月18日		大岡育造来訪佐々友房渡韓視察希望 時機尚早談 ジ置ケリ 老台渡韓着手ノ順序アルベク 他ヨリ 容喙好マシカラザルベシ				「470 野村 子書牘 卷 七」(1巻) の内	冊子複製版 第22冊
470-2	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治27年11 月25日		京都府知事渡辺千秋ニ決定 本年予算計画通り提 出ニ閣議決定 秋田・島根水害対策 水災補助費 案モシ林勇蔵案提出ヲ見バ我案ヲ提出予定 曹洞 宗一件管長任免権政府ヘトルベキカ 戦後收拾問 題 山県大将病氣ノ件				「470 野村 子書牘 卷 七」(1巻) の内	冊子複製版 第22冊
470-3	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治27年11 月26日		公債募集島津家五十万円応募毛利モ同様タルベ シ 東京ニテ三千万地方ヨリ二千万ノ見込 山県 病氣胃癌力				「470 野村 子書牘 卷 七」(1巻) の内	冊子複製版 第22冊
470-4	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治27年12 月2日		山県病氣御召歸シニ決定 帰朝後ノ処遇考慮ヲ要 ス デットリング来国徒勞 講和全権任命ヲ聞カ ズ 山脇玄				「470 野村 子書牘 卷 七」(1巻) の内	冊子複製版 第22冊
471	野村子書牘 卷八				1巻	野村靖書翰 3通				詳細は471- 1~3参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
471-1	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治28年1月17日		才望ミノ金額伊藤伯尽力中 有栖川宮薨去 広島紛糾無事解決セン 安広ノコト承諾幸イ 曹洞宗ノ件落着				「471 野村子書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
471-2	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治28年2月6日		講和使広島引払い長崎滞留 威海衛砲台占領 鳥尾小弥太家政配慮内密連絡乞ウ 銀行延期問題努力中				「471 野村子書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
471-3	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治28年8月2日		朴等来ル二日渡航 朴二罪ヲ帰シ他二連累及ボサザル八金宏集等ノ苦心 米國渡航望ム所 三浦進退御地発途見込三浦ヘオシラセ乞ウ 三百万円ノ内王妃ヘ配付ノ意 朴ヨリ伝達王妃拒否臨時会ノ準備未了 国内政界近況 戦後経営経済指向必要				「471 野村子書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
472	岡本健三郎書牘				1巻	岡本健三郎書翰 11通				詳細は472-1~11参照	
472-1	岡本健三郎書翰 井上馨宛	岡本健三郎	井上馨	明治4年2月22日		造幣寮開設無事終了 井田鎮西巡按ノタメ出版右ノ糺弾方ニ適當ノ人物入用ノ相談アリ 島本元兵部権少丞ヲ推薦 当地判任官交代ノ件申入レ謙茂得弘			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「472 岡本健三郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
472-2	岡本健三郎書翰 井上馨宛	岡本健三郎	井上馨	明治 年8月5日		戸田邸五千両二買取東京府へ通牒 佐々木・土方家屋吉井へ依頼別紙報告アリ				「472 岡本健三郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
472-3	岡本健三郎書翰 井上馨宛	岡本健三郎	井上馨	明治6(力)年5月29日		本日発途挨拶				「472 岡本健三郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
472-4	岡本健三郎書翰 井上馨宛	岡本健三郎	井上馨	明治5(力)年1月23日		山県大輔ト謀リ勢州路探索トシテ派遣ノ仲彦太郎ヨリ別紙報告アリ				「472 岡本健三郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
472-5	岡本健三郎書翰 井上馨宛	岡本健三郎	井上馨	明治9年4月9日		岩崎帰朝ヲ祝シ一夕席ヲ設ケタキ希望 伊藤共日時取極メ通知乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「472 岡本健三郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
472-6	岡本健三郎書翰 井上馨宛	岡本健三郎	井上馨	明治 年4月 22日		三菱ノ件ニツキ内話希望 都合日時オ示シテウ				「472 岡本健三郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
472-7	岡本健三郎書翰 井上馨宛	岡本健三郎	井上馨	明治 年7月 15日		伺イタキ用件アリ 都合日時オ示シテウ				「472 岡本健三郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
472-8	岡本健三郎書翰 井上馨宛	岡本健三郎	井上馨	明治 年4月 25日		三菱一件伊君へ相談願イタリヤ 岩兄弟名古屋丸 一条二従事八事務二差支工 担当者ヲ用イタキ依頼斡旋乞ウ 米相場				「472 岡本健三郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
472-9	岡本健三郎書翰 井上馨宛	岡本健三郎	井上馨	明治 年4月 28日		依頼セシ一条小野大印へ頼ミ承諾近日払出シノ手筈				「472 岡本健三郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
472-10	岡本健三郎書翰 井上馨宛	岡本健三郎	井上馨	明治 年5月 13日		平信招待状				「472 岡本健三郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
472-11	岡本健三郎書翰 榎坂〔伊藤〕先生宛	岡本健三郎	榎坂〔伊藤〕先生	明治14(力)年 6月19日		蒲公使一条了承 高輪へ早速通知スベシ 司法卿云々明察通リナラン高輪ヨリ別紙申来リ前途水泡ニ帰スノ感 内務書記官西村トカハ捨三ナルベシ 右ヨリ漏泄ハ遺憾 外務卿ト相談願ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「472 岡本健三郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
473	大久保公書翰				1巻	大久保利通書翰 7通				詳細は473-1~7参照	
473-1	大久保利通書翰 井上馨宛	大久保利通	井上馨	明治4(力)年4 月7日		本日来会拝承				「473 大久保公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
473-2	大久保利通書翰 井上馨宛	大久保利通	井上馨	明治4(力)年7 月23日		本日相談ノ件ニツキ建論ノ趣拝承 明日西郷へ示談御答エスベシ				「473 大久保公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
473-3	大久保利通書翰 井上馨宛	大久保利通	井上馨	明治4(力)年7 月25日		吉井云々松方ニオ示シノ由 判任以下人撰承知				「473 大久保公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
473-4	大久保利通書翰 井上馨宛	大久保利通	井上馨	明治4(力)年7 月28日		借用書類返却延引御免				「473 大久保公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第22冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
473-5	大久保利通書翰 井上馨宛	大久保利通	井上馨	明治 年 月 12日		富田権大属・杉山大属会計事務取扱附属任命方考慮乞ウ				「473 大久保公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
473-6	大久保利通書翰 井上馨宛	大久保利通	井上馨	明治7(力)年2月15日		廻漕方船雇入レ下命ノ趣拝承 本日西郷出発二間二合ワザルベク ナオ相談ニ参ルベシ				「473 大久保公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
473-7	大久保利通書翰 井上馨宛	大久保利通	井上馨	明治7(力)年10月9日		大隈来宅一日相談ノ申入レ 来駕乞ウ				「473 大久保公書翰」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
474	小野義真・山県十蔵・岡本柳之助・釈雲照書牘				1巻	小野義真書翰 1通 山県十蔵書翰 1通 岡本柳之助書翰 3通 釈雲照書翰 1通				詳細は474-1~6参照	
474-1	小野義真書翰 井上馨宛	小野義真	井上馨	明治 年 1月21日		近衛家負債ノ件談判 本人ニ示談ノ上決答ノ手筈 今朝別紙看彼ガ申立ニヨリ決着止ムヲ得ズ別紙一判乞ウ 正院・宮内省手續終エタルベクポートイン・シキウト発途ノ期ナレバ急飛報知セン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「474 小野義真・山県十蔵・岡本柳之助・釈雲照書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
474-2	山県十蔵書翰 井上馨宛	山県十蔵	井上馨	明治 年1月27日		八十自賀粗品進呈				「474 小野義真・山県十蔵・岡本柳之助・釈雲照書牘」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
474-3	岡本柳之助書翰 井上馨宛	岡本柳之助	井上馨	明治28年5月26日		権協弁多用面会謝絶ノ回答 楠瀬中佐ヨリテ説諭方ヨロシカラン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「474 小野義真・山県十蔵・岡本柳之助・釈雲照書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
474-4	岡本柳之助書翰 井上馨宛	岡本柳之助	井上馨	明治27年11月10日		東学堂書類及ビ掛物供覧			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「474 小野義真・山県十蔵・岡本柳之助・釈雲照書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
474-5	岡本柳之助書翰 井上馨宛	岡本柳之助	井上馨	明治 年8月30日		当地へ着下命一事見聞ナンラ判然セズ 明朝大井方へ出向クツモリ勝敗予算外ナリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「474 小野義真・山県十蔵・岡本柳之助・釈雲照書牘」（1巻）の内	冊子複製版第22冊
474-6	釈雲照書翰 井上馨宛	釈雲照	井上馨	明治27年12月23日		韓廷内治改革苦勞ナラン 守護送付				「474 小野義真・山県十蔵・岡本柳之助・釈雲照書牘」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
475	大谷光尊・光勝尺牘				1巻	大谷光尊書翰 3通 大谷光勝書翰 2通				詳細は475-1～5参照	
475-1	大谷光尊書翰 井上馨宛	大谷光尊	井上馨	明治17年7月19日		受爵祝賀 利井明郎上京 才聞取り願イタルベシ 信教自由ニツキ各宗愚論教導職廃止ハ当然僧官設置ハ有害 管長ト一般僧侶ト区別ノミニテ事足ルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「475 大谷光尊・光勝尺牘」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
475-2	大谷光尊書翰 井上馨宛	大谷光尊	井上馨	明治18年6月2日		当山財務節儉主義 石原僧宣死去赤松連城引継ギ 昨年末不景気事業沈滞 大洲鉄然・香川葆晃 積極主義ヲ主張 病中苦心ノ折品川出遊ニテ相談 従来ノ主義貫通ノ見込ミ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「475 大谷光尊・光勝尺牘」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
475-3	大谷光尊書翰 井上馨宛	大谷光尊	井上馨	明治 年 6月14日		当山護持会加入拝承感謝				「475 大谷光尊・光勝尺牘」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
475-4	大谷光勝書翰 井上馨宛	大谷光勝	井上馨	明治 年 6月 8日		梭子へ饒別品感謝 購求方依頼				「475 大谷光尊・光勝尺牘」（1巻）の内	冊子複製版第22冊
475-5	大谷光勝書翰 井上馨宛	大谷光勝	井上馨	明治 年 7月 8日		岩倉梭子西上ニツキ配慮御礼				「475 大谷光尊・光勝尺牘」（1巻）の内	冊子複製版第22冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
476	大浦子書牘 巻一				1巻	大浦兼武書翰 2通				詳細は476-1~2参照	
476-1	大浦兼武書翰 井上馨宛	大浦兼武	井上馨	明治27年4月7日		内願セシ巡幸閣議決定上奏ノ趣 宮相ヨリ承レバ閣下帰京マデ内定見合セノヨシ 道筋ノ準備時日ヲ要スレバ直チニ帰県 内願通り行幸内奏乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「476 大浦子書牘 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
476-2	大浦兼武書翰 井上馨宛	大浦兼武	井上馨	明治28年4月1日		馬関兇変世界ヘノ影響歎息 首相ヨリ広島ヘ召電アリ山口県知事拜命 馬関人心漸ク鎮静 原保太郎・後藤松吉郎被免 後藤朝鮮警察ニ仕途ナキヤ	季翁軽快 休戦条約ニ満足ノ体		「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「476 大浦子書牘 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
477	大浦子書牘 巻二				1巻	大浦兼武書翰 4通				詳細は477-1~4参照	
477-1	大浦兼武書翰 井上馨宛	大浦兼武	井上馨	明治29年4月7日		東京電情報 陸奥帰京西園寺臨時代理解任 北海道長官二原保太郎力安場保和 他人事			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「477 大浦子書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
477-2	大浦兼武書翰 井上馨宛	大浦兼武	井上馨	明治29年5月1日		還暦祝賀 伊皿子邸訪問大門ヲ開クヤ否ヤ方針八開クツモリナリト 高島子ノ板伯入閣賛成ノ条件右ニアル由			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「477 大浦子書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
477-3	大浦兼武書翰 井上馨宛	大浦兼武	井上馨	明治31年8月29日		今回ノ政変ハ意外 高崎ヨリ内諭ノ次第敬承 閣下ノ明政党内閣瓦解ヲ見通シ後来ノ策ヲ立ツルニアラン 自進両党紛糾 隈板両相困難ノ様子 善後策ノ着手近カルベシ 君主内閣ヲ以テ共和主義者撃滅ヲ期待 宮城県転任ノ公電即時辞表ヲ提出セリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「477 大浦子書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
477-4	大浦兼武書翰 井上馨宛	大浦兼武	井上馨	明治36年11月4日		京釜鉄道ニ関スル意見拝見 役員不適当ノ箇条愚見モアリ 田次官参上イタサセタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「477 大浦子書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第23冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
478	大浦子書牘 巻三				1巻	大浦兼武書翰 4通				詳細は478-1~4参照	
478-1	大浦兼武書翰 井上馨宛	大浦兼武	井上馨	大正3年7月2日		秋田県黒川村二石油発見 同地出張ツイデニ奥羽六県巡回ノ予定				「478 大浦子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
478-2	大浦兼武書翰 井上馨宛	大浦兼武	井上馨	大正3(力)年8月13日		参郎予定ノトコロ英国ト往復中ニテ結論ニ至ラズ不参 明午後二八参郎叶ウベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「478 大浦子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
478-3	大浦兼武書翰 井上馨宛	大浦兼武	井上馨	大正3年10月15日		国防上財政計画予算等円満結了 国産奨励会発会 発起人別紙ノ通り			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「478 大浦子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
478-4	大浦兼武書翰 井上馨宛	大浦兼武	井上馨	大正4(力)年1月18日		望月来訪 内示敬承 地方長官召集 会議済次第 参上スベシ				「478 大浦子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
479	大浦子書牘 巻四				1巻	大浦兼武書翰 4通				詳細は479-1~4参照	
479-1	大浦兼武書翰 井上馨宛	大浦兼武	井上馨	大正4年1月26日		今朝原田ニ面談鴻池銀行ニ非ズ原田個人ニ奮発シテクレト内談 原田老台ニ相談ニ参ズベクヨロシク願ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「479 大浦子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
479-2	大浦兼武書翰 井上馨宛	大浦兼武	井上馨	大正4年3月16日		才願イセシ件原田承諾 配慮感謝 総選挙当選見込ミ 一週間内外ニ犯罪ニヨル異動ガ心配			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「479 大浦子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第23冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
479-3	大浦兼武書翰 井上馨宛	大浦兼武	井上馨	大正4年4月1日		総選挙援助ニヨリ好結果感謝 新旧議員名並二党派別点数表別送供覧			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「479 大浦子書牘 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
479-4	大浦兼武書翰 井上馨宛	大浦兼武	井上馨	大正4年7月20日		炎暑見舞			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「479 大浦子書牘 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
480	大山公・児玉伯書翰				1巻	大山巖書翰 5通 児玉源太郎書翰 6通				詳細は480-1～11参照	
480-1	大山巖書翰 井上馨宛	大山巖	井上馨	明治 年12月10日	1通	参上通知					冊子複製版第23冊
480-2	大山巖書翰 井上馨宛	大山巖	井上馨	明治26(力)年10月31日		京都府知事ノ件拝承 同人江州巡廻中ノヨシ				「480 大山公・児玉伯書翰」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
480-3	大山巖書翰 井上馨宛	大山巖	井上馨	明治 年9月23日		才願イノ筋才間済感謝 井上局長宅参集謹承				「480 大山公・児玉伯書翰」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
480-4	大山巖書翰 井上馨宛	大山巖	井上馨	明治 年10月23日		西郷伯ト相談貴族院ニ補セラルルヨウ総理ヘ陳述ノツモリ 老台ヨリモ総理ヘ相談アリタシ				「480 大山公・児玉伯書翰」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
480-5	大山巖書翰 井上馨宛	大山巖	井上馨	明治 年1月9日		年賀返礼			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「480 大山公・児玉伯書翰」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
480-6	児玉源太郎書翰 井上馨宛	児玉源太郎	井上馨	明治31(力)年6月8日		伊侯病氣 別紙閲読困難写差シ上ゲ原本返却				「480 大山公・児玉伯書翰」（1巻）の内	冊子複製版第15冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
480-7	児玉源太郎書翰 井上馨宛	児玉源太郎	井上馨	明治 年3月31日		今朝才願イ一条差引計算書徳山家ニテ調査 別紙供覧				「480 大山公・児玉伯書翰」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
480-8	児玉源太郎書翰 井上馨宛	児玉源太郎	井上馨	明治 年11月7日		高慮一条桜井蕃香ヨリ歎願書提出スベキ通知アルニツキ提出 配慮乞ウ				「480 大山公・児玉伯書翰」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
480-9	児玉源太郎書翰 井上馨宛	児玉源太郎	井上馨	明治 年9月29日		内示ノ韓地医師不定云々 石黒総監計画及び現況調査書供覧			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「480 大山公・児玉伯書翰」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
480-10	児玉源太郎書翰 井上馨宛	児玉源太郎	井上馨	明治27年11月30日	1通	山県大将病氣 医師派遣要請アリ 池田謙齋力橋本綱常ノイズレカ 岩井禎三 石坂軍医総監・石黒軍医総監トノカネ合イヨリ橋本派遣不穩当 白根専一大将連レ戻シノ為メ現地出張			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載		冊子複製版第15冊
480-11	児玉源太郎書翰 井上馨宛	児玉源太郎	井上馨	明治27年12月1日	1通	山県大将持病心配 帰朝經過別紙報告 毛利家一条落着両公ヨリ親書アリ感激			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載		冊子複製版第15冊
481	西郷従道侯書翰				1巻	西郷従道書翰 7通				詳細は481-1～7参照	
481-1	西郷従道書翰 井上馨宛	西郷従道	井上馨	明治 年 月 日		昨日来青木ヘ示談 今二決答ナク困却 委細直話スベシ				「481 西郷従道侯書翰」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
481-2	西郷従道書翰 井上馨宛	西郷従道	井上馨	明治 年 月 日		示意拝承 大山ト相談明朝総理ヘ伺ウコトトセリ				「481 西郷従道侯書翰」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
481-3	西郷従道書翰 井上馨宛	西郷従道	井上馨	明治22(力)年2月4日		宮崎県山林ニツキ日本鉄道会社長奈良原繁才願イノ筋アリ 引見願ウ				「481 西郷従道侯書翰」(1巻)の内	冊子複製版第23冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
481-4	西郷従道書翰 井上馨宛	西郷従道	井上馨	明治27年9月20日		平壤海軍大勝慶賀 当地取締二臨時国庫巡査設置ノ件 法令上支障アリ 警視庁出張二知事同意 総理ヨリ照会アルベク下命アリタシ 当座八郡部ヨリ巡査引上運用予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「481 西郷従道侯書翰」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
481-5	西郷従道書翰 井上馨宛	西郷従道	井上馨	明治27年11月7日		朝鮮国着手苦心拝察 国内平穩 韓地並二占領地警察二関シ森田茂吉警視庁員上申 占領地民政庁設置 警視庁員派遣ノ途工夫願エレバ幸イ ソノ他			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「481 西郷従道侯書翰」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
481-6	西郷従道書翰 井上馨宛	西郷従道	井上馨	明治27年11月13日		首相・外相暫時帰京 広島第二十一連隊出火 国会東京ニ召集 金鶴羽暗殺開化党挫折ヲ懸念占領地民政通曉ノ者入用ノヨシ 警部ヲ郡長ニ巡査ヲ屬吏ニ使用ハ如何			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「481 西郷従道侯書翰」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
481-7	西郷従道書翰 井上馨宛	西郷従道	井上馨	明治28年1月18日		朝鮮ノ改革進捗メデタシ 請和使来着ノタメ首相出広 国会平穩 保安・新聞条例貴族院考究中 ヤカマシキハ銀行延期案 二〇名巡査追加予算通過不日出発セシムベシ 有栖川宮薨去			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「481 西郷従道侯書翰」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
482	西園寺公書翰 卷一				1巻	西園寺公望書翰 3通				詳細は482-1～3参照	
482-1	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治21年3月22日		独国新帝ノ評判 斎藤修一郎 ホーレベン帰着 大隈入閣尽力ノ結果力 我政海小天地ニ汲々感溺遺憾			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「482 西園寺公書翰 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
482-2	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治22年1月24日		条約改正着手勉強中 吉川書記官西洋婦人ト結婚 希望意見伺イタシ 三好退蔵伯林着			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「482 西園寺公書翰 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
482-3	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治22年2月21日		勝之助君自費留学慶賀 同夫人帰国惜シムベシ 夫人ノ仏語堪能モウ二年ノ修業希望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「482 西園寺公書翰 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第23冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
483	西園寺公書翰 卷二				1巻	西園寺公望書翰 5通				詳細は483-1~5参照	
483-1	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治22年6月20日		条約改正記名終了 自分呼戻シテウ 会計立タズ内願 公使館費用斎藤修一郎力原敬又八周布公平ヨリ才聞取り願ウ (副啓) 来示子息承諾 吉川意見通り見合ワスベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「483 西園寺公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
483-2	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治24年9月6日		総理・陸奥二面談 会計主務書記生ノコト陸奥へ話セリ ヲゾーブヨリ大臣宛来書 ヲゾーブ新潟二在リ 小生行クベキカ否カ青木帰京ノ上決スベシ				「483 西園寺公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
483-3	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治24年12月17日		貴書並二榎本書拜読 内願ノ件成就感謝 加藤令嬢云々拝承			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「483 西園寺公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
483-4	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治27年12月15日		韓地形勢苦心遥察 連戦連勝慶祝 国民ノ自負心前途二杞憂アリ				「483 西園寺公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
483-5	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治34年5月14日		山県侯訪問 伊藤侯伝言伝達 山侯閣下二相談スベシトノコト既二会見アリタラン 徳大寺侍従長ヨリ山県侯ヘノ御沙汰ノ概略 伊藤辞表 西園寺二臨時総理同人病身ニツキ元老至急善後策ヲ構ズベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「483 西園寺公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
484	西園寺公書翰 卷三				1巻	西園寺公望書翰 9通				詳細は484-1~9参照	
484-1	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治28年2月8日		韓地改革手腕敬服韓国国債確定一安心 既二通報才受取りナラン 依頼ノ韓国学政顧問適当ノ人物半公信ニテ通報			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「484 西園寺公書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
484-2	西園寺公望書翰 井上勝之助宛	西園寺公望	井上勝之助	明治39年1月15日		大使昇任慶賀 八郎帰着 滞独中厄介拝謝				「484 西園寺公書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第23冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
484-3	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治39年2月11日		外交方針ニツキ相談イタシタク参集乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「484 西園寺公望書翰 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
484-4	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治39年2月14日		大磯ノ会蔵相加工願ウ 満州問題ノミナラズ経済問題モ解決イタシタク			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「484 西園寺公望書翰 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
484-5	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治39年2月21日		鉄道問題ニツキ相談官舎マデ来車乞ウ 蔵相・逓相・高橋是清同席予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「484 西園寺公望書翰 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
484-6	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治39年8月2日		蔵相・次官松尾ト高橋渡欧説得 渡欧ニ八条件アル模様 閣下ヨリモ説得願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「484 西園寺公望書翰 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
484-7	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治39年11月20日		桂伯ト会見クダサレタリヤ 日時切迫気懸リ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「484 西園寺公望書翰 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
484-8	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治39年11月24日		桂伯来訪 意見書並ニ同伯意見拝承 蔵相・陸相ト相談 双方数字研究スルコトトシ解決ノ見通シ得タリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「484 西園寺公望書翰 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
484-9	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治39年12月3日		予算問題解決ノ目途 蔵相ノ苦心陸相ノ譲歩ニテ閣議開催マデ漕ツケタリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「484 西園寺公望書翰 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
485	西園寺公望書翰 卷四				1巻	西園寺公望書翰 9通				詳細は485-1～9参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
485-1	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治39年12月15日		逋相云々ノ件蔵相トモ相談 近ク解決ノ見込ミ暫時猶予ヲ乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「485 西園寺公書翰 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
485-2	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治39年12月22日		汽車製造会社ノ件 蔵・逋両相及ビ渋沢・平岡ト会談 逋信省ト会社側行違イ判明 会社合併ナオ未解決 渋沢・平岡参上報告予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「485 西園寺公書翰 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
485-3	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治39(力)年1月27日		婚礼臨席感謝 募債・鉄道国有等大問題ヲ控工苦慮 追々教示願イタシ				「485 西園寺公書翰 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
485-4	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治39年2月14日		高橋ノ話ノ模様 三井集会所相談会ニテ銀行家ノ気合イヲ挫ク懸念アリ 海外信用ニモ差シヒビキ地方官会議ニモ影響ノオソレ 集会上考慮アルヨウ下命乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「485 西園寺公書翰 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
485-5	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治41年2月19日		藤田砂糖税修正案提出トイウ 翻意説得カナワズ 閣下ヨリ再度説得願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「485 西園寺公書翰 巻三」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
485-6	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望		明治41年2月21日		才陰ニテ増税案本会議通過ノ見通シ感謝 本日予算委員会終了分課へ廻付 伊藤病状			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「485 西園寺公書翰 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第23冊
485-7	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治41年3月10日		昨日伊藤訪問 清国行承諾ヲ得ズ痛心 清国ニ対シ辰丸事件等何トカ手ヲウツ必要アリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「485 西園寺公書翰 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第23冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
485-8	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治40(力)年11月26日		閣員ト相談結局困難ノ結論 蔵相モ焦慮委細大臣ヨリ報道ノハズ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「485 西園寺公望書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
485-9	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	大正3年10月12日		中村来訪 八郎財政ニツキ心配ノ趣拝承感謝 西洋戦局我国へ波及憂慮			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「485 西園寺公望書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
486	佐野伯・橋本子・池田男・長与男書牘				1巻	佐野常民書翰 5通 橋本綱常書翰 2通 池田謙斎書翰 1通 長与専斎書翰 1通				詳細は486-1～9参照	
486-1	佐野常民書翰 井上馨宛	佐野常民	井上馨	明治21年12月17日		本日行啓ニツキ新古優等品出陳 来観アリタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「486 佐野伯・橋本子・池田男・長与男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
486-2	佐野常民書翰 井上馨宛	佐野常民	井上馨	明治 年4月19日		花見案内				「486 佐野伯・橋本子・池田男・長与男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
486-3	佐野常民書翰 井上馨宛	佐野常民	井上馨	明治 年 月 日		和歌一首				「486 佐野伯・橋本子・池田男・長与男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
486-4	佐野常民書翰 井上馨宛	佐野常民	井上馨	明治23年3月30日		第三回美術博覧会へ出品懇望				「486 佐野伯・橋本子・池田男・長与男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第24冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
486-5	佐野常民書翰 井上馨宛	佐野常民	井上馨	明治 年5月7日		上野展覧会案内				「486 佐野伯・橋本子・池田男・長与男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
486-6	橋本綱常書翰 井上馨宛	橋本綱常	井上馨	明治 年11月27日		園遊会欠席通知				「486 佐野伯・橋本子・池田男・長与男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
486-7	橋本綱常書翰 井上馨宛	橋本綱常	井上馨	明治32年6月1日		夫人快気祝出席通知				「486 佐野伯・橋本子・池田男・長与男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
486-8	池田謙斎書翰 井上馨宛	池田謙斎	井上馨	明治27年4月13日		転地保養軽快ノヨシ 静養希望				「486 佐野伯・橋本子・池田男・長与男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
486-9	長与専斎書翰 井上馨宛	長与専斎	井上馨	明治3(力)年1月1日		山脇普国留学ノ命 吉武藩知事ニ随行 昨冬来普国留学拜命多ク学生分ヲ忘レ医道ノ大本立タズ寒心 阪井出精前途有望 ソノ藩ヨリ洋行命令アリテハ当校立行カズ 同藩知事ニ猶予方助言乞ウ				「486 佐野伯・橋本子・池田男・長与男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
487	三条公書翰 巻一				1巻	三条実美書翰 11通				詳細は487-1~11参照	
487-1	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治5(力)年1月22日		内田金沢県参事転任内決 同人出府二ツキ仰付ケラレタシ				「487 三条公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
487-2	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治5年2月19日		教部省設置 大蔵省寺社事務章程改正別紙回答アリタシ 河瀬ノ件説諭願ウ				「487 三条公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
487-3	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治5年5月24日		東京府知事人選 三島ヲ参事大久保ヲ知事ニ予定 自分ハ大久保ヲ知ラズ西郷ハ熟知セリ 西郷三島ヲ説得奉命ノ運ビ 今更変更困難諒承アリクシ				「487 三条公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
487-4	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年11月7日		和歌山県及ビ渡辺昇進退見込如何				「487 三条公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
487-5	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治5年2月21日		河瀬侍従長転任別紙ノ通り申越セリ 足下ヨリモ説諭乞ウ				「487 三条公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
487-6	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治6年4月17日		山県大輔願ノ通り才聞キ届ケノコト野津承知ナリヤ 鳥尾辞表提出イタサザルヨウ説諭願イタシ				「487 三条公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
487-7	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治6年5月7日		大蔵大輔代理ノ義渡辺大丞拒否 各寮統轄ハ太政大臣ニテ処理 代理ノ件外国へ通報ハ見合セラレタシ				「487 三条公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
487-8	三条実美書翰(具視と連名) 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治11年2月8日		伊藤へ来翰ノ内意伝承 才見込ミ帰朝ノ上承リタク 鮫島公使ヨリ辞令手交アルベシ				「487 三条公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
487-9	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治13(力)年2月11日		別紙右大臣建議回覧アリタシ 内規調総裁担当願ウ 内語ノ尾崎三良相当ノ処分アルベシ				「487 三条公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
487-10	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年 月 日		別紙返却				「487 三条公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
487-11	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年 月 日		入来通知				「487 三条公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
488	三条公書翰 巻二				1巻	三条実美書翰 11通				詳細は488-1~11参照	
488-1	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治13年8月5日		内閣各員モ帰京 廟議緊要ノ件アリ早急帰京アリタシ				「488 三条公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊
488-2	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治13(力)年3月23日		明日横浜米領事招宴イカナル宴ナルヤ 尾崎一条帰朝セバ処分ニツキ懸念アルマジ				「488 三条公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊
488-3	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治13(力)年9月4日		左大臣同道面談ノ用 明朝差支エナキヤ				「488 三条公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊
488-4	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年2月17日		佐々木ヲ海軍二任ズル件 本人承諾セザルベシ 諾セザレバ免職トスルハ不都合ナラン 副議長複数モ外国ニ例アルヨシ ソノママニテハ如何				「488 三条公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊
488-5	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治14(力)年7月4日		オ預リノ書面右大臣へ廻付 明後日返却オ申入レニ付 差急ギ検印ナスヨウ連絡セリ				「488 三条公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊
488-6	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18年11月22日		今朝黒田書翰来ル 昨日承諾セシモ辞退イタシタシトイウ マコトニ奇怪ナリ				「488 三条公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊
488-7	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治14(力)年11月22日		内談ノ金廻付 黒田返答ハ昨日ノ書面ノ通り 山田不平ノヨシ周旋乞ウ				「488 三条公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊
488-8	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18年12月4日		昨日黒田面会 改正見込賛成セリ 組織本日伊藤草稿出来予定				「488 三条公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
488-9	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18年11(カ)月 日		昨日不在面話ヲ得ズ遺憾 黒田一件聖上異議ナク甲藤急見通り右大臣任命ノ思召シ本人才請ケスルヤ否ヤ				「488 三条公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
488-10	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治15年2月4日		前刻内書ノ件右大臣へ申談ズベシ 浅野公使二派出ノ件 職務ヲ以テ任命ナレバオ受ケスベシトノ内意				「488 三条公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
488-11	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治15(カ)年2月10日		文武官へ勅諭ノ件二ツキ相談イタシタシ 来駕乞ウ				「488 三条公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
489	三条公書翰 巻三				1巻	三条実美書翰 11通				詳細は489-1~11参照	
489-1	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治13年3月23日		和蘭国帝へ勲賞贈与ノ件 別紙副総裁気付内覧乞ウ				「489 三条公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
489-2	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治15年4月6日		日下義雄統計院担任見送リノトコロ 鳥尾院長拜命 日下身上下置配慮アルベシ				「489 三条公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
489-3	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年5月27日		旧交会案内				「489 三条公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
489-4	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治15(カ)年7月10日		書面ノ趣山県ヨリ承リ 聖上へ右府心事奏上 宮内卿ヲ以テ懇諭ノ思召シ				「489 三条公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
489-5	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治15(カ)年8月1日		元山津ヨリノ電報写内閣中へ通知済ミヤ 自分ヨリ通知スルナレバ今一通廻付サレタシ				「489 三条公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第24冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
489-6	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年 月 日		奏議一冊写供覧 伊藤卿へモ内通アリタシ				「489 三条公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
489-7	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治16年6月15日		右府容体ニツキ謙齋病氣 代リニ伊東方成出張				「489 三条公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
489-8	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治17年9月23日		浅野公使身上才見込ミアリヤ 宮内省華族局長官如何ト宮内卿ヨリ相談アリ				「489 三条公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
489-9	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治16(力)年11月26日		当地平穩 福岡奉務司法・内務・文部共ニ無事 大蔵卿熟談ノ鉄道公債・金札引換公債等元老院会議中 ソノ地モ金融逼塞ノ苦情アラン				「489 三条公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
489-10	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18(力)年2月9日		黒田顧問ヨリ別紙提出 松方参議ヲ以テ情実問イ合セタルトコロ別紙返翰アリ				「489 三条公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
489-11	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18年11月25日		昨日評議ノ結果モ伊藤参議ニアリ 同氏承諾尽力乞ウ 伊藤担任上策 次策ニハ黒田兩人左右並用				「489 三条公書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
490	三条公書翰 巻四				1巻	三条実美書翰 11通				詳細は490-1~11参照	
490-1	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18(力)年4月29日		大使一行賞典聖上ヨリ内命アリ 急ギ取調ベ乞ウ				「490 三条公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
490-2	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18年11月12日		黒田伊藤ヲ訪問 黒田伊藤ノ指図ニヨリ進退ノ話合イ 自分見込相談シタク明朝参上スベシ				「490 三条公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第24冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
490-3	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18年12月7日		宮内卿へ内勅 明朝十時予定				「490 三条公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
490-4	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18年12月19日		聖上ヨリ組織改革趣意書提出ノ御沙汰アリ 書面ニスレバ漏洩ノ心配アリ別冊一見願ウ 伊藤ニモ内談アリタシ				「490 三条公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
490-5	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18年12月23日		改革一件昨日発表相済ミ貴官ノ尽力感謝 前職中ノ厚誼感謝				「490 三条公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
490-6	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治16年5月15日		板垣帰京参内ノ節待遇ノ件 一二聖上ノ思召ニアリ ナオ貴官ノ考案八内閣諸員トモ相談アリタシ				「490 三条公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
490-7	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治20(力)年6月14日		股野ノ件取計ウベシ 公債一件清書落手 厚配感謝				「490 三条公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
490-8	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治20(力)年8月24日		書面ノ趣拝承 松方ヨリ委細通知 貴君尽力貫徹セズ遺憾 コノ上八両大臣ト相談何分ノ決議ニ及ブベシ				「490 三条公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
490-9	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年11月28日		昨日伊藤伯へ面会ノヨシ 来訪ノ折ハ一報乞ウ				「490 三条公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
490-10	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18年12月17日		拝謁ノコト聖上ニハ程ヨク御断リセシモ考慮願ウ 山県伯二面会黒田尊邸ニテノ暴状言語断切ニ忍耐乞ウ				「490 三条公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
490-11	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年3月14日		別冊質問書清書送付 三大臣山県等コレマデノ次第言上ニ決定 ニケ条開談ノ旨趣才廻シ願ウ				「490 三条公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第24冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
491	三条公書翰 巻五				1巻	三条実美書翰 13通				詳細は491-1~13参照	
491-1	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治21(力)年 4月27日		総理大臣来訪進退二ツキ陳述アリ コノ件二ツキ 参内前意見承リタシ				「491 三条公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊
491-2	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年8月 25日		待合セ通知				「491 三条公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊
491-3	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治21(力)年 9月4日		明日近傍歩行承知 明朝ノ鉄道会議二ツキ内閣出 頭ノ有無如何				「491 三条公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊
491-4	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年6月 24日		明朝都合問合せ				「491 三条公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊
491-5	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治22年10 月2日		熱海入湯出発通知 養勇館撃剣場ノコト				「491 三条公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊
491-6	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治22(力)年 12月22日		桂次官来訪 内談ノ件案文一見好案ナリ 特旨勅 命ナレバ陸軍卿へオ話し置カレテハ如何				「491 三条公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊
491-7	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治22年12 月22日		拝謁ノ折ノ勅語 国事尽力満足 願ニヨリ職ヲ免 ズ以後諮問ノコトアルベシ				「491 三条公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊
491-8	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治22(力)年 12月28日		賜金辞退上奏 内旨ヲ以テ再交付拝受アリタシ				「491 三条公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版 第24冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
491-9	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年 月 日		独乙公使へ諭告 先年談判中止ノ際公使ノ補助ヲ得タルコト間違イナキヤ念ノタメ				「491 三条公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
491-10	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治15(力)年 2月25日		清旧公使何如璋横浜ニアルヨシ 名刺送付ニテヨキヤ 又ハ尋問スベキヤ				「491 三条公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
491-11	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年10 月25日		在宅問合せ				「491 三条公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
491-12	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年 月 日		昨日奏聞シ書記官へ下ゲ置キタリ 本日相達スベシ				「491 三条公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
491-13	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治15年3月 10日		(前文欠) 叙勲一件賞勲局ニテ異議アリ 内閣決定ニテ取計ウヘクモ貴君意見承リタシ 随行多人数濫賜ヲ懸念				「491 三条公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
492	三条公書翰代筆				1巻	三条実美書翰 14通				詳細は492-1~14参照	
492-1	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年8月 8日		(代筆) 明日集会差支エノヨシナレド急用大隈へモ示談シオリ 右大臣邸へゼヒ出席アリタシ				「492 三条公書翰代筆」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
492-2	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治13年1月 7日		(代筆) 伊国皇族招待所劣辞退 明日ノ暇乞イ訪問如何ニスベキヤ				「492 三条公書翰代筆」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
492-3	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年8月 17日		(代筆) 腹痛ニツキ来臨明朝ニ願ウ				「492 三条公書翰代筆」(1巻)の内	冊子複製版第24冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
492-4	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治15年10月30日		(代筆) 評議参朝通知				「492 三条公書翰代筆」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
492-5	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18年9月12日		(代筆) 三菱・共同運輸両社二ツキ評議 参集通知				「492 三条公書翰代筆」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
492-6	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治17年10月18日		(代筆) 大蔵卿申出ノ件二ツキ評議参集通知				「492 三条公書翰代筆」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
492-7	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18(力)年7月19日		(代筆) 池田歩兵大尉他一名安南ヨリ帰朝 現地報告会通知				「492 三条公書翰代筆」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
492-8	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年8月5日		(代筆) 左大臣殿下日光温泉入湯ノタメ休暇出願				「492 三条公書翰代筆」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
492-9	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年8月4日		(代筆) 明日閣議八時参官通達済ミ				「492 三条公書翰代筆」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
492-10	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治17年9月8日		(代筆) 貴官申出ノ件内閣参集通達済ミ				「492 三条公書翰代筆」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
492-11	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18年5月14日		(代筆) 大蔵卿申立ノ件評議 参官通知				「492 三条公書翰代筆」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
492-12	筆者不明書翰 井上馨宛	筆者不明	井上馨	明治 年 月 日		汽車中ニテ桂太郎二面会 一度御訪問ノツモリ御都合如何 福原俊丸ノコトニツキ藤本厄介ヲカケシナラン				「492 三条公書翰代筆」(1巻)の内	冊子複製版第32冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
492-13	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治22年12月21日		古沢滋ヲ以テ申越シノ心情拝察 山県・山田申談シノ末一兩日堪忍願ウ 内閣更迭ト同時発表イタシタシ				「492 三条公書翰代筆」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
492-14	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治22年12月12日		昨日上奏ノ件裁可ノ上ノ順序ハ如何ニスベキヤ 内閣中更迭アル際自身上モ旧ニ復シタシ 総理拜命ノ折山県トノ約束 外交方針・内閣組織決定ノ上ハゼヒ解職ヲ希望				「492 三条公書翰代筆」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
493	千家男書牘 巻一				1巻	千家尊福書翰 5通				詳細は493-1~5参照	
493-1	千家尊福書翰 井上馨宛	千家尊福	井上馨	明治27年1月16日		衆議院解散国家前途ノコト相談ノ趣旨ニテ本日華族会館ニ集会 谷ノ起草ニテ政府忠告文案決定コノ件参上内話イタスベキモ頭痛ニテ叶ワズ 集会人名				「493 千家男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
493-2	千家尊福書翰 井上馨宛	千家尊福	井上馨	明治26(力)年2月23日		予算歳入銃弾税削除ハ委員会通過スルモ本会議紛議セン 官吏議員・無所属者誘引サレザルヨウ手配必要 会期延期策謀ノ動キ 建議前二三日位延期ガ得策				「493 千家男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
493-3	千家尊福書翰 井上馨宛	千家尊福	井上馨	明治25(力)年8月9日		別紙供覧 黒幕会議遅滞ノ際ハ差出スベク起草セシモノ 既ニ無用ナレド参考マデ尊覧ニ供ス				「493 千家男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
493-4	千家尊福書翰 井上馨宛	千家尊福	井上馨	明治26(力)年11月5日		神宮主典来訪 日本協会員神宮司庁ヘ非内地雑居賛成申入レノヨシ 各神社寺院ヘ申入レカ 熊本県辺ヨリ請願アラン				「493 千家男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
493-5	千家尊福書翰 伊東巳代治宛	千家尊福	伊東巳代治	明治25(力)年11月12日		某客ヨリ自身上井伯引受ケ 文部秘書官・知事トモ実現困難 広橋ヲ記録局長ヨリ文部秘書官ニ専務トスレバ都合ヨカラント意見ヲ問ワル 小生固辞セリ 心情陳述				「493 千家男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
494	千家男書牘 巻二				1巻	千家尊福書翰 4通				詳細は494-1~4参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
494-1	千家尊福書翰 井上馨宛	千家尊福	井上馨	明治27年2月4日		赴任事務引継 霜害・道路改正善後策ヲ要ス 総選挙二関シ警察署長召集 郡長召集 政争地北埼玉郡状況 暴動予防手配				「494 千家男書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
494-2	千家尊福書翰 井上馨宛	千家尊福	井上馨	明治26年5月10日		神社法制定シ神道教派廃止 神社八氏子・信徒ニテ維持ニ取定メノヨシ 従来神祇官・復古請願者等運動 又関西神官等集会シ上京運動ノコト伝聞 吉川男同爵者ノ同意少ナカラズ 当選確実ナラン				「494 千家男書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
494-3	千家尊福書翰 井上馨宛	千家尊福	井上馨	明治26年7月25日		内示通り自由党ヨリ新候補者工夫中 対外硬派大会ニテ今一名硬派候補判明セン 橋本二八好都合見込ミ達スベシ 国元ヨリ別紙到来 石橋・江角両人間ニテ協定セシメン				「494 千家男書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
494-4	千家尊福書翰 井上馨宛	千家尊福	井上馨	明治27年12月21日		朝鮮国改革着手欣賀 連戦連勝大慶 第八議会無事終局 軍事公債埼玉県応募報告 岡烈紹介				「494 千家男書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
495	渋沢子書翰 巻一				1巻	渋沢栄一書翰 7通				詳細は495-1~7参照	
495-1	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治4年7月14日		勅諭写布告 諸藩廃止県ト称シ 弁官廃止願同等所轄官省へ差出スヨシ 伊藤取調ノ大蔵省案借覧乞ウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「495 渋沢子書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
495-2	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治4年10月2日		東京横浜為替会社金券増発願不許可然ルベシ 許可ノ場合三井両者ニテ二十万位ガ至当 三井証券八官ノ担保流通疑イナク新旧貨幣交換ノ際ノ無上ノ策ナルベシ 仏人カズフープ願出ノ件			『渋沢栄一伝記資料』収載	「495 渋沢子書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
495-3	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治4年11月16日		滞阪遅延使節出発二間二合ワズ遺憾 職掌事務高裁ヲ仰ギタキ件アリ 午後参上差支エナキヤ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「495 渋沢子書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
495-4	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治4(力)年2月3日		太平洋郵船便明四日ナレバ本日横浜マデ書状差出シノ必要 別封才遣シノ分才認メ乞ウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「495 渋沢子書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第25冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
495-5	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5年2月10日		中山讓治開拓使退職 ウエリヤム氏二付シ税法改正二当ラセ租税権頭二選任如何 榎本採用四等二推挙願ウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「495 渋沢子書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
495-6	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5年2月19日		郵便回漕社ノ件決定願ウ 二朱金一朱銀打合せ通リ外務省へ押付ヨロシキヤ ミラアルスコットノ件大使来書写並ニウエリアムス約定書明日マデニ出来ン ドル銀金貨取扱横浜へ通達 糸平為替米ノ件ソノ他			『渋沢栄一伝記資料』収載	「495 渋沢子書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
495-7	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5年3月4日		紙幣会社創立方法東洋銀行ニテ調査ノツモリ 東洋銀行火災助成申出 千弗齣出文中ニアリ 各寮司事務章程改正各課手続申出八如何			『渋沢栄一伝記資料』収載	「495 渋沢子書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
496	渋沢子書翰 巻二				1巻	渋沢栄一書翰 3通				詳細は496-1~3参照	
496-1	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5年3月7日		副島・寺島へ面会 二朱三朱ノ件当方ノ権利ヲ以テ各国公使へ通達 学公使ヨリ陳情アリ 従来公使連へ協議 外国人民ヨリ公使追及サレ困却 懇情ヲ以テニヶ月延期希望 外務省憐察一ヶ月延期ノ意見 上野モ同意ノヨシ判案ヲ乞ウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「496 渋沢子書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
496-2	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治6年3月12日		吉田少輔公信目録通り到着 内公信三封ト親展分御地へ廻付 英国ヨリ送金ニ関シ造幣模様並ニ所要金位通知方ノ要請 公債英貨ニテ金地金買入レ輸送 或ハ米貨トシテ金地金買入レカ 既ニ書通ノコトナレバ電信ニテ足ルベシ ソノ他			『渋沢栄一伝記資料』収載	「496 渋沢子書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
496-3	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5年3月14日		上野ト打合せ東洋銀行ニカーゲル・ロベルトソン訪問 紙幣会社創立方法両人米国紙幣会社方式ヲ取ラズ別ニ略書ヲ用意 我方実情ヲ説明修正ノ上提出ノ約 横浜為替会社ヘニ二分判分拆下渡金取扱ノ件 商社願出ノ米輸出ノ件 星融〔亨〕任用陸奥了承 ソノ他			『渋沢栄一伝記資料』収載	「496 渋沢子書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
497	渋沢子書翰 巻三				1巻	渋沢栄一書翰 7通				詳細は497-1~7参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
497-1	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5(力)年3月18日		上野・中山来状 糸平米代 垂米一土州樟脳勘定北代へ問イ合セ 前島建築会社諸規則答書アリ次第廻付スベシ キニフル社和歌山県武器代ノ件			『渋沢栄一伝記資料』収載	「497 渋沢子書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
497-2	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5(力)年3月27日		借家建築会社規則書検閲ノ上前島へオ下ゲエウオリエンタルバンクへ銀地金売却状況判明大坂ヨリ伺出ツベシ 高知藩札ノ件回答案手配済 分課八上野ト生デ定メ要件ハ決ヲ閣下ニ仰グコトニ願イタシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「497 渋沢子書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
497-3	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5(力)年4月29日		廻議簿其他呈上高判乞ウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「497 渋沢子書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
497-4	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5(力)年5月1日		米国吉田ヨリ来翰廻付			『渋沢栄一伝記資料』収載	「497 渋沢子書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
497-5	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5年5月4日		得能転職大隈・伊藤へモ内告 両人賛成ナレド実現困難カ 民蔵分割ノ際ヨリ得氏大丞拜命ハ隈・藤監視ニアルベシ 別策ナキ以上放免願イタシ 上野苦情慰撫ニ困却 東京知事失態洋行ノ処置ハ不公平 大蔵ノ窮状累卵ノ勢イ 帰京ヲ待ツ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「497 渋沢子書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
497-6	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5年5月20日		四五日バンク方法再調ノ為メ宅調許可願イタシ 執務ノウチ報告洩レアルヤモ知レズ寛恕乞ウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「497 渋沢子書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
497-7	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5年5月22日		廻示ノ吉田来状拜見 森トノ確執心配 吉田申越ノ通り西・大隈参議へ通ジ置ク方ヨロシカラシ 三・小へ一声両者狼狽ノ態 懇願ニ来ルモ突放シノツモリナレド悔悟活路ヲ与ウベキヤ 結局ノ処置準備金合併論撰用願ウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「497 渋沢子書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
498	渋沢子書翰 卷四				1巻	渋沢栄一書翰 4通				詳細は498-1~4参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
498-1	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5年5月24日		三井・小野謙責一条 両者来訪歎願 会社方法設立ノ際御用取離シ 信用払地家道ノ危類有怨懇願 ツイテハ将来ノ処置芳案如何 準備金合併会社創立許可 為替方事務取扱セテハ如何 即今景状両家ヲ矯正從事セシムルガ至当カ			『渋沢栄一伝記資料』記載	「498 渋沢子書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
498-2	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5年5月28日		岡田平蔵銀地金買上ゲノ件 秋田県銅鉛払下ゲアルピンノ金地金・洋銀買付 アンチセル 中山周助 開拓使増小券ノコト			『渋沢栄一伝記資料』記載	「498 渋沢子書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
498-3	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5年8月28日		山梨県農民暴動陸軍省へ掛合イ出兵心配アルマジ 前島入湯 公債一件ロベルトソン忠告指示敬承 洋銀・生糸・蚕種実地検分乞ウ 公園費節減方			『渋沢栄一伝記資料』記載	「498 渋沢子書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
498-4	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治5年8月29日		ローン一件卿ヨリ了承 伝信機 洋銀買入レ 金庫積金ノウチ常用ヨリ貸 準備金ヨリ返却ハ不都合 他二工夫ヲ構ゼン 山梨県暴動模様 岡田平馬小銃売却貴境商社洋銀・米売買取締方二ツキ			『渋沢栄一伝記資料』記載	「498 渋沢子書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
499	渋沢子書翰 巻五				1巻	渋沢栄一書翰 7通				詳細は499-1~7参照	
499-1	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治4年11月17日		ブラガ書状遅引呈上 老父病氣帰省			『渋沢栄一伝記資料』記載	「499 渋沢子書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
499-2	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治6(力)年2月19日		平岡ノ義別紙検印乞ウ 附属書記人撰 大小録人物吟味岡本ト相談書取ノ上検印乞ウベシ			『渋沢栄一伝記資料』記載	「499 渋沢子書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
499-3	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治6年月 日		(副啓) ホルモサ一件副島発遣決定 談判二懸念アルマジト大隈内話 内閣懸念少カラズ勝出帆一 二月中二西郷上京カ 監獄則公布各県経費増 陸軍徴兵入費 司法省定額三件取扱イノ件			『渋沢栄一伝記資料』記載	「499 渋沢子書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
499-4	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治6年5月5日		昨日来ノ模様異情アリヤ 表ヲ差出シ今日正院二達セン 横浜亀善年賦ノコトヨロシク賢考乞ウ			『渋沢栄一伝記資料』記載	「499 渋沢子書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第25冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
499-5	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治6年5月6日		供覧ノ奏議那河ト推敲浄書出来 一書ヲ添工大隈へ廻付 正院へ奉呈才取計イゴウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「499 渋沢子書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
499-6	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治6年9月24日		銀行ドウニカ成立 大使帰京伊藤来訪ニツキ依頼通り経過陳述 時情偵知ノ態 大隈変ラズ大蔵事務担任 大久保・吉田・陸奥消息 目下政府閉間 朝鮮征伐ノ議盛ン 為替会社始末来月中ニ終ラン			『渋沢栄一伝記資料』収載	「499 渋沢子書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
499-7	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治6年9月2日		銀行追々経営 公債証書景気鉱山実況如何 会社始末東京商社決算見込 京坂ニ陸奥・芳川等出張 吉田少輔帰着 大使モ近日帰着 吉田帰着ニテ陸奥苦情アル模様 玉乃面会外国負債ノ件 立会裁判ニ決シ保証人トシテ台下出張ノ達アランカ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「499 渋沢子書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
500	渋沢子書翰 巻六				1巻	渋沢栄一書翰 8通				詳細は500-1~8参照	
500-1	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治 年3月28日		升田屋へ日延べ通知シオキタリ 小室へモ通知セリ 福地・益田ハ承知トイウ				「500 渋沢子書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
500-2	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治8(力)年3月6日		政府改正一層ノ隆治黙祈 議政・行政ノ区別必要ノ景状 内閣ト地方会議ヲ更張自由施設抑制アリタシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「500 渋沢子書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
500-3	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治17(力)年7月2日		西京滞在中本願寺取引ニツキ相談 向後ノ高配願イタキコトアリ 陸奥米国ヨリ来書ノ件モ高配願イタシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「500 渋沢子書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
500-4	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治17年11月24日		陸奥学費三千円受取り 明年分四千円内一千円ハ古河市兵衛出金 俟約方同人へ書通セリ 本願寺ノ件島地へ引受証人設定申入レ出来次第工夫スベシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「500 渋沢子書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第25冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
500-5	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治18年2月2日		運輸会社補助金伊藤へ陳述 下付金大蔵卿命ニヨリ日本銀行支出ノ都合ノヨシ 伊藤雋吉同行大蔵卿へ面談出金ハ普通借入金ナルトノ話 借入金ニテハ配当等不能ノ理由説明 補助ノナク会社瓦解ハ必定 直接大蔵省ヨリ下付万再議乞ウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「500 渋沢子書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
500-6	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治19(力)年2月3日		先約失念日延ベ乞ウ大隈家屋浅田局長へ話シ置キタリ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「500 渋沢子書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
500-7	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治19年10月19日		斎藤ヲ介シテ内示今夕参上ノコト 演劇改良会合自分主人ニテ開催 明夕オ伺イスベシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「500 渋沢子書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
500-8	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治24年7月20日		日日新聞ノコト西村虎四郎へノオ話拝承 伊東巳代治来訪 日報社資産・負債・発行状況 株主等詳細ノ上相談イタスベシトイウ 伊東考案成ルマデ株主相談会見合セタシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「500 渋沢子書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
501	渋沢子書翰 巻七				1巻	渋沢栄一書翰 6通				詳細は501-1~6参照	
501-1	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治24年8月7日		日報社二福地二面会 新聞紙ト器械関二売却代価一万円位 相手ニヨリ地所家屋モ売却 処分福地二異論ナケレバ条野・西田二面倒ナカラン 案定リ次第株主総会開催イタスベシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「501 渋沢子書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
501-2	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治24年8月9日		日報社一条来示ニヨリ参上イタスベシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「501 渋沢子書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
501-3	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治32年3月9日		森村汽車製造会社へ加入ノ義手配了 藤村辞表ヤムヲ得ズ 大倉ヲ了承聞届乞ウ 清国鉄山示命次第罷出ツベシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「501 渋沢子書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
501-4	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治22年6月22日		御勇退ハ首相ト企図硬塞ノ二点ニアランカ コノ二点ハ就職前覚悟ノハズ 今ニシテ退身ハ輕易ニ世グゼヒ再考ヲ願ウ 青木モ同意見 大隈伯モ再考ヲ希望ノヨシ 山県伯帰朝近シ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「501 渋沢子書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第25冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
501-5	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治22年10月26日		山県伯帰朝 条約改正論喧嘩 大隈伯遭難 政界混乱ヲ極メツイニ内閣辞職 先見ノ明ニ感服 青木外交事務ニ苦難 ナニトゾ出京助力方青木二代リ懇請			『渋沢栄一伝記資料』収載	「501 渋沢子書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
501-6	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治23(力)年1月12日		田島ノコト許容感謝 三井家評議会月二回開催順次議定実施ノ都合 三井銀行ト第一銀行一悶着 示談解決ニテ三井家へ尽力出来幸イ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「501 渋沢子書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
502	渋沢子書翰 巻八				1巻	渋沢栄一書翰 7通				詳細は502-1~7参照	
502-1	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治23年1月25日		日下義雄身上 外国公使宿望ノコト山県伯へ願イタルトコ口今回非職本人失望 再度ノ依頼ニヨリ才願イ 弁理公使へ登用米国ナリへ派遣方青木へ斡旋願ウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「502 渋沢子書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
502-2	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治23(力)年9月13日		三井家一条集会 益田・木村へ見込書・人事等調書提出要求 鉦山部益田取調 上野家ヨリ預リ金前口八年八分二引受ケ 後口年六分二願イタク伝言乞ウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「502 渋沢子書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
502-3	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治26(力)年2月28日		田島ヲ以テオ尋ネノ件オ答エセシトオリ自分無関係 弊行員中島田ト旧交アルヨリ誤伝力 朝鮮防殺令ノコト自分抵抗セルニ非ズソノ行為ヲ制セン			『渋沢栄一伝記資料』収載	「502 渋沢子書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
502-4	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治27(力)年3月3日		内諭一条川田・中上川・荘田其他ト評議準 備不足ノママ募集 人気進マズ盛典ヲ汚スオソレ今回八中止二決セリ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「502 渋沢子書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
502-5	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治27年3月25日		横浜石油タンク設置 市会否決ノ勢 浅野中野知事へ打診セシニ市会否決ノ際八場所変更ノ要外国人遅延ヲ難ジ浅野苦境市会ニ拘ラズ予定場所へ設置方内務省ノ決断乞ウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「502 渋沢子書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
502-6	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治33年9月9日		打合セノ一条益田・今村ト相談 別紙通知状ニテ発送			『渋沢栄一伝記資料』収載	「502 渋沢子書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第25冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
502-7	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治28年1月14日		(代筆) 口中ノ癩施術療養中 才督促ノ朝鮮政府ヘ貸金ノ件電文ノミニテハ即答シ得ズ 三十万円貸付ノ指示半額引受ハ返済ニ不安アリシ故再応ノ評議ニヨリ二十万円貸出ニ決定 三十万円ハ銀行条例上不能了察セウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「502 渋沢子書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
503	渋沢子書翰 巻九				1巻	渋沢栄一書翰 6通				詳細は503-1~6参照	
503-1	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治28年1月26日		朝鮮政府ヘ貸金三十万円ハ銀行条例上不能ニツキ二十万円ニ減額 約条ニ閣下ノ保信才願イ 西脇報告ニヨレバ十三万円取扱イニテ許容アリタルヨシ 大蔵省・外務省ヨリ内談 朝鮮公債中上川ハ日本政府保証主張 日本銀行ハ兌換券流通ナレバ世話スベシト川田総裁言明 三菱ハ取扱人謝絶トイウヨシ 愚案中上川ニ同ジ 昨今大蔵省詮議中 現地検分ノ申入拝承 原六郎応諾力			『渋沢栄一伝記資料』収載	「503 渋沢子書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
503-2	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治28年3月19日		朝鮮貸付金当行年一割希望ノトコロ郵船トモ相談 八分二利下ゲ 後金七万円貸付済ノヨシ仁川支店報告 五百万円公債募集政府保証ナキニツキ弊行・三井銀行引受躊躇 伊藤総理説諭ニヨリ日本銀行引受ケ 川田・三野村依頼ニヨリ応募者トシテ協力 ソノ後衆議院ニテ議論政府三百万円貸付ニテ公債一条中止 朝鮮ニ銀行創設財政機関タラシムル貴案ハ日本銀行ノ希望ト齟齬ノ懸念			『渋沢栄一伝記資料』収載	「503 渋沢子書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
503-3	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治28年3月28日		朝鮮政府ヘノ貸金日本銀行トノ協議ニテ成立セン 日本銀行ト貴案トハ少々差アリ救済後ノ財政問題アラン 朝鮮養蚕業粗未改良サレテハ如何			『渋沢栄一伝記資料』収載	「503 渋沢子書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
503-4	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治32年9月25日		岩崎久弥ニ面会 明日ノ会ハ小人数ニテ十分話合タシトノコトナリ 調査ノタメ東京・大阪・九州ニ各一人指名ノ件仙石同意ノヨシナレド更ニ細示アリタシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「503 渋沢子書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
503-5	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治32年9月28日		調査員益田引受ノヨシ 阿部泰蔵見合せ取計イ 住江談話ノ模様拝承 仲裁才断リトナレバ紛擾昔日ニ優ルベシ 耐忍セウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「503 渋沢子書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第25冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
503-6	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治32年10月1日		葡萄贈呈添状			『渋沢栄一伝記資料』収載	「503 渋沢子書翰 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
504	渋沢子書翰 巻一〇				1巻	渋沢栄一書翰 8通				詳細は504-1~8参照	
504-1	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治32年3月7日		森村市左衛門ヲ汽車製造会社へ加名ノ件 同氏承諾ニツキ井上子へ連絡藤村二指図スベシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「504 渋沢子書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
504-2	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治33(力)年3月17日		汽車製造会社増資平岡ヨリ相談アリ 自分平岡ノウチ参伺イタシタシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「504 渋沢子書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
504-3	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治33年3月31日		有楽会開会四月下旬二延引イタシタシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「504 渋沢子書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
504-4	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治34年5月8日		平岡熙ヨリ申上ゲシトオリ汽車製造会社社員会今夕開催 臨席乞ウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「504 渋沢子書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
504-5	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治33年5月24日		汽車製造会社在京社員会合日 平岡合併談見合せノ意向 愚案ハ不安心ニツキ予定通り取運ビタシ ベルギー人会見延引益田二面会時日取決メタシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「504 渋沢子書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
504-6	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治33(力)年9月6日		九州鉄道・汽車製造会社ノ件ニツキ参伺イタシタシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「504 渋沢子書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
504-7	渋沢栄一書翰 都筑馨六宛	渋沢栄一	都筑馨六	明治33年9月9日		内示ノ件益田ト協議 益田・今村ノ意見モアリ自分名ニテ別紙案内状発セリ 井上伯出席御願イ乞ウ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「504 渋沢子書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第25冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
504-8	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治33年10月29日		京仁鉄道ノ用向ニテ韓国出張 政府方針確定ノヨシナレド財政経済ニツキ痛心 有楽会ノ活動期待 同会ノ将来ニ助力ヲ乞フ 汽車製造会社社員中異説アリ困却 大倉・今村ヨリオ聞取りヲ乞フ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「504 渋沢子書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
505	渋沢子書翰 巻一一				1巻	渋沢栄一書翰 6通				詳細は505-1~6参照	
505-1	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治32(力)年12月17日		依頼ノ別紙書類写呈上 通相面談例ノ契約ノ件困難ノヨシ 平岡ト同道逓信省ヘ引合イ陳上スベシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「505 渋沢子書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
505-2	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治33年12月30日		汽車製造会社平岡工場ト合併ノ件 黒田家・安田善次郎除名 出資金払戻シ増資額トモ毛利家・岩崎・住友・平岡ニテ追加引受 将来ノ営業平岡専任ニ決定 石川島浦賀分工場合併海軍省ニテ心配 ソノウチ報告アラン			『渋沢栄一伝記資料』収載	「505 渋沢子書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
505-3	渋沢栄一書翰 田島信夫宛	渋沢栄一	田島信夫	明治34(力)年5月12日		井上伯ヨリ別紙内示 藤田組振出シ約手第一銀行ニテ金融オ申入レ 専務者佐々木ト相談内示ノ大高不相応 貴方ノ都合イタシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「505 渋沢子書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
505-4	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治34年5月15日		英国評論ノ評論記者ステット紹介			『渋沢栄一伝記資料』収載	「505 渋沢子書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
505-5	渋沢栄一書翰 越山〔芳川顕正〕宛	渋沢栄一	越山〔芳川顕正〕	明治34年5月20日		第一銀行専務者ト協議 同行ヲ退身シ難キ事情 世外伯ヨリノ懇諭並ニ囑望ニ背クハ本意ニ非ザレドヨロシクオ執成シヲ乞フ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「505 渋沢子書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
505-6	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治34年5月22日		一昨日芳川子爵マデ事情開陳 山県・伊藤両侯ヨリ御懇諭 貴命ニ従フント銀行重役ト協議 一同不賛成ニテ拝謝イタシタシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「505 渋沢子書翰 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
506	渋沢子書翰 巻一二				1巻	渋沢栄一書翰 7通				詳細は506-1~7参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
506-1	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治34(力)年9月6日		米国信託会社業務 第一銀行員高木正義取調書供覧			『渋沢栄一伝記資料』収載	「506 渋沢子書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
506-2	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治32年9月16日		仲裁一条和議整イ明朝双方参伺 参上人名表			『渋沢栄一伝記資料』収載	「506 渋沢子書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
506-3	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治30年10月16日		明日ノ会少年輩ノ会同ニ付不例中臨席ハオソレアリ 製麻会社借入金ノコト松方伯ニ伝言感謝			『渋沢栄一伝記資料』収載	「506 渋沢子書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
506-4	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治35年4月19日		送別会開催感謝 王子製紙善後策九州ヨリノ帰途現場視察願ウタメ大川参上ノ予定 朝吹小生等打合せノ方法ニ同意ナレド大川ノ相手ニ相談ノ人ヲ得タシト			『渋沢栄一伝記資料』収載	「506 渋沢子書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
506-5	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治35年5月11日		亜米利加丸出帆延期 米国ヨリ英国へ渡航 帰り老閣ノ清国行確定ナレバ清国へ立寄リタシ 九州・北越鉄道社債法律改正希望通リナラズ困却 仙石ヨリオ聞取り乞ウ 見込ミハ英ニテベイリングプロソルト談判ノツモリ 王子製紙改革馬越恭平ヨリオ聞取りノヨシ 大川実施調査改良見込ミ指揮乞ウ 大川尽力ニハ会社重役トノ折合イ留意願イタシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「506 渋沢子書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
506-6	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治35年7月28日		出立ノ際配意感謝 米国ヨリ着英 九州・北越鉄道社債ベヤリングト引合中 益田依頼ノ支那鉄道布設権ジャルチンマチソントノ引合困難力 米英トモ好感アレバ協同ノ仕事始メタク協力中 閣下清国旅行確定セシヤ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「506 渋沢子書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
506-7	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治35年11月24日		送別返礼粗品呈上添書			『渋沢栄一伝記資料』収載	「506 渋沢子書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
507	渋沢子書翰 巻一三				1巻	渋沢栄一書翰 9通				詳細は507-1~9参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
507-1	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治36年2月9日		大磯二山伊両侯ト会谈ノヨシ 不快軽快近日参上			『渋沢栄一伝記資料』収載	「507 渋沢子書翰 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
507-2	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治36年3月16日		手形交換所小宴ニ臨席会員希望 交換所組織十年連合会開催大家ノ訓誡等頂戴ノ趣旨ナリ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「507 渋沢子書翰 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
507-3	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治36年8月16日		京釜鉄道社債三菱ノ同意ヲ得二十万円引受 三井モ同様 募集完了拝謝 別紙コイトゲン書熟慮ヲ要ス 日英共同会社設立ニツキ同氏再度来訪 人物不明ニツキ其低ニ差置キタリ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「507 渋沢子書翰 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
507-4	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治36年10月9日		京仁・京釜鉄道韓国政府トノ約定書原訳共供覧 京仁ニ比シ京釜ノ方手抜キアリ原案ハ公使館作製ナリ 技術長笠井愛次郎絵図面持参説明参上ノ手筈			『渋沢栄一伝記資料』収載	「507 渋沢子書翰 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
507-5	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治36年10月22日		京釜鉄道へ下付ノ命令書修正案竹内ニ見セシメ再修正ニテ延引恐縮 添付ノ説明書ハ逓信省ナドニ御示シノ際理由明了ナラシメンガタメ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「507 渋沢子書翰 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
507-6	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治36年10月25日		高示ノ命令書案別紙ノ通り修正供覧			『渋沢栄一伝記資料』収載	「507 渋沢子書翰 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
507-7	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治36年11月17日		京釜鉄道社債保証ニツキ政府命令書下付ノ件大蔵省ヨリ打合セアリ 会社重役会評議シ指示通り承服ノ旨拝答 コノ上議会協賛ヲ期念			『渋沢栄一伝記資料』収載	「507 渋沢子書翰 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
507-8	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治36年1月23日		財政ニ関スル意見書拝読 卓説敬服今一度政府へ忠告アルベシ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「507 渋沢子書翰 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
507-9	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治36年8月24日		明日株主総会ニ八垂示通申述ベン 秋田銀行ヨリ御願ニ対シ回示敬承田中徳義ニ申送レリ 別紙ハ京釜鉄道将来ニツキ逓信省下問ニ対スル見込書作製者ハ技師長笠井愛次郎ナリ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「507 渋沢子書翰 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版第25冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
508	渋沢子書翰 巻一四				1巻	渋沢栄一書翰 9通				詳細は508-1~9参照	
508-1	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治36年8月24日		京釜鉄道ノ件垂示感謝 秋田銀行田中徳義ヨリ小阪旅行ノ際秋田来遊懇請申出 許容願イタシ			『渋沢栄一伝記資料』掲載	「508 渋沢子書翰 巻一四」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
508-2	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治39(力)年8月6日		借用ノ満州鉄道書類返却			『渋沢栄一伝記資料』掲載	「508 渋沢子書翰 巻一四」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
508-3	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治40(力)年2月5日		三谷軌秀紹介 同人若松製鉄払下出願 尊慮伺ノタメ参伺			『渋沢栄一伝記資料』掲載	「508 渋沢子書翰 巻一四」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
508-4	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治44年11月21日		懇切ノ来示明日首相訪問尊慮内陳スベシ			『渋沢栄一伝記資料』掲載	「508 渋沢子書翰 巻一四」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
508-5	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治44年3月29日		下命一条岩崎即答セズ 桂侯口添工ニヨリ同意ノ回答ヲ得タレバ出状セリ 来否回答次第報告スベシ			『渋沢栄一伝記資料』掲載	「508 渋沢子書翰 巻一四」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
508-6	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治42年8月18日		明日開帆ノミネソタ号ニテ渡米挨拶 汽車製造会社共同事務所創設 平岡トノ別約解除 平岡ヨリ陳情アルベシ			『渋沢栄一伝記資料』掲載	「508 渋沢子書翰 巻一四」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
508-7	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	大正3年3月3日		支那旅行ニツキ注意感謝 牧野外相・高橋蔵相トモ相談セシモ議会開会中ニテ熟議シガタシ 小田切外務省手続ナクバ助カシガタシトノコト ソレゾレ順序立テノツモリ			『渋沢栄一伝記資料』掲載	「508 渋沢子書翰 巻一四」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
508-8	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	大正4年3月28日		往訪通知			『渋沢栄一伝記資料』掲載	「508 渋沢子書翰 巻一四」(1巻)の内	冊子複製版第25冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
508-9	渋沢栄一書翰 井上馨宛	渋沢栄一	井上馨	明治38(力)年1月29日		富士水力電気会社貴邸へノ送電不都合才詫ビ			『渋沢栄一伝記資料』収載	「508 渋沢子書翰 巻一四」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
509	島地黙雷書牘				1巻	島地黙雷書翰 8通				詳細は509-1~8参照	
509-1	島地黙雷書翰 井上馨宛	島地黙雷	井上馨	明治24年7月17日		頼囑ノ件赤松モ謹諾 同人ヨリ請書差出スベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「509 島地黙雷書牘」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
509-2	島地黙雷書翰 井上馨宛	島地黙雷	井上馨	明治26年3月12日		曹洞宗一件両山ニ公平ノ立案一編供覧 両山貴主ヲ法門統理ノ榮職トシ俗事ハ管長ニ執行セシムルノ案 採否英断ニアリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「509 島地黙雷書牘」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
509-3	島地黙雷書翰 井上馨宛	島地黙雷	井上馨	明治26(力)年3月31日		法主・諸友ヨリ受任懇諭ニテヤムナク前執行長大洲ト父代 十一月集会マデノ約束ニテ受任セリ				「509 島地黙雷書牘」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
509-4	島地黙雷書翰 井上馨宛	島地黙雷	井上馨	明治 年5月12日		友人寺田福素紹介				「509 島地黙雷書牘」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
509-5	島地黙雷書翰 井上馨宛	島地黙雷	井上馨	明治25年8月10日		入閣内務担任敬賀 曹洞宗紛紜同宗中分離独立ノ悪例生ズレバ各宗派ニ影響懸念			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「509 島地黙雷書牘」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
509-6	島地黙雷書翰 井上馨宛	島地黙雷	井上馨	明治26年10月3日	1通	火事見舞					冊子複製版第25冊
509-7	島地黙雷書翰 古沢滋宛	島地黙雷	古沢滋	明治22年6月18日		本山護持会別冊趣意書拝呈 教義拡張人材教育ノ資金募集ノ為設立 東京各家応募状況				「509 島地黙雷書牘」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
509-8	島地黙雷書翰 井上馨宛	島地黙雷	井上馨	明治25年8月23日		秋田知事広瀬進一非職 非職ニテハ恩給支給受ケズ 諭旨免職ノ取扱二願ウ				「509 島地黙雷書牘」(1巻)の内	冊子複製版第25冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
510	品川子書牘 巻一				1巻	品川弥二郎書翰 5通				詳細は510-1~5参照	
510-1	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治17(力)年 8月6日		香港ヒットマンヨリ来書 九月鎮台北京公使訪問 ツイデニ日本立寄ルカ 鎮台へ要件アレバ前以テ 来示アリタシト 竹添来書 田辺太一ノ来書ニド イツ公使ノ言 米朝鮮トノ条約ヲ李鴻章ニ依頼 日本ヒトリソノ利ヲ独占ノソシリ				「510 品川子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第26冊
510-2	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治22年7月 17日		一応民間ニオ入りノ時機カ 帰化法位ニテ納得難 シカラシ 調印取消シヨリ他ニ手段アルマジ古沢 滋御地参上妙案アレバ托セラレタシ				「510 品川子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第26冊
510-3	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治 年 月 18日		通弁官済マセ帰京 明日ヨリ塩原へ行クツモリ 本日御省新築ニ官舎並ニ青木新築ノ家一見				「510 品川子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第26冊
510-4	品川弥二郎書翰 硯海〔大岡育造〕宛	品川弥二郎	硯海〔大岡育造〕	明治24年5月 25日		滋賀国難発生苦心拝察 山口へ待避感心 露太子 八朕ガ親族同様トノ主意判事ノ容ルル所トナラ ズ 閣議開催小田原ノ意見聴取ノ由 青木辞職後 任榎本一致セズ陸奥トノ意見多数ノヨシ ソノ後 任ニ自分トノコトニテ山県来訪 小田原仙人ト相 談スベシトイイ置ケリ				「510 品川子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第26冊
510-5	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治 年10 月4日		今朝罷出ルヨウトノ伝言行違イ恐謝				「510 品川子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第26冊
511	品川子書牘 巻二				1巻	品川弥二郎書翰 2通				詳細は511-1~2参照	
511-1	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治22年1月 7日		別紙沢村等ノ演舌幼稚ナレド一読乞ウ 肥塚竜 佃基清来訪 萩地青年訓育法問詰アリ 防長クラ ブ維持策決定セントノコトニテ納得 萩地ニ新聞 雑誌縦覧所設置提案 沢村土族総代除名ヲ広島控 訴院へ出訴 コレガ却下山田大臣へ働キカケアリ タシ				「511 品川子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版 第26冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
511-2	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治22年2月17日		火事見舞				「511 品川子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
512	品川子書牘 巻三				1巻	品川弥二郎書翰 4通				詳細は512-1~4参照	
512-1	品川弥二郎書翰 三長老宛	品川弥二郎	三長老	明治22年1月15日		萩地青年会ノコト別紙知事ヨリ申越シ 大隈雌伏ノ効力 反对主義ノ総裁外務大臣ノ位置ニ注意アレ 箕浦勝人大分ニテノ演説書御覽ニナリタルヤ 地方奉職ノ者ヘ連携肝要共同会社金ニ関シ将来ノ懸念ハ青年輩ノ統御 佃案ノ講習所又ハ学校設立ハ無理ナシ 将来ガ心配ナレバ井上来県マデ待ツヨウ諭セリ 帰県県内纏メノ人撰望マシ				「512 品川子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
512-2	品川弥二郎書翰 三老宛	品川弥二郎	三老	明治22年2月15日		未曾有ノ儀式萩ニテモ有志集会祝宴 電報文部大臣ノ凶報 犯人山口県人西野文太郎ト知り驚愕				「512 品川子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
512-3	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治22年5月5日		旧会津藩禄制ノ拝借金未解決 総代内田輩非難ヲ受ケ困却 引見ノ上願意ノ処置下命アリタシ				「512 品川子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
512-4	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治 年 6月11日		別紙井上毅送致 桂次官青木使トシテ来訪 思案中右ノ兵法ノ書ヲ得タリ 工夫アリタシ				「512 品川子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
513	品川子書牘 巻四				1巻	品川弥二郎書翰 5通				詳細は513-1~5参照	
513-1	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治22年6月16日		摂養祈念 御省官制商工合併不得策ノ論多シ 前田ガ合併策取止メニ大將軍ニ歎願ノ様子 衆議ニ才任セ賢明				「513 品川子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
513-2	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治22年6月28日		稲村崎ヘ大將軍モ伺イノヨシ コノ際才聞届ケナキガヨロシカラシ 和田維四郎同行佐渡旅行森林特別会計法採用アリタシ 局長消極種田次長取調べ岩村マデ提出力				「513 品川子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第26冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
513-3	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治22(カ)年7月17日		来島信与ヨリ来書 光田三郎・河村秀俊ノコト掛念 吉富へ条約改正一件ノ定論ヲ知ラサズテハ不都合				「513 品川子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
513-4	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治22年7月24日		古沢ヨリ伝承大安心精々撰養アレ 伊藤二面晤ノ際方策ヲ問イタレド何モノナシト 条約改正一件成否共満足スベキ結果期待シガタシ 維新史料三七号披読 神奈川一挙後ノ血盟書掲載死残り閣下・山尾・自分ノ三人 文久二年箇条書ノ主意ヲ後世ニ継ギタシ				「513 品川子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
513-5	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治22年7(カ)月29日		大臣ノ雲行悪シト前田・高橋・杉山困迫ノ体 黒田今トナリテハ渡スカハネ出スカグズグズスルカノ三策アルノミ 第三策ノタメ井上ニ辛抱セヨト八勸ムルヲ得ズトイ置ケリ				「513 品川子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
514	品川子書牘 巻五				1巻	品川弥二郎書翰 3通				詳細は514-1~3参照	
514-1	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治22(カ)年 月13日		斎藤へ托書拝承 御宅処分トハ賛成シ難シ 普請中ヲ譲渡トハ如何ナル理由ヤ再考アレ				「514 品川子書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
514-2	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治23年12月28日		大木兼任二野村共々山田説得 納得ヲ得ラレザルママ内閣へ報告 裁下ヲ前ニ再度説得中周布公平・平田東助マタ大木伯モ来会 山田モ屈シ辞職取止メ病氣休養ノ内申書ヲ草ス 都筑馨六ソノ他				「514 品川子書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
514-3	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治23年12月 日		別封写山田書簡ニ大木書簡ヲ添工周布書記官長持参 平田ト申合せ明日ヨリ着手予定 今日トナリ再勤セズトカ乗セラレタリトカ笑止				「514 品川子書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
515	品川子書牘 巻六				1巻	品川弥二郎書翰 5通				詳細は515-1~5参照	
515-1	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治23年1月21日		農商務次官前田ニハカラレ添書ヲトラレタ末山県オコリタレドヤムナク登用ニ決定 今回ノ知事非職中日下ト松本八氣ノ毒 日下年来洋行志願 陸奥ノ後任ニ青木推薦アリタシ				「515 品川子書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第26冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
515-2	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治23年2月16日		小野田ノコト和田ト相談笠井へ返答 萩地配意ニテ鎮静 小田原仙人人間界ニ出タキ心意伝聞伊香保大臣捺印ノ運ビ安心アレ 宮内省主事人事				「515 品川子書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
515-3	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治 年 4月13日		山県ヨリ電信 岩倉京都ニテ伊藤ト面会 皇室経済会議上提ノ件々アリ帰京大臣ヨリ催促セシヨシ				「515 品川子書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
515-4	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治23年4月16日		陸奥公使へ左ノ伝言乞ウ 山県八十分満足ノ位置ヲ与ウル覚悟 慎重処理スルノ構エナリ				「515 品川子書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
515-5	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治23年4月20日		改進黨・大同連ノ攻撃兄ニ集中カ 伊藤モ少シク案外コレヨリ真ノ芝居始マラン 前田正名辞職民間ニ出タシノ希望				「515 品川子書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
516	品川子書牘 巻七				1巻	品川弥二郎書翰 3通				詳細は516-1~3参照	
516-1	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治15(力)年12月14日		長崎ヨリ富山ヲ廻リ吉野大沢ノ土倉庄三郎宅一泊 神戸ニ来着岡山ノ開拓地視察予定 西郷卿ヘヨロシク伝言乞ウ 犬飼〔養〕毅神戸ニテ演説会 政府酒税ヲ廢シ戦艦建造ト八名ノミト中傷又犬飼岡山ヘ先廻リ岡山商法会議所ニ開進黨数名イルヨシ 酒税ノ件小室心配 大阪府宛指示アレ				「516 品川子書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
516-2	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治24年2月8日		山田別紙手紙写ノ通り落着 予算一件閣内ニ解散論アリ山県大苦心 陸奥八大成会后藤八自由党ヲ分派大成会ト合同策謀 大隈解散ヘ追込ミ自派拡大ニ努力 吉富党派建立主張 大成会・改進黨	山田書状写 2月6日付 山県・西郷ヘ愚存申出 西郷ヨリ申出ノ条件一同同意ト聞キ承知ト返答セリ			「516 品川子書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
516-3	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治24(力)年10月2日		古沢ノコト返辞ナシ 日下義雄来訪 農務ノコト山県ヘ半命令ニテ大臣ヘ相談アルヨウ依頼 農務局ノ人事重要 日下適任 陸奥紹介 外交歴史ゼヒオ話しアリタシ				「516 品川子書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
517	品川子書牘 巻八				1巻	品川弥二郎書翰 4通				詳細は517-1~4参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
517-1	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治23年6月2日		切迫六十七条ナリ山県一步モ退カザル覚悟 後・陸・青ノ三大臣枢密院連中モ防戦 山県面会ノ際ハコノ件触レザルヨウ注意アレ				「517 品川子書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
517-2	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治27(力)年9月24日		コノ状持参ノ岐阜県常置委員二名県会議員三名引見乞ウ 芳川大臣・江木県治局長ニモ陳情済ノヨシ 大多数ノ良民ト称スベキ県民ト同意見ノ者ナリ 所部太郎ノ真正ノ事実ハ別紙県会副議長横山弥五郎願書ニテ承知アリタシ				「517 品川子書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
517-3	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治24年10月7日		川口常文 憲法六十七条一件再三ノ閣議 昨年ノ覆牒文反対ノ主旨ニ決定 各大臣押印自分一人猶予ヲ求ム 昨年ト反対ノ主旨ヲ今年政府ガトルトナレバ温和主義ノ議員モ離反セン 伊藤ノ帰京ヲ待チ決意ノツモリ 陸奥・伊東昨年ト正反対ノ説 ソノ理理解シ難シ				「517 品川子書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
517-4	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治24(力)年7月17日		都筑ヨリ伝言拝承 明朝松方ヘ相談スベシ 久方ブリニー発ノ着発弾ヲ打ちツケ快心 対議會陸奥ニヨクオ示シクダサレタシ				「517 品川子書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
518	品川子書牘 巻九				1巻	品川弥二郎書翰 3通				詳細は518-1~3参照	
518-1	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治25年5月29日		西郷伯来訪 温派有志者ヨリ総理就任ヲ要請 協力ノミ引受ケシト 自分曰ク薩長人大将ニ勝・榎本・渡辺国武等反対ナルベク懸念 十六日決議ニヨル停会ヨリ組織説起リシハ結構 伯八閣下ノ了解ヲ希望 返書ヲ以テ納得サセタシ 組織上政党ノ他ニ社交クラブ設置ノ要 福地・丸山輩ノ帝政党ニハセヌツモリ				「518 品川子書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
518-2	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治25年6月1日		危害見舞 政党ト社交クラブ両立ノコト先ヅクラブダケ内決 軍艦製造費否決 震災事後承認難行 内務大臣演舌アヤウク取止メ 今日ノ形勢監獄費・鉄道・震災事件否決 副島民党ニ乗ゼラレコノ失敗ヲ招ケリ				「518 品川子書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
518-3	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治25年7月14日		西郷伯ヘ懇話ノ次第伝承 古沢ヨリモ御伝言拝承 解散以来ノ事情ヨリ入会御海怨アレ	和歌 1首			「518 品川子書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第26冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
519	品川子書牘 巻一〇				1巻	品川弥二郎書翰 3通				詳細は519-1~3参照	
519-1	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治25年8月23日		(鹿児島ヨリ) 当県知事更迭衆知二属ス決行アレ 検事正二不平耳ニセリ 司法大臣へ探索方伝言乞ウ				「519 品川子書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
519-2	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治25年9月5日		今日マデ無事経過安心乞ウ 知事・警部長ノ更迭八民党勝利吏党敗走ノ感ヲ与工民党コノ機ニ乗シ 党勢拡張ノ形勢 鹿児島警部長・書記官更迭八虚説ナラン 山内知事逃ゲ仕度 地方政情所感				「519 品川子書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
519-3	品川弥二郎書翰 古沢宛	品川弥二郎	古沢	明治25年9月13日		大分地方遊説模様 警部長警察署長モ改進黨ナルコトヲ知ル 実業家ニ正義派アリ頼モシ				「519 品川子書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
520	品川子書牘 巻一一				1巻	品川弥二郎書翰 4通				詳細は520-1~4参照	
520-1	品川弥二郎書翰 (古沢) 迂郎宛	品川弥二郎	(古沢) 迂郎	明治25年9月22日		島原・佐賀地方遊説報告				「520 品川子書牘 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
520-2	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治25(力)年11月11日		杉田定一二面会后同人来訪満足ノ態 阿波・讃岐ノ改進黨盛大 大阪八分裂 土佐人山崎二面会 土佐ノ勤王連ニ着手ノ要 群馬県部長古沢ノ兄岩上昂ヲ兵庫県へ転任世話願ウ				「520 品川子書牘 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
520-3	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治26年6月5日		秋田鉱山訴訟一件旧局長和田維四郎収賄嫌疑 同人擁護後藤大臣ニ八別ニ申遣ワサズ 陸奥八前職ナレバ承知ノハズ 押留後ノ無罪ニテハ世評懸念 適当ノ処置アルベシ				「520 品川子書牘 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
520-4	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治25年8月24日		尊書訓令写共々拝承 内訓ノ反動ニ注意乞ウ 当地鹿児島状況				「520 品川子書牘 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
521	品川子書牘 巻一二				1巻	品川弥二郎書翰 5通				詳細は521-1~5参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
521-1	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治27年 月22日		益田孝ヨリ熊本連中へ申入レノ和寇的一件貴台ニ迷惑ヲ懸念 小野金六ヨリ古荘嘉門等へ催促 佐々友房来訪 他日台湾攻取りノ後軍ニ附從シテ殖民的渡島ヲ企図 事ノ成否井上伯二伺イタシトノ依頼ナリ				「521 品川子書牘 卷一二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
521-2	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治27年11 月13日		安達謙蔵紹介				「521 品川子書牘 卷一二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
521-3	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治28年2月 3日		勉務恐察 御近情安達ヨリ伝承 大目的立ツマデ辛抱願ウ 渡韓国友重章紹介 宗重望 大洲鉄然 山県快復安心アレ				「521 品川子書牘 卷一二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
521-4	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治30年5月 11日		欠席挨拶				「521 品川子書牘 卷一二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
521-5	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治31年12 月28日		笹森儀助 岩村御料局長へ紹介願ウ				「521 品川子書牘 卷一二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
522	穴戸子書牘 卷一				1巻	穴戸ニ(たまき)書翰 10通				詳細は522-1~9参照	
522-1	穴戸ニ(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸ニ	井上馨	明治5(力)年4 月5日		廣金律改正ノ件正院ヨリ御省へ廻付ノヨシ 評議イカガ				「522 穴戸子書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
522-2	穴戸ニ(たまき)書翰(杉孫七郎と連名) 井上馨宛	穴戸ニ	井上馨	明治16年5月 10日		先日ノ一件宮様・条公へ概略説明 兩人明晩参上ノツモリ				「522 穴戸子書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
522-3	穴戸ニ(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸ニ	井上馨	明治17年10 月19日		近藤芳介上京 同人面談希望 日時間合せ				「522 穴戸子書牘 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第26冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
522-4	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治 年10月27日		訪問日取り通知				「522 穴戸子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
522-5	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治 年11月3日	1通	植木屋書付廻付	内山長太郎書翰 木送状 11月4日 1通				冊子複製版第26冊
522-6	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治 年11月4日		植木屋添書平信				「522 穴戸子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
522-7	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治 年7月28日		招待状				「522 穴戸子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
522-8	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治 年11月12日		小林綾三紹介				「522 穴戸子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
522-9	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治 年11月14日		小林綾造別荘へ招待伝達				「522 穴戸子書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
523	穴戸子書牘 巻二				1巻	穴戸二(たまき)書翰 9通				詳細は523-1~9参照	
523-1	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治 年11月23日		小林招待二ツキ返書				「523 穴戸子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
523-2	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治 年3月9日		案内拝承 松本美濃助 栗間進平				「523 穴戸子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
523-3	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治22年2月15日		火事見舞				「523 穴戸子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
523-4	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治 年1月15日		昨日緊急動議ニヨリ議了ニ至ラズ残念 明日八人数確保勝ヲ得ベク安心アレ				「523 穴戸子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
523-5	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治 年8月5日		不参断リ状				「523 穴戸子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
523-6	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治 年11月15日		来示拝承 河上書状ノママ読聞カセン				「523 穴戸子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
523-7	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治 年12月21日		議會制勝同慶 当節謀反人等何台申出苦勞ナルベシ				「523 穴戸子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
523-8	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治 年3月9日		小生養子一件少太郎ヲ自分代理トシテ参上聞届ケ乞ウ 島蕃来訪 大野ヨリ野村靖ヘ云々ハ誤伝				「523 穴戸子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
523-9	穴戸二(たまき)書翰 井上馨宛	穴戸二	井上馨	明治 年3月24日		徳山家へ照会返書島田ヨリ一覽 配慮感謝				「523 穴戸子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
524	曾根子書翰				1巻	曾祢荒助書翰 9通				詳細は524-1~9参照	
524-1	曾禰荒助書翰 井上馨宛	曾禰荒助	井上馨	明治32年2月20日		若松一件満足ニ通過 炭山一件結着ノタメ召集乞ウ 自分臥床中藤田次官出席セシムベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「524 曾根子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第26冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
524-2	曾禰荒助書翰 井上馨宛	曾禰荒助	井上馨	明治 年7月 27日		用談希望帰京通知願ウ				「524 曾根子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
524-3	曾禰荒助書翰 青木外相宛	曾禰荒助	青木外相	明治 年 月 13日		海外商工業視察員並二練習生人数通知				「524 曾根子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
524-4	曾禰荒助書翰 井上馨宛	曾禰荒助	井上馨	明治 年 月 21日		願意聞届ケ円満二結了感謝 福岡県議員二製鉄所ト地方ノ関係懇話クダサル由感謝			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「524 曾根子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
524-5	曾禰荒助書翰 井上馨宛	曾禰荒助	井上馨	明治 年3月 13日		綸言拝受 砂糖税実施 違約申訳ナシ 伊藤首相ヘオ話願ウ				「524 曾根子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
524-6	曾禰荒助書翰 井上馨宛	曾禰荒助	井上馨	明治32(力)年 3月4日		宿題ノ大治一件決定イタシタク総理官舎マデ足労乞ウ				「524 曾根子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
524-7	曾禰荒助書翰 井上馨宛	曾禰荒助	井上馨	明治 年 月 26日		貯金奨励一件下問アレバイツニテモ参上セン 松方伯二面会ノ節ハ右ノ速成ニ口添工乞ウ				「524 曾根子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
524-8	曾禰荒助書翰 井上馨宛	曾禰荒助	井上馨	明治38(力)年 5月19日		首相ヨリ伝言拝承 別紙調書供覧高橋帰朝ニツキ松尾派遣 同人公債ノコト知ラズオ含ミ乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「524 曾根子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
524-9	曾禰荒助書翰 井上馨宛	曾禰荒助	井上馨	明治38年3月 26日		第三回英貨公債過日ノ条件ヲ以テ仮調印 本日御裁可ヲ得タリ 発行規程案ヲ添工報告			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「524 曾根子書翰」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
525	園田孝吉男書牘				1巻	園田孝吉書翰 8通				詳細は525-1～8参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
525-1	園田孝吉書翰 井上馨宛	園田孝吉	井上馨	明治15年2月24日		(印度ペイホウ) サイゴンヲ略取セシム政府隣国 トンキン国ニ食指 トンキン国清政府へ救援依頼 清仏事ヲ構エルカ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「525 園田孝吉男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
525-2	園田孝吉書翰 井上馨宛	園田孝吉	井上馨	明治15年6月22日		依頼品ソノ他送付通知 領事館生活近況			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「525 園田孝吉男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
525-3	園田孝吉書翰 井上馨宛	園田孝吉	井上馨	明治15年8月5日		依頼品郵送費ノ件			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「525 園田孝吉男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
525-4	園田孝吉書翰 井上馨宛	園田孝吉	井上馨	明治15年8月5日		郵送費為替状			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「525 園田孝吉男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
525-5	園田孝吉書翰 井上馨宛	園田孝吉	井上馨	明治 年 4月27日		原帰浜本日参邸希望				「525 園田孝吉男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
525-6	園田孝吉書翰 井上馨宛	園田孝吉	井上馨	明治 年1月18日		金貨ノ件来書感謝 相場不明ナレド指直ニテオ引 受ケ出来ン 夕刻確答スベシ				「525 園田孝吉男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
525-7	園田孝吉書翰 井上馨宛	園田孝吉	井上馨	明治 年1月8日		銀行倶楽部臨席依頼				「525 園田孝吉男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
525-8	園田孝吉書翰 井上馨宛	園田孝吉	井上馨	明治23年10月30日		出席通知			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「525 園田孝吉男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
526	末松子尺牘 巻一				1巻	末松謙澄書翰 4通				詳細は526-1～4参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
526-1	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治9年6月14日		申へノ返書案別紙ニテヨロシキヤ 玄昔連トノ談判始末ニツキ面談イタシタク 元老院会議ニ修信使出席ニツキ出掛ケニ参上イタシタシ				「526 末松子尺牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
526-2	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治22年9月23日		政況切迫 河島醇早稲田伯二招カレ 外国法官使用帰化法ニヨラス雇ノ評議官ヨウニテ事済ムヨシ 河島松方二報告 松方早伯ヲ詰問 早伯言ヲ左右目下ノ方策伊ノ出馬ヲ求ムル他ナシノ結論 黒田態度曖昧 聖上宸念ノ趣 侍講殿小田原へ密行 下問ノ主旨ハ善後策如何 建野一条松・芳等ト相談 兩人穩便処置ノ意向			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「526 末松子尺牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
526-3	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治22年9月27日		勇吉看護模様 山県今明日帰着 薩人中山県カツギ出シノウワサ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「526 末松子尺牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
526-4	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治22年6月17日		柏木ヨリ別紙來報 返電アリ上京金田・朝吹ノ外組合ワヌ				「526 末松子尺牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
527	末松子尺牘 巻二				1巻	末松謙澄書翰 4通				詳細は527-1～4参照	
527-1	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治22年12月2日		三浦・谷内謁一条 宮内大臣直話ニヨレバ学習院長ノ三浦改正中止ノ意見言上ノ模様 献言類一切返戻ナキ例ナレバ差返シアルマジ 三浦ノ申条ハ攘夷論ニ類スルヨシ 谷ノ事ハ事実無根夜中謁見ハ誤伝ナラン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「527 末松子尺牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
527-2	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治22年9(力)月24(力)日		片岡健吉上京ノ際板垣ヨリ黒田へ云イ越シタルハ実説 条約改正断行不可 新聞演説制止不当続行サレナバ反対スベシ 書状ハナク伝言セシ模様 建野一条程ヨク結局セン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「527 末松子尺牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
527-3	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治 年 月 日		社寺法律案骨子別冊起草供覧				「527 末松子尺牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第27冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
527-4	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治25(力)年 月 日		日々新聞一件議場平穩 黒田綱彦新聞朗読 停止セシメザルハ内務大臣教唆者ト田中正造発言起訴ト議決セシモ影響アルマジ				「527 末松子尺牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
528	末松子尺牘 巻三				1巻	末松謙澄書翰 3通				詳細は528-1~3参照	
528-1	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治25(力)年 月 日		別冊四冊呈上 出版・集会・版權三法案ハ自分委員長トナリ取調べ衆議院ヨリ貴族院二廻付出版条例ノミ貴院特別委員修正見込ミ 新聞法案過激派案ヲ早急議決 別二元田肇提出法案(自分起草)アレド手許ニナシ 新聞法案ノ論点ハ保証金ト禁停止条項			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「528 末松子尺牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
528-2	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治35年6月15日		防長地理視察旅行中 豊前二寄りタル処無用ノ党争回避ヲ希望ノ状況 障害ハ堤ト平岡ノ関係堤ハ平岡ト手ヲ断チタキ希望 平岡ニ書通周旋乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「528 末松子尺牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
528-3	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治23(力)年 月 日		小田原ヨリ書状 閣僚未定痛心 至急督責アルベシ 芳川転出問題ナカラン 山田ソノマナレバ陸奥ヲ文部又ハ外務へ 芳川後任ハ白根 トモ角決断ヲ要ス			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「528 末松子尺牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
529	末松子尺牘 巻四				1巻	末松謙澄書翰 3通				詳細は529-1~3参照	
529-1	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治26(力)年 月 日		国民派ノ真意 星攻撃ハ自改軌轡ニアリ 星辞任ニ追込メバ自改合同ヲオソル 星アクマデ忍耐ヲ得策トス				「529 末松子尺牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
529-2	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治27年10月24日		報聘大使ト同船愈吉濬等渡米 同人ハ金宏集ノ同志 開化党ナレド大院君ニモ近シ 自分南韓中ノ知己 閣下渡韓ヲ知ラズ渡米 趙重応ヲ帰韓セシメ韓廷閣下ト協議スベキ旨申送ル 趙氏御用便アルベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「529 末松子尺牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第27冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
529-3	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治37(力)年8月14日		貴族院議員斯波与七郎 家政整理ノタメ田畑処分 オ引受願イタシ				「529 末松子尺牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
530	杉子尺牘 巻一				1巻	杉孫七郎書翰 7通				詳細は530-1~7参照	
530-1	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治6年4月7日		自身上心配ヲカケ多謝 秋田再行ノ意ナシ 辞表提出ノツモリ				「530 杉子尺牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
530-2	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治 年8月13日		深川平清跳舞勸誘				「530 杉子尺牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
530-3	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治16(力)年5月3日		宮内省為替方三井銀行差免ノヨシ 過日松方大蔵卿ヨリ為替方日本銀行然ルベシトノ話ニテ取調べ宮内卿へ相談予定				「530 杉子尺牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
530-4	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治16年7月4日		菊池・新田氏ノ件 条公・山県へ話シオケリ 金員八千円宛三十五万ノ内ヨリ支出 名和長年子孫名和十郎詮議方条公並ニ金井書記官ニ話シオケリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「530 杉子尺牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
530-5	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治16年7月4日		右府邸臨幸内決通報			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「530 末松子尺牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
530-6	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	年 月 日		毛利家礼状案				「530 杉子尺牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
530-7	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治25年11月12日		山田伯生野ノ凶報驚愕			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「530 杉子尺牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
531	杉子尺牘 巻二				1巻	杉孫七郎書翰 5通				詳細は531-1~5参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
531-1	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治24年12月25日		帰京延引ノヨシ都下大修羅場見合せ上策 伊藤伯モ馬関辺越年力 議会破裂必然 善後策構ズルノ要 品川背水ノ景況 伊藤不在ニテ困却			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「531 杉子尺牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
531-2	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治24年8月18日		山田伯病気面白カラズ懸念			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「531 杉子尺牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
531-3	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治24年12月4日		都下平穩品川演説評判ヨロシ 膳椀買上グ決定次第才指図仰グベシ 久邇遍宮邸地会議ヲ要ス分家一件宮内大臣・爵位長異議ナケレド暫時見合せ然ルベシ 伊藤伯帰京当分見合せ上策			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「531 杉子尺牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
531-4	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治25年11月28日		伊藤伯ノ怪我懸念 電信ニテ今朝帰京見舞二出頭スベクモ皇太后陛下療養中ニテ叶ワズ 橋本綱常			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「531 杉子尺牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
531-5	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治25年12月3日		伊藤伯負傷経過ヨロシク大慶 田島信夫へ口授云々承知 開院以来総理代理御苦勞			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「531 杉子尺牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
532	杉子尺牘 卷三				1巻	杉孫七郎書翰 4通				詳細は532-1～4参照	
532-1	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治24年5月19日		昨日西下伝承 柏村・自分山口行日限才申越シナレド柏村八月末ナラン 自分八還幸後威仁親王出発後ナラデハ旅行願難シ 在露公使ヨリ青木へ電信 露デハ特派使節必要ナシノ意向 兇漢処刑内閣ニテ決シ得ズ還幸後再議アラン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「532 杉子尺牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
532-2	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治24年5月18日		突然ノ発足失敬 着京以来尽カニテ好都合ノヨシ 山県伯宮内省ニテ面会 老台消息ヲ問フレ京都野村靖・山口吉富へ発電 ソノ後山県曰ク井上海軍大臣ノ内命ヲ辞シ逃去リタリト 内閣兇漢処刑論ヤカマシク裁判官不承知ノヨシ果断アルノミ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「532 杉子尺牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第27冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
532-3	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治24年5月30日		京都ニテノ尽力伊藤ノ苦心了察 露皇太子発艦無事結局メデタシ 大津裁判意外ノ成行 聖上初メ松方等モ驚愕 露公子憤怒 西郷・山田大津出張手落ナキ筈 青木ノコト取運ビ次官マデ免官ヲ露公使希望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「532 杉子尺牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
532-4	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治24年6月2日		長井贈位ノ件承知周布モ苦心 伊藤・山県・山田・野村諸氏トモ協議セン 薩・土ニモ贈位洩レアリ取調べ一時ニ発表ノ予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「532 杉子尺牘 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
533	杉子尺牘 卷四				1巻	杉孫七郎書翰 3通				詳細は533-1～3参照	
533-1	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治25年11月13日		山田伯不幸残念 贈位贈官ノ心配ヨロシク 賜金児玉愛二郎ヘ内報ニヨレバ失当 伊藤伯ヘ相談乞ウ 宮内大臣言上前ニ取計フレタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「533 杉子尺牘 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
533-2	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治23年12月8日		家憲修正案承知 柏村ト逐次会議論定 祭典ニハ調印ノ手筈 児島湾一条並ニ鳥居坂貴邸ノコト品川ト協議報知スベシ				「533 杉子尺牘 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
533-3	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治24年1月8日		児島湾宮内省献地才聞届難シ 前田正名葡萄園献上申出品川賛成ナレド皇室経済会議否定 柏村・久原ヘハ見込ナキ旨伝エオケリ 野靖ヨリ伊藤ヘ話セシ時不同意表明ノヨシ 県有財産ニテ片付ケ八藤田ノ大幸測量者植木ノ話ニテハ土不適 コレ迄ノ経費雑費ニ費消 探査八実地ノ景況才聞取アレ 熊本・佐賀・山口・秋月土族復禄一条			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「533 杉子尺牘 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
534	杉子尺牘 卷五				1巻	杉孫七郎書翰 2通				詳細は534-1～2参照	
534-1	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治27年6月17日		高輪財産将来方針ニツキ意見柏村ヨリ承知 帰京後集会開カン 野村相談人ニ追加内話アリタシ 過日不快ノコトナルモ青天白日世論モ消滅ニ林ノ変心配ナレド格別ノコトアルマジ 池田謙齋内田山普請			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「534 杉子尺牘 卷五」（1巻）の内	冊子複製版第27冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
534-2	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治27年11月26日		朝鮮政府改革東学党鎮庄日夜苦心ナラン 軍事公債蔵相ヨリ伊藤伯依頼ノ向キニヨリ松方伯ト相談 島津・毛利家引受ケ五十万円宛 旅順港占領 山県伯快方伝聞			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「534 杉子尺牘 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
535	杉子尺牘 巻六				1巻	杉孫七郎書翰 3通				詳細は535-1～3参照	
535-1	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治27年12月31日		内地消息			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「535 杉子尺牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
535-2	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治27年12月8日		軍事公債応募伊藤伯ヨリ催促 松方伯ト協議五十万円決定 日本銀行ヨリ借入ノコトハ秘密前田モ島津・毛利ニナライ五十万円 ソノ他			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「535 杉子尺牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
535-3	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治28年4月22日		講和談判結了大賀 伊藤全権尽力ノ功聖上御満足 韓城景況新聞ニテ承知苦心拝察 前途目的立タバ余人ニ任セ帰国アルベシ ソノ他			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「535 杉子尺牘 巻六」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
536	杉子尺牘 巻七				1巻	杉孫七郎書翰 5通				詳細は536-1～5参照	
536-1	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治28年5月1日		馬関講和無事結着ト喜ビタル折三強干渉 対策ノ用意アランモ前途心配 朝鮮ノコト適當ノトコロニテ帰国アルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「536 杉子尺牘 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
536-2	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治29年4月6日		西下日程並ニ打合セ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「536 杉子尺牘 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第27冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
536-3	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治24年4月14日		内話ノ次第宮相ヨリ言上第一策ヲ採用第二策ハ不同意ノヨシ 京都ノ様子岩倉ノ報知待ツベシトノ御沙汰 第二策許可ナキハ貴族院議長ニ大木ヲ候補ニ伊藤意見アリ 三藩贈位本日裁可			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「536 杉子尺牘 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
536-4	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治33年11月7日		病氣見舞			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「536 杉子尺牘 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
536-5	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治34(力)年1月13日		平信 伊藤容体			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「536 杉子尺牘 巻七」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
537	杉子尺牘 巻八				1巻	杉孫七郎書翰 5通				詳細は537-1～5参照	
537-1	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治29(力)年11月4日		鐘堂ノコト				「537 杉子尺牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
537-2	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	明治34年2月7日		東宮殿下別荘借用ノ件	行啓御宿所準備要点1通		「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「537 杉子尺牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
537-3	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	大正2年7月26日		桂病氣大事ナキモヨウ 来月宮中祭典後八閑暇參上セン				「537 杉子尺牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
537-4	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	大正3年2月4日		中原邦平ヨリ消息伝承 大和未亡人死去 松菊先生事蹟編纂総括者必要ナルベシ	和歌 1首		「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「537 杉子尺牘 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第27冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
537-5	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	大正3年11月2日		無事帰京陛下下問二ツキ閣下近況言上 来月下旬鎌倉転地予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「537 杉子尺牘 卷八」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
538	高橋是清書牘				1巻	高橋是清書翰 8通				詳細は538-1～8参照	
538-1	高橋是清書翰 井上馨宛	高橋是清	井上馨	明治22年10月27日		白露国内銀鉱管理者二選任 特許局長辞任許可御礼			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「538 高橋是清書牘」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
538-2	高橋是清書翰 井上馨宛	高橋是清	井上馨	明治39年2月28日		英国出張中外債募集二尽力者叙勲 大蔵大臣二提出願意実現配慮感謝				「538 高橋是清書牘」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
538-3	高橋是清書翰 井上馨宛	高橋是清	井上馨	明治38年3月1日		外国債募集二功労者叙勲 米国分追加大蔵大臣へ上申配慮乞ウ				「538 高橋是清書牘」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
538-4	高橋是清書翰 井上馨宛	高橋是清	井上馨	明治38年3月6日		倫敦パミュールゴールドン商会ヨリ来電 日本内債流出日本外債ト競争防止ノタメ鉄道買収二証券発行セズ 台帳記名ヲ希望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「538 高橋是清書牘」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
538-5	高橋是清書翰 井上馨宛	高橋是清	井上馨	明治38年3月7日		鉄道買収二公債台帳設置 ロスチャイルド家モ賛成ノ旨パミュールゴールドン商会ヨリ再電			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「538 高橋是清書牘」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
538-6	高橋是清書翰 井上馨宛	高橋是清	井上馨	明治39年6月26日		ルクルフォードハリス閣下ヘノ書状持参 直接差出スヨウ話置ケリ ミッチェル七月九日二取極メ希望 同日三井集会所ニテ開催予定				「538 高橋是清書牘」（1巻）の内	冊子複製版第27冊
538-7	高橋是清書翰 井上馨宛	高橋是清	井上馨	明治39年6月20日		ミッチェル招宴七月九日又八十一日ニイタシタシ 出席予定人名				「538 高橋是清書牘」（1巻）の内	冊子複製版第27冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
538-8	高橋是清書翰 井上馨宛	高橋是清	井上馨	大正4年6月10日		ロスチルド逝去 弔詞二対シ別紙写ノ通り来電				「538 高橋是清書牘」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
539	高島嘉右衛門・大倉男・木村正幹書牘				1巻	高島嘉右衛門書翰 1通 大倉喜八郎書翰 3通 木村正幹書翰 1通				詳細は539-1~5参照	
539-1	高島嘉右衛門書翰 井上馨宛	高島嘉右衛門	井上馨	明治37年2月24日		征露卜占				「539 高島嘉右衛門・大倉男・木村正幹書牘」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
539-2	大倉喜八郎書翰 井上馨宛	大倉喜八郎	井上馨	明治28年3月7日		朝鮮国改革ノ苦心敬服 同政府用達志願 昨年朝鮮内閣へ提出ノ願書写供覧				「539 高島嘉右衛門・大倉男・木村正幹書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
539-3	大倉喜八郎書翰 井上馨宛	大倉喜八郎	井上馨	年8月6日		神戸記念館揮毫御礼				「539 高島嘉右衛門・大倉男・木村正幹書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
539-4	大倉喜八郎書翰 井上馨宛	大倉喜八郎	井上馨	年 月28日		病気見舞 著書贈呈				「539 高島嘉右衛門・大倉男・木村正幹書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
539-5	木村正幹書翰 井上馨宛	木村正幹		明治 年8月16日		縁談手続報告				「539 高島嘉右衛門・大倉男・木村正幹書牘」(1巻)の内	冊子複製版第14冊
540	高島子・川上子・奥伯・川村伯・山本伯・斎藤子書牘				1巻	高島鞆之助書翰 1通 川村純義書翰 1通 川上操六書翰 2通 斎藤実書翰 1通 奥保鞆書翰 1通 山本権兵衛書翰 1通				詳細は540-1~7参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
540-1	高島鞆之助書翰 井上馨宛	高島鞆之助	井上馨	明治 年2月20日		福島良介身上依頼				「540 高島子・川上子・奥伯・川村伯・山本伯・斎藤子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
540-2	川上操六書翰 井上馨宛	川上操六	井上馨	明治22(カ)年7月3日		御病中ナガラ明日桂太郎同道参上イタシタシ				「540 高島子・川上子・奥伯・川村伯・山本伯・斎藤子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
540-3	川上操六書翰 井上馨宛	川上操六	井上馨	明治 年6月12日		桂太郎同伴参上イタシタシ				「540 高島子・川上子・奥伯・川村伯・山本伯・斎藤子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
540-4	奥保鞆書翰 井上馨宛	奥保鞆	井上馨	明治28年4月18日		(海城ヨリ) 軍務衙門大臣外派遣配慮ノ程拝察野津大将金州へ出発 同大将ノ申付ニヨリ大臣一行処遇ノ予定 第一軍へ国王陛下ヨリ勅書拝受野津大将へ転送スベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「540 高島子・川上子・奥伯・川村伯・山本伯・斎藤子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
540-5	川村純義書翰 井上馨宛	川村純義	井上馨	明治17年10月2日		(代筆) 独乙へ注文ノシワルツコフ魚形水雷到着 明日天覧開放陪覧アルベシ				「540 高島子・川上子・奥伯・川村伯・山本伯・斎藤子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
540-6	山本権兵衛書翰 井上馨宛	山本権兵衛	井上馨	明治37(カ)年5月13日		大本営ニテ内談ノ造艦計画ニツキ別紙閣議提出 質同アレバ海軍次官ヨリ聴取アレ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「540 高島子・川上子・奥伯・川村伯・山本伯・斎藤子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第31冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
540-7	斎藤実書翰 井上馨宛	斎藤実	井上馨	明治37年5月15日		(山本権兵衛筆) 今朝内語ノ件貴意好策 海軍大臣ノ指示ニヨリ数量並ニ要目取纏メノ上御願イヌベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「540 高島子・川上子・奥伯・川村伯・山本伯・斎藤子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
541	竹内祐伯・大村益次郎・村田光太郎・豊原百太郎書牘				1巻	竹内祐伯書翰 1通 豊原百太郎書翰 1通 大村益次郎書翰 2通 村田光太郎書翰 1通				詳細は541-1~5参照	
541-1	竹内祐伯書翰 檜崎郁之進宛	竹内祐伯	檜崎郁之進	文久3(力)年1月18日		平信 井上聞多洋行				「541 竹内祐伯・大村益次郎・村田光太郎・豊原百太郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
541-2	筆者不明書翰 井上馨宛	筆者不明	井上馨	年 月 日		聞多上京 除籍お松月手当ソノ他福原彦七相談 志道家所有ノ公債 貸付金ノコト ソノ他			無署名 題簽 二大村益次郎書翰トスルモ疑問	「541 竹内祐伯・大村益次郎・村田光太郎・豊原百太郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
541-3	筆者不明書翰 (三介・秋一郎・一介連名) 井上馨宛	筆者不明	井上馨	明治 年1月17日		隊員五名派遣 ソノ手当方ニツキ				「541 竹内祐伯・大村益次郎・村田光太郎・豊原百太郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
541-4	村田光太郎書翰 井上馨宛	村田光太郎	井上馨	明治7年12月5日		山尾へオ托シノ一条尽カセシモ小野ノ口演大輔ノ取計ニ決定 老台呼出シニナルベシ 判理局建設以来ノ資料アレバコレニテ足ルベシ				「541 竹内祐伯・大村益次郎・村田光太郎・豊原百太郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第20冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
541-5	豊原百太郎書翰 井上馨宛	豊原百太郎	井上馨	明治8年10月18日		依頼ノ鉱石一件 分析試験相当ノ日数ヲ要ス 鉱石有用物含有見込薄				「541 竹内祐伯・大村益次郎・村田光太郎・豊原百太郎書牘」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
542	玉乃世履・大江卓・星亨書牘				1巻	玉乃世履書翰 1通 大江卓書翰 3通 星亨書翰 5通				詳細は542-1~9参照	
542-1	玉乃世履書翰 井上馨宛	玉乃世履	井上馨	明治4年9月13日		三井貸付金ノ件 訴状ニ貸付用所トノミ不確カナレバ却下 官省ノ添書ヲ付シ再提出スベキヨウ申渡シノヨシ				「542 玉乃世履・大江卓・星亨書牘」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
542-2	大江卓書翰 後藤大臣宛	大江卓	後藤大臣	明治22(力)年9月8日		先刻才話ノ件安田モ同意既ニ事務所設置安心アレ 昨晚発起人集会本日八活版二付シ発表 自分今夕日本橋区ノ交誼会ト商工相談会ニ出席周旋ノ予定				「542 玉乃世履・大江卓・星亨書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
542-3	大江卓書翰 井上少輔・吉井源馬宛	大江卓	井上少輔・吉井源馬	明治4年7月28日		廃藩置県王政ノ目途立ツノ観 福岡県ヲ標準トシタクモ現長官ニテハ一般制度税則施行覚束ナシ 府県法則書類日田県ヨリ写取り寄セルノ現況 藩ノ処置方針如何 県則ノ目途立タバ長官更迭ノ上改革着手セン				「542 玉乃世履・大江卓・星亨書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
542-4	大江卓書翰 井上馨宛	大江卓	井上馨	明治38年6月22日		韓帝ニ謁見 伊侯並ニ老閣ニ依リ日韓協力ノ実ヲ希望サル 伊侯招聘ノ宸念不変ナレバ妨害アル模様 講和談判ヲ控工早急ニ渡韓不能ナルベキモ最高顧問選任 ソノ代理ヲ渡韓至当 都筑適當ナランカ 満州処理肅親王意見 講和条件私見			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「542 玉乃世履・大江卓・星亨書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
542-5	星亨書翰 井上馨宛	星亨	井上馨	明治 年1月27日		面会申込ミ				「542 玉乃世履・大江卓・星亨書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
542-6	星亨書翰 井上馨宛	星亨	井上馨	明治28年4月19日		特別法院被告事件取調中 明朝韓祈錫取調べノ上ニテ被告追究ノツモリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「542 玉乃世履・大江卓・星亨書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
542-7	星亨書翰 井上馨宛	星亨	井上馨	明治 年6月21日		面会申込三				「542 玉乃世履・大江卓・星亨書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
542-8	星亨書翰 井上馨宛	星亨	井上馨	明治27年4月11日		山形県選出代議士重野謙次郎・駒林広運紹介			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「542 玉乃世履・大江卓・星亨書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
542-9	星亨書翰 井上馨宛	星亨	井上馨	明治 年10月19日		栃木県選出代議士塩田奥造・県会議長中山丹次郎紹介				「542 玉乃世履・大江卓・星亨書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
543	田中伯書牘				1巻	田中光顕書翰 7通				詳細は543-1～7参照	
543-1	田中光顕書翰 井上馨宛	田中光顕	井上馨	明治3年5月15日		過日ヨリノオ話謹諾 西京へ連絡済ミ				「543 田中伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
543-2	田中光顕書翰 井上馨宛	田中光顕	井上馨	明治19年2月13日		谷大臣ノ意見左ノ文言ノゴトキナレバ異論ナルベク 大臣ノ位地ニ留マルモ異論ナルベシ 臨時建築局設置達案			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「543 田中伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
543-3	田中光顕書翰 井上馨宛	田中光顕	井上馨	明治26年7月23日		北海へ発程御苦労 先年十津川洪水ニテ北海道へ移住セシ人民中官林松下ヲ超過伐採 問罪ノ禍ヲ負ウハ氣ノ毒官民調停ヲ乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「543 田中伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
543-4	田中光顕書翰 井上馨宛	田中光顕	井上馨	明治 年 1月 8日		都筑へ伝言 内閣へ照合セシトコロ上奏裁可済ニテ仏政府へ照会中ナリト				「543 田中伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
543-5	田中光顕書翰 井上馨宛	田中光顕	井上馨	明治 年9月 27日		才約東通り極諫セシモ聴納ナシ 岩倉幹事派遣決定 辞職予定ナレド内閣ト進退ヲ共ニスルハ悪例ヲ遺ス懸念 暫時見合セ				「543 田中伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
543-6	田中光顕書翰 井上馨宛	田中光顕	井上馨	明治 年10月 4日		道風筆跡借用申込ミ				「543 田中伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
543-7	田中光顕書翰 井上馨宛	田中光顕	井上馨	明治33年10月 11日		無辺侠禅懇諭ニヨリ内心了解セシモ進退ニ苦シム模様 岩公・千秋男説得 前日ノコト撤回今朝藤侯ニ申出ノハズ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「543 田中伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
544	田中男・大岡育造書牘				1巻	田中義一書翰 1通 大岡育造書翰 1通				詳細は544-1～2参照	
544-1	田中義一書翰 井上馨宛	田中義一	井上馨	大正3年9月2日		帝国将来ノ政策ヲ樹ツノ好機 独対英仏ハ独有 利 露対澳ハ露 勝敗ノ決ハ露独ノ間ニアリ 露ニ利アランモ独澳ニ宣戦セシ日本熟慮ヲ要ス 米 国独リ富力増進 支那ニ勢力扶殖将来ノ方策三国 協商ニ人リ必要ニ応ジ兵カヲ以テ露ヲ援助 仏ノ 財カヲ利用シテ米ニ当ル 米ト兵ヲ交ウルモバナ マ運河開通前ガ好機 後年彼富カヲ以テ海軍拡張ニ至ラバ我苦痛				「544 田中男・大岡育造書牘」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
544-2	大岡育造書翰 井上馨宛	大岡育造	井上馨	明治27年11月 3日		山県大将九連城成功 大山第二軍ノ金州旅順ノ勝報モ近カラシ 伝言品川子へ陳述 朝鮮方面貿易 希望者多シ 新聞ニ貿易上観察少ナシ 川崎三郎 紹介 佐々友房推挽				「544 田中男・大岡育造書牘」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
545	谷子書牘				1巻	谷干城書翰 9通				詳細は545-1～9参照	
545-1	谷干城書翰 井上馨宛	谷干城	井上馨	明治25年11月 13日		高知県ノ件自分ヨリ発言出来又醜体貴君・伊藤君ニ申訳ナシ 丸岡後任ノコト後藤等尽力ナラント 黙止 石田ナレバ丸岡ニ優レルモ引受けマシ 新聞ニ穴戸ニトアリ此人ナレバ申分ナシ 高知県参事官江森今回ノ処置ニ付陳述			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「545 谷子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第28冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
545-2	谷干城書翰 井上馨宛	谷干城	井上馨	明治26年8月 23日		色丹島ヨリ厚岸湾ニ寄港ノヨシ 釧路港人民才立 寄リヲ希望 自分ニ取次方依頼 当地一覽願ウ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「545 谷子 書牘」（1 巻）の内	冊子複製版 第28冊
545-3	谷干城書翰 井上馨宛	谷干城	井上馨	明治 年9月 20日		馬場生面倒感謝 本人ヘモ交際ノ心得申聞カセ リ 故松田遺子本院ヘ入学了承				「545 谷子 書牘」（1 巻）の内	冊子複製版 第28冊
545-4	谷干城書翰 井上馨宛	谷干城	井上馨	明治31年9月 23日		松方伯宛書面ト取違工失礼 十五銀行始末ニ付華 族会館ニ集会出席乞ウ				「545 谷子 書牘」（1 巻）の内	冊子複製版 第28冊
545-5	谷干城書翰 井上馨宛	谷干城	井上馨	明治31(力)年 10月22日		土方モ帰京 至急集会ノコト談判乞ウ				「545 谷子 書牘」（1 巻）の内	冊子複製版 第28冊
545-6	谷干城書翰 井上馨宛	谷干城	井上馨	明治 年9月 4日		出席通知				「545 谷子 書牘」（1 巻）の内	冊子複製版 第28冊
545-7	谷干城書翰 井上馨宛	谷干城	井上馨	明治 年9月 5日		明日集会ノ通知 本日ノ面会申出取消シ				「545 谷子 書牘」（1 巻）の内	冊子複製版 第28冊
545-8	谷干城書翰 井上馨宛	谷干城	井上馨	明治31(力)年 9月24日		杉子爵・田島信夫出席ノヨシ ソノ結果相談イタ スベシ				「545 谷子 書牘」（1 巻）の内	冊子複製版 第28冊
545-9	谷干城書翰 井上馨宛	谷干城	井上馨	明治 年10 月22日		明日宮内大臣官邸ヘ集会ノヨシ 同時刻参場スベ シ				「545 谷子 書牘」（1 巻）の内	冊子複製版 第28冊
546	寺島伯・鳥尾 子書牘				1巻	寺島宗則書翰 3通 鳥尾小弥太書翰 7通				詳細は546- 1～10参照	
546-1	寺島宗則書 翰 太政大臣 宛	寺島宗則	太政大臣	明治12年6月 5日		宍戸公使ヘノ回答 何如璋照会ノ手續彼方昨年九 月ノ書状引戻サザレバ宍戸ヨリ同論申立ノ外ナ シ ナオ何如璋ヘ引合中 各国派遣公使ヘ琉球処 分ノ始末報知ノ必要アリ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「546 寺島 伯・鳥尾子書 牘」（1巻） の内	冊子複製版 第28冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
546-2	寺島宗則書翰 井上馨宛	寺島宗則	井上馨	明治16年6月20日		駐米公使辞任上申			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「546 寺島伯・鳥尾子書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
546-3	寺島宗則書翰 井上馨宛	寺島宗則	井上馨	明治 年3月19日		オホシノ時刻参上スベシ				「546 寺島伯・鳥尾子書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
546-4	鳥尾小弥太書翰 井上馨宛	鳥尾小弥太	井上馨	明治 年3月3日		和歌山市市長屋喜弥太紹介 畔上樸仙				「546 寺島伯・鳥尾子書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
546-5	鳥尾小弥太書翰 古沢滋宛	鳥尾小弥太	古沢滋	明治 年8月2日		近日政海少々激動ノ気味心配ナラン 世外・春畝山ヲ出デ京ニ向ウト聞キ落着カト喜悦 自分希望ノ図ニ一定セバ帰京ノツモリ 世外老人へ通ジオキエウ				「546 寺島伯・鳥尾子書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
546-6	鳥尾小弥太書翰 井上馨宛	鳥尾小弥太	井上馨	明治 年1月13日		本日ノ議案撤回政府威信上並ニ貴族ノ面目上ヨロシカラシテ申越シノ件懸念無用			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「546 寺島伯・鳥尾子書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
546-7	鳥尾小弥太書翰 井上馨宛	鳥尾小弥太	井上馨	明治 年11月18日		出席通知				「546 寺島伯・鳥尾子書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
546-8	鳥尾小弥太書翰 井上馨宛	鳥尾小弥太	井上馨	明治 年4月20日		観桜会不参夕刻参上スベシ				「546 寺島伯・鳥尾子書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
546-9	鳥尾小弥太書翰 井上馨宛	鳥尾小弥太	井上馨	明治 年1月27日		一同参上スベシ				「546 寺島伯・鳥尾子書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
546-10	鳥尾小弥太書翰 簡一〔吉富力〕宛	鳥尾小弥太	簡一〔吉富力〕	明治 年 月 18日		少々不快ニツキ山荘へ来臨乞ウ				「546 寺島伯・鳥尾子書牘」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
547	戸田伯・花房子・林伯・野村男書牘				1巻	戸田氏共書翰 2通 花房義質書翰 3通 林董書翰 2通 野村素介書翰 3通 山県有朋書翰 1通				詳細は547-1~11参照	
547-1	戸田氏共書翰 井上馨宛	戸田氏共	井上馨	明治24年1月17日		帰朝挨拶			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「547 戸田伯・花房子・林伯・野村男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
547-2	戸田氏共書翰 井上馨宛	戸田氏共	井上馨	明治21年5月26日		夫人快気祝 公使館移転配慮感謝 スタイン氏へ伝言見合セノトコロ来書ニテ中止 岩倉具経帰朝株券ノ件配慮乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「547 戸田伯・花房子・林伯・野村男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
547-3	花房義質書翰 井上馨宛	花房義質	井上馨	明治15年5月23日		清米艦入港 申二・金宏集ヲ派出 馬建忠仁川ニテ申・金ト商議 シュフェルト同地ニテ申・金ニ面会内議成立 済物浦海岸ニテ双方国書贈答条約調印 コノ間馬建忠周旋 シュフェルト朝鮮関税ニツキ協議			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「547 戸田伯・花房子・林伯・野村男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
547-4	花房義質書翰 井上馨宛	花房義質	井上馨	明治17年10月21日		橋本ト維納ニ出會 上野ニモ出會 上野ノ病氣重症帰朝休養ヲ要ス 大山トモ相談緒方ト同行出立ノ予定			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「547 戸田伯・花房子・林伯・野村男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
547-5	花房義質書翰 井上馨宛	花房義質	井上馨	大正4年8月27日		病氣見舞			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「547 戸田伯・花房子・林伯・野村男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
547-6	林董書翰 末松宛	林董	末松	明治 年11月17日		ライベル出板ノ件調査 出板条例違反ニテ告発済 本人呼出シ取糺シタルトコロ藤田恐喝ノ為メニシテ本人出板意ナシ				「547 戸田伯・花房子・林伯・野村男書牘」(1巻)の内	冊子複製版第4冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
547-7	林董書翰 井上馨宛	林董	井上馨	明治27年7月29日		閣議決定書翰発送済 公使ヨリ返書ナシ 牙山沖沈没船英船ノ疑アリ 佐世保問合セ中 外人四人取扱イ丁寧 末松法制局長出張			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「547 戸田伯・花房子・林伯・野村男書牘」（1巻）の内	冊子複製版第4冊
547-8	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年3月24日		中井愛蔵月給前借願出 厚配乞ウ				「547 戸田伯・花房子・林伯・野村男書牘」（1巻）の内	冊子複製版第30冊
547-9	野村素介書翰 井上馨宛	野村素介	井上馨	明治 年9月21日		日本漆工競技会開催 出品依頼				「547 戸田伯・花房子・林伯・野村男書牘」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
547-10	野村素介書翰 井上馨宛	野村素介	井上馨	明治 年1月9日		茶器拝観高輪邸へ御出ノヨシ 自分参会ノツモリ				「547 戸田伯・花房子・林伯・野村男書牘」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
547-11	野村素介書翰 井上馨宛	野村素介	井上馨	明治 年6月19日		依頼ノ題字成語送付				「547 戸田伯・花房子・林伯・野村男書牘」（1巻）の内	冊子複製版第21冊
548	徳富蘇峯書牘				1巻	徳富猪一郎書翰 6通				詳細は548-1～6参照	
548-1	徳富猪一郎書翰 井上馨宛	徳富猪一郎	井上馨	明治34年1月30日		熊本銀行ノ失敗堀部個人ノ失態ナレド同業者間ノ連携ニモ責任 堀部同情ノ余地アリ救助乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「548 徳富蘇峯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
548-2	徳富猪一郎書翰 井上馨宛	徳富猪一郎	井上馨	明治39年6月9日		大連到着 諸官衙権限争イ閉口 営口ヲ経テ北京ニ赴クツモリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「548 徳富蘇峯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
548-3	徳富猪一郎書翰 井上馨宛	徳富猪一郎	井上馨	明治39年6月19日		天津商況居留民好景気 正金銀行信用厚ク銀券流通一百万円 袁世凱二面会			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「548 徳富蘇峯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
548-4	徳富猪一郎書翰 井上馨宛	徳富猪一郎	井上馨	明治43年1月22日		東宮殿下二御出品ノ蒙古退治不動明王ト血盟書ヲ説明 別紙ハ英国国民評論ノ伊藤論供覧			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「548 徳富蘇峯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
548-5	徳富猪一郎書翰 井上馨宛	徳富猪一郎	井上馨	大正4年1月5日		桂公伝記編纂受託挨拶			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「548 徳富蘇峯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
548-6	徳富猪一郎書翰 井上馨宛	徳富猪一郎	井上馨	大正4年4月19日		園遊会謝礼			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「548 徳富蘇峯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
549	徳川家達公・伊達宗城侯・香川伯書牘				1巻	徳川家達書翰 1通 伊達宗城書翰 1通 香川敬三書翰 3通				詳細は549-1～5参照	
549-1	徳川家達書翰 井上馨宛	徳川家達	井上馨	明治 年3月30日		徳大寺侍従長ヨリ拜謁日変更通知アリ				「549 徳川家達公・伊達宗城侯・香川伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第28冊
549-2	伊達宗城書翰 井上馨宛	団琢磨	井上馨	明治24年4月7日		上申書改正スレバ毛利家加名ノ件 職制云々ノ文字アリ故条公名印アレバ今日ニテハ変改ノ余地ナシ コノ内情掬ミトリノ上元徳兄へ説得乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「549 徳川家達公・伊達宗城侯・香川伯書牘」（1巻）の内	冊子複製版第2冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
549-3	香川敬三書翰 井上馨宛	香川敬三	井上馨	明治40年5月9日		皇后御歌染筆下賜				「549 徳川家達公・伊達宗城侯・香川伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
549-4	香川敬三書翰 井上馨宛	香川敬三	井上馨	明治40年2月28日		皇后行啓二ツキ打合せ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「549 徳川家達公・伊達宗城侯・香川伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
549-5	香川敬三書翰 井上馨宛	香川敬三	井上馨	明治40年2月22日		皇后行啓日取り通知			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「549 徳川家達公・伊達宗城侯・香川伯書牘」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
550	都筑男書牘 巻一				1巻	都筑馨六書翰 2通 不明書翰 1通				詳細は550-1～3参照	
550-1	都筑馨六書翰 井上夫人宛	都筑馨六	井上夫人	明治21年4月2日		留学近況報告				「550 都筑男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
550-2	都筑馨六書翰 井上馨宛	都筑馨六	井上馨	明治26(力)年12月26日		東京朝日記者鈴木巖内牒要旨 後藤伯内閣二残ルハ井上伯攻撃ノタメ 尾去沢鉱山・山口県石代調査議会二請願ノ目的 自分ヨリ委細構フ又勝手ニヤラスガヨイト返答セリ				「550 都筑男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
550-3	筆者不明書翰 井上馨宛	筆者不明	井上馨	明治22年7月31日		松方伯談話 大隈二条ノ請求提出一八帰化外人ト改ムルコト列国二内議 帰化法ヲ枢密院へ提出 二八新聞嚴重取締リノコト 右二ツキ帰化法枢密院提出慎重ヲ要スノ意見ト聞ク 伊藤・井上ノ出席ヲ求め会議スベシトテ散会 コノ旨井上伯伝言ヲ托セラレタリ				「550 都筑男書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
551	都筑男書牘 巻二				1巻	都筑馨六書翰 2通				詳細は551-1～2参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
551-1	都筑馨六書翰 井上馨宛	都筑馨六	井上馨	明治33年10月14日		渡辺問題金子男ヨリ報告アランモ渡辺除名ヲ辞サズトノ強硬態度 本日総務委員会合善後策 除名論・疎外論 狂人トシテ公表スル等アレド真相公表ニ決 末松・金子ガ起草 除名ノ件星・長谷場・原主張				「551 都筑男書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
551-2	都筑馨六書翰 井上馨宛	都筑馨六	井上馨	明治33(力)年6月9日		政界混迷策士連親分ヲ奉ジテ右往左往 首相ノ辞意義和団事件成行ヲ待チ 松方伯都脱出ノ意図桂ヒトリ得意 御前会議ノ議桂・山屋・平田反対 大隈説ノ出現ヲ恐ルル模様 自分元勲会合主張 桂・平田八反対				「551 都筑男書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
552	都筑男書牘 巻三				1巻	都筑馨六書翰 3通				詳細は552-1~3参照	
552-1	都筑馨六書翰 井上馨宛	都筑馨六	井上馨	明治34年1月8日		バクレウスキー申出ノ件実行方策講究乞ウ 分割論尤ナレド両者境ヲ接シ第三者ノ介入ヲ招カザルベカラズ 朝鮮ノ保全中立ハ彼ノ占取ヲ防ギ東洋平和ノ一進歩 コノ協定ハ現状ニ優ル数歩 今日ノ状態永続ハシベリヤ鉄道成就ノ暁 衝突力併合傍観スルノ二者択一				「552 都筑男書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
552-2	都筑馨六書翰 井上馨宛	都筑馨六	井上馨	明治34年1月9日		朝鮮ニ対シ露公使外相へ提案 露ハ第三国ノ保証ニヨル中立ニ同意 且ツ日本ノ商業利益ヲ考慮日露間ニ了解成立マデ何等ノ処置モ取ラナイ 外相提案ニ乗リ気ナキ模様 満州ニ関シ清国保全ハ日本独英協商同意セシハズト公使返答 今回ノ提案ハ本国ニ事情アルヨシ				「552 都筑男書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
552-3	都筑馨六書翰 井上馨宛	都筑馨六	井上馨	明治34年1月14日		公使ノ大磯訪問ヲバク氏ニ提案 翌日藤侯訪問 提案ノ件ハ申シアゲズ 新聞紙上首・外相ニ朝鮮問題ニツキ意見相違ノ報道 外相サシ措キ首相訪問ニ難色				「552 都筑男書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
553	都筑男書牘 巻四				1巻	都筑馨六書翰 2通				詳細は553-1~2参照	
553-1	都筑馨六書翰 井上馨宛	都筑馨六	井上馨	明治34年11月6日		(於巴里) 侯爵米国旅行ハ成功 藤侯率イル政党内閣転覆決議ノ横浜電侯爵旅行妨害ノ意図力又日露開戦近シノ横浜電アリ 公債募集ノ成否対露外交ニ影響セン 見込ミ好転 旅費不足ノオソレ送金方法				「553 都筑男書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第28冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
553-2	都筑馨六書翰 井上馨宛	都筑馨六	井上馨	明治36年1月3日		広橋伝言拝承 財団法人僧侶等異存ニテ延期ノヨシナレド再考願ウ 財団へ寄付条件ヲ登記シオカザレバ借財返済後再ビ抵当ニ入ルルハ既往ノ事例 本願寺ニコノ際承知セシムルノ必要 コノ期ヲ逸スレバ財政整理ノ見込ナシ 財団法人ハ必要条件				「553 都筑男書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
554	都筑男書牘 巻五				1巻	都筑馨六書翰 3通				詳細は554-1~3参照	
554-1	都筑馨六書翰 井上馨宛	都筑馨六	井上馨	年 月16日		片野画幅譲渡杉子爵ノ手前取りツクロイ願ウ 捕獲審検所事務結了帰京命ジタシ				「554 都筑男書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
554-2	都筑馨六書翰 井上馨宛	都筑馨六	井上馨	明治36年6月25日		藤侯陰謀ニ八乗ラヌノ激語ヲ発シ首相相面会拒否 山本海相ヲ以テ再度会見申込 内閣ノ希望即チ政友会引退ハ不可能ト山本ヲ論難 山侯・海相ヲ証人ニ会見応諾 昨朝会談実現 首相辞意表明 ソノ理由藤侯ヲ向ウニ廻シテ八政権維持不能トノヨシ 藤侯・山侯トモソノ理由ナシトテ物別レノヨシ 斯波宗務局長来訪				「554 都筑男書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
554-3	都筑馨六書翰 井上馨宛	都筑馨六	井上馨	明治 年3月14日		九州地方旅行随行申出				「554 都筑男書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
555	都筑男書牘 巻六				1巻	都筑馨六書翰 3通				詳細は555-1~3参照	
555-1	都筑馨六書翰 井上馨宛	都筑馨六	井上馨	明治41年7月3日		政界危機 病後摂養ニ努力中				「555 都筑男書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
555-2	都筑馨六書翰 井上馨宛	都筑馨六	井上馨	明治39年3月9日		下命ノ件三島子へ通ジオケリ 鉄国ノ件千家男へ考案ヲ伝エオク必要アラン				「555 都筑男書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第28冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
555-3	都筑馨六書翰 井上馨宛	都筑馨六	井上馨	明治41年7月14日		桂侯ヨリ昨晚ノオ話ト同様ノ話アリ 土儀際ノ落第残念 枢府ニ入り老朽センヨリ海外勤務ヲ希望 小村伯ノ後任願イタレド桂侯確答ナシ 桂侯ニ談合乞ウ				「555 都筑男書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
556	上野景範書牘 巻一				1巻	上野景範書翰 6通 吉田清成書翰 1通				詳細は556-1~7参照	
556-1	上野景範書翰 井上・渋沢宛	上野景範	井上・渋沢	明治5年3月19日		東京丸箱館ニテ破船当港新聞報道アリ 伊藤・大久保帰朝兩三日中ナラン				「556 上野景範書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
556-2	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治 年5月26日		プランケット機械取建テ願者山田小十郎紹介				「556 上野景範書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
556-3	上野景範書翰 井上・熊谷宛	上野景範	井上・熊谷	明治5年5月29日		宿酔一日ノ欠務オ許シアレ				「556 上野景範書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
556-4	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治6年7月24日		二十五日ノ集会ニ欠席ノヨシ 渋沢・芳川故障ナク福地八近日温泉行ニテゼヒ予定通り開催イタシタシ オ繰合せ出席乞ウ 昨日ノ仏郵便ニテ毛利平三郎・木戸参議・森有礼等帰朝				「556 上野景範書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
556-5	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治4年10月7日		照会ノ東方銀行預金高 大久保へ提出ノ特例弁務使御用日記ニテ明瞭ナルベシ 詳細ハ前島密ヨリオ聞取り乞ウ 東方銀行勘定ハ横浜ロスセル氏ヨリ聴取別紙ノ通り				「556 上野景範書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
556-6	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治 年5月29日		伊佐岡伊八郎大蔵省留学生志願 引見願ウ				「556 上野景範書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
556-7	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治6年1月17日		公債政綱安心アレ 不日帰朝予定 目下ノマネーマーケット不都合ナレド意外ノ売買成立 吉田二郎 大使一行巴里滞在 三世ナポレオン卒去 台湾征伐無用ナラン マリアルース号事件				「556 上野景範書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第31冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
557	上野景範書牘 巻二				1巻	上野景範書翰 8通				詳細は557-1~8参照	
557-1	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治12年1月24日		臥床一件帰朝ノ松方二モ依頼 寺島・松方二相談願ウ 為換相場下落二ヨリ減給二等シ 俸給八金、銀円力在留国ノ通貨ヲ以テセラレタシ 依頼ノ母堂並二木戸氏肖像伊国人画師二依頼出来			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「557 上野景範書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
557-2	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治12(カ)年10月5日		英公使帰英ノヨシ 自分出立前ポンスホートヨリ日本政府ヲ満足セシムルコトアラントノ内話コノコトカ 条約改正好転セン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「557 上野景範書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
557-3	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治13年3月6日		支那ヘノ訓状書下命ノ点竹添ト相談添削 謄写出来ハ明後日ナラン 竹添今日支那行下命 ウエズーラ公使独公使同伴来省			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「557 上野景範書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
557-4	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治13年8月9日		米油相場所始末芳川書状ニテ承知ナラン 英人ソノ国法二違フザレバ日本法ヲ破リテモ構ワザルヤヲ詰問 英領事回答中二触レズ 英使面談ノ際言及セントコロ治外法権二関係返答イタシカヌ 公式二照会アレバ本国政府へ通報セントイウ 府知事ト領事往復書ヲ添工英使へ照会予定彼レ権利上応諾スマジキモ他日ノ条約改正談判ノ一助ニナラン 蘭使処分草案原書蘭使ヨリ出タル旨米使ノ回答ヲ求メ ソノ上蘭政府へ照会ノ予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「557 上野景範書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
557-5	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治14年3月4日		ハワイ皇帝ヲ大臣・参議・各省長官新橋二出迎工取止メ コノ件皇帝二言上済ニテ困却 閣下ノ異論ニテ元通り出迎工ニ決定安心 皇帝参朝ノ際閣下出席有無イカガ 通弁役芳川辞退自分二依頼代役モヨロシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「557 上野景範書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
557-6	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治13年8月19日		蘭公使電報了承 下命ナレバ面会イタスベキモコノ際謝絶 彼穩当ノ処分ヲ試ミントシテ拙官へ面会ナルベシ 他約アリ面会ヲ来週二延シテハ如何			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「557 上野景範書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
557-7	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治13年1月7日		富田代理公使ヨリノ為換券払方意見使者へ申付ラレタシ 黒田箱館へ出立 差出中ノ猟銃才返シ願ウトナリ 各国公使元旦礼式坊城へ相談 榎本ノ見込モアリ安心アレ 伊皇族夜会 清国欧州トノ条約改正企図我二不利カ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「557 上野景範書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
557-8	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治15年4月13日		ギールス氏露国外相就任 ローゼン氏ヨリ内信				「557 上野景範書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
558	内海男書牘 巻一				1巻	内海忠勝書翰 4通				詳細は558-1～4参照	
558-1	内海忠勝書翰 井上馨宛	内海忠勝	井上馨	明治20年4月17日		伝言川崎へ伝達 川崎造船所一件 昨年受取後ノ勘定整理将来ノ見込共報告スベシト申シオレリ 鉄道一件八間接二指揮願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「558 内海男書牘 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
558-2	内海忠勝書翰 井上馨宛	内海忠勝	井上馨	明治22年10月11日		新聞ニ帰京ノ報道 風説ナランモ自分上京ノ都合アリ予定承リタシ 政界慌シク地方官八困難英領事香港ノ犯人ヲ内地ニテ逮捕 ソノ解放要求ヲ鳩山ト相談			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「558 内海男書牘 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
558-3	内海忠勝書翰 井上馨宛	内海忠勝	井上馨	明治 年5月8日		防長精米販売以下ノ条項ニヨリ目的立タズ 彼ノ器械トノ相違 糠ヲ去ラザレバツヤ付ケ不能 欧州ニテノ声価ハインター器械ノタメ彼トノ競争不能 既往ノ器械ニテ輸出見込薄 輸出ヲ目的トセバ器械取換工ハスタート組ム外ナシ				「558 内海男書牘 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
558-4	内海忠勝書翰 井上馨宛	内海忠勝	井上馨	明治24年1月1日		年賀 政界消息			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「558 内海男書牘 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
559	内海男書牘 巻二				1巻	内海忠勝書翰 4通				詳細は559-1～4参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
559-1	内海忠勝書翰 伊藤宛	内海忠勝	伊藤	明治25年7月20日		内相人撰紛議樺・高・大三氏首相非難 山県歎息 北垣辞表後任中村元雄 内相拜命出省模様 西郷・品川国民協協会中心人物ト協議会ノ方向ヲ問ヘリ 独立非解散ニ決セリトイウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「559 内海男書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
559-2	内海忠勝書翰 伊藤宛	内海忠勝	伊藤	明治25年7月20日		北垣北海長官ニ渡辺千秋内務次官ニ任命 廟議ノ変更猫ノ目ノ如シ 内務大臣人撰八閣下ノ密奏ニヨルトノ風評 虚聞ナレバ手筋内ノミニテモ取消シオキタシ 首相強硬ナルハコノ密奏ニヨルト高八唱エオレリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「559 内海男書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
559-3	内海忠勝書翰 井上馨宛	内海忠勝	井上馨	明治25年10月19日		油槽一条朝田又七断念セシメ浅野総一郎へ申聞力セ願書提出ノ手筈 三多摩管轄換工法律上故障止ムヲ得ズ 知事放逐運動猖獗 県会前ニ処置希望ノ次第 白根身上内蔵頭任命			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「559 内海男書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
559-4	内海忠勝書翰 井上馨宛	内海忠勝	井上馨	明治35年9月8日		東本願寺ノ件拝承 法主悔悟親子合体ノ実ヲ見ルニアラザレバ改革ノ効能ナシ 京都府知事へハ暫ク静観 仲裁ヲ急グ必要ナシト伝エオケリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「559 内海男書牘 巻二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
560	渡辺伯書牘 巻一				1巻	渡辺千秋書翰 3通				詳細は560-1～3参照	
560-1	渡辺千秋書翰 井上馨宛	渡辺千秋	井上馨	明治26年7月29日		発送前指示ノ地方書記官以下更迭人事 榑原以德・渡辺孝・井原四郎 曹洞宗紛擾畔上榑仙調停			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「560 渡辺伯書牘 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
560-2	渡辺千秋書翰 井上馨宛	渡辺千秋	井上馨	明治26年8月4日		土木調査部案各局長・参事官・書記官会議開催 技術ト法律論ノ発論少カラズ 草案供覧 北海道地方費改正ノ機力 各府県費目明細表式ヲ与工各知事ニ下命 軍艦ノ儀浪速艦横須賀ニ修理中 長崎ノ司令長官へ請求 ソレヨリ横須賀ノ船長ニ内訓ニテ間ニ合ワズ 昨日抜錨セシメ内訓ハ北海ニテ接電予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「560 渡辺伯書牘 巻一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
560-3	渡辺千秋書翰 井上馨宛	渡辺千秋	井上馨	明治27年1月7日		省務連絡 衛生局長後任推薦多ク困却 高田善一ヲ長与不承知医界ヨリ出シタキ意力 小野田へ下命ノ趣長与ト協議セン 佐賀県知事危篤 会議出席書記官代理ニテハ不足 更迭ノ必要千田貞暁力古沢滋如何 黒田書記官辞表取扱イニツイテ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「560 渡辺伯書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
561	渡辺伯書牘 卷二				1巻	渡辺千秋書翰 5通				詳細は561-1～5参照	
561-1	渡辺千秋書翰 井上馨宛	渡辺千秋	井上馨	明治26年8月28日		北地巡視相済ミ敬賀 三県水害報告書供覧 岐阜県人民二十四年ノ特別恩恵ニ馴レ国庫補助ヲ求ムル運動アリ 不穩当ニツキ土木・県治兩局長出張見合セ 土木監督署長及ビ支署詰出張			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「561 渡辺伯書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
561-2	渡辺千秋書翰 井上馨宛	渡辺千秋	井上馨	明治27年3月4日		湘南保養ト伝聞自重乞ウ 総選挙ニ引続キ地方官会議配慮拝察 退官清閑ヲ望ミシニ種々事情纏綿困却 貴族院錯雑収攬ノ方針立テラレタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「561 渡辺伯書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
561-3	渡辺千秋書翰 井上馨宛	渡辺千秋	井上馨	明治27年10月9日		行政裁判所混雑長官ト評定官トノ不和ニアリ 本田親雄退官事情 創業時法律家トシテ南部甕男・行政家トシテ自分就任 現長官評定官統制二当ヲ得ズ革清ノ声アリ 更迭アラバ自分ソノ任当リタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「561 渡辺伯書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
561-4	渡辺千秋書翰 井上馨宛	渡辺千秋	井上馨	明治27年10月9日		別啓 現長官トハ懇意同人ノ地位ヲ危カラシメンノ意ナシ 内聞ノママ願出タリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「561 渡辺伯書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
561-5	渡辺千秋書翰 井上馨宛	渡辺千秋	井上馨	明治40年10月16日		松方侯ト協議 巖・幸作ヲ避ケ樺山愛輔ニ賛意ヲ得タリ 雨宮亘ヲ監査役同意ノ旨早川へ返答団氏登任尽力乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「561 渡辺伯書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
562	渡辺国武書牘 卷一				1巻	渡辺国武書翰 5通				詳細は562-1～5参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
562-1	渡辺国武書翰 井上馨宛	渡辺国武	井上馨	明治18年10月3日		十九年度歳入予算未出ノ分調査結果 租税減額多ク先二提出ノ十七年度予算ヲ數キタル額ヨリ四百余万円ノ減 大蔵卿下命ニヨリ報告			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「562 渡辺国武書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
562-2	渡辺国武書翰 井上馨宛	渡辺国武	井上馨	明治27年9月25日		海上勝報大賀 議会へ提出ノ軍費首相トノ相談略出来 帰京報告イタスベシ 開会ニ至ラバ議会操縦ノ必要アリ広島へ出張アルベシ 第一師団到着近ク第二軍出陣			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「562 渡辺国武書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
562-3	渡辺国武書翰 井上馨宛	渡辺国武	井上馨	明治33年6月22日		清国意外ニ混雑 連合軍処理費用ヲ要スマジ 列強衝突ソノ中ニ入レバ軍費不換紙幣濫発力高利ノ外債ニ頼ラザルヲ得ズ 少々ノ勝利ニテハ償イ得ズ 軽躁ノ蔵相ニ不安			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「562 渡辺国武書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
562-4	渡辺国武書翰 井上馨宛	渡辺国武	井上馨	明治33(力)年7月2日		表面御関係八成敗ヲ左右セヒ決意セウ 西郷モ同一地位ニ立テタシ 西郷ノ代リニ松方トイウナレハ事済ミ後退身オ許シセウ 日清事件財政経済ノコト伊藤侯へ申出ノツモリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「562 渡辺国武書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
562-5	渡辺国武書翰 井上馨宛	渡辺国武	井上馨	明治33年8月22日		御勸メセシ件名称上八加名ナキ由伊藤侯ヨリ伝承 同化ニ至ルマデ面倒多カラン教示セウ 二十五日頃発表予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「562 渡辺国武書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
563	渡辺国武書牘 卷二・渡辺昇書牘 卷一				1巻	渡辺国武書翰 3通 渡辺昇書翰 2通				詳細は563-1～5参照	
563-1	渡辺国武書翰 井上馨宛	渡辺国武	井上馨	明治33(力)年8月30日		今朝高論ノ一件伊藤侯へ相談ノ上決定シタシ 事八個人間ノ衝突ニ非ズ国家経済利害ノ問題 伊藤侯ニ相談抜キニハ決答シガタク猶予ヲ願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「563 渡辺国武書牘 卷二・渡辺昇書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
563-2	渡辺国武書翰 井上馨宛	渡辺国武	井上馨	明治33年9月6日		発程前才話ノ件伊藤侯へ相談別ニ異存ナシ 被攻撃者ハ侯ト自分弁護ノ役ニ当ル形ナリ 政友会創立早々ヨリゴタゴタハ禁物 実業家・学士入会 進歩党代議士四人昨日紹介			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「563 渡辺国武書牘 卷二・渡辺昇書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
563-3	渡辺国武書翰 井上馨宛	渡辺国武	井上馨	明治31年9月23日		内閣ノ雲行不安 大命伊藤侯へ降下力 党派整理ハサテオキ外交財政ハ遷延スベカラズ 拝受然ルベシ西園寺同案 藤侯ハ反対 考慮乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「563 渡辺国武書牘 卷二・渡辺昇書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
563-4	渡辺昇書翰 伊藤・井上宛	渡辺昇	伊藤・井上	明治20年7月5日		着華府見聞報告 馬場辰猪投書記事所見 公使館ニテ九鬼モ心配 馬場ハ日本華族ト称シ大統領ニモ面話 日本ノ悪口ヲ極メオル由			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「563 渡辺国武書牘 卷二・渡辺昇書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
563-5	渡辺昇書翰 井上馨宛	渡辺昇	井上馨	明治21年7月2日		取調事項鋭意研究中 九月帰朝下命 ナオ三ヶ月ノ延期ヲ願ウ 故国政変ニ驚愕 産業立国ノ所見			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「563 渡辺国武書牘 卷二・渡辺昇書牘 卷一」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
564	渡辺昇書牘 卷二				1巻	渡辺昇書翰 4通				詳細は564-1～4参照	
564-1	渡辺昇書翰 井上馨宛	渡辺昇	井上馨	明治26年1月7日		検査院追加予算案蔵相マデ提出 旅費年間六百円ニテ支弁不能 予算内ノミノ仕事ヲ攻撃甘受ハ愚 追加案否決ノ際議会ニ実情発表ノツモリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「564 渡辺昇書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
564-2	渡辺昇書翰 井上馨宛	渡辺昇	井上馨	明治26年1月12日		検査院追加予算案旅費一条速ニ発表アリタシ 必要経費ナレバ議院通過確信 議事録ヲ見ルニ河津次官答弁 十八万円追加案ハ官吏昇級賞与用トアリ言語道断			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「564 渡辺昇書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊
564-3	渡辺昇書翰 井上馨宛	渡辺昇	井上馨	明治26年9月21日		検査院経費陳述ノ通り実現ノ趣大慶 御省ノ会議結局ノ際我院ヨリ出頭打合セノ手筈如何 業務ノ手前疎遠勝子集会ニ出席ハ双方ニ利便アラン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「564 渡辺昇書牘 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第29冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
564-4	渡辺昇書翰 井上馨宛	渡辺昇	井上馨	明治 年7月 29日		木下大学総長二面会 大学経済二関シ地方経済意見書ノ大要ヲ話セシ処 総長拝見ヲ希望 不日参上ノ折八面話アリタシ				「564 渡辺昇書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版 第29冊
565	山田伯書翰 巻一				1巻	山田顕義書翰 10通				詳細は565-1~10参照	
565-1	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治3(力)年 11月10日		貴省不在中ニテ田中へ依頼 津軽藩へ渡金ノ事 陸軍入用品上野大丞へ依頼ノコト等ヨロシク				「565 山田伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第29冊
565-2	山田顕義書翰 小室信夫宛	山田顕義	小室信夫	明治4年3月 29日		午後参邸ノオ約束ノ処 故広沢参議一件吟味ノタメ不参				「565 山田伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第29冊
565-3	山田顕義書翰 小室信夫宛			明治4年4月 14日		帰山伝承 往訪先問合せ				「565 山田伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第29冊
565-4	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治8(力)年5 月10日		来臨ノ由木戸ヨリ伝承 退出掛ケ参上スベシ				「565 山田伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第29冊
565-5	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治8(力)年6 月22日		一昨日呈上ノ徽明巻代使ノ者ニオ渡シテウ 他ノ一品ノ方ヨリ催促ヲ受ケオ願イ				「565 山田伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第29冊
565-6	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治8(力)年9 月1日		今後彼等ト共立ノ目的ナシ ゼヒ雄飛論主張イタシタシ コノ件木戸心配 山県へ木戸直話モ憚リアレバ兄ヨリ山県へ示談願ウ 自分志望不適ナレバ叱正乞ウモヨロシク周旋願ウ				「565 山田伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第29冊
565-7	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治8(力)年 10月19日		北代云々ノコト山科生幹ノ件ニテ多忙ニツキ木戸マデ申送レリ 北代口書調印ノ上擬律上申ノ手續				「565 山田伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第29冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
565-8	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治 年10月29日		湯田一件小林明日帰県 ゼヒコノ機二始末ツケタシ 家財書入レモ止ムヲ得ズ一書煩ラワシタシ				「565 山田伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
565-9	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治 年12月3日		物茂卿書幅拝謝				「565 山田伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
565-10	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治9年11月7日		旅行平安敬賀 神風連・秋月・小倉・福岡暴動前原・奥平等モ持病ヲ発シ賊名ヲ負イ 品川・三浦攻撃中 九州八平定済ミ萩ノミナレバ心配無用 会津人長岡啓二郎未発捕縛				「565 山田伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
566	山田伯書翰 巻二				1巻	山田顕義書翰 10通				詳細は566-1~10参照	
566-1	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治11年1月30日		共同ノ方平穩 授産ノ方県令心配 元金八公債証書 利金ヲ四分シ一ヲ困窮者授産費 一ヲ授産局費用 残り二分ヲ積立 県下平穩ニテ木翁・老台ノ慈心貫徹 株券ヲ以テ銀行設立ヲ願イ運転ヲ授産ニ依頼				「566 山田伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
566-2	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治10年11月6日		薩賊九月二十四日滅却人心安堵 木翁保養叶ワズ遠遊 同郷諸友ノ協力老兄担任ヲ希望 協同授産一件協同ニ人民議論アリ 吉田退任申出 帰国マデ慰留スベシ				「566 山田伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
566-3	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治14年6月14日		海上無事安着ナラン 北海道並ニ羽州巡幸 左府官・大隈・大木・黒田供奉 審理局事件近ク解決見込ニ				「566 山田伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
566-4	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治12年7月11日		男子誕生通知				「566 山田伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
566-5	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治15(力)年9月9日		来示了承 彼輩脱出処分尽力願ウ 神奈川書記官一件考案通りニテ然ルベシ 赤川処遇ニ困却大阪ニ一珍事角田平三一件ニ似ル岩公ヨリ聞取り乞ウ 十二日ヨリ北行予定				「566 山田伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第29冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
566-6	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治 年11月5日		尾寺一条試験ノ期二非ズ遅延何トカ工夫致スベシ 例ノ一条八正院へ上甲済ミ				「566 山田伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
566-7	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治 年月 日		総房ト願出遠方へハ参ラス調印乞ウ				「566 山田伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
566-8	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治16(力)年 月 日		大蔵卿ヨリノ電報披見 内海八境ノ後任ニ予定海水浴ニ参リオレバ電報次第出京ノ旨才伝乞ウ				「566 山田伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
566-9	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治15(力)年1月30日		来示了承 三島へ八大蔵卿承知ナレバ返報セン 土佐書生極貧ニテ自活ノ道ナキヨリ今回ノ拳動ニ出テタルベシ 注意アルベシ				「566 山田伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
566-10	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治16年3月6日		伊集院高知県令死去 後任内閣ニテ松方・佐々木・福岡評議 田辺警保局長内定 異議ナケレバ調印乞ウ				「566 山田伯書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
567	山田伯書翰 巻三				1巻	山田顕義書翰 9通				詳細は567-1~9参照	
567-1	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治16(力)年4月2日		別封伊藤参議へ米国郵船便ニテ送方下命アリタシ 今一封八矢原將軍〔吉富簡一〕ヨリ送付新聞へ月百拾円位補助県会へ申入レノツモリ 新田一件内閣へ提出手筈				「567 山田伯書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
567-2	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治15年4月13日		汽船帆前船両会社設立意見書御覽済ミ返却願ウトナリ 石川県処分明日会議出席乞ウ 岐阜県ヨリ細報アリ 犯人八他二党類ナキ模様 岐阜県下騒然ノヨシ				「567 山田伯書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
567-3	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治15年5月12日		犯人処分ニ付相談アリ 官舎マデ来臨乞ウ				「567 山田伯書翰 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第29冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
567-4	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治16(力)年6月17日		毛利ノコト御意見ノ通り県令ヘ伝達 書記官再考イタシタシ 矢田部適当カ考慮ヲ乞ウ 銀行ノ方佐々木ノ跡草刈ニ決定セバ毛利・草刈ヲ呼ビ示談アリタシト野村ヨリ依頼				「567 山田伯書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
567-5	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治16年6月21日		別紙草刈持参 佐々木ヘ召換状連名ニテ送レリ 宮内省ノ方周旋乞ウ				「567 山田伯書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
567-6	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治15(力)年6月29日		改進黨内幕判明 中央銀行ニ干渉 東本願寺援助 某私立銀行助勢等 パークス大隈ト談判 福沢ト往復ノ模様八面談ヲ要ス 琉球始末海江田見込口陳ニ及ブベシ				「567 山田伯書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
567-7	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治18(力)年8月1日		委細古沢ヨリオ聞取り願ウ コノ際伊伯参内遅レテ八天下ノ一大事 切諫ゼヒ同伴上京サレタシ				「567 山田伯書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
567-8	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治17(力)年11月5日		栗野書記官ヲ以テ申入レノカルクード氏ヘ談判ノ件前後事情不明ニツキ帰京マデ延バシタシ ラウタ氏ト給金七百円ニテ折合イ勤務日数ニツキ折衝予定 山口ヘ西下ノ折毛利家ニテ貸金ノコト裁判トナリ恩ガ仇ニナル例アルヨシ注意乞ウ				「567 山田伯書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
567-9	山田顕義書翰 松方宛	山田顕義	松方	明治17(力)年3月15日		蜂須賀他華族連中発起ノ北海道開墾ニツキ貸下願ノ運送船 工部省ハ運輸会社ヘ下付ニ内決ノヨシ コノ件農商務卿帰京マデ決定見合セ願ウ				「567 山田伯書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
568	山田伯書翰 卷四				1巻	山田顕義書翰 9通				詳細は568-1~9参照	
568-1	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治18年4月17日		明日発程 留守中何カ機密ノ御用アレバ岩村才呼寄セアリタシ				「568 山田伯書翰 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
568-2	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治18(力)年6月10日		彼ノ一条承知セシコトアリ短期ニ決定 前議ヲ変ジ更ニ短縮ハ故意ニ庇蔭スルニ似テ懸念 御書中ノ都合ナレバ中上川老台宛書状中ニ後來ノ約束出来マジキヤ 行政処分トハイ工変更ハ不可				「568 山田伯書翰 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第29冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
568-3	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治19(力)年6月15日		香川・高井兩人共トハ引受けカヌ 一人採用ノ都合ニテハ如何 検事採用評議中決定後二好都合モアランカ				「568 山田伯書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
568-4	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治20(力)年8月5日		六月二十四日付時事新報記者被告事件 控訴中ノトコロ裁判官意見外交事項ト認メズ 検事モ諸新聞記事ト照合気合抜ケ コノ上八判事ノ意見ニ従ウ外ハナシ				「568 山田伯書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
568-5	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治20(力)年8月18日		山県ト相談 勅撰議員撰定ノ件 山県小田原行予定ナレド枢密院官制顧問官ト内談中 ソノ後出向ノツモリナレバ土方派遣見合セ 山県直接相談然ルベシ 相談好結果ヲ得ベクモナオ伊藤へ懇諭アリタシ				「568 山田伯書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
568-6	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治 年8月29日		矢田部正紳履歴書提出 採用依頼				「568 山田伯書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
568-7	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治 年9月29日		招待受出席通知				「568 山田伯書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
568-8	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治22(力)年12月26日		オ話ノ件山県へ協議岩村松方へ相談ノ後間二合ワズ遺憾ナオ斡旋スベシ				「568 山田伯書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
568-9	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治22(力)年5月27日		高輪公ヨリ大倉屋別荘行催促アリ 以前ノ行懸知ラヌナレド至急計画スベキカ				「568 山田伯書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
569	山田伯書翰 巻五				1巻	山田顕義書翰 9通				詳細は569-1~9参照	
569-1	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治 年1月15日		十七日先約アリ 時刻変更願				「569 山田伯書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第29冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
569-2	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治22(カ)年2月23日		伊藤来訪 例ノ一条再考イタシタク明朝参上約セリ				「569 山田伯書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
569-3	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治24(カ)年5月11日		松方ヨリ登閣通知アリ ソレヨリ参上スベク各位ト御談初メラレタシ				「569 山田伯書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
569-4	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治22(カ)年6月8日		藤井希璞負債一件 伊藤・杉・山尾相談落着見込ミ 毛利家へ厄介願ウノ要アリ				「569 山田伯書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
569-5	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治22(カ)年6月10日		来示並ニ高輪公書翰ノ旨敬承 大倉屋へ交渉案内仕ルベシ				「569 山田伯書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
569-6	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治22(カ)年7月22日		今夕山県・伊藤・沖・藤田参会 御気ヲ置カレズ来遊アリタシ				「569 山田伯書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
569-7	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治25(カ)年7月29日		辞表取下ゲタル上ハ陸海軍大臣撰定ヨリ他ナシ 山県・西郷方策案中伊藤ヘモ相談 陸軍ハ山県海軍未定 明朝再度協議予定				「569 山田伯書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
569-8	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治23(カ)年9月12日		オ話ノ件土方へ相談 早速上申取計イノヨシ 伺候ノ際土方へ面会アレ コノ件山県ト談話 山県老台ト面談セシカト問ウ 書面ニテ問合セヲ受ケタルタメト答エオケリ 宍戸宮中顧問任命斡旋依頼				「569 山田伯書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
569-9	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治22年10月8日		日増シニ不穩ノ形勢 山県帰朝 百方ヨリ働キカケラレ迷惑ナラン 西郷・松方・大山等ト協議 方策立タズ痛歎 山県帰朝二期待セシモ大磯ニ脱走 老台帰京切望				「569 山田伯書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
570	山田伯書翰 巻六				1巻	山田顕義書翰 7通				詳細は570-1~7参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
570-1	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治23年1月16日		岩村高俊陸奥ト面晤 不偏不党新交ノ人ト八面会セズ 懇命ヲ受ケシ井上・山県等ヘハ訪問ノツモリ 官民ノ間ニ立チテ周旋イタシタシナド申セリトイウ				「570 山田伯書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
570-2	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治23年1月27日		改正談判覚書出来不十分ノ所青木ヘ忠告 農商務次官八前田ニ決定 後藤去就不明 ソノ他枢密院対策・憲法議院法ノ解釈等取調べ中 忠正公銅像ニツキ打合せ				「570 山田伯書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
570-3	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治22(力)年6月13日		脳病如何 毛利公才招キ大倉屋モ承諾十六日ニ決定臨席乞フ 忠正公銅像ノ件				「570 山田伯書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
570-4	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治22(力)年6月14日		忠正公建像広告文案並ニ大村故兵部大輔銅像予算書送付				「570 山田伯書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
570-5	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治23(力)年2月20日		彼事件初メハ林三介口入ナレド同人出発後三浦芳介引受 三浦へ話アリタシ				「570 山田伯書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
570-6	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治20(力)年3月11日		磯部ヘ才越シノヨシ 池田栄亮才願ノ土地別図朱線ノ分払下方岩村ヘ申出 岩村建築局長ノ一書ヲ要求ノヨシ 岩村ヘ一筆願エレバ都合ヨシ 菊池ヨリルードルフ一件才聞取リアラン				「570 山田伯書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
570-7	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治20年6月25日		谷ト面談 懸念無用首相ニノミ申述ブルヨシ 刑法改正河津伝聞ニヨレバカルクート氏案ニ決定トカ 彼ノ案ハ未曾有ノ奇案 刑法各条改正ニ至ラザルベカラズ 新案立法二等シ 大部ノ法律一時ニ発行既成ノ法律ハ不適当箇所ノミ改正 善美ノ改正八時日ヲ要ス 拙速不備ヲ痛心				「570 山田伯書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
571	山田伯書翰 巻七				1巻	山田顕義書翰 8通 不明書翰 1通				詳細は571-1~9参照	
571-1	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治22(力)年7月15日		忠正公銅像一件 十七日砲兵工廠ニテ実物御覧ノ上諸事決定アリタシ				「571 山田伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第29冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
571-2	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治22(力)年7月24日		忠正公銅像一件相談会遅延 集会日取り問合せ				「571 山田伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
571-3	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治23年8月17日		大木二貴族院議長云々ノ経緯 伊藤参朝 山県ヨリ議長就任ノ勸告アレド余人ニテ然ルベク言上ヨッテ大木ニ御沙汰生ジタリ 山県・自分ノ意中ニ非ズ 忠正公銅像一件 芝弥生社ニ発起人集会				「571 山田伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
571-4	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治22年9月14日		光明寺三郎立候補志望 同人へ賛助ノ儀本人希望ヨロシク援助願ウ 忠正公銅像図面出来次第呈上				「571 山田伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
571-5	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治23(力)年11月3日		民法・商法・訴訟法進呈				「571 山田伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
571-6	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治 年12月10日		宍戸詠今様三首				「571 山田伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
571-7	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治24年1月15日		商法延期論罷り通り辞表呈出 却下尔来処々ニ逃走 議会ノ有様言語道断 山県モ気ノ毒ナリ				「571 山田伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
571-8	筆者不明書翰 井上馨宛	筆者不明	井上馨	明治 年 月 18日		山田伯書状送付添書				「571 山田伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
571-9	山田顕義書翰 柏村宛	山田顕義	柏村	明治24(力)年1月27日		井上伯書状送付感謝 多忙ニテ諸方欠礼 井上伯へノ返書同封				「571 山田伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
572	山田伯書翰 巻八				1巻	山田顕義書翰 7通				詳細は572-1~8参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
572-1	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治24(力)年2月25日		柏村へ相談杉同道高輪公へお願い許可アリタルヨシ 河崎居所不明 同人承諾希望 三万円石田知事受取証落手 柏村へ渡すべきカ 返済方如何ニスベキヤ				「572 山田伯書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
572-2	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治23年2月22日		大熊氏広大村銅像ノコトニテ小郡出張 ツイデニ忠正公銅像建像場所一覽ノ希望アリ堀伴成へ紹介 改正事件青木勉強 覚書各公使へ配布ノ運び 今後ノ懸念枢密院制第六條ノ解釈及ビ憲法上既定額ノ解釈				「572 山田伯書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
572-3	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治21年3月6日		明日発途ノヨシ 曾祢一条輕罪裁判所ニテ取調べ海軍々法会議へ引渡 三田尻招魂場修覆ノ件ニツキ山根善衛参上スベシ				「572 山田伯書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
572-4	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治24(力)年9月5日		光明寺三郎弁明書使者へ才渡シテウ 今日ノ相談調へバ明日ヨリ近県旅行ノ予定				「572 山田伯書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
572-5	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治24(力)年9月15日		岡本柳之助紹介 藤村幸之進(大村益次郎実家ノ子)ヨリ書状到来 相統二異議ナケレド藤村家困難ノ事情推察エウトアリ				「572 山田伯書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
572-6	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治24(力)年9月25日		才話ノ銀行一件 伊藤ヨリ連絡ナクソノ後如何				「572 山田伯書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
572-7	山田顕義書翰 伊藤・山県・井上宛	山田顕義	伊藤・山県・井上	明治25年11月5日		銀行一条鎮静 銅像起工式終了 南方諸郡巡回 歸路河上弥一等墓修覆ノ件ニツキ但馬へ廻リ歸京 木梨モ出京 低利借入レ厚配ヲ希望				「572 山田伯書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
573	山県公書翰 巻一				1巻	山県有朋書翰 11通				詳細は573-1~11参照	
573-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治4年4月27日		大山ノ暴言薩藩寛大論ニヨリ巡察使転座解兵・井田東上愕然 山口ニテノ苦心推察 廟議モ齟齬 東西両鎮ノ議ヨリ肥後・肥前兵博多出張 大久保・西郷山口行 万事会談了解エウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「573 山県公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
573-2	山県有朋書 翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治6(力) 年 月13日		新職制ニテ月給取決メ内決才洩ラシテウ 等級決定月俸払出シニ当惑セリ コノ件正院ノ容喙拒絶サレタシ				「573 山県公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊
573-3	山県有朋書 翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治6(力)年1 月21日		尾川退職ノ件懸念無用 土肥善兵衛就職先配慮乞ウ				「573 山県公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊
573-4	山県有朋書 翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治6(力)年2 月23日		先日才話ノ一条西郷同道今夕參上イタシタシ 都合如何				「573 山県公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊
573-5	山県有朋書 翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治6(力)年4 月9日		洋人来訪 添書拝承 明日中員数取極メン 洋人言語不通困却 明日八武庫司へ出頭湯浅対談取極メ予定				「573 山県公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊
573-6	山県有朋書 翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年10 月9日		藤田一郎書状送付				「573 山県公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊
573-7	山県有朋書 翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治17(力)年 11月3日		風氣臥床今夕不參				「573 山県公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊
573-8	山県有朋書 翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年5月 22日		本日重大事件会議出席予定ノトコロ口医師禁止 別紙昨日落手 一覽後岩倉・山田へ才廻シ乞ウ				「573 山県公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊
573-9	山県有朋書 翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年11 月6日		今日才約束ノ椿山草廬へ御出デ待ツ				「573 山県公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊
573-10	山県有朋書 翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治16(力)年 7月16日		昨晚相談ノ一事本日事情奏聞ノ上決定発表トナラン 今朝芳川へ内命伝達 今回ノ失敗遺憾将来注意ヲ要ス				「573 山県公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
573-11	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年9月8日		今日兩人へ面会 別件ナリヤ時日違イナリヤ				「573 山県公書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
574	山県公書翰 巻二				1巻	山県有朋書翰 7通				詳細は574-1~7参照	
574-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年7月2日	1通	大蔵卿電報供覧 二ヶ条ト八軍艦買入レト宮内省定額力 別紙奏議按一覽乞ウ				「574 山県公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
574-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年6月21日		西郷へ面会蒸汽船会社等ノコト相談セリ 内閣顧問辞表ノコト承知アラン 西郷ノ話ニテハ不満ハナキヨシ 辞表却下ノ運び条公へ申上ゲノ事情面晤ニ尽スベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「574 山県公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
574-3	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治13(力)年5月14日		文部大輔一条 異議起リ変更ノ旨右大臣ヨリ達変更承服シガタク再考願ウト申置ケリ コノコト少輔ノ不同意二原因 九鬼説諭ノ必要			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「574 山県公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
574-4	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治17年11月3日		秩父借金党大宮近傍二嘯集 巡査出張鎮撫ニ着手セシモ敵シガタク 憲兵派遣要請アリ 憲兵一小隊出張 草賊川越ニ至リ埼玉県庁ニ向ウノ報アリ 憲兵二小队浦和派遣 ナオ鎮台兵一大隊派遣ノ手筈			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「574 山県公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
574-5	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治17年11月4日		昨日報告ノソノ後草賊猖獗 鎮台一大隊汽車ニテ出発今明日ニ八鎮定力 談合用件アリ明朝都合如何			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「574 山県公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
574-6	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年12月14日		明朝来宅承知 本日八失礼				「574 山県公書翰 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
574-7	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治15年8月7日		(井上毅代筆) 参事院議官補中山寛六郎竹添ニツケ派遣 ボアソナード試草強償ノ際ノ朝鮮碇泊各国軍艦ヘノ公告案送付 花房ヘ相含メ必要ニ応ジ才取計イアルベシ 西徳次郎魯国派遣外務大輔上申ノ通り電命 北京公使任命閣議予定 陸海軍人ノ旅費八通貨支給 韓機費用金釜山領事館受取方領事ヘ指揮乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「574 山県公書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
575	山県公書翰 卷三				1巻	山県有朋書翰 9通				詳細(は575-1~9参照)	
575-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治4年2月19日		西郷ヘ才話ノ造営中ノ田安屋敷地処引渡シノ件 營繕係ニ添工省中ヨリモ出張セシムベシ 田安御門トリアエズソノ儘二願イタシ 造営ハオートルス意見ニ一任				「575 山県公書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
575-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治15年7月20日		条約改正議按略結局シバシ避暑精神培養アレ 分県論内務卿ト相談トノコト 日向外不都合ノ県モアルヨシ 佐賀ニツイテハ申シ難シ 分県将来ニ得策カ イズレ県制改正ノ要アラン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「575 山県公書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
575-3	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年9月9日		高配ニヨリ好結果安心 明日松方来訪ノコト承知 同時刻参趨スベシ 田中ヘ通報イタシオクベシ				「575 山県公書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
575-4	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年9月25日		鎌倉郡借地券並ニ地図知事ヘ送達				「575 山県公書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
575-5	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治13年7月24日		全快ニ至ラザルヨシ加養ヲ祈ル 明日ノ葬儀不参然ルベシ 条公ソノ他ヘ申上ゲオクベシ				「575 山県公書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
575-6	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治18年11月9日		先日ヨリ内話ノ一事ニツキ来談敬承 長崎檢疫解除中央衛生会ニテ決定 意見アレバ伺イタシ				「575 山県公書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
575-7	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年11月13日		野村子鉦山一件二ツキ明朝参堂 都合イカガ				「575 山県公書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
575-8	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年11月14日		今夕知事ト約定 才差支エナクバ常盤屋へ来遊乞ウ				「575 山県公書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
575-9	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治19年4月2日		日日軽快欣然 小生無事帰京 沖縄ノ景状益田ヨリオ聞取リアラン 群馬県下生糸改良会社経営困難 ソノ影響敬承 早速大蔵大臣ト相談セン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「575 山県公書翰 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
576	山県公書翰 卷四				1巻	山県有朋書翰 12通				詳細は576-1～12参照	
576-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治22年3月21日		無事欧州着仏外相面談 陸軍教師継続云々ニ冷淡 独逸士官招聘独逸風ノ傾向二起因力 伊ヨリ独へ廻リ西園寺公使尽力 周布参事官帰朝ノ件周旋乞ウ 憲法発布御同慶 森災害遺憾			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「576 山県公書翰 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
576-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年2月24日		明朝参上イタシタシ				「576 山県公書翰 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
576-3	山県有朋書翰 伊藤宛	山県有朋	伊藤	明治 年3月1日		外務卿官宅行通報				「576 山県公書翰 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
576-4	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年7月21日		留守中來訪失礼 今朝八乗馬学校一覽 午後参上スベシ				「576 山県公書翰 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
576-5	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治26年4月2日		仁礼・伊藤両委員ト意見合ワズ 三大臣ト貴邸集會了承				「576 山県公書翰 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
576-6	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年9月20日		今晚来訪永田町官舎ニテ待ツ				「576 山県公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
576-7	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年12月1日		往訪都合問合せ				「576 山県公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
576-8	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年12月13日		陸軍ノコトニツキ談合希望 今晚参上シタシ				「576 山県公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
576-9	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年12月13日		今晚参堂都合如何				「576 山県公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
576-10	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年12月13日		今朝訪問内居乞ウ				「576 山県公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
576-11	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年12月12日		午後五時松方宅へ集会参会乞ウ 今朝参上事情才話イタシタシ都合如何				「576 山県公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
576-12	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年12月19日		来示ノ件品川ヨリ説明スベシ				「576 山県公書翰 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
577	山県公書翰 巻五				1巻	山県有朋書翰 1通				詳細は577-1参照	
577-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治22年10月26日		欧洲ヲ視察シ条約改正案ノ我ガ時情ニ適合セザルヲ懸念 一封ノ意見書諸公ノ賛同ヲ得挽回策ヲ考慮中 大隈遭難内閣更迭 国家存亡ノ危機 コノ難局ニ当ルベク同僚諸公ノ懲慝アレドソノ任ニ非ズ 目下ノ議ハ自分ノ発議ヨリ起リタレバ退クヲ得ズ 老兄ノ意見ト画策ヲ承リタシ帰京切望			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「577 山県公書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
578	山県公書翰 巻六				1巻	山県有朋書翰 10通				詳細は578-1~10参照	
578-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治22(カ)年 11月21日		帰京来客多カルベクモ相談ノ議アリ 明日参堂イ タシタシ				「578 山県 公書翰 巻 六」(1巻) の内	冊子複製版 第30冊
578-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治22(カ)年 11月23日		小田原へ目下ノ情况内報 今朝同封書状落手供内 覧				「578 山県 公書翰 巻 六」(1巻) の内	冊子複製版 第30冊
578-3	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治22(カ)年 11月27日		政府内部ノ病勢進行 条約改正問題騒然 内閣組 織ニ関シ総理ノ大任固辞				「578 山県 公書翰 巻 六」(1巻) の内	冊子複製版 第30冊
578-4	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治22(カ)年 11月29日		明朝来訪拝承 貴意松方へ申遣スベシ				「578 山県 公書翰 巻 六」(1巻) の内	冊子複製版 第30冊
578-5	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治22(カ)年 12月3日		議論変転纏ラズ 今朝西郷・山田相談ニ参上ノ 筈 松方案八拒絶案ニテ目的立チガタシ 至急談 合ヲ得タシ				「578 山県 公書翰 巻 六」(1巻) の内	冊子複製版 第30冊
578-6	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治22年12 月5日		別封松方回答一読 芳川へノ伝言拝承 明後日条 公邸ニテ閣議開催サレタシ			「井上馨関係 文書(憲政史 編纂会収集文 書657~ 673)」収載	「578 山県 公書翰 巻 六」(1巻) の内	冊子複製版 第30冊
578-7	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治23年1月 3日		新聞ノコト拝承 白根ノ件岩村拒絶行ワレ難シ 後任未確定西村ヲ希望セリ 英国公使ト談判後サ シタル進捗ナシ コノ件青木ヨリ報告アラン			「井上馨関係 文書(憲政史 編纂会収集文 書657~ 673)」収載	「578 山県 公書翰 巻 六」(1巻) の内	冊子複製版 第30冊
578-8	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治23(カ)年 1月14日		毛利家ノ一事懇請同意ヲ得感謝				「578 山県 公書翰 巻 六」(1巻) の内	冊子複製版 第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
578-9	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年12月16日		今晚都合如何				「578 山県公書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
578-10	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治23(力)年2月16日		事情不承知ナレド心配無用 一兩日中事実究明才話イタスベシ				「578 山県公書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
579	山県公書翰 巻七				1巻	山県有朋書翰 6通				詳細は579-1~6参照	
579-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年6月28日		実業者流云々ノ件ニツキ高話拝聴イタシタシ				「579 山県公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
579-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治24年9月4日		伊藤山口行ニツキ忠正公銅像建設ノ件 並ニ山口県将来ノ方針相談ノ儀拝承 山田病気模様			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「579 山県公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
579-3	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年3月8日		病気見舞御礼				「579 山県公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
579-4	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治24年4月13日		議会開会后ノ実況ト将来ノ方針ニツキ 又自分退職ノ心事等貴論ヲ得タキ心算ノトコロ 小生旅行ニツキ大山・西郷・松方等ノ疑惑ヲ産ミ 拝晤ヲ得ズ出発 右ノ事情野村・品川ヨリオ聴取リアランモ善後策高配ヲ煩ラワスノ結局申訳ナシ 小生等意見叡慮ニ適イ コノ始末品川ヨリオ聴取り済ミナラン 内閣更迭決行希望			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「579 山県公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
579-5	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治25年8月1日		内閣紛擾ニツイテハ承知ナルベシ 辞表提出 黒田・小生参内 伊藤病気不参 宮相勅意ヲ奉シ出向 病気ヲ推シ参朝周旋乞ウ 右事情説明ノタメ古沢差遣			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「579 山県公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
579-6	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年10月20日		中山ヨリ伝言拝承 コノ問題ニツキ小生疑惑ヲ受ケ迷惑 世情鎮静ノ上面晤スベク伊藤ヘ申送レリ				「579 山県公書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
580	山県公書翰 巻八				1巻	山県有朋書翰 5通				詳細は580-1~5参照	
580-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治23年11月9日		先夜ノ外交論議圭角ヲ示シ恐縮 野村来訪老台ト面晤スベキ旨勸告 出発前都合ノ時日オ示シテウ				「580 山県公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
580-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治23年12月14日		外交談判好都合 青木・野村ヨリ通報セシナルベシ 両議院開会式終了 予算委員会論議 地租減少論者多数 政費節減論ヲ主張 五百万円乃至千万円減少論委員ノ争点 馬関新聞ノコト拝承 着手方電報ニテ通知セリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「580 山県公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
580-3	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年6月11日		渡辺ト相談 最前ノ計画ドオリ門田某ヲ東京派遣シ概要ヲ各地新聞ニ披露 実際ニ着手実業ノ面ハ高橋一任 基礎確立ノ上合一然ルベシトノ意見 昨夜一書到着 渡辺一任ノ方針ノミニテ高橋ノ件不明 コノ件相談イタシタシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「580 山県公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
580-4	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年6月4日		首相ト会談国家経営ノ目的立チクル由慶賀 財政経済ハ情勢憂慮少ナカラズ 帰京後方承ルベシ				「580 山県公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
580-5	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治25年6月13日		都筑婚儀慶賀 現下綱紀敗類秩序紊乱 山庸ノ政策ニテハ自滅ノミ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「580 山県公書翰 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
581	山県公書翰 巻九				1巻	山県有朋書翰 1通				詳細は581-1参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
581-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治25年7月3日		松方二面会 伊藤二後任ヲ依頼 憲法施行後伊藤担当スベキノ理由 閣内更迭ノ責任等ヲ強調伊藤二面談入閣ヲ勧告 松方邸ニテ会談 伊藤黒幕総揃イヲ主張 予想外ノ小生入閣ノ事伊藤所論ノ一ヲ欠クナラバ取消シヲ主張 小生猶予ヲ求メ散会 自分政治ヲ断念武官本職ニ専念ヲ決意 松方ヲ訪問伊藤・井上入閣ニテ当面乗切リヲ説得 再度ノ会合決意ヲ論弁伊藤肯ゼズ共同ヲ得ザレバ政治ニ関与セズト極論 自分時機ヲ見テ陸軍部内ニ転職ヲ条件ニ入閣承諾 伊藤トノ交際ニ老兄ノ勧告アリ 一先ヅ伊藤ノ意ニ従エリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「581 山県公書翰 巻九」（1巻）	冊子複製版第30冊
582	山県公書翰 巻一〇				1巻	山県有朋書翰 6通				詳細は582-1～6参照	
582-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治25年9月14日		昨夕オ話ノ国民協会ニツキキ代言人某ノ検事総長宛上申書写供覧 コノ団体ヲ倶楽部トハ認め難ク委細拝晤申述ブベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「582 山県公書翰 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第30冊
582-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治25年9月17日		青森県投票焼却事件 起訴不可ト一決 別書省議ヲ尽シタルモノ供覧			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「582 山県公書翰 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第30冊
582-3	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治25(カ)年10月17日		宮相トノ談話再述 佐藤ノ履歴ヲ説キ海軍ニテ河村ト議合ワズ工部ニ転勤 宮中顧問官適職宮相ニ異存ナケレド十五人ノ定員ニテ目下満員 今一応談合予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「582 山県公書翰 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第30冊
582-4	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年12月4日		コノ一条ナオ熟考セン 昨日来ノ情况ニテハ実現不可能ナルベシ				「582 山県公書翰 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第30冊
582-5	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治26年1月9日		伊藤書状一読 対議会策高案ト符合好結果ヲ得ン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「582 山県公書翰 巻一〇」（1巻）の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
582-6	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治26年1月22日		谷干城来訪 上奏按奉呈貴族院ト協議スベシトノ上裁アレバ貴族院八軍艦製造費復活 六十七条中減額等衆院ト協議第四議會結了セシメントノ話 政費節減ハ政府モ望ムトコロ但シ整理ハ時日ヲ要ス 衆院憲法条項ヲ顧ミズ上奏ヲ内決政府遵奉不能 伊藤ノ議會出席ニヨリ円満解決ヲ希望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「582 山県公書翰 卷一〇」（1巻）の内	冊子複製版第30冊
583	山県公書翰 卷一一				1巻	山県有朋書翰 6通				詳細は583-1～6参照	
583-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治26年1月30日		予算按衝突ノ対策検討風邪ニテ不参 一転按決行政ノ方針立タザルトキハ禍害トナラン 老台明言ノ憲法範囲内ニテ軍艦製造費実施ハ事後承諾トナルベシ カクノ如キ重要問題決行ハ政府ノ行政方針確定力前提			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「583 山県公書翰 卷一一」（1巻）の内	冊子複製版第30冊
583-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治27年2月15日		解散後ノ始末高配拝察 樺山中将来訪 鹿児島書記官更迭ハ選挙ソノ他ニ不利 然ルベク考慮乞ウトナリ 西郷・大山ヘ八当人ヨリ申スヨシ				「583 山県公書翰 卷一一」（1巻）の内	冊子複製版第30冊
583-3	山県有朋書翰 黒田・井上宛	山県有朋	黒田・井上	明治26年3月7日		自分進退ニツキ高諭感謝 熟慮ノ上重ネテ辞表首相へ捧呈心事諒察乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「583 山県公書翰 卷一一」（1巻）の内	冊子複製版第30冊
583-4	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治26年3月31日		海軍整理委員会帷幕ニ組織 高按ト齟齬スルモ結了マデハ出席ナクテハ不可 議了後上奏ノ際老台ノ高按並ニ整理ノ目的上奏然ルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「583 山県公書翰 卷一一」（1巻）の内	冊子複製版第30冊
583-5	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年6月25日		案内状				「583 山県公書翰 卷一一」（1巻）の内	冊子複製版第30冊
583-6	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治26(力)年7月29日		先ツハ一段落当人指示ノ目的ニテ努力セン 青木公使ヨリ書状当月帰朝将来ノ身上別翰ノゴトク申越セリ 北海道ヨリオ帰リノ後拝晤ヲ得ン				「583 山県公書翰 卷一一」（1巻）の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
584	山県公書翰 巻一二				1巻	山県有朋書翰 6通				詳細は584-1~6参照	
584-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年9月 2日		昨朝江木千之ノコトニツキ談合スベク留守中訪問 昨夕江木来訪 懇諭セシモ心事凝結氷解セズ 別翰落手ニツキ供覧				「584 山県公書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊
584-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治25(力)年 11月18日		柏村断然拒絶 右ノ事情野村へ通報 伊藤二モ概略説明 三井力岩崎二談合ノ外ナシ 伊藤二岩崎談合依頼セシモ見込立タズ 野村モ困窮賢慮煩ラフシタシ 鳥尾二面会ナルベシ自説固執依然ナランモ熟談願ウ 今晚出発ノツモリ				「584 山県公書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊
584-3	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治25(力)年 12月6日		銀行始末一件高按調イタルヤ 昨夜糸賀等来訪セシモ断リオキタリ イカガノ都合カオ示シテウ				「584 山県公書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊
584-4	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治26年1月 12日		多事ノ際病臥申訳ナシ 本日予算結了カ 一両日中出務スベシ				「584 山県公書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊
584-5	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治26年5月 31日		送付ノ原知事書状拝読 紛議ノ銀行一条落着 委員上京着手ノ順序等高按ヲ待ツベク杉トモ談合三浦ヨリモ山口県ノ近情伝承				「584 山県公書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊
584-6	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治26年6月 7日		明朝出発 新築ノ砲台視察ノタメ紀淡海峡へ出張 山口銀行善後策ノ一事 杉ト談合速ニ結局スルヨウ高配願ウ				「584 山県公書翰 巻一二」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊
585	山県公書翰 巻一三				1巻	山県有朋書翰 3通				詳細は585-1~3参照	
585-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治27年10 月9日		平壤陥落八意外ノ結果 海戦大勝モ予想外 金州半島占領緊急電信齟齬樺山二面晤シ得ズ 大山第二軍半島指向好結果ヲ得ン 露英政略貴論ノゴトクナルベシ 敵情探偵感謝 糧秣運輸二大支障前進中止 一旅団前進継続明日義州到着力 鴨緑江国境二砲台築造ノ敵二万 近ク一大決戦トナラン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「585 山県公書翰 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版 第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
585-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治27年 月 日		漢詩一首				「585 山県公書翰 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
585-3	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治27年11月17日		(代筆) 宣諭使権二鎮ヲ平安通監使二挙用ノ件如何ナリタルヤ 同人日本軍ニ協力貢献 同人監使挙用我ニ得策 朝鮮政府素性ヲ理由ニ遷延ノ様子才掛合イ願ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「585 山県公書翰 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
586	山県公書翰 卷一四				1巻	山県有朋書翰 3通				詳細は586-1~3参照	
586-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治27年11月17日		朝鮮公使拜命 君王・大院君ソノ他トノ談判筆記一読 満洲へ撃退後敵騎兵出沒 我作戦意見ヲ上奏 当地民心収攬ニ困却 安東県ニ民政庁設置長官小村 朝鮮将来ノ緊急二件上奏 同文供覧 胃痛ヲ発シ摂養中			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「586 山県公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
586-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治29(力)年3月14日		今回ノ露行ニツキ注意感謝 伊藤ノ東洋大勢概論トモイウベキ手紙持参 本日面会ノツモリナレド未ダ果サズ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「586 山県公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
586-3	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治40(力)年10月24日		ロンドンタイムス通信員チロノルヨリ東京友人ブリンクリーニ宛テタル書簡翻訳送付感謝 日英裏面ノ事情痛心 英・露・仏・独間平和維持 ソノ鋒先極東指向必然 日英同盟・日仏露協約有名無実ノオソレ 英米行ノ労働者ヲ制限 南米又ハ韓満ニ移殖 英米トノ融和目下ノ緊急事			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「586 山県公書翰 卷一四」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
587	山県公書翰 卷一五				1巻	山県有朋書翰 4通				詳細は587-1~4参照	
587-1	山県有朋書翰 井上勝之助宛	山県有朋	井上勝之助	明治40(力)年1月3日		夫人病氣見舞 船越書記官貴地転任指導願ウ				「587 山県公書翰 卷一五」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
587-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年9月12日		天機伺二参内ノ節拝謁ノコト上奏 コノ件ニツキ応対ノ順序等配慮乞ウ				「587 山県公書翰 巻一五」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
587-3	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	大正2年5月3日		孫文電報一読 一大騒乱ノ状勢我ヨリ救治ノ策ヲ講ズル見込ナシ 暫時静観ニ賛成 五国借款成立ノ今日列強容喙力 加州土地問題発生好キ結局ヲ期待 内田ヨリ米国情聴取憂慮ニ堪エズ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「587 山県公書翰 巻一五」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
587-4	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治33年8月24日		山口ニテ発病ノ報ヲ得テ驚愕 ソノ後全快ニテ帰京安堵 出発前内話ノ事件着手ノ順序拝承 松方・西郷帰京ノ上相談兩人共異存アルマジ 伊藤ノ政党組織伝承ノハズ 先ヅ伊藤ト相談願ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「587 山県公書翰 巻一五」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
588	山県公書翰 巻一六				1巻	山県有朋書翰 7通				詳細は588-1~7参照	
588-1	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治40年11月5日		予算問題ニツキ帰京スベキ旨拝承 西園寺ヨリモ帰京催促 少々風気ニツキ八・九日頃帰京スベシ 桂病気馬関ニテ再発 福岡院長・平井軍医正着関ノヨシ 軽快セシナラン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「588 山県公書翰 巻一六」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
588-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治42(力)年2月25日		借覧ノ森応接書並二東亜興業会社組織案読了返却 組織案時勢ニ適當ナルベシ 将来ノ外交政路上懸念少ナカラズ				「588 山県公書翰 巻一六」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
588-3	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治43年10月2日		無政府党取締並二将来ノ救済手段ニ関スル鄙見別冊供覧 望月報告英米国民ノ真相ヲ尽シ我レ注意セザレバ孤立ノ恐れ 大臣・次官一読ノタメ廻付セリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「588 山県公書翰 巻一六」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
588-4	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	大正2年1月29日		病気見舞				「588 山県公書翰 巻一六」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
588-5	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	大正4年4月29日		有賀長文ヨリ外務トノ応答並ニ漢治萍一条伝承 対支談判報告要求セシモ外相報告ナシ 有賀長雄 来訪 投書ノコトアリ見合せ申聞ケタリ 内相二 問合せ別紙回答アリ 有賀前約不履行ヨリ起リタ ルコト明瞭ナリ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「588 山県 公書翰 卷一 六」（1巻） の内	冊子複製版 第30冊
588-6	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	大正4年5月4日		（代筆）益田孝ヨリ伝言了承 コノ際外相自ラ折 衝ヲ要ス 解決ヲ得ズトモ列強ヨリ信ヲ得ルノ手 段 首相・外相之二応ゼズ 列国ニ相談ノ余地ナ ク外相折衝時機ヲ逸ストイウ 望月ヨリ委細才聞 取り願ウ			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「588 山県 公書翰 卷一 六」（1巻） の内	冊子複製版 第30冊
588-7	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年10月14日		参上通知				「588 山県 公書翰 卷一 六」（1巻） の内	冊子複製版 第30冊
589	吉田子書牘 卷一				1巻	吉田清成書翰 2通				詳細は589- 1～2参照	
589-1	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治4年2月11日		本日大蔵省出仕拜命 大阪へ赴任コレヨリ横浜へ 出立予定 拝借ノ二冊披見上乘ノ出来ト拝見ヒト マズ返却				「589 吉田 子書牘 卷一 」（1巻） の内	冊子複製版 第31冊
589-2	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治4(力)年12月18日		外国負債談判渉ラズ一件ノ訴訟ナシ 外務省各公 使へ諸藩負債提出申達 訴訟ノツド大蔵省引請示 談 神戸・大阪・長崎其他ニテ原告ト示談 公債 ト認メル分ハ引請次第書類廻付乞ウ 外務省通告 前ナレバ勝算北代帰京報告セシム オリエンタル バンク・アマー番トモ金策見込 レッパ米輸出・ 銅請取り申出 大阪・神戸辺起発ノ負債取調書類 至急送付アリタシ 岡・森岡・秋田関係負債書類 取揃エナクテハ提出書類トノ付合せ不能 ソノ他				「589 吉田 子書牘 卷一 」（1巻） の内	冊子複製版 第31冊
590	吉田子書牘 卷二				1巻	吉田清成書翰 4通				詳細は590- 1～4参照	
590-1	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治5年1月22日		本日頭病欠勤 先生派遣不同意 海軍定額二百万 兩位ノ見込 老兄同意ニテ幸イ然ルベク決定アリ タシ				「590 吉田 子書牘 卷二 」（1巻） の内	冊子複製版 第31冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
590-2	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治5年1月27日		森岡県十四万弗借財公私ノ別判然セズ 内二万四千余八大阪・京都屋敷用ニテ会計帳面ハナシ他八会社ニ費消ノヨシ ナオ取調べ北代ニ依頼 金策苦慮拝察帰府ヲ待ツ 施設費用ノ残りハ如何処置スベキヤ ソノ他	十四万弗内訳書 1枚			「590 吉田子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
590-3	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治6年4月4日		岡本大丞等安着当分同宿 諸生徒取締リ意外ノ処置実行懸念 当地ノコト寺島公使ト相談ノ上岡本取扱イ予定 由良・岩山帰国命令 由良ハ在米中ソノ進退不都合 岩山牧畜研究略成リ帰朝ノ際同行ノツモリ 木戸・大久保帰朝奉命ノヨシ 木戸参議魯行 回漕金百五十万封度次便七十万弗予定				「590 吉田子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
590-4	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治 年9月30日		本日光来敬承				「590 吉田子書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
591	吉田子書牘 巻三				1巻	吉田清成書翰 6通				詳細は591-1~6参照	
591-1	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治 年12月21日		拝眉相談ノ件アリ 都合オシラセゴウ				「591 吉田子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
591-2	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治 年 月23日		明日吉井・大山・西郷・中井 ソノ他山川捨松・津田ノ娘・益田ノ妹ヲ招キ観桜会開催 出席アレ				「591 吉田子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
591-3	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治 年8月6日		馬車ノ件八困却 下命ニ従イ処分スベシ 測量方ノ件承知願イ感謝				「591 吉田子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
591-4	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治13(カ)年4月29日		山県陸軍卿ヨリノ内報委細了承 仏公使満足セシメンニハ老兄ナリ山県兄ヨリ一言アルガ最上カポリスノ処分仏公使問題ニセザル模様				「591 吉田子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第31冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
591-5	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治14(カ)年10月27日		米国公使ノ件機密信三十号ノ通りノ情実ニテ尽力シガタシ 現大統領ハグラント氏ノ幕下 東洋政策ハグ氏ノ受持チ ビンガム氏程度ノ尽カデハ期待デキズ 現総領事評判悪シハウス氏派遣ノ理由 下ノ関一件尽力解決スベシトノコト 妻分婉期帰朝シガタシ				「591 吉田子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
591-6	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治 年8月6日		庭ノ池ニ水ヲ取ルコトニ困却 測量方一名借用イタシタシ				「591 吉田子書牘 巻三」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
592	吉田子書牘 巻四				1巻	吉田清成書翰 5通				詳細は592-1~5参照	
592-1	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治15年8月1日		町田実一ハ外務卿随行下関出張命ジオケリ 花房ハ随行セシムベキカ 海軍卿ニ相談曾根大尉清語ニ通ジ清国行最適当 町田ハソノ次ナラント 今回ノ機会ニ人物能力ヲ試メサレテハ如何 スチーウエンス氏採用ランマン氏被免一判乞ウ				「592 吉田子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
592-2	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17(カ)年8月11日		蜂須賀・榎本電報供覧 伊藤・西郷へ面会 西郷船ノ用意セリト出船後報マデ待ツ 伊藤モ同意見 別紙松村へ発電 伊公使ノ返答不審 蜂須賀へ別紙発電スベキカ 荒川已次推薦				「592 吉田子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
592-3	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治15(カ)年8月14日		軍艦派遣ニ関シ海軍卿へ面談 再報マデ見合セノ意向 コノ決意ハ先日貴見ヲ通ジタル故ナラン 発艦催促ハ前後齟齬ノオソレアレバ反対セザル旨伝エタリ ビンガム石油ノ件ニツキ来訪				「592 吉田子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
592-4	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治15(カ)年8月28日	1通	明治丸明日出帆命ジタリ 孟春艦ハ速カセノツト 明治丸へ神戸ニテ書信ソノ他移托セシメバ速カラナン				「592 吉田子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
592-5	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17(カ)年9月3日		事ココニ至リテハ後函ヲ図ラザルベカラズ 尹雄烈後日使役シ得ルヨウ予約必要 本日ノ新聞彼等見ザルウチ面会然ルベシ				「592 吉田子書牘 巻四」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
593	吉田子書牘 巻五				1巻	吉田清成書翰 6通				詳細は593-1~6参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
593-1	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治15年9月9日		東次郎帰京ヲ責ムルハ上策ナラズ万事才任セズ ウ パークス条約写覧ヲ求ム時能ク拒絶アルベシ 兵ヲ急ギ退クハ考慮ヲ要ス 花房・高島・仁礼 相談ノ上トハイエ 当事者ヨリ大局的判断ヲ以テ 貴卿指示ヲ至当トス				「593 吉田子書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
593-2	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治14年9月9日		一書呈上セシ琉島関係ノ件承知クダサレタラン 大統領別荘へ移転 志村一件面倒多謝				「593 吉田子書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
593-3	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治16年9月21日		独逸公使へ勲賞授与同人感激 条約改正一件独 ノ好意ヲ感謝シ或要求ニ賛成ヲ希望シオケリアル ベヒト殿下来月発船 北白川宮ニオイテ別宴 薬 品ノ分析出来 最初ノ試薬局分析分最モ粗品薬用 ニナラズ				「593 吉田子書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
593-4	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治15(カ)年10月21日		明日ノ正院出席自分不馴レニ付老兄出席乞ウ				「593 吉田子書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
593-5	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治15(カ)年 月14日		賞勲局出頭ノコト拝承 本日参堂ノ予定ノトコロ 金玉均弊宅ニ待合セ中ノ由ニ付帰宅 明日韓使来 訪前ニ参館スベシ 金氏ニハアイマイニ対応セリ 安心乞ウ				「593 吉田子書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
593-6	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治16年 月28日		寺島伝言 高平書記官帰国後任ニ立田・斎藤修一 郎・安藤ノ内ヨリ選定アリタシト				「593 吉田子書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
594	吉田子書牘 巻六				1巻	吉田清成書翰 6通				詳細は594-1~6参照	
594-1	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治16年1月17日		下関償金返還ノ件別紙モリソン氏ヨリ送付 バチ エルダ協約書上下院ニテ問題トナレバ我政府ノ 失体 手ヲ尽シ公開ヲ防ガザルベカラズ 杉大輔 ニ托シ寺島へ一書 償金一件余リ身ヲ入レザルヨ ウ助言 韓・米条約米ニテ批准同慶				「594 吉田子書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第31冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
594-2	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治18(力)年2月9日		ソノ後該件ハ如何ニナリタルヤ平和主義実行ヲ希望 金米払底ヲ新聞報道何力異変ノ兆カ フート夫婦消息				「594 吉田子書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
594-3	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治16年2月12日		兄清規死去 忌服請暇				「594 吉田子書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
594-4	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治18年4月17日		英公使来省 日清談判好結果ヲ敬賀 将官懲戒云々ニ賛意ナレド北京電ハ清政府拒否ノヨシナレハ疑問ノ態 英露関係懸念ノフシ 爆発薬単行規則ニ論及案外故障ナキカ				「594 吉田子書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
594-5	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治16年6月7日		李トリクー公使ト開談ノ趣品川ヨリ来電御覽済ミカ 仏議院東京騒擾ニ備工信用制限ヲ決議ノ報不審 光明寺ノ報ニ八百余万フランクノ決議トアリ				「594 吉田子書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
594-6	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治16(力)年6月23日		赤羽二托シ案文オ届ケ 右ニツキヨングト相談ノタメ出浜 ヨング案モ拙案ト符合 大統領批准セザルノ懸念 総額返却ナキハ不公平ナリノ意カ ヨングヨリグラントヘ別紙電報発ノ意 老兄ト相談ノ上返答セントテ帰京セリ 拙案ハ利息抜キ本金ダケ返却要求ガ将来ノタメカ				「594 吉田子書牘 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
595	吉田子書牘 巻七				1巻	吉田清成書翰 5通				詳細は595-1~5参照	
595-1	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治16年7月7日		牛場某朝鮮ヘ金貸談義 青書生ノ空論取ルニ足ラズ パークス病氣				「595 吉田子書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
595-2	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治16(力)年7月12日		ピットマン参省 ヘネシー来月帰任ノヨシ ヨング話ニヨレバヘネシー帰任ノ途次グラント別荘ニ立寄り 十月香港着予定ノヨシ				「595 吉田子書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
595-3	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17年7月16日		光明寺帰朝ニツキ五千フランク拝借申出 コノ上世話出来ズト捨テオカバ如何ナル不都合ヲ起サンカ 大蔵省国債局預金ヨリ当省ヘ借入レノ形ニテ拝借許可サレテハ如何				「595 吉田子書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第31冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
595-4	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治16年7月21日		神戸着松方大蔵卿二面会 岩公薨去悲歎				「595 吉田子書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
595-5	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治12年8月8日		グラント一行箱根二軽量馬車入用 宮内・外務二ナシオ世話ヲ乞ウ				「595 吉田子書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
596	吉田子書牘 巻八				1巻	吉田清成書翰 3通				詳細は596-1~3参照	
596-1	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17年8月21日		清八軍艦若干償金モ同意力 軍艦数艘・福州ノ基地位八我二好都合 榎本へ北京行電命 総署ノ回文ニ対シ英米独ニナライ回答 吉田二郎機密信中 英回答恰好ニツキ之ニナラウベキ旨電命西郷海軍卿へ更ニ軍艦一艘差出ヲ要請 長崎待機ノ盤城艦差立 仏議會東京征伐二三千五百万フランク支出議決 榎本清国へ忠告八稟申ノ上タルベク己ノ見八不可				「596 吉田子書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
596-2	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治16年 月28日		各省会計主務官八上申ノ上太政官任命 塩田ト相談中村博愛適任ナラムカ				「596 吉田子書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
596-3	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治 年 月 日		煥帝誕生日 卿徴恙ニツキ代リテ表賀翌日煥公使返礼来訪 朝廷ヨリ使者ナカリシ旨訴工 之ニツキ伊藤保養中ノ遁辞ヲ以テ取繕イ 吉井ヲ以テ祝問セシメタリ			〔明治一七・八・二一書翰 追申カ〕	「596 吉田子書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
597	吉田子書牘 巻九				1巻	吉田清成書翰 5通				詳細は597-1~5参照	
597-1	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治16(カ)年11月28日		ランマン夫妻ヨリ驚クベキ笑ウベキ回答到着 手負イ猪ノ勢イドノヨウナ記事ヲ掲載スルヤ 対策アルベシ				「597 吉田子書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
597-2	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治 年 2月24日		明日出船 出立前面会希望 来駕願ワレマジキヤ 付属人員辞令御面倒 自分辞令落手				「597 吉田子書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第31冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
597-3	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治16(力)年12月13日		退省セシトコロ三人待合せオリ 相談通り彼等ノ心情聴取 事成功ノ上ハ外務卿二面会不必要トイウ 約束ナレバ面会ヲ懲懲セシニ帰国前謁見ノコト等申出				「597 吉田子書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
597-4	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17年7月17日		清仏衝突不可避ノ形勢 中立ノ処置海軍卿ヘモ催促 栗野・スチーウエンヘ申付中立告書作製伊藤翁帰京ノ必要 仏公使ヘ電報大略ヲ通知 黒田心配ノ様子				「597 吉田子書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
597-5	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17年7月18日	1通	ブランクット中立公告ニツキ注意 仏ノ石炭困場ハナキヤ アレバ問題ナリト 英政府ノ中立程度不分明 本国ヘ照会依頼 独仏開戦時ノ英ノ公告写ヲ貰イ受ケ デニソン取調ノ宣告文ヲスチーウエンス・栗野ニテ取調中				「597 吉田子書牘 巻九」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
598	吉田子書牘 巻一〇				1巻	吉田清成書翰 7通				詳細は598-1~7参照	
598-1	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17年7月18日		清仏間切迫英政府中立国共同シ軍艦派遣在留中立国人保護申入レ 我方既ニ艦ヲ派駐シ臨機保護方訓令済ミヨ回答 且ツ英政府中立ノ範圍ヲ照会 英公使照会電文ヲ提示 ソノ電報案供閱 参謀本部派遣探偵員ヨリ情報ニヨレバ仏最後通牒一兩日ノ間 我用意肝要				「598 吉田子書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
598-2	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17(力)年8月12日		(代筆) 遠武来訪 共同運輸雇ゼームス解任英国ノ船舶検査官就任希望 英国公使ヘ賛意表明依頼 自分考工ニテハ公使ヘ申入レ不都合 斎藤ヨリモ序ニ英領事話サセテハ如何				「598 吉田子書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
598-3	吉田清成書翰 右府公宛	吉田清成	右府公	明治12年6月13日		来示拝承 外務卿考案ニテハ閣下・西郷等ト晚餐会 延遼館ニテ大臣・参議・清公使・米公使ト一宴ニテ如何 大将宮殿下出発ノ都合アリ ヨングニ諭シ箱根辺一遊サセテハ如何				「598 吉田子書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
598-4	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17(力)年 月 日		予想通り李動ク気配 当方ニハ好都合 我レハ表面ニ立タズ朝鮮政府ト李トヲ嚙ミ合ワスベシ 原ヘ指示アリテハ如何				「598 吉田子書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第31冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
598-5	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17(力)年8月20日		別紙モリソンヨリ着 不当ノ事ノミ申越シタリ供覧				「598 吉田子書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
598-6	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治18年9月 日		独公使宮内卿へ依頼ノ法王庁使者言上並二勅答拜見二三宮義胤参省 コノ件外務卿ニテ処理アリタキ旨如何スベキヤ 仏公使同席ノコト故秘スベキ要アルマジ				「598 吉田子書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
598-7	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17(力)年7月4日		不快ノヨシ本日ハ米国ノ祝日 石橋ナリ代リニ差向ケラレテハ如何 自分ハ出勤掛ケニ立寄りタルトコロ老人大ニ喜ベリ				「598 吉田子書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
599	吉田子書牘 巻一一				1巻	吉田清成書翰 4通				詳細は599-1~4参照	
599-1	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治 年8月28日		ワスソン来月一応帰米 雇傭ノ確証ナクテハ進止決シガタシトテ来省 大蔵卿ニ示談内務ノ測量局ニ採用ノコトニシテハ如何 ワスソンハ三角測量ヲ日本ニテ始メタルモノ 荒井モ希望ノヨシ 内務卿トモ示談アリタシ				「599 吉田子書牘 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
599-2	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17年7月29日		来示拝承 ビンガム留守 娘へ北行ノコト話シオケリ				「599 吉田子書牘 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
599-3	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17年9月22日		上野公使書状何ヤラ平仄合ワズ氣ノ毒 ゲブレイル来省ノ件才聞キ及ビナラン 不審ノ人物高平随行内達 外国人中露・澳公使仏語堪能 仏語出来ル者随行三島希望 ビンガム北行承諾				「599 吉田子書牘 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
599-4	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治16(力)年9(力)月24日		パークス十月中旬京城へ出発 新条約訂結電命グランウイルヨリアリシ由 アストン十月五日神戸発京城行ノヨシ 竹添ソノ時分マデ滞京然ルベシ 日韓新約定並ニタリフ写求メラレタレド未公布ニツキ拒否セリ				「599 吉田子書牘 巻一一」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
600	吉田子書牘 巻一二				1巻	吉田清成書翰 5通				詳細は600-1~5参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
600-1	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17年11月17日		英公使訪問 我覚書二対スル公使意見書認可英外務卿ヨリ指令アリシヨシ 又先般小会議結果モ認可ノヨシ				「600 吉田子書牘 卷一二」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
600-2	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治15(力)年12月31日		熱海保養消息 黒田・得能 韓使発程・火災等多事ノ際加勢デキズ遺憾				「600 吉田子書牘 卷一二」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
600-3	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17年7月17日		上海ヨリ別紙電報到着 確認ノクメ松村・安藤・吉田・原へ照会 開戦ニ至ラバ局外中立ノ準備必要 至急帰京アレ				「600 吉田子書牘 卷一二」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
600-4	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治17年8月13日		仏公使へノ回答案 工業上ノ所有権保護ニツキ彼ヨリ説明ヲ求メラレオリ 案文不十分ナランコノ件通商条約訂結後ノ商議ニユダネル旨ニ修正スベキカ				「600 吉田子書牘 卷一二」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
600-5	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治 年12月17日		面談後清公使果シテ李中堂へ発電セリ				「600 吉田子書牘 卷一二」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
601	吉田子書牘 卷一三				1巻	吉田清成書翰 4通				詳細は601-1~4参照	
601-1	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治14(力)年8月24日		石油税率国務卿エウワールト氏ト会談始未御覽済ミナラン 書面ニヨリ照会ヲ求メラレ提出未回答 照会和英文写送付 我擬定税率彼公使僻見固守少々ノ激語ハ将来ノ予防トナルベシ 銀行大会へ高平・小倉出席 紙幣流通ノ実状取調べ報告イタスベシ				「601 吉田子書牘 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
601-2	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成		明治17(力)年9月3日		仏窮セシカ仏公使青木へ相談ノ模様 今般ノ事変 仏八目算違イカ 清ハ他国ノ虚喝ニ甘ンジタル形跡 我ハ平和維持肝要 台湾砂糖・石炭ハ望マシクモ維持困難 北海道一ツ持テ余シ内政改革 遅々 中立論面倒ナラン				「601 吉田子書牘 卷一三」(1巻)の内	冊子複製版第31冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
601-3	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治19(力)年11月10日		官舎ノ件山県大臣ト示談ノヨシ 異存ナレバ止ムヲ得ザレド省議八反対ナシ 成井・杉山ヨリオ聞キ取りノ上伊藤大臣ト協議願ウ 取引所一件断行願イタシ				「601 吉田子書牘 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
601-4	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治 年3月14日		(代筆) 本目伊太利王誕辰日ナリ念ノ為メ通知				「601 吉田子書牘 巻一三」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
602	芳川伯書翰 巻一				1巻	芳川顕正書翰 5通				詳細は602-1~5参照	
602-1	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治4(力)年10月15日		米国ヘノ返書飛脚船今度ノ便二間二合ワズ 時期オクレ恐縮 紙幣用ノ英雄豪傑図画出来タレド後便ヲ以テ送付セン				「602 芳川伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
602-2	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治6年5月5日		渋沢辞表取扱イ指示願ウ 当寮事務御談ノ通り着手			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「602 芳川伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
602-3	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治6年5月24日		熊谷ヨリ依頼ノ別紙才届ケ 老兄・渋沢奏議一件新聞二掲載 岩橋進退伺提出 又々司法省ヨリ兼子・佐伯呼出シ 渋沢大隈二面会ノ話ニテ八正院ニテ問題ナキヨシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「602 芳川伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
602-4	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治6年7月14日		老兄進退ノ件大隈宅へ推参陳述 贖罪金ニテ済マセル方針 書面ニテ大蔵従来ノ仕来リ 実決アリテハ省務支障ノ旨申告 政府了承司法省へ下命ニ三日中ニ処分済ノ予定 コノ旨伝言依頼アリタリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「602 芳川伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
602-5	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治 年11月15日		貴邸訪問ノヨウ山県・児玉両氏ノ伝言拜承 本日差支エアリ明日参上イタシタシ				「602 芳川伯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
603	芳川伯書翰 巻二				1巻	芳川顕正書翰 2通				詳細は603-1~2参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
603-1	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治10年1月22日		旅中無事慶賀 老米米国風ヲ好マズインダストリーノ精神云々ノ御説然ルベシ国内熊本・秋月・山口変動鎮定 茨城・三重一揆 地租改正ト金納二原因 五厘ノ減租トナリ緊縮財政ニテ官吏減給困却 阿波自助社員井上一件麻布ノ大将ノ尽力ニテ一年ノ禁獄 小室身上			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「603 芳川伯書翰 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
603-2	芳川顕正書翰 井上馨・上野景範宛	芳川顕正	井上馨・上野景範	明治10年6月15日		在英諸事鞅掌慶賀 西南ノ大乱結局ヲ見ザルモ大勢決セリ 官軍五万ナオ不足ニテ東北ヨリ徵募 芋賊モ四万位未曾有ノ大戦争 土佐動揺 民選議院願書片岡某提出セシモ却下 木戸逝去所感 ソノ他			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「603 芳川伯書翰 卷二」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
604	芳川伯書翰 卷三				1巻	芳川顕正書翰 3通				詳細は604-1～3参照	
604-1	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治11年3月14日		未松謙澄ヘ托書セシヨウ電信會議ニ出席渡英ノ予定 近ク帰朝ノ都合トカスレ違イトナルベキヤ残懷 地方官會議召集議題不分明 ソノ他山県・大隈消息			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「604 芳川伯書翰 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
604-2	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治11年5月13日		電信會議出席ノタメ新嘉坡マデ渡来 電信飛来會議延期ニツキ帰朝命令 明朝解纜帰国			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「604 芳川伯書翰 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
604-3	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治11年10月21日		四国・馬関海峡沈架電信線帰京ヲ待ち着手予定 小室身上司法省任官ニツキ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「604 芳川伯書翰 卷三」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
605	芳川伯書翰 卷四				1巻	芳川顕正書翰 6通				詳細は605-1～6参照	
605-1	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治12年9月19日		外務卿就任大賀 自分バリー逗留明後日デンマークへ出発 日支関係懸念 英京風評 独ハ魯ヲ恐レ支ト密約説 支公使独帝謁見特二親睦ノ評判			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「605 芳川伯書翰 卷四」（1巻）の内	冊子複製版第32冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
605-2	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治13年1月8日		帰国挨拶			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「605 芳川伯書翰 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
605-3	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治 年10月7日		玉川行日取り変更願イ				「605 芳川伯書翰 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
605-4	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治13(カ)年11月26日		神奈川県令呼出シ手違イニテ発信イタサズオ詫ビ 今朝発電午前二八出京アルベシ				「605 芳川伯書翰 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
605-5	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治14年3月3日		塩田三郎病氣代リニ英語通訳下命ナレド不得意主上面前オソレアリ 布哇王英仏両語堪能ノハズ石橋カ光田ニ下命アリタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「605 芳川伯書翰 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
605-6	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治14年4月7日		一四年度公使領事関係予算書下命ニヨリ大隈参議ニ面会 増額ニツイテハ伊藤ニ相談アレトノコトニテ伊藤ニ陳述 増額困難井田・長岡ニ公使呼返シハ両政府ニ対シ不都合 ソノ取扱方法並ニ領事館予算捻出ニ妻携帯禁止等勧告アリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「605 芳川伯書翰 巻四」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
606	芳川伯書翰 巻五				1巻	芳川顕正書翰 5通				詳細は606-1～5参照	
606-1	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治14(カ)年5月31日		公使領事館予算書検覧乞ウ 大隈参議へ差出シノ下書ト同ジ 三条公ニ面会賞勲局意見 中野ノ分八他ノ代理公使ト異ナルケ条ヲ以テ請求アレバ再議アラン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「606 芳川伯書翰 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
606-2	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治14(カ)年10月4日		ダイアリーフォーム論各参議検印済 ウィジット議軍事部ニ停滞 詮議事情説明伺イ通り許可アルヨウ指令案添付内閣へ提出ノ手筈				「606 芳川伯書翰 巻五」（1巻）の内	冊子複製版第32冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
606-3	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治14(カ)年11月8日		例ノブロケード儀独公使ヘノ答書案出来検印乞ウ 書中過剩額弁償ノ件義務ニ非ル点喚起セシムル方然ルベキカ				「606 芳川伯書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
606-4	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治14年2月1日		蜂須賀結婚ノ件本人承諾 杉氏意見ハ蜂須賀家ヨリ相談アルベシ 井上高格ヲ以テ申入レノ手筈 接対所建築製図近ク出来 コンダー満足約定書取交スベシ 地所試験コンダー出張 意外ニ土地脆弱コンダーヘ建築委任ノコト工部卿ヘ談合 井上書記官ヘ電信・公書送付 宍戸公使ヨリ後詰ノ談判書提出申来ル 迎船云々トアリ大輔参朝評議報告アリタラン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「606 芳川伯書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
606-5	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治14年2月15日		接対所建築資金各省ヨリノ釀出額御尋ネ 各省出金ノ返答アレド實際ハ宮内省ノ一万円ノミ太政官機密費少ク出金不能ノ返答			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「606 芳川伯書翰 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
607	芳川伯書翰 巻六				1巻	芳川顕正書翰 5通				詳細は607-1~5参照	
607-1	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治17(カ)年6月16日		小笠原島出張所長別人派出 小島某山県卿ニ相談云々早速同卿ニ相談セン				「607 芳川伯書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
607-2	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治20(カ)年11月9日		奥州巡遊 建築局配意感謝 堤某隠計ノ件貴諭通リ辞職ノ予定 本人非職ト解シ辞表出サズ困却三条家跡買上借地人苦情 公用土地買ヒ規則適用ノ外アルマジ			漢詩十三首	「607 芳川伯書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
607-3	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治21年2月19日		出発ノ際ノ伝言大臣ヘ伝達 大臣宅へ品川訪問同子不承諾故山尾ヘ総裁任命 昨日山尾へ内外吏員引合せ 事務引継ギ終了 之ニテ専任官出来安堵			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「607 芳川伯書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
607-4	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治23(カ)年6月23日		内話ノ件將軍ニ懇談セシモ採用ノ気色ナシ 既ニ主上ニ言上済ミノヨシニテ枢密院ニモ諮詞ヲ了セシトノコト 陸奥・青木ヨリ説得依頼ヲ老閣拒絶アリシハズト 何人ノ忠告モ効果ナカラン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「607 芳川伯書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第32冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
607-5	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治22(カ)年1月19日		山口県共同物処分ノ件知事へ照会 処分令発行アルベシトノ返答 司法大臣モ同意 省令発行内閣へ提出 早急議決発令方尽力乞ウ				「607 芳川伯書翰 巻六」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
608	芳川伯書翰 巻七				1巻	芳川顕正書翰 6通				詳細は608-1~6参照	
608-1	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治22年2月1日		才話ノ書面末松局長持帰り不明 明朝調査イタスベキニ付猶予乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「608 芳川伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
608-2	芳川顕正書翰 青木外務大臣宛	芳川顕正	青木外務大臣	明治23年6月10日		今夕ノ世外宅会合出席約束セシモ 本日文部官吏拙宅へ会合延引 今夕出席不能			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「608 芳川伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
608-3	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治23(カ)年6月28日		山県訪問 貴示小生ノ注意トシテ懇話 黒田ヲ除イテ考慮出来ズ尚勘考セントノ返答 多分貴示通り運バレン			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「608 芳川伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
608-4	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治23(カ)年10月6日		注意ノ条々將軍へ縷述 將軍直チニ小田原へ参訪ノ運び 小田原返答ニヨリ着手アラン 將軍帰京ノ上拙宅ニ参会ノ手筈 明夕五時来車ヲ乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「608 芳川伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
608-5	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治23(カ)年10月22日		老台才見込通り一期ダケ引受ケノ好結果 將軍大安心ノ態議院関係一切相談ガ肝要 コノ和睦ヲ破ルコトアレバー大事 十分注意スベシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「608 芳川伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
608-6	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治 年2月9日		小川賢源支那行松本等モ同意 本省ヨリモ補助ヲ与工調査依囑予定安心乞ウ				「608 芳川伯書翰 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第32冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
609	芳川伯書翰 巻八				1巻	芳川顕正書翰 3通				詳細は609-1~3参照	
609-1	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治24年1月17日		国会開会予想通り紀律不立紛擾 商法延期ヨリ山田辞表流言百出 予算会議議了疑ヲシ政府非常ノ手段必要カ 山田辞職紛擾増援二等シ 翻意思談セシモ出遊 山県・品川苦心説得奏功力 近時壯士妄動保安条例実施 新潟選出鈴木某条例廃止ヲ動議 賛成者一人モナシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「609 芳川伯書翰 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
609-2	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治24年4月12日		山県辞意 後任配慮ノヨシ 病後ナレド一兩日中二参伺ノツモリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「609 芳川伯書翰 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
609-3	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治24年5月4日		伝言將軍へ伝達 今夕官舎ニテオ待チノ由返答アリ 内話ノ件自分意見トシテ談話ナオ談合アレ 生ノ身上懇諭感謝 入閣以來某氏ト議合ワズ 將軍マデ辞表呈出			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「609 芳川伯書翰 巻八」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
610	芳川伯書翰 巻九				1巻	芳川顕正書翰 3通				詳細は610-1~3参照	
610-1	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治23年5月18日		文部大臣拜命挨拶			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「610 芳川伯書翰 巻九」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
610-2	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治13年8月5日		井上毅帰話ニヨレバ軽快ノヨシ大慶 目下ノ省務八布哇条約一件ノミ 朝鮮政府ヨリ照会アリ竹島二本朝人アリ樹木伐採ノ企図 右島所属徳川幕府ト争論 三韓時代ヨリ該国所属ニ帰結 調査ノ結果クレームヲツクベキ余地ナキモヨウ 伐採八大倉組企図 既二一万四五千円投資即刻禁止イタサセ難シ 十月頃撤回ノ取運ビニシタシ ソノ他			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「610 芳川伯書翰 巻九」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
610-3	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治25年8月12日		徳島県下暴風雨被害甚大前古未曾有 八九月再ビ洪水期アリ防禦策知事・有志上京陳情高配願ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「610 芳川伯書翰 巻九」（1巻）の内	冊子複製版第32冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
611	芳川伯書翰 巻一〇				1巻	芳川顕正書翰 7通				詳細は611-1~7参照	
611-1	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治25(力)年 12月5日		今朝才話ノ件在京県會議員ヲ呼ビ利害ヲ説明 知事信任投票済ミニテ議案返上八致サセタク発電在県ノ議員コノ忠告ヲ納レザレバ解散止ムナシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「611 芳川伯書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版 第32冊
611-2	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治27年1月 25日		総理・外務両大臣ト面談 松岡八非雑居・条約施行論者ノ一人就官ニ疑義 明朝本人二面会ノ際取糺サレテハ如何 都合ニヨリ自分面談シテモヨロシ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「611 芳川伯書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版 第32冊
611-3	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治27年4月 29日		別紙回答到来 今回ノコト見込ナケレド将来ノ為訪問 老閣ヘ対シ申訳ナシトノ返答 使命ヲ達セザルハ遺憾 春畝トノ会談温和ニ終リタル模様ニテ気色宜シキヨウ見受ケラレタリ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「611 芳川伯書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版 第32冊
611-4	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治27年5月 2日		本日臨時代理被命 コノ儀不得策ナルコト申述ベシモカクナル上ハ苦情申シアゲズ 負荷ノ重キ掛念ニ堪エズ 出立前指示乞ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「611 芳川伯書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版 第32冊
611-5	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治26年11 月11日		錦織事件 自訴状ハ偽作ナル旨自白 山口判事ハ承知ノヨシ 自訴状ノ出処心配セシモ明白トナリ一安心			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「611 芳川伯書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版 第32冊
611-6	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治27年4月 27日		春畝伯ニ面会 親話アルベキヨウ勸告セシトコロ心外ノ様子ナリキ 都合ニテ面談然ルベシ 含雪伯ヘハ内話ノ旨意書通ノ予定			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「611 芳川伯書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版 第32冊
611-7	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治27年6月 2日		議論ノ未解散ニ決定 伊藤演舌陸奥賛成ナレハ異論アリ中止 只今発令準備中			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「611 芳川伯書翰 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版 第32冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
612	芳川伯書翰 巻一一				1巻	芳川顕正書翰 5通				詳細は612-1~5参照	
612-1	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治27年6月4日		目下総選挙対策急要 意見聴取ノタメ松岡次官御地派遣予定 オ手紙二接シタルトコ閣議委任トアリ 老閣ヨリ提案ガ先要 松岡ヘ十分オ申合メ乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「612 芳川伯書翰 巻一一」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
612-2	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治27年6月9日		辞表御提出意向首相ヘ復命 首相了承自分ノ臨時代理議會解散ノ上ハ無用 世評鎮定ノ為ニモ解任妥当 野村モ閣下進退ニツキ心配			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「612 芳川伯書翰 巻一一」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
612-3	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治27年6月12日		地方官招集従前通りトセリ 選挙ニツイテハ必要ノ面々ヘ指示ノ予定 退任ノ跡山県伯入閣然ルベシ 山・伊懇談ノ結果有効力 朝鮮出兵ニ関シ清国ヨリ属国ナリトノ通知 外相直チニ反駁回答			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「612 芳川伯書翰 巻一一」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
612-4	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治27年9月8日		含雪老ヘノ伝言伝達 同時オ話ノ取調者白雪老ト相談着手 慣行ニテハニケ月ヲ要スル見込ミ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「612 芳川伯書翰 巻一一」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
612-5	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治27年10月16日		出立ノ際オ見送りニ間ニ合ワズ欠礼深謝 中山寛六郎ヨリ伝言敬承 折角努カイタスベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「612 芳川伯書翰 巻一一」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
613	芳川伯書翰 巻一二				1巻	芳川顕正書翰 3通				詳細は613-1~3参照	
613-1	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治27年12月7日		韓国内政外交ニ関シ国王・大院君ニ陳奏ノ趣苦心恐察 大院君政界ヲ離レ内務長官辞職並ニ地方派遣ノ兵引揚ゲヲオ申入レノヨシ 含雪將軍権病帰朝ハ遺憾 第八議會東京ニテ開会決定ソノ他			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657~673）」収載	「613 芳川伯書翰 巻一二」（1巻）の内	冊子複製版第32冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
613-2	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治28年1月13日		韓国改革苦心遙察 ソノ国ノ体様三十年前ノ本邦彷彿 尽力ニヨリ目的達成ヲ希望 講和使渡来ノヨシ 首相・外相出発 山將軍帰朝快癒セシモ面倒再発 総理苦慮			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「613 芳川伯書翰 卷一二」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
613-3	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治28年5月1日		朝鮮政府改革進捗新聞ニテ承知 李俊鎔捕縛大院君ノ好謀発頭 講和談判成就ノトコロ露独干涉 首相・外相苦心処理厄介譲歩止ムナシ 先日ノ法務顧問ノ件如何 星亨招聘ニテ事済ミニヤ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「613 芳川伯書翰 卷一二」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
614	芳川伯書翰 卷一三				1巻	芳川顕正書翰 5通				詳細は614-1～5参照	
614-1	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治23(力)年6月28日		オ内話ノ件山県勘考ノ上返答セントノコト 本日午後閣議 貴示ニ関セシナラン 参閣ノ上首相へ更ニ催促セン				「614 芳川伯書翰 卷一三」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
614-2	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治32(力)年6月12日		松本局長報告 聴聞会開催日取り				「614 芳川伯書翰 卷一三」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
614-3	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治32(力)年11月18日		依頼ノ件内蔵頭ニ相談 慣例ヨリ三井家ノ要求無理ナラズ 社長異議ナケレバ賛成トノ返答 三井へ申含メラレタシ				「614 芳川伯書翰 卷一三」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
614-4	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治42年8月14日		病気見舞 平信			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「614 芳川伯書翰 卷一三」（1巻）の内	冊子複製版第32冊
614-5	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治44年1月5日		賀状 漢詩			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「614 芳川伯書翰 卷一三」（1巻）の内	冊子複製版第32冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
615	名士書牘 巻一				1巻	三条実美書翰 1通 岩倉具視書翰 1通 黒田清隆書翰 1通 森有礼書翰 1通 山田顕義書翰 1通 五代友厚書翰 1通 吉田清成書翰 1通				詳細は615-1~7参照	
615-1	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治 年12月2日		書面ノ趣尽力深謝 聖上ニモ貴卿奏上ノコトハ理解 内閣紛議シテ実行出来ルヨウ両大臣意見ニテ内閣へ相談スベキ御沙汰ナリ				「615 名士書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
615-2	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治14(カ)年10月16日		黒田一件尽力ニヨリ好都合 開拓使會計部書面改メ 大隈・伊藤・寺島ト相談アレ 陸軍意見アラシ 山県へ才話アリタシ				「615 名士書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
615-3	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治14年10月 日		(代筆)開拓使工場払下一件 世評ニヨリ朝議変更ハ疑問 伺出ノ分公売ニ付スレバ世論安定セシ 廢使一条経理理由ハ遺憾 処分ハ巡幸ノ後親裁ヲ仰ギタシ				「615 名士書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
615-4	森有礼書翰 井上馨宛	森有礼	井上馨	明治18年10月21日		五代跡始末ニツキ政府ヨリノ拝借金 宮内卿へ談合内閣ニテ然ルベク処分願ウ				「615 名士書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
615-5	山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨	明治 年7月8日		今朝参上ノ予定ノトコロ 用務アリテ内務省へ出頭 用事出来遅延 コレヨリ参上スベキカ				「615 名士書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
615-6	五代友厚書翰 井上馨宛	五代友厚	井上馨	明治 年3月26日		訪問日延ベ申入レ				「615 名士書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
615-7	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治 年4月5日		吉田二郎退社ノヨシ 正金銀行ニ富田等斡旋 老兄愛顧ト聞キ右ヲ謝絶ノヨシ コノ時宜ニ成リタル上ハ至急採用希望				「615 名士書牘 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
616	名士書牘 巻二				1巻	徳大寺実則書翰 1通 岩倉具視書翰 1通 寺島宗則書翰 1通 上野景範書翰 2通 福地源一郎書翰 1通 中井弘書翰 1通 島地黙雷書翰 1通				詳細は616-1~8参照	
616-1	徳大寺実則書翰 井上馨宛	徳大寺実則	井上馨	明治14年10月29日		英国軍艦へ行幸ハ正服用ニ決定				「616 名士書牘 巻二」(1巻)の内	冊子複製版第28冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
616-2	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治15(カ)年12月21日		河村専心努力スベキモ貴卿ヨリ内談アレバ好都合 大隈へ話し明日ハ西郷内談申入レオキタリ 西本願寺島地・北畠相談申出				「616 名士書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
616-3	寺島宗則書翰 井上馨宛	寺島宗則	井上馨	明治16年6月20日		日清外交懸念ノ次第同案ノヨシ 彼安南多事ニテ平穩ナレド至急結局ガ望マシ 条約改正ノコト独公使アイセンデヘルト会谈 独外務卿ヘノ書簡ニツキ意見交換 英ノ一諾ガ緊要 英一特任公使ヲ常駐スルガヨロシカラシ ソノ人撰塩田ヲ推ス 目下ノ形勢関税ト期限トヲ主眼トスルガ実際案ナランカ				「616 名士書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
616-4	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治15年4月11日		仏公使帰国ニ際シプロトコル細目説明ヲ求ム 米公使ヘ内話ノ趣旨ニテ説明シテヨロシキヤ 有栖川宮身分ニツキ問合セ 格式是否モルリー氏ヘ質問發電ノ手筈 パークス来訪 難破船報告書以前ノ報告書ハ不実 今回ノ書類ヲ以テ確実ノモノト認定				「616 名士書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
616-5	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治 年8月20日		家事私信				「616 名士書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
616-6	福地源一郎書翰 井上馨宛	福岡孝弟	井上馨	明治 年6月30日		「告中等社会」文別紙認メ供覧 オ氣ツキノ点アレバ書直スベシ				「616 名士書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
616-7	中井弘書翰 井上馨宛	中井弘	井上馨	明治 年 月21日		面会都合問合セ				「616 名士書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
616-8	島地黙雷書翰 井上馨宛	島地黙雷	井上馨	明治42年10月28日		伊藤遭難見舞状				「616 名士書牘 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
617	名士書牘 卷三				1巻	徳大寺実則書翰 1通 岩倉具視書翰 1通 井上毅書翰 1通 品川弥二郎書翰 1通 野村靖書翰 1通				詳細は617-1~5参照	
617-1	徳大寺実則書翰 岩倉宛	徳大寺実則	岩倉	明治15年5月23日		明日ノ観古美術会臨幸 初メ会長佐野常民ヨリ両皇后御慰メノタメ行啓願出ノ内話ヨリ発ス 浅草本願寺別院へ臨幸ニハ非ズ				「617 名士書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第28冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
617-2	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治 年5月4日		今夕来車今朝ヨリ不工合胸痛謝絶				「617 名士書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
617-3	井上毅書翰 井上馨宛	井上毅	井上馨	明治16年3月17日		会津六郡聯合会議決 月例夫役ノコト上申書ニアレド聯合会惣代戸長指名ニテ選挙合格ノ者ニ非ズノ風説 内務西村ヨリ右否定ノ返答 高等法院ニテ国事犯連累ノ凶徒聚衆罪裁判差支エナキコト				「617 名士書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
617-4	野村靖書翰 井上馨宛	野村靖	井上馨	明治21年10月30日		佐々木男也へ托書拜見 内務省二山県伯訪問 改進黨ト井上派トノ軋轢ニ至ラバ職責上困却スルトイウ 自分忍耐シ平素ノ意見ヲ吐露 自治制施行ニ着実ノ運動ヲ期シ 国会ニ良風ヲ送ランガタメ自治研究会設立ノ趣旨ヲ述ブ				「617 名士書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
617-5	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治15(力)年 月23日		運輸会社両船到着ノ際參議連乗初メ云々不可トノ小室へ伝言 主意ハ三菱ヲモ呼ビ協力ノ一言ヲ賜リタシトノ意向				「617 名士書牘 卷三」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
618	名士書牘 卷四				1巻	三条実美書翰 1通 岩倉具視書翰 1通 井上毅書翰 1通 益田孝書翰 2通				詳細は618-1~5参照	
618-1	三条実美書翰 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治18(力)年4月24日		野村素介元老院ニテ進級ハ不都合ナリヤ 參事院議長困却ノヨシ 不都合ナケレバ手続進メタシ				「618 名士書牘 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
618-2	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治 年 月26日		井上毅建言御覽済ナレバ返却願ウ 帝室財産見込ケ条廻サレタシ				「618 名士書牘 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
618-3	井上毅書翰 山県參議宛	井上毅	山県參議	明治16年6月14日		竹添機密信中仏公使ブーレ安南事件談判担任 伊藤參議帰朝途次李鴻章二面会望マシ 日清間ノ平和商議 琉球問題ニ及ブ時ハ尚泰ヲ冲繩島トシ 両国双方不問ノ案 コノ行両国和平ノ好結果ヲ得ルカ 又彼ガ意中ヲ探リ国是決定ノ資タラン				「618 名士書牘 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
618-4	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治15年4月7日		後藤へ談合 変事出来 板垣岐阜ニテ遭難 実ニ釣先荒シトイウベシ 岩村岩崎へ談判 岩村へ金ヲ貸ス取極メノヨシ				「618 名士書牘 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第16冊
618-5	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治15年4月9日		後藤来談 板垣へ帰京催促発信 外国行説得ノ手筈 政府出資ト判明セバ異議起ルベク慎重ヲ要ス 岡本健三郎ノミ承知 竹内・中島兩人ノ手前注意ヲ要ス 侍従差遣アレバ更ニ好都合				「618 名士書牘 卷四」(1巻)の内	冊子複製版第16冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
619	名士書牘 巻五				1巻	福岡孝弟書翰 1通 毛利元徳書翰 1通 大谷光瑩書翰 1通 吉田清成書翰 2通 島地黙雷書翰 1通 内海忠勝書翰 1通 益田孝書翰 1通				詳細は619-1~8参照	
619-1	福岡孝弟書翰 井上馨宛	福岡孝弟	井上馨	明治14年5月21日		皇后東京女子師範へ行啓 臨校アリタシ				「619 名士書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
619-2	毛利元徳書翰 井上馨宛	毛利元徳	井上馨	明治 年6月24日		来訪受日時打合せ				「619 名士書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
619-3	大谷光瑩書翰(光勝と連名) 井上馨宛	大谷光瑩	井上馨	明治18(力)年6月28日		厚配ニヨリ好結果ヲ得感謝				「619 名士書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第22冊
619-4	吉田清成書翰 井上馨宛	吉田清成	井上馨	明治 年4月7日		吉田二郎ノ件 先日ノオ約東通り決意乞ウ				「619 名士書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
619-5	吉田清成書翰 宛先不明	吉田清成	宛先不明	明治16年4月22日		外務卿米公使ト面会前馬関償金返還来簡並二上申案・返簡案一閱必要ナラン 外務卿ヨリ昨夜一書アリ明了トナレバ面会乞ワズ 金色福沢塾ニアリ相談二行クベシトイウ貴君モ出会アリタシ				「619 名士書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第31冊
619-6	島地黙雷書翰 井上馨宛	島地黙雷	井上馨	明治18年12月21日		法主書簡封入 峻丸得度執行ニテ返答延引 年内余日少ク本年八手元差繰リ明春依頼イタスベク情況報告申越シタレド 情況不明申訳ナシ 保証人一件勘定方難色カ 渋沢ヘモ断書送付				「619 名士書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
619-7	内海忠勝書翰 品川宛	内海忠勝	品川	明治16(力)年10月18日		佐賀士族授産金友人二貸渡シタルニ非ズ 士族中党派軋議合ワズ 在京有志ト協議県令一任ヲ申出 起業マデ公債買入レー同了承 十万円買入レ授産着手ニ付公債売却必要 東京高値中原国之介へ売却依頼 中原ヨリ送金ナク上京取糺シ 米相場二融通判明 納金処分二着手 全財産ヲ抵当ニ取レリ 今後ノ返金処理法 当初中原へ依頼ノ理由				「619 名士書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
619-8	益田孝書翰 井上馨宛	益田孝	井上馨	明治17年10月30日		山口才越シノ由 神戸マデ近江丸ニ乗船アレ				「619 名士書牘 巻五」(1巻)の内	冊子複製版第16冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
620	名士書牘 卷六				1巻	西園寺公望書翰 1通 東久世通禧書翰 1通 高橋是清書翰 1通 加藤高明書翰 1通 後藤新平書翰 1通 土方久元書翰 1通 田中光顕書翰 1通 牧野伸顕書翰 1通 林董書翰 1通 一木喜徳郎書翰 1通 渡辺昇書翰 1通 都筑馨六書翰 1通 下条正雄書翰 1通 黒田清綱書翰 1通				詳細は620-1~14参照	
620-1	西園寺公望書翰 小池靖一宛	西園寺公望	小池靖一	大正5年2月16日		天春氏記念碑篆額承諾				「620 名士書牘 卷六」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
620-2	東久世通禧書翰 井上馨宛	東久世通禧	井上馨	明治43年11月10日		華族会館彰明会出席通知				「620 名士書牘 卷六」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
620-3	高橋是清書翰 井上馨宛	高橋是清	井上馨	明治42年1月25日		出席通知				「620 名士書牘 卷六」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
620-4	加藤高明書翰 井上勝之助宛	加藤高明	井上勝之助	大正9年4月14日		法事不参通知				「620 名士書牘 卷六」(1巻)の内	冊子複製版第11冊
620-5	後藤新平書翰 井上馨宛	後藤新平	井上馨	明治 年11月1日		満州ヨリ別紙報告アリ供覧				「620 名士書牘 卷六」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
620-6	土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨	明治43年5月1日		園遊会出席通知				「620 名士書牘 卷六」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
620-7	田中光顕書翰 井上馨宛	田中光顕	井上馨	明治43年11月13日		華族会館彰明会出席通知				「620 名士書牘 卷六」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
620-8	牧野伸顕書翰 井上馨宛	牧野伸顕	井上馨	明治43年11月10日		彰明会出席通知				「620 名士書牘 卷六」(1巻)の内	冊子複製版第16冊
620-9	林董書翰 井上馨宛	林董	井上馨	明治 年11月27日		園遊会出席通知				「620 名士書牘 卷六」(1巻)の内	冊子複製版第4冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
620-10	一木喜徳郎書翰 井上馨宛	一木喜徳郎	井上馨	大正4年4月16日	1通	不参通知				「620 名士書牘 卷六」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
620-11	渡辺昇書翰 井上馨宛	渡辺昇	井上馨	明治44年11月28日		出席通知				「620 名士書牘 卷六」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
620-12	都筑馨六書翰 井上勝之助宛	都筑馨六	井上勝之助	大正9年8月15日		快気祝賀				「620 名士書牘 卷六」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
620-13	下条正雄書翰 井上馨宛	下条正雄	井上馨	大正4年4月14日		興津園遊会不参通知				「620 名士書牘 卷六」(1巻)の内	冊子複製版第25冊
620-14	黒田清綱書翰 井上馨宛	黒田清綱	井上馨	明治44年11月28日		不参通知				「620 名士書牘 卷六」(1巻)の内	冊子複製版第16冊
621	名士書牘 卷七				1巻	松方正義書翰 1通 山県有朋書翰 1通 黒田清隆書翰 1通 桂太郎書翰 1通 品川弥二郎書翰 1通 榎本武揚書翰 1通 芳川顕正書翰 1通				詳細は621-1~7参照	
621-1	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治25(力)年1月31日		山県伯・黒田伯差支エナク明午後一時来会乞ウ伊藤伯へモ申送レリ				「621 名士書牘 卷七」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
621-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治18年4月30日		天津談判好結果大使安着慶賀 横浜へ大使出迎工行違イ面会出来ズ 露英葛藤益々困難ノ趣心配ナラン 琉球へ書記官派遣ノ件西村県令へ下命 露英開戦トナレバ軍艦派遣方県令ヨリ具申アリタラン				「621 名士書牘 卷七」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
621-3	黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨	明治 年4月8日		(前文欠) 大隈感服 探偵ニヨレバ大事ニ至ルマジ 未発ノ予防肝要				「621 名士書牘 卷七」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
621-4	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	大正2年1月1日		年賀 持病ノ眼病ニテ当地滞在保養中				「621 名士書牘 卷七」(1巻)の内	冊子複製版第12冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
621-5	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治18(力)年9月6日		兼務免除才願セシトコロ西郷ヨリ兼務シテクレズバ省中困難ノ依頼アリ承諾 自分病氣承知ノ上ノ依頼余程ノコトナルベク承諾				「621 名士書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
621-6	榎本武揚書翰 井上馨宛	榎本武揚	井上馨	明治13年6月9日		露公使へ談話不在ニテ面会不能 火事見舞二塙公使館へ行き露公使二出会イ御伝言伝エタリ 公使不満トセシハ儀式参列ナカリシコト 岩右府ヨリ尋問モナカリシコト				「621 名士書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
621-7	芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨	明治 年7月2日		川村撰身上依頼				「621 名士書牘 巻七」(1巻)の内	冊子複製版第32冊
622	名士書牘 巻八				1巻	三条実美書翰 1通 岩倉具視書翰 1通 伊藤博文書翰 1通 山県有朋書翰 1通 松方正義書翰 1通 西園寺公望書翰 1通				詳細は622-1~6参照	
622-1	三条実美書翰(熾仁・具視と連名) 井上馨宛	三条実美	井上馨	明治15年3月10日		提出ノ書面熟議 閣議不一致黙止難キハ承知ナレド各参議協議中書面提出ハ意外 奏聞ハ勿論閣議二上スモ不都合ニツキ返却 輕易ノ進退遺憾				「622 名士書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第24冊
622-2	岩倉具視書翰 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	明治16(力)年2月16日		ケ条中顧問云々大事ニ付秘セラレタシ 別紙報知新聞軍人一条嘆息ニ堪エズ モットモ報知ノ悪意カ 真偽判明次第報知エウ 大隈洋行不可				「622 名士書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第10冊
622-3	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治20年7月6日		聖上風邪ニテ魯国親王へ答礼イタシカナルノ使ニ参り会食ニ与レリ 今朝申入レノ件ハ西郷大臣ト将来ノ見込ミ相談セシコト更ニ検討イタシタシ				「622 名士書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
622-4	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年7月7日		昨日内談ノ件両大臣ヨリ事情開陳 思召伺イ取計イノヨシ 別書王土論及ビ建議供覧 コノ節民間ノ問題トナリ懸念 副島ノ口述松園某ノ書記トカ 内閣二列セシ者ニテ言イ得ル論旨 国土論重大政府ノ威権ニ関係センカ				「622 名士書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
622-5	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年10月14日		早朝ヨリ地方官連中入来ニテ参邸遅延 都合問イ合セ				「622 名士書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
622-6	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治 年5月15日		小生住宅ノ件 赴任先発令ニナリテハ不都合ユエ赤坂辺宮内省官舎借用ノ約束 陸奥氏殆ンド全快				「622 名士書牘 巻八」(1巻)の内	冊子複製版第23冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
623	名士書牘 卷九				1巻	伊藤博文書翰 1通 山県有朋書翰 1通 松方正義書翰 1通 陸奥宗光書翰 1通 桂太郎書翰 1通				詳細は623-1~5参照	
623-1	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治18年11月14日		今朝三条公面会 更二参朝聖上へ内奏セリ 条公内話二八黒田担任トナレバ小生ヲ左黒田ヲ右ト奏上予定ナリト 小生愚見話シオケリ				「623 名士書牘 卷九」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
623-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治 年12月4日		昨夜熟議ノ一条兩人へ談判 本日榎坂へ行キ正実ヲ基礎ニ談論ヲ遂ゲ将来ノ目的ヲ聞キタダスヘク内議決定 ツイテハ岩倉へ面会見合セ方略立チタル上ニイタシタシ 第二案ハ差シ置クツモリ				「623 名士書牘 卷九」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
623-3	松方正義書翰 井上馨宛	松方正義	井上馨	明治 年11月25日		郵船会社へ下付金ノ一条 森岡内願モアリ困却セシモ最初ヨリ談合十三ヶ年八八万ツツ下付ニ変更 先日ヨリ手順整ワズ今日マデ遷延 内論モアリ本日決定安心セウ				「623 名士書牘 卷九」(1巻)の内	冊子複製版第17冊
623-4	陸奥宗光書翰 井上馨宛	陸奥宗光	井上馨	明治 年5月5日		別紙岡崎ヨリ来翰 昨日差上ゲシ竹内手紙ト対照スレバ板垣・星表面ハ意地張り合イノ様子放置モ如何ト思ワルル故間接ニ尽カスベキカ				「623 名士書牘 卷九」(1巻)の内	冊子複製版第20冊
623-5	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	大正2年5月2日		尊翰並ニ孫文電報拝受 過日来別達ノ電信ニコレハ当方ヨリ創議ノ承認問題等ニツキ我ガ当局者ノ意向如何カ 勝之助君ヨリ牧野外相意中探聞サレテ如何				「623 名士書牘 卷九」(1巻)の内	冊子複製版第12冊
624	名士書牘 卷一〇				1巻	中山孝麿書翰 1通 山県有朋書翰 1通 品川弥二郎書翰 1通 杉孫七郎書翰 1通 谷干城書翰 1通 西園寺公望書翰 1通 桂太郎書翰 1通				詳細は624-1~7参照	
624-1	中山孝麿書翰 井上馨宛	中山孝麿	井上馨	明治34年2月18日		皇太子殿下 沼津還御通知				「624 名士書牘 卷一〇」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
624-2	山県有朋書翰 井上馨宛	山県有朋	井上馨	明治32年4月13日		原明日着京面会ノ際 朝鮮公使ヲ否ム時ハ欧州駐在公使ニ勧誘サレルヤ 屈指ノ人物ニツキ外交多事ノ折適當ナランモ青木外相ニモ相談イタシタシ				「624 名士書牘 卷一〇」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
624-3	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治32年5月25日		三田尻得富太郎新聞事業ニテ四千円借金 本人所有田地ヲ抵当ニ金策方斡旋願ウ				「624 名士書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
624-4	杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉 孫七郎	井上馨	年10月1日		供覧ノ履歴書巻返却				「624 名士書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
624-5	谷干城書翰 井上馨宛	谷干城	井上馨	明治31年10月8日		松方訪問 園田頭取承諾ヲ賀シ今後ノ方針ヲ質問 明年後ノ改選期マデ現行ノママ減資ノ必要アルマジトノ返答 南郷取調ベノ内幕ヲ述ベントコ口答并ニ窮セシ態 減資改革ヲ強調セシニヤヤ了承ノ様子 伯ノ懸念八園田ノ辞退ニアリ園田ト相談アラン 五郎殿辞表ニツイテ				「624 名士書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第28冊
624-6	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治42年12月3日		伊藤未亡人故公爵ノ遺物贈与ニツキ末松・西等ヘモ相談然ルベクト心痛 コノ件博邦君ヘ説得願ウ				「624 名士書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
624-7	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治 年7月5日		別紙才届ケ添状				「624 名士書牘 巻一〇」(1巻)の内	冊子複製版第12冊
625	孫文・黄興・盛宣懷書牘				1巻	孫文書翰 2通 黄興書翰 1通 盛宣懷書翰 6通				詳細は625-1~9参照	
625-1	孫文書翰 井上馨宛	孫文	井上馨	民国元年2月3日		(代筆) 三井森君ヨリ閣下ノ御好意伝承拝謝 新政府ト日本財政上ノ関係御指導ヲ待ツ 近ク使節派遣ノ予定			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「625 孫文・黄興・盛宣懷書牘」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
625-2	孫文書翰 井上馨宛	孫文	井上馨	民国2年5月17日		(代筆) 訪日中ノ厚誼謝礼 宋教仁非命 袁ノ横暴			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「625 孫文・黄興・盛宣懷書牘」(1巻)の内	冊子複製版第33冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
625-3	黄興書翰 井上馨宛	黄興	井上馨	民国元年 月 日		陸軍総長就任挨拶			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「625 孫文・黄興・盛宣懷書牘」（1巻）の内	冊子複製版第33冊
625-4	盛宣懷書翰 井上馨宛	盛宣懷	井上馨	宣統3年2月3日		製鉄所訂約貴議院通過欣快 高木陸郎聘用実現感謝			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「625 孫文・黄興・盛宣懷書牘」（1巻）の内	冊子複製版第33冊
625-5	盛宣懷書翰 井上馨宛	盛宣懷	井上馨	民国3年5月13日		漢冶萍公司合併 英・独・仏二対シ慎重考慮ヲ要ス			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「625 孫文・黄興・盛宣懷書牘」（1巻）の内	冊子複製版第33冊
625-6	盛宣懷書翰 井上馨宛	盛宣懷	井上馨	年3月26日		高木陸郎来談 当公司生産礦石貴国瑞典ヨリ購入品同質 需給提携両国ニ裨益セン			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「625 孫文・黄興・盛宣懷書牘」（1巻）の内	冊子複製版第33冊
625-7	盛宣懷書翰 井上馨宛	盛宣懷	井上馨	宣統2年3月6日		貴国需要鋼鉄不足ナレバ当廠供給ニ応ゼン 高木六郎留用斡旋乞ウ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「625 孫文・黄興・盛宣懷書牘」（1巻）の内	冊子複製版第33冊
625-8	盛宣懷書翰 井上馨宛	盛宣懷	井上馨	民国3(力)年8月15日		玉章拝誦富国鋼鉄ノ発展ニアルノ語感銘 漢冶萍經宮ノ念願スルトコロ 貴国需要ニ相通ズルノ実ヲアゲタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「625 孫文・黄興・盛宣懷書牘」（1巻）の内	冊子複製版第33冊
625-9	盛宣懷書翰 井上馨宛	盛宣懷	井上馨	民国4年 月 日		弔文			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「625 孫文・黄興・盛宣懷書牘」（1巻）の内	冊子複製版第33冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
626	朴泳孝・金玉均・金允植・朴鏞和・兪吉濬・魚允中・李址鎔書牘				1巻	朴泳孝書翰 4通 金玉均書翰 2通 金允植書翰 1通 朴二和書翰 1通 兪吉濬書翰 1通 魚允中書翰 1通 李址鎔書翰 1通				詳細は626-1~12参照	
626-1	朴泳孝書翰 井上馨宛	朴泳孝	井上馨	明治25(力)年 8月25日		面会申込			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「626 朴泳孝・金玉均・金允植・朴鏞和・兪吉濬・魚允中・李址鎔書牘」（1巻）の内	冊子複製版 第33冊
626-2	朴泳孝書翰 井上馨宛	朴泳孝	井上馨	明治26年9月 11日		無為偷生遺憾本国ヨリ書生呼寄セ教育イタシタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「626 朴泳孝・金玉均・金允植・朴鏞和・兪吉濬・魚允中・李址鎔書牘」（1巻）の内	冊子複製版 第33冊
626-3	朴泳孝書翰 井上馨宛	朴泳孝	井上馨	明治 年10 月30日		松茸贈呈			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「626 朴泳孝・金玉均・金允植・朴鏞和・兪吉濬・魚允中・李址鎔書牘」（1巻）の内	冊子複製版 第33冊
626-4	朴泳孝書翰 井上馨宛	朴泳孝	井上馨	明治26年12 月13日		目的成就感謝 各府県遊説予定			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「626 朴泳孝・金玉均・金允植・朴鏞和・兪吉濬・魚允中・李址鎔書牘」（1巻）の内	冊子複製版 第33冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
626-5	金玉均書翰 井上馨宛	金玉均	井上馨	明治27年3月 日		緊急用件アリ明明後日間面晤希望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「626 朴泳孝・金玉均・金允植・朴鏞和・兪吉濬・魚允中・李址鎔書牘」（1巻）の内	冊子複製版第33冊
626-6	金玉均書翰 井上馨宛	金玉均	井上馨	明治 年9月3日		近来俗事二耳ヲ藉サズ禅理御研究ノ由 治心ノ捷徑才話申シタシ				「626 朴泳孝・金玉均・金允植・朴鏞和・兪吉濬・魚允中・李址鎔書牘」（1巻）の内	冊子複製版第33冊
626-7	金允植書翰 井上馨宛	金允植	井上馨	年4月22日		拜復明日十時貴署へ参上スベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「626 朴泳孝・金玉均・金允植・朴鏞和・兪吉濬・魚允中・李址鎔書牘」（1巻）の内	冊子複製版第33冊
626-8	朴鏞和書翰 井上馨宛	朴鏞和	井上馨	光武2年8月28日		贈品添書			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「626 朴泳孝・金玉均・金允植・朴鏞和・兪吉濬・魚允中・李址鎔書牘」（1巻）の内	冊子複製版第33冊
626-9	兪吉濬書翰 井上馨宛	兪吉濬	井上馨	明治40年8月11日		帰国挨拶			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「626 朴泳孝・金玉均・金允植・朴鏞和・兪吉濬・魚允中・李址鎔書牘」（1巻）の内	冊子複製版第33冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
626-10	趙寧夏書翰 井上馨宛	趙寧夏	井上馨	年 月 日		(趙芳問使本第書翰) 越芳問使仁川着否照会				「626 朴泳孝・金玉均・金允植・朴鏞和・兪吉濬・魚允中・李址鎔書牘」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
626-11	魚允中書翰 井上馨宛	魚允中	井上馨	明治27年12月3日		贈品添書			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「626 朴泳孝・金玉均・金允植・朴鏞和・兪吉濬・魚允中・李址鎔書牘」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
626-12	李址鎔書翰 井上馨宛	李址鎔	井上馨	年4月29日		贈品添書				「626 朴泳孝・金玉均・金允植・朴鏞和・兪吉濬・魚允中・李址鎔書牘」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
627	書翰冊 一				1冊	青木周蔵書翰 33通 日下義雄書翰 1通				詳細は627-1~34参照	
627-1	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治5年9月13日		三宮耕庵紹介 採用依頼				「627 書翰冊 一」(1巻)の内	冊子複製版第1冊
627-2	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治18年2月21日		教諭銘肝 韓国関係ザッベ氏へオ話シニナリ独政府へ報道方依頼アルベシ				「627 書翰冊 一」(1巻)の内	冊子複製版第1冊
627-3	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治18年2月25日		三好退蔵帰朝 同氏維納滞在中フォン・スタイン氏ヨリ我国政略ニ関シ助言ヲ聞ケリ ソノ助言ハ最モ緊要ノモノト思ワル スタイン論説第一番ニオ聞取アレ				「627 書翰冊 一」(1巻)の内	冊子複製版第1冊
627-4	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治 年1月7日		小浦一件 簿記ノ外統計学ヲ勸メオリト申セシトコロ 年月ヲ要セバ帰国後周旋セントノ話 小浦ノ学費老台ガ引受ケト申セシコトナシ 小浦本人モ覚エナシトイウ 紀州家令思イ違イナルベシ				「627 書翰冊 一」(1巻)の内	冊子複製版第1冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
627-5	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治11年10月31日		内政八伊兄へ付托ノ来論モツトモナリ 分袂前才願イセシ帰朝ノ件弥二郎ト相談クダサルヨシ外務省規則ニテ満三年外勤スレバ賜暇帰朝アレド一時帰朝ヲ希望 四十オマデニハ帰り切りニテ助勢イタスベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-6	日下義雄書翰 井上馨宛	日下義雄	井上馨	明治13(カ)年1月7日		貴書森有礼ヨリ受取 芳川顕正帰国ノ際三条ノコト伝言 帰国ニ三月ノ下命ナレド三条ノ試験六月ナレバ同伴帰国シタシ 中野・藤田等ノ件聞知 中野八麿札ヲ企ムゴトキ人ニ非ズ				「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第16冊
627-7	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治14年5月20日		ルーマニアヨリ新王披露ノ国書到来ニ付転送 ダニューヴ諸国視察旅行希望 森ヨリ長文ノ書帳内国開クベカラスト云々 独政府各条約局へ通牒ノ次第森へ通報 各国回答独政府ヨリ自分へ通知ノ手筈 重修未解決残念 琉島一件戸北京談判マズハ上出来 黒田・榎本辞職説征清紛議ニヨルカ我紙幣価値挽回急務 外債募集中止ハ遺憾			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-8	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治14年10月5日		森当地へ出張ニツキ指令拝承 司法権ト行政ノ解決ニツキ貴拙ノ間ニ行違イアルカト懸念シタレド来示納得セリ 森ノ氣違論ニハ呆レタリ シーボルト一件承知 本人妻ヲ求メオリ此ノ地ヲ出ルニ難色			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-9	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治16年8月23日		重修一件独政府斡旋ニ変更アリヤノ懸念不要 独政府建議中定期結約ハ貴意ニ相違不十分 ビスマルクモ認ムル所 英・仏・伊・瑞同調ノ意ナク独孤立ノ姿 英仏共独建言ノ大体ニハ賛意ノ模様 期限事項ニツキ精々英仏工作中 英重修案件ポーンズフォート担任ノヨシ森へ通報 仏ヲ動かスニハ塙ニ依頼スルガ宜シ 上野公使トハ謀リ難シ 旧識ノ塙外交官アリ都合ニヨリカルノキー氏へ工作イタスベシ 独領事赴任ニ英仏商議未整ノ為訓令携行セズ 同氏ノパークスヨリ離レ日本ニ好意ヲ持テリ 独ノ好意ニ対シ軍船・軍器購入考慮アリタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-10	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治14年12月15日		詔勅内情密報感謝 開拓使払下ゲ中止大賀 大隈ノ権謀笑止 議院開設泥縄 事前ノ必要措置日本人ハ無産リベラルニ偏向傾向 保守的ニ処裁アルベシ 棚橋書記生結婚ニ関シテ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
627-11	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治14年12月29日		重修一件国内ニテオ引受ケ 参考ニビスマルク意向報告 独両三年来東洋貿易ニ注目 重修ニツイテハ各国ニ周旋ノ心底 秘書官ヨリ探知内書中ニ報告ノ通り ナオシーボルトヨリ聞取リアレ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-12	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治17年5月26日		独政府斡旋案英仏ヨリ優利ナレド警察権回収ノタメ外国人国内居住営業ヲ請求セラレテハ不利 去年英ヨリノ回章ニソノ要求アリタレバ弁難独ヲ説得 右報告スベキモ電信上齟齬ヲ生ジ易シ 英提案ノ試験期間破碎恭賀 治外法権撤去国内法整備ノ暁ハ決行困難ニ非ズ 一地区準備整イ次第第却ノ計画實際のナリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-13	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治16年5月25日		定期結約一件ニツキ花房ヨリ報告方指令回示 独ニヨリ無条件終結条項ノ工作ヲ答信 工作トハ当国外務卿宛手紙 ソノ英訳才聞取リ乞ウ 秘信十分ニ連絡ヲ取り得ザレド終結条項取付ケノ為ビスマルクノ秘書官ニ工作 秘書官ハ要請書簡ヲ從憑ニツキ伊藤氏来着ノ際相談発信 国内開放ノ際ノ領事裁判部分撤廃商議不能 開国ト治外法権撤廃ト双方納得ノ上決行然ルベク独ハ了承ノハズ 英ハ不明英回章独ニ達 独斡旋ニ立タザレドモ心配ニハ及バズ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-14	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治16年6月14日		英回章探知不能ナレバ独ヘノ工作建テ難シ シーボルトヲウィーンニ派シ英建言探索 英建言旧好違反三条英説得不成功遺憾 ビスマルク東京会議議定書自閲 独回章ノ定期結約期限三条 デンマーク領事ノ件			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-15	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治17年2月15日		井上湯治期間伊藤代理ノ電信不審 離任訪英ノ噂サ真ナランカ 将来ヲ期シ遊学ナレバ歓迎 ムシ口聖ト上歐行ヲ実現随行サレテハ如何 重修一件英仏独ニ説得サレ独回章ニ協定 定期結約ト最恵国条項 英ハ依然頑迷			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-16	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治17年3月13日		海軍拡張ニツキ独ヘモ戦艦注文トカ実否如何 独ヘ発注方内諭乞ウ 外注手續ニツキ進言 重修ノ件 最恵国条項ハ清独協約ニ基キ商議 会議ニテ通商規則ハ独韓協約ヲ基礎トシテハ如何			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
627-17	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治17年5月15日		重修二関シ当政府ハ決意報告後指令ヲ得ザルモ会議開催セラレシヤ 独ノ訓令書郵送 同写各国政府ヘモ転致 仏ニ好影響 定期結約・最恵国条項 英独間結論ヲ得ベク行政権・警察権共独斡旋奏功セン 内国治務整備八九年ニテ治外法権廃却シ得ベシ シーボルト			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-18	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治17年5月27日		貴翰公務ニ不平ナク伊藤兄ヲ政府ノリーダートシテ尽力安心 独公使ノ報告書内見満足ノ態 天皇渡海ゼヒ二十三年前ニ決行アルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-19	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治17年6月3日		財政家招聘物色中 天長節ニ独皇ヨリ祝電工作現地自分ヨリ独公使ヨリノ進言適當 君主間ノ儀礼交換ノ要 天皇訪欧期待 欧州政界情況 支那分割ノ風説 コノ際ノ我ガ役割割欧州仲間入り緊要 獵獲規則草案一件			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-20	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治17年6月3日		訓令ニヨリ商議スベキモ休暇独政府ニ主任者不在 行政権ノ範圍ニツキ解釈ノ行違イアリ ソノ拡張ニツキ独政府ヘ折角開論 英モ独ノ圧力ニヨルカ行政事項商議承諾 然ルニ森ト意見相違 行政事件控置ノ申入レ 英公使ヨリ提出ノ覚書ヲ先ニ披見為ニ独訓令英ノ真似ト見ラレシハ尤ナリ 通商条約商議優先ノ内意 通商条約中ニ行政事項嵌入ハ如何			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-21	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治17年6月24日		当方提案独政府工作不成功 更ニビスマルクニ面会ヲ求メブッシュ・クセロー両氏ト交渉 会见拒絶サル 某国我ガ請求認可ノ際ハ独モ認可スルヤ否ヤ ブッシュソノ保証ヲ拒否 コノ上ハ英政府説得ヲ必要 自分ソノ任ニ当ラン 通商事項ヲ優先シ行政一項ハ後日ニ譲ルガ可			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-22	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治17年6月24日		ビスマルク拒絶ノ理由ハ実利ナキト我ノ立法施行ニ危惧 説得センニモ面会謝絶ニテ詮ナシ ブッシュ我刑法不備ヲ指摘 柏村庸 百事直話希望 天皇渡欧決行アリタシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
627-23	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治18年3月12日		支那ト開戦不可ノ廟議ハ残念 ムシロ開戸シテ内政充実ノ説ナラン 当面ノ時務策 北海経営渡欧留学者所感 国力増進論 唇齒の清国救援仏ヲ排除ハ可ナルモ実行困難 軽忽の開戦反対 伊藤派清反対ニ非ズ緩急利ヲ得ルノ得策 仏・英・独ノ間ヲ操縦スルノ要 獅子ノワケ前ニ与ルノ遠謀アルベシ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-24	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治18年3月26日		桜田変死意外某女トノ紛議ニ原因 体面上不都合 和蘭国兼任承知				「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-25	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治26年5月3日		長井長義ハ築地製菓会社ノ功労者 社内ニ排斥アリ同人ノ保証ニ援助乞フ				「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-26	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治27年9月5日		日英新条約調印 二〇年来ノ懸案落着慶賀			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-27	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治27年8月7日		井上光大佐帰国 日清開戦 英ノ干渉排除 井上大佐ヨリオ聞取リ乞フ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-28	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治27年1月12日		近来邦人ノ外人排斥ハ明治初年培養ノ欧人ノ信用失墜 英重修案件速決ヲ欲セズ独モ冷淡 独皇ノ忠告ヲ容レ聖上渡欧決行ノ秋ナリ			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-29	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治16年8月23日		トルコ他東洋諸国巡回許容願ウ 岩倉右大臣逝去 驚歎				「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-30	青木周蔵書 翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治26年1月30日		グループ代表マンドル訪日 李国鉄道大臣明治一八年貴台外務大臣中鉄道資材購入ノ通知 今回マンドル訪日ニ際シ紹介乞フノ依頼アリ	井上馨英文書翰写 Doenhoff宛 1通		「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
627-31	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治16年1月24日		日独間重要案件新聞二掲載 本尾敬三郎二訳読セシメラレタシ 当国公使ドーエンホン選任			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-32	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治26年3月6日		議会閉会議決八世界未曾有 六十七条天皇ノ大権説明ナカリシハ遺憾 予算二関シ立法体権限訳述一昨年榎本子へ送付 大権警護二強硬果断ノ説明肝要 野村子帰国 葡国外相ト行違イアリシ模様 栗野派遣二野村不快ノ体 増大ノ経費支弁二不動産処分依頼				「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-33	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治26年4月15日		帰朝政務担当内諭二対シ帰国猶予ヲ乞フ 六十七条問題断乎タル処置要望			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
627-34	青木周蔵書翰 井上馨宛	青木周蔵	井上馨	明治27年9月17日		牙山勝報後報ヲ得ズ キンベルレー伯露仏干涉警戒ノ忠告才含ミアレ 独上下共ニ日本ビイキ大勝ヲ収メ講和議ニ八建言イタシタシ 英八我レニ大使駐劄ノ内意			「井上馨関係文書（憲政史編纂会収集文書657～673）」収載	「627 書翰 冊一」（1巻）の内	冊子複製版第1冊
628	書翰冊 二				1冊	木戸孝允書翰 2通 井上馨書翰 3通 伊藤博文書翰 4通 品川弥二郎書翰 2通 西園寺公望書翰 2通 上野景範書翰 2通 井田讓書翰 1通 河瀬真孝書翰 4通 蜂須賀茂韶書翰 1通 園田孝吉書翰 6通 周布公平書翰 2通 南貞助書翰 5通 正木退蔵書翰 2通 原六郎書翰 3通 西源四郎書翰 3通 末松謙澄書翰 1通 浅野翁助書翰 1通 中田敬義書翰 3通 林健書翰 1通				詳細は628-1～48参照	
628-1	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治8(力)年8月 日		華士族禄支消ニ付禄券発行 愚見通ラズ人民不利ナレバ結局政府艱難セン 君主国ニテ人民ノ幸福約合イガ肝要 禄支消ノ禄券華士族ノ位地一定ガ政略上第一義			『木戸孝允文書』収載	「628 書翰 冊二」（1巻）の内	冊子複製版第14冊
628-2	木戸孝允書翰 井上馨宛	木戸孝允	井上馨	明治9年8月4日		米国巡覧羨シ 岩・大久不同意昨日宮内出仕拜命 洋行不許可遺憾 国内近況 五代才助五〇万円無利拝借 施策要諦ソノ他			『木戸孝允文書』収載	「628 書翰 冊二」（1巻）の内	冊子複製版第14冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
628-3	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年11月25日		明日益田・藤田同道参上予定 御宅ヘカ柳橋隠宅ヘカ指示乞ウ				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
628-4	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治8年7月25日		今朝陸奥同道九段ヘ行き相談 同人板垣ト同案 大久・伊藤等参議卿兼任弁利ナド申シテハ多数ノ方ヘ決スベク明答困難ナリト オ互イ仲居役ハ迷惑 五万円秩禄ポンド新公債抵当ニ借用願イタシ				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
628-5	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治9年8月28日		(紐育)当地経済商法風俗好マズ 来月渡英 渋・福岡士失策 何業ニテモ勉強第一 結社ノ計画 岡本ヘ投機ヲ止メルヨウ忠告アレ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
628-6	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治16年3月1日		(ブラッセル)今村和郎留学裁可報知願ウ 後藤・板垣戸倉ノ金五千円ヲ岡本等ニ押エラレ大困窮 後藤トハ伯林ニテ面会 板垣ヲ当地ニ呼び面会 板垣丸デ話ニナラヌ 後藤スタイン訪問予定			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
628-7	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治16年4月27日		パリヘ渡航花房面会ノ上魯京行予定 即位式決行サレン 英国滞在十分調査センツモリ 条約改正独ヨリ各国ヘ回文 独人雇入レグランビールニ出立前面会ノツモリ 板垣・後藤面会 板垣理解カナシ 柳原帰朝心配イラズ 仏ノトンキン処分ヲ朝鮮一条トカaramelハ効果ナシ 森帰朝 学問上有用ナラン 青木モ帰朝登用サルベクモ貴兄ノ後任ハ問題			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
628-8	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治5年12月6日		(ロンドン)当地用済ミ仏行ノ予定 仏政状混乱 往訪問合セシモ返答ナシ 昨日女皇ニ謁見南真介バンク瓦解日本人損害 当国トノ談判内地通行 教法寛恕ヲ希望アリ 兵隊引払い・償金不払交渉ハ今夕				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
628-9	伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	明治15年7月5日		(伯林)条約改正進捗英公使尽力ノヨシ 当国ビス烟草専売不成立ノ形勢ニ焦慮 未ダ面会セズ 此頃グナイストニ受講中 近ク有名ノスタインニ受講予定 憲法・行政調査ニ独語通ゼズ困窮 憲法ノ得失論究ニ寝食ヲ忘レル心地 皮相ヲ去リ骨子探求ニ熱心			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第7冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
628-10	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治19年4月30日		(パリ) 安着通知				「628 書翰 冊二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
628-11	品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨	明治11年4月8日		独へ赴キ滞在ノヨシ 末松謙澄着英近情才聞取りナラン 青木公使自分近況 地方官会議河瀬ノコト			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「628 書翰 冊二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
628-12	西園寺公望書翰 大隈外相宛	西園寺公望	大隈外相	明治22年5月4日		(英文公電写二通) 井上勝之助退官留学希望二対シ慰留	斎藤修一郎添状		「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「628 書翰 冊二」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
628-13	西園寺公望書翰 井上馨宛	西園寺公望	井上馨	明治18年7月2日		任地到着皇帝謁見終了 伝言蜂須賀へ伝達 無根ノコトト返答 伯林ニテ青木へ朝鮮一件伝達メクデンブー賞牌返還青木了承 陸奥宗光スタインニツキ勉強中 河島醇 欧州政況			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「628 書翰 冊二」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
628-14	上野景範書翰 中島通商正宛	上野景範	中島通商正	明治4年8月14日		米貨四〇〇弗前島密旅費トシテ受取証				「628 書翰 冊二」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
628-15	上野景範書翰 井上馨宛	上野景範	井上馨	明治9年2月4日		伊藤弥爾留学資金懇願			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「628 書翰 冊二」(1巻)の内	冊子複製版第29冊
628-16	井田讓書翰 井上馨宛	井田讓	井上馨	明治15年2月2日		条約改正予会議開設大慶 英公使トノ往復書翰内示感謝 西白二国へ旅行予定 仏内閣更迭 宰相ガンベッタ意見				「628 書翰 冊二」(1巻)の内	冊子複製版第5冊
628-17	河瀬真孝書翰 井上馨宛	河瀬真孝	井上馨	明治24年5月5日		毛利五郎ケンブリッジ入学費用概算 田中銀之介留学ノコト				「628 書翰 冊二」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
628-18	河瀬真孝書翰 井上馨宛	河瀬真孝	井上馨	明治23年11月26日		松田・田中・長田・毛利五郎留学情况 岡部長職帰朝				「628 書翰 冊二」(1巻)の内	冊子複製版第13冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
628-19	河瀬真孝書翰 井上馨宛	河瀬真孝	井上馨	明治20年9月24日		外務大臣辞職意外 在職中ノ介助感謝				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
628-20	河瀬真孝書翰 井上馨宛	河瀬真孝	井上馨	明治23年11月18日		毛利五郎・広沢・松田留学状況	報告書外国興債 1綴			「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第13冊
628-21	蜂須賀茂韶書翰 井上馨宛	蜂須賀茂韶	井上馨	明治17年10月24日		仏政府清国ニ対シ宣戦急ガズ 台湾封港ヲ仏外務卿「パシフィックブロックエド」ニ抛ルト言明コノ名目不明 局外中立 石炭ニツキ申入レ 和清条約第二項ニツキ清国公使申入レヲ仏外務卿ヨリ照会 ソノ大意別紙機密信ニテ送付セリ	仏外務卿ジュール・フェリ宛蜂須賀茂韶 仏文書翰写 1通		「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第4冊
628-22	園田孝吉書翰 井上馨宛	園田孝吉	井上馨	明治12年1月24日		上野ヨリ会計昨年下半年期分別紙送達	明治十一年下半年ケ年分仕仏高			「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
628-23	園田孝吉書翰 井上馨宛	園田孝吉	井上馨	明治17年2月28日		森公使二六日出発 後任公使未定ニテ閣下出張ト力 他平信				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
628-24	園田孝吉書翰 井上馨宛	園田孝吉	井上馨	明治20年1月15日		ロンドン在勤今後ノ見込内示願イ				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
628-25	園田孝吉書翰 井上馨宛	園田孝吉	井上馨	明治20年8月24日		賜暇帰朝内命感謝 帰国旅行ニツキ内願				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
628-26	園田孝吉書翰 井上馨宛	園田孝吉	井上馨	明治22年3月20日		滞英延期ニツキ外務省条例手当減額困却 増額ニツキ内願				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
628-27	園田孝吉書翰 井上馨宛	園田孝吉	井上馨	明治22年2月2日		滞在延期願聞届ケラレ安心 銀行調査相叶イ幸イ 国会開設世論ノ動向ニヨリ進退ヲ決スル心算 意見書起草中 留学生世話後任詮衡乞ウ				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
628-28	周布公平書翰 井上馨宛	周布公平	井上馨	明治22年3月18日		老母病氣看護ノ希望 帰朝徳川公使許諾 大隈外相ヘ示談乞ウ				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊
628-29	周布公平書翰 井上馨宛	周布公平	井上馨	明治22年6月7日		帰朝拜命 斡旋感謝				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第26冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
628-30	南貞助書翰 井上馨宛	南貞助	井上馨	明治22年10月7日		(ロンドン) 英国ニテノ調査完了 外務大臣・次官ト株式取引・商法会議所ニ関シ談話 株式取引所見学 リバプール木棉取引所・同株式取引所織機見本買入レ予定			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
628-31	南貞助書翰 井上馨宛	南貞助	井上馨	明治23年1月7日		(パリ) 当地着取調ヘ着手 独各所商業ニ対シ円滑ソノ運用法 取引所税則印紙貼用ノ法 老ビスマーク商業ニ熱心 ソノ他			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
628-32	南貞助書翰 井上馨宛	南貞助	井上馨	明治 年7月17日		広東米穀調査中 パート氏滞港阿片条約商議ノタメナリ 英・チベット通商困難カ 李氏東亜意見 マニラ府出張報告書人手不足ニテ不十分				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
628-33	南貞助書翰 井上馨宛	南貞助	井上馨	明治22年8月1日		ロンドン安着 山県伯出発前ニ対面 英外務省ヘ照会手順公使館ヘ依頼 領事館ヘ商法会議所・取引所書類取寄せ依頼 マジソン社長ケズウイキ氏				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
628-34	南貞助書翰 井上馨宛	南貞助	井上馨	明治18年9月23日		五日着任 当館務別状ナシ 香港商況				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第18冊
628-35	正木退蔵書翰 井上馨宛	正木退蔵	井上馨	明治6年4月1日		使節滞留中国内形勢伝承 出国当初ノ大蔵省出仕名目派出生徒二名義変更 ウイリヤムソン 長松周蔵 南貞介				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第16冊
628-36	正木退蔵書翰 井上馨宛	正木退蔵	井上馨	明治 年12月10日		野村・藤井来着 国内近況伝承 当国ニテ日本評判好キニ赤面 グラム舎密教官宅ニ同居勉学				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第16冊
628-37	原六郎書翰 井上馨宛	原六郎	井上馨	明治 年 月 日		横浜正金銀行ノ件 新聞ニテ承知アランモ株主中 種田・谷元等同行ヲ喰イ物ニセント株主臨時總會ヲ企図 兩人株主トナリタルハ早稲伯ノ懇請 今日ノ騒ギ喰止メノタメ同伯ニ説得乞ウ				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
628-38	原六郎書翰 井上馨宛	原六郎	井上馨	明治25年9月17日		松田信敬留学ニツキ河瀬公使ヨリ英教師意見書添工別紙来翰	原六郎宛河瀬真孝書翰 1通・ Walled Hock 英文書翰 1通			「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第3冊
628-39	原六郎書翰 井上馨宛	原六郎	井上馨	明治42年5月1日		病気快癒祝歌				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第3冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
628-40	西源四郎書翰 井上馨宛	西源四郎	井上馨	明治 年3月30日		安着通知				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
628-41	西源四郎書翰 井上馨宛	西源四郎	井上馨	明治24年11月25日		明年外交受験予定 政治学・外交学相済ミ明年帰朝スベシ				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
628-42	西徳二郎書翰 井上馨宛	西徳二郎	井上馨	明治 年12月1日		留学報告				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
628-43	末松謙澄書翰 井上馨宛	末松謙澄	井上馨	明治27年11月4日		義和宮殿下ヨリ密談アリ 大略伊総理承知 万事御地ニテ閣下ニ相談アルベク勸告			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第27冊
628-44	浅野翁助書翰 井上馨宛	浅野翁助		明治39年7月1日		ロンドン安着通知				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第2冊
628-45	中田敬義書翰 井上馨宛	中田敬義	井上馨	明治20年1月14日		平信 長崎事件憤慨				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
628-46	中田敬義書翰 井上馨宛	中田敬義	井上馨	明治22年3月30日		英政況 条約重修関係世論 新憲法ノ評判	新聞切抜 3枚		「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657～673)」収載	「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
628-47	中田敬義書翰 井上馨宛	中田敬義	井上馨	明治 年12月9日		謝罪文				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第21冊
628-48	林健書翰 井上馨宛	林健	井上馨	明治40年9月25日		昇爵慶祝 銀行業務並ニ金融市場調査報告				「628 書翰冊二」(1巻)の内	冊子複製版第4冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
629	書翰冊 三				1冊	Harry Parkes 2通 R. Morly 1通 Hennessy 2通 C. Strauss 1通 E. J. Reed 1通 Eisendecher 1通 A. Von Siebold 4通 W・G. Palgrave 1通 Howder 1通 A. Danydow 1通 Halleben 2通 D. W. Steavens 1通 R. De Martino 2通 W. MacDowell 1通 M. Kirkwood 1通 E. H. Harriman 2通 d'Anither 1通 Yeiko Ozaki 2通				詳細は629-1~27参照	
629-1	Harry Parkes書翰 井上馨宛	Harry Parkes	井上馨	年9月29日		兵庫・横浜外国人商工会議所二関スル報告書送付				「629 書翰冊 三」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
629-2	Harry Parkes書翰 井上馨宛	Harry Parkes	井上馨	年10月26日		朝鮮政府ノ弁明 中国政府ノ大院君二関スル勅命及トンキン二関スル書翰送付				「629 書翰冊 三」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
629-3	R. Morly書翰 井上馨宛	R. Morly	井上馨	1879年6月7日		自著送付				「629 書翰冊 三」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
629-4	Hennessy書翰 井上馨宛	Hennessy	井上馨	1879年9月13日		外務卿就任祝状				「629 書翰冊 三」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
629-5	Hennessy書翰 井上馨宛	Hennessy	井上馨	年9月30日		招待状				「629 書翰冊 三」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
629-6	C. Strauss書翰 井上馨宛	C. Strauss	井上馨	1879年10月1日		招待状				「629 書翰冊 三」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
629-7	E. J. Reed書翰 井上馨宛	E. J. Reed	井上馨	1887年3月11日		自著批評紹介 パークス批判				「629 書翰冊 三」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
629-8	Eisendecher書翰 井上馨宛	Eisendecher	井上馨	1882年3月22日		留守詫状				「629 書翰冊 三」(1巻)の内	冊子複製版第33冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
629-9	A. von Siebold書 翰 井上馨宛	A. von Siebold	井上馨	1882年3月8日		招宴礼状				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版 第33冊
629-10	W. G. Palgrave書 翰 井上馨宛	W. G. Palgrave	井上馨	1882年2月10日		自著紹介 日本文化ニツイテ感想				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版 第33冊
629-11	Howder書 翰 井上馨宛	Howder	井上馨	1884年9月13日		司法省外国人顧問八日本政府ノ熱意ヲ示ス				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版 第33冊
629-12	A. Danydow書 翰 井上馨宛	A. Danydow	井上馨	1884年5月7日		花房宛電訓内示感謝				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版 第33冊
629-13	Halleben書 翰 井上馨宛	Halleben	井上馨	1887年9月19日		外相辞任遺憾				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版 第33冊
629-14	Halleben書 翰 井上馨宛	Halleben	井上馨	1888年7月15日		御質問二答エガタシ 伊藤参議ヘノ書翰玩味願ウ ヨーロッパ諸政府日本ヲ支持セズ				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版 第33冊
629-15	A. von Siebold書 翰 井上馨宛	A. von Siebold	井上馨	1890年3月8日		青木外相就任ヲ喜ブ オランダ新外相評				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版 第33冊
629-16	D. W. Steavens書 翰 井上馨宛	D. W. Steavens	井上馨	1891年1月3日		条約改正世論注目				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版 第33冊
629-17	A. von Siebold書 翰 井上馨宛	A. von Siebold	井上馨	1892年10月13日		内相就任祝詞				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版 第33冊
629-18	A. von Siebold書 翰 井上馨宛	A. von Siebold	井上馨	1894年10月8日		条約改正成功祝詞 英国世論好転 日独交渉困難				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版 第33冊
629-19	R. de Martino書 翰 井上馨宛	R. de Martino	井上馨	1893年5月17日		gasio教授就職配慮依頼				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版 第33冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
629-20	R. de Martino書翰 井上馨宛	R. de Martino	井上馨	1893年6月8日		gasio教授就職失敗遺憾				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
629-21	W. MacDowell書翰 井上馨宛	W. MacDowell	井上馨	1893年4月6日		平信				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
629-22	M. Kirkwood書翰 井上馨宛	M. Kirkwood	井上馨	年 月 日		平信				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
629-23	E. H. Harriman書翰 井上馨宛	E. H. Harriman	井上馨	1906年4月20日		日本旅行感想				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
629-24	E. H. Harriman書翰 井上馨宛	E. H. Harriman	井上馨	年 月 日		日本デノ友情感謝				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
629-25	d'Anither書翰 井上馨宛	d'Anither	井上馨	1910年4月2日		礼状				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版第33冊
629-26	尾崎英子書翰 井上馨宛	尾崎英子	井上馨	大正 年 6月24日		(英文) 礼状				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
629-27	尾崎英子書翰 井上馨宛	尾崎英子	井上馨	大正3年9月29日		(英文) 平信				「629 書翰 冊三」(1巻)の内	冊子複製版第23冊
630	文久三年世外侯渡英関係書翰				1巻	井上馨他三名連名書翰 1通				詳細は630-1参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
630-1	井上馨書翰 (野村弥吉・遠藤謹助・山尾庸造・伊藤春輔と連名) 毛利登人・榑崎弥八郎・麻田公輔・桂小五郎宛	井上間多・野村弥吉・遠藤謹助・山尾庸造・伊藤春輔連名	毛利登人・榑崎弥八郎・麻田公輔・桂小五郎	文久3年5月11日		渡英資金二困窮 カールヨリ五千金ヲ借受ケ 伊豆倉請合イ安心 村田蔵六へ相談委細依頼				「630 文久三年世外侯渡英関係書翰」(1巻)	冊子複製版第6冊
631	世外侯書翰 巻一				1巻	井上馨書翰 11通				詳細は631-1~11参照	
631-1	井上馨書翰 吉井宛	井上馨	吉井	明治 年6月7日		病臥中 今朝御蔵ノ小代へ依頼 昨日神田着東大略片付ケ終了 後日ノコトハ廉書渡シ置キ明後帰坂ノ予定				「631 世外侯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
631-2	井上馨書翰 松平〔親懐〕宛	井上馨	松平〔親懐〕	明治 年5月2日		出院日時通知				「631 世外侯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
631-3	井上馨書翰 玉乃世履宛	井上馨	玉乃世履	明治9年6月14日		井上高格一件同人妻心配 決議ノ模様香川罷出ツベキニ付オ洩ラシゴウ				「631 世外侯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
631-4	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治7年9月23日		高島石炭一条 後藤度々依頼伊藤ヨリ八未ダ返答ナシ 明日下坂 石炭山未解決ニテ出坂ハ貴兄・後藤ニ申訳ナシ 板垣出坂セハ懇話イタシタシ 炭坑一条相運ビ西下ノ節オ目ニカカリタシ				「631 世外侯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
631-5	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年4月15日		朋友ノ義務止ムヲ得ズ自分名ヲ以テ借用 明朝岡本一同御宅へ罷出テ証文認ムベシ				「631 世外侯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
631-6	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年4月15日		今朝岡本来リ切迫ノ様子 如何ノ都合ナリヤ				「631 世外侯書翰 巻一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
631-7	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年4月 18日		二十日差支エナシ				「631 世外侯書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
631-8	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年5月 16日		配慮感謝 明朝来駕ノヨシ不快中動坐無用 コレヨリ参上スベシ				「631 世外侯書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
631-9	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年6月 10日		頂戴ノトランク此者へオ渡シエウ				「631 世外侯書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
631-10	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年6月 11日		板垣へモ相談了承ノヨシ重畳 本日来駕ノヨシ同時刻先約アリ明日二願イタシ				「631 世外侯書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
631-11	井上馨書翰 野村素介宛	井上馨	野村素介	明治25年12月 20日		明日衆議院送付保安条例廃止案委員報告ノ日程 右条例ハ壯士輩取締リニ必要 明日ハ出院廃止案 否決ニ尽力願ウ			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「631 世外侯書翰 卷一」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
632	世外侯書翰 卷二				1巻	井上馨書翰 13通				詳細は632-1~13参照	
632-1	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年6月 15日		木戸ヨリ染井八雨天難渋ナレバ適當ノ場所見立テ申越シ 阿州邸ハ如何 同県両士ノ件山田へ催促 別紙返事アリ一人ダケ書キアゲ報アリタシ				「632 世外侯書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
632-2	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年7月 24日		今朝不気分 藤井へ参リ彼ノ一条問合セ 柳橋芳川屋へ滞在 陸氏貴宅へ参上セバー報乞ウ				「632 世外侯書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
632-3	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年8月 22日		オ願イノ棚拝領二車夫差出シ				「632 世外侯書翰 卷二」(1巻)の内	冊子複製版第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
632-4	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年9月 6日		料紙硯箱購入値引依頼				「632 世外 侯書翰 卷 二」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊
632-5	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年9月 10日		案内状				「632 世外 侯書翰 卷 二」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊
632-6	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治7年9月 24日		後藤ヨリ高島一件申越シ当惑 水害ノ懸念一五万 三ヶ年賦一割ニテハ才断リ申出 伊藤ト懇談次第 ニテハ一五万六ヶ年賦六分利位マデ見込アリ 両 所同道ニテ伊藤ヘ掛合ワレタシ 吉井申通りニテ オ引受ケ自由			「井上馨関係 文書(憲政史 編纂会収集文 書657~ 673)」収載	「632 世外 侯書翰 卷 二」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊
632-7	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年10 月16日		返答延引恐縮 大隈休暇他出 明夕同行イタスベ シ				「632 世外 侯書翰 卷 二」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊
632-8	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年11 月9日		岡本ノ終局如何 今朝福沢ヘ申シヤリ分り次第申 上ゲン オ話ノ有馬ソノ他人名判明セバオ考工モ アルベク一報願ウ 議論ヲ以テヤリ付ケ野蚕ノ所 業好マズ				「632 世外 侯書翰 卷 二」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊
632-9	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年11 月21日		来駕三野村宅ニテ待ツ				「632 世外 侯書翰 卷 二」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊
632-10	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年4月 25日		妻款待感謝 本日来駕ヲ待ツ				「632 世外 侯書翰 卷 二」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊
632-11	井上馨書翰 小室信夫宛	井上馨	小室信夫	明治 年10 月14日		大隈二面会 砂鉄山ノ一件相談間違イアリ弁解セ シトコロ協議セントノ運ビニ至リタリ 大隈ヘ同 道説明ニ罷出ツベク 処分見合セ方依頼				「632 世外 侯書翰 卷 二」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
632-12	井上馨書翰 益田孝宛	井上馨	益田孝	明治 年6月 8日		文台・硯箱未ダ落手セズ 催促				「632 世外 侯書翰 卷 二」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊
632-13	井上馨書翰 田中平八宛	井上馨	田中平八	明治30年12 月5日		創口未ダ癒エズ 別紙二冊返却 測量着手然ルベシ				「632 世外 侯書翰 卷 二」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊
633	世外侯書翰 卷三				1巻	井上馨書翰 8通				詳細は633- 1~8参照	
633-1	井上馨書翰 西村勝四郎宛	井上馨	西村勝四郎	明治 年9月 8日		斎藤・古沢借入金 別紙証書通り貸与乞ウ				「633 世外 侯書翰 卷 三」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊
633-2	井上馨書翰 岩村通俊宛	井上馨	岩村通俊	明治23年1月 16日		省務後始末恐縮 アンチモニー鉦山解約民事訴訟承知ナラン 藤田来書二伊藤・高島ヨリ償金判決憲法発布後ハ人民ノ行政損害補償無効 県庁經由農商務省へ請願 損害補償当然ノ注意 解約無理ハ承知ノ上藤田承諾 白根・勝間田二モ依頼 請願書提出セバ償金高保庇願ウ				「633 世外 侯書翰 卷 三」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊
633-3	井上馨書翰 柏村信宛	井上馨	柏村信	明治 年3月 16日		井関伝言拜承 明夕才出デ待ツ				「633 世外 侯書翰 卷 三」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊
633-4	井上馨書翰 杉孫七郎宛	井上馨	杉孫七郎	明治24年5月 11日		大津ノ変皇族一人才見舞 犯人急ギ断罪 至急警視総監・外相出張方宮相へ申入レ乞ウ			「井上馨関係 文書(憲政史 編纂会収集文 書657~ 673)」収載	「633 世外 侯書翰 卷 三」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊
633-5	井上馨書翰 九鬼隆一宛	井上馨	九鬼隆一	明治 年1月 26日		所有品ノ内五点小川写真師二撮影セシメオ届ケ				「633 世外 侯書翰 卷 三」(1巻) の内	冊子複製版 第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
633-6	井上馨書翰 星亨宛	井上馨	星亨	明治28年5月 23日		朴氏へ御面談 金宏集・魚允中退職セズ折合イヲ 付ケザレバ公使ノ説変更不可能ト説得アリタシ 讓歩説則チ魚氏ダケ云々ハ不可 仁尾等老台朴氏 加勢ノ疑念ヲ抱キテハ厄介			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「633 世外 侯書翰 卷 三」（1巻） の内	冊子複製版 第6冊
633-7	井上馨書翰 井上武子宛	井上馨	井上武子	明治22年3月 20日		西下消息			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「633 世外 侯書翰 卷 三」（1巻） の内	冊子複製版 第6冊
633-8	井上馨書翰 井上勝之助夫 妻宛	井上馨	井上勝之助夫 妻	大正4年3月5 日		近況 感懐			「井上馨関係 文書（憲政史 編纂会収集文 書657～ 673）」収載	「633 世外 侯書翰 卷 三」（1巻） の内	冊子複製版 第6冊
634	元徳公・松陰 先生・世外侯 筆蹟				1巻	毛利元徳筆蹟 1枚 吉田松陰書翰 1通 井上 馨書翰 1通 井上馨筆蹟 1通				詳細は634- 1～4参照	
634-2	吉田松陰書 翰 来島・小 田村・桂・久 保宛	吉田松陰	来島・小田 村・桂・久保	安政6年3 月 日		満身ノ憤懣早々死ヲ賜リタシ 杉藏母子ノ情不 満ナレド責メラレズ 杉藏母ヲ奉ズルコト御免ナ ケレバ未練アルマジ 武士ノ一覚悟御覽二人レタ シ				「634 元徳 公・松陰先 生・世外侯筆 蹟」の内	冊子複製版 第31冊
634-3	井上馨書翰 来島亀之進宛	井上馨	来島亀之進	元治元年8月 5日		昨夕山口出足馬関着 彼ヨリ砲撃シ来リ応戦 尊 兄モ山口ニ出デ諸隊ノ内ヲ預カリ奉公アルベシ				「634 元徳 公・松陰先 生・世外侯筆 蹟」の内	冊子複製版 第6冊
635	世外先生書 牘 写本 第 一冊				1冊	井上馨書翰芳川顕正宛 16通				詳細は635- 1～16参照	
635-1	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年 月 2日		都合ノ日時ニ一同集合シタシ				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
635-2	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年10 月24日		小田原屈服一期ダケ拝受ト伝承敬賀				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
635-3	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年5月 18日		田辺元老院へ転任 松方武井トノ交換ニテ承諾				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
635-4	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年11 月29日		来訪願ウ				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
635-5	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年1月 31日		例ノ会合何日頃ニナルヤ 野呂ヘイイ含メ出立見 合セオリ				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
635-6	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年9月 24日		玉川行打合せ				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
635-7	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年1月 4日		年賀平信				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
635-8	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治33(力)年 6月28日		北京政府ヨリ各国公使退去ノ公電 事態切迫首相 ニ忠告サレタルヤ				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
635-9	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年 月 6日		榎本ヨリ兩人招待 他言無用トナリ				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
635-10	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年7月 9日		金子辰三郎紹介 貝島炭山鉄道ニツキ願イノ筋配 慮乞ウ				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
635-11	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治33(カ)年 6月10日		松平局長調査報告並二小生経済意見吐露了承 日 取り連絡願ウ				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
635-12	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年1月 21日		神戸小野港海陸連絡計画二関シ棧橋会社ノ田中市 太郎へ才話シ願ウ				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
635-13	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年2月 9日		貝島願出専用ノ筋許可ノ指令支障アルマジク 意 向内報乞ウ				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
635-14	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年4月 3日		病中招待謝絶				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
635-15	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年2月 2日		松本病気会合延引了承 神戸ヨリ掛リ技師出京ニ ツキオ遣シ 小生承リテモ効ナク当事者会合然ル ベシ				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
635-16	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年2月 16日		松田道之建碑ノ件				「635 世外 先生書牘 写 本 第一冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
636	世外先生書 牘 写本 第 二冊				1冊	井上馨書翰芳川顕正宛 11通				詳細は636- 1~11参照	
636-1	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年8月 30日		本目内諭ノ由 参内田中二面会ノ上臨時総理一条 取計イ願ウ				「636 世外 先生書牘 写 本 第二冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
636-2	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治27(カ)年 4月5日		老台へ重荷申訳ナシ 励行問題少数二落スノ策鉄 道問題開会第一二提出スルノ策ヨロシカラシ 陸 奥ト連携アリタシ 望月ノコト 北海道御料山林				「636 世外 先生書牘 写 本 第二冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
636-3	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年4月 27日		細書送付モ伊伯目白訪問ノ後ニテ残念 堪忍周旋願ウ				「636 世外先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
636-4	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年7月 16日		伊藤総理ニカネテ談合ノ件話シタリ 老台ヨリモ弁明アリタラン				「636 世外先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
636-5	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治28年11 月11日		着韓報告 大院君				「636 世外先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
636-6	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年11 月16日		久次米銀行ノ件松方二面会セズ延引				「636 世外先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
636-7	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年7月 31日		援助依頼				「636 世外先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
636-8	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治29(力)年 10月2日		予算会議紛糾 陸軍費減少河上・児玉不承知 松方当惑自分ノ減費論採用ノ様子 桂ヨリ滞留依頼				「636 世外先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
636-9	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年7月 1日		来訪依頼				「636 世外先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
636-10	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治14年4月 17日		山梨・名古屋へ旅行 予算伺書ノ件才手数感謝				「636 世外先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
636-11	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年10 月21日		再度鹿鳴会ニ集会 内務卿モ同席ニテ懐柔セン				「636 世外先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
637	世外先生書牘 写本 第三冊				1冊	井上馨書翰芳川顕正宛 2通				詳細は637-1~2参照	
637-1	井上馨書翰芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治10年12月3日		欧州通信				「637 世外先生書牘 写本 第三冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
637-2	井上馨書翰芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治9年8月28日		アメリカ通信				「637 世外先生書牘 写本 第三冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
638	世外先生書牘 写本 第四冊				1冊	井上馨書翰芳川顕正宛 22通				詳細は638-1~22参照	
638-1	井上馨書翰芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年5月18日		小室へ同行金持参乞ウ				「638 世外先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
638-2	井上馨書翰芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年5月9日		角力見物誘イ				「638 世外先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
638-3	井上馨書翰芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年2月11日		仏公使面晤打合せ				「638 世外先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
638-4	井上馨書翰芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年8月10日		礼状				「638 世外先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊
638-5	井上馨書翰芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年 月28日		出遊謝絶				「638 世外先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
638-6	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年 月 13日		来遊請状				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-7	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年6月 13日		上野他行才取計イゴウ				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-8	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年4月 10日		案内受状				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-9	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年1月 31日		伝報供覧				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-10	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年9月 14日		大坂電信不通 公用ニテ通ジクダサレマジキヤ				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-11	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年10 月7日		ヨリエントラルバンクヘ利方書状見合せセウ				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-12	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年4月 5日		金策救助依頼				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-13	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年1月 4日		往訪申入レ				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-14	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年11 月25日		来訪依頼				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
638-15	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年1月 14日		案内				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-16	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年12 月9日		山県ト落合イ申入レ				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-17	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年5月 31日		松岡・江木ヨリ委員ノ傾向承知 伊藤二モ問合せ 中				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-18	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治27(カ)年 5月2日		老台へ代理負担閣議決定ノヨシヨロシク依頼				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-19	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治27年6月 4日		解散ノ順序遺憾 選挙ノ手順決定 松岡へモ下命 アレ				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-20	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治 年8月 31日		各所奔走恐縮 黒田伝言拜承				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-21	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治27年5月 16日		望月同志会工作ニ報償ノコト 土木局へ技監設 置 北海道事業費				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
638-22	井上馨書翰 芳川顕正宛 (写)	井上馨	芳川顕正	明治27年6月 11日		伊伯聴納辞表呈出中止スベシ 両院一色ニ変化ス ルノ事態眼前 伊伯ト講究希望				「638 世外 先生書牘 写 本 第四冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第6冊
639	含雪先生書 牘 写本 第 一冊				1冊	山県有朋書翰芳川顕正宛 16通				詳細は639- 1~16参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
639-1	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治22年5月22日		(ウィーンヨリ) 李国実情ヨリ郡制府県制意見				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
639-2	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治22年6月22日		(ベルリンヨリ) 府県会郡会意見				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
639-3	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治22年6月22日		(ベルリンヨリ) 憲法発布後ノ国内報道ニツキ所感				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
639-4	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治22年2月16日		(パリヨリ) 仏国政情 森殺害後報ヲ待ツ				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
639-5	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治22年1月16日		(パリヨリ) 巴里着 地方制度他調査言語不熟難渋 都築挙用依頼 陸軍教師雇継難色				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
639-6	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治21年12月14日		海上平信				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
639-7	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年10月23日		官舎へ来訪求ム				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
639-8	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年6月20日		招待受取消シ伝言依頼				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
639-9	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年9月10日		水道布設補助費上奏 御覧中ノ御沙汰ナリ				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
639-10	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治24(力)年5月2日		小生ノ意見次第ニテ松方御請ケノヨシ 相談ニ臨席乞ウ				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
639-11	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年7月16日		同行謝絶				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
639-12	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治24年5月11日		辞表取纏メ奉呈 老兄枢密顧問官転任予定				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
639-13	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治24(力)年7月11日		行義二ツキ文相・内相訪問 留守ニテ農商務大臣訪問 同相同意見文相へ申入レノ予定				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
639-14	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年6月15日		眼病見舞				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
639-15	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年8月25日		平信				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
639-16	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治24(力)年7月12日		行義一件文相面晤氷解				「639 含雪先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640	含雪先生書牘 写本 第二冊				1冊	山県有朋書翰芳川顕正宛 26通				詳細は640-1~26参照	
640-1	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年 月 日		安野勇帰省中出頭不能				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
640-2	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年9月17日		礼状				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640-3	山県有朋書翰 芳川・中井宛 (写)	山県有朋	芳川・中井	明治 年8月13日		案内状				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640-4	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年1月11日		平信				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640-5	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年11月29日		新発明ノ電機試験出港日取申入レ				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640-6	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年6月3日		品川寅三紹介				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640-7	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年4月1日		清国内地旅行ノ件命ノゴトク外務卿ヘ一書差出スベシ				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640-8	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年4月1日		招待状				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640-9	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年4月9日		病氣不参				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640-10	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年5月2日		招待謝絶				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
640-11	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年4月 12日		微恙来訪願イ				「640 含雪 先生書牘 写 本 第二冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
640-12	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年10 月2日		往訪都合問合せ				「640 含雪 先生書牘 写 本 第二冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
640-13	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年7月 10日		来電廻付				「640 含雪 先生書牘 写 本 第二冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
640-14	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年12 月17日		遠乗り誘イ				「640 含雪 先生書牘 写 本 第二冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
640-15	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年6月 29日		電信技手昇給検印了				「640 含雪 先生書牘 写 本 第二冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
640-16	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年7月 4日		別電廻付 北陸鉄道一件大鳥卜検討願ウ				「640 含雪 先生書牘 写 本 第二冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
640-17	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年9月 27日		関西行内務卿へ通知 検査院一事上申書一閱至急 所置スベシ				「640 含雪 先生書牘 写 本 第二冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
640-18	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年9月 20日		来訪依頼				「640 含雪 先生書牘 写 本 第二冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
640-19	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治17(カ)年 10月1日		関西行決定ノヨシ 辞令用意スベシ				「640 含雪 先生書牘 写 本 第二冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
640-20	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年9月22日		出席通知				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640-21	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年1月30日		招待状				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640-22	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年11月20日		来訪依頼				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640-23	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年2月8日		陸奥ヨリ警察ノ一事談アリ 清浦へ和歌山県他才示シノコトナルベシ				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640-24	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年6月24日		秘書官昇給ノ件秋月・長田詮議ナシ影響アランカ				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640-25	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年 月6日		蜂須賀一条略決定模様				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
640-26	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年4月3日		森大臣ヨリノ別書供覧 高知県知事出発先日ノ事情伝達シ得ズ				「640 含雪先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
641	含雪先生書牘 写本 第三冊				1冊	山県有朋書翰芳川顕正宛 12通				詳細は641-1~12参照	
641-1	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年12月20日		来訪依頼				「641 含雪先生書牘 写本 第三冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
641-2	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年4月 22日		衍義脱稿上奏ノヨシ 自分身上配慮感謝 春畝帰 京評議参加肝要				「641 含雪 先生書牘 写 本 第三冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
641-3	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年2月 16日		来訪依頼				「641 含雪 先生書牘 写 本 第三冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
641-4	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年5月 1日		昨日来ノ状況第三策二落着カ 西郷ヨリハ報道ナ シ 内決セバ報道アラン				「641 含雪 先生書牘 写 本 第三冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
641-5	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年1月 21日		閣員更迭老閣ヲ後任ノ説 今日ノ形勢ヨリ不可ヲ 説キ老閣之ヲ聞ク シカモ後任決セズ申訳ナシ				「641 含雪 先生書牘 写 本 第三冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
641-6	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年4月 28日		井上へ陳弁クダサレ鳴謝 井上ニ対シテハ申訳ナ キコト不本意ノ至リ				「641 含雪 先生書牘 写 本 第三冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
641-7	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治29(力)年 4月16日		函館控訴院検事長後任ニ今井良一如何 今井八弄 花事件デ辞職氣ノ毒				「641 含雪 先生書牘 写 本 第三冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
641-8	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治28年1月 11日		出師半途ニテ病氣帰国遺憾 議会平穩大賀 講和 使節着到近カランモ談判好結果困難カ				「641 含雪 先生書牘 写 本 第三冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
641-9	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年2月 6日		京鶴鉄道困難ノ事情 坂鶴鉄道連続二変更トカ 確タル指令京都市長池ヨリ陳情アリ				「641 含雪 先生書牘 写 本 第三冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊
641-10	山県有朋書 翰 芳川顕正 宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年10 月6日		予算概略談合伝聞 建野書翰供覧				「641 含雪 先生書牘 写 本 第三冊」 (1巻)の内	冊子複製版 第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
641-11	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年11月20日		朝比奈談話一条通報感謝 此上八目的達セシムル外ナシ				「641 含雪先生書牘 写本 第三冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
641-12	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治32(力)年1月31日		国有鉄道論結果如何				「641 含雪先生書牘 写本 第三冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
642	含雪先生書牘 写本 第四冊				1冊	山県有朋書翰芳川顕正宛 12通				詳細は642-1~12参照	
642-1	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治32(力)年1月12日		鉄道国有論事情伝承 意見具陳イタシタシ				「642 含雪先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
642-2	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年7月16日		首相老兄ノ論旨ト同ジ 先日藤侯ト談論ノ問題誤聞介入アルカ 熟談ヲ遂ゲラレタシ				「642 含雪先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
642-3	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年2月3日		品川老生ノ使命ヲ帯ビ松方訪問ノ日本新聞記事ハ事実無根 枢相ヘ弁明乞ウ				「642 含雪先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
642-4	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年1月6日		年賀応答				「642 含雪先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
642-5	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治33年8月 日		還曆祝イ返礼				「642 含雪先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
642-6	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年7月16日		小集延期通知				「642 含雪先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
642-7	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年5月1日		例会案内				「642 含雪先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
642-8	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年1月20日		集会案内				「642 含雪先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
642-9	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治28年2月7日		威海衛陥落ノ大勢 講和使委任権不全ニテ退去中山秘書官転任高配願ウ				「642 含雪先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
642-10	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治29年4月22日		朝鮮紛議一段落 日露協商目算立チ慶賀 内閣ノ政党関連懸念				「642 含雪先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
642-11	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治29(力)年3月3日		今井鉄太郎身上依頼				「642 含雪先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
642-12	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年12月1日		令嬢婚儀慶賀 詩懷				「642 含雪先生書牘 写本 第四冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
643	含雪先生書牘 写本 第五冊				1冊	山県有朋書翰芳川顕正宛 16通				詳細は643-1~16照	
643-1	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年9月4日		京坂鉄道東山横断路線二ツキ検討依頼				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
643-2	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年1月28日		平信				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
643-3	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治31(力)年6月28日		探偵者取締訓令オ示シ多謝				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
643-4	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治31(力)年11月24日		日本丸試験運転延期依頼				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
643-5	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年12月4日		県併合ニ対シ高見感謝				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
643-6	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年12月22日		病氣參堂叶ワズ				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
643-7	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年1月12日		地租二分五厘政府諸省定額削減ニ混雜ノ模様 小林雄七郎任用ノ件				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
643-8	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年8月17日		例会案内				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
643-9	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治38(力)年8月31日		満州視察私見供覧				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
643-10	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年11月26日		自治制創設以来ノ概要書ヘ加筆クダサレタルヤオスミナレバ返却乞ウ				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
643-11	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治37(力)年7月29日		未知ノ安養寺住僧ヨリ別簡接手 戦争終局ヲ見ザルウチ妄想ヲ逞ウスル禍害恐ルベシ				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
643-12	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年1月29日		用談希望				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
643-13	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治38年3月6日		議院無事閉会慶賀 病臥中來訪失敬				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
643-14	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年2月27日		令息死亡弔意				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
643-15	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年6月26日		東京市制改革案落手 私見具陳セシ 概要供覧				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
643-16	山県有朋書翰 芳川顕正宛 (写)	山県有朋	芳川顕正	明治 年4月5日		病氣不参				「643 含雪先生書牘 写本 第五冊」(1巻)の内	冊子複製版第30冊
644	春畝先生書牘 写本 第一冊				1冊	伊藤博文書翰芳川顕正宛 25通				詳細は644-1~25参照	
644-1	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治5(力)年12月28日		辞意伝承 用談來訪乞ウ				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
644-2	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治5(力)年12月29日		老兄辞官発表見合セ大隈へ依頼 面談希望				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
644-3	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治7年1月14日		工部大丞拜命ノ上手順見込ニ				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第7冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
644-4	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年8月8日		松田宣哲就職依頼				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-5	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年10月28日		洋銀相場回復 紙幣モ旧位ニ復セン				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-6	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治9年10月25日		熊本電信ニテ至急問合せギウ				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
644-7	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年 月22日		平信				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-8	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年7月11日		平信				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-9	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治8(力)年8月24日		前島駅通頭示談ノ神戸・長崎電信駅逓合併建築米政府郵便局引払ノ約定成リ至急打合せギウ				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
644-10	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年4月2日		送別会案内				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-11	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年8月26日		製鋼草案紛失 再度起筆ヲ乞ウ				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-12	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年8月29日		平信				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
644-13	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年10月22日		馬関返電待ツ 返事ナケレバ途中事故アラン				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-14	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年12月27日		佐々木先生へ照会拝承 大臣公へ話シ置ケリ				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-15	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年6月4日		招待拝受				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-16	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治17(力)年10月28日		地方官小集開催 船越他へモ通知乞ウ				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
644-17	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年8月29日		仏軍艦隠岐へ入港電報拝受 同地無防備 電線開通着手要				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-18	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年1月23日	1通	用談来訪乞ウ				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-19	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年1月24日		昨夕ノ凶事愁傷 郵船便ニテ御苦勞鳴謝				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-20	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年 月19日		用談来訪依頼				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-21	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年3月24日		大臣官舎へ来車乞ウ				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
644-22	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年9月11日		三好正一電信技術生徒へ組込依頼				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-23	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年1月24日		老兄旅行親王・条公共賛成 明日拝命力				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-24	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年5月4日		遣外公使招請手配乞ウ				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
644-25	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治21(力)年5月14日		中島作太郎保安条例ヨリ除外依頼				「644 春畝先生書牘 写本 第一冊」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
645	春畝先生書牘 写本 第二冊				1冊	伊藤博文書翰芳川顕正宛 16通				詳細は645-1~16参照	
645-1	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年2月16日		海屋書帖二関シ				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
645-2	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年10月31日		脚気病二ツキ高木海軍医監講演 地方官一同参集方手配乞ウ				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
645-3	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治23年8月28日		高等教育二関スル意見書敬服 議長論八迴避山県二説得願ウ 南貞介動続二関シ陸奥言動イブカシ				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第7冊
645-4	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年7月21日		礼状				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
645-5	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治26年10月21日		来話要旨律東巳代治二相談 判事告訴セバ起訴セザルヲ得ズトノ意見 同人警視小倉二談合ノ土オ訪ネスベシ				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
645-6	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治26年10月20日		文相ニヨレバ貴察ノ如ク古荘ノ密告ニ出ルトイウ コレマデノ伝承トハ相違細報ヲ待ツ				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
645-7	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年8月14日		出席通知				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
645-8	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治31(カ)年1月21日		台湾事務局内務省へ移転変更ハ困難 各省局ト違イ書記官ハ特例トスル外ナシ				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
645-9	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治27(カ)年5月25日		協同会社ノ件委員会説明報知感謝				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
645-10	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治29(カ)年2月9日		都筑上奏取計イタリ 閣議済ミノコト異議ハ意外 内務拜任ノ上ハ我低者ノ勝手ヲ注意セラレタシ				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
645-11	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治33(カ)年8月24日		板東出京連絡乞ウ 明日発表二間ニ合ワズトモ創立委員中ニ加入				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
645-12	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年5月12日		不参通知				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
645-13	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年3月7日		兵庫県有志蚕糸取引所設立 法規不案内検事告訴再審中 周布知事二聞合セ清浦・検事総長等ハ周旋乞ウ 神田兵右衛門				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
645-14	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治 年4月24日		李・権等ノ予審進行通知感謝 放免然ルベカラズ 外相ヘモ通知アリタシ				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
645-15	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治36年3月17日		鉄道局長松本荘一郎危篤 富田鉄之助等叙爵ノ運動 技師等奨励ノ上ニ得策力				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
645-16	伊藤博文書翰 芳川顕正宛 (写)	伊藤博文	芳川顕正	明治34年6月18日		懇招拝謝 英皇即位式二公使館ヘ礼問予定				「645 春畝先生書牘 写本 第二冊」(1巻)の内	冊子複製版第8冊
646	伊藤公書柬写本				1冊	伊藤博文書翰 2通			(注) 卷子本書翰ト同文		
647	三条公書柬写本				1冊	三条実美書翰 22通			(注) 卷子本書翰ト同文		
648	大久保公書翰写本				1冊	大久保利通書翰 7通			(注) 卷子本書翰ト同文		
649	木戸公書簡写本				1冊	木戸孝允書翰 28通			(注) 卷子本書翰ト同文		
650	木戸公書柬写本				1冊	木戸孝允書翰 43通			(注) 卷子本書翰ト同文		
651	山田伯書簡・黒田伯書簡写本				1冊	山田顕義書翰 1通 黒田清隆書翰 22通			(注) 卷子本書翰ト同文		
651-22	黒田清隆書翰 井上馨宛 (写)	黒田清隆	井上馨	明治24年9月4日		伯爵議員補欠選挙二島津忠亮推薦				「651 山田伯書簡・黒田伯書簡 写本」(1巻)の内	冊子複製版第15冊
652	諸名家之書翰 一卷				1巻	桂太郎書翰 1通 原敬書翰 1通				詳細は652-1~2参照	

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
652-1	桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨	明治44年8月 10日		内閣二入レシ政変ノ件追々世上ノ問題トナリ 決心ノ上ハ猶予面白カラズ 月末迄ニ決行ノ予定 中央補助ノ件貴命ニ從ワンモ政変問題差迫リ ソノ結着マデ猶予願ウ				「652 諸名家之書翰 一巻」(1巻)の内	冊子複製版 第12冊
652-2	原敬書翰 井上馨宛	原敬	井上馨	大正4年4月 13日		興津招宴出席通知			「井上馨関係文書(憲政史編纂会収集文書657~673)」収載	「652 諸名家之書翰 一巻」(1巻)の内	冊子複製版 第3冊
書類の部											
憲法・議会											
653	憲法取調方法 意見 岩倉具 視 有栖川宮 熾仁・三条実 美宛 [...]										
653-1	憲法取調方法 意見 岩倉具 視 有栖川宮 熾仁・三条実 美宛			明治14年7月 5日	1綴			墨書			冊子複製版 第34冊
653-2	憲法中綱領之 議上奏案 〔井上毅〕			明治14年6月	1綴			墨書			冊子複製版 第34冊
653-3	欽定憲法考 井上毅			明治14年6月	1綴			墨書			冊子複製版 第34冊
653-4	意見 第一・ 第二・第三合 冊 〔井上 毅〕			明治14年6月	1綴			墨書			冊子複製版 第34冊
653-5	井上毅・ルス レール氏推 問 李国執政 責任ノ件			明治14年6月	1綴			墨書			冊子複製版 第34冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
653-6	英仏普内閣制論説抄訳			明治14年6月	1綴	英国内閣（ブローク氏）・仏国宰相責任（カバンツー氏）・同（ブーフ氏）・国法汎論（ブロンチユリー氏）		墨書			冊子複製版第34冊
653-7	日本二憲法ヲ布クノ議〔クルメツキ〕			明治20年12月	1綴			墨書	（注）秘書類纂憲法資料下巻所収 クルメツキ氏日本憲法ノ施行ニ関スル意見書ノ異訳		冊子複製版第34冊
653-8	日本憲法ニ付 墺国法学博士「スタイン」ノ談話 米国前国務大臣「ブレイン」ノ談話			明治22年11月27日・明治22年8月23日	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第34冊
653-9	日本憲法ニ付 仏国元老院議長秘書官兼巴里大学教授「ルボン」ノ意見			明治23年1月26日	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第34冊
653-10	日本憲法ニ付 英国「スペンサー」ノ談話			明治23年3月2日	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第34冊
653-11	日本憲法ニ関スル英国ブライス氏ノ意見			明治23年4月5日	1綴			墨書	（注）秘書類纂憲法資料上巻所収アイ・ブライス氏日本憲法私見ノ異訳		冊子複製版第34冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
653-12	日本憲法ニ関スル英国「ケンブリチ」大学教授「セジウイク」氏意見				1綴			墨書	(注) 秘書類纂憲法資料上巻所収シドウワック日本憲法私見ノ異訳		冊子複製版第34冊
653-13	日本憲法ノ財政篇ニ関スル欧米学士ノ意見				1綴	英国「オクスフォルド」大学校憲法学教授「ダイセー」氏ノ意見・英国「ケンブリッチ」大学校政治学教授「セヅウイグ」氏ノ意見・英国前外務次官下院議員兼「オクスフォルド」法律学教授「ブライス」氏ノ意見・米国「ハーバード」大学憲法学教授「サヤー」氏ノ意見・英国財政案ノ実況		蒟蒻版			冊子複製版第34冊
653-14	日本憲法ニ付米国大審院判事(前「ハーバード」大学教授)「ホームズ」ノ意見				1綴			蒟蒻版			冊子複製版第34冊
653-15	予算問題 山県有朋			明治24年	1綴	憲法第六十七条問題意見書		墨書			冊子複製版第34冊
653-16	伊東巳代治書翰(写) 山県総理大臣宛			明治24年1月10日	1綴	憲法第六十七条問題 解釈意見		墨書			冊子複製版第34冊
653-17	国会説				1綴	尚早論 明治一〇年代力		墨書			冊子複製版第34冊
政治一般											
654	意見書 井田義鉄 山県宛 [...]										
654-1	意見書 井田義鉄 山県宛			明治3年11月	1綴	国憲樹立意見		墨書			冊子複製版第34冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
654-2	元玉造組・武器組・破損方・町奉行組・川口組所属者身上調			明治3年	1綴			墨書			冊子複製版第34冊
654-3	九州巡察使随 行報告			明治4年4月 12日	1通			墨書	前文欠 筆者 八巡察使四条 隆詞二随従シ 夕山口藩大属 山根忠主力		冊子複製版 第34冊
654-4	人事探索書 荘村省三			明治4年9月8 日	1綴	米田虎雄・安場一平言行ソノ他		墨書			冊子複製版 第35冊
654-5	存寄書			明治4年11月	1綴	旧藩知事ヲ其藩地ニ返スコトソノ他		墨書			冊子複製版 第35冊
654-6	福沢門人各県 派出国会演説 大意 伊藤参 議ヨリ到来			明治14年6月	1綴			墨書			冊子複製版 第35冊
654-7	施策覚書 〔井上馨〕			明治21年7月	1通	黒田内閣入閣ニツイテノ廉書		墨書			冊子複製版 第35冊
654-8	内展書類 秘 書官			明治21年10 月ヨリ	1綴	農商務大臣電文ソノ他内展書類綴		墨書			冊子複製版 第35冊
654-9	辞表控 農商 務大臣井上 馨 内閣総理 大臣黒田清隆 宛			明治22年10 月	1枚			墨書			冊子複製版 第35冊
654-10	特別市制反対 運動情報			明治22(力)年	1通	三府市長・助役知事任命案反対運動大阪情報		墨書			冊子複製版 第35冊
654-11	政府ト議會ト ノ衝突ヲ処分 スル意見			明治26(力)年	1綴			墨書 貴族院 罰紙			冊子複製版 第35冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
654-12	上奏ニ対シ勅答ヲ下シ賜フヘカラサル理由			明治26(カ)年	1綴			墨書 貴族院 罫紙			冊子複製版 第35冊
654-13	貴族院ニ対スル政策〔金子堅太郎カ〕			明治27年	1綴			墨書 貴族院 罫紙			冊子複製版 第35冊
654-14	秘密 三田尻襟記 乾 従 明治二二年九月一四日至同一〇月二〇日 電文（解読付）綴				1綴			墨書			冊子複製版 第36冊
654-15	秘密 三田尻襟記 坤 従 明治二二年一〇月一九日至同一一月一七日 電文（解読付）綴				1綴			墨書			冊子複製版 第36冊
654-16	立憲政友会創立関係一件			明治33年9月	1綴	財界人案内状 渋沢栄一 九月八日・案内名簿・伊藤博文挨拶		墨書・活版			冊子複製版 第36冊
654-17	井上・黒田会見要録（写）			明治24年9月11日	1綴			墨書 枢密院 罫紙			冊子複製版 第36冊
654-18	河野敏謙内務大臣就任経緯内報（写）			明治25年7月15日	1綴			墨書 枢密院 罫紙			冊子複製版 第36冊
654-19	政情内報（写）			明治25年6月19日	1綴	伊東巳代治ヨリ井上宛報告書翰（署名自筆） 保安条例実施 副島辞職議会 松方総理辞職ノ意		墨書 枢密院 罫紙			冊子複製版 第37冊
654-20	意見書 竹越与三郎・岡崎邦輔 井上宛			明治32年7月17日	1綴	山県内閣政党ト激突ヲ憂慮 意見聴取ヲ希望		墨書			冊子複製版 第37冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
654-21	内談書 福沢諭吉 井上馨・伊藤博文宛			明治14年10月14日	1冊	大隈・伊藤・井上ヨリ国会開設ヲ見込ミ新聞紙発行依頼ノ経緯 大隈罷免 新聞発行不発ニテ迷惑 塾出身者ニ対スル不当処遇保護ヲ要求(署名・名宛自筆)		墨書			冊子複製版第37冊
654-22	意見書 粟屋景明 井上馨宛			明治34年2月27日	1綴	上院ノ伊藤内閣増税案ヲ否議スルヲ排議		墨書			冊子複製版第37冊
654-23	入閣勧誘ニ対シテノ意見 井上馨			明治25年8(カ)月	1綴			墨書			冊子複製版第37冊
民権運動											
655	自由党探索密報綴 [...]										
655-1	自由党探索密報綴			明治17年4月-9月	1綴	妓楼通俗演説会ノ景況 赤沢常容・高島伸二郎・奥宮健之ソノ他黨員動静探索報告		墨書			冊子複製版第37冊
655-2	自由新聞社探報			明治17年9月10日	1綴	清仏事件ニ対スル社内論議探報		墨書			冊子複製版第37冊
655-3	改進黨情報			明治17年10月31日報	1綴	改進黨星亨ノ挙動ヲ注目スルコト		墨書			冊子複製版第37冊
655-4	爆烈党探報			明治18年5月	1通			墨書			冊子複製版第37冊
655-5	大同派情報報告 警視庁・大阪府・新潟県報告			明治22年10月	1綴			墨書			冊子複製版第37冊
大隈内閣											
656	井上侯・大隈伯第一会見記 [...]										
656-1	井上侯・大隈伯第一会見記			大正3年4月10日	1綴	外交問題ニ関スル対談記録		墨書			冊子複製版第37冊
656-2	井上侯・大隈伯第二会見記			大正3年4月18日	1綴	政党問題ニ関スル対談記録		墨書			冊子複製版第37冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
656-3	井上侯・大隈伯第三会見記			大正3年5月20日	1綴	政党・外交問題二関スル対談記録		墨書			冊子複製版第37冊
656-4	井上馨・加藤高明談話要点			大正3年4月11日	1綴	大隈内閣成立二際シテノ談合		墨書			冊子複製版第37冊
656-5	欧州大戦二際シ井上馨意見			大正3年8月9日	1通	当面ノ外交方策 山県・大隈へ具陳ノ談話筆記		墨書			冊子複製版第37冊
656-6	井上ヨリ伯へノ使命			大正3(力)年	1枚	井上ヨリ大隈へ伝達要領		墨書			冊子複製版第37冊
656-7	大隈内閣政綱			大正3年	1通	大隈首相ガ大正三年五月一五日地方長官会議ニ於イテ発表ノ政綱		墨書			冊子複製版第37冊
656-8	大隈内閣財政政策			大正3年	1通	地方官会議ニ於ケル政綱発表ノ後若槻蔵相ノ説明セシ財政政策ナルベシ		墨書			冊子複製版第37冊
656-9	時局以来ノ往復要領			大正3年	1綴	八月七日-九月一六日 井上使者トシテ望月小太郎ガ政界往復ノ要領		墨書			冊子複製版第37冊
656-10	比利賓買収二関スル上書 杉山茂丸 内閣総理大臣大隈重信宛			大正4年2月15日	1綴			謄写			冊子複製版第37冊
656-11	秘書 大隈重信・大浦兼武・尾崎行雄連署			大正4年2月20日	1綴	大隈内閣施政方針・農業二関スル方針・国有林野売払等ノ方針・御料地払下ノ方針	大隈重信書翰 井上宛 添状 2月20日付 1通	墨書			冊子複製版第37冊
656-12	内務大臣大浦兼武辞表写			大正4年7月29日	1通			墨書			冊子複製版第37冊
656-13	総理大臣大隈重信辞表写			大正4年7月30日	1通			墨書			冊子複製版第37冊
656-14	電報 井上宛			大正4年8月3日	1枚	山県・大山・日高秘書官大隈訪問		謄写			冊子複製版第37冊
656-15	覚書			大正4年8月3(力)日	1通	大隈留任問題 内大臣日高秘書官電話報告		墨書			冊子複製版第37冊

行政1 (明治初年)

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
657	租税司職制 租税司 [...]										
657-1	租税司職制 租税司			明治3年8月	1綴	職制・職員令・処務条例		墨書			冊子複製版 第38冊
657-2	監督司〔大蔵 省〕職制			明治3年11月	1綴	職制・職員・処務規程		墨書			冊子複製版 第38冊
657-3	営繕司中旧習 改革之大概 営繕司			明治3年12月	1綴			墨書			冊子複製版 第38冊
657-4	官員俸給表			明治3年	1枚			墨書			冊子複製版 第38冊
657-5	定則官禄表・ 禄税貢納規則			明治3年	1綴			墨書			冊子複製版 第38冊
657-6	執務建言書 営繕権大佑吉 富篤敬 井上 大蔵少輔宛			明治4年3月	1綴			墨書			冊子複製版 第38冊
657-7	通商司跡地払 下願 小野・ 島田・三井各 名代ヨリ東京 府宛			明治4年7月	1綴			墨書			冊子複製版 第38冊
657-8	通商司跡地請 取り延期通牒 写 東京府 大蔵省宛			明治4年8月 13日	1綴			墨書			冊子複製版 第38冊
657-9	出納納金猶予 願 通商司廃 止二件イ残金 年賦納入願			明治4年8月	1綴			墨書			冊子複製版 第38冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
657-10	官制改革意見 大蔵少輔伊藤博文 大隈大蔵大輔・井上民部少輔宛			明治4年7月8日	1綴			墨書 大坂出張大蔵省罫紙			冊子複製版第38冊
657-11	従前之不抛官禄月給立法表			明治4年7月	1枚			墨書			冊子複製版第38冊
657-12	民部省事務章程(断片)			明治4年7月	1綴			墨書			冊子複製版第38冊
657-13	海関税所管外務省ヨリ大蔵省へ移管意見 大蔵省(古水簡一稿)			明治4年8月	1綴			墨書			冊子複製版第38冊
657-14	神奈川県兵廃止ボリス取建方向大蔵卿大久保利通・大蔵大輔井上馨 正院宛			明治4年9月12日	1綴			墨書			冊子複製版第38冊
657-14	新島原遊廓貸金滞留一件										
657-15-イ	貸金滞出入御添簡願書 三井御用所 大蔵省宛			明治4年9月	1綴						冊子複製版第38冊
657-15-ロ	訴訟書 三井御用所 司法省宛			明治4年9月10日	1綴						冊子複製版第38冊
657-16	採用願 グリエル 井上宛			明治4年11月19日	1綴			墨書 大蔵省罫紙			冊子複製版第38冊
657-17	政始上呈書類 出納頭			明治4年12月30日	1綴	出納寮所管諸決算報告書		墨書			冊子複製版第38冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
657-18	建議草稿			明治4(力)年	2綴	二官六省合併之事 八百万石ヲ先ンジ藩政ヲ後ニスル事 諸藩預所廃止 官員定限 度量衡改正 法律ノ目的有之度事議事院ヲ改ル事 福岡藩匱札 始末		墨書			冊子複製版 第38冊
657-19	昇進案			明治4年	1綴			墨書 大蔵省 罫紙			冊子複製版 第38冊
657-20	大蔵省内諸通牒綴			明治4・5年	1綴			墨書			冊子複製版 第38冊
657-21	国内政情並二所管事項報告 井上大蔵大輔 大久保大蔵卿・伊藤工部大輔宛			明治5年6月10日	1綴			墨書 大蔵省 罫紙			冊子複製版 第38冊
657-22	昇級名簿			明治5年7月	1枚			墨書 大蔵省 罫紙			冊子複製版 第38冊
657-23	地方官会同ノ議事條款二閱シ稟申 熊谷大蔵少丞 井上大輔・渋沢正五位宛			明治5年10月	1枚			墨書			冊子複製版 第38冊
657-24	文書繁冗ナルヲ議ス 省中文書取扱稟申				1綴			墨書 民部省 罫紙			冊子複製版 第38冊
657-25	会同局〔大蔵省〕事務章程				1綴			墨書			冊子複製版 第38冊
657-26	市中凡取調書				1綴	市中取締関係改正意見		墨書			冊子複製版 第38冊
657-27	奥山正吾他二名探索書 江原靖造			明治5年8月	1綴			墨書			冊子複製版 第38冊
657-28	結城芳五郎探索書			明治5年	1綴			墨書			冊子複製版 第38冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
657-29	東京探索書			明治5年5月	1綴	旧加州藩士動静		墨書			冊子複製版第38冊
657-30	書式用紙見本				1綴						冊子複製版第38冊
行政2（明治10年以後）											
658	運送費精算手続書 御巡幸会計掛 [...]										
658-1	運送費精算手続書 御巡幸会計掛			明治11年12月6日	1綴			墨書			冊子複製版第39冊
658-2	省卿宣下達写			明治12年9月10日・明治23年2月28日	1綴			墨書			冊子複製版第39冊
658-3	意見書 農商務省商務局長 斎藤修一郎 農商務大臣岩村通俊宛			明治23年1月	1冊	大臣訓示二対スル商工政務意見		墨書			冊子複製版第39冊
658-4	会計検査院交渉事項口演			明治24年	1綴	逓信事業費入札問題二関スル会計検査院ト逓信省交渉事項 逓信大臣提出閣議資料		活版			冊子複製版第39冊
658-5	地方長官会議二於ケル訓示 内務大臣井上馨			明治25(力)年	1綴			墨書 内務省 罫紙			冊子複製版第39冊
658-6	愚見 火野禎三（新潟県平民） 内務大臣井上馨宛			明治25年9月7日	1綴	内務行政二ツキ上申		墨書			冊子複製版第39冊
658-7	警察官任用制二付上申書 警視武久克造 内務大臣井上馨宛			明治26年3月24日	1綴			墨書			冊子複製版第39冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
658-8	内務省官制他 内務省関係諸 官制改正案			明治26年	1綴	内務省官制・臨時建築職職員・衛生試験所官制・ 土木監督署官制・中央气象台官制・集治監仮留監 官制・警視庁官制・北海道集治監官制・地方官官 制・地方官庁ノ発スル命令公布式		蒟蒻版			冊子複製版 第39冊
658-9	福岡県知事山 田為喧弾議 進藤喜平太他 四名 内務大 臣井上馨宛			明治26年3月	1綴			墨書			冊子複製版 第39冊
658-10	明治二七年度 内務省所管予 定経費要求書				1冊			謄写			冊子複製版 第39冊
658-11	明治二七年度 内務省所管予 定経費要求書 各目明細書				1冊			謄写			冊子複製版 第40冊
658-12	次官ト総務局 長トヲ分立セ シムルノ議				1綴			墨書			冊子複製版 第41冊
658-13	行政改革意見			〔明治32(力) 年〕	1綴		伊藤博文書翰 井上 伯爵宛 添状 12月 19日付	墨書	(注) 第一葉 二貼付サレタ 伊藤添状二別 紙復命書呈上 トアルモ別紙 二相当スル本 文八復命書ト 認メガタシ 別物ナラン		冊子複製版 第41冊
地方行政											
659	松代藩職制表 [...]										
659-1	松代藩職制表				1枚			墨書			冊子複製版 第41冊
659-2	内翰			〔明治2(力) 年〕	1綴	長崎府改革問題ニ付崎地ヨリ井上宛書信		墨書			冊子複製版 第41冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
659-3	事務成功表 京都府			明治3年	1枚			活版			冊子複製版 第41冊
659-4	演説之覚 浜 田県権知事 佐藤信寛			明治4年9月 20日	1霞	県治建言書		墨書 浜田県 野紙			冊子複製版 第41冊
659-5	東生為国建言			明治4年8月1 日	1綴	山梨県下村政二関シテ		墨書			冊子複製版 第41冊
659-6	民情如何二答 フルノ書 静 岡県警部長香 取新之助 内 務卿山田顕義 宛			明治15年5月	1冊			墨書			冊子複製版 第41冊
659-7	里正村長犯罪 処置之儀伺 小菅県 刑部 省宛			明治4年5月	1綴		条例 明治4年8月	墨書			冊子複製版 第41冊
659-8	広島一揆探知 報告書 謀者 九十郎			明治4年9月	1綴			墨書			冊子複製版 第41冊
659-9	議事大意条 例 大津県			明治5年	1綴	大津県庁達（正月）・議事大意条例（正月）・第 一会議案（三月六日）・第二会議案（三月）		墨書・活版			冊子複製版 第41冊
659-10	滋賀県職制			明治5年1・2 月	1綴		県庁事務条例・出庁 事務大意規則	活版			冊子複製版 第42冊
659-11	滋賀県令松田 道之告示			明治5年2月	1綴	県官吏二対スル告示		活版			冊子複製版 第42冊
659-12	旧島原藩田町 門一件			明治5年7月	1綴	大蔵省ヨリ陸軍省へ掛合案 長崎県ヨリ大蔵省宛 伺 絵図面 山県陸軍大輔ヨリ大蔵省宛通牒		墨書			冊子複製版 第42冊
659-13	山梨県動揺報 告通牒 山尾 工部少輔 井 上大蔵大輔宛			明治5年8月 27日	1綴			墨書 工部省 野紙			冊子複製版 第42冊
659-14	山梨県管下閩 込二付書上			明治5年8月	1綴			墨書			冊子複製版 第42冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
659-15	旧宮谷県事務取扱二付稟請書 木更津県権令柴原和井上大輔宛			明治5年9月19日	1綴			墨書			冊子複製版第42冊
659-16	陸前国水沢県官員取計ノ儀探索			明治5年	1綴	安場保和等不正貸付探索		墨書			冊子複製版第42冊
659-17	県治改正建議 島根県参事兵頭正愨他一名 正院宛			明治6年4月9日	1綴			墨書			冊子複製版第42冊
659-18	酒田県下探索報告書			明治6年	1綴			墨書			冊子複製版第42冊
659-19	野村靖建白 太政大臣三条実美宛			明治14年9月	1綴	神奈川県令野村靖ノ地方政務二関スル建白		墨書			冊子複製版第42冊
659-20	取調書（沖縄県）			明治26(力)年	1冊	行政 貢租 産業		活版			冊子複製版第42冊
659-21	地方制度改正案（沖縄県）			明治26年(力)	1冊			活版			冊子複製版第43冊
北海道関係											
660	北海道漁業二関スル意見并二開墾及七運輸等ノ事 外務大臣井上馨・内務大臣山県有朋 [...]										

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
660-1	北海道漁業二 関スル意見并 二開墾及七運 輸等ノ事 外 務大臣井上 馨・内務大臣 山県有朋			明治19年12 月	1冊			活版			冊子複製版 第43冊
660-2	北海道開拓二 関スル私議 山形県知事柴 原和 内務大 臣松方正義・ 農商務大臣井 上馨・宮内大 臣土方久元宛			明治22年9月 20日	1綴			墨書			冊子複製版 第43冊
660-3	北海道開拓殖 民意見			明治23(力)年	1綴			墨書			冊子複製版 第43冊
660-4	北海道行政組 織二関スル意 見書 内務省 参事官都筑馨 六 内務大臣 品川弥二郎宛			明治24(力)年	1綴			墨書			冊子複製版 第43冊
660-5	北海道總督府 設置並移民保 護法之件建 議 土田政次 郎(北海道平 民) 宮内大 臣土方久元宛			明治25年7月	1綴			墨書			冊子複製版 第44冊
660-6	炭砒鉄道会社 長罷免二付陳 情書 堀基 内務大臣井上 馨宛			明治25年8月 22日	1綴	前北海道長官渡辺千秋方堀ヲ罷免セシ件二付陳情	松方・副島宛 堀基 陳情書写 明治25年4 月23日	墨書			冊子複製版 第44冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
660-7	建言書 御料 局理事山内徳 三郎			明治26年8月 27日	1綴		御料林八北海道二必 要ナル所以ヲ弁ズ 1 綴	墨書			冊子複製版 第44冊
660-8	北海道二関ス ル意見書 内 務大臣井上馨			明治26年11 月	1綴			活版			冊子複製版 第44冊
660-9	現行監獄則・ 監獄則修正案 対照				1綴			蒟蒻版鉛筆書 入			冊子複製版 第44冊
660-10	監獄則草案				1綴			蒟蒻版鉛筆書 入			冊子複製版 第44冊
660-11	現行監獄則施 行細則・監獄 則施行細則修 正案対照				1綴			蒟蒻版			冊子複製版 第44冊
660-12	監獄二関スル 意見書				1綴			墨書			冊子複製版 第44冊
土木・道路・ 河川											
661	第一等工師セ イファントー ルン公用建 白 山田土木 頭宛 [...]										
661-1	第一等工師セ イファントー ルン公用建 白 山田土木 頭宛			1872年7月 29日	1綴	利根川筋水利築堤二和蘭技術導入建白		墨書 大蔵省 罫紙			冊子複製版 第45冊
661-2	築堤職・石匠 御雇入レ伺			明治5年	1綴	セイファントールン建白二抛ルカ		墨書 大蔵省 罫紙			冊子複製版 第45冊
661-3	材木商暴利取 締上書 東京 府内大火			明治5(カ)年3 月	1綴			墨書			冊子複製版 第45冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
661-4-イ	焼失跡道路改正之図 市中番号記入				1枚	明治五年銀座・京橋・築地大火焼跡整理					冊子複製版第45冊
661-4-ロ	焼失跡道路改正之図 橋梁番号記入				1枚	明治五年銀座・京橋・築地大火焼跡整理					冊子複製版第45冊
661-5	蛎浜橋命名 伺 宮島誠一郎他四名 東京府知事大久保一翁宛			明治6年8月8日	1枚			墨書			冊子複製版第45冊
661-6	深川伊勢崎街蔵屋敷惣絵図				1枚						冊子複製版第45冊
661-7	水害土木費予算追加案説明草案			明治25年12月	1綴	五県（兵庫・岡山・徳島・山梨・高知）水害二対スル予算追加案提出説明		墨書			冊子複製版第45冊
661-8	全国河川改良及木曾川論 勝間田誠左井上宛			明治26年3月16日	1綴			墨書			冊子複製版第45冊
661-9	建議写 土木会長曾我祐準 内務大臣井上馨宛			明治26年7月12日	1綴		土木会建議事項・土木事業調査順序	墨書・蒟蒻版			冊子複製版第45冊
661-10	土木監督署事務掌程中府県土木事業監督方法二付意見			明治26(カ)年8月	1綴		土木監督署所轄府県名並土木工費ソノ他調	墨書			冊子複製版第45冊
661-11	利根川修築工費年度割変更ノ件外七件土木会へ諮問 内務大臣井上馨			明治26年9月26日	1綴	利根川・北上川・最上川・大井川・阿武隈川・信濃川・富士川・天竜川修築		謄写			冊子複製版第45冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
661-12	澁川改修工事 二付陳情書 大阪府澁川沿 岸水利委員植 場平他八名 内務大臣井上 馨宛			明治26年10 月	1綴			墨書			冊子複製版 第45冊
661-13	澁川改修運動 ノ来歴			明治26年10 月	1冊			活版			冊子複製版 第45冊
661-14	淀川改修工事 之儀二付陳情 書 治水期成 同盟 内務大 臣井上馨宛			明治26年12 月13日	1冊			墨書			冊子複製版 第45冊
661-15	澁川流域水害 図			〔明治26(力) 年〕	1枚			活版			冊子複製版 第45冊
661-16	道路法草案			明治28年4月 1日施行予定	1綴			活版			冊子複製版 第45冊
661-17	公共道路法案			明治28年8月	1綴			墨書			冊子複製版 第45冊
661-18	公共道路法			〔明治28(力) 年〕	1綴			蒟蒻版			冊子複製版 第46冊
661-19	公共河川法案			〔明治29(力) 年〕	1綴		公共河川法案概要 〔都筑馨六(力)〕 蒟 蒻版 1綴	蒟蒻版			冊子複製版 第46冊
661-20	災害土木費国 庫補助法案			明治29年1月 1日施行予定	1綴		災害土木費国庫補助 法案二依ル補助額 調 二五年分-二七 年分 明治28年8月 20日製表	謄写			冊子複製版 第46冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
661-21	災害土木基金法案			明治30年4月1日施行予定	1綴		災害土木基金法案二 依儿国庫補充額調 各府県・兵庫県・鳥 取県・広島県・宮崎 県 明治28年8月20 日製表	謄写			冊子複製版 第46冊
法律一般											
662	刑屍取計通達 司法省諸省宛 [...]										
662-1	刑屍取計通達 司法省諸省宛			明治4年10月10日	1綴			墨書			冊子複製版 第46冊
662-2	男女永年季奉公之儀二付伺 司法省正院宛			明治5年6月23日	1綴		奉公人年期定御布告案	墨書			冊子複製版 第46冊
662-3	人身売買禁制布告発令願 大蔵大輔井上馨 正院宛			明治5年8月2日	1綴			墨書 大蔵省 野紙			冊子複製版 第46冊
662-4	大木司法卿ノ人事弾議書 海江田信義 井上馨宛			明治16年4月10日	1綴			墨書			冊子複製版 第46冊
662-5	刑法中改正加除ノ儀意見書 参議井上馨			明治16年10月12日	1綴			墨書 外務省 野紙			冊子複製版 第46冊
662-6	会計法草案			[明治22(力)年]	1冊			活版			冊子複製版 第46冊
662-7	地籍条例案			明治22年施行予定	1冊			活版			冊子複製版 第46冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
662-8	保安条例廃止案二対スル意見書			〔明治25(力)年〕	1綴		保安条例要項・東京府下二於ケル保安条例執行度数及退去人員	墨書・蒟蒻版			冊子複製版第46冊
662-9	保安条例廃止案二対スル意見〔都筑馨六(力)〕			〔明治25(力)年〕	1綴			墨書 内務省 罫紙	(注) 前号8ノ原文		冊子複製版第46冊
662-10	予戒令廃止案二対スル意見			〔明治25年〕	1綴	意見案・壮士取締リ意見 明治22年8月13日・予戒令施行度数人員 明治25年11月22日調		墨書・蒟蒻版			冊子複製版第46冊
662-11	集会及結社法〔案〕			〔明治25年12(力)月〕	1綴			墨書 法制局 罫紙			冊子複製版第46冊
662-12	政談集会及政社法案二対スル意見〔都筑馨六(力)〕			〔明治26(力)年〕	1綴			墨書 内務省 罫紙			冊子複製版第47冊
662-13	新聞紙法案参照 新聞雑誌調			明治25年10月調	1綴		政談演説結社数及解散禁止一覽表 明治13年～明治25年	墨書			冊子複製版第47冊
662-14	新聞紙法(案)			〔明治25年12月〕	1綴			墨書 法制局 罫紙			冊子複製版第47冊
662-15	修正新聞紙法案			〔明治25年12(力)月〕	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第47冊
662-16	出版法(案)			〔明治26(力)年〕	1綴			墨書 法制局 罫紙			冊子複製版第47冊
662-17	出版法案			明治26年7月1日施行予定	1綴			墨書 内務省 罫紙			冊子複製版第47冊
藤田組贖札事件											
663	実地見聞録 木村真三郎密告状 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
663-1	実地見聞録 木村真三郎密告状			[明治12年]	1綴			墨書			冊子複製版第47冊
663-2	藤田組一件顛末 全六冊ノ内 四			明治12・13年	1綴	藤田組一件顛末・山口県石代不正ノ件・尾去沢銅山不当処分曲庇ノ件・官吏商法賄賂博奕ノ件・口供書・安藤則命上申書佐藤志郎意見書・ソノ他		墨書			冊子複製版第47冊
663-3	甲号未定案 全六冊ノ内 五				1綴	藤田組規約証・接待簿・滯英書翰		墨書			冊子複製版第48冊
663-4	乙号未定案 全六冊ノ内 六終				1綴	尾去沢銅山一件・中野梧一日記抄・中野宛井上書翰・ソノ他書翰写		墨書			冊子複製版第48冊
663-5	丙号 自一号至一六号				1綴	木戸孝允・榎村正直・勝間田稔・関口隆吉・海上胤範ノノ他書翰写		墨書			冊子複製版第48冊
663-6	平野某一件書			明治27年	1綴	藤田組始末書・安藤・佐藤志郎配下ノ投書・平野広吉一件・木村真三郎調査報告		墨書			冊子複製版第49冊
地方制度											
664	自治部落制草案 [...]										
664-1	自治部落制草案			(明治20年7月10日)	1冊	モツセ起草 荒川邦威翻訳		活版			冊子複製版第49冊
664-2	井上氏〔井上毅力〕自治論批判			[明治21(力)年]	1綴			墨書 内務省 野紙			冊子複製版第49冊
664-3	非分権論 原敬				1綴			墨書	署名自筆 明治一五六年ノ作力 原敬全集未収		冊子複製版第49冊
664-4	府県制法案				1冊	明治二一年九月一二日地方制度編纂委員長山県有朋提出原案		活版			冊子複製版第50冊
664-5	郡制法案			明治21年9(力)月	1冊	地方制度編纂委員草定ノ法案力		活版			冊子複製版第50冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
664-6	郡制法案			明治21年11月	1冊	元老院全部附託委員修正後ノ法案		活版			冊子複製版第50冊
664-7	郡制法案			明治22年5月	1冊			活版			冊子複製版第50冊
664-8	府制法案			明治28年4月1日施行予定	1綴			蒟蒻版(朱紫書)			冊子複製版第50冊
664-9	都制法案			明治28年4月1日施行予定	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第51冊
664-10	東京都制武蔵県設置法律及附属法令制定ノ件 内務大臣野村靖			明治28年	1綴		東京都制法律案 明治30年4月1日施行予定	謄写・活版			冊子複製版第51冊
外交一般											
665	秘魯国マリヤルツ船一件 外務省 [...]										
665-1	秘魯国マリヤルツ船一件 外務省			[明治5年]	1綴			活版			冊子複製版第51冊
665-2	日本国在留外国外交官人名表 外務省			明治16年12月	1枚			活版			冊子複製版第51冊
665-3	建言書 岩館武敏 井上馨宛			明治17年8月29日	1綴	清仏戦争二際シ対清策建言		墨書			冊子複製版第51冊
665-4	内外国人交際会食饗宴意見 宮内卿伊藤博文 参議井上馨宛			明治18年11月6日	1通			墨書			冊子複製版第51冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
665-5	極東ノ現問題 二関スル私 見 望月小太 郎 総理大臣 松方正義宛			明治30年12 月21日	1綴	対支政策具申		墨書			冊子複製版 第51冊
665-6	対露策意見 柴田幸三郎 (東京市平 民) 井上馨 宛				1綴			墨書			冊子複製版 第51冊
665-7	ジエーコブ・ エイチ・シッ フ書翰 (訳) 高橋 宛			明治43年2月 24日	1綴	日本財政ニ対スル米国ノ貢献 南満鉄道ニ関スル 日本ノ破約 露満州鉄道同時売却提案ヲ通報セシ ニ後藤男曝露シ米国銀行家ヲ攻撃 満州ニ中立地 域設定八日露平和ニ必要		謄写			冊子複製版 第51冊
琉球問題											
666	支那政府ノ抗 論ニ対シテ我 日本ニ琉球島 ヲ専領ス可キ 主権アル覚書 (未定稿) [...]										
666-1	支那政府ノ抗 論ニ対シテ我 日本ニ琉球島 ヲ専領ス可キ 主権アル覚書 (未定稿)			[明治12(力) 年]	1綴			墨書			冊子複製版 第51冊
666-2	諸国政府ト宍 戸公使往復照 会公文写 (訳 文付)			明治12年5月	1綴			墨書			冊子複製版 第51冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
666-3	右大臣岩倉具視宛〔独公使フォン・ブラント〕書翰(漢文)			1881年6月24日	1綴	琉球問題調停		墨書			冊子複製版第51冊
666-4	牧志朝忠身上書				1綴			墨書			冊子複製版第51冊
666-5	牧志朝忠伝				1綴			墨書			冊子複製版第51冊
条約改正											
667	条約改正論 小野梓 [...]										
667-1	条約改正論 小野梓			明治17年5月	1冊			墨書 東洋館 書店用紙			冊子複製版第52冊
667-2	条約改正略史			明治21年	1綴			墨書			冊子複製版第52冊
667-3	条約改正中止 ノ意見書 末岡武足・柏原武(熊本県) 井上馨宛			明治22年8月15日	1綴			墨書			冊子複製版第52冊
667-4	条約改正二関 スル意見 井上馨			明治24年8月	1綴			墨書			冊子複製版第52冊
667-5	ロイスレル氏 ノ答議			明治24年9月	1綴	排棄ヲ以テ現行条約ヲ廃止スルノ意見書〔中田敬義筆記〕		墨書			冊子複製版第52冊
667-6	現行条約ヲ廃 棄スルノ説 〔デニソン (カ)〕			明治24年 9(カ)月	1綴	〔中田敬義筆記〕		墨書			冊子複製版第52冊
667-7	中田敬義書 翰 井上宛			明治24(カ)年 9月10日	1通	デニソン意見書写送付		墨書	(注) 前号6 ヲ送付ノ添状 カ		冊子複製版第52冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
667-8	国際公法会員 ホラント氏書 翰写 金子堅 太郎宛			1891年12月 10日	1綴	国際公法会員当選祝イ		墨書			冊子複製版 第52冊
大津事件											
668	電文綴 [...]										
668-1	電文綴			明治24年5月 12・13日	1綴	露国皇太子遭難 天皇西下見舞関係 宮内省出先 ト本省間電報		墨書			冊子複製版 第52冊
668-2	電信案 赤羽 四郎 青木外 務大臣宛			明治24年5月 13日	1綴	大津事件		墨書			冊子複製版 第52冊
668-3	露国皇后電文 通報 花房宮 内次官 土方 宮内大臣宛			明治24年5月 13日	1綴		仏文電報写	墨書・謄写			冊子複製版 第52冊
668-4	露国皇帝アレ キサントルヨ リ天皇宛電文			明治24年5月 14日	1枚		仏文電報写 2枚	墨書			冊子複製版 第52冊
668-5	電報 松方総 理大臣 黒田 顧問官・伊藤 議長宛			明治24年5月 14日	1枚	露皇帝ヨリ返電		墨書			冊子複製版 第52冊
668-6	電報 本城安 太郎〔玄洋社 員〕 伊藤博 文宛			明治24年5月 15日	1枚	宮様随行願イ		謄写			冊子複製版 第52冊
668-7	露国皇后ヨリ 皇后宛電文			明治24年5月	1枚			墨書			冊子複製版 第52冊
668-8	古沢ヨリ井上 宛露公使館情 報（英文）			〔明治24年5 月〕	1枚			鉛筆書			冊子複製版 第52冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
668-9	露国皇太子遭難ノ件（在露国帝国公使機密報告第七号）特命全権公使西徳二郎 外務大臣 青木周蔵宛			明治24年5月15日	1綴			墨書			冊子複製版第52冊
668-10	電文 青木外務大臣 岡部外務次官宛			〔明治24年5月〕	1撮	露公使応接次第首相へ報告		墨書			冊子複製版第52冊
668-11	見舞電文 前外務大臣井上馨少将バクヤチンスキー宛			明治24年5月	1綴	英文写・訳文・伊東巳代治添状		墨書			冊子複製版第52冊
668-12	英国「マリオット」氏著近世伊太利建国史抄訳 金子堅太郎訳			明治24年5月12日	1枚		金子堅太郎書翰 伊藤宛 添書 1通	墨書			冊子複製版第52冊
668-13	犯人擬律ニパテルノストロ意見伝達 田中不二麿・井上毅 伊藤宛			明治24年5月13日	1通			鉛筆書			冊子複製版第52冊
中国関係											
308-3	朝鮮事変ニ関シ清国ニ対スルニ方策 伊藤博文自筆			〔明治18(力)年〕		強弱ニ方策ヲ論ズ		墨書		「308 伊藤公書翰 卷三一」(1巻)の内	冊子複製版第53冊
669	宮島誠一郎・黎庶昌筆談録 [...]										
669-1	宮島誠一郎・黎庶昌筆談録			明治16年7月22日	1綴			墨書			冊子複製版第53冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
669-2	機密外件 清公使黎庶昌内話 宮島誠一郎 井上外務卿宛			明治16年10月30日	1綴			墨書			冊子複製版第53冊
669-3	伊藤大使来電 訳文			明治18年3月31日北京発	1綴			墨書			冊子複製版第53冊
669-4	清国交渉内訓案(断片)			明治18(カ)年	1通	天津条約交渉特派大使伊藤博文へ与エシ内訓案カ		墨書			冊子複製版第53冊
669-5	清国大官会見報告書 平岡浩太郎			明治38年6月30日	1綴	一方一		墨書			冊子複製版第53冊
669-6	上海発電報写			明治45(カ)年1(カ)月29日	1通	米国伍廷芳ヲ通シ借款申込 事実ナレバ不成立工作セン 【森恪電報カ】		墨書			冊子複製版第53冊
669-7	上海発電報写			明治45年2月5日	1枚	銅官山日支合同経営最高ノ条件 承認急ガレタシ		墨書	(注) 封書益田ヨリ井上宛 森恪発電ナラン		冊子複製版第53冊
669-8	益田発電写 森恪宛			明治45年2月12日	1綴	招商局借款七分利付優先株発行方申入レ	益田孝書翰 井上宛 添状	墨書			冊子複製版第53冊
669-9	安徽省諮議局・硫務総局ト森恪トノ仮約定			明治45(カ)年1月21日	1通	製鉄会社共同経営二関スル仮約定 革命政府ト三井物産トノ交渉二関スル仮約定カ 森恪筆		墨書			冊子複製版第53冊
669-10	郵船会社伊東(上海)発電文			明治45年2月1・2日	1綴	黄興買収ヲ承諾セズ 借款申入レ 米独借款申込ニ		墨書			冊子複製版第53冊
669-11	益田・森往復電報写			明治45年2月3・8日	1綴	革命政府財政窮乏 孫黄袁世凱ト和議 満洲秘密契約	封筒 益田孝発 井上宛	墨書			冊子複製版第53冊
669-12	孫文・黄興電報写 井上宛			明治45年2月3日	1枚	援助依頼		墨書			冊子複製版第53冊
669-13	森恪発電写 益田宛			明治45年2月11日	1枚	孫黄招商局借款困難ノ見込ニ 満洲租借承諾 黄興秘密契約ノ用意		墨書			冊子複製版第53冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
669-14	上海発電写			明治45年2月23日	1枚	契約条項二ツキ黄興・陳其美交渉報告	加藤正義書翰 井上宛 添状 明治45年2月24日 1通	蒟蒻版			冊子複製版第53冊
669-15	孫文書翰訳文			民国2年5月17日	1綴			墨書	書翰原文625参照		冊子複製版第53冊
669-16	黄興書翰訳文 井上宛				1綴	新政府樹立二邁進 北伐ノ用意 資金調達森格君二依頼		ペン書			冊子複製版第53冊
669-17	黄興書翰写 井上宛 原文・訳文			民国元年	1綴			墨書	書翰原文625参照		冊子複製版第53冊
669-18	清国保全策 藤谷惟昶				1綴						冊子複製版第53冊
漢冶萍問題											
670	盛宣懷書翰訳文 [...]										
670-1	盛宣懷書翰訳文				1綴			墨書	書翰原文625参照		冊子複製版第53冊
670-2-イ	井上馨書翰 盛宣懷宛			明治43年7月	1綴	返翰挨拶状 和文・漢文	吳永寿書翰 井上宛 翻訳添状	謄写・蒟蒻版			冊子複製版第53冊
670-2-ロ	井上馨書翰 盛宣懷宛			明治43年10月14日	1綴	挨拶状 和文		蒟蒻版			冊子複製版第53冊
670-3	漢冶萍日支合併会社仮契約大綱			明治45年1月29日	1冊			謄写			冊子複製版第53冊
670-4	漢冶萍公司国 有意見書 (訳) 盛宣懷			大正2年	1綴	盛宣懷力董事会長就任前匿名記述シタルモノ 高木陸郎力翻訳配布 原文八梁啓超起草トイフ		蒟蒻版			冊子複製版第53冊
二十一箇条問題											
671	滿蒙二関スル 第二号原案 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
671-1	満蒙二関スル 第二号原案			大正4年3(力) 月	1枚	二十一箇条要求第二号案日・支主張対照		墨書・朱書			冊子複製版 第53冊
671-2	新提案〔二十 一条要求〕			大正4年4(力) 月	1綴	日本政府提出修正案条項 商議条項朱記		墨書・朱書			冊子複製版 第53冊
671-3	東京朝日新聞 切抜「修正案 内容」			大正4年5月2 日	1綴	二十一箇条要求二関スル報道		活版			冊子複製版 第53冊
671-4	大隈総理大臣 電報 井上宛			大正4年5月5 日	1綴	日支案件協議参朝ノコト		謄写			冊子複製版 第53冊
671-5	御前会議提出 井上馨意見			大正4年5月6 日	1通	日支関係当面ノ対策 江木内閣翰長電話書取り		墨書			冊子複製版 第53冊
671-6	支那政府二対 スル最後通牒			大正4年5月6 日	1綴	御前会議ニ於イテ廟議決定ノモノ		墨書			冊子複製版 第53冊
671-7	日本ノ新提案 二対スル支那 政府ノ答案 (電文直訳)			〔大正4年5 月〕	1綴	日本政府修正案二対スル支那政府対案ノ要点		墨書・朱書			冊子複製版 第53冊
朝鮮関係 1 (明治前 期)											
330-2	朝鮮政略三ヶ 条答議書 岩 倉具視			明治15年10 月29日		外務卿井上馨内閣提議ノ朝鮮対策二対スル意見書		墨書		「330 岩倉 公書翰代 筆 卷四」 (1巻)の内	冊子複製版 第54冊
672	訓条 特命全 権弁理大臣黒 田清隆宛 [...]										
672-1	訓条 特命全 権弁理大臣黒 田清隆宛			明治8年12月	1綴			墨書			冊子複製版 第54冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
672-2	全権大臣李裕元・全権副官金宏集ト弁理公使花房義質往復書翰			明治15年7月17日・8月30日	1綴	邦人遭難者弔慰金支払		墨書			冊子複製版第54冊
672-3	明治一五年八月一五日付「ジャパン・ガゼット」新聞抄訳				1綴	朝鮮宗属問題論説		墨書			冊子複製版第54冊
672-4	朝鮮事件二付意見書 ポワソナード			明治15年8月24日	1綴			墨書			冊子複製版第54冊
672-5	朝鮮使節ト在上海澳国総領事代理ハース氏応接筆路			明治15年11月7日	1綴			墨書			冊子複製版第54冊
672-6	朝鮮二関スル意見書〔演説草稿〕			〔明治15年〕	1綴			墨書			冊子複製版第54冊
672-7	朝鮮国異変二仍リ今般清国ヨリ属国云々照会二付愚見			〔明治15年〕	1通			墨書			冊子複製版第54冊
672-8	明治一五年朝鮮関係書類綴			明治15年10月30日－12月1日	1冊	井上外務卿宛 臨時代理公使近藤真鋤機密信・三条太政大臣宛 井上外務卿稟申書・清韓関係報告書・井上外務卿宛 竹添進一郎・花房義質上申書		墨書			冊子複製版第54冊
672-9	朝鮮政略二関スル意見ノ私書 藤田茂吉他六名 伊藤参議宛			明治17年12月24日	1綴			墨書			冊子複製版第54冊
672-10	祝宴記事 於萩堀内村公園 境二郎他有志八八名			明治18年1月27日	1綴			墨書			冊子複製版第54冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
672-11	吉岡謹蔵建言書 井上外務卿宛 朝鮮問題			明治18年2月3日	1綴			墨書			冊子複製版第54冊
672-12	伊藤参議清国特派二付内諭書 太政大臣三条実美 外務卿井上馨宛			明治18年2月27日	1枚			墨書 太政官 罫紙			冊子複製版第54冊
672-13	大隈重信氏日韓談判和議ノ大意			〔明治18年〕	1綴			墨書			冊子複製版第54冊
672-14	寄井上大使在朝鮮他（頌詩） 児玉少介他			〔明治18年〕	1綴			墨書			冊子複製版第54冊
672-15	明治一五年以来朝鮮国情書			明治19(カ)年	1綴	韓廷ヲメグル清・魯・韓交渉		墨書			冊子複製版第54冊
朝鮮関係 2（日清戦争前後）											
673	防穀事件覚書 [...]										
673-1	防穀事件覚書			〔明治26年〕	1綴			活版			冊子複製版第54冊
673-2	朝鮮施政改革要領（漢文）			明治27年11月20・21日	1綴	井上公使各大臣列席ノ韓廷ニテ国王ニ奏上ノ改革案		謄写			冊子複製版第54冊
673-3	日本国内閣慣例（漢文）			〔明治27年〕	1綴			謄写			冊子複製版第54冊
673-4	筆記 第一号			〔明治27年10・11月〕	1綴	外務協弁金嘉鎮トノ談話 李竣鎔トノ談話 金允植トノ談話 米国書記官アルレンストノ談話 英国領事ヒリイヤートノ談話 井上公使謁見始末 大院君応接筆記 金宏集トノ談話 内謁見筆記 金宏集・金允植・魚允中トノ談話		墨書・朱書			冊子複製版第54冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
673-5	筆記 第二号			[明治27年]	1綴	金允植・金宏集トノ談話 大院君トノ談話 李俊鎔トノ談話 改革二十ヶ条 一月二〇日―二月八日内謁見		墨書・謄写・朱書			冊子複製版第55冊
673-6	筆記 第三号			[明治27・28年]	1綴	一月一九日―二月二五日謁見始末 安駒寿・権在衡トノ談話		墨書			冊子複製版第55冊
673-7	井上公使謁見始末并談話筆記 自第一号至第二二号並号外一号			[明治27・28年]	1綴			謄写	(注) 筆記第一号―第三号二同ジ		冊子複製版第56冊
673-8	三井組へ朝鮮公債応募建言書 花輪正摸 (元三井組社員)			明治28年1月28日	1綴	井上全権公使へ写転送添状		墨書			冊子複製版第57冊
673-9	朝鮮公債引受三井組へ下命方建言書 花輪正摸 井上全権公使宛			明治28年2月23日	1綴			墨書			冊子複製版第57冊
673-10	慰問状 兵庫県赤松村惣代岩本部他二七名 全権公使井上馨宛			明治28年2月20日	1枚			墨書			冊子複製版第57冊
673-11	韓国勅令第六九号写俸給減額			開国504年(明治28年)3月30日	1枚			墨書			冊子複製版第57冊
673-12-イ	十七条目 朝鮮国施政改革提言 日本文			明治28年	1綴			墨書			冊子複製版第57冊
673-12-ロ	十七条目 朝鮮国施政改革提言 漢文			明治28年	1綴			墨書			冊子複製版第57冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
673-13	帰朝祝辞 京都奉迎送有志総代高木文平他六名 朝鮮国特命全権公使井上馨宛			明治28年6月18日	1枚			墨書			冊子複製版第57冊
673-14	対韓策意見霧嶽生			明治28年5月	1綴			活版 在朝鮮国日本公使館野紙			冊子複製版第57冊
673-15	電信控（一）			明治28年6月10日－7月13日	1綴			墨書			冊子複製版第57冊
673-16	電信控（二）			明治28年6月7日－7月19日	1綴			墨書			冊子複製版第57冊
673-17	電信控（三）			明治28年7月15日－8月30日	1綴			墨書			冊子複製版第57冊
673-17	寄贈金処分方案										
673-18-イ	寄贈金処分方案（日本文）			明治28年8月	1綴	井上公使韓廷へ内閣ノ寄贈金使途案		謄写			冊子複製版第57冊
673-18-ロ	開支贈款弁法（漢文）			明治28年8月	1綴	井上公使韓廷へ内閣ノ寄贈金使途案		謄写			冊子複製版第57冊
673-19	明治二八年九月一五日井上伯内謁見ノ時奏聞条項				1枚			墨書			冊子複製版第57冊
673-20	王城事変顛末報告書			明治28年11月7日	1綴	西園寺外相代理宛内田定槌具報・書翰写・退韓者調書		謄写			冊子複製版第58冊
673-21	貨幣制度ヲ立ツル事 井上馨			〔明治28年〕	1綴	韓国幣制改革意見		謄写 在朝鮮国日本公使館野紙			冊子複製版第58冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
673-22	警務捕校改革建議書			〔明治28(力)年〕	1通	朝鮮改革意見書 建議者八内部担当齋藤修一郎力		墨書			冊子複製版第58冊
673-23	朝鮮問題二関スル日露覚書・議定書写				1綴	明治二九年五月一四日・明治二九年六月九日・明治三一年四月二五日 三議定書写		墨書			冊子複製版第58冊
673-24-イ	施政要綱(日本文)				1綴			謄写			冊子複製版第58冊
673-24-ロ	施政要綱(諺文入)				1綴			謄写			冊子複製版第58冊
673-24-ハ	施政要綱(漢文)				1綴			謄写			冊子複製版第58冊
673-25	度支衙門年度歳入歳出				1綴			墨書			冊子複製版第58冊
673-26	各邑及徴稅署經費減額見込				1枚			墨書			冊子複製版第58冊
673-27	典園局調査報告			〔明治29年〕	1綴			謄写			冊子複製版第58冊
673-28	典園局事業擴張計画書 典園局調査報告別冊			〔明治29年〕	1綴			謄写			冊子複製版第58冊
673-29	(韓国) 予算定額中削減見込			〔明治29(力)年〕	1綴			墨書			冊子複製版第58冊
朝鮮関係 3 (日露戦争前後)											
674	日韓議定書諸案 [...]										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
674-1	日韓議定書諸案				1綴	第一案（公使案初案 明治三十六年一月二二日） 第二案（大三輪案 明治三十六年一月二七日） 第三案（公使館再案明治三十七年二月一三日） 第四案（修正案 明治三十七年二月一七日） 第五案（妥協確定書 明治三十七年二月二三日）		蒟蒻版			冊子複製版第59冊
674-2	契約書			明治37年	1綴	宮内大臣閔丙二ト長森藤太郎トノ土地開墾・拓殖並ニ専売ニ関スル契約書		墨書			冊子複製版第59冊
674-3	酒類ソノ他専売益金見込調			〔明治37年〕	1綴			墨書			冊子複製版第59冊
674-4	覚書 日韓議定書ヲ有効ナラシムルニ必要ナル項目			〔明治37(力)年〕	1綴			墨書			冊子複製版第59冊
674-5	御科田設定ニ関スル収入見込			〔明治37(力)年〕	1綴			墨書			冊子複製版第59冊
674-6	金百五拾万円韓国王室へ融通ノ方法並順序			〔明治38(力)年〕	1枚			墨書			冊子複製版第59冊
674-7	日韓協約・韓国ノ政変			〔明治40年〕	1綴	一九〇七年七月二九日倫敦タイムズ・同年七月二七日倫敦スペクテーター所載論説訳文		蒟蒻版			冊子複製版第59冊
674-8	大韓山林協会 趣旨書・規約・細別要項・支部設立規約・支部細別要項・説明書			隆熙2年11月1日	1冊		添状 総裁李載完・副総裁李夏栄 隆熙3年3月13日 1枚	活版			冊子複製版第59冊
674-9	大韓山林協会 探査報告書			明治42年9月	1綴	第一銀行韓国総支店三島太郎ヨリ市原盛宏宛報告書		ペン書			冊子複製版第59冊
軍事一般											
675	軍事一件御費用 [...]										

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
675-1	軍事一件御費用			明治5年	1綴			墨書 会計局 罫紙			冊子複製版 第59冊
675-2	近衛兵歩兵・騎兵・砲兵兵員入隊内訳			明治5年	1綴			墨書 陸軍省 罫紙			冊子複製版 第59冊
675-3	近衛兵服役期限・賞典案 伺 山県陸軍大輔 正院宛			明治5年4月24日	1綴			墨書 陸軍省 罫紙			冊子複製版 第59冊
675-4	陸軍改革約定之事			明治 年5月	1綴			墨書			冊子複製版 第59冊
675-5	進隣邦兵備略表 参謀本部 長山県有朋			明治13年11月30日	1綴			墨書			冊子複製版 第59冊
675-6	対清兵備意見 参議山県 有朋			明治16年6月5日	1綴	清国海軍充実二対スル対策		墨書			冊子複製版 第59冊
675-7	防海費献金願 外務大臣 井上馨 宮内大臣伊藤博文 宛			明治20年4月5日	1枚		献納金領収証書 2通	墨書			冊子複製版 第59冊
日清戦争											
676	第一軍告示 [...]										
676-1	第一軍告示			明治27年	1綴	対民衆告示・民政庁設置告示・第一軍管民政庁之組織及権限		墨書 第一軍 司令部罫紙			冊子複製版 第59冊
676-2	韓国戦後対策上奏書 陸軍 大将伯爵山県有朋			明治27年11月7日	1綴	九連城二テ起草上奏		墨書 第一軍 司令部罫紙			冊子複製版 第59冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
676-3	野津第一軍司令官・第二軍参謀長電報写 井上公使宛			明治28年3月4・5日	1綴	戦況報告		墨書			冊子複製版第59冊
676-4	鴨緑江ノ曲 (軍歌) 山県有朋			明治27年2月17日	1通			墨書			冊子複製版第59冊
676-5	威海衛攻撃報告 (断翰)			明治28年2月1日	1通			墨書			冊子複製版第59冊
財政一般											
676	財政意見書										
677	奏議 渋沢栄一 [...]										
677-1-イ	奏議 渋沢栄一			明治6年5月7日	1綴				(注) 那珂通高草稿ニカカル正院へ提出ノ建議書		冊子複製版第59冊
677-1-ロ	井上馨・渋沢栄一奏議之鈔			明治6年5月7日	1綴				(注) 那珂通高草稿ニカカル正院へ提出ノ建議書		冊子複製版第59冊
677-2	岩倉具視建議			明治13年8月	1綴	閣議提出ノ財政ソノ他施政意見		墨書			冊子複製版第59冊
677-3	財政意見書草案 井上馨			明治13年8月	1綴	岩倉建議米納論排議		墨書 外務省 野紙			冊子複製版第60冊
677-4	黒川治愿建議・建議附言			明治13年10・11月	1綴	愛知県官愿川治悪ノ財政・貿易意見		墨書			冊子複製版第60冊
677-5	酒造御検査手續之義二付内 陳 安部猪之助他二名 井上馨宛			明治21年3月30日	1綴			墨書			冊子複製版第60冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
677-6	営業税ヲ国税ニ編入スルノ議 鹿児島県知事渡辺千秋			〔明治21(力)年〕	1綴			墨書			冊子複製版第60冊
677-7	歳入歳出差引総計表編制例則・分類略解				2綴			活版 異版二種			冊子複製版第60冊
677-8	営業税法意見草案				1綴	青森県ニ於ケル地方税中営業税調査ソノ沿革	青森県知事鍋島幹添状 農商務次官岩村通俊宛 明治22年7月13日 1枚	墨書			冊子複製版第60冊
677-9	酒造税意見 高知県収税属宮川方至 井上宛			明治24年7月30日	1綴			墨書			冊子複製版第60冊
677-10	井上伯財政整理意見			〔明治34(力)年〕	1綴			墨書			冊子複製版第60冊
677-11	井上伯明治三六年度予算意見				1綴		各国軍艦比較表・各国軍艦比較細別表・海軍拡張費・地方各費歳出総計表・鉄道建設費及改良費追加増額調・予算ノ要領・行政整理ニ関スル各省経費増減表	墨書・活版			冊子複製版第60冊
677-12	三六年中造幣局輸納金銀地金				1枚			墨書			冊子複製版第60冊
677-13	三井集会所開會筆記			明治37年1月29日	1綴	井上・松方出席 時事・公債問題		墨書			冊子複製版第60冊
677-14	正貨収支見込ソノ他調			〔明治37年9月〕	1綴	九月以降正貨収支見込・明治三七年輸出入価額予想 理財局・貿易外正貨収支・三七年重要海外払金見込		蒟蒻版			冊子複製版第60冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
677-15	輸出入額旬日概算表 主税局関税課調			〔明治37年9月〕	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第61冊
677-16	内外正貨調			明治38年7月8日・8月5日・9月2日各現在調	1綴			墨書 日本銀行罫紙			冊子複製版第61冊
677-17	古金銀貨幣・金銀地金・金銀器物買入規程			〔明治37年〕	1綴	草案・改案・写共	手続覚書 高橋是清筆 1通	墨書・蒟蒻版			冊子複製版第61冊
677-18	米穀等輸入税二関スル書類			〔明治37年〕	1綴	米穀等二関スル輸入税率・米ノ輸入税二関スル取調・大豆小麦及麦粉ノ輸入税二関スル調査		墨書			冊子複製版第61冊
677-19	上申書 渡辺亨 井上馨宛			明治37年10月12日	1冊	公債証書価格維持意見		墨書			冊子複製版第61冊
677-20	準備増減高自三六年一〇月一日至三七年一一月三〇日			明治37年11月30日調	1枚			墨書			冊子複製版第61冊
677-21	正貨収支見込			〔明治37年〕	1綴	三七年一〇月二七日井上伯注文 三八年一月一九日修正		墨書			冊子複製版第61冊
677-22	所得税増徴税額調				1枚			墨書			冊子複製版第61冊
677-23	手形課税見込額				1綴	約束・為替手形課税政府原案並二修正案見込額		墨書 東京交換所罫紙			冊子複製版第61冊
677-24	明治三九年度租税収入見込額調				1枚			墨書			冊子複製版第61冊
677-25	明治四一年度予算案二関スル意見 井上馨			明治40年12月16日	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第61冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
677-26	正貨準備維持 二関スル意見 見 日本銀行 総裁高橋是清			明治44年7月	1綴		参照 正貨収支見 込 四四年三月末日 現在	蒟蒻版			冊子複製版 第61冊
677-27	財政意見 洪 沢栄一			明治44年11 月20日	1綴	経済人会合ニテ討議 洪沢・益田・水町起草 西 園寺内閣ニ提出セシモノ		墨書			冊子複製版 第61冊
677-28	国庫資金運用 二関スル意見 見 日本銀行 総裁高橋是清			〔明治44 年〕	1綴			蒟蒻版			冊子複製版 第61冊
677-29	外資輸入二関 スル意見 日 本銀行総裁高 橋是清				1綴			蒟蒻版			冊子複製版 第61冊
677-30	正貨準備二関 スル上申 日 本銀行総裁高 橋是清			大正元年	1綴			蒟蒻版			冊子複製版 第61冊
677-31	国有資本設定 意見書 西沢 之助（大正維 新同盟代表）			大正14年8月 15日	1綴			謄写			冊子複製版 第61冊
地方財政											
678	長崎県物産局 拝借金ソノ他 取扱箇条 [...]										
678-1	長崎県物産局 拝借金ソノ他 取扱箇条			明治3年9月	1綴			墨書 大坂出 張大蔵省野紙			冊子複製版 第62冊
678-2	長崎県取扱金 出納ノ件			明治3年9月3 日	1綴	井上大丞ヨリ渡辺庶務大佑へ差函箇条		墨書 大坂出 張大蔵省野紙			冊子複製版 第62冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
678-3	外国入売込引取屠牛所五厘金並船運上請払帳 兵庫県			明治2・3年	1綴			墨書			冊子複製版第62冊
678-4	酒造御規則御改正二付申上書 兵庫県権知事中山信彬 大蔵省宛			明治4年9月19日	1綴			墨書			冊子複製版第62冊
678-5	酒造鑑札料之儀二付申上書 兵庫県大蔵省宛			明治5年4月	1綴		兵庫酒造行事連名歎願書 明治5年3月26日	墨書			冊子複製版第62冊
678-6	兵庫県勘定帳仕組改正ノ件 断片				1枚			墨書 大坂出張大蔵省罫紙			冊子複製版第62冊
678-7	五万金借用申入レ書 新潟県知事平松時厚 井上大蔵大輔宛			明治4年9月29日	1綴			墨書 新潟県罫紙			冊子複製版第62冊
678-8	収納請払見詰表			明治4年10月-5年9月和歌山県	1枚			墨書			冊子複製版第62冊
678-9	和歌山県会計調査報告 三浦安 渡辺大丞・小野少丞宛			明治5年7月25日	1綴		辛未納正雑税並県庁貯蓄諸貸付戻り入等口々米金総計ヲ以支払差引畢竟録				冊子複製版第62冊
678-10	上野国新田郡下田島村土地調				1綴			墨書			冊子複製版第62冊
678-11	松浦郡四拾三ヶ村石高調				1綴			墨書			冊子複製版第62冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
678-12	市費歳入歳出表 自明治二六年度至明治三三年度 有楽会			〔明治35年〕	1冊			活版			冊子複製版第62冊
678-13	郡費歳入歳出表 自明治二六年度至明治三三年度 有楽会			〔明治36年〕	1冊			活版			冊子複製版第62冊
678-14	町村費歳入歳出表 自明治二六年度至明治三三年度 有楽会			〔明治36年〕	1冊			活版			冊子複製版第62冊
678-15	地方財務改正案要領			〔明治37(力)年〕	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第62冊
藩債・藩札											
679	藩債速二皆済捌方大略 [...]										
679-1	藩債速二皆済捌方大略			〔明治4年〕	1綴			墨書 会計局 罫紙			冊子複製版第62冊
679-2	旧盛岡藩負債一件			明治5年4月20日	1綴	伺書 津田休兵衛以下ヨリ取立金 盛岡産物商社 借入金 盛岡藩日誌 川井清蔵答書 証書 勘定書		墨書 大蔵省 罫紙			冊子複製版第62冊
679-3	元津県米券・金券・紙幣仕訳書 三重県			〔明治5(力)年〕	1綴			墨書 三重県 罫紙			冊子複製版第63冊
679-4	旧藩外国債処分控			〔明治5(力)年〕	1通			墨書			冊子複製版第63冊
679-5	藩札支消 計算書断片				1枚			墨書 会計局 罫紙			冊子複製版第63冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
679-6	旧藩之負債取調帳 大坂府管下北大組				1綴			墨書 大蔵省 野紙			冊子複製版 第63冊
造幣											
680	貨幣取調書 会計局 [...]										
680-1	貨幣取調書 会計局			慶応4年閏4月	1綴			木版			冊子複製版 第63冊
680-2	新古金銀吹立 高調書				1綴	慶長金ヨリ慶応四年吹立マデ		墨書			冊子複製版 第63冊
680-3	享保金・保字 金 金銀分析 高				1綴			墨書 大坂出 張大蔵省野紙			冊子複製版 第63冊
680-4	古銀分析量目 並洋銀替高				1綴			墨書 大蔵省 野紙			冊子複製版 第63冊
680-5	一步銀分析書 抜				1綴			墨書 大蔵省 野紙			冊子複製版 第63冊
680-6	大阪・新潟・ 兵庫・箱館改 二分判員数				1綴			墨書 大蔵省 野紙			冊子複製版 第63冊
680-7	悪貨幣引換一 条通牒			明治2年7月 20日	1綴	外務卿沢宣嘉ヨリ各国公使宛		墨書			冊子複製版 第63冊
680-8	鑄造地金取扱 統一方向書 写 出納司 大蔵省宛			明治3年閏10 月	1綴			墨書 大坂出 張大蔵省野紙			冊子複製版 第63冊
680-9	日本政府租税 引当借入金 オリエンタル バンク社中勘 定書			5月31日 - 同 年9月19日	1枚			墨書			冊子複製版 第63冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
680-10	金銀勝手売買許可二関シ地金取扱意見書 井上大蔵大丞			明治3年10月11日	1綴			墨書 大坂出張大蔵省罫紙			冊子複製版第63冊
680-11	新貨幣量目並性合之表			明治3年11月	1綴			墨書 大蔵省罫紙			冊子複製版第63冊
680-12	造幣二関スル書類写			明治3年	1綴	キンドル提出書写 旧貨幣引替比較調 新貨幣量目並性合表		墨書			冊子複製版第63冊
680-13	荒銅勝手吹キ許可意見書			〔明治3年〕	1綴			墨書 大坂出張大蔵省罫紙			冊子複製版第63冊
680-14	造幣規則 大蔵省			〔明治4年1月〕	1綴			墨書			冊子複製版第63冊
680-15	旧貨幣引替比較調 造幣寮			明治4年1月	1綴			墨書 大坂出張大蔵省罫紙			冊子複製版第63冊
680-16	上海金相場報告書 品川通商大佑			明治4年2月	1綴			墨書			冊子複製版第63冊
680-17	洋銀仕払勘定調査書 出納司			明治4年2月	1綴	加賀権作・五代才助在職中ホートウエンヨリ借入金		墨書 大坂出張大蔵省罫紙			冊子複製版第63冊
680-18	独乙公使フォンブランド書翰訳			明治4年3月29日	1綴	日独条約一五条（外国貨幣ト日本貨幣ト引換二関スル件）二付申入 下等貨幣発行二関スル覚書		墨書 外務省罫紙			冊子複製版第63冊
680-19	新貨幣本位更換ノ儀二付外国公使へ書翰写 外務卿輔			明治4年5月	1綴			墨書 大坂出張大蔵省罫紙			冊子複製版第63冊
680-20	外国人所持一分銀改鑄帳 大蔵省出納司			明治4年(6月18日-10月20日)	1枚			墨書			冊子複製版第63冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
680-21	横浜三井ヨリ 三井御用所宛 電信 会所洋銀			明治4年10月 8日	1枚			墨書 電信局 箋			冊子複製版 第64冊
680-22	金銀比較表			〔明治4年〕	1枚	英・仏・墨・米・露貨及ビ新貨比較		墨書			冊子複製版 第64冊
680-23	金銀対当比較 量目表			〔明治4年〕	1綴			墨書 大蔵省 野紙			冊子複製版 第64冊
680-24	建言書			明治4年	1綴	旧銭座弁用		墨書			冊子複製版 第64冊
680-25	地金局地金収 納手続案				1綴		地金局臨時請取書式 案 1枚	墨書 工部省 野紙			冊子複製版 第64冊
680-26	古金銀新貨幣 引換手続・出 納司規則				1綴			墨書 大蔵省 野紙			冊子複製版 第64冊
造幣寮											
造幣寮造営関 係資料											
681	造幣寮間毎之 尺附 [...]										
681-1-イ	造幣寮間毎之 尺附				1枚			墨書			冊子複製版 第64冊
681-1-ロ	兵庫鋸機械諸 入用仕訳				1枚			墨書 大阪出 張宮繕司野紙			冊子複製版 第64冊
681-1-ハ	ウオートルス 書翰訳 費用 書提出			明治3年5月 26日	1枚			墨書 大阪出 張民部大蔵省 野紙			冊子複製版 第64冊
681-1-ニ	ウオートルス 書翰訳 雇傭 契約二関シ並 二勘定書			明治4年2月 28日	1綴			墨書 大蔵省 野紙			冊子複製版 第64冊
681-1-ホ	オールト商社 契約写			明治元年11 月17日	1綴			墨書			冊子複製版 第64冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
681-1-へ	豊原造幣允書状			明治3年9月18日	1枚			墨書 大坂出張大蔵省野紙			冊子複製版第64冊
681-1-ト	坂本権大丞書状			明治3年10月21日	1枚			墨書 大坂出張大蔵省野紙			冊子複製版第64冊
681-2	欣氏申立留造幣寮			明治3年5月	1綴	キンドル申立備付器具調達品目		墨書			冊子複製版第64冊
681-3	小森出納大佑 任造幣権助辞令			明治3年5月	1枚			墨書			冊子複製版第64冊
681-4	造幣寮ヨリ鉢山司引分ケ伺書 造幣寮			明治3年7月24日	1綴			墨書			冊子複製版第64冊
681-5	造幣寮落成開寮諸役動向伺 井上民部大丞			〔明治3年〕	1綴			墨書			冊子複製版第64冊
681-6	造幣ノ儀外国人工通達紙面草案			明治4年1月	1綴	開寮通達案 鑄造引請規則公告案		墨書 大蔵省野紙			冊子複製版第64冊
681-7	叙位請書 馬渡造幣権頭他四名			明治4年12月17日	5枚			墨書			冊子複製版第64冊
681-8	造幣寮へ納入金分析報告			明治5年2月22日	1綴	井上大蔵大輔宛 為替会社当番金子平兵衛・茂木惣兵衛書状		墨書 金港為換会社野紙			冊子複製版第64冊
681-9	造幣寮銀地金関係諸勘定書			明治5年4月4日	1綴	銀地金総勘定書 輸入銀地金勘定書 利益勘定書 明治五年三月六日迄造幣寮利益及欠減勘定書 明治五年三月六日地金勘定書 同日迄貨幣出来高表 明治五年三月二三日迄出来高表 外国人納一分銀勘定書		墨書			冊子複製版第64冊
681-10	造幣寮修業人・見習士官選挙ノ方法伺 益田造幣権頭			明治5年7月6日	1綴			墨書 造幣寮野紙			冊子複製版第64冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
紙幣											
682	国債証書・バンク紙幣挿入 図画見積 [...]										
682-1	国債証書・バンク紙幣挿入 図画見積				1枚			墨書 大蔵省 野紙			冊子複製版 第64冊
682-2	太政官札総出来高（付）民 部省小札之訳			明治元年－2 年5月	1枚			墨書			冊子複製版 第64冊
682-3	紙幣条例 （案）			〔明治4年〕	1綴	紙幣会社設置条例		活版			冊子複製版 第64冊
682-4	ロバルトソン 氏呈英国公使 書			明治15年3月 28日	1綴	日本紙幣消却方法意見		墨書			冊子複製版 第64冊
682-5	兌換券総発行 予想額			明治37年12 月末日	1綴			墨書 日本銀 行野紙			冊子複製版 第65冊
682-6	保証準備兌換 銀行券勘定			明治38年5月 31日	1綴			墨書 日本銀 行野紙			冊子複製版 第65冊
地租改正											
683	上内務大蔵両 卿書 埼玉県 令白根多助 [...]										
683-1	上内務大蔵両 卿書 埼玉県 令白根多助			明治12年1月 20日	1綴			墨書			冊子複製版 第65冊
683-2	地価引下請願 書 和泉国四 郡 大蔵大臣 松方正義宛			明治21年1月 23日	1綴		全国地価一覽・地価 修正歎願二付実地取 調上申書 山田新五 郎・児山陶 大蔵大 臣松方正義宛 明治 21年12月29日	墨書			冊子複製版 第65冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
683-3	地租軽減一条 答申書 兵庫 県知事内海忠 勝 井上農商 務大臣宛			明治22年4月	1綴			墨書			冊子複製版 第65冊
683-4	地租ノ軽減ヲ 為サントスル 議ニ付意見			〔明治22(力) 年〕	1綴			墨書			冊子複製版 第65冊
国債											
684	〔第一回〕国 庫債券応募高 及募入高府県 別調書 [...]										
684-1	〔第一回〕国 庫債券応募高 及募入高府県 別調書			〔明治37 年〕	1枚			ペン書			冊子複製版 第65冊
684-2	正金銀行紐育 出張所來電写			〔明治27年3 月2日〕	1枚	国庫債券条件不評ニ関シ松尾臣善ヨリ水町理財局 長へ転報ノ写		墨書			冊子複製版 第65冊
684-3	国庫債券応募 申込高日計表			明治37年3月 1日 - 10日	1綴	日本銀行松尾臣善ヨリ井上宛提出ノモノ		墨書・蒟蒻版			冊子複製版 第65冊
684-4	国庫債券銀 行・会社・華 族等応募高			〔明治37 年〕	1枚			ペン書			冊子複製版 第65冊
684-5	各銀行債券引 受高 早川千 吉郎電話報告			〔明治37 年〕	1通			墨書			冊子複製版 第65冊
684-6	軍事公債第一 回・第二回募 集ノ際華族応 募額及募入額 調			〔明治37 年〕	1綴			墨書			冊子複製版 第65冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
684-7	覚書 大阪市 国庫債券取次 銀行松本重太郎			〔明治37(力) 年〕	1綴	債券取次希望条項	添状 2月27日	墨書			冊子複製版 第65冊
684-8	第二回国庫債 券応募見込高			〔明治37 年〕	1綴			墨書			冊子複製版 第65冊
684-9	第三回国債募 集条件書			明治37年10 月11日	1通	募集二際シテノ大蔵省ト諸銀行間ノ協定ニツイテ 大蔵大臣ヨリ井上・松方ニ提示シタル条件書	添状 1通	墨書			冊子複製版 第65冊
684-10	大蔵大臣挨拶			〔明治37 年〕	1綴	第三回内債募集二際シ挨拶要旨		墨書			冊子複製版 第65冊
684-11	公債調 (丙 号)			〔明治38(力) 年3月〕	1綴	公債発行額調 国庫債券引受高表 外債・煙草債 券発行額		墨書			冊子複製版 第65冊
684-12	公債発行調			〔明治38年3 月〕	1綴	発行公債所在 公債発行権残高 各種国債証券所 在別一覽表		墨書・蒟蒻版			冊子複製版 第65冊
日露戦争戦費 関係											
685	非常特別税法 中改正法律案 [...]										
685-1	非常特別税法 中改正法律案			明治37年11 月8日改刷	1綴			蒟蒻版			冊子複製版 第65冊
685-2	増収計画案										
685-2-イ	増収計画 税 率二案			〔明治37 年〕	1綴			蒟蒻版			冊子複製版 第65冊
685-2-ロ	増収計画二依 ル増収金額 明治三八年 度・明治三九 年度			〔明治37 年〕	1綴			蒟蒻版			冊子複製版 第65冊
685-2-ハ	増税計画問答			〔明治37 年〕	1綴			蒟蒻版			冊子複製版 第65冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
685-3	出征軍出納官吏へ軍用切符及銀交付高・銀収支高・銀在高			明治37年11月30日調	1枚			墨書			冊子複製版第66冊
685-4	臨時事件費並二其財源			37年11月末日調査	1枚			墨書			冊子複製版第66冊
685-5	臨時事件費概算総表			〔明治37年〕	1綴			墨書			冊子複製版第66冊
685-6	戦時財政ノ方針二付建議書 雨宮敬次郎 井上馨宛			明治38年6月	1冊			墨書			冊子複製版第66冊
685-7	臨時事件費計算書			明治37年8月22日 - 38年7月21日	1綴			蒟蒻版・ペン書			冊子複製版第66冊
685-8	軍用切符収支及流通高調			38年2月末	1枚			蒟蒻版			冊子複製版第66冊
685-9	貯蓄ヲ要スル材料其他				1枚			墨書			冊子複製版第66冊
685-10	軍資支出予算及収入額表他			〔明治38年〕	1冊	軍資支出予算及収入額表・三八年正貨受払見込表・三九年正貨受払見込表・臨時事件費国債元利償却割合ト増税ノ関係		活版			冊子複製版第66冊
685-11	三八年中正貨仕払見込				1枚	臨時事件費其他政府二属スル外国払		墨書			冊子複製版第66冊
685-12	軍事二関スル公債利子一カ年負担額調			〔明治38年〕	1綴			墨書			冊子複製版第66冊
685-13	ハリス氏電報写訳文付			〔明治38(力)年6月22日〕	1枚	(丁号)局外中立二関シ行動万全		墨書			冊子複製版第66冊
685-14	露国財政状況諸表			〔明治37年〕	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第66冊
外債											

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
686	外債二対スル注意 高橋是清 [...]										
686-1	外債二対スル注意 高橋是清			明治36年3月	1綴		高橋是清書翰 井上宛 添状 3月5日 1通	蒟蒻版			冊子複製版第66冊
686-2	出張員ノ注文			〔明治37年2月13日〕	1通	外債募集ニ際シ出張財務官ニ擬セラレタ高橋是清ガ提出シタ覚書草稿		墨書			冊子複製版第66冊
686-3	明治三七年五月発行六分利付英貨公債募集顛末			〔明治37年〕	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第66冊
686-4	戦後公債整理ノ方法ニ関スル意見書 フーパル稿			1904年11月	1綴	高橋是清ガ在英中倫敦タイムズ経済主筆フーパルニ求メタル意見ヲ明治三九年三月ニ財政処理ノ参考トシテ訳出提供シタルモノ		蒟蒻版			冊子複製版第66冊
686-5	高橋是清（在紐育）書翰 井上宛			明治38年5月16日	1綴	日本興業銀行ノ件 ベアリング商会ト交渉顛末	交渉要旨（英文）	ペン書			冊子複製版第66冊
686-6	高橋是清（在倫敦）報告書 翰 総理大臣・大蔵大臣宛			明治38年8月12日	1綴	日本興業銀行ヲ外資導入ノ機関タラシムル件ニツキゴールドン商会ト交渉経緯		ペン書			冊子複製版第66冊
686-7	高橋是清（在倫敦）報告書 翰 総理大臣・大蔵大臣宛			明治38年9月14日	1綴	日本興業銀行増資ノ件ニ関シゴールドン商会申入レ再報告		ペン書			冊子複製版第66冊
686-8	高橋是清（在倫敦）報告書 翰 総理大臣・大蔵大臣宛			明治38年9月21日	1綴	日本公債ヲメグル欧洲市場 整理起債好マシカラザル状況報告		ペン書			冊子複製版第66冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
686-9	高橋是清（在倫敦）報告書 翰 総理大臣・大蔵大臣宛			明治38年9月27日	1綴	起債二際シロスチャイルド家ヲシンジケートタラシムル件		謄写			冊子複製版第67冊
686-10	公債募集金実収調			〔明治38年〕	1枚	国債（第一回―第五回）・外債（第一回―第四回）		墨書・朱書			冊子複製版第67冊
686-11	整理公債発行二関スル勅令案			〔明治38年〕	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第67冊
686-12	整理公債発行額準拠調			〔明治38年〕	1綴		松尾臣善書翰 5月23日付 1通	墨書			冊子複製版第67冊
686-13-イ	モールス氏電報写訳文付（甲号）			明治38年5月24日	1枚	日本政府公債二関シ提議勸告					冊子複製版第67冊
686-13-ロ	モールス氏電報写訳文付（乙号）			明治38年5月18(力)日	1枚	日本狭軌鉄道車輛入用					冊子複製版第67冊
686-14	三八年重要海外払調参照				1綴			墨書			冊子複製版第67冊
686-15	利率・償還期間比例表				1枚			墨書			冊子複製版第67冊
686-16	整理公債発行関係往復電報・書簡綴			明治39年11月15日―同40年2月19日	1綴	高橋是清渡欧五分利付英貨公債発行（四〇年三月）二至ル松尾日銀総裁トノ往復通信		墨書・蒟蒻版			冊子複製版第67冊
686-17	外債募集関係英米人叙勲案			明治39年	1綴			墨書			冊子複製版第67冊
686-18	英貨公債償還二関スル意見 日本銀行総裁高橋是清			大正元年9月30日	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第67冊

銀行（保険）

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
687	第一国立銀行 開業上書 [...]										
687-1	第一国立銀行 開業上書			〔明治5年〕	1綴			墨書			冊子複製版 第67冊
687-2	収支勘定書 〔横浜為換会 社(カ)〕			〔明治5年7 月〕	1綴			墨書 金港為 換会社野紙			冊子複製版 第67冊
687-3	洋銀取引所設 立願 (大阪) 百武安兵衛他 二名			明治5年9月	1綴		洋銀取引規則	墨書			冊子複製版 第67冊
687-4	三井組宛借用 証書写			〔明治6(力) 年〕	1綴			墨書			冊子複製版 第67冊
687-5	山岡鉄太郎公 債証書計算 牒 甲・乙 明治一五年六 月起 三井銀 行				2綴		三井銀行公債掛書 翰 山岡鉄太郎宛・ 公債証書番号記入書	墨書			冊子複製版 第67冊
687-6	内密意見書 渋沢栄一 松 方大蔵卿宛			明治16年2月 7日	1綴	国立銀行条例改正ニツイテ		墨書			冊子複製版 第67冊
687-7	金融事情対策 意見			〔明治23(力) 年〕	1綴	大阪所在諸会社ノ金融逼迫救急希望		墨書			冊子複製版 第67冊
687-8	第百十銀行関 係書類										
687-8-イ	総勘定差引残 高損益調査			明治25年6月 30日現在	1綴						冊子複製版 第67冊
687-8-ロ	株主名代感謝 状			明治26年1月 8日	1綴						冊子複製版 第67冊
687-8-ハ	貸借対照表 百十銀行			明治43年3月 31日	1枚						冊子複製版 第67冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
687-9	本邦経済ノ現状ニ関スル建議書 西部同盟銀行聯合会委員上羽勝衛他三名 大蔵大臣井上馨宛			明治31年5月	1冊			墨書			冊子複製版第67冊
687-10	熊本第九銀行裁決整理案 松方正義・井上馨			〔明治34年〕	1綴			墨書			冊子複製版第67冊
687-11	銀行及貯蓄ニ関スル特別委員報告参考書 有楽会			明治33年8月8日	1冊			活版			冊子複製版第68冊
687-12	各種銀行行數並資本金調査表 自明治二六年至明治三五年 有楽会			〔明治36年〕	1冊			活版			冊子複製版第68冊
687-13	百三十銀行関係書類										
687-13-イ	百三十銀行処分案決算書				1枚						冊子複製版第68冊
687-13-ロ	百三十銀行救済抗議書 二府三県国民有志者 井上馨宛			明治37年7月	1枚			活版			冊子複製版第68冊
687-13-ハ	百三十銀行救済抗議書 二府三県国民有志者 安田善次郎宛				1枚						冊子複製版第68冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
687-13-二	小倉市長村岡益章書翰 井上宛 銀行救済礼状			明治37年7月	1通						冊子複製版第68冊
687-13-ホ	福岡県知事河島醇書翰 井上宛 銀行救済礼状			明治37年7月8日	1通						冊子複製版第68冊
687-13-ハ	内藤為三郎・井上保次郎書翰 井上宛 開店模様報告			明治37年7月11日	1通		第五十八銀行株主総会議案 1綴				冊子複製版第68冊
687-13-ト	大阪商業会議所会頭土居通夫書翰 井上宛 銀行救済礼状			明治37年7月11日	1枚						冊子複製版第68冊
687-13-チ	高橋長秋書翰 井上宛 株主臨時総会要求			明治37年8月17日	1通						冊子複製版第68冊
687-13-リ	福岡県京都郡長葉山荒太郎書翰 井上宛 銀行救済礼状			明治37年8月19日	1通						冊子複製版第68冊
687-14	至急二満州銀行ヲ設立ス可キノ議 土田政次郎 枢密院議長伊藤博文宛			明治38年9月	1綴			墨書			冊子複製版第68冊
687-15	日本興業銀行・ゴールドン商会契約案			〔明治38年10月〕	1綴	興業銀行「ゴールドン」契約大体 ロンドン一〇月三日発・返電案要領		墨書			冊子複製版第68冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
687-16	日本銀行対横浜正金銀行関係二付内申				1綴			墨書			冊子複製版第68冊
687-17	日本興業銀行債券発行二関スル往復電報綴			明治41年2月14日-2月19日	1綴	カンツブルグト添田寿一間並二若槻財務委員ト大蔵大臣間往復電報		墨書			冊子複製版第68冊
687-18	有価証券担保等級調査資料 大正三年未決算 鴻池銀行				1冊			ペン書			冊子複製版第68冊
687-19	海外御購買物件保険之儀二付御講願書 片岡直温(日本海陸保険)・佐々木慎思郎(東京海上保険)			明治31年	1冊			墨書			冊子複製版第68冊
687-20	建白書 片岡直温 波多野司法大臣宛			[明治37(力)年]	1綴	生命保険事業意見		墨書			冊子複製版第68冊
経済一般											
688	福島二於テ外務大臣説話ノ概旨 [...]										
688-1	福島二於テ外務大臣説話ノ概旨			蒟蒻版		井上馨貿易・農業二関スル経済講演		1綴			冊子複製版第69冊
688-2	井上伯ノ談話				1綴	防長官民有志懇親会席上二於ケル談話		墨書			冊子複製版第69冊
688-3	井上農商務大臣懇話ノ顛末			明治21年9月10日	1綴	プールの問題二関スル財界人トノ懇談会二於ケル挨拶		蒟蒻版			冊子複製版第69冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
688-4	経済問題講演筆記〔井上馨〕			〔明治32年12月11日〕	1綴		英露両国ノ通商関係 露国大蔵大臣ウヱッテ氏秘報	活版	三井集会所二オケル講演筆記ナラン		冊子複製版第69冊
688-5	立国経済二関スル鄙見 野呂邦之助			明治33年5月	1撮			墨書			冊子複製版第69冊
688-6	意見書 平山靖彦 井上馨宛			明治34年3月14日	1綴	経済政策・商工銀行設立意見		墨書			冊子複製版第69冊
688-7	函館談話筆記 井上馨			明治34年10月15日	1綴			墨書 三井物産合名会社野紙			冊子複製版第69冊
688-8	井上伯経済談			〔明治34年〕	1綴			墨書			冊子複製版第69冊
688-9	井上伯経済談原稿			〔明治34年〕	1綴			墨書			冊子複製版第69冊
688-10	井上伯経済談訂正草稿〔明治三四年〕				1纏			墨書			冊子複製版第69冊
688-11	井上伯講話			〔明治34(力)年〕	1綴	地方二於ケル経済講演		墨書			冊子複製版第70冊
688-12	井上伯ノ経済二関スル講話 仙台商業会議所			明治36年12月	1冊			活版			冊子複製版第70冊
688-13	所得高対比表 自明治二六年度至明治三三年度 有楽会			〔明治36年〕	1冊			活版			冊子複製版第70冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
688-14	財界救済建言書 日本橋俱樂部総代大橋新太郎他五名 井上馨宛			明治41年6月29日	1綴			墨書			冊子複製版第70冊
688-15	日本銀行調査二係ル経済関係諸表			〔大正元年〕	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第70冊
688-16	食事中井上伯爵演説要領				1綴			墨書 三井編纂室罫紙			冊子複製版第70冊
実業（有楽会）											
689	仮家則 三井組営業箇条書 [...]										
689-1	仮家則 三井組営業箇条書			明治5年10月	1綴			墨書			冊子複製版第70冊
689-2	株式創立御願書（大津）渡辺伊助他九人			明治8年2月10日	1綴			墨書			冊子複製版第70冊
689-3	微表申請書 函師民嘉 井上参議兼外務卿宛			明治13年1月19日	1冊	商業振興意見		墨書			冊子複製版第70冊
689-4	井上伯工場巡視録			〔明治33年〕	1綴		工場製品代価調 墨書 1綴	蒟蒻版			冊子複製版第70冊
689-5	諸会社社数並資本金調査表 自明治二七年至明治三五年 有楽会			〔明治36年〕	1冊			活版			冊子複製版第71冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
689-6	工場原動力並職工人員調査表 自明治二五年至明治三五年 有楽会			〔明治36年〕	1冊			活版			冊子複製版第71冊
689-7	日本醤油会社債務整理一件			明治43年	1綴	大橋新太郎ヨリ原田二郎へ提出ノ整理方針覚書		墨書			冊子複製版第71冊
689-8	千住製絨所払下二就テ			〔明治44(力)年〕	1綴	民業移管二ツイテノ陸軍意見		謄写			冊子複製版第71冊
689-9	王子製糸会社関係書類										
689-9-イ	王子製糸会社役職者名簿				1冊			墨書			冊子複製版第71冊
689-9-ロ	社業運営意見書一				1綴			墨書			冊子複製版第71冊
689-9-ハ	社業運営意見書二				1綴			墨書			冊子複製版第71冊
689-9-ニ	社業運営意見書三				1綴			墨書			冊子複製版第71冊
689-9-ホ	明治四四年下半年損益予想				1綴			墨書			冊子複製版第71冊
689-9-ヘ	大正元年一二月分損益計算				1枚			墨書			冊子複製版第71冊
689-10	有楽会規程			〔明治33年〕	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第71冊
689-11	有楽会規程 会員名簿付			〔明治33年3月〕	1冊			活版			冊子複製版第71冊
689-12	第六回有楽会報告書			明治33年6月28日	1冊			活版			冊子複製版第71冊
689-13	特別委員会報告書 有楽会			明治33年7月18日	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第71冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
689-14	第八回有楽会報告書			明治33年9月24日	1冊			活版			冊子複製版第71冊
689-15	特別委員会報告書 有楽会			明治33年10月	1冊			活版			冊子複製版第71冊
689-16	特別委員会報告書 有楽会			明治33年11月	1冊			活版			冊子複製版第71冊
689-17	有楽会調査諸表			〔明治36年〕	1冊	国庫一般会計歳入歳出款別表・同類別表・戦後経営事業費支弁各種別表・陸海軍臨時拡張費財源表・通貨流通高表・国債増減表・地方債増減表・所得高対比表・地方経済参考表・各国軍艦比較細別表・地方税歳入歳出表・郡費同・市費同・町村費同・外国貿易表・四力年間各省外国品購入価格類別対比表・官私設鉄道調査表・各種銀行行數並資本金調査表・諸会社社數並資本金調査表・工場原動力並職工人員調査表・船舶數並噸數調査表		活版			冊子複製版第72冊
689-18	有楽会講演原稿 井上馨			〔明治38年10月〕	1綴			ペン書			冊子複製版第73冊
農業（林業）											
690	牛馬羊豚牧畜二付建言 由来守応 [...]										
690-1	牛馬羊豚牧畜二付建言 由来守応			明治4年2月	1綴	牛馬羊豚蓄息之儀二付見込書 一力年生産牛數荒増積書横浜在留英商スミット書翰		墨書			冊子複製版第73冊
690-2	牧牛馬諸見積金高			明治4年	1綴	民部省移管取調へ書		墨書 大蔵省野紙			冊子複製版第73冊
690-3	牧牛ヲ盛大ニスル建白草稿 七条平六				1綴			墨書			冊子複製版第73冊
690-4	農民救助建言書憂国郎 井上外務卿・佐野元老院議長宛			明治16年5月	1綴			墨書			冊子複製版第73冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
690-5	農業改良之趣意 松本勘十郎（群馬県） 井上宛			明治21年3月12日	1冊			墨書			冊子複製版第73冊
690-6	林業挽回策ノ建言書 山本幸蔵・豊口弁司（秋田県） 農商務大臣井上馨宛			明治22年2月	1綴			墨書			冊子複製版第73冊
690-7	牟呂用水（愛知県）関係書類										
690-7-イ	掟米諸取調表			明治24年－29年	1綴						冊子複製版第73冊
690-7-ロ	地区別割付反別調			明治24年・25年	1綴						冊子複製版第73冊
690-7-ハ	新田収支表			明治25年－29年	1綴						冊子複製版第73冊
690-7-ニ	新田臨時費				1綴						冊子複製版第73冊
690-7-ホ	新田反別内訳				1綴						冊子複製版第73冊
690-7-ヘ	加茂村三ヶ村水路永続費調				1綴						冊子複製版第73冊
690-7-ト	小作資料 小作人戸数・小作証券・惣代委託事項				1綴						冊子複製版第73冊
690-7-チ	牟呂用水図面				1綴						冊子複製版第73冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
690-8	自家経済累年調 川辺精五郎 (福岡県筑紫郡那珂村)			明治22年-37年	1綴			墨書			冊子複製版第73冊
690-9	某農家経済調				1綴			墨書			冊子複製版第73冊
690-10	米收穫高比較 明治三七年度			[明治38年]	1枚			活版			冊子複製版第73冊
690-11	三五年及三八年二於ケル全国米作收穫予想高比較表			明治38年8月25日	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第73冊
690-12	[某家] 農作二関スル調書			明治11年-38年	1綴	收穫・天候・価格・備考		墨書			冊子複製版第73冊
690-13	寸丹 加納久宜 井上宛			明治38年9月	1綴	農事改良補助・養蚕保護二関スル意見		墨書			冊子複製版第73冊
690-14	養鶏業二関スル陳情書 飯田平作他二〇名 井上馨宛			大正元年10月26日	1綴			活版			冊子複製版第73冊
米穀											
691	山口融吉郎上書 [...]										
691-1	山口融吉郎上書			明治3年閏10月	1綴	歩米取立建策		墨書			冊子複製版第74冊
691-2	略規則 [大津第一米商社(力)]			明治8年	1綴			墨書 大津第一米商社野紙			冊子複製版第74冊
691-3	大阪米穀市場設置申請二就テ 吉田八十綱			明治36年12月	1綴			墨書			冊子複製版第74冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
691-4	米供給不足高見込			〔明治38年〕	1枚			蒟蒻版			冊子複製版第74冊
691-5	本年ノ米作ト米穀供給ノ関係			〔明治38年〕	1綴		平均気温比較表・各年米麦供給高・消費高	墨書・ペン書			冊子複製版第74冊
691-6	難波蔵米売捌方規則案伺 得能大蔵権大丞 井上大蔵少輔他大少丞宛			明治4年3月21日	1綴	規則案 出納司・米券雜型・難波御蔵一件		墨書 大坂出張大蔵省野紙			冊子複製版第74冊
691-7	米規則 限月取引商事規則之内			明治4年1月	1綴	東京商社ヨリ通商司へ届		墨書			冊子複製版第74冊
691-8	大坂現米売買会社設立願 (大坂堂島) 武富辰吉他一名 大蔵省宛			明治3年12月	1綴			墨書			冊子複製版第74冊
貿易											
692	外国商社へ仕払勘定書 大阪外国事務局 [...]										
692-1	外国商社へ仕払勘定書 大阪外国事務局			明治2年	1綴			墨書 大坂出張大蔵省野紙			冊子複製版第74冊
692-2	横浜ホドソンマルコルム社書翰訳 井上大蔵大輔・渋沢正五位宛			1873年4月10日	1綴	為替取引		墨書			冊子複製版第74冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
692-3	ジョーゼフ・ロツセルヨリ 日本政府大蔵卿宛書翰訳			1871年2月23日	1綴	オリエンタルバンク勘定書送付		墨書			冊子複製版第74冊
692-4	沈没船引揚一件			明治38年5月6日	1綴	アレキサンダー・マッキンレー・エチ、エヌ、メートランド書翰 山本海軍大臣宛		墨書			冊子複製版第74冊
692-5	各開港場輸出入物品高			明治3年	1綴	正月ヨリ六月迄半ケ年分		活版			冊子複製版第74冊
692-6	諸勘定取調書 他 東京商社			明治5年	合1綴	限月米油相場立口銭記・洋銀相場立口銭記・為替会社借入金返済見積書・有米員数高調・貸代金明細書		墨書			冊子複製版第74冊
鉄道（船舶）											
京浜間線路拡張高島埋立地買収一件											
693	高島嘉右衛門上書 [...]										
693-1	高島嘉右衛門上書			明治4年9月	1綴	東京青森間鉄道建設募債意見		墨書			冊子複製版第74冊
693-2	鉄道会社・工部省鉄道寮約定書			〔明治4年〕	1綴	大阪・敦賀間鉄道会社創立約定書		墨書			冊子複製版第74冊
693-3	鉄道会社事務規程草案断片				1綴			墨書 大蔵省 野紙			冊子複製版第74冊
693-4	車輛製造会社設立願書草案			〔明治21(力)年〕	1綴			墨書			冊子複製版第74冊
693-5	山陽鉄道会社関係書類										
693-5-イ	大阪神戸間鉄道御払下願			明治22年5月	1綴						冊子複製版第75冊
693-5-ロ	山陽鉄道特別補助金下付ノ義二付稟請			明治22年10月9日	1綴						冊子複製版第75冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
693-5-八	山陽鉄道ノ事			明治23年4月20日調	1綴						冊子複製版第75冊
693-6	大阪鉄道ノ事			明治23年4月2日	1綴			墨書			冊子複製版第75冊
693-7	二三年三月中各鉄道収入比較				1枚			墨書			冊子複製版第75冊
693-8	熊本県下新旧国道変換二付歎願書 平川義忠(熊本県平民) 内務大臣井上馨宛			明治26年9月28日	1冊	国道九鉄仕払下二関スル請願		墨書			冊子複製版第75冊
693-9	御依頼書 洪沢栄一他一〇名			明治32年9月17日	1枚	九州鉄道紛議調停依頼書		墨書			冊子複製版第75冊
693-10	井上伯談話ノ要領			〔明治36年2月(カ)〕	1綴	京釜鉄道社債千万円発行二関シテ		墨書			冊子複製版第75冊
693-11	官私設鉄道調査表 自明治二六年度至明治三五年度 有楽会			〔明治36年〕	1冊			活版			冊子複製版第75冊
693-12	船舶船数並噸数調査表 自明治二六年至明治三五年 有楽会			〔明治36年〕	1冊			活版			冊子複製版第75冊
693-13	南満洲鉄道会社設立命令書案二対スル意見書			〔明治39年〕	1通			墨書			冊子複製版第75冊
693-14-イ	三井銀行林健ヨリ井上宛報告書			明治43年6月7日	1通						冊子複製版第75冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
693-14-□	横浜市部分図 及表高島町地積図				2枚						冊子複製版 第75冊
693-14-八	資産負債表 (高島)			明治42年9月 末日	1綴						冊子複製版 第75冊
693-15	汽車製造会社 関係書類										
693-15-イ	確定注文二対 スル鉄道院回 答			明治45年5月 1日	1綴						冊子複製版 第75冊
693-15-□	鉄道院回答二 ヨル計画書				1綴			蒟蒻版			冊子複製版 第75冊
693-15-八	汽車製造株式 会社定款				2綴			墨書・蒟蒻版			冊子複製版 第75冊
693-15-二	臨時総会増資 決議通知書				1綴			蒟蒻版			冊子複製版 第75冊
693-15-ホ	資本金総額				1枚			蒟蒻版			冊子複製版 第75冊
693-15-ハ	拡張予算ト大 正三年度決算 トノ対照表				1枚			ペン書			冊子複製版 第75冊
693-15-ト	大正三年下半 期製作費節約 額				1枚			ペン書			冊子複製版 第75冊
693-15-チ	第二十五回営 業報告書			大正3年	1冊			活版			冊子複製版 第75冊
693-16	藤相鉄道株式 会社関係書類										
693-16-イ	重役会決議 書・覚書			大正3年5月 18日	1綴	井上幹旋二ヨリ由井彦太郎顧問就任					冊子複製版 第75冊
693-16-□	社長笹野甚四 郎書翰 井上 宛			大正3年9月1 日	1通	二期線工事竣功報告					冊子複製版 第75冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
鉱業（尾去沢銅山）											
694	井上馨吟味不足ノ廉某判事ヨリ其筋へ具申書拾ヶ条 [...]										
694-1	井上馨吟味不足ノ廉某判事ヨリ其筋へ具申書拾ヶ条			明治8年	1冊	井上馨・川村選・北代正臣口供ノ写 同申渡ノ写		墨書			冊子複製版第76冊
694-2	尾去沢銅山一件書類			明治2-12年	1冊	銅山没収ノ顛末書類 同現在品調査書 旧藩債調査書二件		墨書			冊子複製版第76冊
694-3	尾去沢銅山一件 乙号 一 号一二五号			明治5-12年	1綴			墨書			冊子複製版第76冊
694-4	煤炭ノ論 長谷川文六（唐津県）			明治4年	1綴			墨書			冊子複製版第76冊
694-5	沢田忠兵衛書翰 佐藤宛			明治25年12月3日	1綴		大蔵省二係ル請求調早見	墨書			冊子複製版第76冊
694-6	水沢鉱山一件										
694-6-イ	古河市兵衛・陸奥宗光及農商務官吏ト謀リ佐藤・高橋等ノ鉱山ヲ横奪セル怪事ノ顛末			〔明治27(力)年〕	1綴						冊子複製版第76冊
694-6-ロ	水沢鉱山借区譲渡関係書類綴			〔明治27(力)年〕	1綴						冊子複製版第76冊
694-6-ハ	絵図面			〔明治27(力)年〕	2枚						冊子複製版第76冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
694-7	藤棚炭砒類末書 吉川幹次				1冊			墨書			冊子複製版第76冊
694-8	製鉄所骸炭用炭田調査報告				1綴	高雄・潤野炭坑（筑豊）買収報告		墨書			冊子複製版第76冊
694-9	小坂鉱山関係書類										
694-9-イ	年賦金一年引二対スル歎願書 久原房之助 井上宛			明治45年1月30日	1冊			墨書			冊子複製版第76冊
694-9-ロ	小坂鉱山計算書			〔明治43年〕	1冊			墨書			冊子複製版第76冊
694-10	鉄甲山専任願（陸中盛岡）入江源次郎他一名				1綴			墨書			冊子複製版第76冊
694-11	契約書案				1綴	日本興業銀行・長崎県波佐見鉱山出資契約書案		墨書			冊子複製版第76冊
694-12	古河家奥向事務取扱依頼			明治38年5月10日	1冊	古河家代理陸奥広吉ヨリ古河家管事宛委任状		墨書			冊子複製版第76冊
694-13	古河家不在中申残条々			明治38年5月10日	1綴	古河家主人代理陸奥広吉ヨリ古河家管事葛西重雄・安達仁造宛		墨書			冊子複製版第76冊
694-14	古河家家政意見書			大正元年11月15日	1冊			墨書			冊子複製版第76冊
其他実業											
695	西村七右衛門納材木値段 [...]										
695-1	西村七右衛門納材木値段			明治3年	1綴			墨書			冊子複製版第77冊
695-2	御材木御買上高			明治3年	1綴			墨書			冊子複製版第77冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
695-3	材木買上二関 シ通牒 工部 省 大蔵省宛			明治4年2月 18日	1綴	諸御材木木数寸間御代永積書上帳・槻御材木木数 寸間御代永積書上帳 西村七左衛門・榎本六兵衛		墨書			冊子複製版 第77冊
695-4	木材供給量調 査表			明治22年－ 25年	1冊			墨書			冊子複製版 第77冊
695-5	当県下物産通 商取開之義二 付御伺書 浜 田県 弁官宛			明治4年2月	1綴	興業資金拝借願		墨書 浜田県 野紙			冊子複製版 第77冊
695-6	瓦斯燈費用拝 借金願 高島 嘉右衛門			明治4年9月	1綴			墨書			冊子複製版 第77冊
695-7	荷役乗込問屋 設立願 専崎 弥五平			明治5年5月	1綴			墨書			冊子複製版 第77冊
695-8	水売捌高並諸 入費略記			明治5年	1綴			墨書			冊子複製版 第77冊
695-9	塩業調査会設 立建議 村田 保（大日本塩 業協会会長）			明治31年2月	1綴			墨書			冊子複製版 第77冊
695-10	製鉄業振興意 見 伊藤弥次 郎				1綴			墨書			冊子複製版 第77冊
山口県関係1											
696	山口藩勘定書 [...]										
696-1	山口藩勘定書			明治4年	1綴			墨書			冊子複製版 第77冊
696-2	山口藩収支決 算表			明治4年	1枚			墨書			冊子複製版 第77冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
696-3	山口宰判田畑租税且作徳目安帳			〔明治4年〕	1綴			墨書			冊子複製版第77冊
696-4	山口藩財政処置二付伺案				1綴			墨書 会計局 野紙			冊子複製版第77冊
696-5	賞典禄処分二関スル件			〔明治8年〕	1綴	山口藩旧脱隊者賞典分与請願処理		墨書			冊子複製版第77冊
696-6	建言書 山口県各郡区有志 県会議長吉富簡一宛			明治16年5月	1綴	県令弾劾		墨書			冊子複製版第77冊
696-7	建言書 吉敷郡嘉川村人民中 山口県会議長吉富簡一宛			明治16年5月	1綴	県令弾劾		墨書			冊子複製版第77冊
696-8	明治一六年度町村費取調上申 山口県美祢郡長山田正信 元老院議官林友幸宛			明治18年4月9日	1綴			墨書			冊子複製版第77冊
696-9	林勇蔵手控写			明治17年1月12日	1冊	小郡上郷庄屋職覚書		墨書			冊子複製版第77冊
696-10	林勇蔵履歴之概略			明治18年	1綴			墨書			冊子複製版第77冊
696-11	林勇蔵履歴之附録			明治18年	1綴	仁保津村墾田記他		墨書			冊子複製版第77冊
696-12	地価割町村費額一覽表 明治一六・一七年度 佐波郡				1枚			墨書			冊子複製版第77冊
696-13	郡区別家難・家鴨調査表				1綴			墨書			冊子複製版第77冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
696-14	柳川変換並開墾内願 河野通彦他二名				1綴			墨書			冊子複製版第77冊
696-15	山口県農民及耕地一覽表			〔明治20(力)年〕	1枚			墨書			冊子複製版第77冊
696-16	佐波郡佐波村字多々良 地番入地図				1枚						冊子複製版第77冊
696-17	井上伯談話筆記 於山口端ノ坊			明治21年3月18日	1綴			墨書 山口県野紙			冊子複製版第77冊
696-18	感謝状 山口県官有林野民有期成同志会 井上馨宛			明治35年11月27日	1通			墨書			冊子複製版第77冊
696-19	山口県官有林野民有期成同志会本部費収支一覽表			〔明治35(力)年〕	1綴			墨書			冊子複製版第77冊
696-20	木梨信一他五名所有地地価・地租調				1綴	百十銀行関係書類力		墨書			冊子複製版第77冊
696-21	防長地図				1枚						冊子複製版第77冊
山口県関係 2 (教育)											
697	山口県山口中学校沿革概・同一覧・同職員教員明細表 [...]										
697-1	山口県山口中学校沿革概・同一覧・同職員教員明細表			明治16年末	1綴			墨書			冊子複製版第78冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
697-2	山口県師範学校一覧			明治17年1月12日	1綴			墨書			冊子複製版第78冊
697-3	山口中学校徳山分校第七級生徒名			明治17年12月7日	1枚			墨書			冊子複製版第78冊
697-4	岩国小学校・同分校在籍生徒人員表			〔明治17年〕	1綴			墨書			冊子複製版第78冊
697-5	山口県尋常師範学校職員・学科授業割				1綴			墨書			冊子複製版第78冊
697-6-イ	山口県教育資金醸出陳情書 甲号 山口県出身文官宛醸金陳情			明治16年12月	1綴		温故知新会 概則	墨書			冊子複製版第78冊
697-6-ロ	山口県教育資金醸出陳情書 乙号 山口県下諸人士宛 共有金醸出陳情			明治17年1月	1綴			墨書			冊子複製版第78冊
697-7	町村費ノ内教育費歩合一覧表			明治16・17年度	1綴	阿武見島郡・玖珂郡・豊浦郡・都濃郡・厚狭郡		墨書			冊子複製版第78冊
697-8	意見書 別府 患人 井上宛			明治17年2月11日	1綴	山口県子弟教育ヲ振作スベシ		墨書			冊子複製版第78冊
697-9	有志者教育会 寄附金一覧			明治18年	1枚			墨書			冊子複製版第78冊
697-10	山口外四学校 設立ノ必要ナル理由				1綴			墨書			冊子複製版第78冊
697-11	山口外五学校 概覧				1枚			墨書			冊子複製版第78冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
697-12	周陽学舎				1綴	イ 周陽学舎保護ノ義ニ付願 主事岡村彦兵衛他 二名 防長教育会長毛利元徳宛 明治18年4月、 ロ 経費予算 周陽学舎、八 私立周陽学舎一覽 表		墨書			冊子複製版 第78冊
697-13	山口高等中学校職員名簿				1枚			墨書			冊子複製版 第78冊
697-14	山口高等学校 教官受持学科 表				1枚			墨書			冊子複製版 第78冊
697-15	井上伯山口中 学校ノ演説			〔明治23年 11(力)月〕	1綴			墨書			冊子複製版 第78冊
697-16	私立防長教育 会			明治24年11 月収支計算	1綴			墨書			冊子複製版 第78冊
697-17	山口県高等中 学校ヲ尋常中 学校ニ変換ノ 件 吉富簡一				1通			墨書			冊子複製版 第78冊
山口県関係 3 (士族授 産)											
698	就産資本金拝 借願 笠井順 八・荒川左兵 衛 山口県令 関口隆吉宛 [...]										
698-1	就産資本金拝 借願 笠井順 八・荒川左兵 衛 山口県令 関口隆吉宛			明治13年3月	1綴		会社凡則・士族授産 ノ為メ拝借金願ニ付 上申 関口隆吉 内 務卿松方正義宛	墨書			冊子複製版 第78冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
698-2	褌禄其他士族 授産資金拝借 願 山口県令 関口隆吉 内 務卿松方正義 宛			明治13年5月	1綴			墨書			冊子複製版 第78冊
698-3	電文写(東 京)岩波美 篤 山口勸業 課宛			明治 年1月 18日	1枚	褌禄士族資金貸付		墨書			冊子複製版 第78冊
698-4	建議書 参議 山県有朋			明治14年12 月	1綴	士族救済意見		墨書			冊子複製版 第78冊
698-5	具申書 県令 代理 農商務 卿宛			明治16年12 月4日	1枚	褌禄士族授産資金		墨書			冊子複製版 第78冊
698-6	伺条件 兼重 淳輔 萩地士 族授産			明治16年5月	1枚			墨書			冊子複製版 第78冊
698-7	意見書 高橋 和助			明治16年5月	1綴	困難士族授産		墨書			冊子複製版 第78冊
698-8	生産会社営業 略記			明治16年11 月	1綴			墨書			冊子複製版 第78冊
698-9	救育場諸費予 算書・工業場 設置諸費予算 書			[明治16 年]	1綴			墨書			冊子複製版 第78冊
698-10	萩埭内士族貧 困者			明治16年6月 1日調	1枚			墨書	(注) 埭(タ 才) = 萩藩ノ ミガ用イタ埭 ノ異字、萩八 陸路東南西方 ノ各埭ヲ經由 スルソノ埭ノ 中ノ地域ノ意 味デ「萩埭 内」ト汎称		冊子複製版 第78冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
698-11	萩埵内土族生計取調表			〔明治16年7月調〕	1枚			墨書			冊子複製版第78冊
698-12	萩埵内町村需用品出入表				1枚			墨書			冊子複製版第78冊
698-13	土族工業品買取場総則				1綴			墨書			冊子複製版第78冊
698-14	工業品買入場規程				1綴			墨書			冊子複製版第78冊
698-15	阿武見島郡内各村土族生計調				1綴			墨書			冊子複製版第79冊
698-16	阿武郡萩内土族職業表				1綴			墨書			冊子複製版第79冊
698-17	諸会社製造所表 阿武見島郡役所				1綴			墨書			冊子複製版第79冊
698-18	仮計算法・土族興業調査法				1綴			墨書			冊子複製版第79冊
698-19	共栄社発起人引受株ノ事				1綴			墨書			冊子複製版第79冊
698-20	蚕事模範所養蚕製糸現生徒付 生徒名簿				1綴			墨書			冊子複製版第79冊
698-21	土族授産意見			〔明治18年〕	1綴	工業場創立法並予算大略 開拓使移住法並予算大略		墨書			冊子複製版第79冊
698-22	移転ノ方法			〔明治19(力)年〕	1綴	土族北海道開拓 県内移住		墨書			冊子複製版第79冊
698-23	各郡区土族工業品買取費決算表				1綴	創業—明治一八年六月三〇日・明治一八年七月一日—一二月三一日・明治一九年一月—六月・明治一九年七月—一二月・明治二〇年一月—六月・明治二〇年七月—一二月		墨書			冊子複製版第79冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
698-24	士族就産概況 山口県熊毛郡長渡辺菅吉 井上参議宛			明治17年12月3日	1綴			墨書			冊子複製版第79冊
698-25	救助金払出調			明治18年7月 - 19年6月・明治19年7月 - 20年6月	1綴			墨書			冊子複製版第79冊
698-26	各郡区困難士族救助米代金支払明細表			明治18年度・19年度	1枚			墨書			冊子複製版第79冊
698-27	玖珂郡士族工業資金借用願 玖珂郡長湯浅則和 山口県知事原保太郎宛			明治20年12月7日	1綴		士族工業岩国縮織改良ノ方略・製品原価明細表・木綿縮織製造利益予算表・工業費使用毎月差引表・資金拝借及元利返納予算表	墨書			冊子複製版第79冊
698-28	山口県厚狭郡石炭調査項目 笠井順八			明治21年2月	1綴			墨書			冊子複製版第79冊
698-29	蚕事模範所沿革概略並生徒付			〔明治21年〕	1綴			墨書			冊子複製版第79冊
698-30	各郡区士族就産概況・阿武郡士族就産概況			〔明治21(力)年〕	1綴			墨書			冊子複製版第79冊
698-31	士族授産金還付二際ニ申入レ書 神保且太他九名 阿武郡士族惣代宛			明治22年3月24日	1綴			墨書			冊子複製版第79冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
698-32	士族就産資本金処分法決議書			明治22年5月	1綴			墨書			冊子複製版第79冊
698-33	舎密製造処設立概算			〔明治22(力)年〕	1綴			墨書			冊子複製版第79冊
698-34	陳情書 阿武郡士族総代中村二良他六名 井上馨宛			明治23年1月17日	1綴			墨書			冊子複製版第79冊
698-35	製糸ノ件ヲ記シ中正ノ愛郷士ニ示ス			明治23年4月24日	1綴	岩国同好製糸会経緯		墨書			冊子複製版第79冊
698-36	士族就産金処分一件			明治23年	1撮	処分要項・議案説明・委託書・保管金渡方願書・士族就産金請取委員選挙手続・士族就産資金配当手続		活版			冊子複製版第79冊
山口県関係 4 (士族授産所)											
699	授産局章程 [...]										
699-1	授産局章程			明治7年11月	1綴		士族共有金積立起源並方法取調方ノ儀再申 山口県令関口隆吉 内務卿大久保利通宛 明治11年4月2日	墨書・活版			冊子複製版第80冊
699-2	明治一一年總會決議書抜萃 (士族授産所)				1綴			墨書			冊子複製版第80冊
699-3	就産所生産資金分配停止一件			明治16年4月	1綴	明治一四年分生産資金受渡勘定 分割停止同意・不同意届書議案・議決		墨書			冊子複製版第80冊
699-4	建議 桂路祐			明治16年5月18日	1綴	井上馨二総裁委任		墨書			冊子複製版第80冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
699-5	士族就産所改良案			明治16年9月	1綴	就産所事務改正案・就産所直轄工業場・明治一六年度就産所資本益金支出予算書・明治一六年度就産所諸費予算・製造品買揚々費各郡引当金予算概略・就産所会議諸費予算・就産所事務条件・就産所正資本金外資財調書		墨書			冊子複製版第80冊
699-6	請願書 議長井上昌・副議長桂路祐 井上馨宛			明治16年11月9日	1枚	第六回総会・総裁担任依頼		墨書			冊子複製版第80冊
699-7	決議書 就産所第六回総会			明治16年11月11日	1枚	井上馨二総裁委託		墨書			冊子複製版第80冊
699-8	就産所第六回総会議事略録			明治16年11月1-11日	1綴	議事録・決議書・請願書・就産所事務御監督ノ件二付願・県令回示案・申出書・議案		墨書			冊子複製版第80冊
699-9	決議書			明治16年12月	1綴	井上馨へ総裁委託ノ件		墨書			冊子複製版第80冊
699-10	本社資本金予算			〔明治16年〕	1綴			墨書			冊子複製版第80冊
699-11	就産所財産一覧表			明治17年1月1日	1枚			墨書			冊子複製版第80冊
699-12	就産所関係書類			明治17年1月13日	1綴	請願書・就産所監督依頼書・就産所計画協議書・明治一七年度予算勘定書・資本金明細書・諸貸付金利子分書・諸工業へ対シ貸金明細書・桑園地並代価払明細書・不動産明細書		墨書			冊子複製版第80冊
699-13	熊坂丸購入一件			明治17年8月4日	1綴	熊坂丸購入金策二付伺 山口県令原保太郎 就産所総裁井上馨宛・記〔計算書〕・熊坂丸航海勘定概算		墨書			冊子複製版第80冊
699-14	事務報告書 原保太郎 井上馨宛			明治17年	1綴			墨書			冊子複製版第80冊
699-15	諸会社処分手續〔就産所〕			〔明治17年〕	1綴			墨書			冊子複製版第80冊
699-16	資本金其外計算書 就産所				1綴			墨書			冊子複製版第80冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
699-17	加詰利引操上 ケ置元法 〔就産所〕				1綴			墨書			冊子複製版 第80冊
699-18	明治一七年度 諸勘定実際報 告書 一七年 六月ヨリ一八 年六月マデ 就産所				1冊			活版			冊子複製版 第80冊
699-19	明治一八年一 二月二八日決 算書 就産所				1綴			墨書			冊子複製版 第81冊
699-20	明治一八年度 就産所損益金 予算書 就産 所				1綴			墨書			冊子複製版 第81冊
699-21	就産所二付意 見具申 林万 樹多 井上宛				1綴			墨書			冊子複製版 第81冊
699-22	公債証書額面 計算書				1枚			墨書 就産所 罫紙			冊子複製版 第81冊
699-23	借用証書 協 同商会 就産 所宛			〔明治20 年〕	1綴			墨書			冊子複製版 第81冊
699-24	就産所資金			明治21年1月 26日調	1枚			墨書			冊子複製版 第81冊
699-25	就産所資本金 其他			明治20年7月 ヨリ明治21 年3月7日マ デ	1枚			墨書			冊子複製版 第81冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
699-26	就産所諸勘定報告書 自明治二〇年七月一日至同二年六月三〇日 就産所				1綴			活版			冊子複製版第81冊
699-27	就産所諸勘定報告書 自明治二一年七月一日至同二十二年一月五日 就産所				1綴			活版			冊子複製版第81冊
699-28	証書写 世良徳寿他各郡士族惣代 井上馨宛			明治22年2月8日	1綴	井上馨士族授産所総裁辞任二当り証書		墨書			冊子複製版第81冊
699-29	士族授産所資金請取り二対スル共同保証書 河上逸他各郡惣代			明治22年11月8日	1綴			墨書			冊子複製版第81冊
699-30	士族就産社予算書			明治22年	1綴			活版			冊子複製版第81冊
699-31	士族就産社定款並申合規約書			〔明治22(力)年〕	1綴			活版			冊子複製版第81冊
699-32	士族就産社定款並申合規約二異議申立照会状 中村二郎他八名 井上昌宛			明治23年1月17日	1綴			墨書			冊子複製版第81冊

協同会社・先収会社

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
700	防長協同会社 規則草案 [...]										
700-1	防長協同会社 規則草案			明治7年 11(力)月	1綴	規則草案・利益分賦ノ事・県庁ト協同会社トノ約 条		墨書 先収会 社野紙			冊子複製版 第81冊
700-2	協同会社・先 収会社約定書 案			明治7年 11(力)月	1綴			墨書 先収会 社野紙			冊子複製版 第81冊
700-3	電信秘語 〔先収会社〕			明治7年11月 10日	1綴			墨書			冊子複製版 第81冊
700-4	電信隠語 〔先収会社〕				1綴			墨書			冊子複製版 第81冊
700-5	明治七八年実 際相場 萩町 米直段平均相 場（第四 号）〔協同 会社〕				1綴			墨書			冊子複製版 第82冊
700-6	明治八年分地 租引当米並売 払代金受払総 勘定実際報告 （第五号） 協同会社			明治9年12月	1綴			墨書			冊子複製版 第82冊
700-7	社則（第六 号） 協同会 社			明治9年10月	1綴			墨書			冊子複製版 第82冊
700-8	第一次実際 報 自明治七 年一一月至同 九年一月（第 七号） 協同 会社			明治9年1月 31日	1綴			墨書			冊子複製版 第82冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
700-9	第二次半季実際報告 自明治九年二月一日至同六月三〇日（第八号） 協同会社			明治9年7月1日	1綴			墨書			冊子複製版第82冊
700-10	第三次実際報 自明治九年二月二日至同年一二月二八日（第九号） 協同会社			明治9年12月28日	1綴			墨書			冊子複製版第82冊
700-11	吉富簡一・木戸孝允往復書翰写			明治9年	1綴			先収会社野紙		詳細は700-11-イ〜ト参照	冊子複製版第82冊
700-11-イ	吉富簡一書翰 木戸孝允宛			明治9年1月14日		協同会社就任断り懇願		先収会社野紙		「700-11 吉富簡一・木戸孝允往復書翰写」（1綴）の内	冊子複製版第82冊
700-11-ロ	木戸孝允書翰 吉富簡一宛			明治9年1月14日		協同会社加入懇願		先収会社野紙		「700-11 吉富簡一・木戸孝允往復書翰写」（1綴）の内	冊子複製版第82冊
700-11-ハ	吉富簡一書翰 木戸孝允宛			明治9年1月19日		再度辞退		先収会社野紙		「700-11 吉富簡一・木戸孝允往復書翰写」（1綴）の内	冊子複製版第82冊
700-11-ニ	木戸孝允書翰 吉富簡一宛			明治9年1月19日		郷土ノ面倒ヲ見ルハ免レ得ズ、ゼヒ加入ヲ希望		先収会社野紙		「700-11 吉富簡一・木戸孝允往復書翰写」（1綴）の内	冊子複製版第82冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
700-11-ホ	吉富簡一書 翰 木戸孝允宛			明治9年1月26日		固辞嘆願		先収会社野紙		「700-11 吉富簡一・木戸孝允往復書翰写」(1綴)の内	冊子複製版第82冊
700-11-ハ	木戸孝允書 翰 吉富簡一宛			明治9年1月25日		此一条異論承り得ズ		先収会社野紙		「700-11 吉富簡一・木戸孝允往復書翰写」(1綴)の内	冊子複製版第82冊
700-11-ト	吉富簡一書 翰 木戸孝允宛			明治9年2月4日		委曲言上御了解ヲ得タシ		先収会社野紙		「700-11 吉富簡一・木戸孝允往復書翰写」(1綴)の内	冊子複製版第82冊
700-12	協同会社資本 金ヲシテ地方 税保険資本金 ニ変換スルノ 建議 吉敷郡 町村株主惣代 本間源三郎他 五名			〔明治16年〕	1綴			墨書			冊子複製版第82冊
700-13	概報 協同会社 中某 肥塚 竜宛			明治22年3月	1綴	井上来県士族総代ト交渉通報		墨書			冊子複製版第82冊
700-14	吉富簡一演説 草稿			明治27年6月	1綴	斉藤珪次緊急動議ニ対スル駁論		墨書			冊子複製版第82冊
700-15	勸業局ノ設 廃・協同会社 ノ成立・地租 引当米ノ顛末 取調書			〔明治27年〕	1綴		備考 林勇蔵・吉田右一・笠井順八ノ話	墨書 山口県野紙			冊子複製版第82冊

教育

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
701	大学南校教師 居留館建築関 係書類 [...]										
701-1	大学南校教師 居留館建築関 係書類			明治4年2月 29日	1綴	伺書・入札注文服・仕様書・入用内訳		墨書			冊子複製版 第83冊
701-2	商法学開講建 言 東京府 弁官宛			明治4年2月	1綴			墨書 東京府 野紙			冊子複製版 第83冊
701-3	独乙学教師ホ ルツ生徒寄宿 舎ノ件				1綴	大学ヨリ弁官宛願 明治4年2月29日・弁官ヨリ 大蔵省宛通牒 明治4年3月7日		墨書			冊子複製版 第83冊
701-4	東京農林学校 生一人割学資 調・同農場諸 事業収支計算 調			明治21年10 月4日	1綴			墨書			冊子複製版 第83冊
701-5	東京職工学校 紀要略			明治21年11 月	1綴			墨書			冊子複製版 第83冊
701-6	東京職工学校 二機織科増設 ノ義二付答 申 東京職工 学校幹事久保 田鼎他八名 農商務大臣井 上馨宛			明治21年11 月	1綴			墨書			冊子複製版 第83冊
701-7	医学校御入用 高並寄宿病者 其外学生名前 書類				1綴			墨書			冊子複製版 第83冊
701-8	上中流者子弟 教育ノ方針 〔井上馨〕				1綴			墨書			冊子複製版 第83冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
701-9	生徒諸氏志望科目 時習舎				1綴			墨書			冊子複製版第83冊
701-10	時習舎生徒報告書			明治41年2月	1綴			墨書			冊子複製版第83冊
701-11	成蹊実務学校創立趣意書			明治44年9月	1綴			墨書			冊子複製版第83冊
701-12	国民道德教育ノ施設上ニ一大改革ヲ加フヘキノ議 江木千之（貴族院議員）			〔明治44年〕	1綴	「国民道德教育ノ振興ニ関スル建議案」ハ第二十七回帝国議會貴族院ニ於イテ黒田長成他一四名ニヨリ發議		墨書			冊子複製版第83冊
文化											
702	口エスレル氏・ポアソナード氏へ質議及答弁 [...]										
702-1	口エスレル氏・ポアソナード氏へ質議及答弁			明治16年2月26日－3月7日	1綴	新聞紙取締ニツイテ		墨書			冊子複製版第84冊
702-2	明治一六年文書局年報				1冊			墨書			冊子複製版第84冊
702-3	半官報指揮監督ニ付稟議 太政官文書局			明治17年10月	1綴	半官報トハ所謂御用新聞力 日報社・忠愛社・大東日報社・朝日新聞社・紫溟新聞社ヲ挙グ		墨書			冊子複製版第84冊
702-4	紙面改良案〔中外商業新報〕				1綴			墨書 東京中外商業新報商況社野紙			冊子複製版第84冊
702-5	国際通報事務局設置理由書 望月小太郎			明治43年5月	1冊			墨書			冊子複製版第84冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
702-6	中央新聞社礼状 中央新聞社長鶴原定吉 井上馨宛			明治44年	1綴	援助礼状・領収書		墨書			冊子複製版第84冊
702-7	大日本観象台設立ノ建議 東京大学理学部教師ポール 東京大学総理加藤弘之宛				1綴		観象台時刻配報ノ建議 明治14年3月・文部卿福岡孝弟ヨリ内務卿山田顕義・海軍卿川村純義宛合議申 明治15年5月30日	墨書			冊子複製版第84冊
702-8	美術局設置意見書 山本五郎 内閣総理大臣伊藤博文宛			明治20年5月	1綴			墨書			冊子複製版第84冊
宗教											
703	教法宗門之儀二付建言 京都府 正院宛 [...]										
703-1	教法宗門之儀二付建言 京都府 正院宛			明治5年5月18日	1綴			墨書 京都府 罫紙			冊子複製版第84冊
703-2	神祇官廃止不可ノ建白書 西野義上 井上参議宛			明治15年1月	1綴			墨書			冊子複製版第84冊
703-3	神祇官興復建議書提出二ツキ願 吉岡徳明 井上参議宛			明治15年4月26日	1綴		神祇官興復建議書 写 国教同盟有志総代 参事院議長宛	墨書			冊子複製版第84冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
703-4	神祇官再興建議 鴻雪爪他二名 井上参議宛			明治17年8月	1綴			墨書			冊子複製版第84冊
703-5	古社寺保存金下賜出願二付内務省達 府県宛			明治24年2月23日	1綴		古社寺維持方法之儀二付伺 明治13年5月14日・社寺保存内規・古社寺保存費下付取調心得	墨書			冊子複製版第84冊
703-6	仏門制度改良意見 寺田福寿			明治25年8月	1綴			墨書			冊子複製版第84冊
703-7	寺格僧爵条例ノ件（閣議提出案）他			明治26年	1綴	寺格僧爵条例ノ件・神官神職叙位進階内則更正ノ議 社寺局長阿部浩・勅令第十号叙位条例但書追加ノ件・神道各教派教正叙位ノ件 社寺局長阿部浩		墨書			冊子複製版第84冊
703-8	仏教作振案			〔明治31(力)年〕	1冊			墨書			冊子複製版第84冊
曹洞宗分離問題											
704	永平寺後董投票審二対スル建言 高幡寺牧玄道他一名 内務大臣 井上馨宛 [...]										
704-1	永平寺後董投票審二対スル建言 高幡寺牧玄道他一名 内務大臣 井上馨宛			明治25年9月3日	1綴			墨書			冊子複製版第85冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
704-2	永平寺住職公選投票再審査出願二対スル請願			明治25年11月5日	1綴			活版			冊子複製版第85冊
704-3	歎願書 乗蓮寺重松仏魔他六名 内務大臣井上馨宛			明治25年	1綴			墨書			冊子複製版第85冊
704-4	永平寺住職改選ノ件 社寺局長阿部浩			明治26年1月18日	1綴			墨書			冊子複製版第85冊
704-5	曹洞宗事務取扱候補者推薦 木田韜光 北垣国道宛			明治26年4月22日	1通			墨書			冊子複製版第85冊
704-6	歎願書 真勝寺武田俊明・本光寺伊藤文峯・福厳寺棟秀活梁 内務大臣井上馨宛			明治26年10月22-26日	同文3通			墨書			冊子複製版第85冊
704-7	曹洞宗紛擾覚書				1通			墨書			冊子複製版第85冊
704-8	探聞内報 警視小倉信近 小野田警備局長宛			明治26年11月13日	1綴	秘密会議探聞・能山派田坂大円談話		墨書			冊子複製版第85冊
704-9	曹洞宗分派情況・人望者評				1通			墨書			冊子複製版第85冊
704-10	意見書 西松寺北野元峰他二名			〔明治26(力)年〕	1通	両山寺務取扱・住職改任一新		墨書			冊子複製版第85冊
704-11-イ	口上書 畔上楳仙			〔明治26(力)年〕 3月19日	1通	垂示 清斎供養御礼					冊子複製版第85冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
704-11-口	口上書 畔上 樞仙			〔明治26(力)年〕4月29日	1通	留守中代理等へ懇諭御礼 帰着届					冊子複製版 第85冊
704-11-八	口上書 畔上 樞仙			〔明治26(力)年〕6月2日	1通	御説諭感謝					冊子複製版 第85冊
704-12	曹洞宗処分ノ件 社寺局長 阿部浩			明治27年1月17日	1綴			墨書			冊子複製版 第85冊
704-13	曹洞宗処分ニ関スル意見 社寺局長阿部浩			明治27年1月18日	1綴			墨書			冊子複製版 第85冊
704-14	口上覚書 森田悟由			明治27年3月21日	1綴			墨書 永平寺 野紙			冊子複製版 第85冊
704-15	曹洞宗処分事件書類			明治27年12月	1綴	宗制追加関係		墨書・活版			冊子複製版 第85冊
704-16-イ	古谷日新書翰〔各宗委員関係書翰(力)〕			2月1日	1通	畔上所在地判明 長野二赴キ同道出京セン					冊子複製版 第85冊
704-16-口	古谷日新書翰〔各宗委員関係書翰(力)〕			2月4日	1通	畔上帰京至急双方へ内諭乞ウ					冊子複製版 第85冊
704-16-八	古谷日新書翰〔各宗委員関係書翰(力)〕			明治27年2月10日		出京人発病 別紙申越シ着次第参上 出京人名	電報 1通				冊子複製版 第85冊
704-17	各宗委員調停案〔明治二七年〕				1綴	取扱方案・取扱方案二対スル要求書		墨書			冊子複製版 第85冊
704-18	懇願書案 各宗委員				1枚			墨書			冊子複製版 第85冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
704-19	曹洞宗紛擾平定二付挨拶状 永平寺悟由・総持寺榎仙 井上馨宛			明治28年3月2日	1通		曹洞宗務局普達 活版1綴	墨書			冊子複製版第85冊
704-20	井上家永世祠堂創建ノ申入レ 曹洞宗永平寺執事福山黙堂			明治28年4月11日	1通			墨書			冊子複製版第85冊
東本願寺財務整理問題											
705	東本願寺抵当品調 [...]										
705-1	東本願寺抵当品調			明治18年12月28日	1綴	抵当品目録 寺所有動不動産 三井銀行宛確約書写 為取換条約証写		墨書			冊子複製版第85冊
705-2	大谷派本願寺財務沿革			〔明治18年〕	1綴	財務沿革 負債現額 出納現況 再建収支 消却方案 再建志納請高 再建作事部 再建将来予算		墨書			冊子複製版第85冊
705-3	貸借対照表			明治35年5月31日現在	1綴			謄写			冊子複製版第85冊
705-4	元検事安藤某意見写			明治35年9月2日	1綴	東本願寺大寝殿殴打事件		墨書			冊子複製版第85冊
705-5	宗報 第一四号			明治35年9月3日	1綴			活版			冊子複製版第85冊
705-6	大谷派本願寺講頭・商量員人名録 会計部備付			明治35年10月改正	1冊			活版			冊子複製版第86冊
705-7	建言書 近江国湖北三郡代表藤九郎他二名 井上宛			明治35年12月24日	1綴			墨書			冊子複製版第86冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
705-8	陳情書 賛衆 大田元遵他一 四名 井上宛			明治35年12 月24日	1綴	改革援助願		墨書			冊子複製版 第86冊
705-9	陳情書 門徒 代表砺波忠兵 衛他三七名 井上宛			〔明治35(力) 年〕	1綴			墨書			冊子複製版 第86冊
705-10	仮誓約書 財 務整理委員鳥 越貞敏他一四 名 井上宛			明治35年12 月27日	1綴			墨書			冊子複製版 第86冊
705-11	御請書 越中 国砺波郡惣代 砺波忠兵衛他 三七名 井上 宛			明治35年12 月28日	1綴			墨書			冊子複製版 第86冊
705-12	議制局賛衆議 席列次表			明治35年12 月	1枚			活版			冊子複製版 第86冊
705-13	意見書 大谷 派議制局賛衆 大藤巖舟他三 四名				1綴			墨書			冊子複製版 第86冊
705-14	陳情書 大谷 派本願寺旧臣 総代鷲田至誠 他九名 井上 宛			明治35年12 月	1通		憲戒者名簿 1綴	墨書			冊子複製版 第86冊
705-15	法主及本山対 評議委員某契 約書要項			〔明治35年 12(力)月〕	1綴			墨書			冊子複製版 第86冊
705-16-イ	法主・新法 主・連枝ヨリ 井上伯二差出 スベキ誓約 書 案			〔明治35年 12(力)月〕	1綴			墨書			冊子複製版 第86冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
705-16-口	法主・新法主・連枝ヨリ井上伯二差出スベキ誓約書 草案			〔明治35年12(カ)月〕	1綴			墨書			冊子複製版第86冊
705-17	明治三五年末御凌二関スル概要報告 会計部録事阿部慧水 寺務総長心得宛			明治36年1月6日	1枚			墨書			冊子複製版第86冊
705-18	負債整理案私見 萩原健治郎			明治36年1月	1綴			墨書			冊子複製版第86冊
705-19	負債整理委員提出誓約書原案			〔明治36年1(カ)月〕	1綴	井上へ提出ノ原案・法主及新法主へ提出ノ原案		墨書			冊子複製版第86冊
705-20	支途不明額計算書			明治36年2月	1綴			墨書			冊子複製版第86冊
705-21	陳情書 在京真宗大谷派賛衆総代内記竜舟他四名 井上宛			明治36年3月10日	1綴	使途不明金札明願		墨書			冊子複製版第86冊
705-22	臨時財務整理委員会書類			明治36年5月23・24日	1綴	出席者 議案		謄写			冊子複製版第86冊
705-23	契約書・追加契約書案			明治36年5月	1綴	白石頼貞・山田竜任用時ノ法主トノ契約案		墨書			冊子複製版第86冊
705-24	東本願寺・鴻池銀行取引二関スル決議			明治36年5・6月	1綴	整理委員会ノ借入金額決議要項摘録		墨書			冊子複製版第86冊
705-25	覚書			明治36年7月2日	1綴	鴻池銀行融資担保物件		墨書			冊子複製版第86冊
705-26	委任状案 大谷光瑩			明治36年7月	1枚	財産売却・質権設定		墨書			冊子複製版第86冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
705-27	東本願寺六条生命保険会社債務返済方法			〔明治36年8(力)月〕	1枚			墨書			冊子複製版第86冊
705-28	東本願寺整理問題関係書翰										
705-28-イ	渥美契縁・梅原謙連名書翰 井上宛			明治36年9月14日	1通	法主脳病二付回答猶予願	医師診断書写 1枚				冊子複製版第86冊
705-28-ロ	鳥越貞敏書翰 井上宛			明治36年1月13日	1通	礼状 万朝報記事					冊子複製版第86冊
705-28-ハ	鳥越貞敏書翰 井上宛			明治36年3月29日	1通	評議員集会ノ件					冊子複製版第86冊
705-28-ニ	渥美契縁書翰 本田実清宛			明治35年12月23日	1通	法主帰着通知					冊子複製版第86冊
705-28-ホ	白尾美夫書翰 本田実清宛			明治35年12月22日	1通	宗制寺法差出シ					冊子複製版第86冊
705-28-ヘ	田中泰侶書翰 片山繁雄・本田実清宛			明治36年1月7日	1通	礼状					冊子複製版第86冊
705-28-ト	署名・宛名共欠書翰				1枚	新法主病氣転地ノ件					冊子複製版第86冊
705-29-イ	東本願寺財政整理問題 財務顧問安楽兼道 井上宛報告			明治36年6月5日	1綴	神野外四名ノ行為					冊子複製版第87冊
705-29-ロ	東本願寺財政整理問題 財務顧問安楽兼道 井上宛報告			明治36年6月8日	1綴	調印済整理委員報告					冊子複製版第87冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
705-29-八	東本願寺財政整理問題 財務顧問安楽兼道 井上宛報告			明治36年6月18日	1綴	神野整理委員就任忌避					冊子複製版第87冊
705-29-二	東本願寺財政整理問題 財務顧問安楽兼道 井上宛報告			明治36年7月9日	1綴	状況報告					冊子複製版第87冊
705-29-ホ	東本願寺財政整理問題 財務顧問安楽兼道 井上宛報告			明治36年7月9日	1綴	政局二応シ進退配慮ヲ乞フ					冊子複製版第87冊
705-29-ハ	東本願寺財政整理問題 財務顧問安楽兼道 井上宛報告			明治36年7月17日	1綴	法主北国巡化模様報告	渥美契縁書翰 安楽兼道宛 1通				冊子複製版第87冊
705-29-ト	東本願寺財政整理問題 財務顧問安楽兼道 井上宛報告			明治36年7月18日	1綴	鴻池銀行借入金ノ件					冊子複製版第87冊
705-29-チ	東本願寺財政整理問題 財務顧問安楽兼道 井上宛報告			明治36年8月20日	1綴	法主往訪報告					冊子複製版第87冊
705-29-リ	東本願寺財政整理問題 財務顧問安楽兼道 井上宛報告			明治36年10月6日	1枚	報告添状					冊子複製版第87冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
705-29-又	東本願寺財政整理問題 財務顧問安楽兼道 井上宛報告			明治36年12月9日	1綴	寄付金募集状況					冊子複製版第87冊
705-29-ル	東本願寺財政整理問題 財務顧問安楽兼道 井上宛報告			明治36年12月10日	1通	報恩講模様					冊子複製版第87冊
705-29-ヲ	東本願寺財政整理問題 財務顧問安楽兼道 井上宛報告			明治37年3月15日	1綴	貴族院推薦依頼					冊子複製版第87冊
705-30	法主決意書二対スル質議書 井上馨 大谷光瑩宛			明治36年10月	1綴			墨書			冊子複製版第87冊
705-31	新門主之行為			〔明治36(力)年〕	1綴	新門主・石川舜台等弾劾		墨書			冊子複製版第87冊
705-32	保証義務者評議委員ト其他ノ評議委員トノ間ニ締結スベキ契約書要領			〔明治36年〕	1枚			墨書			冊子複製版第87冊
705-33	附与証書内訳 東本願寺				1枚			墨書			冊子複製版第87冊
705-34	所有地調査表 東本願寺				1冊			墨書			冊子複製版第87冊
705-35	会計評議員一覧表				1枚			活版・墨書			冊子複製版第87冊
705-36	東本願寺評議員資産調書				1綴			墨書			冊子複製版第87冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
705-37	宿所職氏名表 東本願寺役職者・整理委員他			〔明治36年〕	1綴			墨書			冊子複製版第87冊
705-38	東本願寺整理問題二関スル電報綴 一			明治36年6・7月	1綴			謄写			冊子複製版第87冊
705-39	東本願寺整理問題二関スル電報綴 二			明治36年8月	1綴			謄写			冊子複製版第87冊
705-40	東本願寺整理問題二関スル電報綴 三			明治36年9月	1綴			謄写			冊子複製版第87冊
705-41	東本願寺整理問題二関スル電報綴 四			明治36年10月	1綴			謄写			冊子複製版第87冊
705-42	東本願寺整理問題二関スル電報綴 五			明治36年11月	1綴			謄写			冊子複製版第87冊
705-43	東本願寺整理問題二関スル電報綴 六			明治37年1月	1綴	電報八主トシテ井上宛安楽兼道発信電報		謄写			冊子複製版第87冊
705-44	内事局費				1綴	三四年度・三五年度内事局費 三六年度内事局費 予算		墨書			冊子複製版第87冊
705-45	尾張示談会評決事項			明治36年12月6日	1枚			墨書			冊子複製版第88冊
705-46-イ	東本願寺債務調査書 百円未満債務内訳表			明治36年9月30日調	1綴						冊子複製版第88冊
705-46-ロ	東本願寺債務調査書 百円以上千円未満債務内訳表			明治36年9月30日調	1綴						冊子複製版第88冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
705-46-八	東本願寺債務調査書 一千円以上債務内訳表			明治36年9月30日調	1綴						冊子複製版第88冊
705-46-二	東本願寺債務調査書 五千円以上債務内訳表			明治36年9月30日調	1綴						冊子複製版第88冊
705-47	東本願寺不動産抵当内訳書			明治36年10月23日現在	1綴			墨書			冊子複製版第88冊
705-48-イ	上申書 評議員会議長鳥越貞敏 大谷光瑩宛			明治36年11月27日	1枚	石川舜台総長待遇停止申入レ					冊子複製版第88冊
705-48-ロ	上申書 評議員会議長鳥越貞敏 大谷光瑩宛			明治36年11月27日	1綴	東京真宗大学廃止申入レ					冊子複製版第88冊
705-49	評議委員会二附議セシ案				1綴	東本願寺明治三六年度追加予算議案並二明治三七年度予算案綴		謄写			冊子複製版第88冊
705-50	処務経過上申 元大谷派本願寺出納主任山田龍 井上宛			明治37年6月6日	1枚	処務年報提出添状 (処務年報欠)		墨書			冊子複製版第88冊
705-51	財務整理委員内申書写 法主宛			明治36年8月10日	1綴	改革覚書三条		墨書			冊子複製版第88冊
705-52	安楽顧問談話筆記			明治36年8月20日	1綴	東本願寺務所員内事局会同席上二於ケル財務整理方針談話		墨書			冊子複製版第88冊
705-53	法主答弁書草案			〔明治36年10月〕	1綴	井上馨質議書七条二対スル大谷光瑩答弁案		墨書			冊子複製版第88冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
705-54	東本願寺財政整理問題 財務顧問安楽兼道内申書綴			明治36年8月16日 - 同37年3月13日	1綴	東本願寺財務顧問安楽兼道ヨリ同寺財政整理問題二関シ法主光瑩トノ交渉経緯ソノ他報告		墨書			冊子複製版第88冊
705-55	意見書藤井信三 井上馨宛				1綴	東本願寺改革問題絶縁勧告		墨書			冊子複製版第89冊
705-56	大谷派本廟維持財団寄付行為				1綴			墨書			冊子複製版第89冊
705-57	石川舜台他三名ニ対スル告訴状案				1冊			墨書			冊子複製版第89冊
705-58	石川舜台ノ経歴				1綴			墨書			冊子複製版第89冊
705-59	大谷勝縁師経歴				1綴			墨書			冊子複製版第89冊
705-60	覚書・雑				1綴	東本願寺関係		墨書			冊子複製版第89冊
705-61	評議員出席者名簿・名刺				1綴・55枚						冊子複製版第89冊
社会事業											
706-1	山口育児院設立趣意				1綴	設立趣意 育児院規則		墨書			冊子複製版第89冊
706-2	救済事業ニ関スル卑見			明治43年4月6日	1綴	銀行倶楽部ニ於ケル演説		墨書 渋沢事務所罨紙			冊子複製版第89冊
706-3	済生会関係書類										
706-3-イ	恩賜財団済生会設立趣意書				1綴			謄写			冊子複製版第89冊
706-3-ロ	恩賜財団済生会協賛趣意書並ニ済生会寄附行為			明治44年6月12日	1綴			活版			冊子複製版第89冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
706-3-八	恩賜財団済生会寄附行為				1綴			謄写			冊子複製版第89冊
706-3-二	各地世話人会決定事項・東京世話人寄附金額・東京寄付金見込調			明治44年6月	1綴			蒟蒻版			冊子複製版第89冊
706-3-木	寄附金払込方法案内 済生会 井上馨宛			明治44年10月2日	1枚						冊子複製版第89冊
706-3-へ	寄附金払込二ツキ通知状 済生会			明治44年10月6日	1枚			活版			冊子複製版第89冊
706-3-ト	名簿				1通						冊子複製版第89冊
706-3-チ	覚書 山口県済生会関係				1通						冊子複製版第89冊
706-3-リ	寄附金額中間報告				1枚						冊子複製版第89冊
706-3-ヌ	官報号外			明治44年2月11日	1枚			活版			冊子複製版第89冊
706-4	義金見込調〔済生会関係(力)〕				1通			墨書			冊子複製版第89冊
706-5	委員名簿〔済生会関係(力)〕				1通			墨書			冊子複製版第89冊
706-6	施療病院経営案				1綴			蒟蒻版			冊子複製版第89冊
706-7	救療事業予算大体				1綴			墨書			冊子複製版第89冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
706-8	寄附金礼状 東北九州災害 救済会総裁松 方正義 井上 馨宛			大正3年7月 13日	1通			墨書			冊子複製版 第89冊
帝室関係											
707-1	皇靈御遷座次第			〔明治4年9 月30日〕	1綴			活版			冊子複製版 第89冊
707-2	明治九年新歳 式次第			〔明治8年12 月17日〕	1綴			活版			冊子複製版 第89冊
707-3	北陸東海兩道 御巡幸御休泊 割			明治11年7月	1通			墨書			冊子複製版 第89冊
707-4	帝室御用度及 皇族賄料			〔明治13(力) 年〕	1通			墨書			冊子複製版 第89冊
707-5	帝室御用費一 部			〔明治13 年〕	1通	取替払分 自衛費・接待費・有栖川宮外国留学費		墨書			冊子複製版 第89冊
707-6	有栖川左府宮 欧米巡遊日記			明治16年2月	1綴	随行林董・西徳二郎・山本清堅申報		墨書			冊子複製版 第89冊
707-7	婦女服制ノコ ト二付テ皇后 陛下思食書			明治20年1月	1綴			活版			冊子複製版 第89冊
707-8	各国公使招宴 会御召状 宮 内卿徳大寺実 則 議官井上 馨宛			明治9年3月 20日	1枚			墨書			冊子複製版 第89冊
707-9	観菊会御召 状 宮内卿徳 大寺実則 参 議井上馨宛			明治11年11 月16日	1枚			墨書			冊子複製版 第89冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
707-10	犬追物陪観御召状 宮内卿 徳大寺実則 参議井上馨宛			明治12年12月18日	1枚			墨書			冊子複製版第89冊
707-11	観梅ノ宴皇后宮ヨリ夫人御召状 徳大寺実則 井上参議宛			明治22年2月18日	1枚			墨書			冊子複製版第89冊
707-12	皇后宮令室令娘御召状 宮内大輔杉孫七郎 参議井上馨宛			明治16年11月3日	1通			墨書			冊子複製版第89冊
707-13	皇后宮御召状 皇后宮大夫香川敬三 井上参議令夫人宛			明治17年11月22日	1通			墨書			冊子複製版第89冊
707-14	皇后写真下賜達 皇后宮大夫香川敬三 農商務大臣井上馨宛			明治22年11月27日	1通			墨書			冊子複製版第89冊
707-15	皇太子興津井上邸行啓一件			明治45年4月11日	1綴			墨書			冊子複製版第89冊
707-16	陪食御召状並二賜物達 宮内大臣渡辺千秋 井上馨宛			大正元年12月23日	2通			墨書			冊子複製版第89冊
707-17	恩賜達 宗秩寮 井上馨宛			大正3年1月8日	1枚			墨書			冊子複製版第89冊
707-18	富美・朝香両宮婚儀関係新聞切抜				1綴			活版			冊子複製版第89冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
賞典関係											
708-1	宮華士族人員家禄并賞典高概表				1綴	府県別統計 明治五年八月調査		活版			冊子複製版第90冊
708-2	歎願書 鷹司輔熙			明治5年9月	1綴	蔵米拝借願		墨書			冊子複製版第90冊
708-3	勲章創設ノ議 曲木如長			明治15年7月	1綴			墨書			冊子複製版第90冊
708-4	世襲財産資金トシテ公債・株券下付ノ達書 宮内大臣伊藤博文 井上馨宛			明治20年7月27日	1枚		公債・株券ヲ不動産ニ交換スル際心得 宮内大臣伊藤博文 井上宛 明治26年1月28日 墨書 2通	墨書			冊子複製版第90冊
708-5	小野善助へ叙位礼状 小野善右衛門 内閣臨時総理大臣井上馨宛			明治26年1月28日	2通			墨書			冊子複製版第90冊
708-6	二十家爵位表				1枚			ペン書			冊子複製版第90冊
毛利家・山口藩維新関係											
709-1	寿徳院殿宝翰写				1綴	慧極和尚宛 毛利吉就他書状		墨書			冊子複製版第90冊
709-2	毛利敬親肖像描キ方注文仲介依頼 高橋由一 渡辺千秋宛			明治26年12月	1綴			墨書			冊子複製版第90冊
709-3	井上馨西園寺八郎ニ与ウル訓諭書(写)			明治34年3月28日	1綴	西園寺八郎ドイツ留学ニ際シテノ訓戒		ペン書			冊子複製版第90冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
709-4	木戸松菊自記 長州勤王始末 覚書写				1綴			墨書			冊子複製版 第90冊
709-5	木戸公伝記編 纂資料蒐集集 計並二収支計 算書				1綴			墨書			冊子複製版 第90冊
709-6	陳情書 諫早 基清 井上馨 宛			明治33年6月 29日	1綴	山口藩脱隊騒動鎮撫二際シ履歴陳情		墨書			冊子複製版 第90冊
709-7	長井雅楽書翰 写				1綴	三条へ建白 厳謹八覚悟ノ上 死後ノ依囑（前後 欠落 文久3年2(力)月）		墨書			冊子複製版 第90冊
709-8	〔長井雅楽陳 述書〕写				1綴			墨書			冊子複製版 第90冊
709-9	麻田遺稿抄				1綴	周布政之助作詩		墨書			冊子複製版 第90冊
709-10	周布政之助遺 文				1綴	書翰・遺書他写		墨書			冊子複製版 第90冊
709-11	前原一誠他処 罰録			明治9年11月	1綴		辞世詩写	墨書			冊子複製版 第90冊
709-12	前原一誠口述 書			明治9年11月	1綴			墨書			冊子複製版 第90冊
709-13	所郁太郎履歴 書他			明治27年	1綴	履歴書・遺族始末書・御扶助願		墨書			冊子複製版 第90冊
709-14	山口県各招魂 社・殉難者墳 墓地一覽				1綴			墨書			冊子複製版 第90冊
維新史料											
710-1	永田重三筆記			明治15年12 月15日	1冊	井伊直弼非議 永田重三八幕府旗本本堂内膳家 臣 万延元年ノ筆記		活版			冊子複製版 第91冊
710-2	側役二与フル 書			嘉永4年7月	1綴	薩摩藩米価対策		墨書			冊子複製版 第91冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
710-3	大島三右衛門 (西郷隆盛) 書翰 平田彦 五郎宛			正月28日	1通	文久二年大島ヨリ召喚サレ上国ニ上リ 王事ニ奔走 久光ノ逆鱗ニ遭イ 再ビ流罪ニ処セラレルマデノ経緯ヲ報告スル長文書翰			(注) 宛先平田彦五郎八不明 大西郷全集所収木場伝内宛文久二年六月トサレル書翰ト略三分ノ二ハ同文 同全集編者注記シテ「此ノ手紙ヲ本ニシテ宛名ヲカヘタ偽書多ク存在シ所見ニ入リタルモノト通バカリアル」トアル ナオ検討ヲ要スル書翰		冊子複製版 第91冊
710-4	慶応元年回想 覚書 (井上 馨)				1通	坂本竜馬ノコト 桜島丸購入前後ノコト		墨書			冊子複製版 第91冊
710-5	慶応元年伊 藤・井上長崎 行一件				1綴	小銃買入レ 近藤次郎		墨書			冊子複製版 第91冊
710-6	申請書草案 (写) 伊藤・ 井上 外務大 臣宛				1綴	グラバ叙勲申請	維新前ニ於ケルデ・ ビー・グラバノ事蹟 概要	墨書			冊子複製版 第91冊
710-7	内情願 及川 清寿・川勝誠 太郎 井上馨 宛			明治26年2月 2日	1冊	榎本六兵衛(旧金銀座御用・大蔵省御用・開拓使御用達)業蹟顕彰願		墨書			冊子複製版 第91冊
710-8	七卿西竄五十 年記念会発起 人挨拶状案			明治45年	1通			墨書			冊子複製版 第91冊

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
710-9	七卿西竄五十年記念会趣意書			明治45年4月	1通			活版			冊子複製版第91冊
710-10	七卿西竄五十年記念会会規			明治45年	1冊			活版			冊子複製版第91冊
710-11	名簿〔七卿西竄五十年記念会(力)〕				1綴			墨書			冊子複製版第91冊
維新史編纂関係											
711-1	温知会速記録			明治43年11月12日	1冊	江間政発講演 於温知会 徳川七郎麿一橋家相續一件		蒟蒻版			冊子複製版第91冊
711-2	第五回彰明会議事速記録			明治43年11月21日	1綴			墨書			冊子複製版第91冊
711-3	大日本史編纂之由来 武田猛(彰明会委員)			明治44年1月22日	1綴			墨書			冊子複製版第91冊
711-4	維新史料編纂二関スル書類			〔明治44年〕	1綴	史料ノ蒐集編纂二関スル注意 略年表・主要事項 維新史料編纂順序一覧表 維新史料編纂会内規案 編纂二関スル大体ノ方針		蒟蒻版			冊子複製版第91冊
711-5	臨時維新史料編纂局費予算				1枚			墨書			冊子複製版第91冊
711-6	維新史料編纂会二臨時帝室編修局ヲ併合スルノ意見書			大正3年	1綴			墨書			冊子複製版第91冊
711-7	維新史料編纂会・臨時編修局編纂事業競合調整意見			〔大正4年〕	1綴			墨書			冊子複製版第91冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
711-8	維新史料編纂会・臨時編修局編纂事務協定書			〔大正4年〕	1綴			墨書			冊子複製版第91冊
711-9	藤田東湖封事他資料返却依頼			大正4年3月29日	1綴	武田猛ヨリ提供史料返却依頼 井上家返却添状案共		墨書			冊子複製版第91冊
711-10	覚書 井上馨			〔大正4年〕	1綴	維新史料編纂会総裁ヲ辞セントスル理由ノ梗概		蒟蒻版			冊子複製版第91冊
711-11	近時国史ヲ修ムル趣意書 古沢滋				1綴・1通						冊子複製版第91冊
碑銘・建碑・記伝											
712-1	故正一位大勲位三条公神道碑・碑文訂正意見				1綴			墨書・蒟蒻版			冊子複製版第92冊
712-2	贈正二位大原公神道碑・碑文訂正意見				1綴			墨書・蒟蒻版			冊子複製版第92冊
712-3	故参議贈正三位広沢公神道碑・碑文訂正意見				1綴			墨書・蒟蒻版			冊子複製版第92冊
712-4	七卿西竄碑文 股野琢			明治45年9月17日	1枚			墨書			冊子複製版第92冊
712-5	忠正公銅像建設書類			明治24年	1綴	御銅像駢立理由書・忠正公御銅像建立規程・上司 刈蔵巡回日割・銅像見取図		墨書			冊子複製版第92冊
712-6	甲子殉難志士改葬墓碑文				1綴		杉孫七郎書翰 井上宛 添状 明治22年6月16日 1通	墨書			冊子複製版第92冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
712-7	正二位勲一等子爵曾祢君碑銘 三島毅			明治44年8月	1綴			活版			冊子複製版第92冊
712-8	雪爪鴻翁(宮地清拙)碑銘				1綴			活版			冊子複製版第92冊
712-9	西本正道履歴〔広島藩〕				1綴			墨書 維新史料編纂会野紙			冊子複製版第92冊
712-10	近藤長次郎伝				1綴			墨書			冊子複製版第92冊
712-11	沖守固略歴・履歴				1綴			墨書 芳宣閣文庫野紙			冊子複製版第92冊
712-12	町田石谷君碑文 重野安禪			明治36年9月	1綴	町田石谷八町田久成ナリ		墨書			冊子複製版第92冊
712-13	町田久成建碑費剰余金処理報告			大正3年12月25日	1枚			墨書			冊子複製版第92冊
712-14	東山国有林中建碑願 中井三郎兵衛			明治43年7月26日	1纏	伊藤・井上碑建碑願書 絵図面 地所拝借副申		墨書			冊子複製版第92冊
雑資料											
309-7	詩稿二首 伊藤博文自筆							墨書		「309 伊藤公書翰 卷三二」(1巻)の内	冊子複製版第8冊(p347)
634	毛利元徳筆蹟 講和記念揮毫 [...]										
634-1	毛利元徳筆蹟 講和記念揮毫			元治元年8月7日				墨書		「634 元徳公・松蔭先生・世外侯筆蹟」の内	マイクロフィルム Reel.20

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
634-4	井上馨所懐詩二首			〔元治元年〕				墨書		「634 元徳公・松蔭先生・世外侯筆蹟」の内	冊子複製版第6冊(p80)
713-1	米国移住民問題（翻訳）				1綴			墨書			冊子複製版第93冊
713-2	奥国留学歎願書 石津可輔 井上外務卿宛			明治13年3月15日	1綴			墨書			冊子複製版第93冊
713-3	故松田次郎遺族後見北垣国道へ依頼願 和田信美他二名 井上宛			明治26年9月20日	1綴			墨書			冊子複製版第93冊
713-4	赤十字病院退院二当り看護婦一同二対スル挨拶 井上馨			〔明治30(力)年〕	1綴			墨書 日本赤十字社病院罫紙			冊子複製版第93冊
713-5	伊藤博文主催憲法発布二十周年記念祝賀会祝詞 井上馨			明治41年2月11日	修正稿共 2枚			墨書			冊子複製版第93冊
713-6	度量衡換算表				1綴			ペン書			冊子複製版第93冊
713-7	明治三六年一月分家計勘定表 大村徳敏			明治36年11月30日	1枚			ペン書			冊子複製版第93冊
713-8	勉学誓書 益田信世 井上宛			明治38年9月22日	1枚			墨書			冊子複製版第93冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
713-9	上申書 堀金正真 井上馨宛			大正2年5月26日	1綴	著書「国体之渊源」自薦		墨書・謄写			冊子複製版第93冊
713-10	芝居筋書朗読				1通	大正四年四月一八日興津園遊会ニ於ケル座興力		墨書			冊子複製版第93冊
713-11	將軍塚ニ就テ 京都市粟田口				1綴		御届書写 將軍塚発掘品目	墨書			冊子複製版第93冊
713-12	花座敷物御積書			明治23年7月3日	1枚			墨書			冊子複製版第93冊
713-13	〔挺身奉公ノ願〕 直江源八 井上宛			明治4年3月	1綴		中上川彦次郎書状・写真借用証写 野崎廣大 井上勝宛 昭和3年4月17日 墨書 2枚	墨書			冊子複製版第93冊
贈品・家計											
714-1	金宏集贈品目録			明治13年7月	1枚			墨書			冊子複製版第93冊
714-2	李容肅贈品目録			明治13年7月	1枚			墨書			冊子複製版第93冊
714-3	御下賜品内達書				9通			墨書			冊子複製版第93冊
714-4	岩倉家ヨリ到来物目録				1枚			墨書			冊子複製版第93冊
714-5	買物勘定書			明治3年12月	1綴			墨書			冊子複製版第93冊
714-6	井上氏江州饗庭野四百拾式町着手ノ順序				1綴			墨書	(注) 滋賀県高島郡誌ニヨレバ明治一九年三月陸軍演習地トシテ饗庭野買収ス		冊子複製版第93冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
714-7	領収書綴			明治19年9月	1綴			墨書			冊子複製版第93冊
714-8	〔北海道視察〕旅費支払勘定書			明治19年9月28日	1綴			墨書			冊子複製版第93冊
714-9	〔北海道視察〕諸費領収書綴 一			明治19年8月	1綴			墨書			冊子複製版第94冊
714-10	〔北海道視察〕諸費領収書綴 二			明治19年8月	1綴			墨書			冊子複製版第94冊
714-11	〔北海道視察〕諸費領収書綴 三			明治19年8月	1綴			墨書			冊子複製版第94冊
714-12	〔北海道視察〕諸費領収書綴 四			明治19年8・9月	1綴			墨書			冊子複製版第94冊
714-13	〔北海道視察〕諸費領収書綴 五			明治19年8・9月	1綴			墨書			冊子複製版第94冊
714-14	尋常小学校建築費寄附金領収書 山梨県南巨摩郡身延村長佐野重利			明治29年1月9日	1枚			墨書			冊子複製版第95冊
714-15	領収証 善光寺保存会			明治43年5月1日	1枚			墨書・活版			冊子複製版第95冊
714-16	井上・児玉家土地関係吉富簡一書翰並二登記書類			明治42年	3通・4綴						冊子複製版第95冊
714-17	井上・児玉家県・村税他領収書綴				2綴						冊子複製版第95冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
714-18	井上・児玉家地租他計算書・領収書綴				3綴						冊子複製版第95冊
714-19	金銭出納控				1枚			墨書	但書鉛筆書入 レ		冊子複製版第95冊
葬事・墓所・書目類											
715-1	弔電 中華民國国務卿徐世昌			民国4年9月4日	1枚			墨書			冊子複製版第95冊
715-2	弔電 中華民國總統袁世凱			民国4年9月4日	1綴	原文・訳文		墨書			冊子複製版第95冊
715-3	井上馨関係新聞切抜				1綴			活版			冊子複製版第95冊
715-4	伊藤博文葬儀関係新聞切抜				1綴			墨書			冊子複製版第95冊
715-5	英国皇帝葬儀関係切抜				1綴			活版			冊子複製版第96冊
715-6	井上家菩提寺関係書翰					吉富簡一書翰 7通 井上家執事書翰 大林寺宛 1通 洞春寺道隆書翰 吉富宛 1通					冊子複製版第96冊
715-7	井上家墓所図面・建設見積書				1枚・1綴						冊子複製版第96冊
715-8	大林寺関係計算書・領収書綴				3綴			墨書			冊子複製版第96冊
715-9	井上家遺牌銘調				1綴			墨書			冊子複製版第96冊
715-10	世外院追善茶会			大正4年12月	1綴			墨書・活版			冊子複製版第96冊
715-11	八窓庵茶会			大正2年2月15-18日	1綴			活版			冊子複製版第96冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
715-12	故井上侯追懐談 弥生会				1冊	中原邦平談話 大正四年十月追悼会席上		活版			冊子複製版第97冊
715-13	八窓庵茶会				1綴	新聞切抜		活版			冊子複製版第97冊
715-14	世外院遺志茶会 高橋常庵				1綴	新聞切抜		活版			冊子複製版第97冊
715-15	書翰目録				1綴	井上馨関係書翰		墨書			冊子複製版第97冊
715-16	井上馨関係書翰目録控				1綴			墨書			冊子複製版第97冊
715-17	巻物控				1綴	井上馨関係書翰卷子本目録		墨書・活版			冊子複製版第97冊
715-18	井上侯爵家寄贈図書目録				1綴		大蔵次官黒田英雄書翰 井上勝之助宛 礼状 昭和2年12月27日 1通	謄写			冊子複製版第97冊
715-19	書類目録 三井文庫調				1綴		三井八郎右衛門書翰 井上勝之助宛 礼状 昭和3年3月7日 1通				冊子複製版第97冊
世外侯旧藩辞令類											
716	世外侯旧藩辞令類				1巻			墨書		詳細は716-1~22参照	冊子複製版第97冊
716-1	志道慎平書状写 老中宛					間多離縁				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-2	志道間多書状写 老中宛					離縁帰家				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
716-3	児玉小民部書状 井上幾太郎宛			7月28日		用召				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-4	田中宇兵衛書状 井上幾太郎宛			7月28日		児玉差紙添状				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-5	志道聞多離縁許状									「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-6	志道聞多英国出張慰労金下付									「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-7	達 井上聞多					御手廻組				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-8	達 井上聞多					毛利出雲一手御警衛御用				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-9	達 井上聞多					小郡御代官役				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-10	達 井上聞多					毛利出雲一手御警衛御用免				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-11	達 井上聞多					御政務座御用				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
716-12	達 井上聞多					米二五俵給				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-13	達 井上聞多					御用免				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-14	達 井上聞多			10月22日		身元差返				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-15	達 井上聞多					高田春太郎卜改名				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-16	達 井上五郎三郎			12月28日		聞多改名				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-17	達 高田春太郎			慶応2年4月		赤間関越荷方				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-18	達 高田春太郎					三人扶持				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-19	達 井上五郎三郎			5月2日		縁組				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-20	達 井上幾太郎			明治3年正月17日		知行相續				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
716-21	達 井上聞多			明治4年11月		扶持返上二百両下賜				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
716-22	山口県達 井上幾太郎			明治5年11月		聞多家督嫡子申付				「716 世外侯旧藩辞令類」(1巻)の内	冊子複製版第97冊
辞令・願書											
717-1	参官通達 太政官書記官 参議井上馨宛			明治11年8月6日	1通			墨書			冊子複製版第97冊
717-2	香港鎮台ヘンネシー巡覽二同行辞令 太政官 工部卿 井上馨宛			明治12年6月14日	1枚			墨書			冊子複製版第97冊
717-3	下関出張辞令 太政官 外務卿井上馨宛			明治15年7月31日	1枚			墨書			冊子複製版第97冊
717-4	湯治御暇追願 宮中顧問官井上馨 宮内大臣土方久元宛			明治20年12月26日	1枚			墨書			冊子複製版第97冊
717-5	第三回関西府県聯合共進会出張辞令 内閣 農商務大臣井上馨宛			明治21年10月2日	1枚			墨書・活版			冊子複製版第97冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
717-6	名誉会員推載通知状 大日本帝国水難救済会総裁威仁親王 井上馨宛			明治23年10月	1枚			墨書			冊子複製版第97冊
717-7	御暇願 井上馨 宮内大臣土方久元宛			明治24年11月24日	1枚			墨書			冊子複製版第97冊
717-8	旅行賜暇願 井上馨 宮内大臣土方久元宛			明治25年5月9日	1枚		旅行届控 1枚	墨書			冊子複製版第97冊
717-9	商議委員依頼状 私立防長教育会長毛利元昭 井上馨宛			明治31年12月	1枚			墨書			冊子複製版第97冊
717-10	大勲位菊花大綬章授記 (写) 賞勲局総裁大給恒 井上馨宛			明治39年4月1日	1枚			墨書			冊子複製版第97冊
717-11	国産奨励会副総裁囑託状 総裁貞愛親王 井上馨宛			大正3年10月25日	1枚			墨書・活版			冊子複製版第97冊
717-12	退職願 維新史料編纂会総裁井上馨 文部大臣一木喜徳郎宛			大正4年5月	1枚		一木喜徳郎書翰 井上宛 辞表差戻シ添状 大正4年6月18日 1通	墨書			冊子複製版第97冊
718	世外侯雜稿 卷一			明治4年4月	1巻	会社名簿第一番 書翰・辞表下書千 覚書(軍艦製造復活他三条・若松築港他・貴族院保安条例廃止案・山口地所・増税案貴族院・地方費・海軍艦船)					冊子複製版第98冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
719	世外侯雑稿 巻四			明治41年9月	1巻	大病記					冊子複製版 第98冊
720	世外侯雑稿 巻五				1巻	詩稿					冊子複製版 第98冊
721	世外侯雑稿 巻六				1巻	詩稿 題辞 印辞					冊子複製版 第98冊
722	世外侯雑稿 巻七				1巻	詩稿 歌稿					冊子複製版 第98冊
723	世外侯雑稿 巻八				1巻	詩稿 歌稿					冊子複製版 第98冊
724	世外侯雑稿 巻九				1巻	歌稿 句稿					冊子複製版 第98冊
725	世外侯雑稿 巻十				1巻	歌稿					冊子複製版 第98冊
726	世外侯雑稿 巻十一				1巻	歌稿					冊子複製版 第98冊
727	世外侯雑稿 巻十二				1巻	歌稿					冊子複製版 第98冊
728	詩稿集				1冊						冊子複製版 第98冊
729	詩稿・歌稿集				1冊						冊子複製版 第99冊
730	詩稿・歌稿集				1冊						冊子複製版 第99冊
井上家文書											
731	井上家文書一				1巻					詳細は731- 1~15参照	冊子複製版 第99冊
731- 1	吉川元春自筆 書状 井上元 方宛力 知行 百石ヲ給入			11月18日						「731 井上 家文書一」 (1巻)の内	冊子複製版 第99冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
731-2	毛利隆元宛行状 井上元方宛力 坂ノ内国末名ヲ給ス			天文19年12月21日						「731 井上家文書一」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
731-3	毛利輝元加冠状 井上元方宛 偏諱ヲ賜ウ			天正7年8月29日						「731 井上家文書一」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
731-4	某自筆書状井上元方宛力 瓜贈与ノ謝辞			6月25日						「731 井上家文書一」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
731-5	毛利輝元書状 井上元方宛 万福寺普請ヲ命ズ			天正16(力)年6月15日						「731 井上家文書一」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
731-6	毛利輝元安堵状 井上元方宛 父ノ遺領相続ヲ認ム			天正16年6月20日						「731 井上家文書一」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
731-7	毛利輝元安堵状 井上元方宛 弥ノ村三百貫及ビ万福寺ノ代官職ヲ安堵ス			天正16年6月21日						「731 井上家文書一」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
731-8	毛利輝元補任状 井上元方宛 彦右衛門尉二任ズ			天正16年12月25日						「731 井上家文書一」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
731-9	某自筆書状 井上元方宛 父ノ遺領相続ヲ祝ス			天正17(力)年3月27日						「731 井上家文書一」(1巻)の内	冊子複製版第99冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
731-10	毛利輝元安堵状 福原式部少輔宛 井上元方ノ遺領ヲ元通相続ヲ安堵ス			慶長5年4月23日						「731 井上家文書一」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
731-11	毛利輝元加冠状 井上元通宛 偏諱ヲ与ウ			慶長9年6月20日						「731 井上家文書一」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
731-12	毛利秀就補任状 井上元通宛 彦右衛門尉二任ス			慶長17年2月1日						「731 井上家文書一」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
731-13	毛利秀就安堵状 井上就勝宛 父ノ遺領ヲ安堵ス			寛永20年3月27日						「731 井上家文書一」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
731-14	毛利秀就加冠状 井上就勝宛 偏諱ヲ与ウ			寛永12年1月11日						「731 井上家文書一」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
731-15	山口藩達書 井上幾太郎宛 家禄ヲ給ス			明治3年8月						「731 井上家文書一」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
732	井上家文書二				1巻					詳細は732-1~3参照	冊子複製版第99冊
732-1	毛利家家老連署書状案 毛利元就宛 元就ノ家督相続			大永3(力)年7月25日						「732 井上家文書二」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
732-2	井上就勝口上書 浦孫兵衛宛 長州藩領新田開発ノ件			寛文12年1月						「732 井上家文書二」(1巻)の内	冊子複製版第99冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
732-3	井上光亨伝書 井上五郎三郎宛 井上氏家紋ノ由来書			嘉永3年3月						「732 井上家文書二」(1巻)の内	冊子複製版第99冊
733-1	井上家文書 三 毛利元徳直筆論書 井上馨宛			慶応2年5月	1巻		毛利敬親・毛利元徳等ノ題字及び高杉晋作・正木退蔵ノ解説				冊子複製版第99冊
補遺											
734	世外侯雑稿 巻二				1巻	韓国内政改革意見草稿 一					冊子複製版第99冊
735	世外侯雑稿 巻三				1巻	韓国内政改革意見草稿 二 韓国貸渡金覚書 高橋財政委員へ発信電文案					冊子複製版第99冊
736	御書翰各筆				1巻	品川弥二郎書翰 1通 松方正義書翰 1通 桂太郎書翰 2通 原敬書翰 1通					冊子複製版第99冊
737	東久世通禧書翰				1通						冊子複製版第99冊
738	井上光書翰				1通						冊子複製版第99冊
739	河瀬真孝書翰				1通						冊子複製版第99冊
740	清浦奎吾書翰				1通						冊子複製版第99冊
741	九鬼隆一書翰				1通						冊子複製版第99冊
742	楠本正隆書翰				1通						冊子複製版第99冊
743	股野琢書翰				1通						冊子複製版第99冊
744	三好退蔵書翰				1通						冊子複製版第99冊

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
745	中井弘書翰				1通						冊子複製版 第99冊
746	佐々木高行書翰				1通						冊子複製版 第99冊
747	内海忠勝書翰				1通						冊子複製版 第99冊
748	各土墨宝尺牘帖				1帖						冊子複製版 第99冊
748-1	井上馨 1通										
748-2	大隈重信 1通										
748-3	徳大寺実則 1通										
748-4	西郷従道 1通										
748-5	松方正義 1通										
748-6	杉孫七郎 1通										
748-7	芳川顕正 1通										
748-8	河野敏謙 1通										
748-9	谷干城 1通										
748-10	吉田清成 1通										
748-11	黒田清隆 2通										

井上馨関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	数量	内容	付属資料	記述法	備考	合綴注記	複製
748-12	森有礼 1通										
748-13	山田顕義 1通										
748-14	渡辺昇 1通										
748-15	仁礼景範 1通										
748-16	北垣国道 1通										
748-17	渡辺千秋 1通										
748-18	星亨 1通										
748-19	伊東巳代治 1通										
748-20	渋沢栄一 1通										
748-21	品川弥二郎 1通										
748-22	益田孝 1通										
748-23	金子堅太郎 1通										
749	井上馨書翰 田中光顕宛				1巻 (10通)						冊子複製版 第99冊